

横浜市下水道設計標準図 (管きよ編)

令和6年4月

横浜市下水道河川局

■改定経過

- | | | | |
|------------------|------|------------------|------|
| 1. 昭和 51 年 4 月 | | 21. 平成 26 年 5 月 | 一部改定 |
| 2. 昭和 53 年 4 月 | 追加 | 22. 平成 26 年 10 月 | 一部改定 |
| 3. 昭和 55 年 4 月 | 全面改訂 | 23. 平成 28 年 4 月 | 一部改定 |
| 4. 昭和 59 年 8 月 | 全面改訂 | 24. 平成 30 年 7 月 | 全面改定 |
| 5. 昭和 62 年 10 月 | 全面改訂 | 25. 令和 5 年 4 月 | 一部改定 |
| 6. 平成 元年 7 月 | 全面改訂 | 26. 令和 6 年 4 月 | 一部改定 |
| 7. 平成 3 年 10 月 | 全面改訂 | | |
| 8. 平成 7 年 10 月 | 全面改訂 | | |
| 9. 平成 9 年 11 月 | 一部改訂 | | |
| 10. 平成 11 年 10 月 | 一部改訂 | | |
| 11. 平成 13 年 6 月 | 一部改訂 | | |
| 12. 平成 17 年 5 月 | 一部改訂 | | |
| 13. 平成 17 年 11 月 | 一部改訂 | | |
| 14. 平成 19 年 7 月 | 一部改訂 | | |
| 15. 平成 19 年 10 月 | 一部改訂 | | |
| 16. 平成 20 年 1 月 | 一部改訂 | | |
| 17. 平成 21 年 4 月 | 一部改訂 | | |
| 18. 平成 22 年 4 月 | 一部改訂 | | |
| 19. 平成 22 年 7 月 | 一部改訂 | | |
| 20. 平成 23 年 7 月 | 一部改訂 | | |

目次

ページ	名 称	備考
1-1	合流式布設標準図	
1-2	分流式布設標準図	
1-3	横浜市道路占用許可基準	
2-1	下水道用鉄筋コンクリート管B形規格図(1)(JSWAS A-1)	
2-2	下水道用鉄筋コンクリート管B形規格図(2)(JSWAS A-1)	
2-3	下水道用鉄筋コンクリート管NB形規格図(JSWAS A-1)	
2-4	下水道用鉄筋コンクリート管NC形規格図(JSWAS A-1)	
2-5	下水道用硬質塩化ビニル管規格図(1)《直管》(JSWAS K-1)	
2-6	下水道用硬質塩化ビニル管規格図(2)《受口》(JSWAS K-1)	
2-7	下水道用硬質塩化ビニル管規格図(3)《30度曲管、カラー》(JSWAS K-1)	
2-8	下水道用硬質塩化ビニル管規格図(4)《枝付管用支管、90度及び管軸60度支管》(JSWAS K-1)	
2-9	下水道用硬質塩化ビニル管規格図(5)《鉄筋コンクリート管及び陶管用A形90度、60度支管、副管用90度支管》(JSWAS K-1)	
2-10	下水道用硬質塩化ビニル管規格図(6)《90度曲管、マンホール継手》(JSWAS K-1)	
2-11	下水道用硬質塩化ビニル管規格図(7)《副管分岐用マンホール継手及びます取付け継手》(JSWAS K-1)	
2-12	下水道用強化プラスチック複合管規格図(1)(JSWAS K-2)	修正
2-13	下水道用強化プラスチック複合管規格図(2)(JSWAS K-2)	
2-14	下水道用強化プラスチック複合管規格図(3)《マンホール短管》(JSWAS K-2)	
3-1	下水道用鉄筋コンクリート管B形布設図(内径200mm～1350mm)	
3-2	下水道用鉄筋コンクリート管B形布設寸法表及び材料表(内径200mm～1350mm)	
3-3	下水道用鉄筋コンクリート管NC形布設図(内径1500mm～2000mm)	
3-4	下水道用鉄筋コンクリート管NC形布設寸法表及び材料表(内径1500mm～2000mm)	
3-5	下水道用硬質塩化ビニル管(内径200mm～600mm)及び強化プラスチック複合管(内径700mm～2000mm)布設図	
3-6	下水道管理設明示方式	
4-1	取付管布設図	
5-1	第1種組立人孔構造図(JSWAS A-11)	
5-2	第2種組立人孔(タイプA)構造図(JSWAS A-11)	
5-3	第2種組立人孔(タイプB)構造図(JSWAS A-11)	

目次

ページ	名 称	備考
5-4	第3種組立人孔構造図(JSWAS A-11)	
5-5	第4種組立人孔構造図(JSWAS A-11)	
5-6	第5種組立人孔構造図(JSWAS A-11)	
5-7	調整リング上部及び下部の両端面並びにこれと接合する部材の上端部の寸法の許容差	
5-8	人孔インバート図(D1<D2<D3)	
6-1	人孔副管	
7-1	人孔ダクタイル蓋種別図	
7-2	人孔ダクタイル蓋構造図(φ600mm)A型・B型	
7-3	人孔ダクタイル蓋構造図(φ900-600mm)	
7-4	人孔ダクタイル蓋用管理番号キャップ構造図	
7-5	歩道設置用鉄蓋構造図	
7-6	歩道設置用鉄蓋設置図	
7-7	人孔蓋蝶番位置図	
8-1	合流式足掛け金物設置図	
8-2	分流式足掛け金物設置図	
8-3	足掛金物詳細図	
8-4	安全ネット詳細図	
9-1	接続柵紋章種別表	
9-2	タイプ1接続汚水柵構造図(φ450)(宅地外)	
9-3	タイプ2接続汚水柵構造図(φ600)	
9-4	タイプ3接続汚水柵構造図(φ700)	
9-5	タイプ4接続汚水柵構造図(φ450)	
9-6	タイプ7接続雨水柵構造図(φ450)(宅地外)	
9-7	タイプ8接続雨水柵構造図(φ600)	
9-8	タイプ9接続雨水柵構造図(φ700)	
9-9	タイプ10接続雨水柵構造図(φ450)	
9-10	接続雨水浸透柵構造図(宅地内用φ300)(下流側がLU型側溝の場合)	

目次

ページ	名 称	備考
9-11	接続雨水浸透ます(タイプ1)構造図	
9-12	接続雨水浸透ます(タイプ2)構造図	
9-13	接続雨水浸透ます(タイプ3・4)ふた等構造図	
9-14	接続雨水浸透ます(タイプ3)構造図	
9-15	接続雨水浸透ます(タイプ4)構造図	
9-16	雨水浸透ます(タイプ1・2)ふた等構造図	
9-17	雨水浸透ます(タイプ1)構造図	
9-18	雨水浸透ます(タイプ2)構造図	
9-19	樹脂製接続ます施工標準図(JSWAS K-7)	
9-20	樹脂製接続ます設置例及びふた構造図(JSWAS K-7)	
9-21	タイプ1, 7接続樹縁塊及び蓋構造図(1)(φ450用)	
9-22	タイプ2, 3, 8, 9接続樹縁塊及び蓋構造図(2)(φ600, φ700用)	
9-23	タイプ1雨水樹布設図	
9-24	タイプ2雨水樹布設図	
9-25	タイプ3雨水樹布設図	
9-26	雨水樹蓋構造図	
9-27	性能規定型雨水樹蓋構造図	
9-28	雨水樹用縁塊、受枠、構造図(タイプ1-A)	
9-29	雨水樹用縁塊、受枠、構造図(タイプ1-B)	
9-30	雨水樹用縁塊、受枠、構造図(タイプ2)	
9-31	雨水樹用(排水性舗装)縁塊、受枠、構造図(タイプ1-A)	
9-32	雨水樹用(排水性舗装)縁塊、受枠、構造図(タイプ1-B)	
9-33	雨水樹用(排水性舗装)縁塊、受枠、構造図(タイプ2)	
10-1	L型側溝布設図	
10-2	L型側溝と上層路盤との調整方法	
10-3	地先境界ブロック構造図	
10-4	LU型側溝布設図(LU-240)(1)	

目次

ページ	名 称	備考
10-5	LU型側溝布設図(LU-240)(2)	
10-6	LU型側溝布設図(LU-300)(1)	
10-7	LU型側溝布設図(LU-300)(2)	
10-8	LU型側溝用中間柵(1)構造図(T-7)(タイプ1, 5用)	
10-9	LU型側溝用中間柵(2)構造図(T-20用)(タイプ3, 7用)	
10-10	LU型側溝用中間柵(3)構造図(T-20用)(タイプ4, 8用)	
10-11	LU型側溝用取付柵(1)構造図(T-7用)(タイプ1, 5用)	
10-12	LU型側溝用取付柵(2)構造図(T-20用)(タイプ3, 7用)	
10-13	LU型側溝用取付柵(3)構造図(T-20用)(タイプ4, 8用)	
10-14	LU型側溝用L型ブロッカー一般部構造図(T-7用)(タイプ1, 5用)	
10-15	LU型側溝用L型ブロッカー一般部構造図(T-20用)	
10-16	LU型側溝用中間柵構造図	
10-17	LU型側溝用取付柵構造図	
10-18	LU型側溝用L型ブロック雨水柵蓋取付部構造図(T-7)(タイプ1, 5用)	
10-19	LU型側溝用L型ブロック雨水柵蓋取付部構造図(T-20)	
10-20	LO型側溝(タイプ1)布設図(複断面BCD交通用)	
10-21	LO型側溝(タイプ2)布設図(複断面ALR交通用)	
10-22	LO型側溝(タイプ3)布設図(単断面ABC交通用)	
10-23	LO型側溝(タイプ4)布設図(単断面ALR交通用)	
10-24	LO型側溝用柵(タイプ1)構造図(複断面BCD交通用)	
10-25	LO型側溝用柵(タイプ2)構造図(複断面ALR交通用)	
10-26	LO型側溝用柵(タイプ3)構造図(複断面ABC交通用)	
10-27	LO型側溝用柵(タイプ4)構造図(単断面ALR交通用)	
10-28	U形側溝布設図	
10-29	U形側溝(補強付)構造図	
10-30	U形側溝(補強付)構造図(蓋付き)	
11-1	横断暗渠布設図(1)T-25(神奈川県コンクリート製品共同組合型TYPE I)	

目次

ページ	名 称	備考
11-2	横断暗渠布設図(2)T-14(神奈川県コンクリート製品共同組合型TYPE II・呼び名240~450)	
12-1	タイプ1及びタイプ2集水樹構造図	修正
12-2	タイプ3集水樹構造図	修正
12-3	タイプ1~タイプ3集水樹グレーチング構造図	
13-1	舗装復旧断面図(1)	
13-2	舗装復旧断面図(2)	
13-3	舗装復旧断面図(3)	
13-4	舗装復旧断面図(4)	
13-5	舗装復旧断面図(5)	
13-6	舗装復旧断面図(6)	
13-7	舗装復旧断面図(7)	
14-1	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(標準管)規格図・寸法表・外圧強さ及び寸法許容差表(JSWAS A-6)	
14-2	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(先頭管)規格図(JSWAS A-6)	
14-3	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管用カラー部規格図(JSWAS A-6)	
14-4	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(短管)規格図(JSWAS A-6)	
14-5	下水道推進工法用鉄筋コンクリート標準管規格図(JSWAS A-2)	
14-6	下水道推進工法用鉄筋コンクリート中押管S規格図(JSWAS A-2)	
14-7	下水道推進工法用鉄筋コンクリート中押管T規格図(JSWAS A-2)	
14-8	下水道推進工法用鉄筋コンクリート中押管S, T組合せ図(JSWAS A-2)	
14-9	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管ゴム輪(シール材)規格図(JSWAS A-2)	
14-10	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管緊結用埋込みナット部規格図(JSWAS A-2)	
14-11	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管目地溝規格図(JSWAS A-2)	
14-12	標準管緊結部材構造図	
14-13	下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図及び寸法表(1)(JSWAS K-6)	
14-14	下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図(2)(JSWAS K-6)	
14-15	下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図及び寸法表(3)(JSWAS K-6)	
14-16	下水道推進工法用ガラス繊維鉄筋コンクリート管(JSWAS A-8)	

目次

ページ	名 称	備考
15-1	下水道用鉄筋コンクリート製ボックスカルバート規格図(JSWAS A-12)	
15-2	下水道用プレストレストコンクリート製ボックスカルバート規格図(JSWAS A-13)	
16-1	下水道用ポリエチレン管規格図(1)《直管》(JSWAS K-14)	
16-2	下水道用ポリエチレン管規格図(2)《受口》(JSWAS K-14)	
17-1	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(1)《直管(UF形)》(JSWAS G-1)	
17-2	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(2)《直管(NS形)》(内径150mm~450mm)(JSWAS G-1)	
17-3	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(3)《直管(NS形)》(内径500mm~1000mm)(JSWAS G-1)	
17-4	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(4)《直管(S形)》(JSWAS G-1)	
17-5	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(5)《直管(US形)》(JSWAS G-1)	
17-6	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(6)《直管(GX形)》(JSWAS G-1)	
17-7	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(7)《フランジ短管及びフランジ長管》(JSWAS G-1)	
17-8	下水道用ダクタイル鋳鉄管規格図(8)《内面塗装及びモルタルライニング》(JSWAS G-1)	
17-9	下水道用ダクタイル鋳鉄管《ポリエチレンスリーブ》	

目次

ページ	名 称	備考
【参考図】		
参考図1-1	下水道用強化プラスチック複合管規格図(内径200mm～600mm)(JSWAS K-2)(1)	
参考図1-2	下水道用強化プラスチック複合管規格図(内径200mm～600mm)(JSWAS K-2)(2)	
参考図1-3	下水道用鉄筋コンクリート管B形・NB形・NC形はしご胴木基礎布設図(内径250mm～1800mm)	
参考図1-4	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(1)<直管>(JSWAS K-13)	
参考図1-5	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(2)(JSWAS K-13)	
参考図1-6	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(3)(JSWAS K-13)	
参考図1-7	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(4)<支管>(JSWAS K-13)	
参考図1-8	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(5)<受口>(JSWAS K-13)	
参考図1-9	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管布設図(呼び径150mm～450mm)	
参考図1-10	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管取付管布設図	
参考図2-1	第1種人孔構造図(1)	
参考図2-2	第1種人孔構造図(2)	
参考図2-3	第2種人孔構造図(1)	
参考図2-4	第2種人孔構造図(2)	
参考図2-5	第3種人孔構造図(1)	
参考図2-6	第3種人孔構造図(2)	
参考図2-7	第4種人孔構造図(1)	
参考図2-8	第4種人孔構造図(2)	
参考図2-9	第5種人孔構造図(1)	
参考図2-10	第5種人孔構造図(2)	
参考図2-11	B型・C型人孔構造図	
参考図2-12	人孔頂版構造詳細及び配筋図(1)	
参考図2-13	人孔頂版構造詳細及び配筋図(2)	
参考図2-14	人孔側塊構造図(JIS A 5372)	
参考図2-15	人孔井桁基礎構造図	
参考図2-16	角型組立人孔構造図(1000mm×600mm)(1)	

目次

ページ	名 称	備考
参考図2-17	角型組立人孔構造図(1000mm×600mm)(2)	
参考図2-18	角型組立人孔構造図(1000mm×600mm)(3)	
参考図2-19	人孔ダクタイル蓋構造図(φ600mm)カラー化粧用	
参考図2-20	人孔ダクタイル密閉蓋構造図(φ600mm, 4.0kg/cm ² 対応)	
参考図2-21	人孔ダクタイル密閉蓋構造図(φ900mm, 4.0kg/cm ² 対応)	
参考図2-22	人孔副管[硬質塩化ビニル管]内副管構造図	
参考図2-23	人孔副管[硬質塩化ビニル管]外副管構造図(1)	
参考図2-24	人孔副管[大口径管用]外副管構造図(2)	
参考図2-25	人孔外副管構造図(3)	
参考図3-1	タイプ1, 7接続樹ダクタイル蓋構造図(φ450mm用)	
参考図3-2	横断暗渠布設図T-14(神奈川県コンクリート製品共同組合型TYPE II・呼び名600)	
参考図3-3	雨水浸透柵蓋構造図	
参考図3-4	雨水柵蓋(タイプ1用)構造図	
参考図3-5	雨水柵蓋(タイプ2用)構造図	
参考図4-1	単条管掘削幅	
参考図4-2	二条管掘削幅(1)	
参考図4-3	二条管掘削幅(2)	
参考図4-4	二条管掘削幅(3)	
参考図4-5	二条管掘削幅(4)	
参考図4-6	二条管掘削幅(5)	
参考図4-7	二条管掘削幅(6)	
参考図4-8	二条管掘削幅(7)	
参考図4-9	二条管掘削幅(8)	
参考図4-10	二条管掘削幅(9)	
参考図4-11	二条管掘削幅(10)	
参考図4-12	二条管掘削幅(11)	
参考図4-13	二条管掘削幅(12)	

目次

ページ	名 称	備考
参考図4-14	二条管掘削幅(13)	
参考図4-15	二条管掘削幅(14)	
参考図4-16	二条管掘削幅(15)	
参考図4-17	二条管掘削幅(16)	
参考図4-18	二条管掘削幅(17)	
参考図4-19	二条管掘削幅(18)	
参考図4-20	二条管掘削幅(19)	
参考図5-1	立坑部覆工図	

目次

ページ	名 称	備考
【旧標準図】		
旧標準図1-1	下水道用鉄筋コンクリート管C形規格図(JSWAS A-1)	
旧標準図1-2	下水道用強化プラスチック複合管規格図(3)(JSWAS K-2)	
旧標準図1-3	下水道用陶管規格図(1)(JSWAS R-2)	
旧標準図1-4	下水道用陶管寸法表(直陶管, 30度曲陶管, 90度曲陶管)	
旧標準図1-5	下水道用陶管規格図(2)(JSWAS R-2)	
旧標準図1-6	下水道用陶管規格図(3)(JSWAS R-2)	
旧標準図1-7	下水道用陶管布設図(内径200mm～300mm)	
旧標準図1-8	下水道用陶管布設寸法及び材料表(内径200mm～300mm)	
旧標準図1-9	90度短支管(陶製)構造図(1)(内径φ150mm・200mm)	
旧標準図1-10	90度短支管(陶製)構造図(2)(内径φ150mm・200mm)	
旧標準図1-11	下水道管埋設明示方式(陶管)	
旧標準図1-12	取付管布設図(陶管)	
旧標準図2-1	下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図及び寸法表(リブカラー付き直管)(JSWAS K-6)	
旧標準図3-1	角型人孔構造図(1000mm×600mm)(1)	
旧標準図3-2	角型人孔構造図(1000mm×600mm)(2)	
旧標準図3-3	角型人孔構造図(1000mm×700mm)(1)	
旧標準図3-4	角型人孔構造図(1000mm×700mm)(2)	
旧標準図3-5	人孔ダクタイル蓋構造図(φ900mm)B型	
旧標準図3-6	人孔ダクタイル密閉蓋構造図(φ600mm、1.5kg/cm ² 対応)	
旧標準図3-7	人孔ダクタイル密閉蓋構造図(φ900mm、1.5kg/cm ² 対応)	
旧標準図3-8	人孔ダクタイル密閉蓋構造図(φ600mm、3.0kg/cm ² 対応)	
旧標準図3-9	人孔ダクタイル密閉蓋構造図(φ900mm、3.0kg/cm ² 対応)	
旧標準図3-10	人孔ダクタイル蓋アンカーボルト取付図(密閉蓋)	
旧標準図3-11	人孔副管[陶管]構造図(1)(副管径φ150mm、200mm、長曲管使用)	
旧標準図3-12	人孔副管[陶管]構造図(2)(副管径φ250mm、300mm、短曲管使用)	
旧標準図3-13	人孔副管[陶管]構造図(3)	

目次

ページ	名 称	備考
旧標準図3-14	角型組立人孔構造図(1000mm×700mm)(1)	
旧標準図3-15	角型組立人孔構造図(1000mm×700mm)(2)	
旧標準図3-16	角型組立人孔構造図(1000mm×700mm)(3)	
旧標準図4-1	タイプ1, 7接続樹ダクタイトイル蓋構造図(φ450mm)カラー化粧用	
旧標準図4-2	工場排水監視樹構造図(φ450)	
旧標準図4-3	工場排水監視樹構造図(φ600)	
旧標準図4-4	工場排水監視樹構造図(φ700)	
旧標準図4-5	工場排水監視樹縁塊及び蓋構造図(1)(φ450用)	
旧標準図4-6	工場排水監視樹縁塊及び蓋構造図(2)(φ600, φ700用)	
旧標準図4-7	LU型側溝布設図(LU-240)(タイプ2)	
旧標準図4-8	LU型側溝布設図(LU-300)(タイプ6)	
旧標準図4-9	LU型側溝用中間樹構造図(T-7用)(タイプ2, 6用)	
旧標準図4-10	LU型側溝用取付樹構造図(T-7用)(タイプ2, 6用)	
旧標準図4-11	LU型側溝用L型ブロッカー一般部構造図(T-7用)(タイプ2, 6用)	
旧標準図4-12	LU型側溝用L型ブロック雨水樹蓋取付部構造図(T-7)(タイプ2, 6用)	
旧標準図4-13	横断暗渠布設図(T-10)JIS型(JIS A5372)	
旧標準図4-14	雨水樹蓋(タイプ1用)構造図	
旧標準図4-15	雨水樹蓋(タイプ2用)構造図	
旧標準図4-16	雨水樹縁塊構造図	
旧標準図5-1	立坑図	
旧標準図5-2	立坑寸法及び規格表	
旧標準図5-3	推進設備図(1)	
旧標準図5-4	推進設備図(2)	
旧標準図5-5	推進設備図(3)	
旧標準図5-6	推進設備図(4)ジャッキ台数	
旧標準図5-7	標準刃口図	
旧標準図5-8	標準刃口質量表	

目次

ページ	名 称	備考
旧標準図5-9	標準押輪構造図	
旧標準図5-10	標準ストラット組立図	
旧標準図5-11	標準ストラット単体寸法図	
旧標準図5-12	標準ジャッキ台構造図	
旧標準図5-13	標準押角図	
旧標準図5-14	標準押角設置図(1)	
旧標準図5-15	標準押角設置図(2)	
旧標準図5-16	標準押角設置図(3)	
旧標準図5-17	標準推進台図	
旧標準図5-18	標準推進台設置図(1)	
旧標準図5-19	標準推進台設置図(2)	
旧標準図5-20	標準発進坑口図	
旧標準図5-21	標準発進坑口用グラウト止め輪図	
旧標準図5-22	坑内ずり出し設備	
旧標準図5-23	標準クレーン構造図(1)	
旧標準図5-24	標準クレーン構造図(2)	
旧標準図5-25	ミキシングプラント概要図	
旧標準図5-26	作業台等構造例	

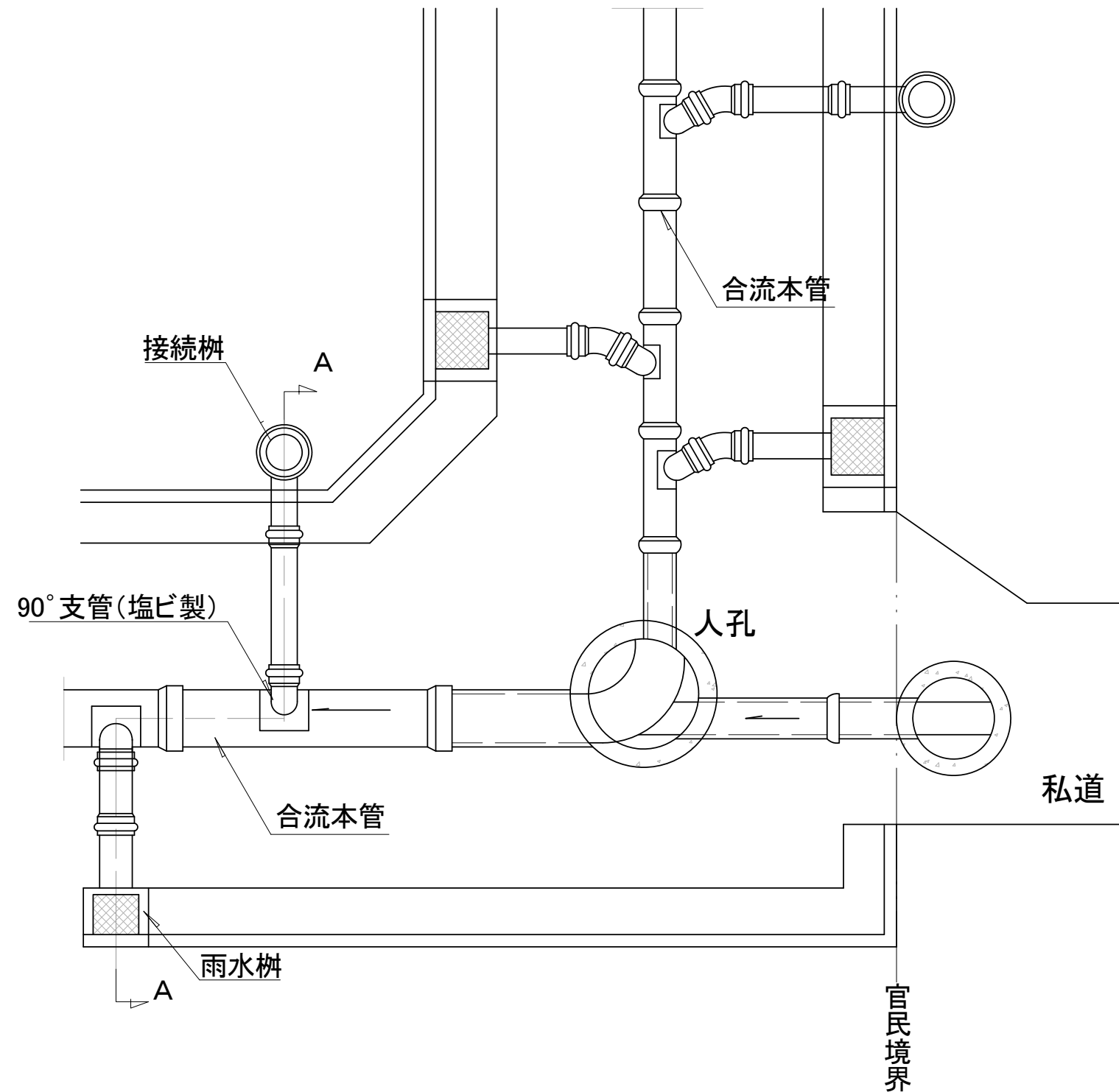
(備考)コンクリート表示記号〔18-8〕

18-----設計強度(N/mm²)

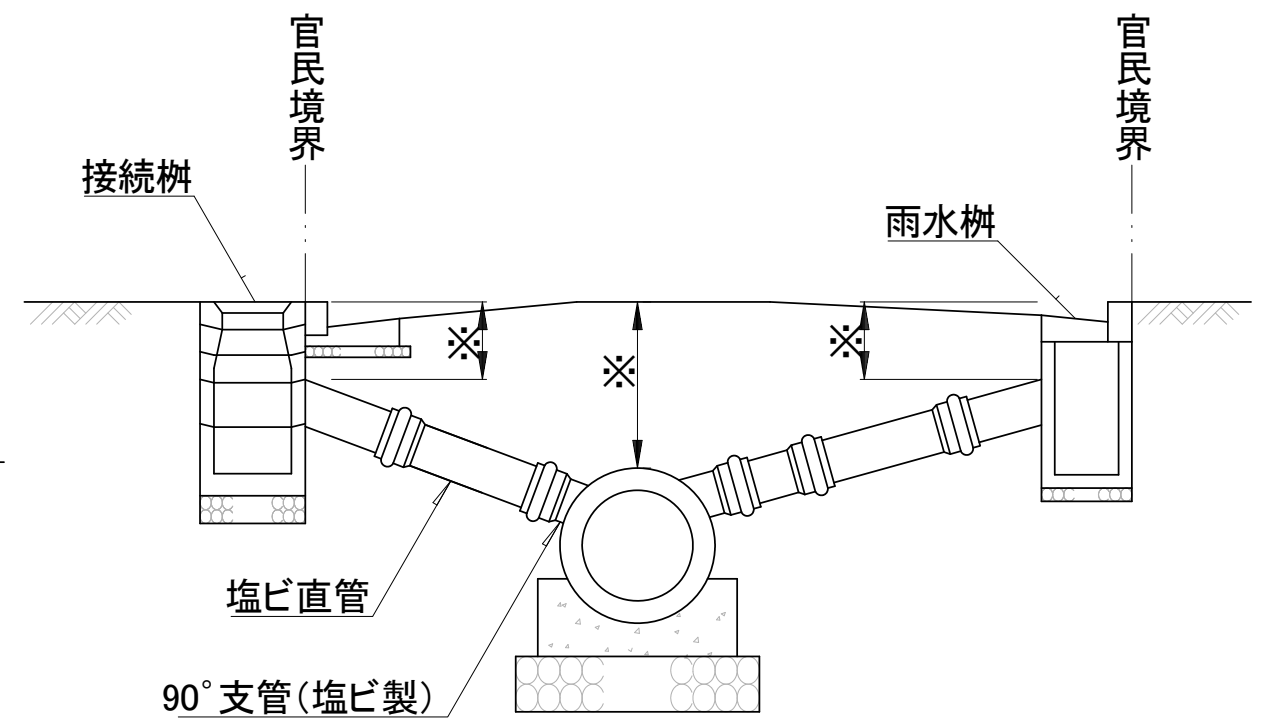
8-----スランプ(cm)

※骨材は25mmを使用

平面図



A-A断面

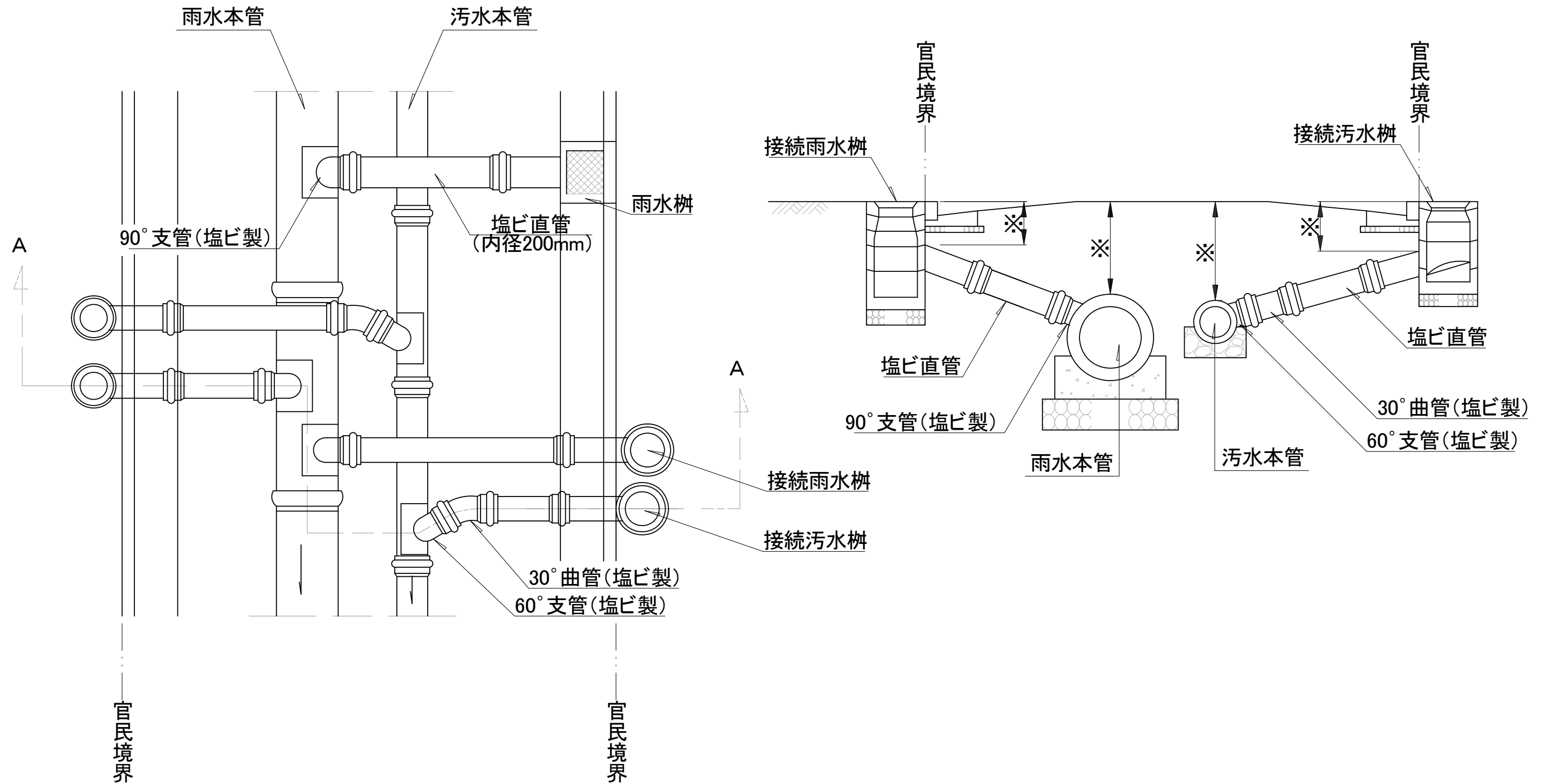


- 特記事項
1. 土被り(*)は、横浜市道路占用許可基準による。(1-3参考)
 2. 合流本管理設位置は、道路管理者と協議すること。

合流式布設標準図

平面図

A-A断面



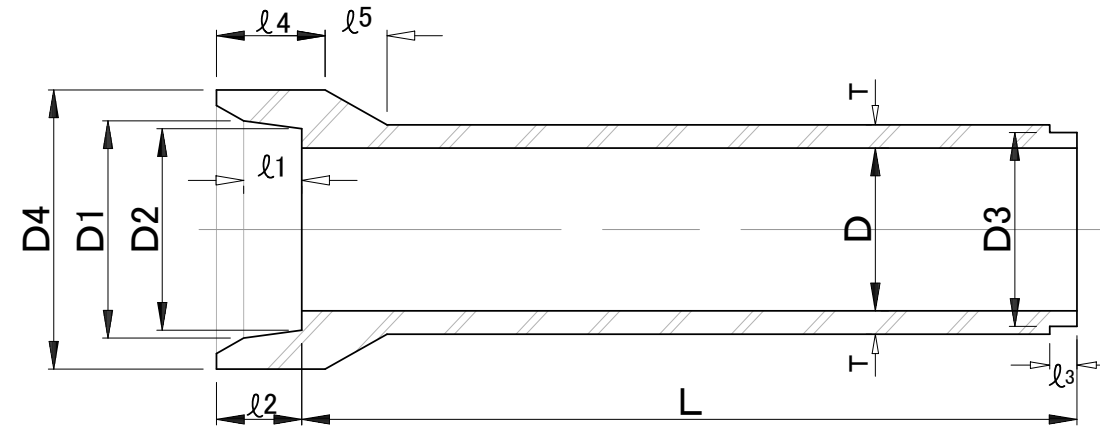
特記事項

1. 土被り(※)は、横浜市道路占用許可基準による。(1-3参照)
2. 汚水本管、雨水本管の埋設位置は、道路管理者と協議すること。
3. 鉄筋コンクリート管の取付管間隔は50cm以上とする。

分流式布設標準図

占用位置(車道部)		占用位置(歩車道部)			
対象管路	土被り	対象管路	土被り		
・口径450mmを越える下水道管	1.5m以上	・口径300mmを超え450mm以下の下水道管	1.3m以上		
		次に掲げる下水道管 ・ダクティル鑄鉄管(JIS G 5526)300mm以下 ・強化プラスチック複合管(JIS A 5350)300mm以下 ・硬質塩化ビニル管(JIS K 6741)300mm以下 ・外圧2種ヒューム管(JIS A 5303)300mm以下 ※ただし、B、A、L、L交通未満、歩道の土被りは1.0m以上とする。	交通別舗装構成		
			D交通	1.2m以上	
			C交通	1.1m以上	
			B交通	0.9m以上	
			A交通		
			L交通	0.7m以上	
			L交通未満	0.6m以上	
歩道					

特記事項		横浜市道路占用許可基準
------	--	-------------



寸法及び寸法の許容差及び外圧強さ表

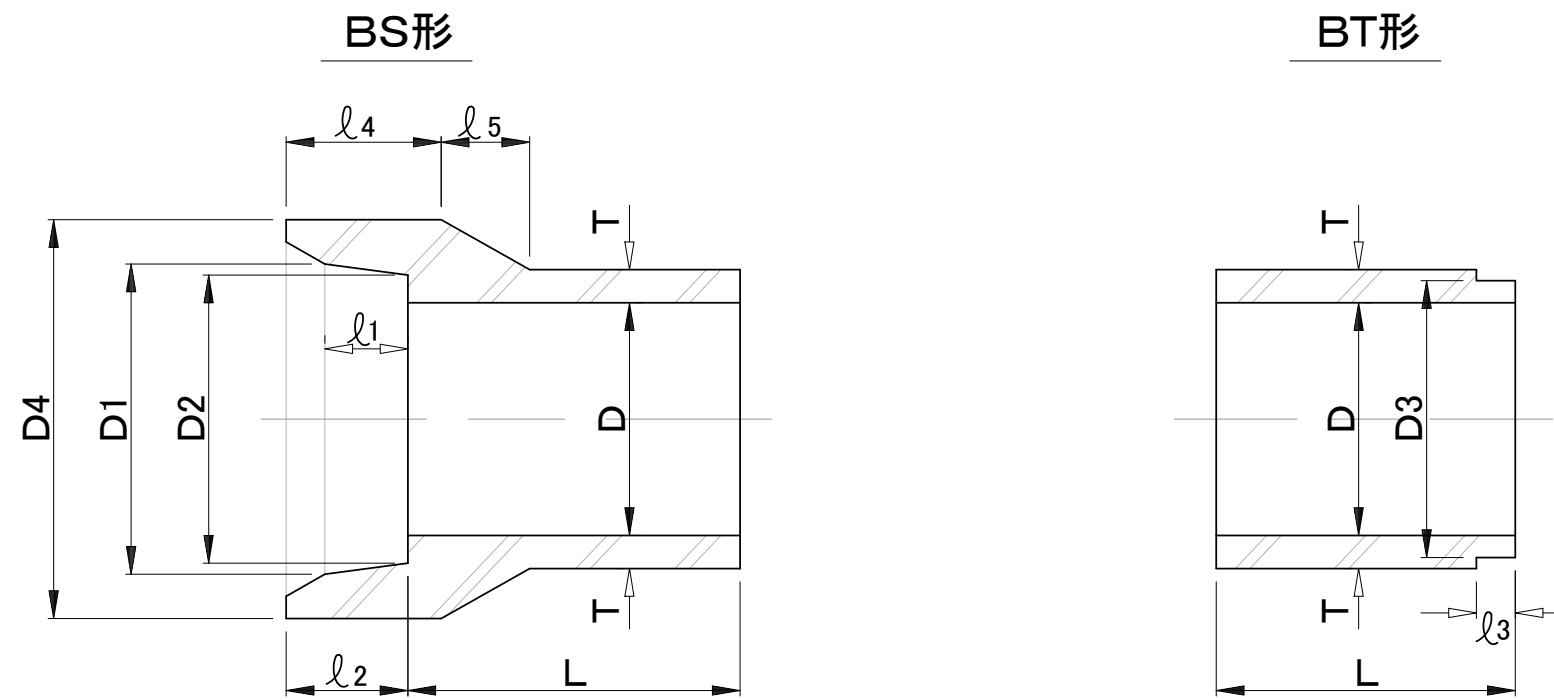
(単位:mm)

呼び径	D	D1	D2	D3	D4	T	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	l ₅	L	参考質量	外圧強さ (kN/m)					
														ひび割れ荷重		破壊荷重			
														1種	2種	1種	2種		
200	200	±3	262	258	246	316	27	+3	65	90	32	115	55	2000	103 kg/本	16.7	23.6	25.6	47.1
250	250	±3	314	310	298	370	28	-2	65	90	32	120	60	2000	131	16.7	23.6	25.6	47.1
300	300	±2	368	364	350	424	30	±2	65	90	36	120	60	2000	165	17.7	25.6	26.5	51.1
350	350	±2	422	418	404	482	32	±2	65	90	36	120	65	2000	204	19.7	27.5	29.5	55.0
400	400	±4	478	474	460	544	35	±4	70	95	36	125	70	2430	306	21.6	32.4	32.4	62.8
450	450	±4	534	530	516	606	38	±4	70	95	36	125	75	2430	373	23.6	36.3	35.4	66.8
500	500	±4	592	588	574	672	42	±4	70	95	36	130	85	2430	459	25.6	41.3	38.3	70.7
600	600	±5	708	704	690	804	50	±5	75	100	36	135	100	2430	660	29.5	49.1	44.2	77.5
700	700	±5	824	820	802	936	58	±5	75	105	40	140	115	2430	899	32.4	54.0	49.1	85.4
800	800	±5	940	936	918	1068	66	±5	80	110	40	150	130	2430	1170	35.4	58.9	53.0	93.2
900	900	±5	1058	1054	1036	1204	75	±5	85	115	40	160	150	2430	1520	38.3	63.8	57.9	101
1000	1000	±6	1172	1168	1150	1332	82	±6	96	120	40	165	165	2430	1850	41.3	68.7	61.9	108
1100	1100	±6	1286	1282	1260	1458	88	±6	100	125	42	175	175	2430	2190	43.2	72.6	65.8	113
1200	1200	±6	1400	1396	1374	1586	95	±6	104	130	42	185	190	2430	2600	45.2	75.6	71.7	118
1350	1350	±6	1566	1562	1540	1768	103	±6	108	135	42	195	205	2430	3190	47.1	79.5	81.5	126

特記事項

下水道用鉄筋コンクリート管B形
規格図(1)
(JSWAS A-1)

短管



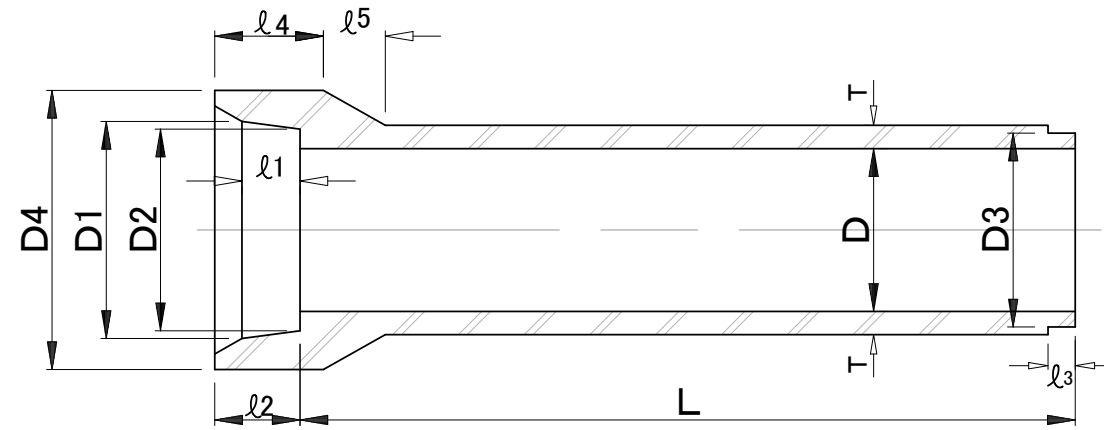
寸法表

(単位: mm)

呼び径	内径 D	D1	D2	D3	D4	厚さ T	l1	l2	l3	l4	l5	有効長 L
200	200±3	262±2	258	246±2	316	27 ⁺³ / ₋₂	65	90±5	32±4	115	55	500±5
250	250±3	314±2	310	298±2	370	28 ⁺³ / ₋₂				120	60	
300	300±4	368±2	364	350±2	424	30 ⁺⁴ / ₋₂			65			
350	350±4	422±2	418	404±2	482	32 ⁺⁴ / ₋₂	70	95±5		36±4	125	70
400	400±4	478±2	474	460±2	544	35 ⁺⁴ / ₋₂			75			
450	450±4	534±2	530	516±2	606	38 ⁺⁴ / ₋₂						

特記事項

下水道用鉄筋コンクリート管B形
規格図(2)
(JSWAS A-1)



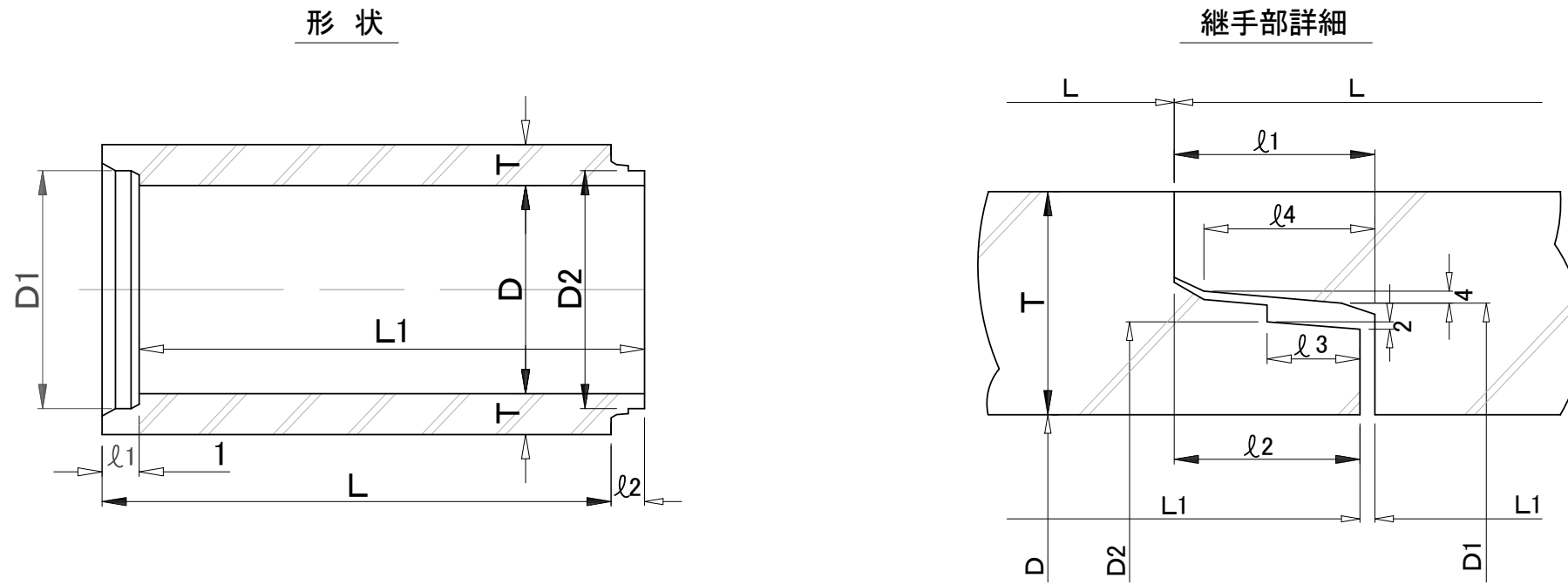
規格寸法及び外圧強さ及び寸法許容差表

(単位: mm)

呼び径	内径 D	D1	D2	D3	D4	厚さ T	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	l ₅	有効長 L	参考質量	外圧強さ (kN/m)					
														ひび割れ荷重			破壊荷重		
														1種	2種	3種	1種	2種	3種
200	200±3	262±2	258	246±2	316	27 ⁺³ ₋₂	72	90±5	32±4	115	55	2000 ⁺¹⁰ ₋₅	103 kg/本	16.7	23.6	—	25.6	47.1	—
250	250±3	314±2	310	298±2	370	28 ⁺³ ₋₂								131	16.7	23.6	—	25.6	47.1
300	300±4	368±2	364	350±2	424	30 ⁺⁴ ₋₂	76	95±5	36±4	120	60	2430 ⁺¹⁰ ₋₅	165	17.7	25.6	—	26.5	51.1	—
350	350±4	422±2	418	404±2	482	32 ⁺⁴ ₋₂								204	19.7	27.5	—	29.5	55.0
400	400±4	478±2	474	460±2	544	35 ⁺⁴ ₋₂	86	100±5	36±4	125	70	2430 ⁺¹⁰ ₋₅	306	21.6	32.4	—	32.4	62.8	—
450	450±4	534±2	530	516±2	606	38 ⁺⁴ ₋₂								373	23.6	36.3	—	35.4	66.8
500	500±4	592±2	588	574±2	672	42 ⁺⁴ ₋₂	90	110±5	40±5	130	85	2430 ⁺¹⁰ ₋₅	459	25.6	41.3	—	38.3	70.7	—
600	600±4	708±2	704	690±2	804	50 ⁺⁴ ₋₂								660	29.5	49.1	—	44.2	77.5
700	700±4	824 ⁺³ ₋₂	820	802 ⁺³ ₋₂	936	58 ⁺⁴ ₋₂	90	115±5	40±5	140	115	2430 ⁺¹⁰ ₋₅	899	32.4	54.0	—	49.1	85.4	—
800	800±4	940 ⁺³ ₋₂	936	918 ⁺³ ₋₂	1068	66 ⁺⁴ ₋₂								1170	35.4	58.9	—	53.0	93.2
900	900±4	1058 ⁺³ ₋₂	1054	1036 ⁺³ ₋₂	1204	75 ⁺⁴ ₋₂	115±5	160	150	1520	38.3	63.8	—	57.9	101	—			

特記事項

下水道用鉄筋コンクリート管NB形
規格図
(JSWAS A-1)



規格寸法表及び外圧強さ表

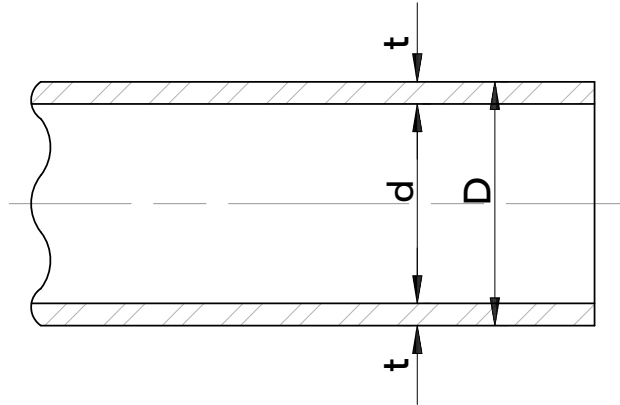
(単位:mm)

呼び径	内径 D	D1	D2	厚さ T	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	有効長 L	L1	参考質量	外圧強さ (kN/m)								
												ひび割れ荷重			破壊荷重					
												1種	2種	3種	1種	2種	3種			
1500	1,500	±8	1,632	1,598	140	+8 -4	120 ±2	115 ±2	55	105	2,300	+10 -5	2,295	4,050kg/本	50.1	83.4	110	91.3	134	165
1650	1,650		1,792	1,758										150	4,760kg/本	53.0	88.3	117	102	143
1800	1,800	±3	1,950	1,916	160	±2	120 ±2	115 ±2	55	105	2,300	+10 -5	2,295	5,530kg/本	56.0	93.2	123	111	151	185
2000	2,000		2,164	2,130										175	6,710kg/本	58.9	98.1	130	118	161
2200	2,200	±10	2,378	2,344	190	+10 -5	120 ±2	115 ±2	55	105	2,300	+10 -5	2,295	8,010kg/本	61.9	104	137	124	172	206
2400	2,400		2,594	2,550										205	9,400kg/本	64.8	108	143	130	183
2600	2,600	±12	2,808	2,764	220	+12 -6	135 ±2	130 ±2	65	120	2,300	+10 -5	2,295	10,900kg/本	67.7	113	150	136	193	224
2800	2,800		3,022	2,978										235	12,600kg/本	70.7	118	155	142	204
3000	3,000	±4	3,236	3,192	250	±3	135 ±2	130 ±2	65	120	2,300	+10 -5	2,295	14,300kg/本	73.6	123	162	148	213	244

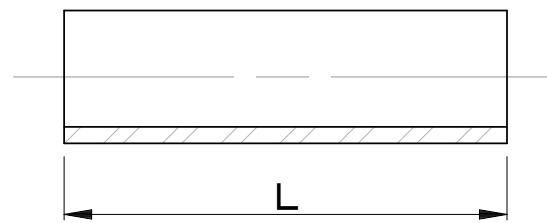
特記事項

下水道用鉄筋コンクリート管NC形
規格図
(JSWAS A-1)

直管部共通寸法



プレーンエンド直管



直管部共通寸法表

(単位:mm)

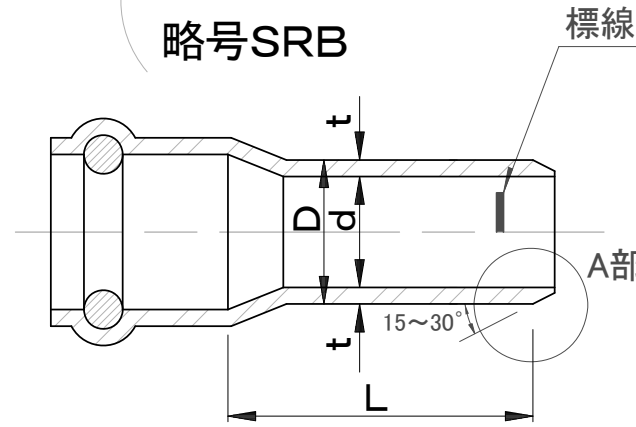
呼び径	外 径		管 厚		近似内径 d	参考質量 (kg/m)
	D	平均外径の 許容差	t	許容差		
150	165.0	±0.5	5.1	+0.8	154.0	3.941
200	216.0	±0.7	6.5	+1.0	202.0	6.572
250	267.0	±0.9	7.8	+1.2	250.2	9.758
300	318.0	±1.0	9.2	+1.4	298.2	13.701
350	370.0	±1.2	10.5	+1.4	347.6	18.051
400	420.0	±1.3	11.8	+1.6	394.8	23.059
450	470.0	±1.5	13.2	+1.8	441.8	28.875
500	520.0	±1.6	14.6	+2.0	488.8	35.346
600	630.0	±3.2	17.8	+2.8	591.6	52.679

片受け直管寸法(本管及び取付管用)

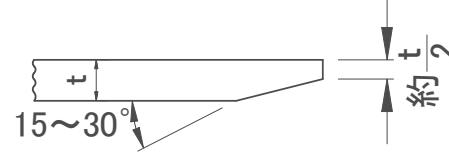
ゴム輪受口

略号SRA

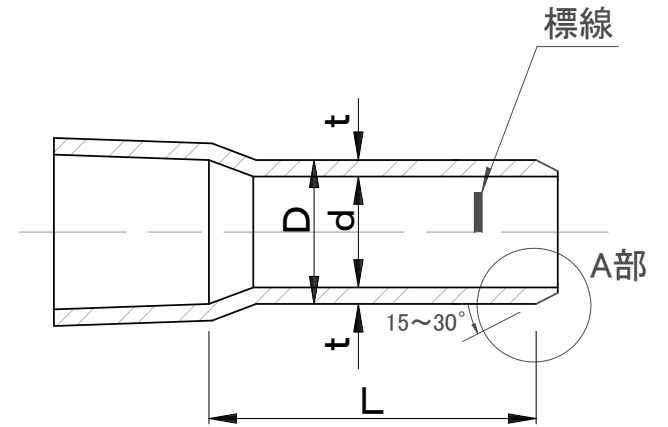
略号SRB



A部詳細図



接着受口(略号ST)



片受け直管寸法表(本管及び取付管用)

(単位:mm)

呼び径		L		
		ゴム輪受口片受け直管	接着受口片受け直管	プレーンエンド直管
取付管	150	800±10 4000±15 (略号 SRB)	4000±15 (略号 ST)	4000±10
	200			
本 管	200	4000±15 (略号 SRA)	4000±15 (略号 ST)	4000±10
	250			
	300			
	350			
	400			
	450			
500				
600				

特記事項

- ・ 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
- ・ 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm³で算出したものである。

下水道用硬質塩化ビニル管
規格図(1)《直管》
(JSWAS K-1)

ゴム輪受口共通寸法

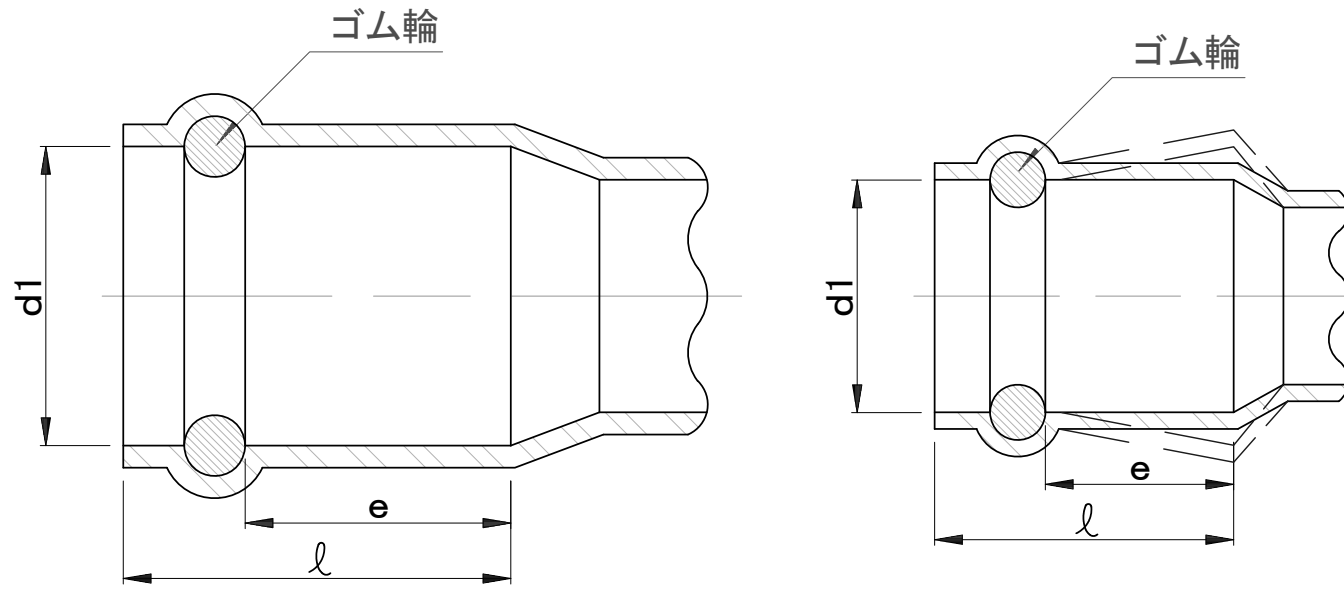
接着受口共通寸法

本管用

取付け管用

接着受口A形

接着受口B形



ゴム輪受口共通寸法表

(単位:mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)	
				取付管
取付管	150	166.0	58	108
	200	218.0	69	126
本管	200	216.9	54	185
	250	268.1	59	205
	300	319.3	62	225
	350	371.5	67	240
	400	421.7	72	260
	450	471.9	77	285
	500	522.1	82	305
	600	633.8	93	355

- ・破線で示す形状にすることもできる。
- ・ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。

接着受口共通寸法表

(単位:mm)

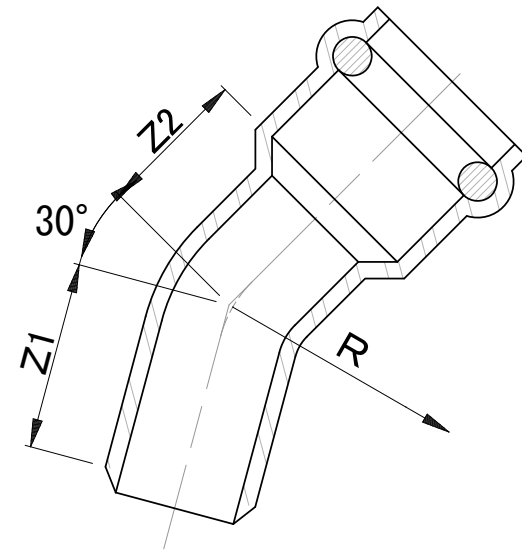
呼び径	受口内径				受口長さ	
	d1	許容差	d2	許容差	l	許容差
150	166.1	±0.5	163.9	±0.5	80	±5
200	217.4	±0.6	214.6	±0.6	115	±10
250	268.6	±0.6	265.4	±0.6	140	±10
300	319.8	±0.7	316.2	±0.7	165	±10
350	372.0	±0.7	368.7	±0.7	200	±10
400	422.3	±0.8	418.4	±0.8	220	±10
450	472.6	±0.9	468.1	±0.9	250	±10
500	522.8	±0.9	518.2	±0.9	280	±10
600	634.3	±1.1	626.7	±1.1	330	±10

・破線で示す形状にすることもできる。

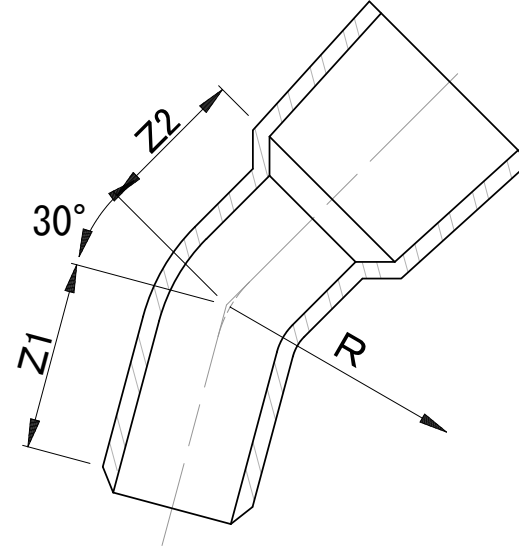
特記事項

下水道用硬質塩化ビニル管
規格図(2)《受口》
(JSWAS K-1)

ゴム輪受口(略号30SR)



接着受口(略号30ST)



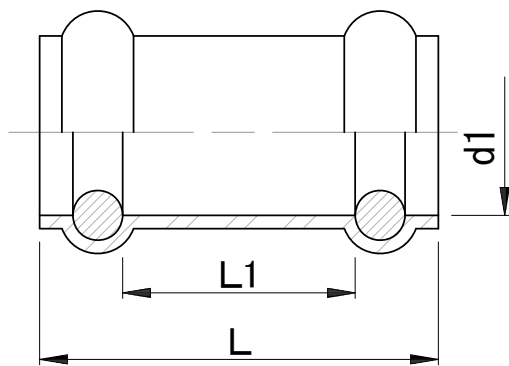
30度曲管(取付管用)

(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2 (最小)
150	159±15	15
200	187±15	25

(注)ゴム輪受口は、取付け管形とする。

ゴム輪受口カラー(略号WR)



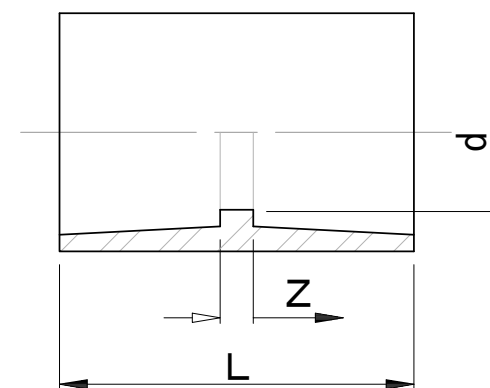
(単位:mm)

呼び径	L (最大)	L1 (最小)	d1 (最小)
150	220	86	165.7
200	250	107	216.9

(注)d1の寸法は、本管形と同一である。

接着受口カラー(取付管用)(略号WTB)

(単位:mm)



呼び径	L	Z	d (参考)
150	165±10	5±2	154
200	235±20	5±2	202

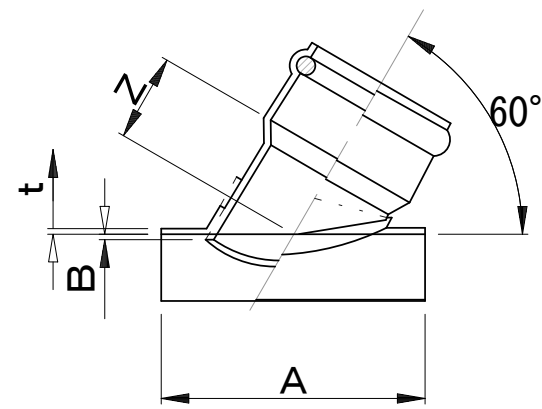
特記事項

下水道用硬質塩化ビニル管
規格図(3)《30度曲管、カラー》
(JSWAS K-1)

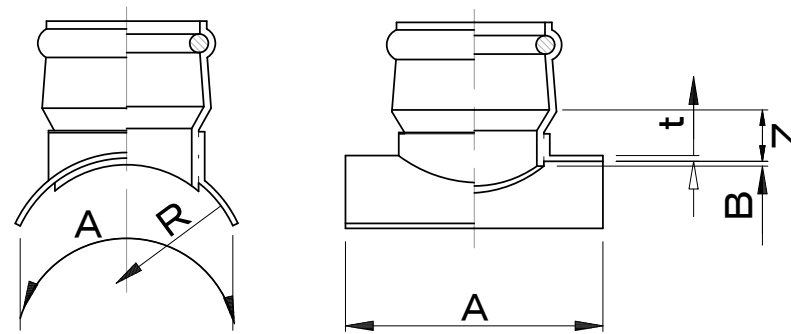
硬質塩化ビニル管用
90度及び管軸60度支管(取付管用)

枝付鉄筋コンクリート管及び陶管用支管(取付管用)(略号RH)

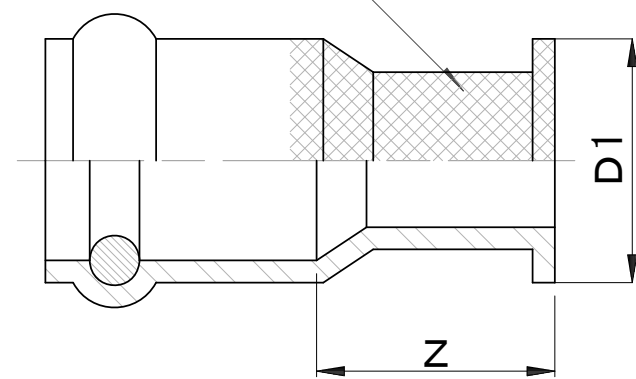
管軸60度(略号K60SVR)



90度(略号90SVR)



砂付け又はシボ加工



硬質塩化ビニル管用90度及び60度支管寸法表(取付管用)

枝付鉄筋コンクリート管及び陶管用支管寸法表(取付管用)

呼び径	Z		t 最小	A 最小	B 最大	R 標準	呼び径	Z		t 最小	A 最小	B 最大	R 標準
	90度	60度						90度	60度				
200-150	50	95	4	300	6.5	108	400-200	50	110	4	300	11.8	210
250-150	50	95					450-150	50	95				
250-200	50	110	4	300	7.8	133.5	450-200	50	110	4	300	13.2	235
300-150	50	95					500-150	50	95				
300-200	50	110	4	300	9.2	159	500-200	50	110	4	300	14.6	260
350-150	50	95					600-150	50	95				
350-200	50	110	4	300	10.5	185	600-200	50	110	4	300	17.8	315
400-150	50	95											

(単位:mm)

(単位:mm)

呼び径	D1	Z
150	198±5	80±15
200	248±5	80±15

注) ゴム輪受口は取付け管形とする。

注) Zの許容差は±15mmとする。
破線で示す形状にすることもできる。
ゴム輪受口は、取付け管形とする。

特記事項

・シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凹凸を付ける加工をいう。

下水道用硬質塩化ビニル管
規格図(4)
《枝付管用支管、90度及び管軸60度支管》
(JSWAS K-1)

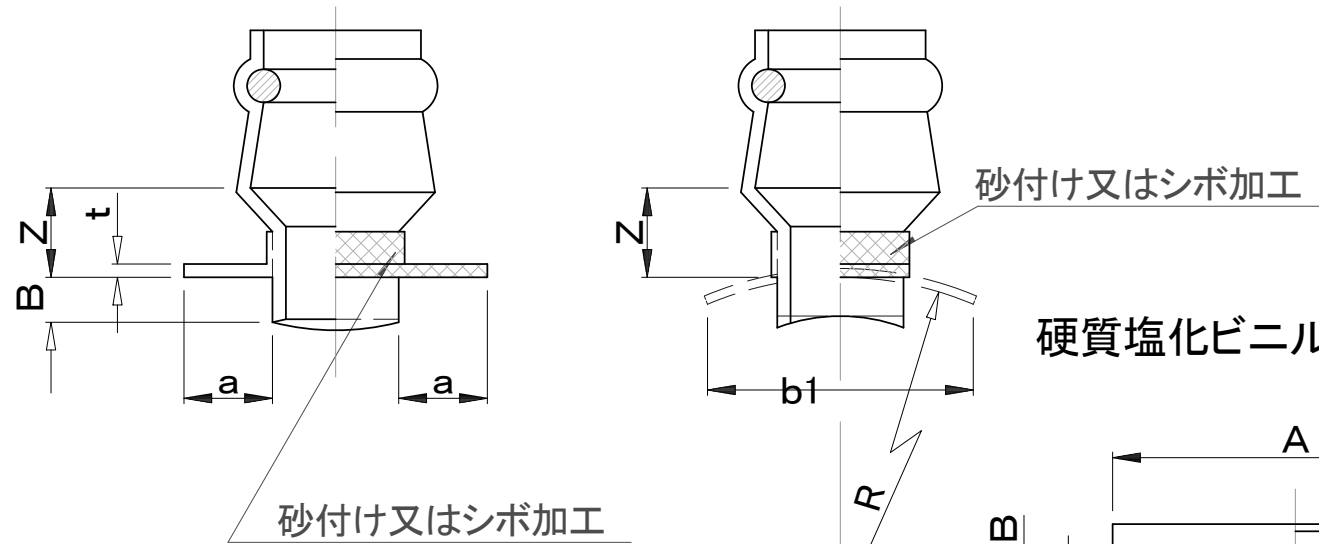
A形90度支管(略号A90SHR)

鉄筋コンクリート管及び陶管用A形90度、60度支管寸法表

[取付管用]

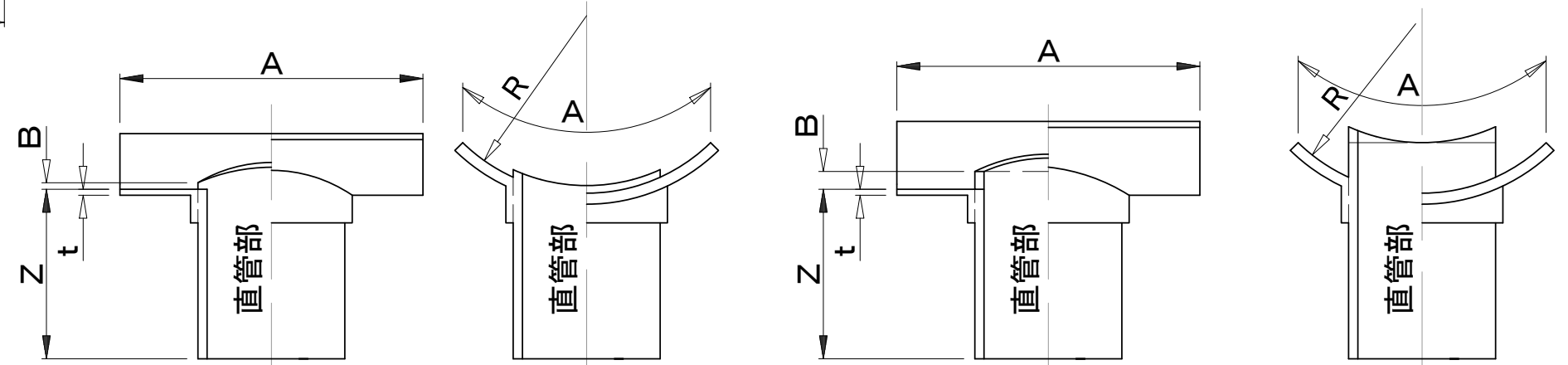
(単位:mm)

呼び径	Z	t	a	b1	B
	90度	(最小)	(最小)	(最小)	(最大)
φ150	50±15	4	35	100	25
φ200	50±15	4	35	140	25



硬質塩化ビニル管用副管90度支管(略号VS)

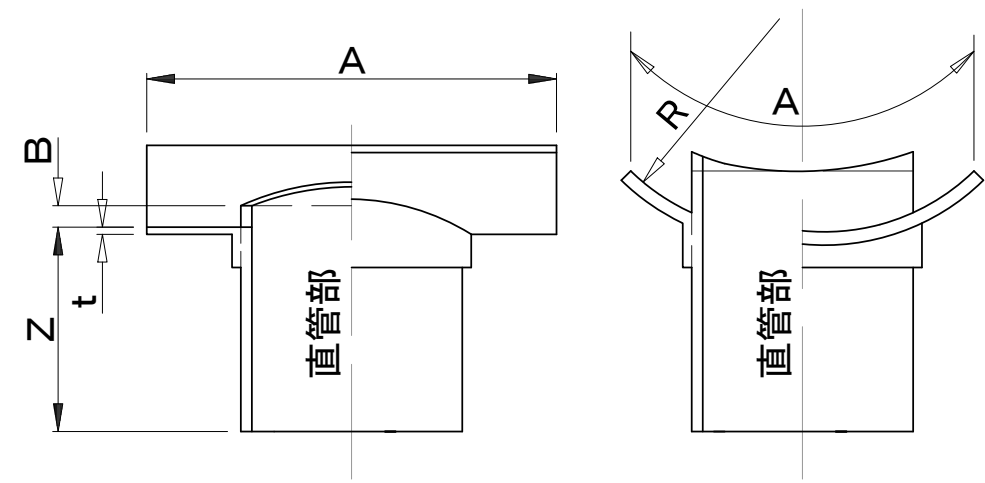
鉄筋コンクリート管用副管90度支管(略号HS)



強化プラスチック複合管用副管90度支管(略号KS)

副管用90度支管寸法表

(単位:mm)



呼び径	Z	t (最小)	硬質塩化ビニル用(VS)			鉄筋コンクリート用(HS)			強化プラスチック複合管用(KS)		
			A (最小)	B (最大)	R	A (最小)	B (最大)	R	A (最小)	B (最大)	R
200-150	140	4	300	6.5	108	255	25	127			
250-200	160	4	300	7.8	133.5	300	26	153			
300-200	160	4	300	9.2	159	300	28	180			
350-200	160	4	300	10.5	185	300	30	207			
400-250	200	4	300	11.8	210	350	33	235			
450-250	200	4	300	13.2	235	350	36	263			
500-250	200	4	350	14.6	260	350	40	292			
600-300	220	4	350	17.8	315	400	48	350	400	12	312

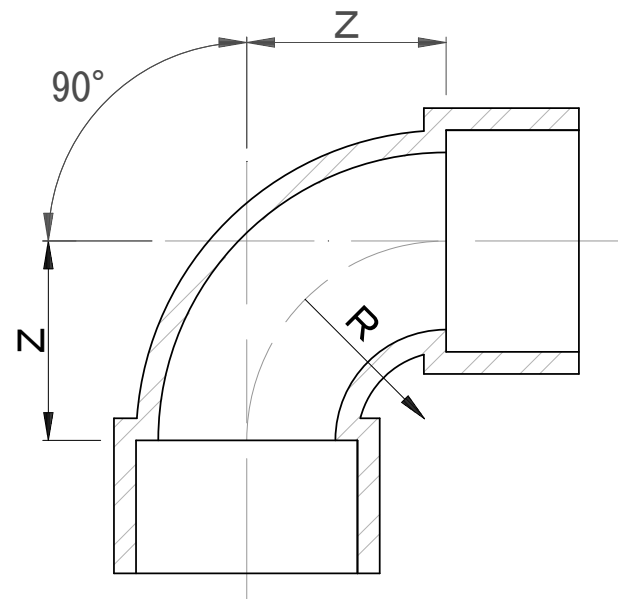
- 注) 1.呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
 2.Zの許容差は、±10mmとする。
 3.Rは、標準値を示す。
 4.強化プラスチック複合管の本管呼び径500以下については、硬質塩化ビニル管用副管90度支管を使用する。

特記事項

・シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凹凸を付ける加工をいう。

下水道用硬質塩化ビニル管
 規格図(5)《鉄筋コンクリート管及び陶管用
 A形90度、60度支管、副管用90度支管》
 (JSWAS K-1)

90度曲管(副管用)
(略号 90ST)



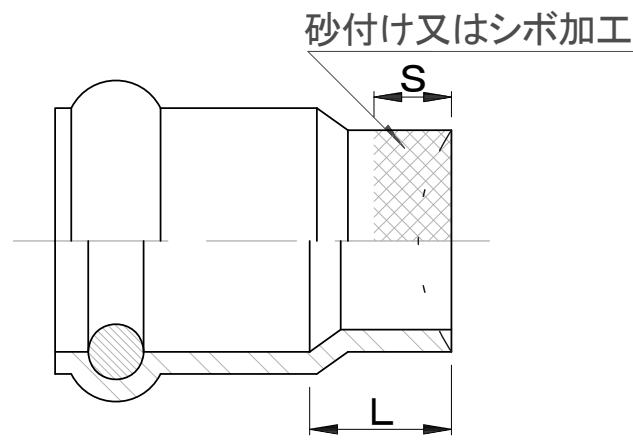
90度曲管寸法表(副管用)

(単位:mm)

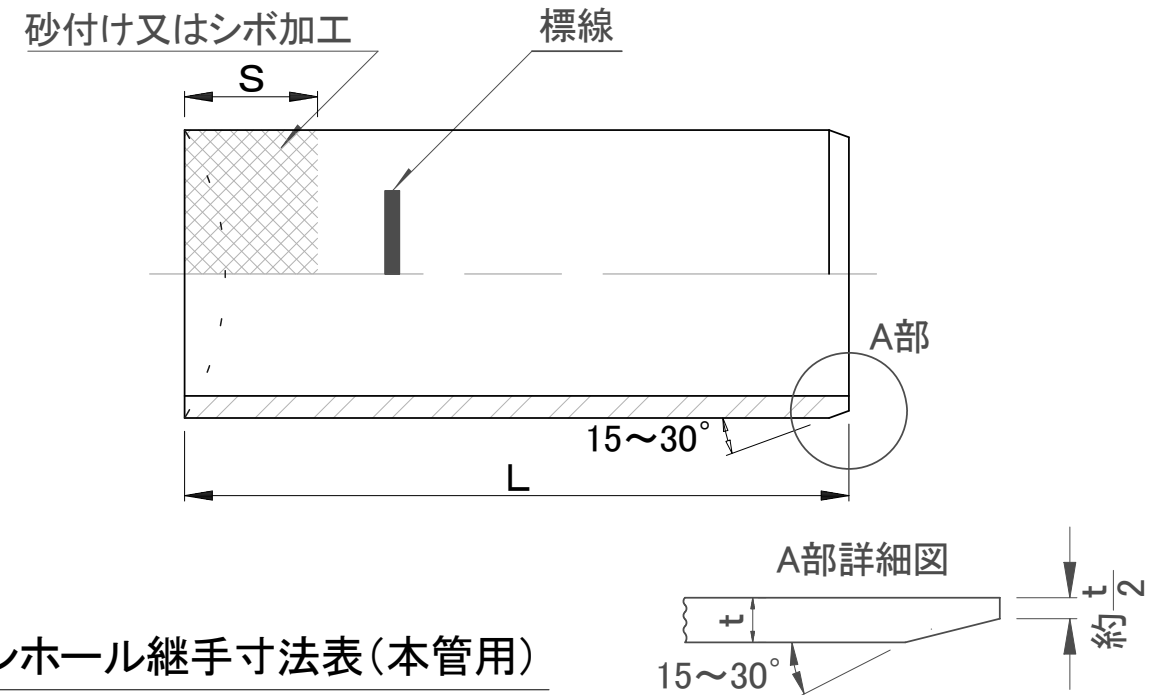
呼び径	Z	R(参考)
100	128±15	128
125	140±15	140
150	170±15	170
200	196±15	196
250	225±15	225
300	250±15	250

マンホール継手(本管用)

ゴム輪受口(上流用)
(略号 MR)



差し口(下流用)
(略号 MSA)



マンホール継手寸法表(本管用)

受口(上流用)

(単位:mm)

呼び径	L (最大)		S (参考)
	マンホール用	副管用	
200	500±15	1000±15	250
250			
300			
350			
400			300
450			
500			
600			

- ・マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることもできる。
- ・ゴム輪受口は本管形とする。

差し口短管(下流用)

(単位:mm)

呼び径	L	S(参考)	
200	500±15	250	
250			
300			
350	750±15	250	
400			
450	1000±15	300	
500			
600			350
600			

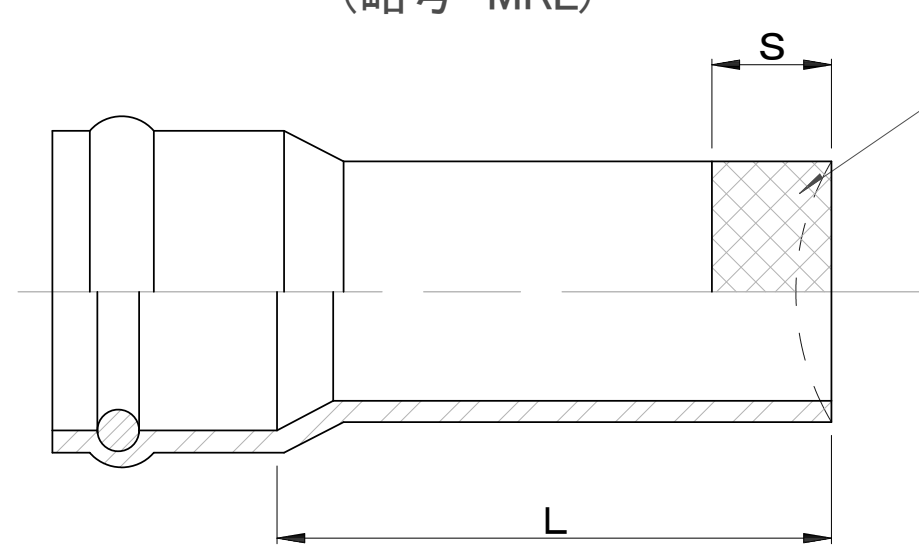
- ・マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることもできる。

特記事項

・シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凹凸を付ける加工をいう。

下水道用硬質塩化ビニル管
規格図(6)
《90度曲管、マンホール継手》
(JSWAS K-1)

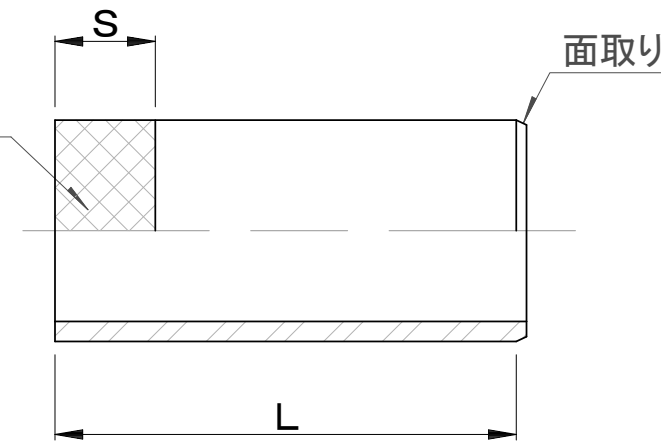
副管分岐用マンホール継手
(略号 MRL)



砂付け又はシボ加工

砂付け又はシボ加工

ます取付け継手
(略号 MSB)



面取り

(単位: mm)

呼び径	L	S(参考)
150	1000±15	200
200		250
250		
300		
350		
400		300
450		
500		
600		

(単位: mm)

呼び径	L	S(参考)
100	500±15	200
125		
150		
200		

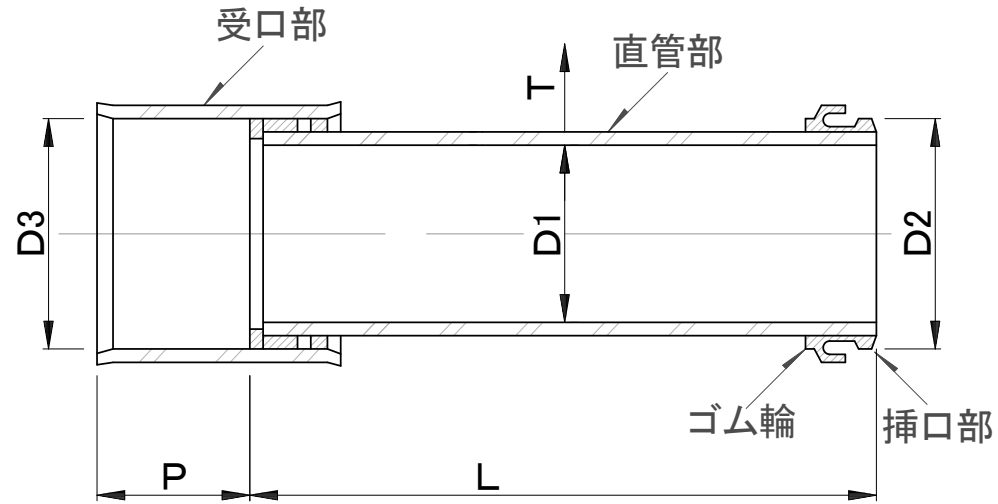
注1. 面取りの形状は、規定しない。

特記事項

- 注1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。
- 2. ゴム輪受口は、本管形とする。
- 3. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凹凸を付ける加工をいう。

下水道用硬質塩化ビニル管
規格図(7)
《副管分岐用マンホール継手及びます取付け継手》
(JSWAS K-1)

直管(B形)



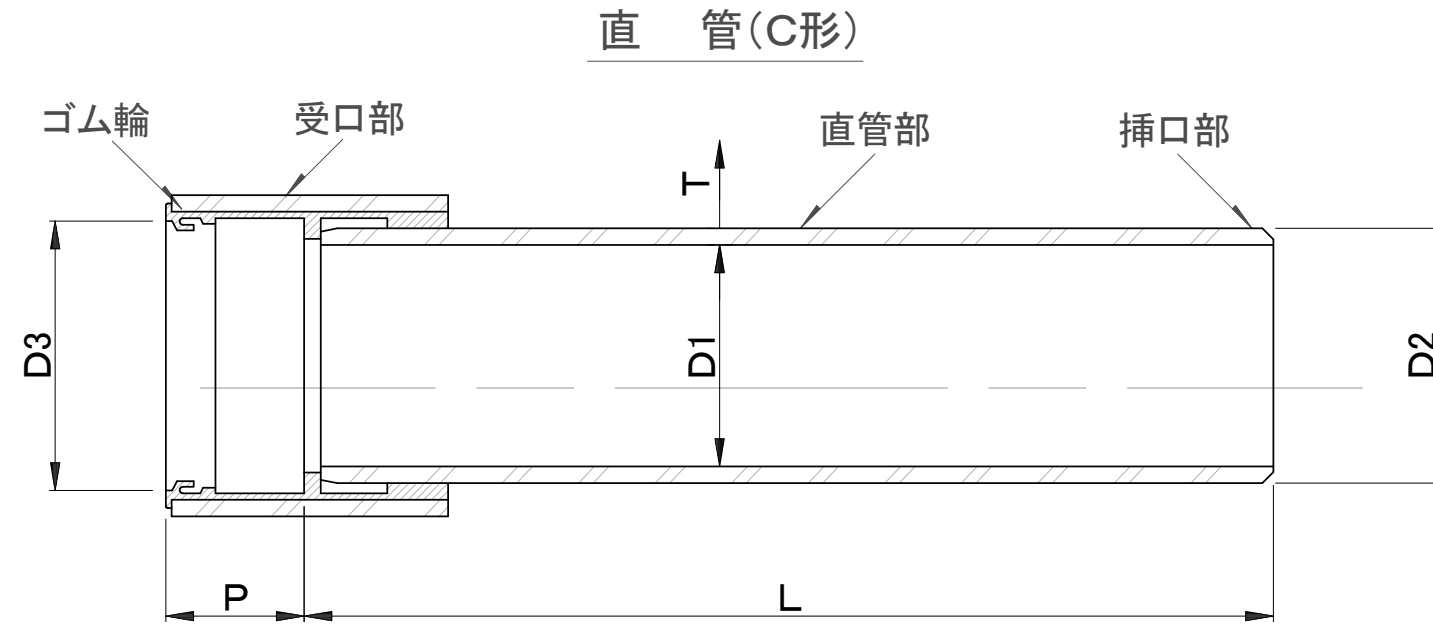
寸法表

(単位:mm)

呼び径	厚さ		有効長		内径		挿口部 外径		受口部				参考質量 (kg/本)		
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	内径		長さ				
									D3	許容差	P	許容差			
700	14.0	+5 -0	4000	+30 -10	700	±3.0	749	±1.5	750.5	±1.5	200	±10	274		
800	16.0				800		856		857.5				359		
900	18.0				900		960		961.5				454		
1000	20.0				1000		1068		1069.5				563		
1100	22.0				1100		1172		1173.5				682		
1200	24.0				1200		1276		1277.5				811		
1350	27.0	+7 -0			250	±10	1350	±3.0	1432	±2.0	1433.5	±2.0	300	±10	1030
1500	30.0						1500		1588		1589.5				1280
1650	33.0						1650		1748		1749.5				1570
1800	36.0	-0			300	±10	1800	±3.0	1904	±2.0	1905.5	±2.0	330	±10	1870
2000	40.0						2000		2112		2113.5				2320

- 特記事項
- 有効長(L)は、4000mm以下の他の長さとする事ができる。
 - 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
 - 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

下水道用強化プラスチック複合管
規格図(1)
(JSWAS K-2)



寸法表

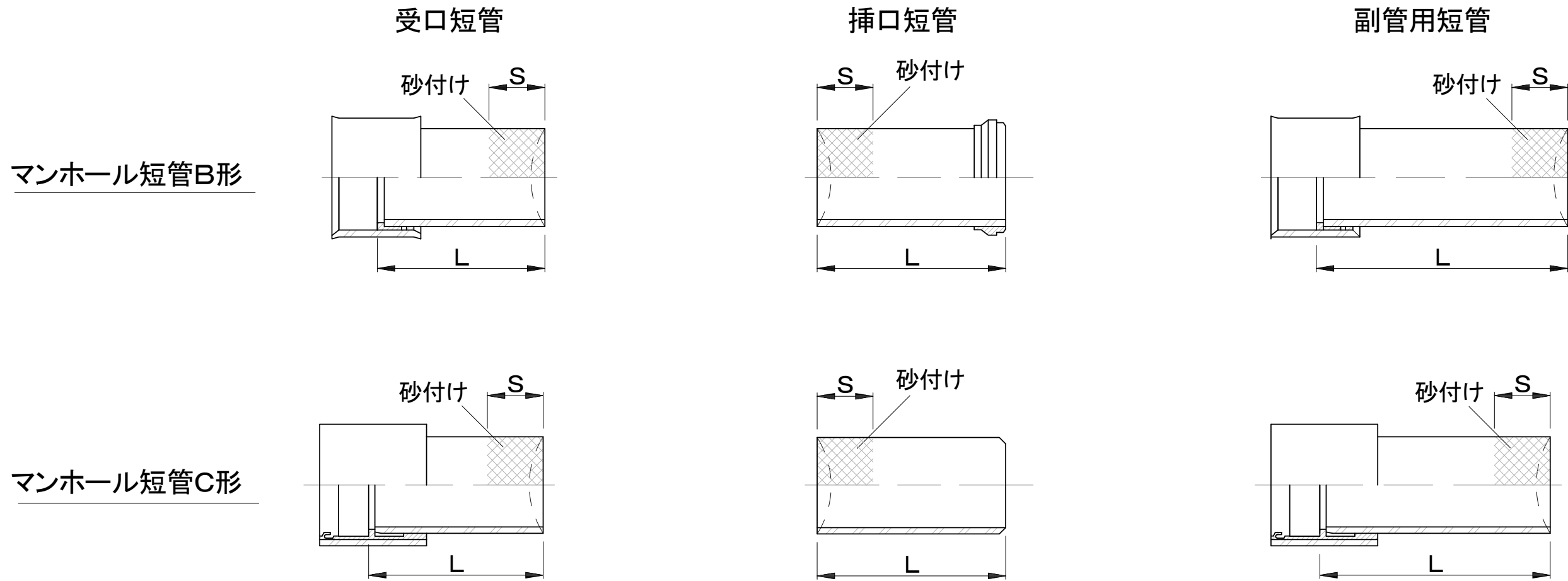
(単位:mm)

呼び径	厚さ		有効長		内径		挿口部 外径		受口部				参考質量 (kg/本)
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	内径		長さ		
									D3	許容差	P	許容差	
700	14.0	+5 -0	4000	+30 -10	700	±3.0	731	±1.5	732.5	±1.5	200	±10	274
800	16.0				800		835		836.5				359
900	18.0				900		939		940.5				454
1000	20.0				1000		1043		1044.5				563
1100	22.0				1100		1147		1148.5				682
1200	24.0				1200		1251		1252.5				811
1350	27.0				1350		1407		1408.5				1030
1500	30.0				1500		1563		1564.5				1280
1650	33.0	+7 -0			1650	±2.0	1721	±2.0	1722.5	±2.0	250		1570
1800	36.0				1800		1877		1878.5		1870		
2000	40.0				2000		2085		2086.5		2320		
													330

特記事項

1. ゴム輪は、分割形であってもよい。
2. 有効長(L)は、4000mm以下の他の長さとしてすることができる。
3. 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
4. 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

下水道用強化プラスチック複合管
規格図(2)
(JSWAS K-2)



マンホール短管寸法表

(単位: mm)

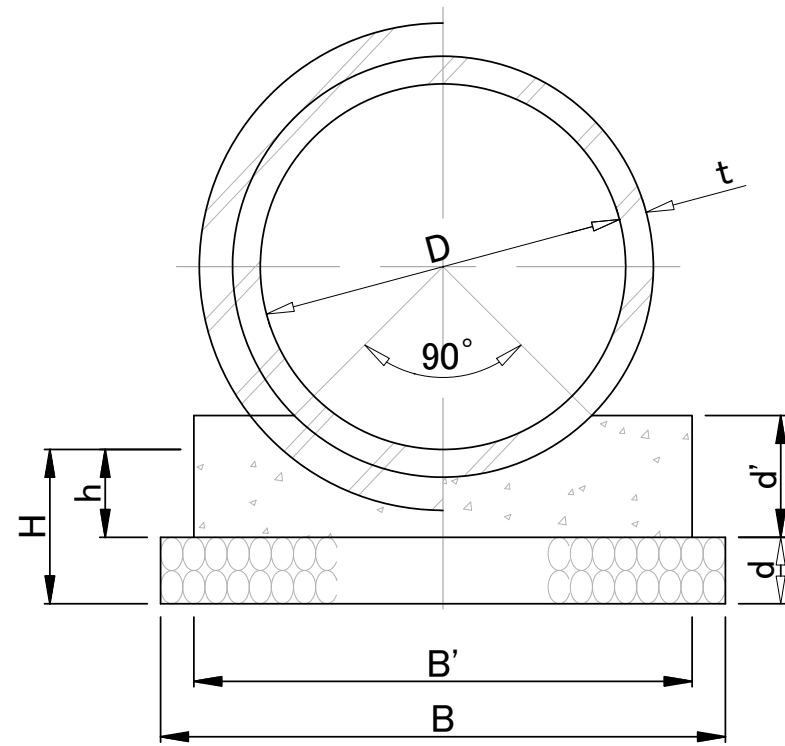
呼び径	受口短管		挿口短管		副管用短管	
	有効長 (標準)	砂付長 (参考)	有効長 (標準)	砂付長 (参考)	有効長 (標準)	砂付長 (参考)
	L	S	L	S	L	S
400~700	750	300	750	300	1250	300
800~1350	1000	400	1000	400	1500	400
1500~2000	1500	600	1500	600	2000	600

特記事項

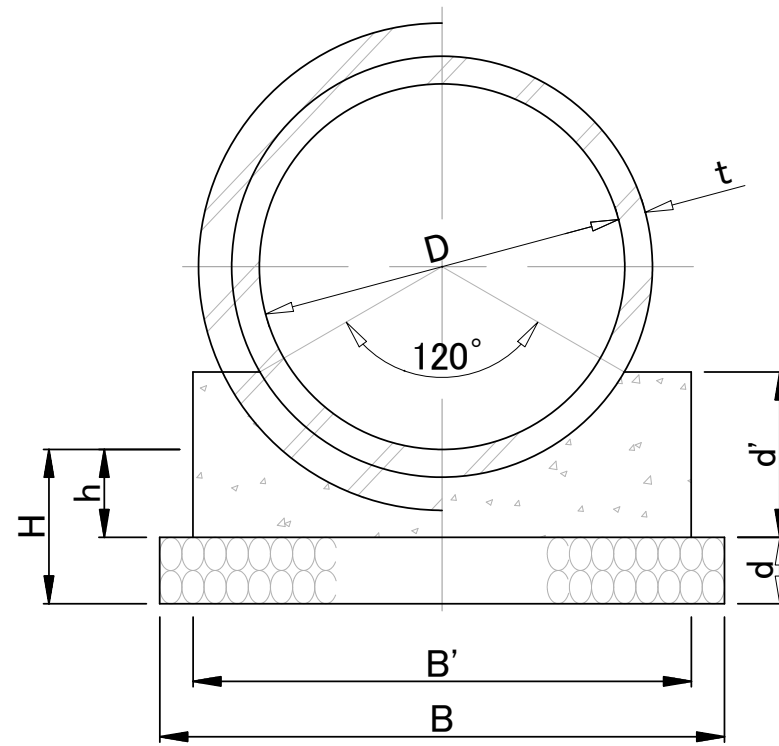
厚さ(T)、内径(D1)、挿口部外径(D2)、受口部内径(D3)及び受口部長さ(P)は、直管の同じ呼び径の寸法とする。
また、破線で示す形状であってもよい。

下水道用強化プラスチック複合管
規格図(3)
《マンホール短管》
(JSWAS K-2)

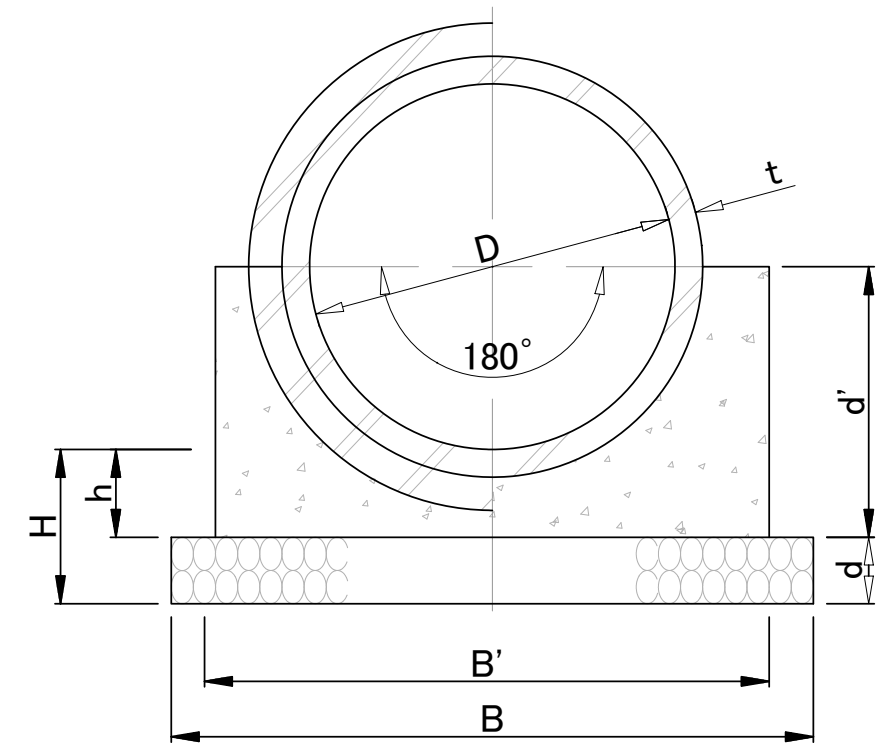
コンクリート 90° 基礎



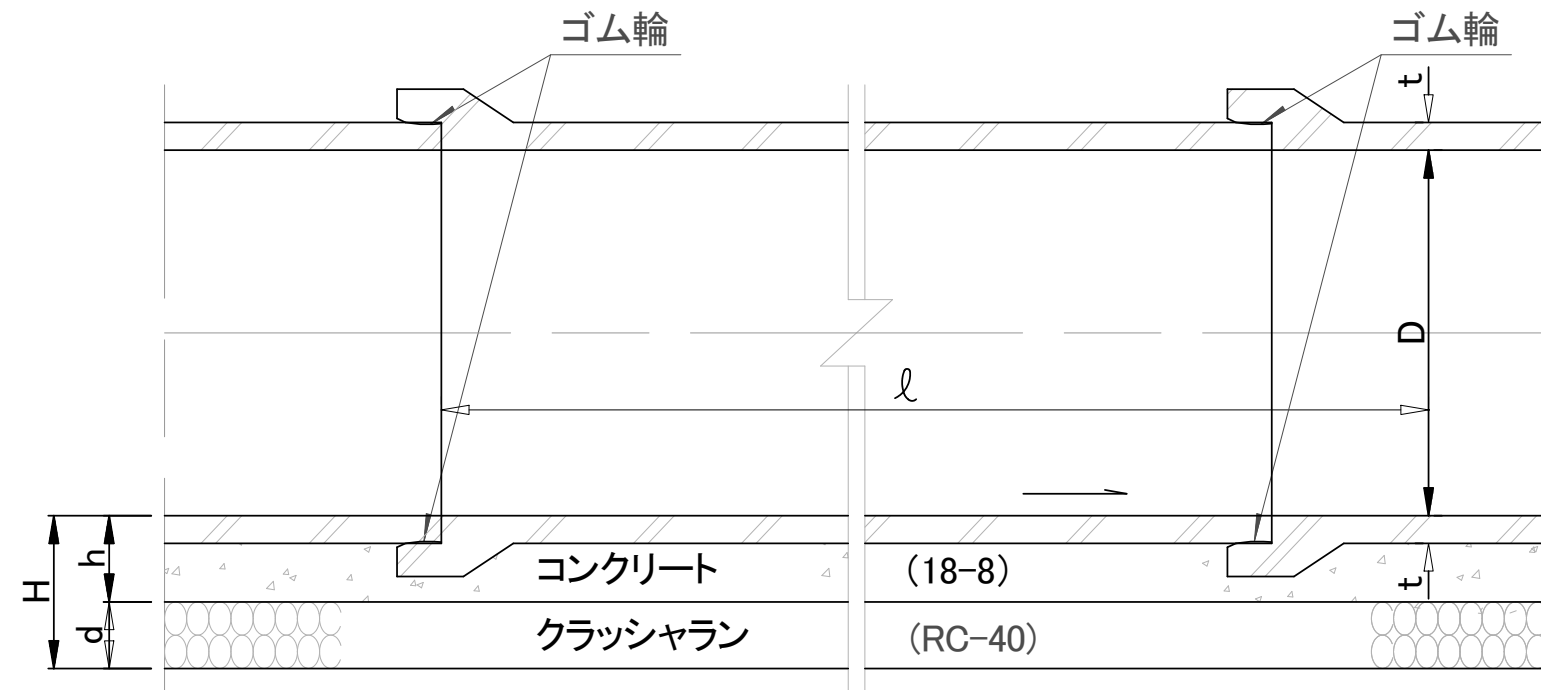
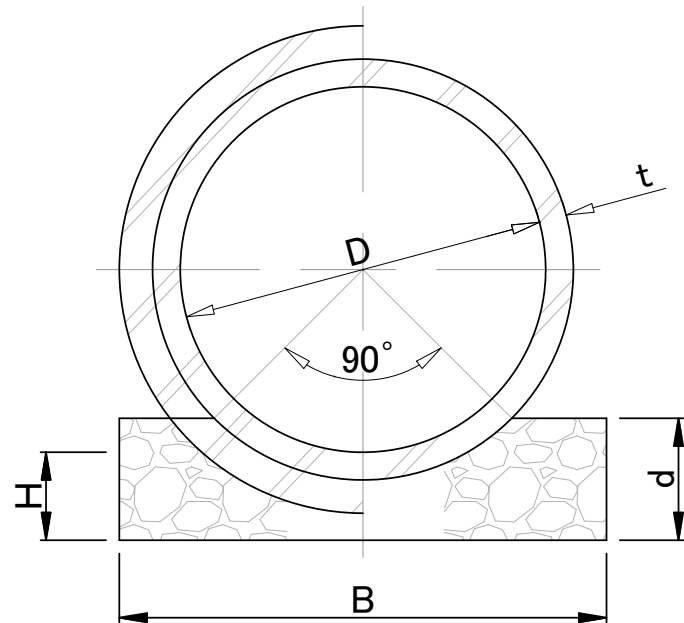
コンクリート 120° 基礎



コンクリート 180° 基礎



砕石 90° 基礎



特記事項

φ200mmは、原則として使用しない。

下水道用鉄筋コンクリート管
B形布設図
(内径200mm～1350mm)

寸 法 表

(単位: mm)

内 径 D	長 さ L	管厚 t	コ ン ク リ ー ト 基 礎														砕 石 基 礎		
			d	h	90°				120°				180°				90°		
					d'	B	B'	H	d'	B	B'	H	d'	B	B'	H	d	B	H
200	2000	27	50	77	90	516	316	127	110	516	316	127	180	560	360	127	90	316	77
250	2000	28	60	88	100	570	370	148	140	570	370	148	210	620	420	148	100	370	88
300	2000	30	60	90	110	624	424	150	150	624	424	150	240	680	480	150	110	424	90
350	2000	32	60	92	120	682	482	152	160	682	482	152	270	740	540	152	120	482	92
400	2430	35	70	105	140	744	544	175	190	744	544	175	310	810	610	175	140	544	105
450	2430	38	80	118	160	806	606	198	210	806	606	198	340	880	680	198	160	606	118
500	2430	42	80	122	170	872	672	202	230	872	672	202	370	950	750	202	170	672	122
600	2430	50	100	150	200	1004	804	250	280	1004	804	250	450	1100	900	250	200	804	150
700	2430	58	120	178	240	1136	936	298	320	1136	936	298	530	1250	1050	298	240	936	178
800	2430	66	130	196	270	1268	1068	326	360	1268	1068	326	600	1400	1200	326	270	1068	196
900	2430	75	150	225	300	1404	1204	375	410	1404	1204	375	680	1550	1350	375	300	1204	225
1000	2430	82	160	242	330	1532	1332	402	450	1532	1332	402	740	1690	1490	402	330	1332	242
1100	2430	88	180	268	370	1658	1458	448	500	1658	1458	448	820	1830	1630	448	370	1458	268
1200	2430	95	190	285	390	1786	1586	475	540	1786	1586	475	890	1970	1770	475	390	1586	285
1350	2430	103	210	313	440	1969	1768	523	600	1968	1768	523	990	2170	1970	523	440	1768	313

材 料 表 (100m当り)

(単位: m³)

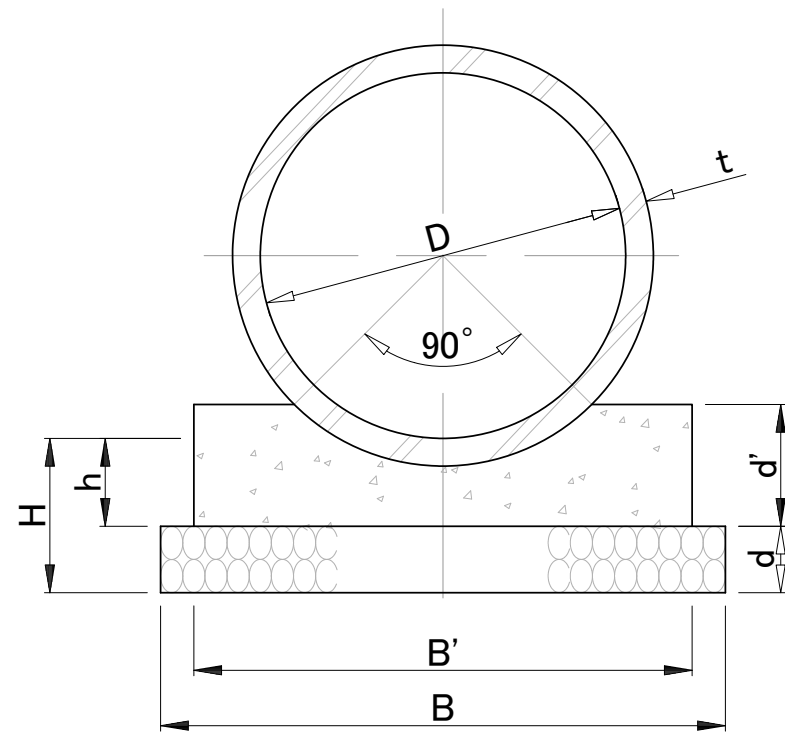
内 径 D	コ ン ク リ ー ト 基 礎						砕 石 基 礎
	クラッシュラン (RC-40)			コンクリート (18-8)			クラッシュラン (RC-40)
	90°	120°	180°	90°	120°	180°	90°
200	2.6	2.6	2.8	2.4	2.5	3.9	2.4
250	3.4	3.4	3.7	3.0	3.7	5.1	3.0
300	3.7	3.7	4.1	3.7	4.4	6.4	3.7
350	4.1	4.1	4.4	4.6	5.1	7.8	4.6
400	5.2	5.2	5.7	6.0	6.9	10.2	6.0
450	6.4	6.4	7.0	7.7	8.5	12.3	7.7
500	7.0	7.0	7.6	9.0	10.2	14.4	9.0
600	10.0	10.0	11.0	12.6	15.0	21.3	12.6
700	13.6	13.6	15.0	17.7	19.7	29.5	17.7
800	16.5	16.5	18.2	22.6	25.1	37.9	22.6
900	21.1	21.1	23.3	28.3	32.4	48.5	28.3
1000	24.5	24.5	27.0	34.3	39.1	57.1	34.3
1100	29.8	29.8	32.9	42.3	47.9	69.7	42.3
1200	33.9	33.9	37.4	48.1	56.0	81.7	48.1
1350	41.3	41.3	45.6	60.5	68.9	100.0	60.5

特
記
事
項

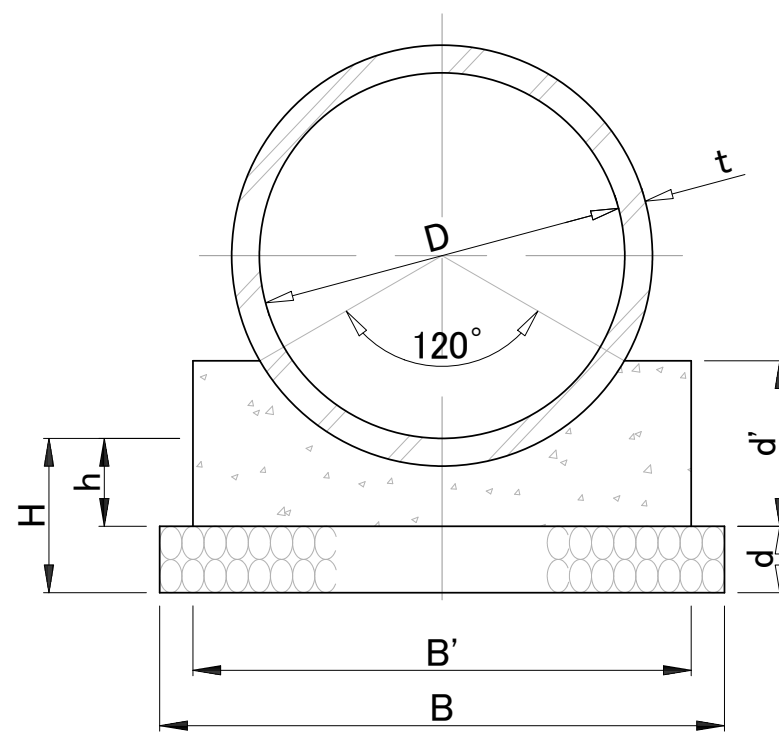
- 360°コンクリート基礎(内径200mm~800mm)の高さは、180°コンクリート基礎のd' の2倍とする。
- φ200mmは、原則として使用しない。

下水道用鉄筋コンクリート管
B形布設寸法表及び材料表
(内径200mm~1350mm)

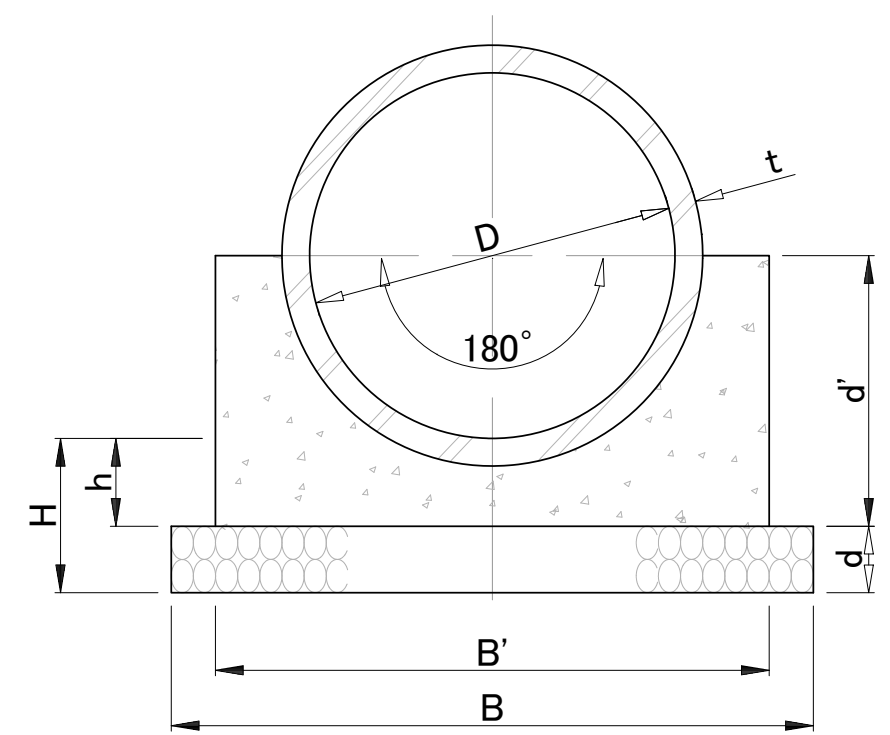
コンクリート 90° 基礎



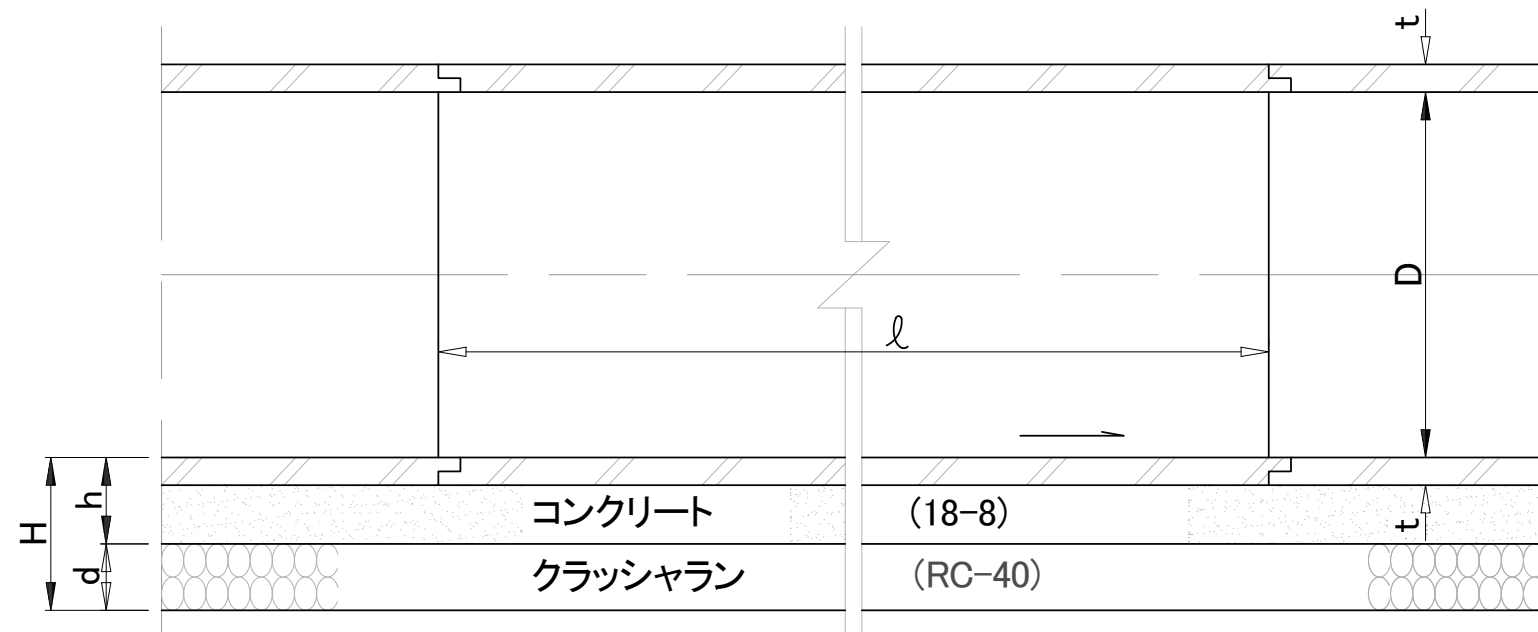
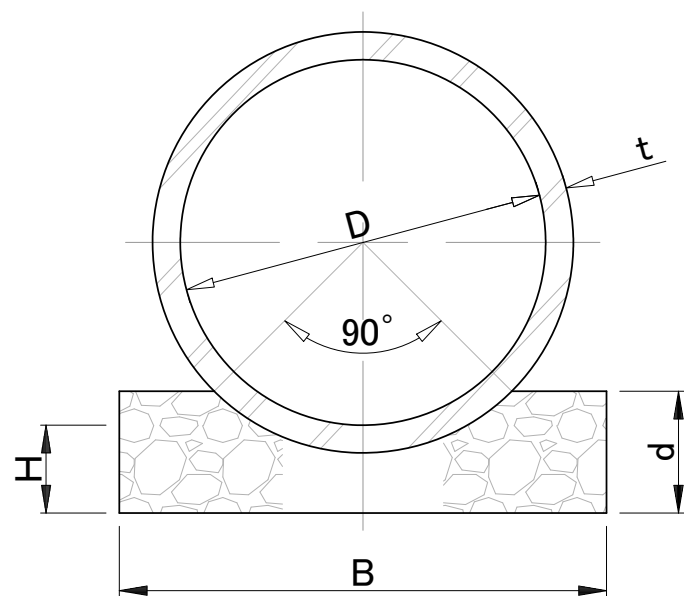
コンクリート 120° 基礎



コンクリート 180° 基礎



砕石 90° 基礎



特記事項

下水道用鉄筋コンクリート管
NC形布設図
(内径1500mm~2000mm)

寸法表

(単位:mm)

内径 D	長さ L	厚さ t	コンクリート基礎														碎石基礎		
			d	h	90°				120°				180°				90°		
					d'	B	B'	H	d'	B	B'	H	d'	B	B'	H	d	B	H
1500	2300	140	220	360	498	2154	1954	580	678	2154	1954	580	1108	2370	2170	580	498	1954	360
1650	2300	150	240	390	550	2336	2136	630	740	2336	2136	630	1220	2570	2370	630	550	2136	390
1800	2300	160	250	410	583	2514	2314	660	793	2514	2314	660	1313	2760	2560	660	583	2314	410
2000	2300	175	290	465	660	2786	2586	755	890	2786	2586	755	1470	3070	2870	755	660	2586	465

材料表 (100m当り)

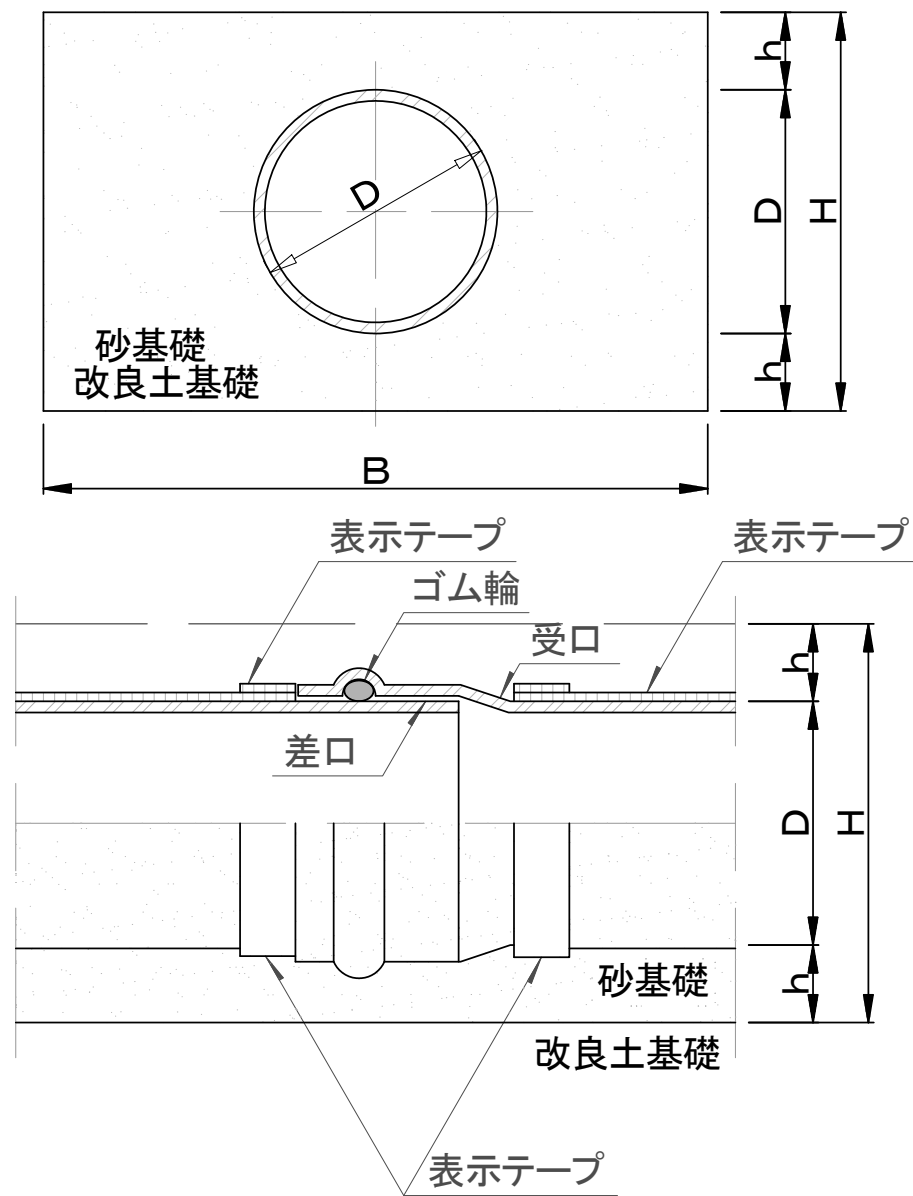
(単位:m³)

内径 D	コンクリート基礎						碎石基礎
	クラッシュラン (RC-40)			コンクリート (18-8)			クラッシュラン (RC-40)
	90°	120°	180°	90°	120°	180°	90°
1500	47.4	47.4	52.1	74.7	83.8	116.0	74.7
1650	56.1	56.1	61.7	90.3	99.7	139.8	90.3
1800	62.9	62.9	69.0	102.8	114.5	159.6	102.8
2000	80.8	80.8	89.0	131.3	145.4	205.0	131.3

特記事項

下水道用鉄筋コンクリート管
NC形布設寸法表
及び材料表
(内径1500mm~2000mm)

寸法及び材料費 (100m当り)



種類	呼び径	管厚 t (mm)	外径 D (mm)	h (mm)	H (mm)	基礎幅 B (mm)	砂基礎 改良土基礎 (m ³)
硬質塩化ビニル管	200	6.5	216	100	416	800	29.6
	250	7.8	267	100	467	850	34.1
	300	9.2	318	100	518	900	38.7
	350	10.5	370	100	570	950	43.4
	400	11.8	420	100	620	1000	48.1
	450	13.2	470	100	670	1050	53.0
	500	14.6	520	100	720	1100	58.0
	600	17.8	630	100	830	1250	72.6
強化プラスチック複合管	700	14	728	200	1128	1350	110.7
	800	16	832	200	1232	1450	124.3
	900	18	936	200	1336	1550	138.3
	1000	20	1040	200	1440	1650	152.7
	1100	22	1144	200	1544	1750	167.4
	1200	24	1248	200	1648	1850	182.6
	1350	27	1404	200	1804	2000	206.0
	1500	30	1560	200	1960	2150	230.3
	1650	33	1716	200	2116	2300	255.4
	1800	36	1872	200	2272	2450	281.4
	2000	40	2080	200	2480	2700	329.8

特記事項

φ200mmは、原則として使用しない。

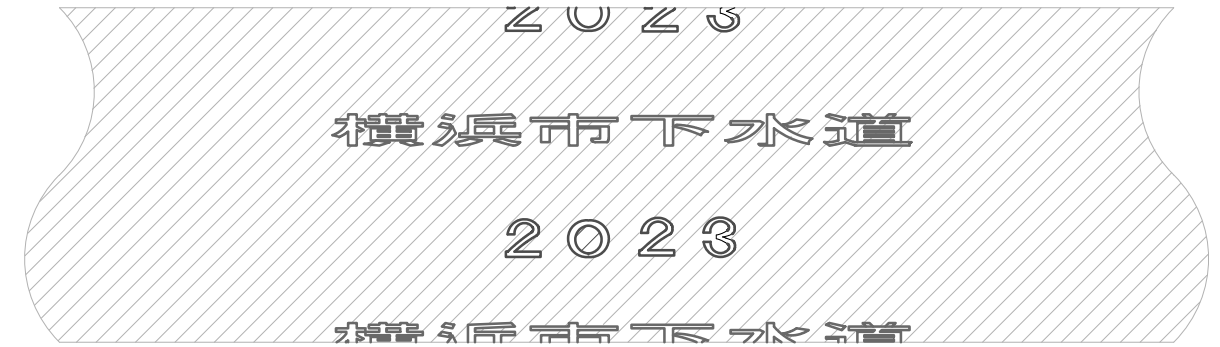
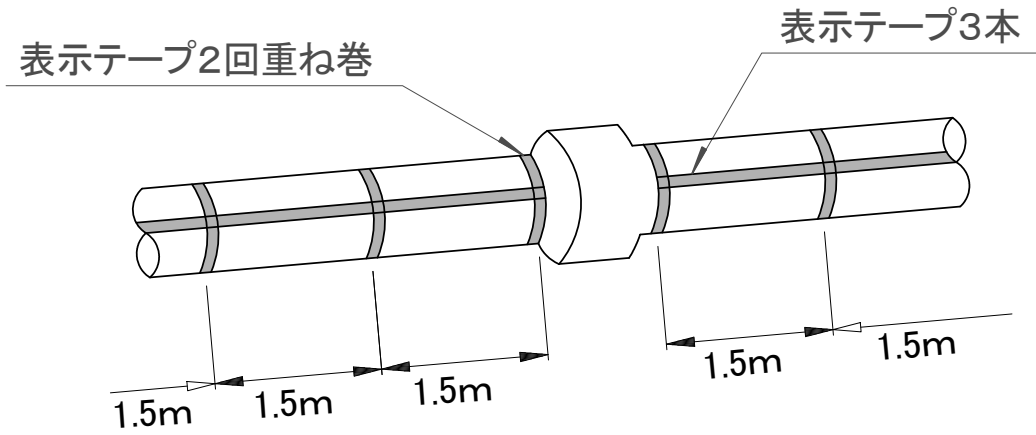
下水道用硬質塩化ビニル管
(内径200mm～600mm) 及び
強化プラスチック複合管
(内径700mm～2000mm) 布設図

明示デザイン

実物デザイン

硬質塩化ビニル管 圧送管

テープ



管頂に表示テープを3本タテ方向に貼り付け1.5m以内のピッチでハチ巻き状に2回巻きする。
又管端部のネックのところは必ずハチ巻き状に2回巻きする。

明示テープ(及びラベル)の仕様

明示対象物	材質	テープ及びラベルの寸法	色	名称管理者	埋設年
硬質塩化ビニル管 (リブ付管含む) 圧送管	塩化ビニル	巾 3cm	地色 茶 文字 白	横浜市下水道	西暦年4桁

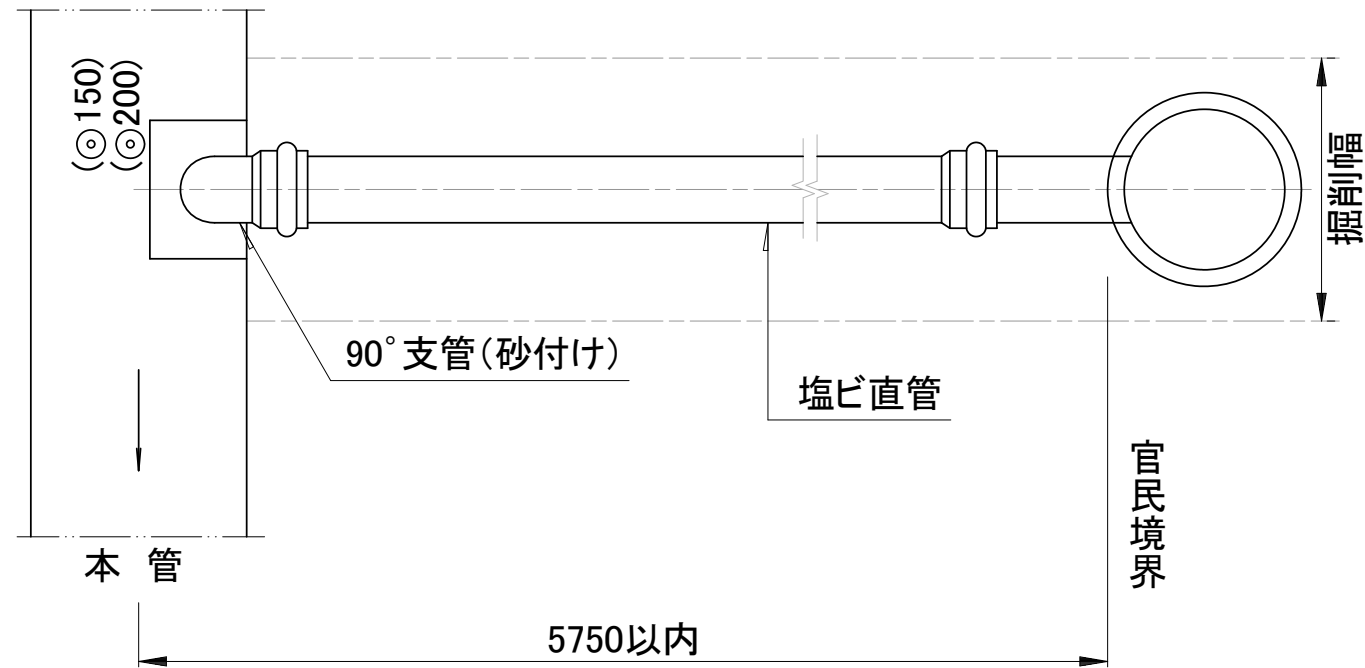
但し明示対象物として次のものは除く。

- 1) 各戸引込管。
- 2) 外径0.08m未満の管及び管路。
- 3) コンクリート造の堅固な構造物で
外径上管理者が明らかなもの。

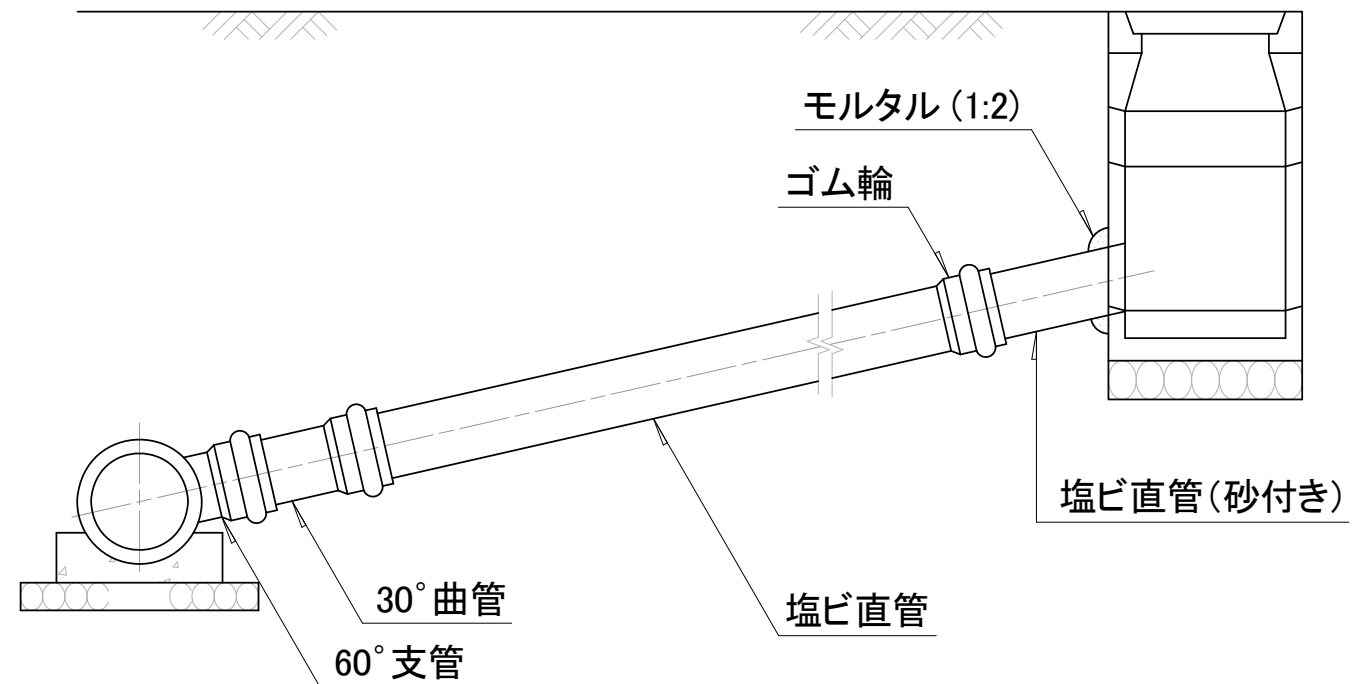
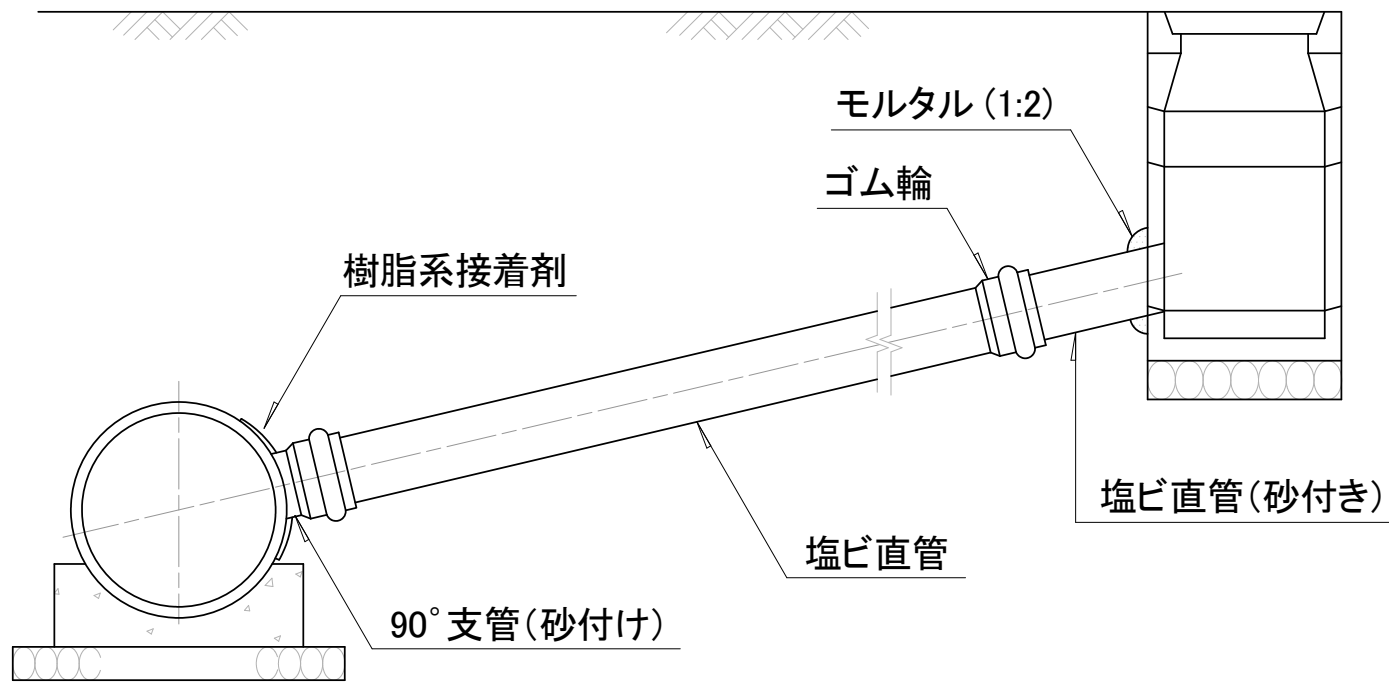
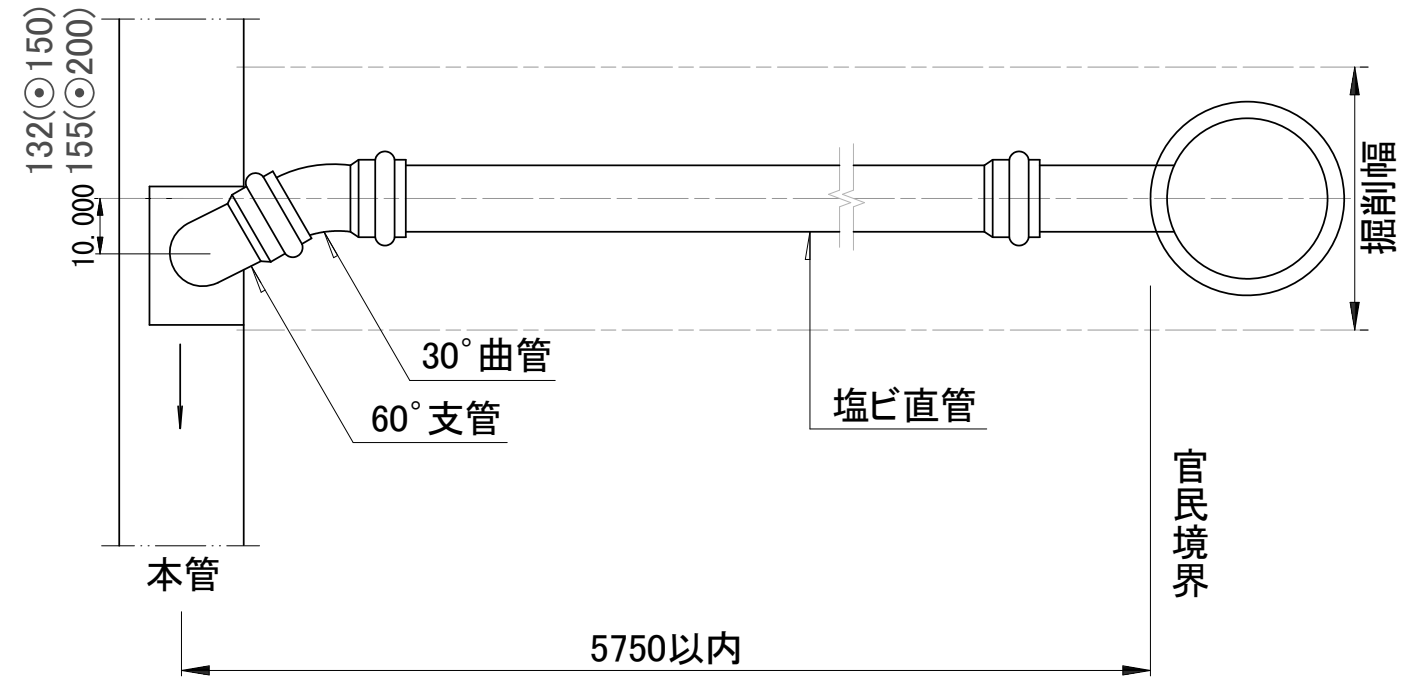
特記事項

下水道管理設明示方式

本管(鉄筋コンクリート管)－ 取付管(硬質塩化ビニル管)



本管(硬質塩化ビニル管)－ 取付管(硬質塩化ビニル管)



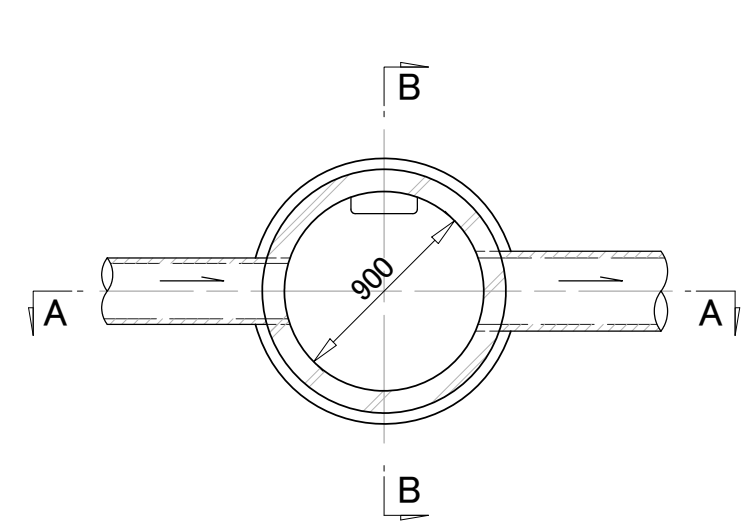
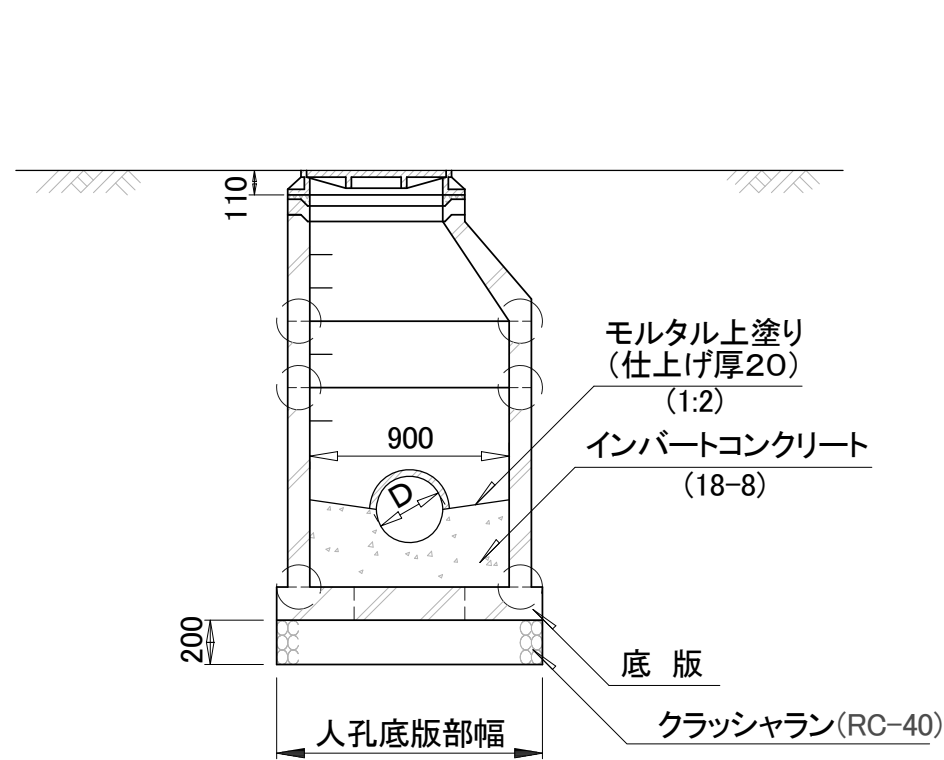
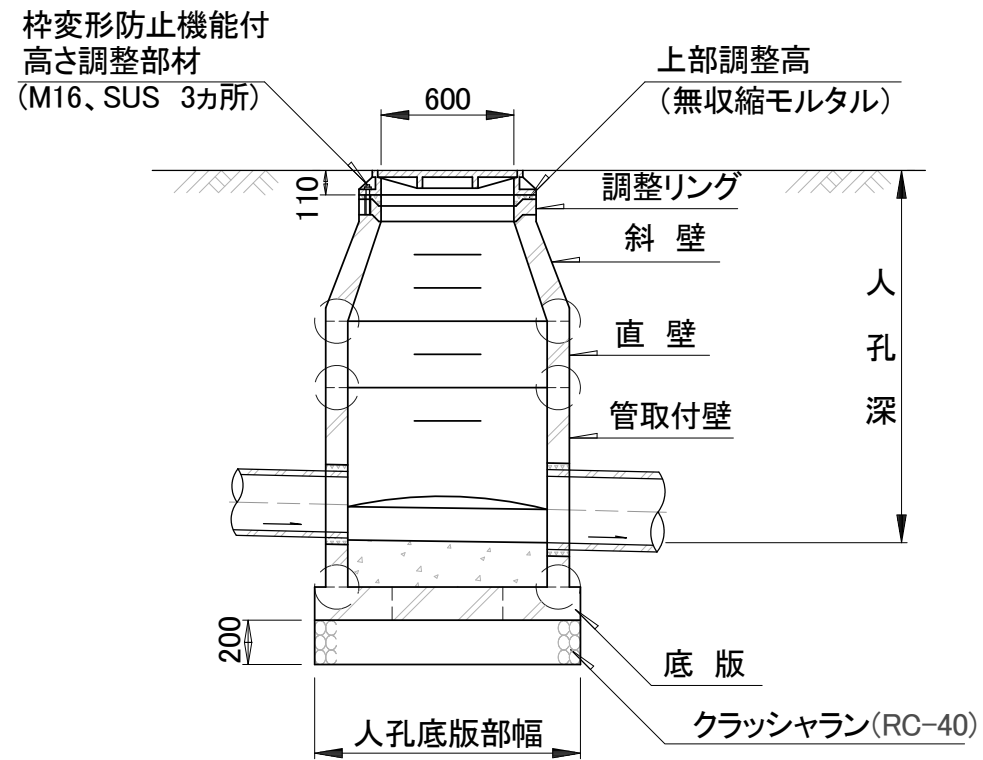
特記事項 雨水枳取付管布設についても上図に準ずる。

取付管布設図

A-A断面図

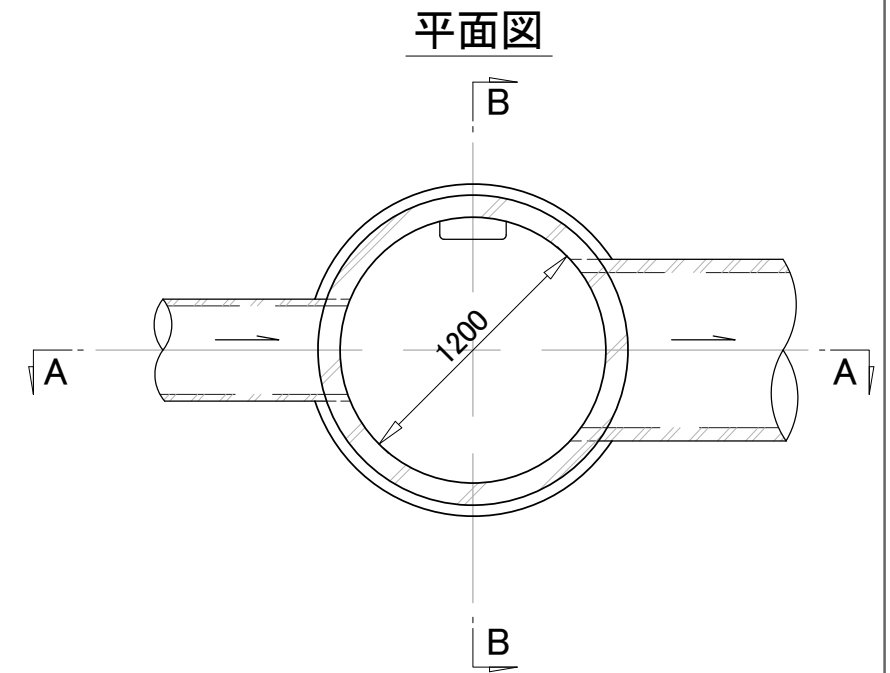
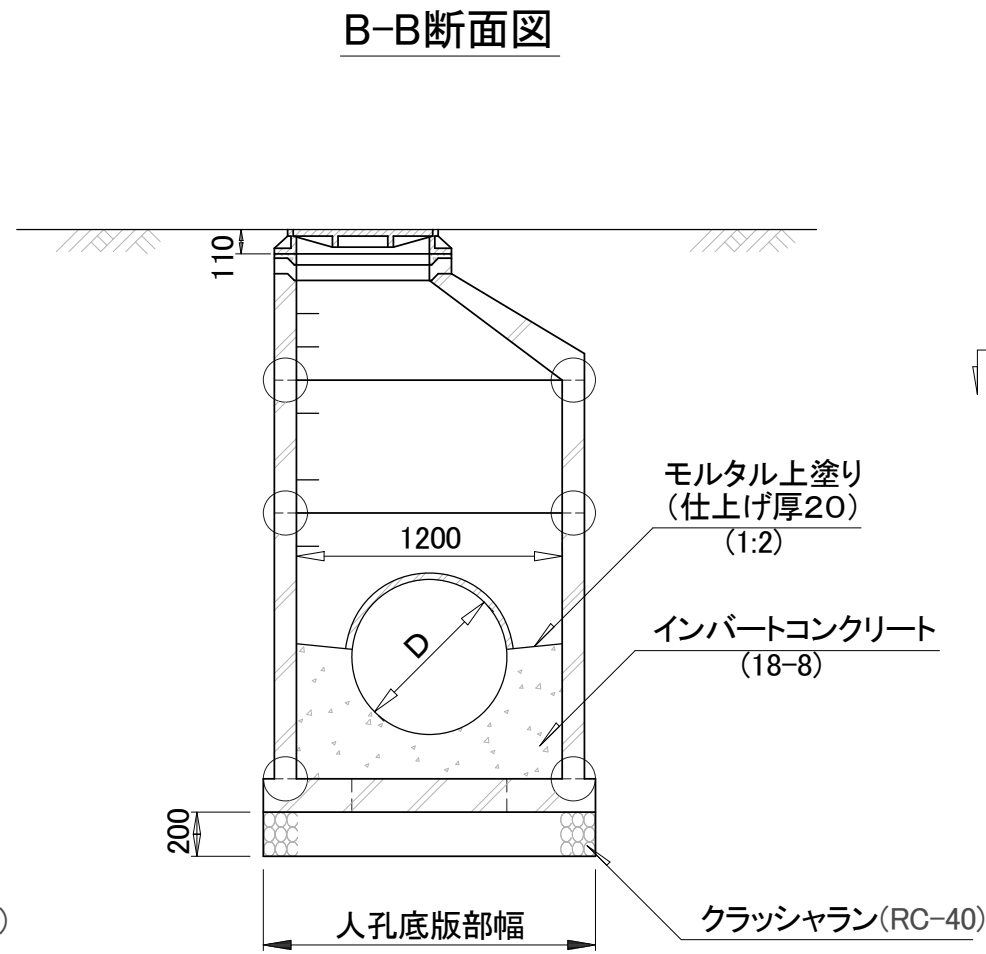
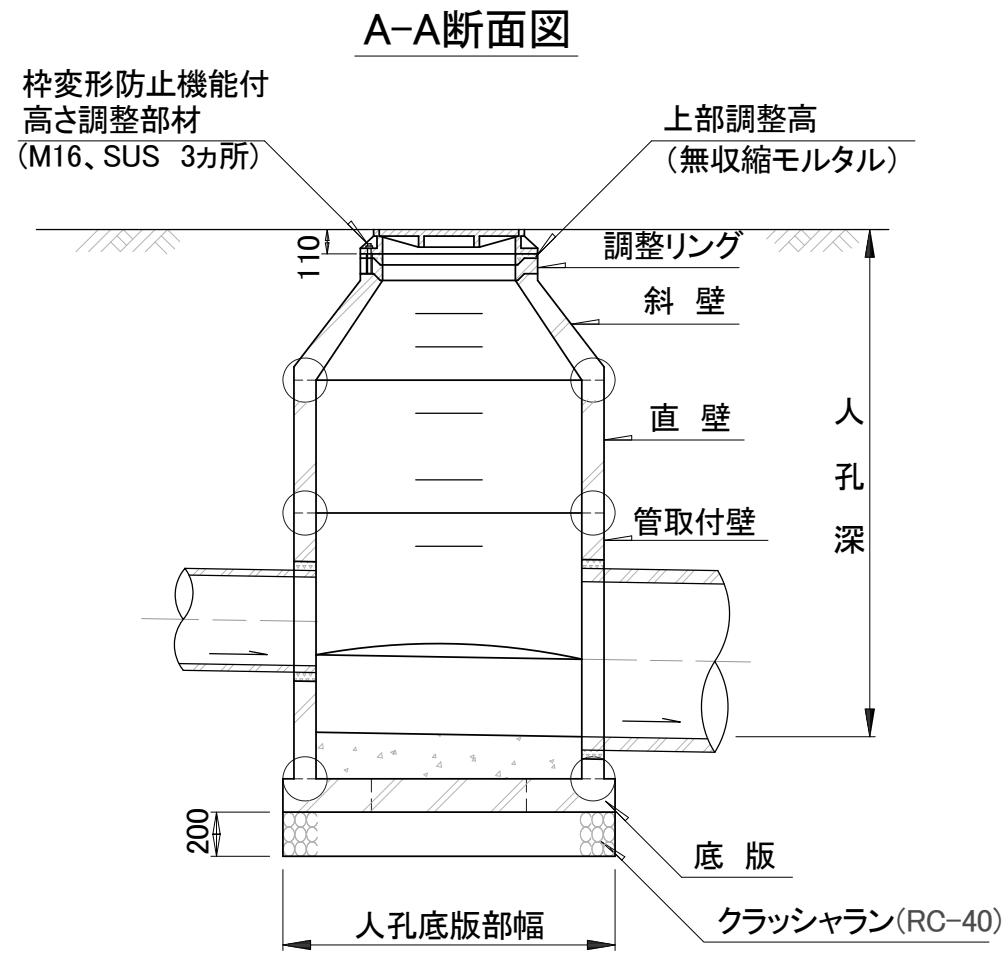
B-B断面図

平面図



- 特記事項**
1. 上部調整高は、調整リングで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、枠変形防止機能付高さ調整部材等により調整を行う。
 2. 調整リングの上部及び下部の両端面、並びにこれと接合する部材の上端部の形状及び寸法、また、本図 ○ の継手部の形状及び寸法については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。
 3. 底版の形状については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。なお、管取付壁(底版付)を使用する場合のインバートは、現場打または工場製品のいずれでもよい。

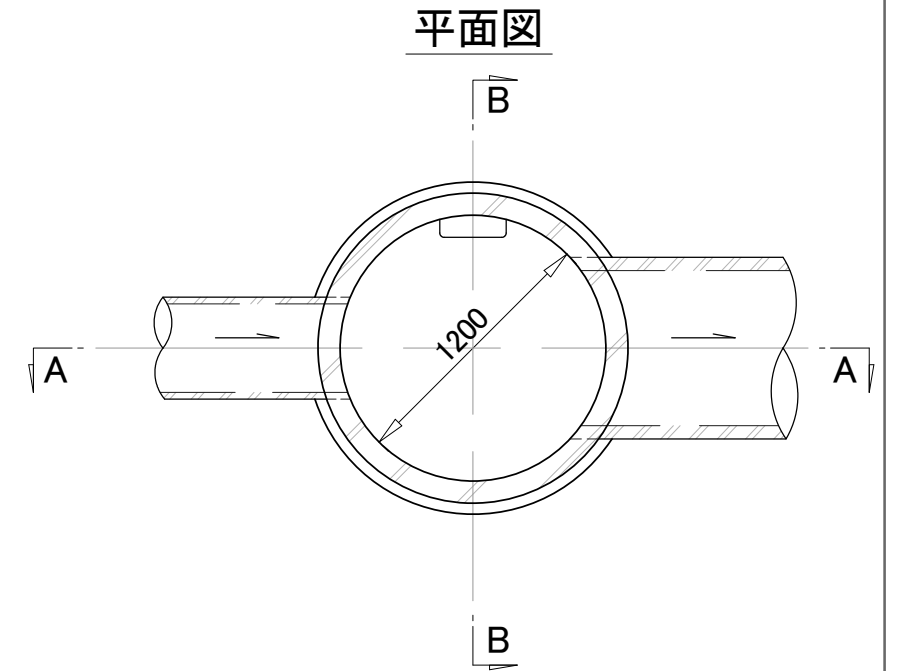
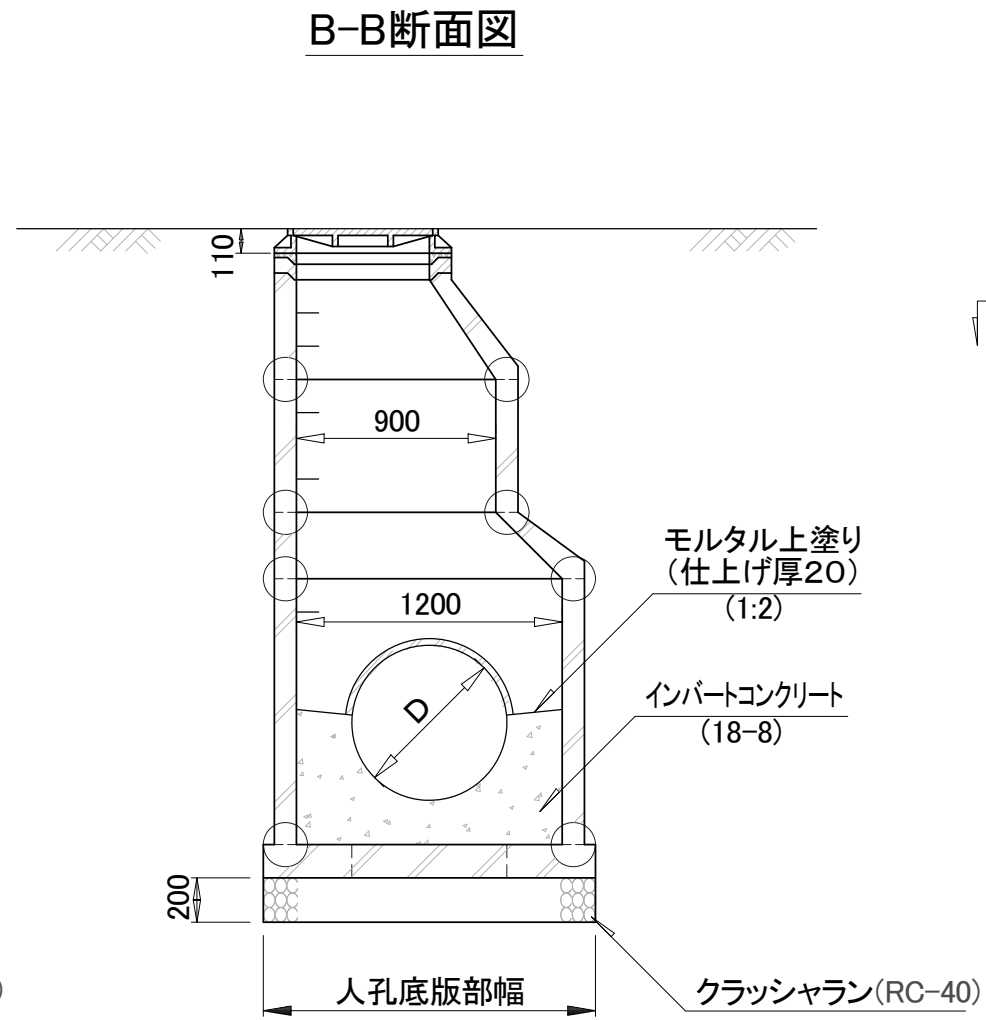
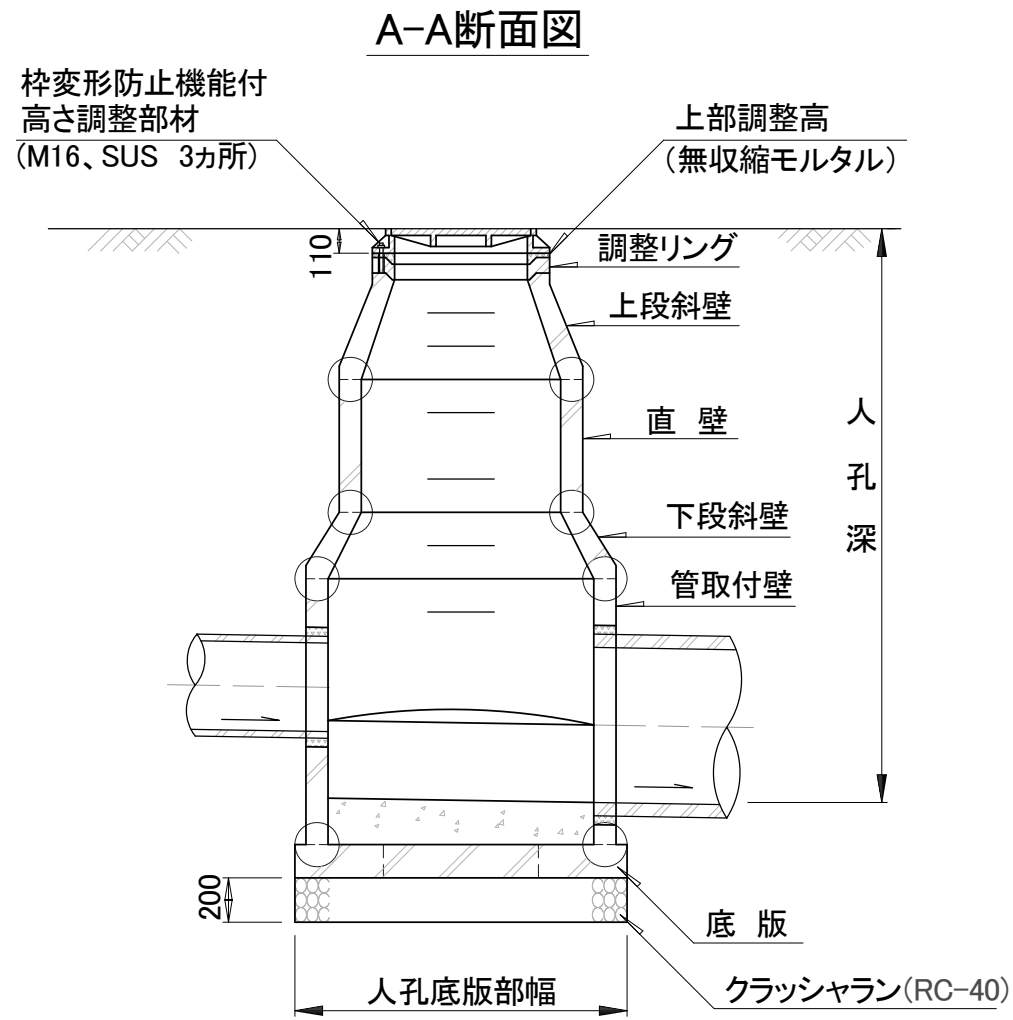
**第1種組立人孔構造図
(JSWAS A-11)**



特記事項

1. 上部調整高は、調整リングで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、枠変形防止機能付高さ調整部材等により調整を行う。
2. 調整リングの上部及び下部の両端面、並びにこれと接合する部材の上端部の形状及び寸法、また、本図 ○ の継手部の形状及び寸法については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。
3. 底版の形状については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。なお、管取付壁(底版付)を使用する場合のインバートは、現場打または工場製品のいずれでもよい。

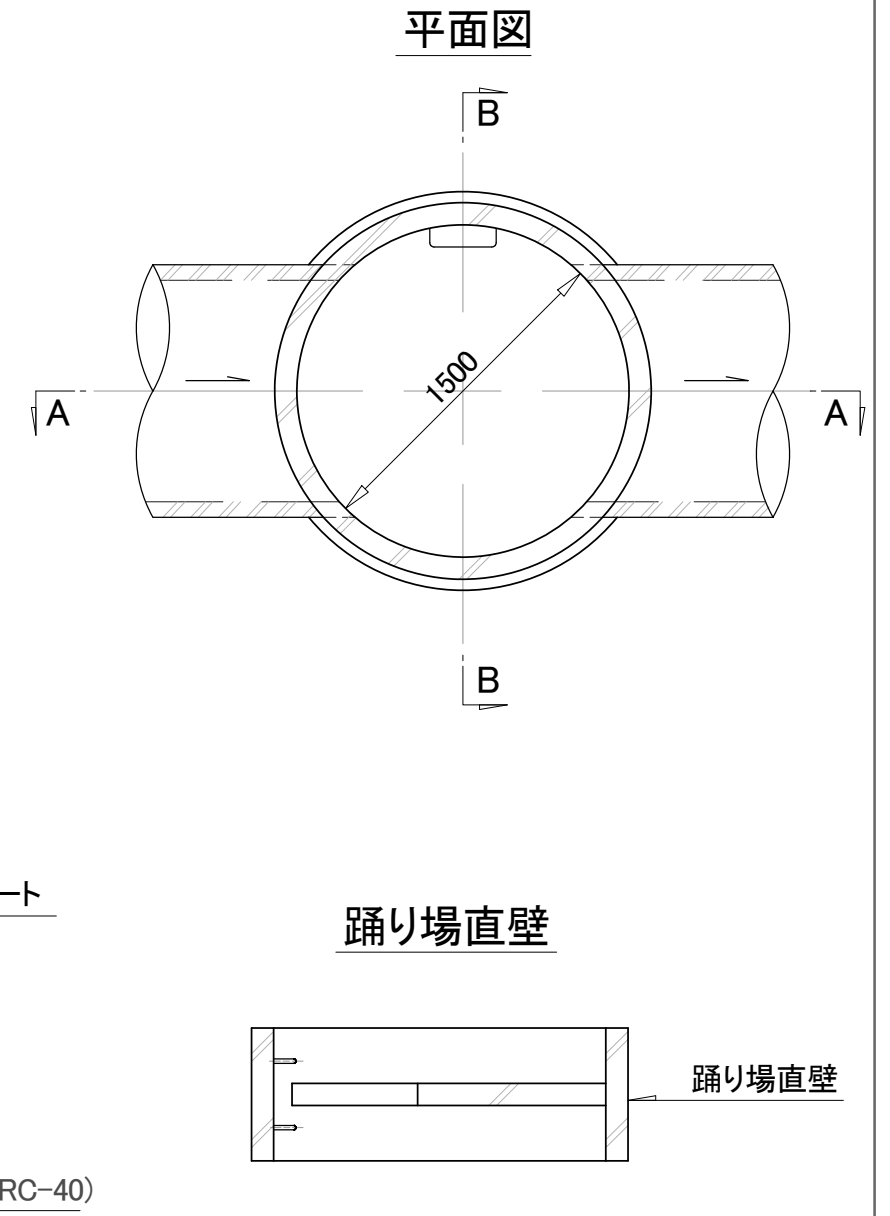
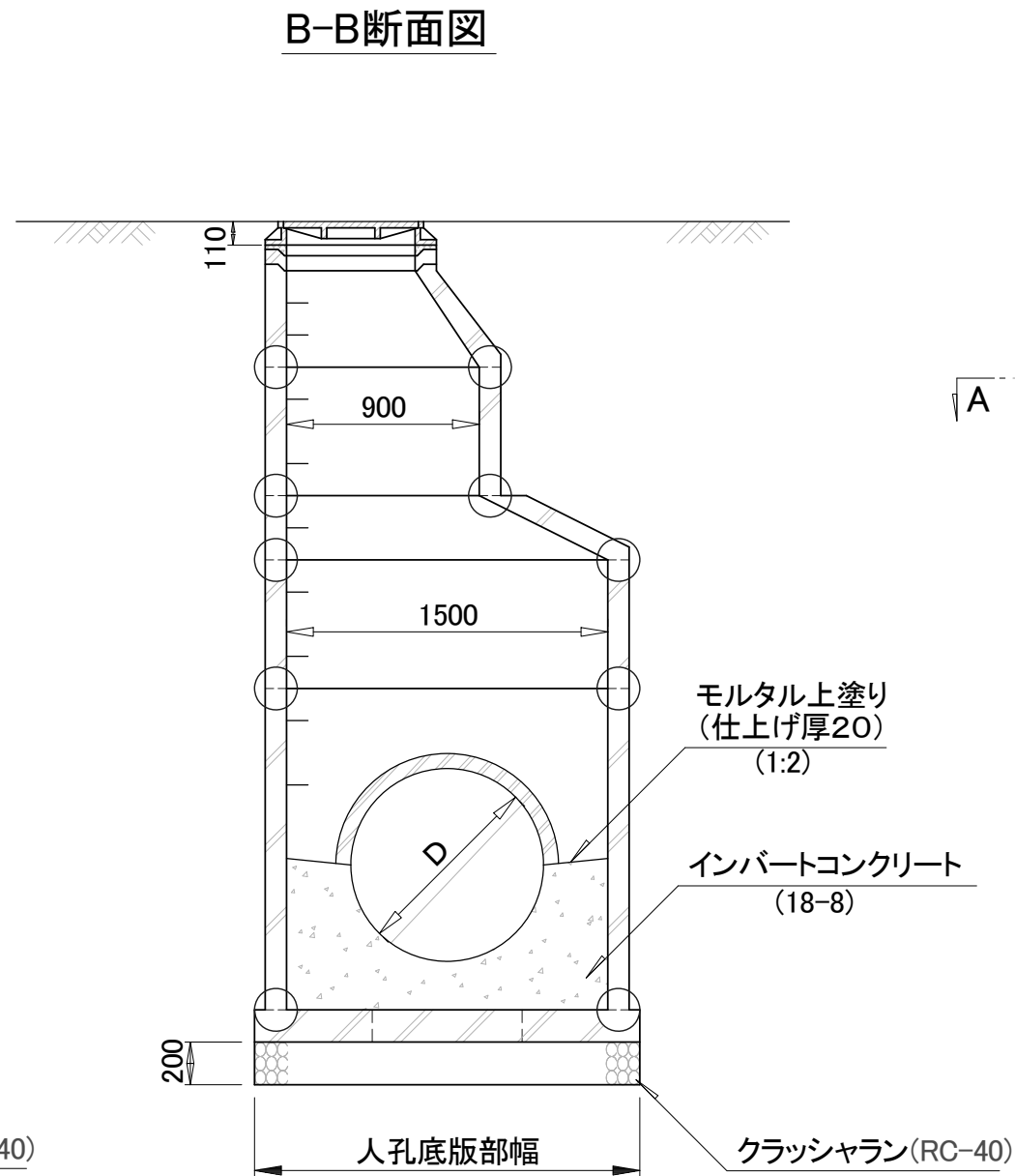
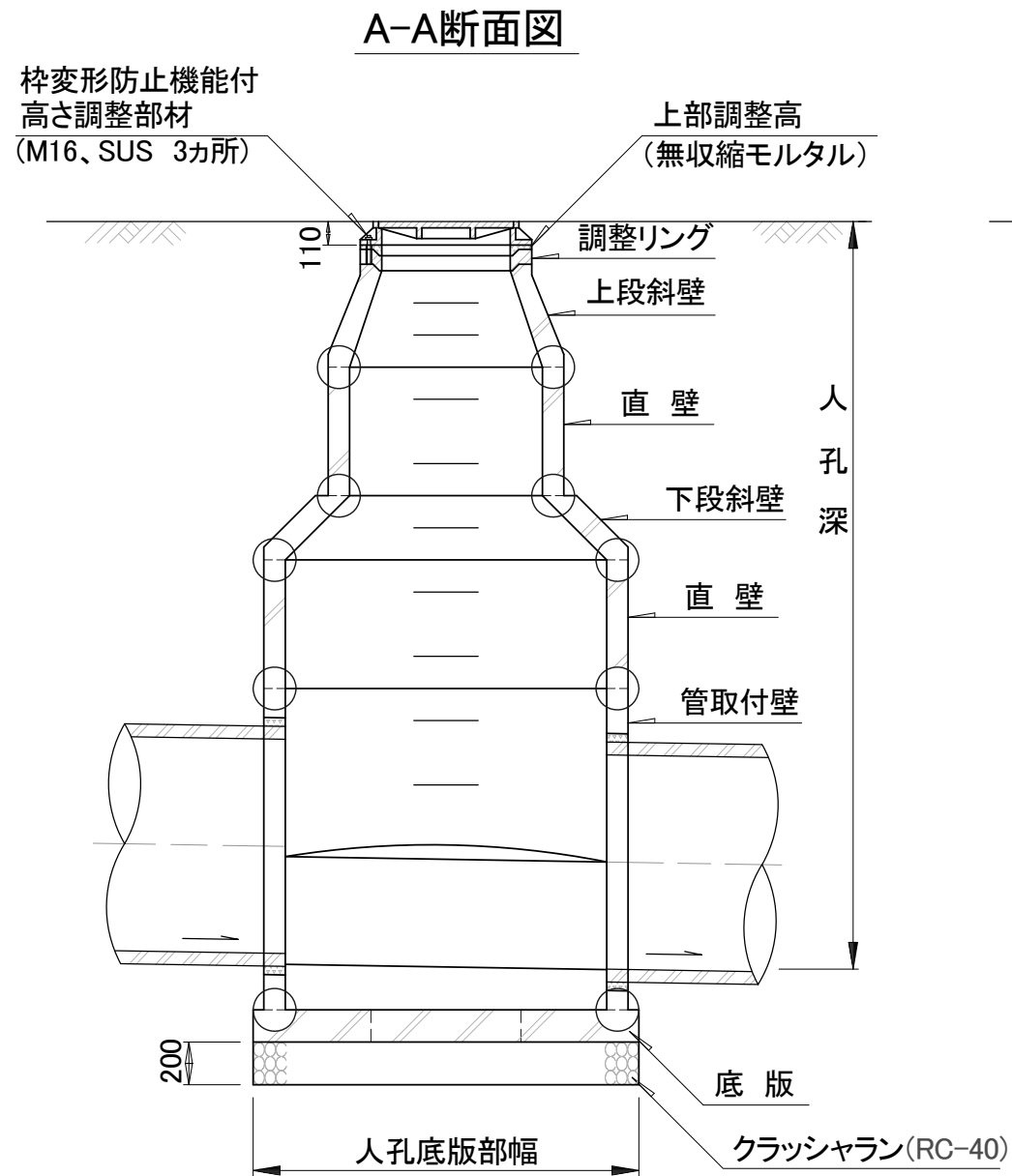
第2種組立人孔(タイプA)
 構造図
 (JSWAS A-11)



特記事項

1. 上部調整高は、調整リングで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、砕変形防止機能付高さ調整部材等により調整を行う。
2. 調整リングの上部及び下部の両端面、並びにこれと接合する部材の上端部の形状及び寸法、また、本図 ○の継手部の形状及び寸法については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。
3. 底版の形状については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。なお、管取付壁(底版付)を使用する場合のインバートは、現場打または工場製品のいずれでもよい。

第2種組立人孔(タイプB)
構造図
(JSWAS A-11)

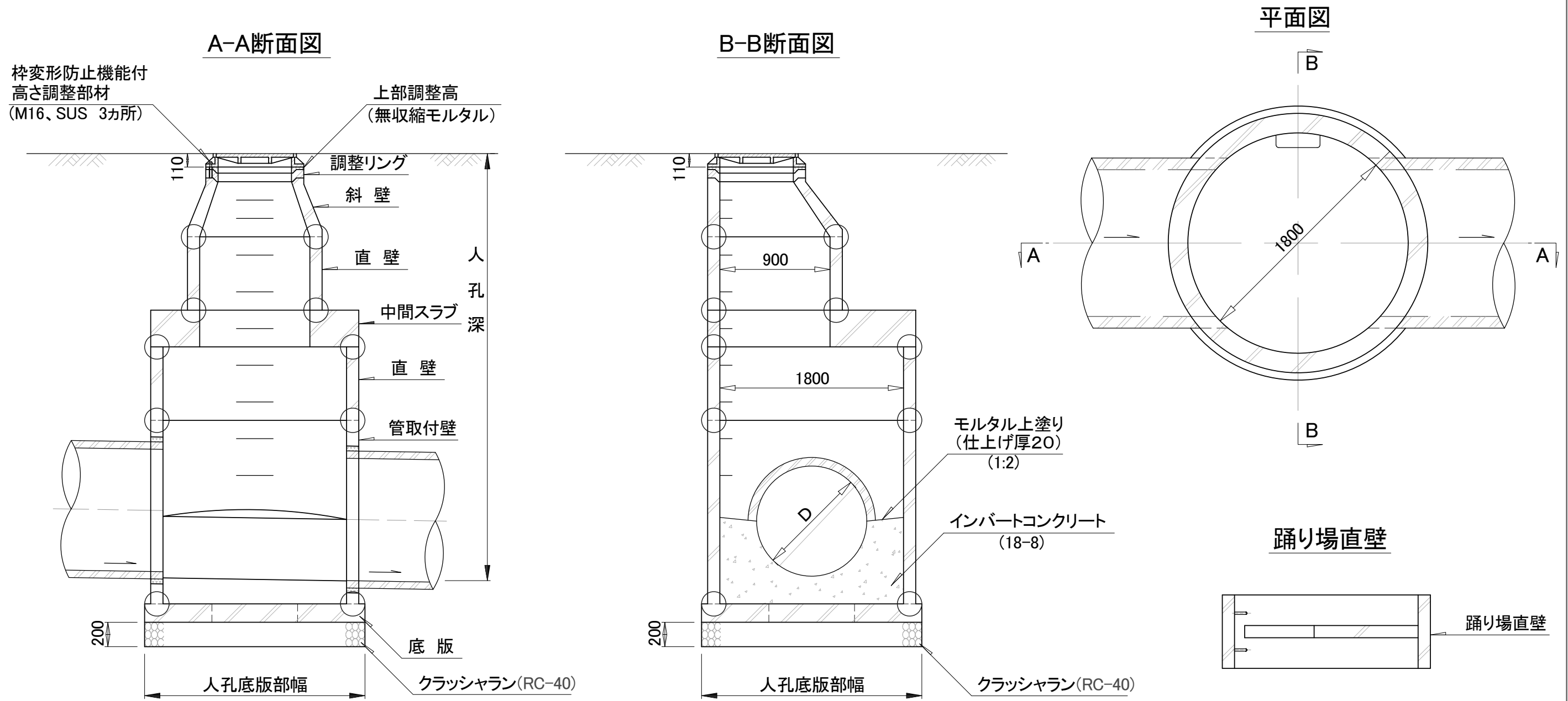


注) 人孔深が5m以上の場合は、
3m以内に1箇所入れること。

特記事項

1. 上部調整高は、調整リングで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、枠変形防止機能付高さ調整部材等により調整を行う。
2. 調整リングの上部及び下部の両端面、並びにこれと接合する部材の上端部の形状及び寸法、また、本図 ○ の継手部の形状及び寸法については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。
3. 底版の形状については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。なお、管取付壁(底版付)を使用する場合のインバートは、現場打または工場製品のいずれでもよい。

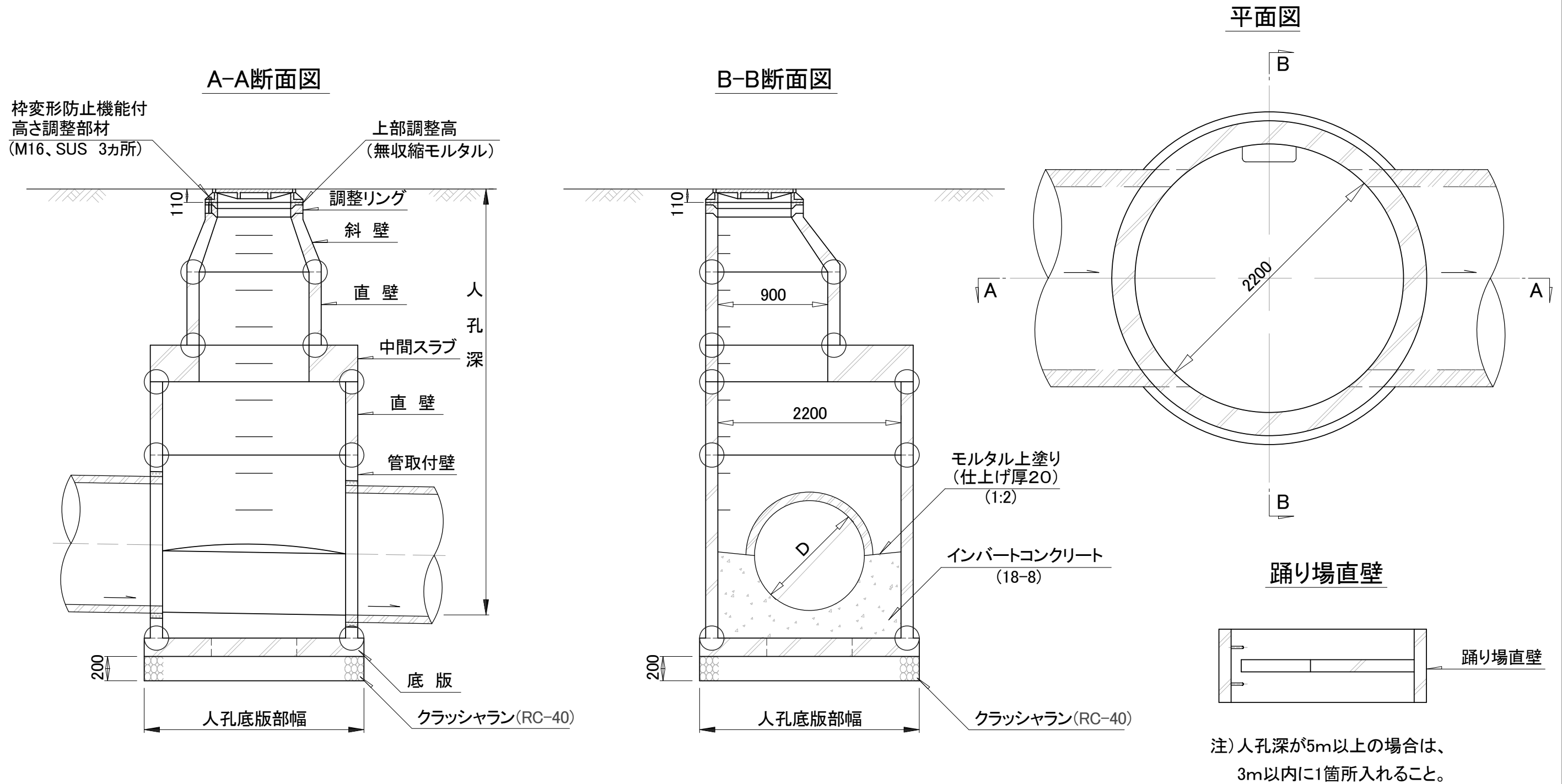
第3種組立人孔構造図
(JSWAS A-11)



注) 人孔深が5m以上の場合は、
3m以内に1箇所入れること。

- 特記事項**
1. 上部調整高は、調整リングで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、枠変形防止機能付高さ調整部材等により調整を行う。
 2. 調整リングの上部及び下部の両端面、並びにこれと接合する部材の上端部の形状及び寸法、また、本図 ○ の継手部の形状及び寸法については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。
 3. 底版の形状については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。なお、管取付壁(底版付)を使用する場合のインバートは、現場打または工場製品のいずれでもよい。

**第4種組立人孔構造図
(JSWAS A-11)**

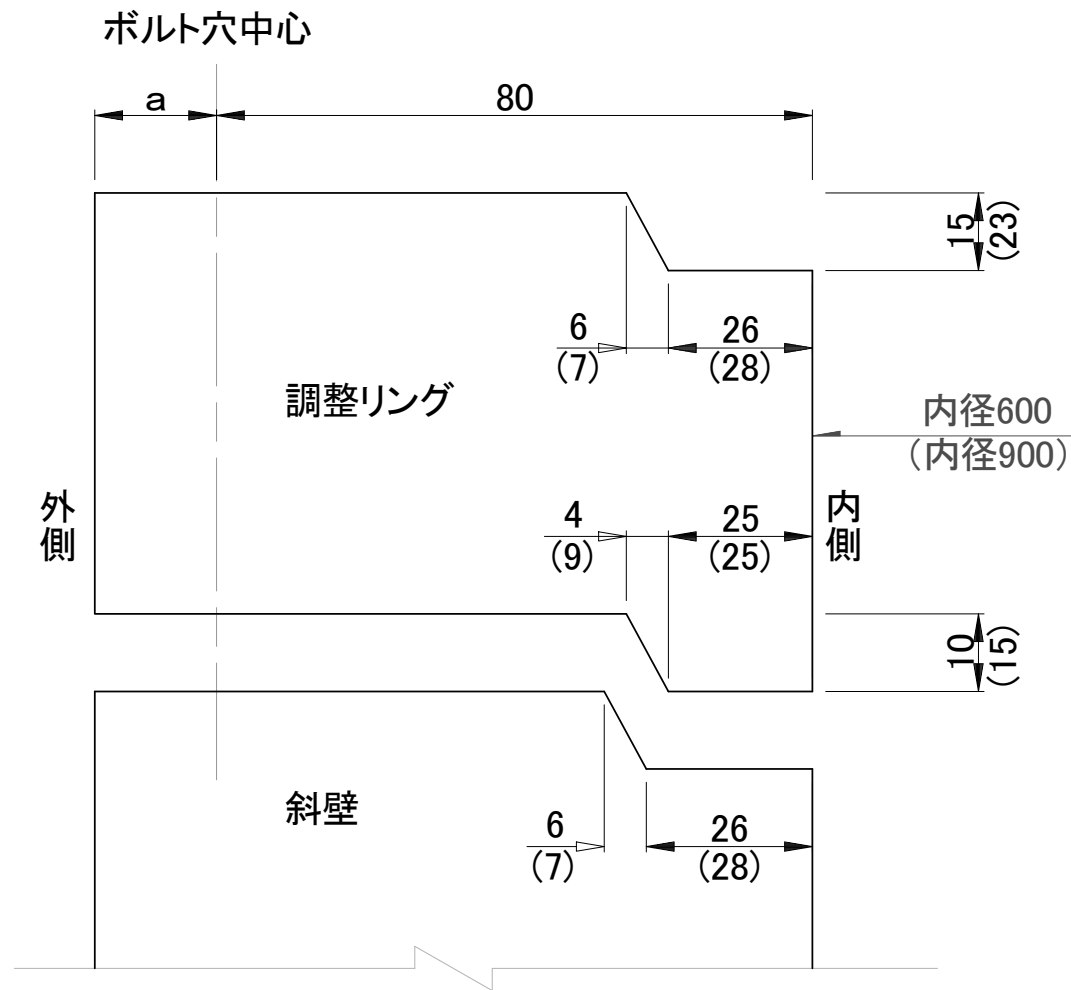


特記事項

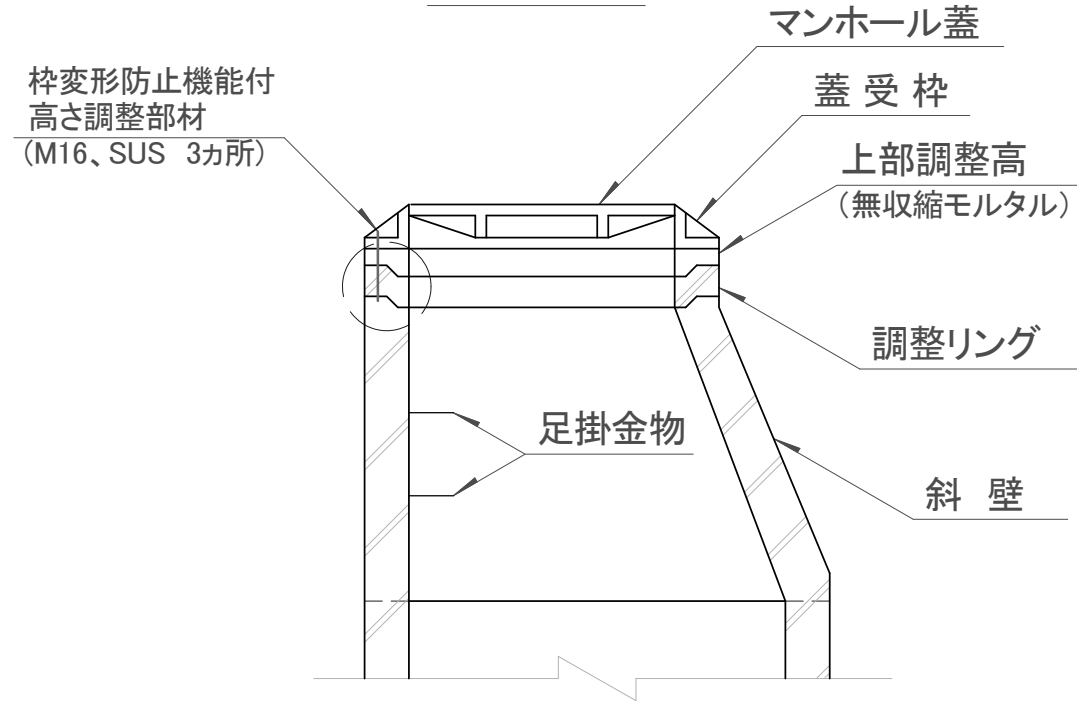
1. 上部調整高は、調整リングで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、枠変形防止機能付高さ調整部材等により調整を行う。
2. 調整リングの上部及び下部の両端面、並びにこれと接合する部材の上端部の形状及び寸法、また、本図 ○ の継手部の形状及び寸法については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。
3. 底版の形状については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)による。なお、管取付壁(底版付)を使用する場合のインバートは、現場打または工場製品のいずれでもよい。

第5種組立人孔構造図
(JSWAS A-11)

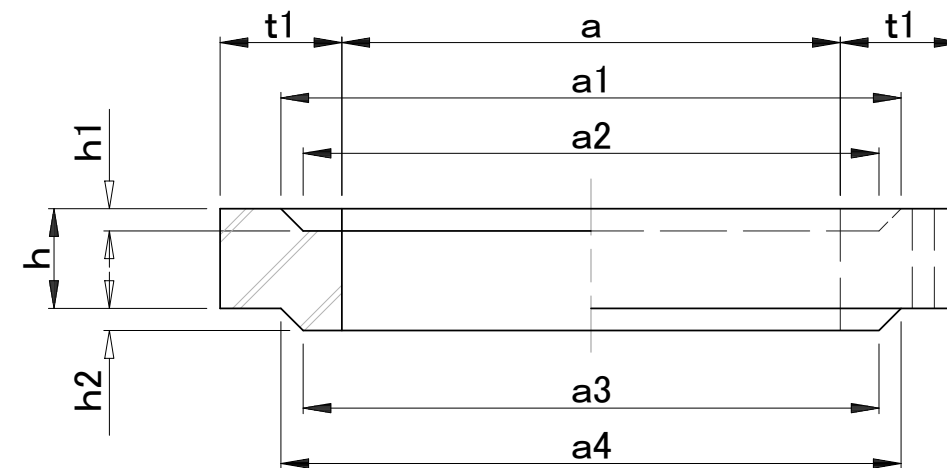
詳細図



断面図



寸法の許容差



(単位:mm)

区 分	a	a1 ~ a4	t1	h	h1, h2
調整リングの 上部及び下部	±4	±3	+4 -2	±5	±2
調整リングに接合 する側壁の上端部	±4	±3	+4 -2	—	±2

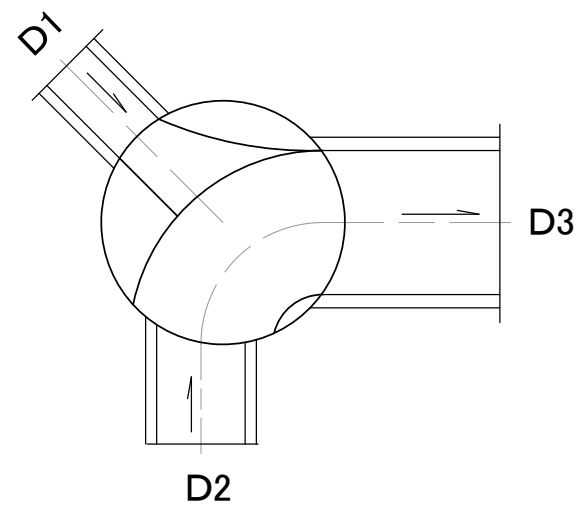
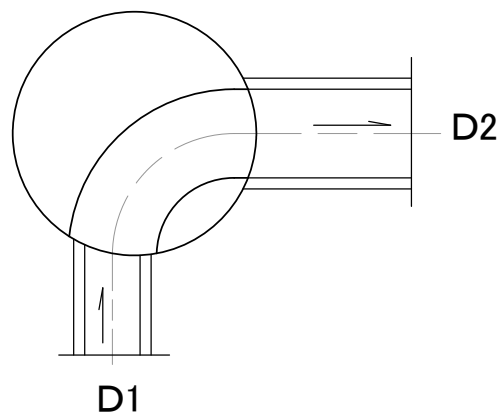
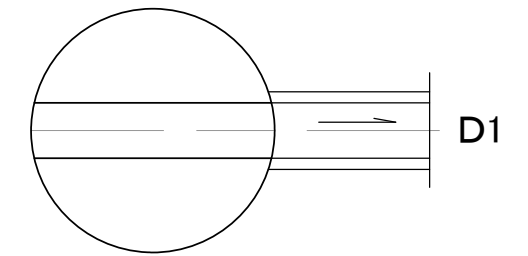
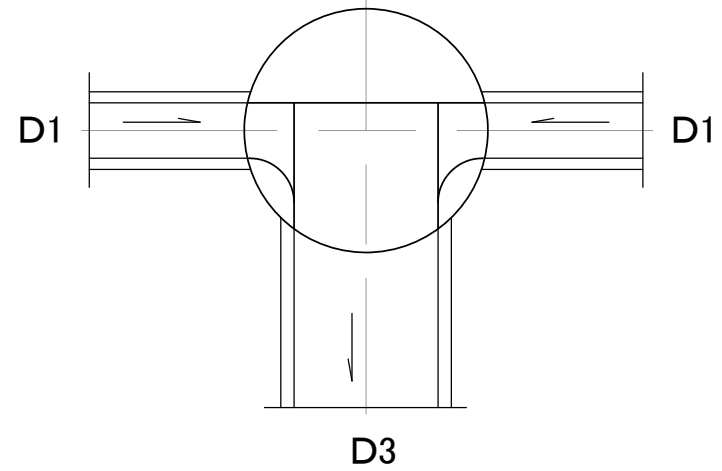
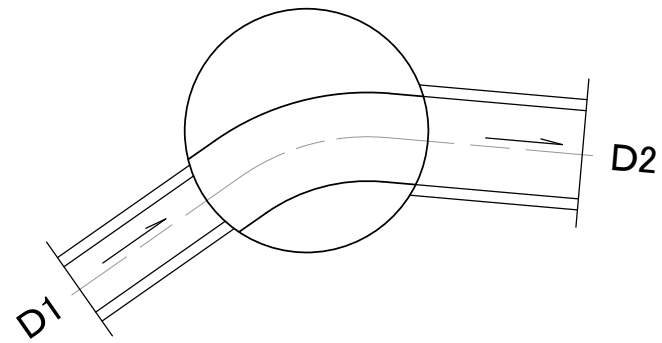
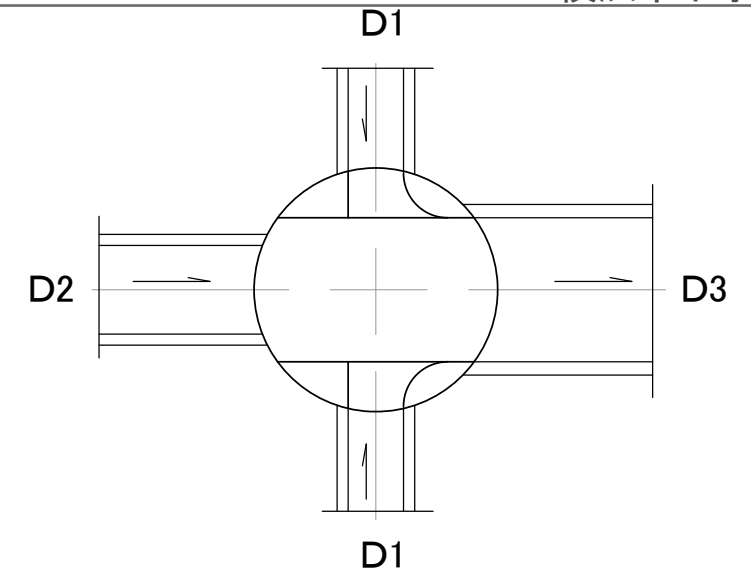
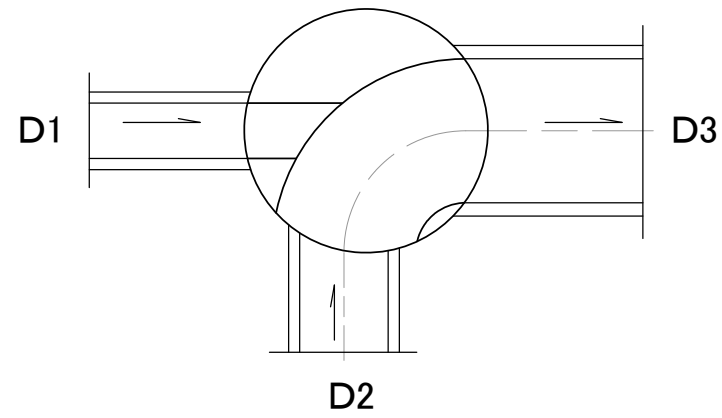
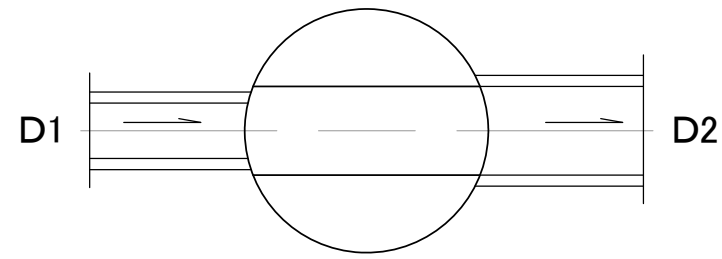
注) 1. a部の寸法については、日本下水道協会規格(JSWAS A-11)及び各製品に係る業界の団体規格による。

2. ()内の寸法については、内径900を示す。

特記事項

- ・上部調整高で使用する無収縮モルタル1m³当たりの使用量は、1,875kgとする。
- ・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。

調整リング上部及び下部の両端面並びにこれと接合する部材の上端部の寸法の許容差



特記事項

インバート高さは下流管管径の1/2かつ500mm以内とする。

人孔インバート図
($D1 < D2 < D3$)

副管断面選定基準

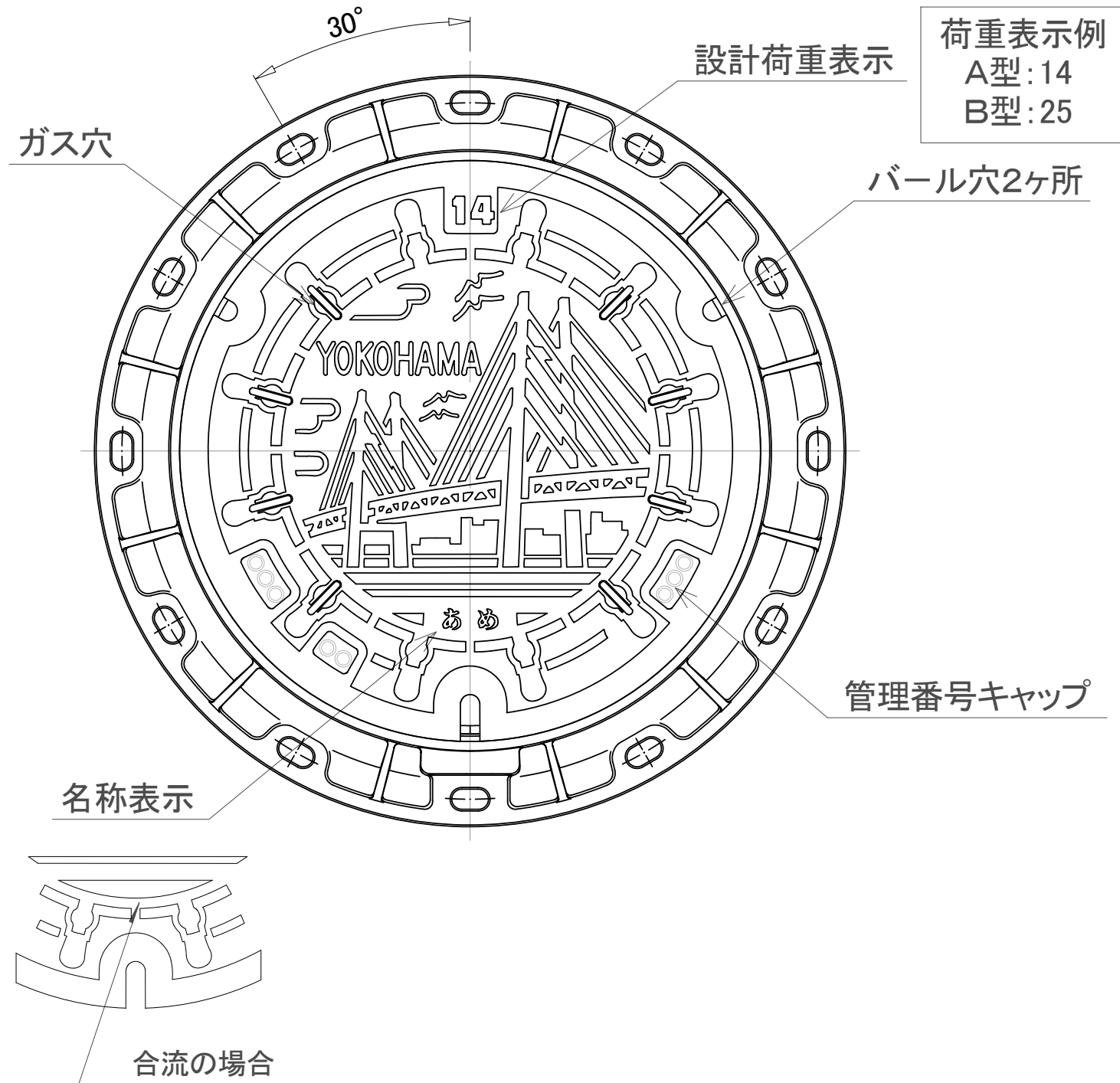
(単位: mm)

本管の内径	副管径d
φ200以下	150
φ250～φ350	200
φ400～φ500	250
φ600以上	300

- ・ 副管は原則として人孔内側に設置し、上表を標準とする。
- ・ 合流式下水道で副管の設置位置に中間スラブがある場合等は、維持管理への配慮から別途考慮することができる。
- ・ 分流式下水道の雨水管きよの人孔には副管を使用しないのが一般的であるが、周辺環境等に応じて設置する場合がある。
- ・ 副管を内側に設置する場合は、第2種人孔以上の適用が望ましいが、構造上の工夫等で維持管理に支障がない場合はこの限りではない。

特記事項

人孔副管

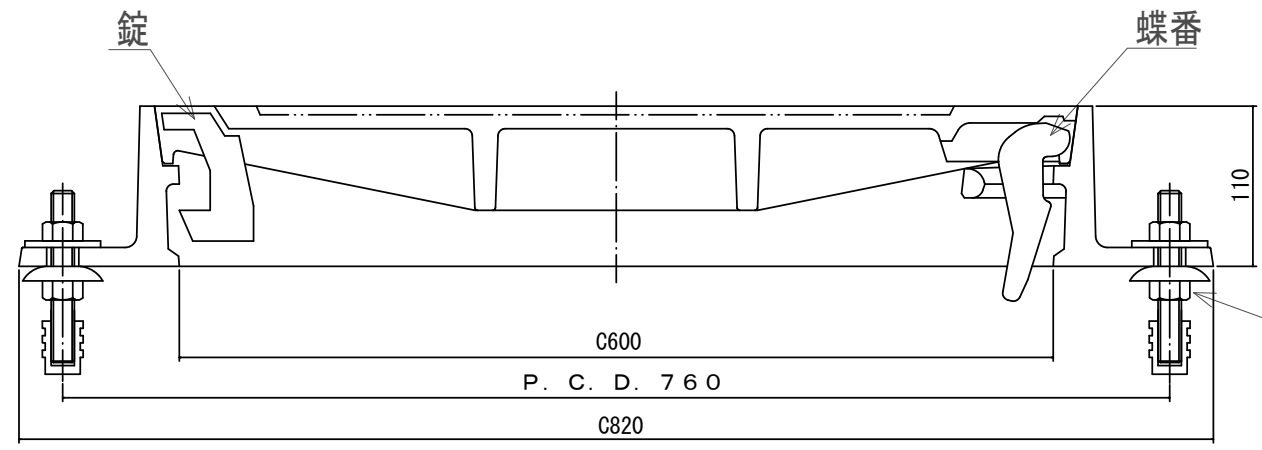
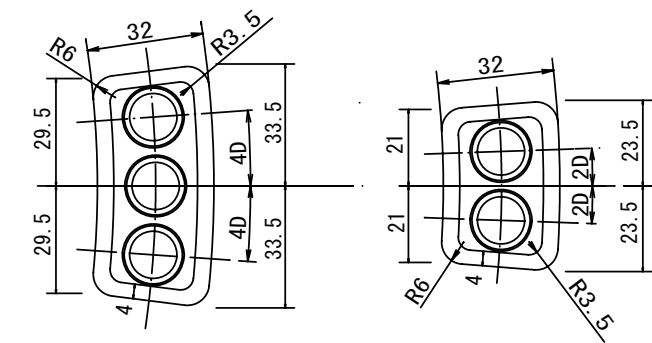


	名 称	名称表示
下 水 道 管 き よ	汚水	おすい
	雨水	あめ
	合流	
	汚水幹線	汚水幹線
	雨水幹線	雨水幹線
	合流幹線	合流幹線
	伏越	伏越
	雨水吐	雨水吐
	雨水放流管	雨水放流
	幹線(分水人孔)	幹線分水
	枝線(分水人孔)	分水
	幹線(分水後の人孔)	合雨幹線
枝線(分水後の人孔)	合流雨水	
下 水 道 パ イ プ ラ イ ン	汚水管空気弁	SE空気弁
	汚水管仕切弁	SE仕切弁
	汚水管泥吐	SE吐口
	再利用水管空気弁	RE空気弁
	再利用水管仕切弁	RE仕切弁
	再利用水管泥吐	RE吐口
	スラッジ管空気弁	SL空気弁
	スラッジ管仕切弁	SL仕切弁
スラッジ管泥吐	SL吐口	

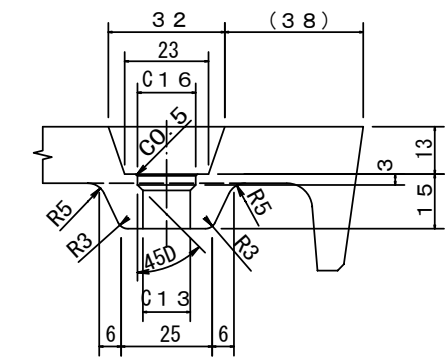
特記事項
汚水用のふたについては、ガス穴は開けないものとする。
構造等詳細は、人孔ダクタイル蓋構造図による。

人孔ダクタイル蓋種別図

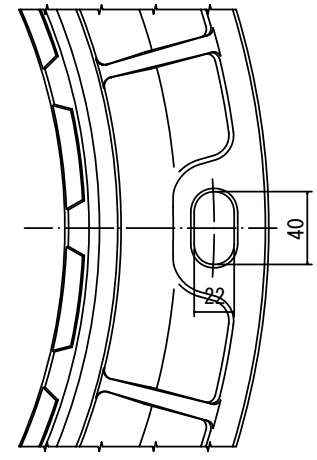
管理番号キャップ取付部詳細



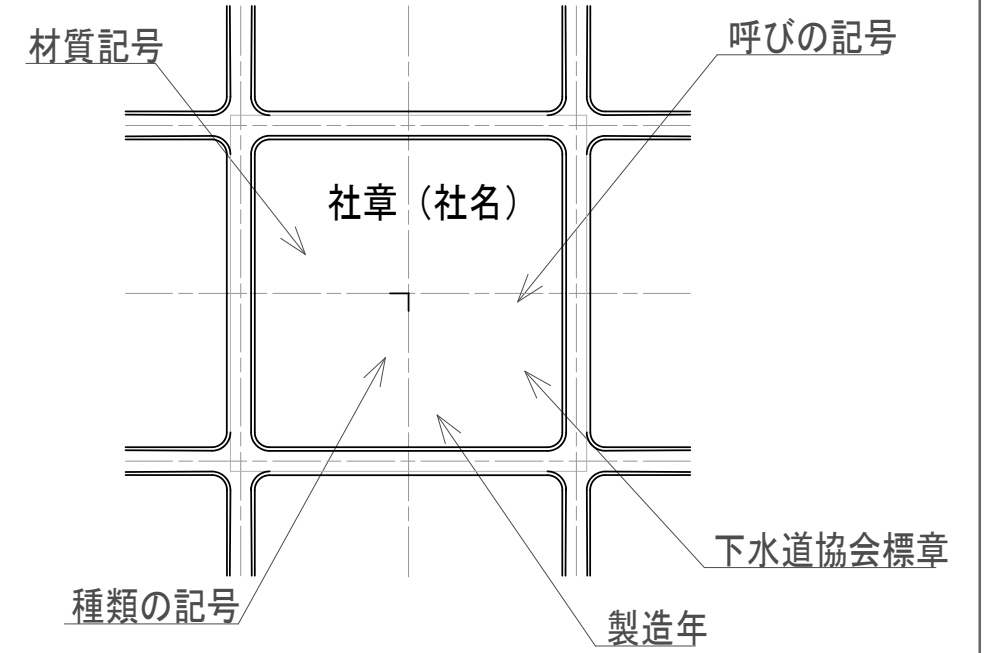
受枠変形防止機能付ボルト・ナット (M-16、SUS)



アンカー穴詳細



ふた裏面表示例



荷重表示例
A型 : 14
B型 : 25

バール穴2ヶ所

管理番号キャップ

名称表示

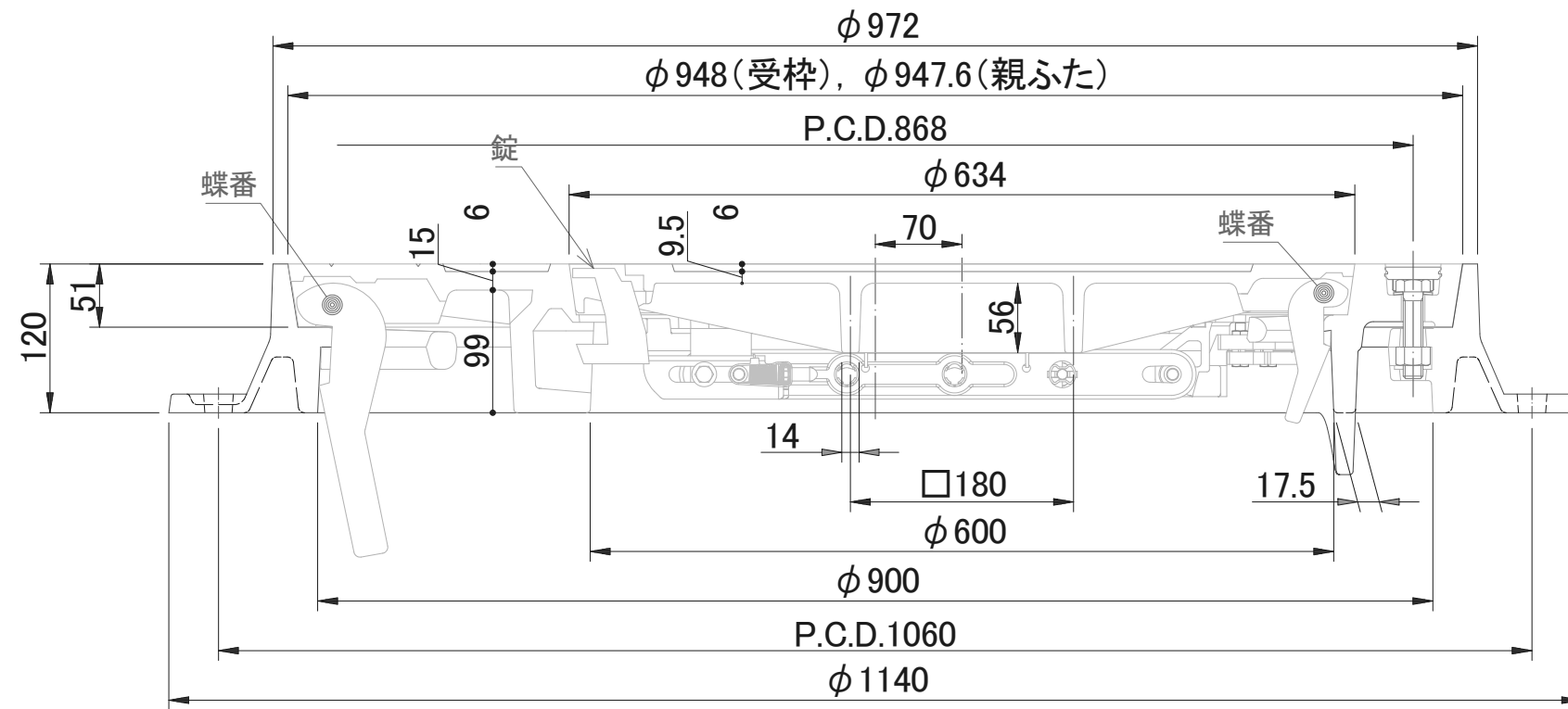
特記事項

材質	蓋FCD700 受枠FCD600	
載荷重	A型	T-14 i=0.4
	B型	T-25 i=0.4

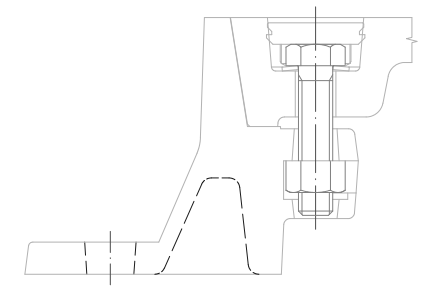
- ・飛散防止機能付きのふたとし、名称表示の詳細は、人孔ダクタイトイル蓋種別図による。
- ・管理番号キャップの詳細は、人孔ダクタイトイル蓋用管理番号キャップ構造図による。
- ・仕様は、「下水道用鋳鉄ふた仕様書（横浜市下水道河川局）」による。
- ・本市へ登録を完了している製造業者の登録製品を使用すること（横浜市下水道河川局HP「下水道用鋳鉄ふた製造業者登録特記仕様書」を参照）

人孔ダクタイトイル蓋構造図 (φ600mm) A型・B型

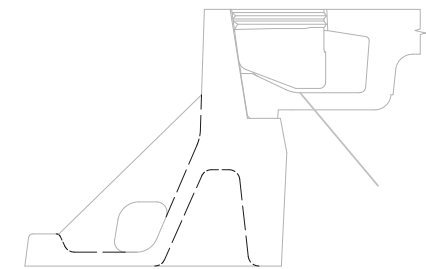
ふた,受枠断面図



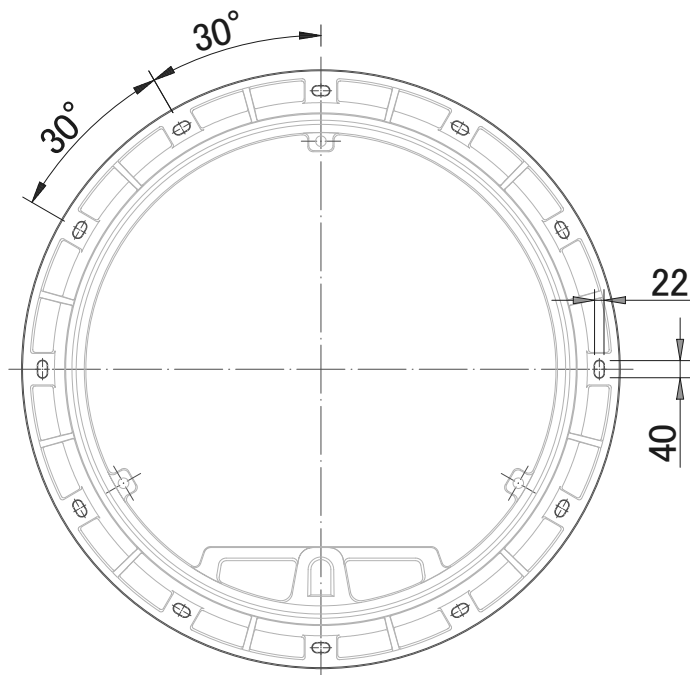
ボルト緊結部詳細図



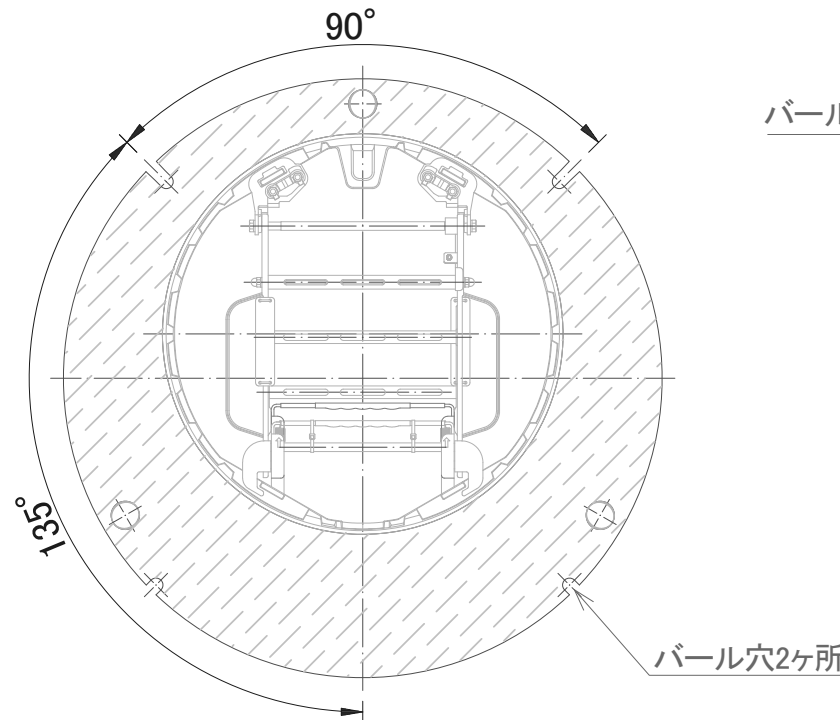
親ふたバール穴部詳細図



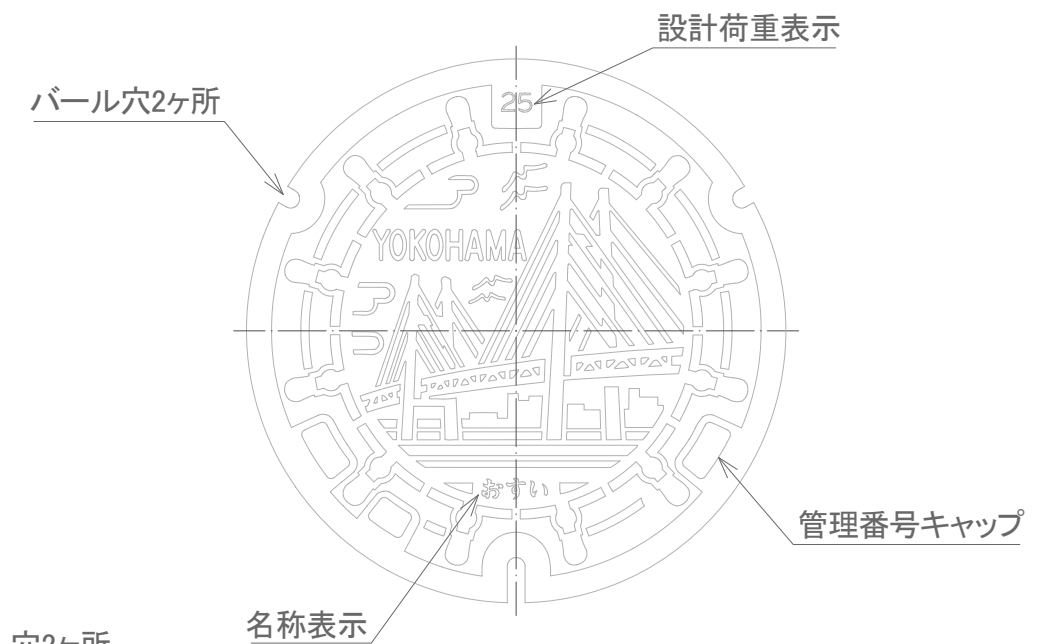
受枠平面図



親ふた平面図



子ふた平面図



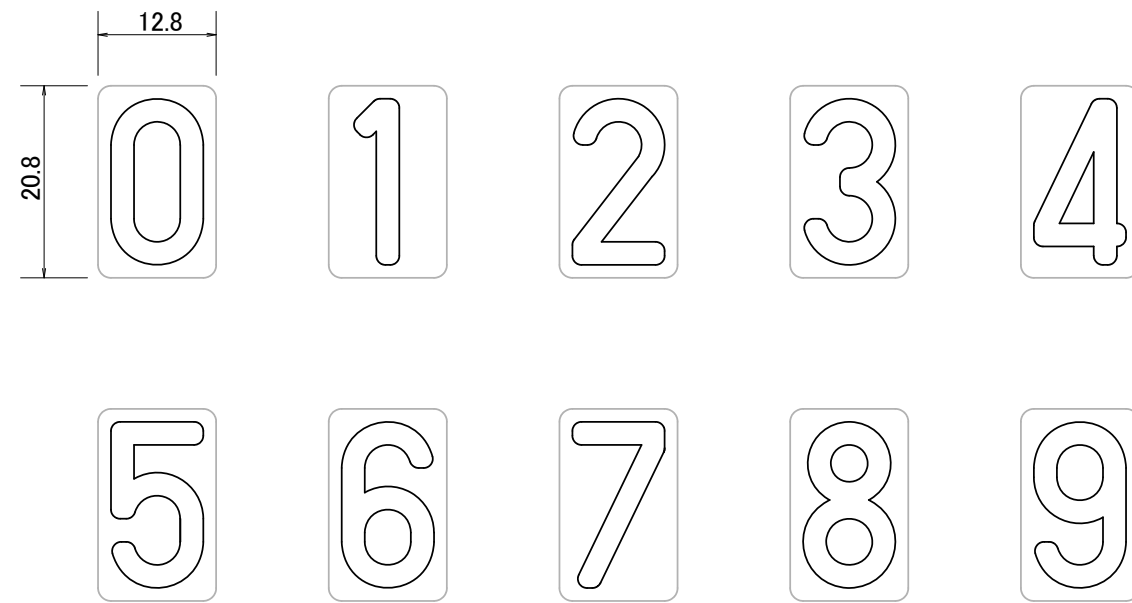
特記事項

材質	ふたFCD700 受枠FCD600
載荷重	T-25 i=0.4

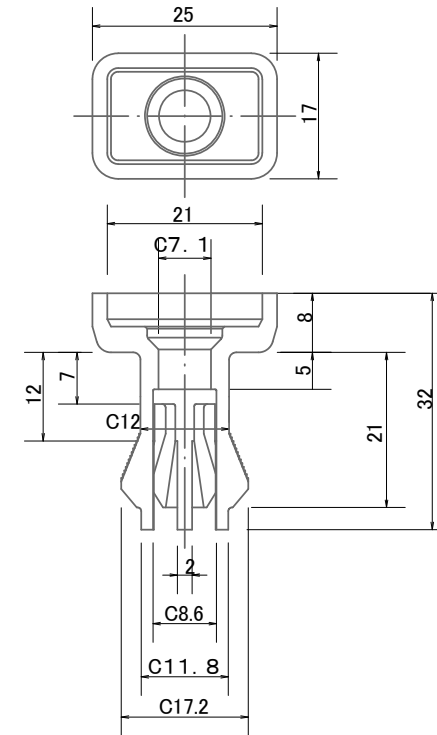
- ・仕様は、「下水道用鑄鉄ふた仕様書（横浜市下水道河川局）」による。
- ・本市へ登録を完了している製造業者の登録製品を使用すること（横浜市下水道河川局HP「下水道用鑄鉄ふた製造業者登録特記仕様書」を参照。

人孔ダクタイル蓋構造図
(φ900-600mm)

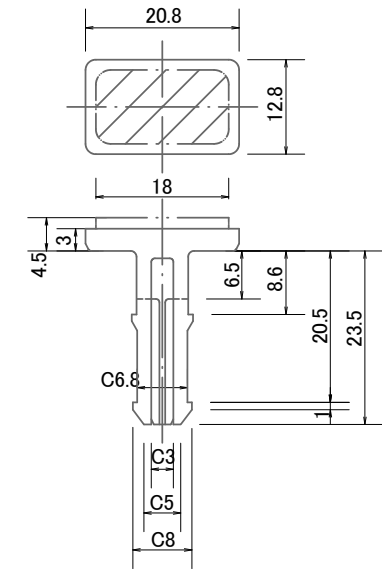
管理番号キャップ一覧



外枠キャップ詳細図



キャップ詳細図

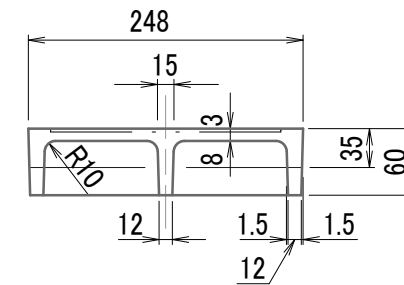
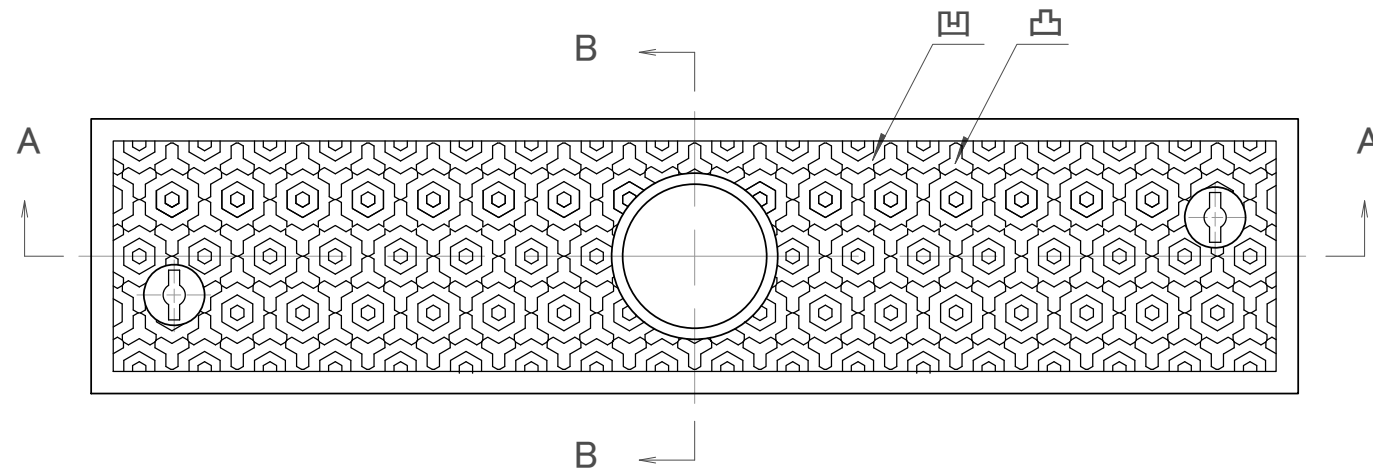


特記事項

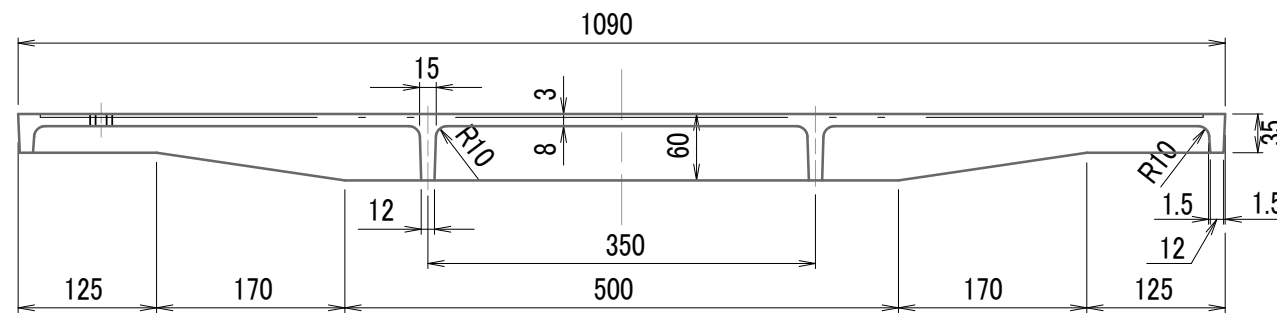
管理番号キャップの規格は、以下のとおりとする。

材 質	標準色	三属性による表示(JIS Z 8721)
PA(6N) ガラス含有率15%	イエロー	7.5YR 7/12相当

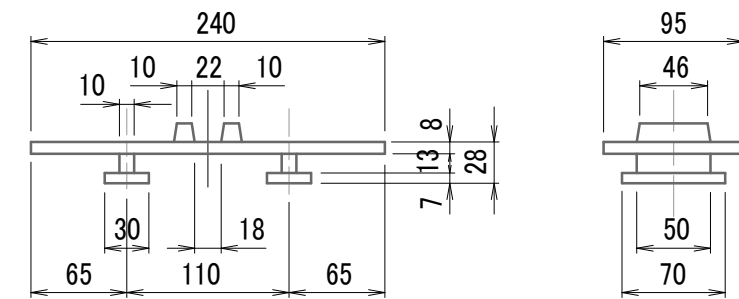
人孔ダクタイル蓋用
管理番号キャップ構造図



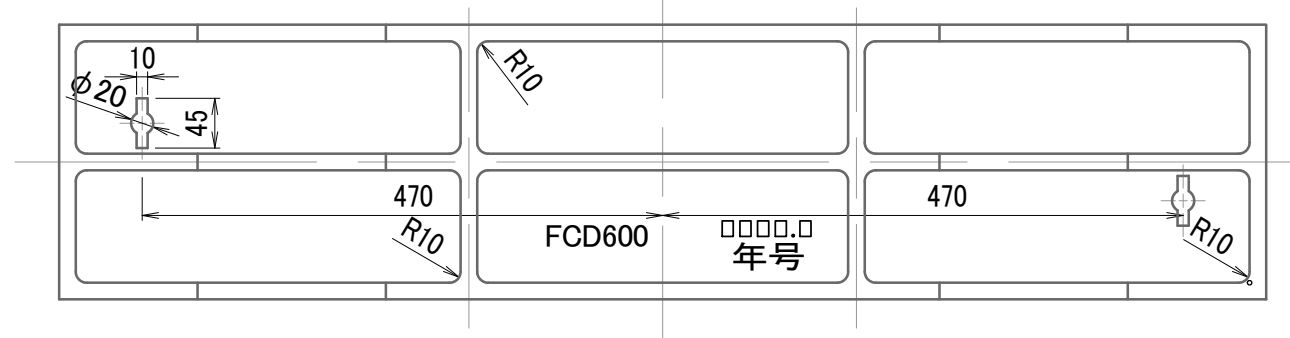
B-B断面図



A-A断面図



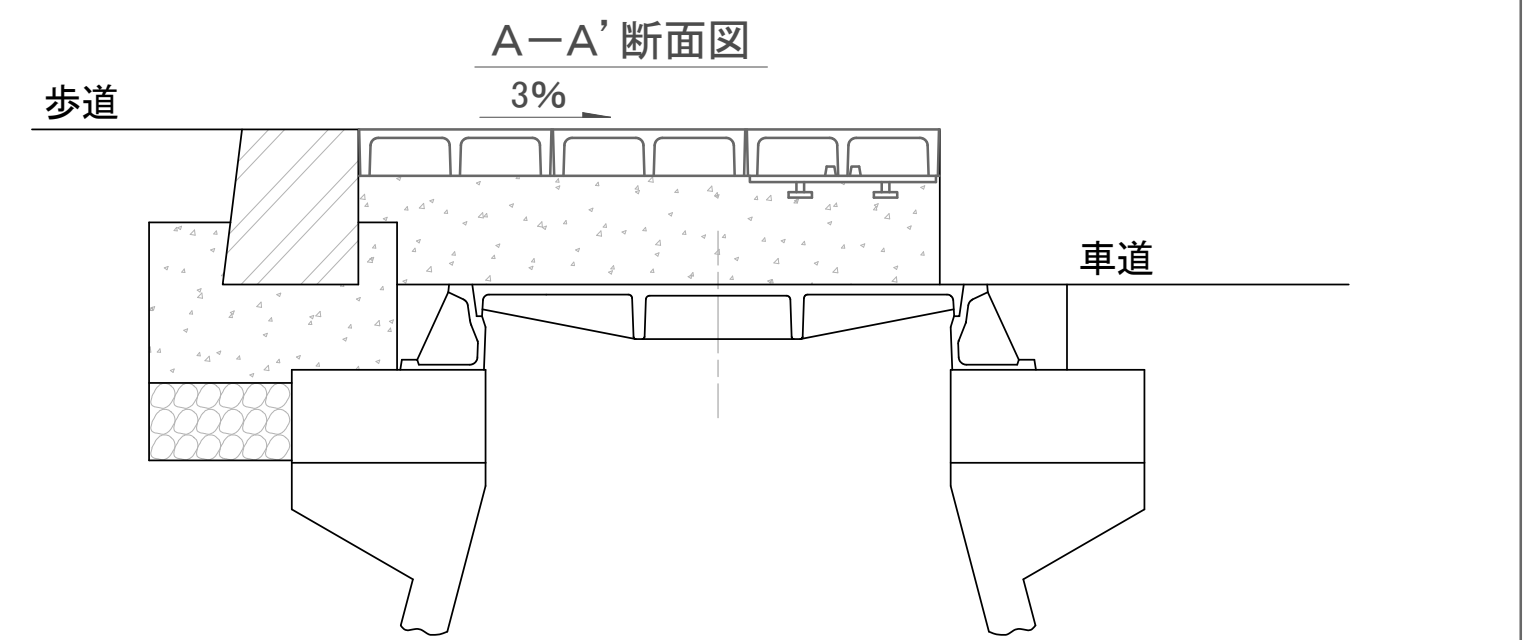
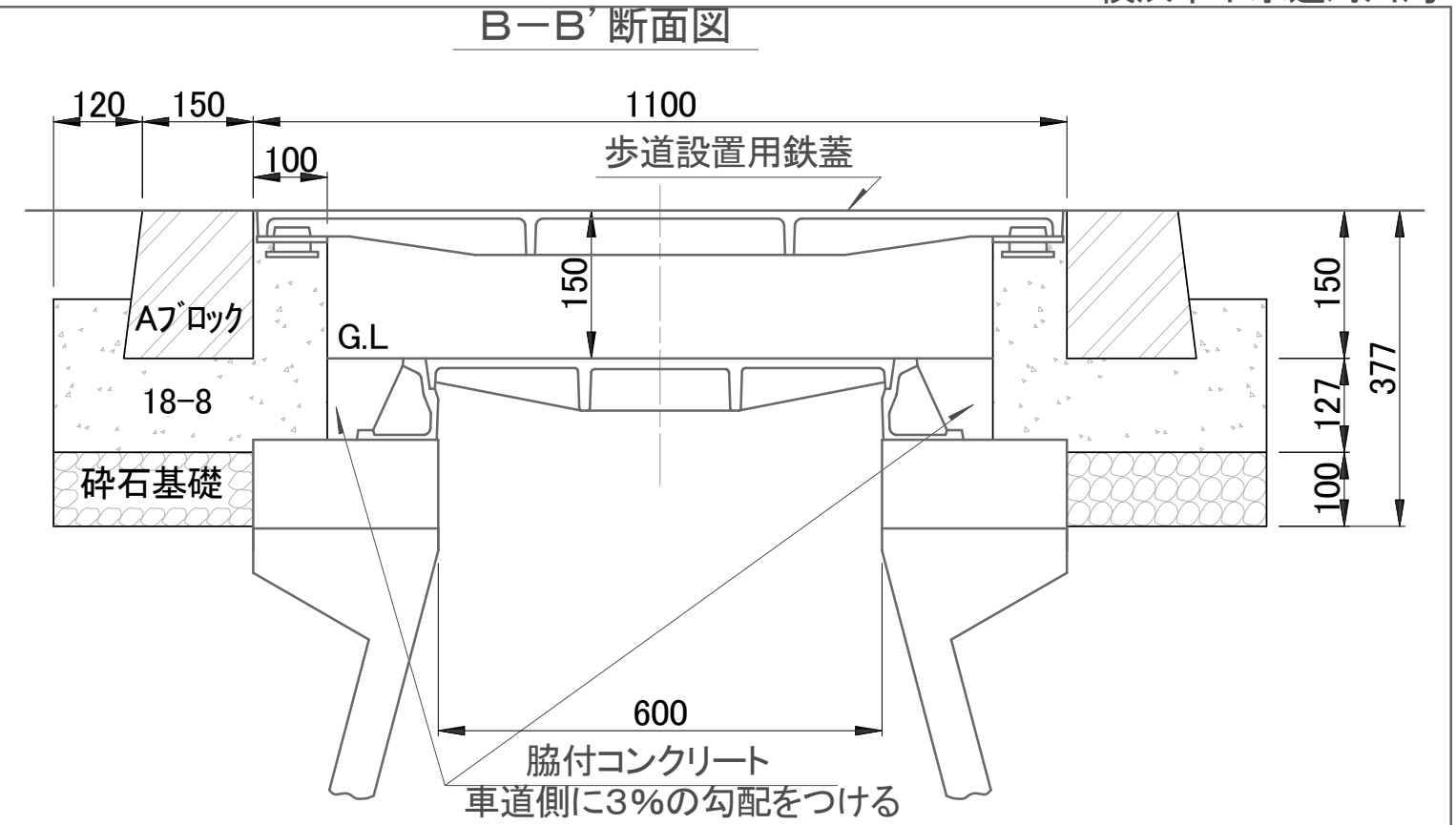
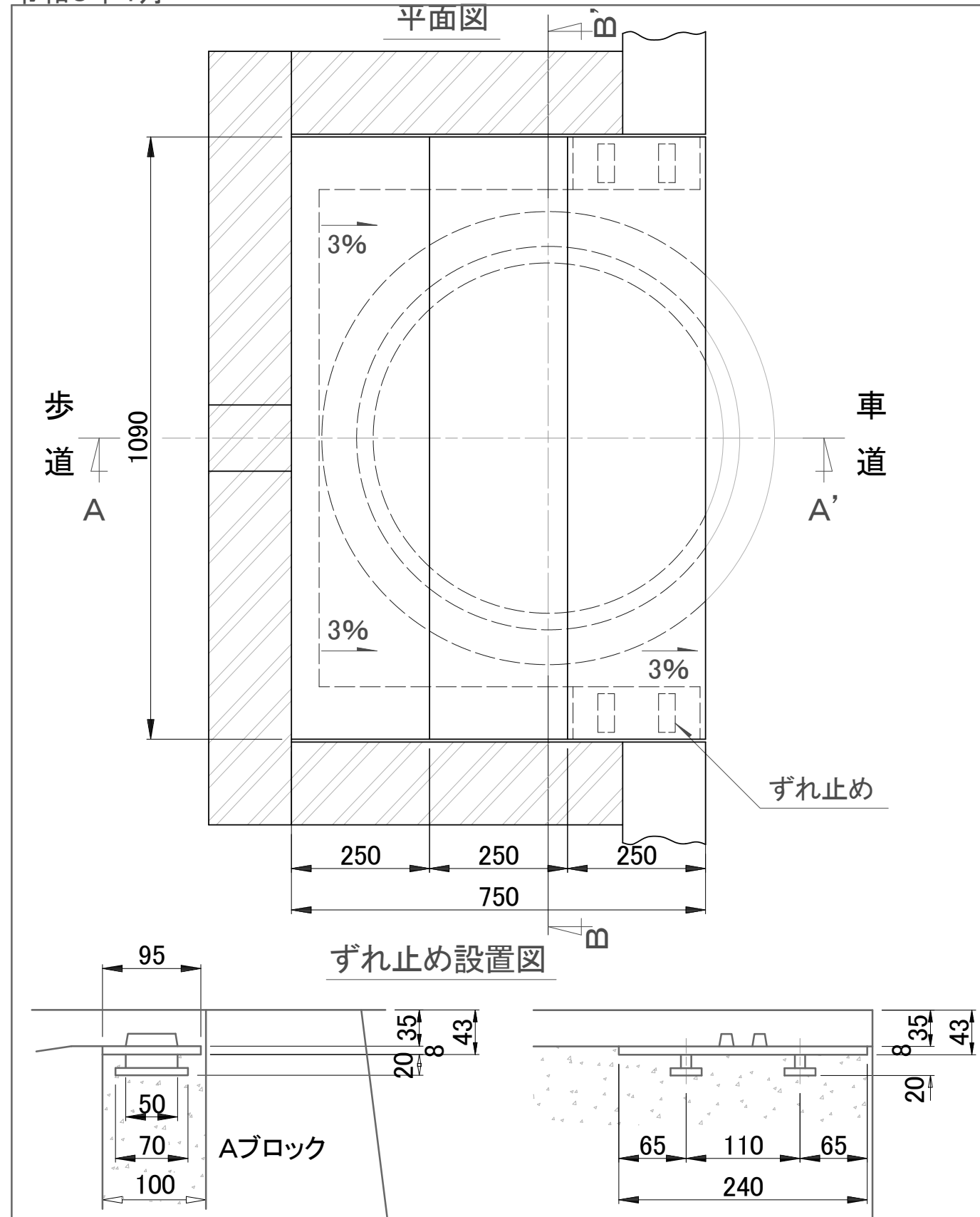
ずれ止め詳細



特記事項

材質	FCD600
----	--------

歩道設置用鉄蓋構造図



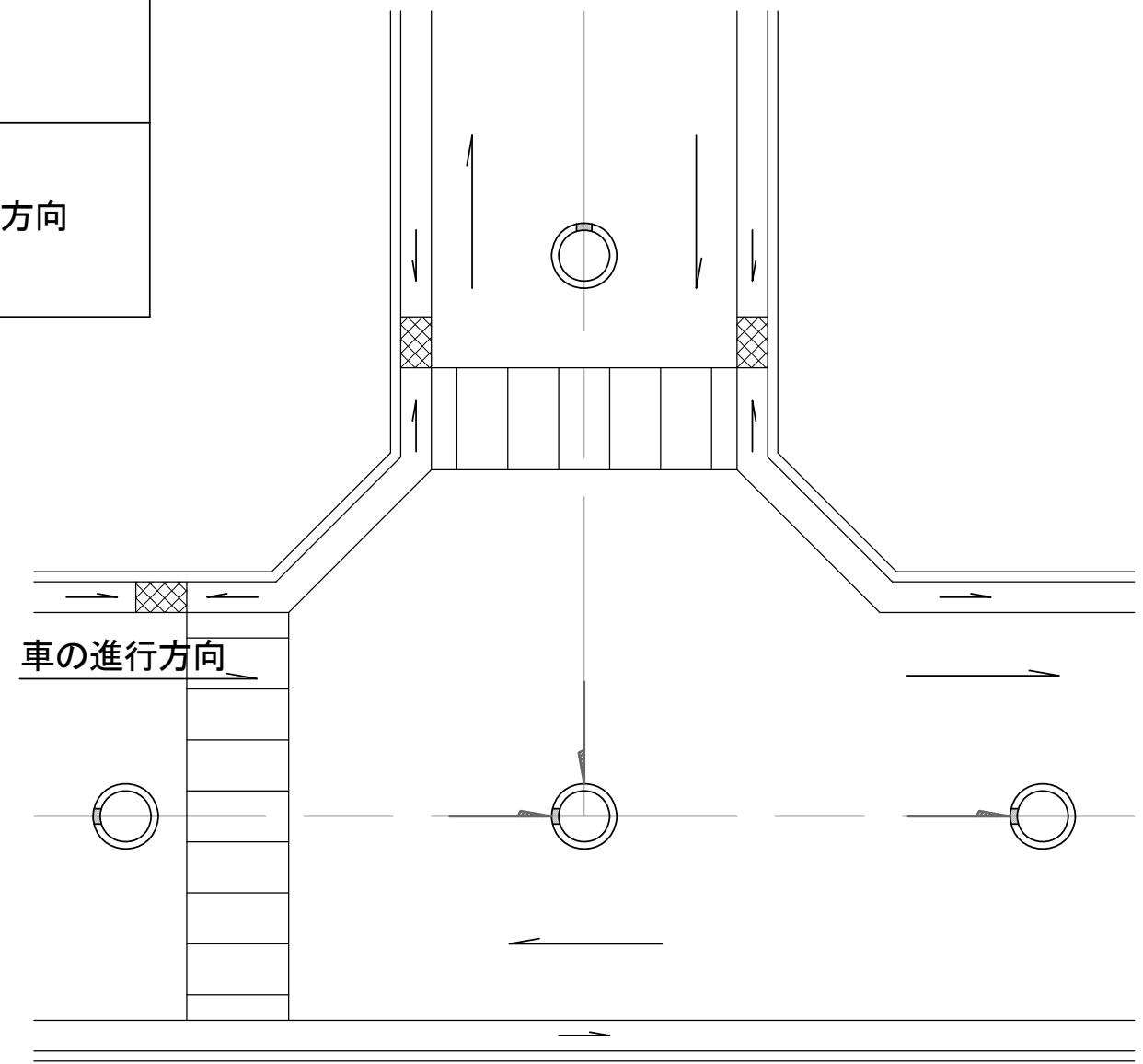
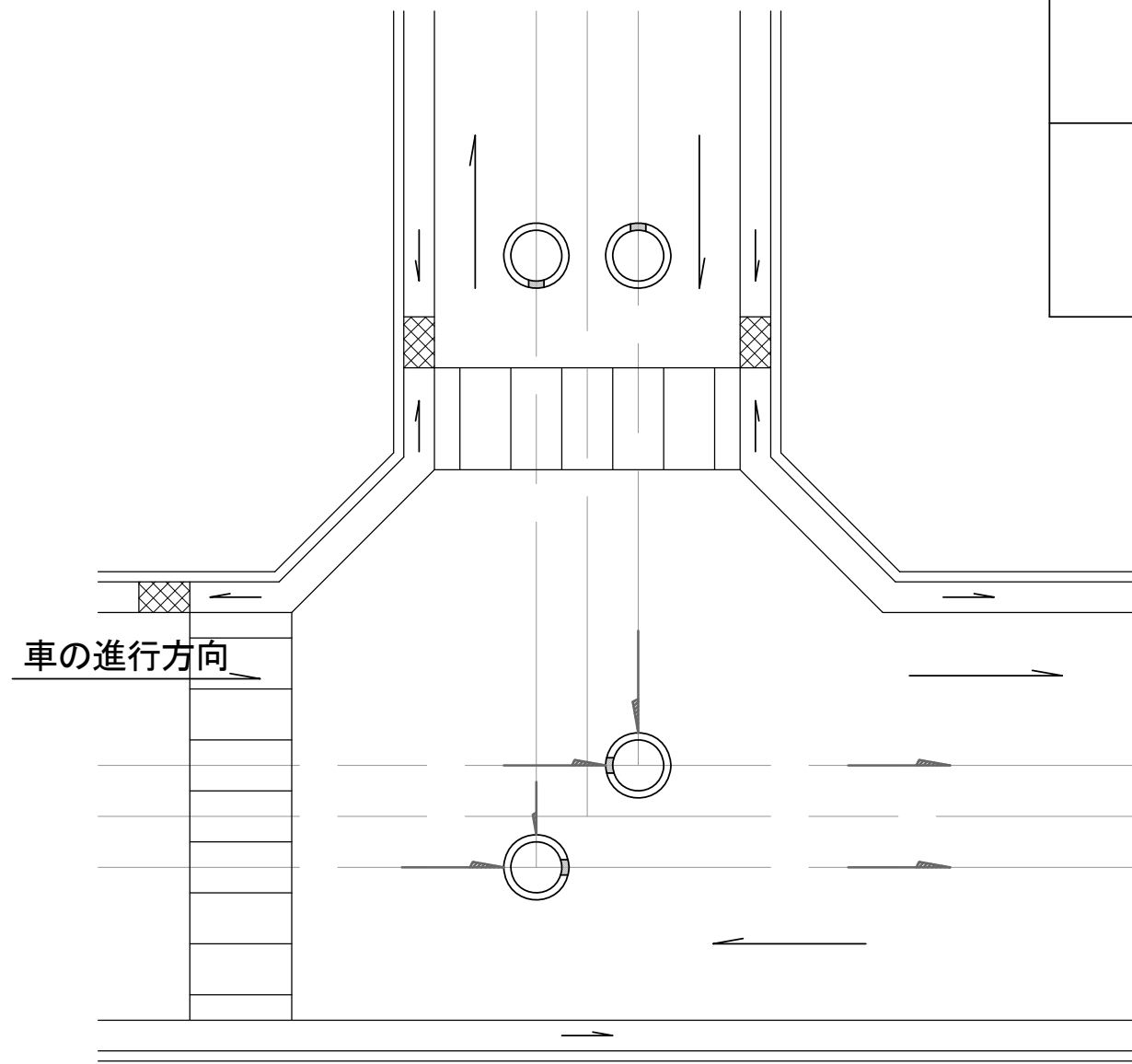
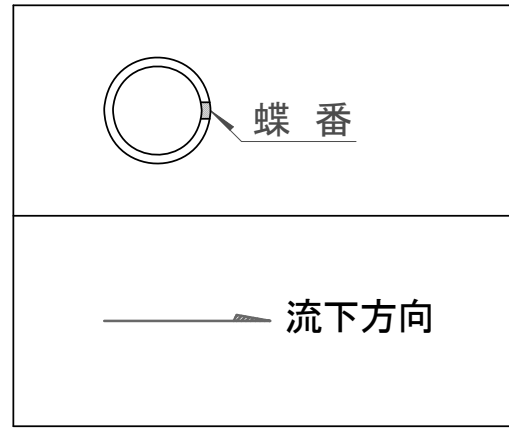
歩道設置用鉄蓋 設置基準		鉄蓋使用枚数
1.	MH中心点が歩車道境界線より、車道側に193mm以上	1枚
2.	同上 車道側に192mm以下～歩道側57mm以下	2枚
3.	同上 歩道側に58mm以上～307mm以下	3枚

特記事項

材質 蓋FCD600

歩道設置用鉄蓋設置図

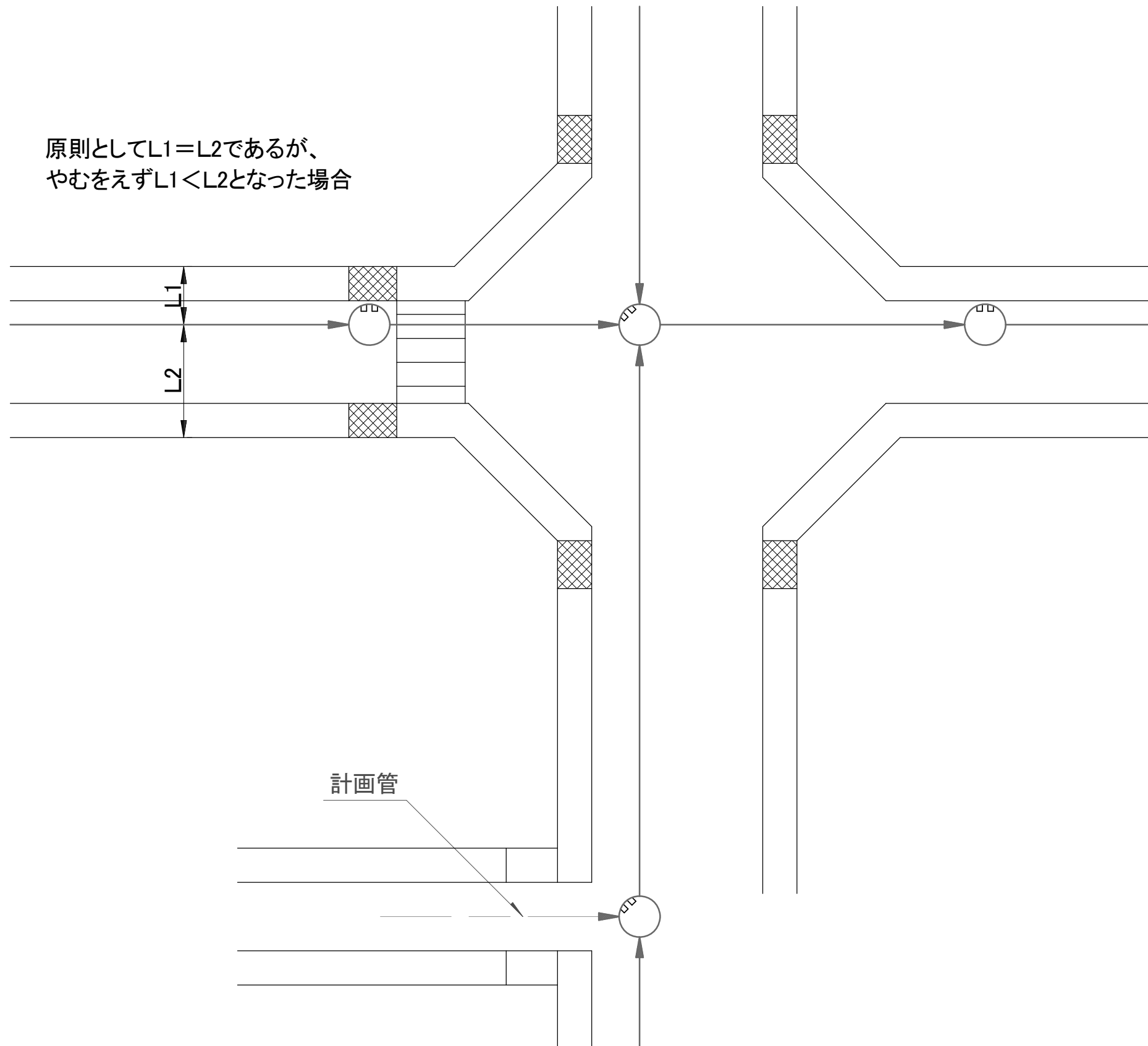
凡 例



特記事項

注1) 道路中央に管を布設出来ない場合、車の進行方向の手前に蝶番を設置する。
 坂道の場合は、道路勾配の上側に蝶番を設置する。
 注2) 原則として蝶番は、足掛金物と直角の位置に設置する。

人孔蓋蝶番位置図



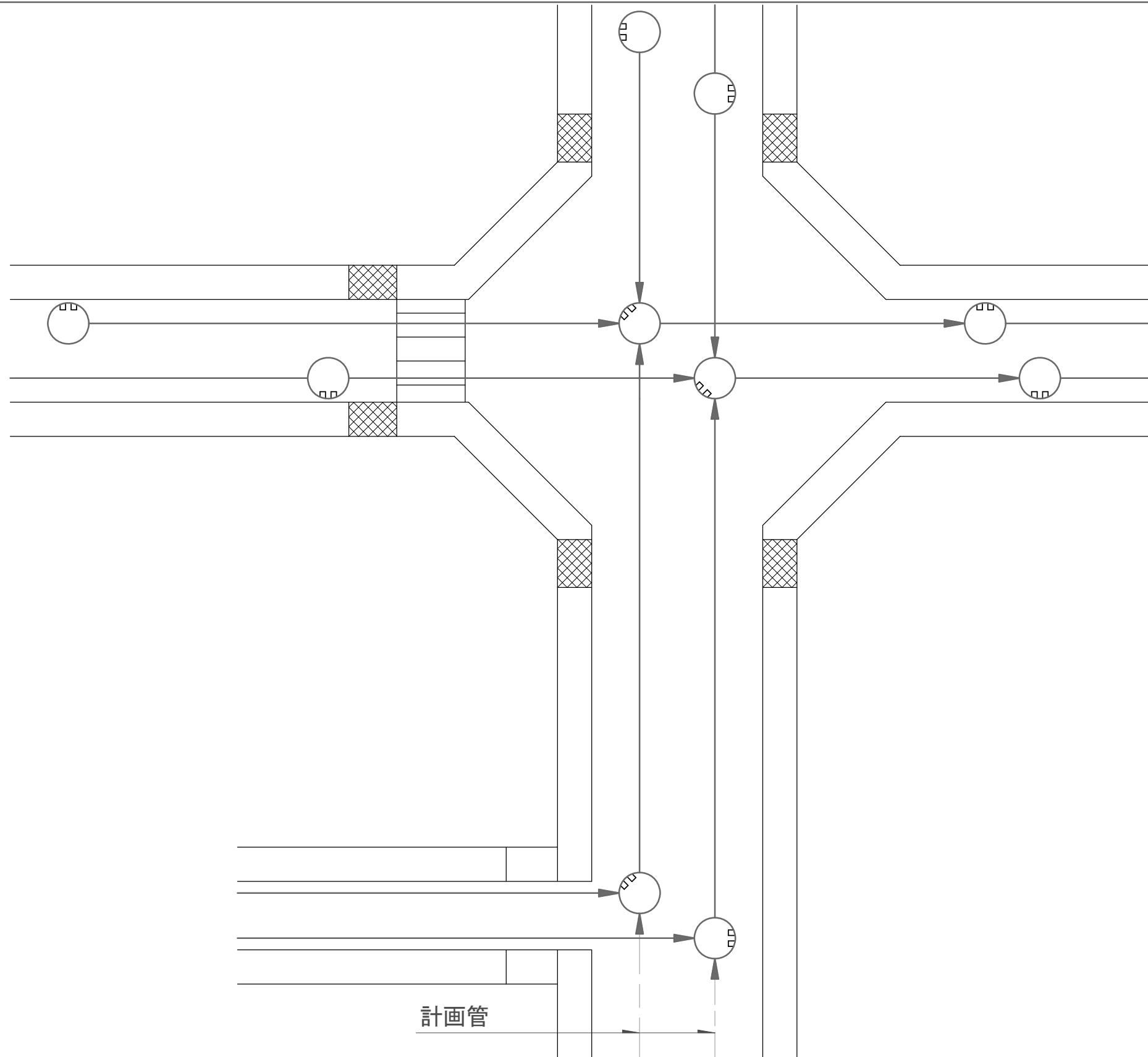
凡 例

記号	名称
	足掛金物

特
記
事
項

注1) 将来計画管の流入位置を考慮して設置位置を定める。
注2) 原則として足掛金物は、蝶番と直角の位置に設置する。

合流式足掛け金物設置図



凡 例

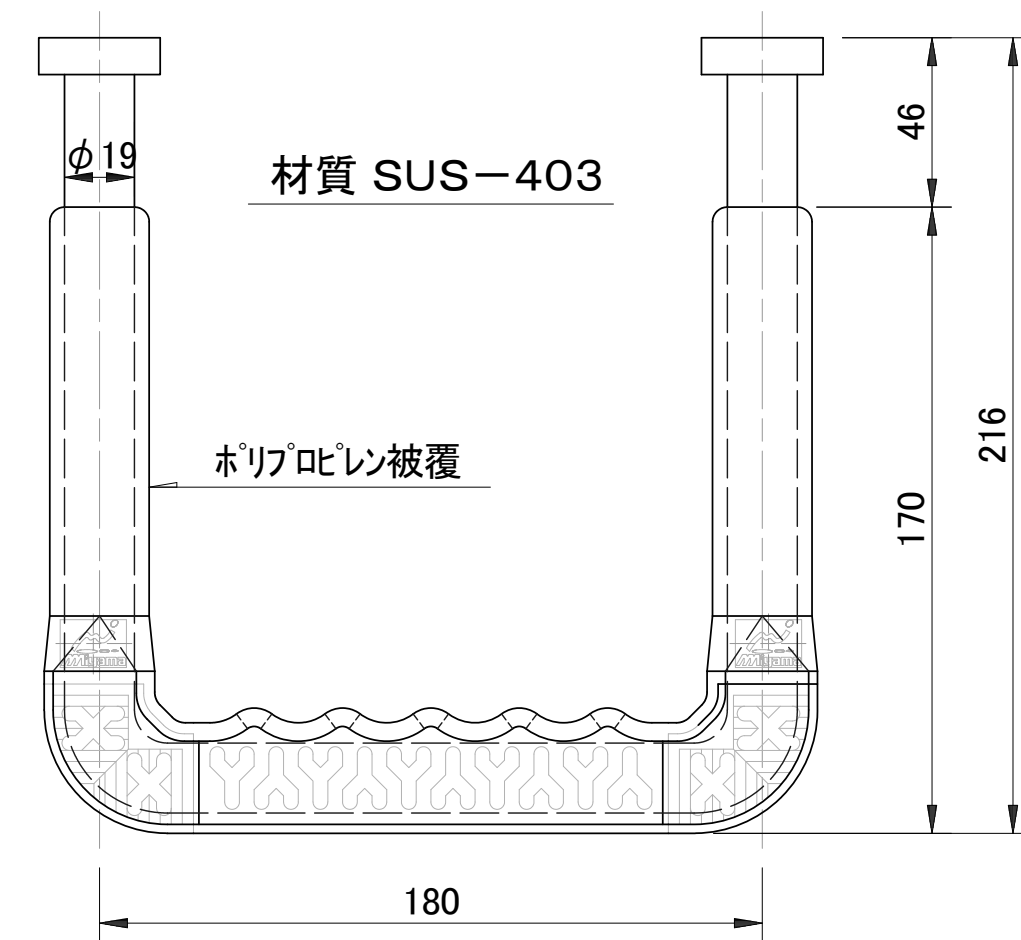
記 号	名 称
	足掛金物

特
記
事
項

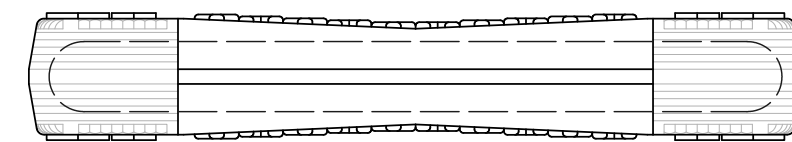
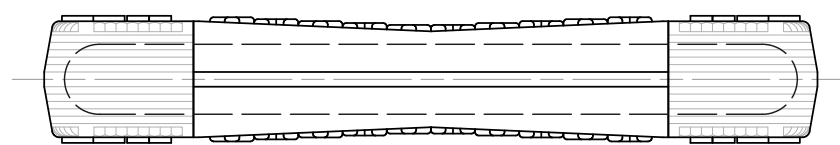
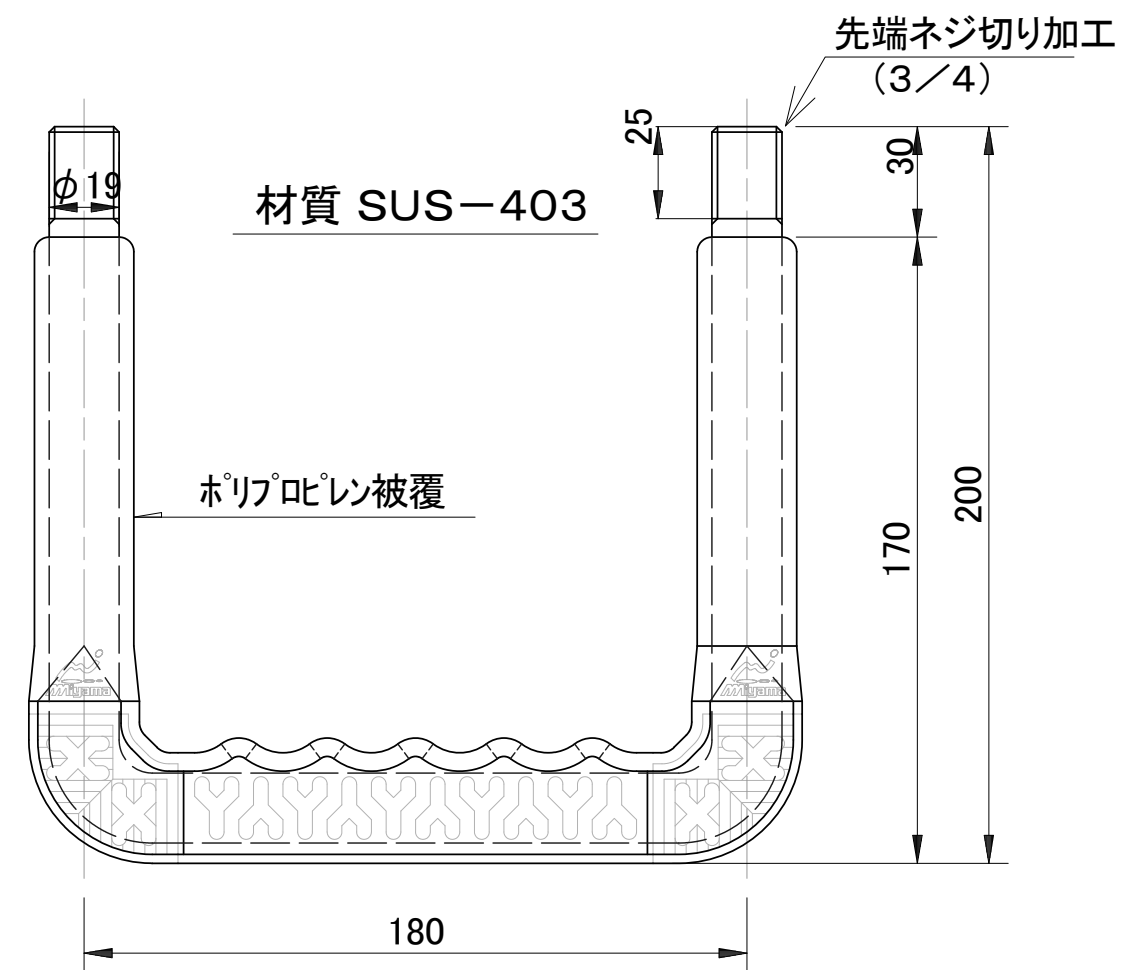
注1) 将来計画管の流入位置を考慮して設置位置を定める。
 注2) 原則として足掛金物は、蝶番と直角の位置に設置する。

分流式足掛け金物設置図

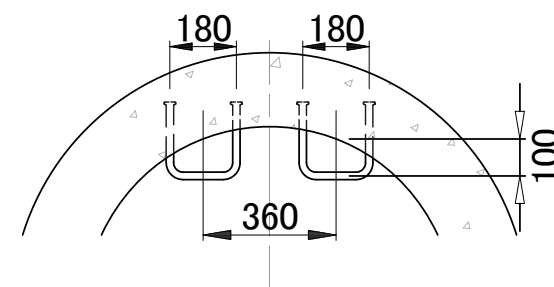
[埋め込み用]



[後付け用]



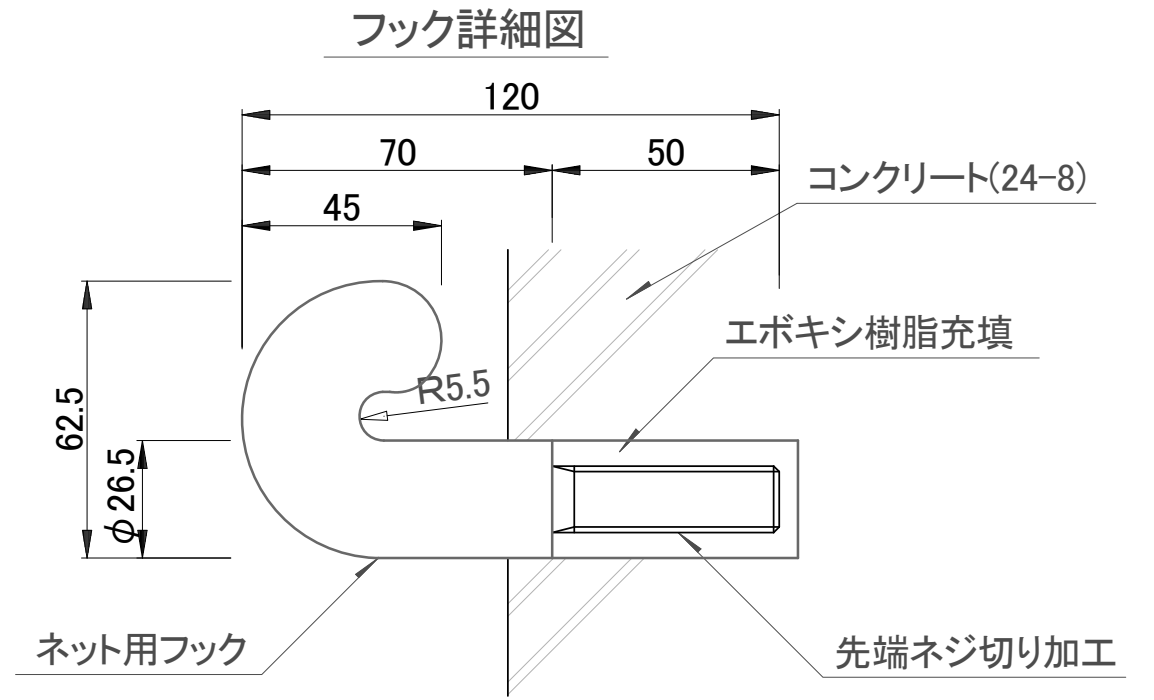
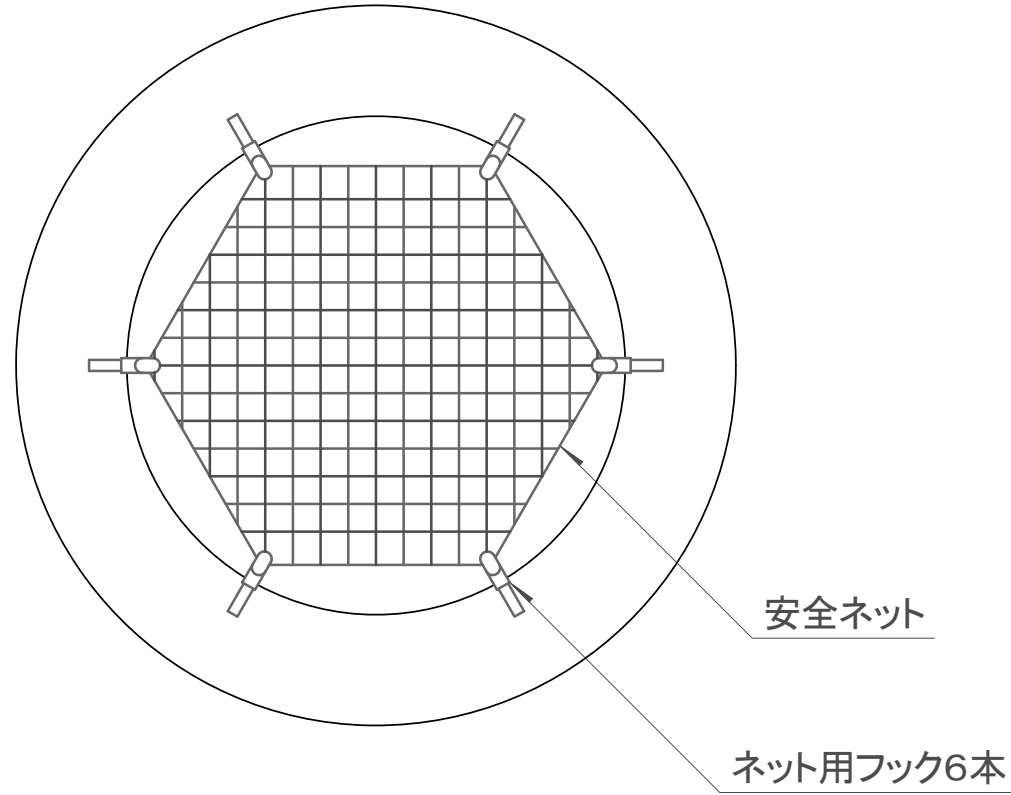
足掛金物詳細図



特記事項

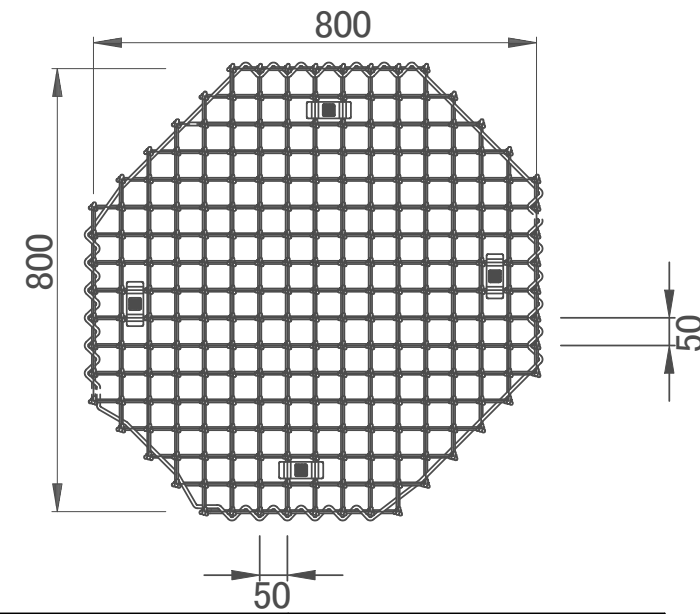
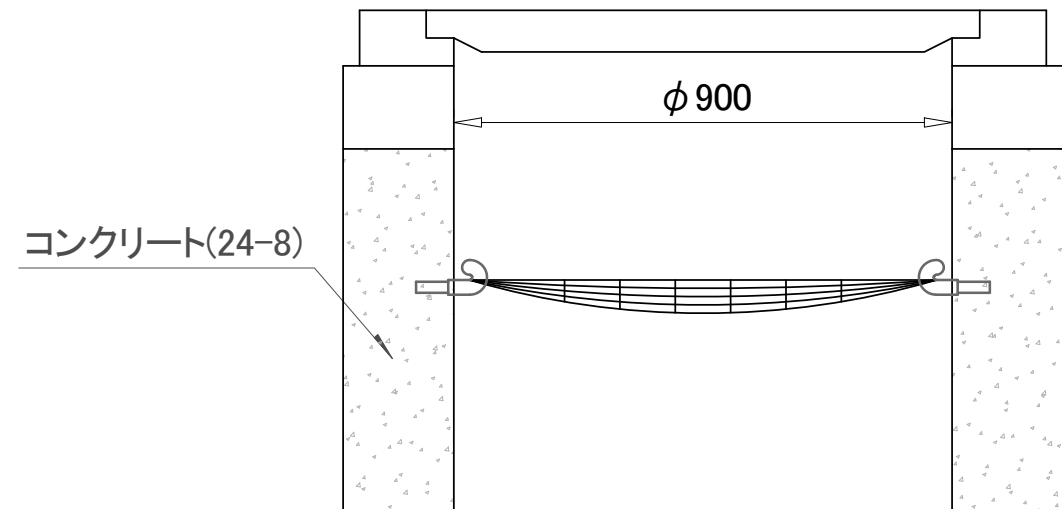
すべり止めの模様や波形については、機能上支障がなければ他の形でもよい。

足掛金物詳細図



材 質	塩化ポリプロピレン
丸棒材質	芯材φ16, SUS403

安全ネット詳細図(φ900用)



材 質	PE
網 径	6mm
網目(中心間隔)	50mm

特記事項

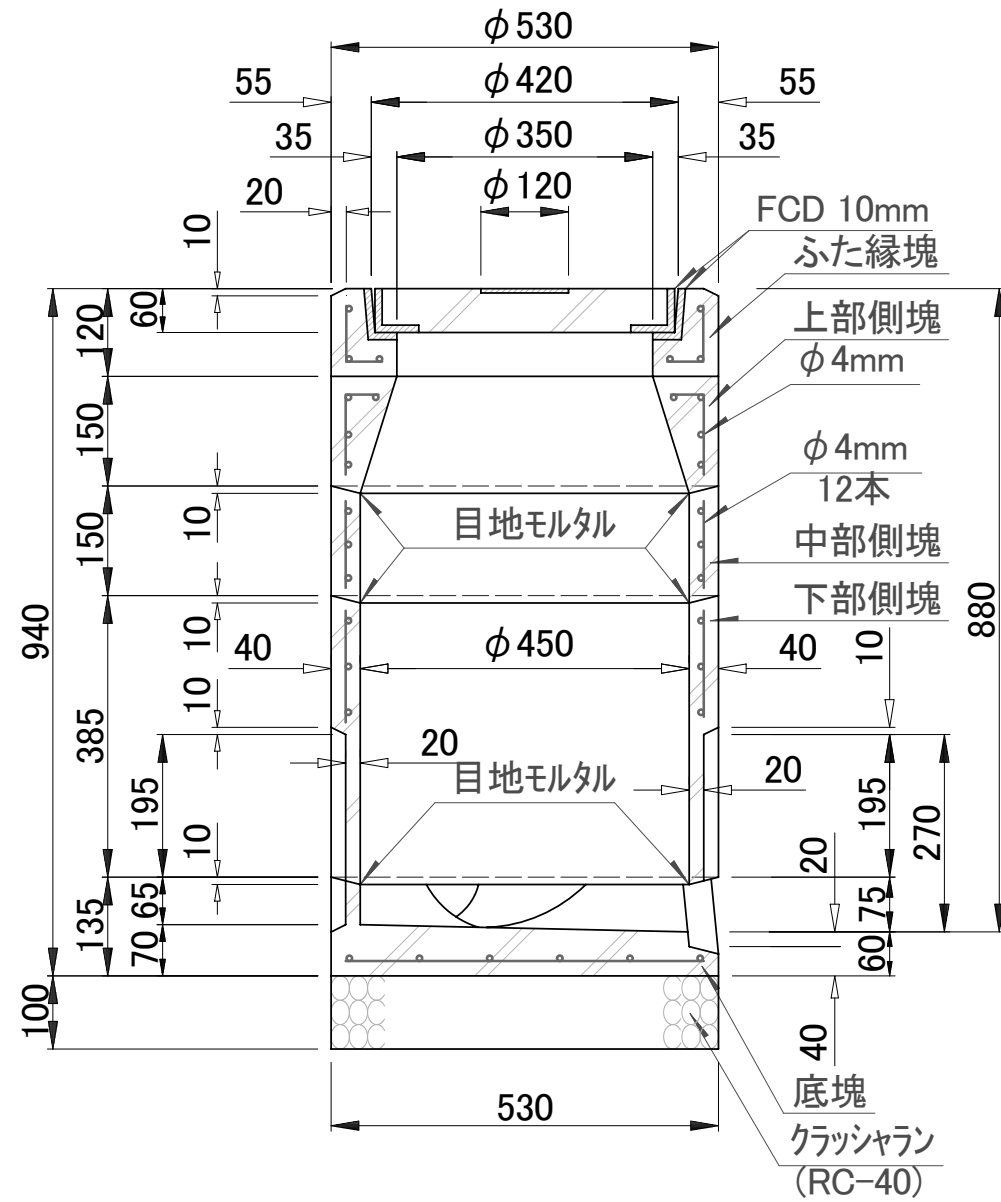
安全ネット詳細図

接続柵紋章種別表

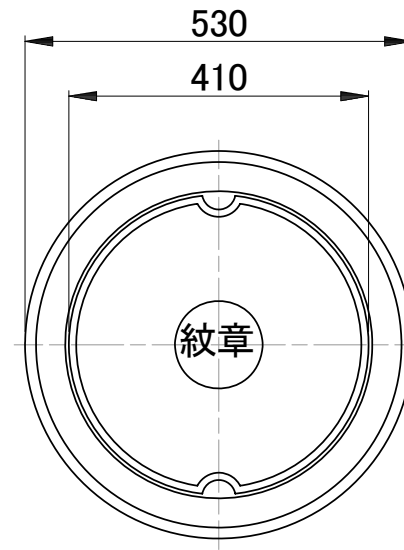
タイプ	内 径	合 流 式		分 流 式			
				汚 水		雨 水	
		宅地内	宅地外	宅地内	宅地外	宅地内	宅地外
1	φ450						
2	φ600						
3	φ700						
4	φ450						
7	φ450						
8	φ600						
9	φ700						
10	φ450						

特記事項

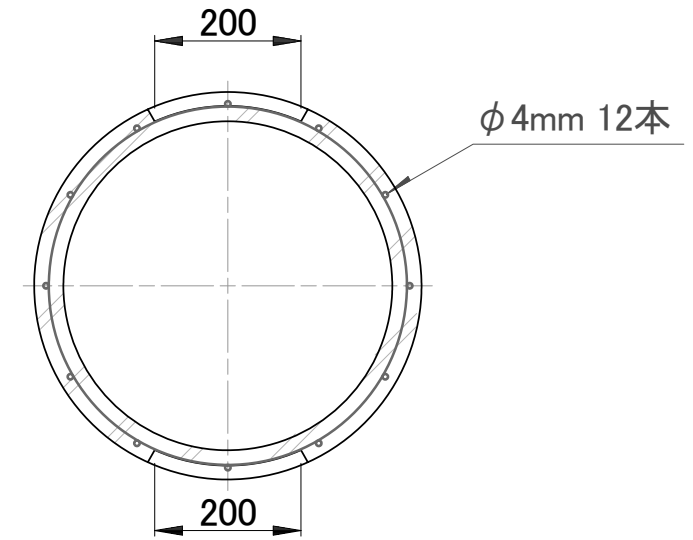
接続柵紋章種別表



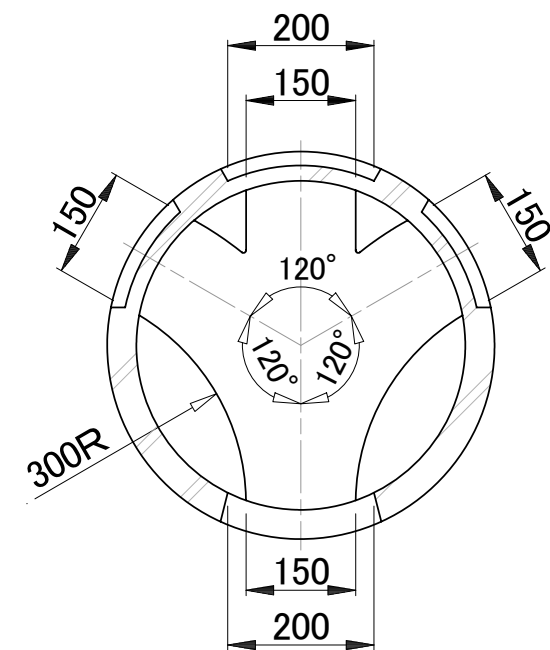
ふた縁塊



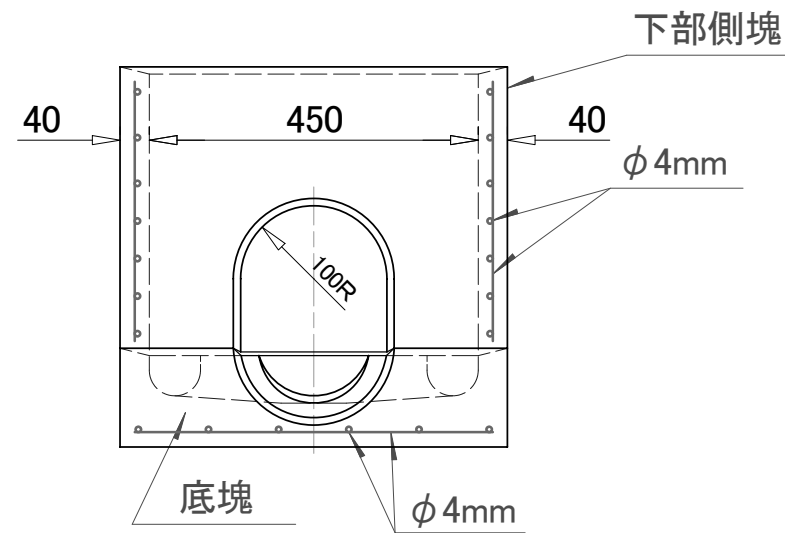
下部側塊



底塊



下部側塊・底塊

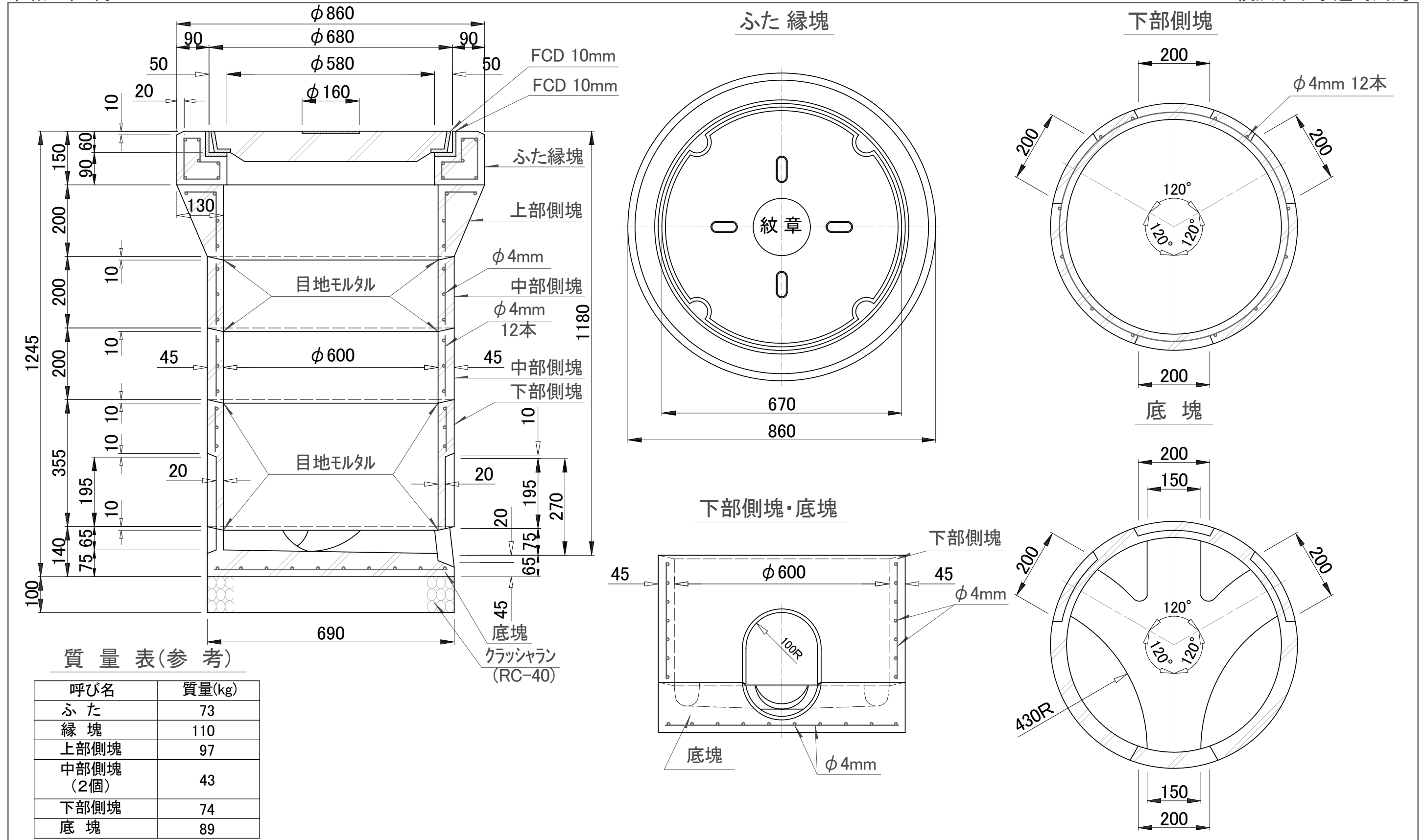


質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふた	24
縁塊	36
上部側塊	35
中部側塊	22
下部側塊	52
底塊	51

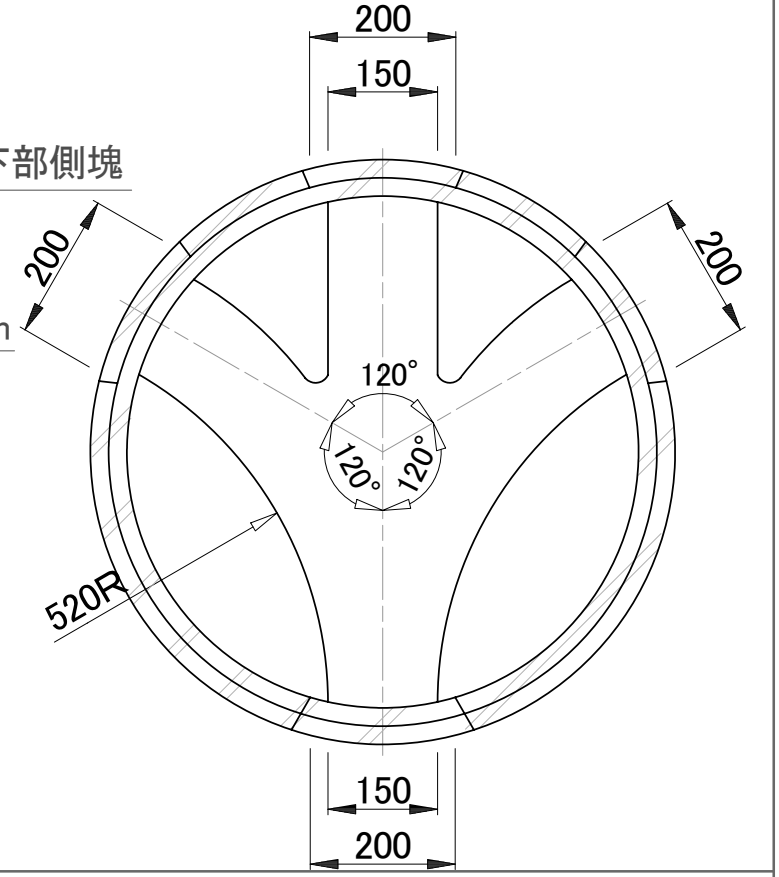
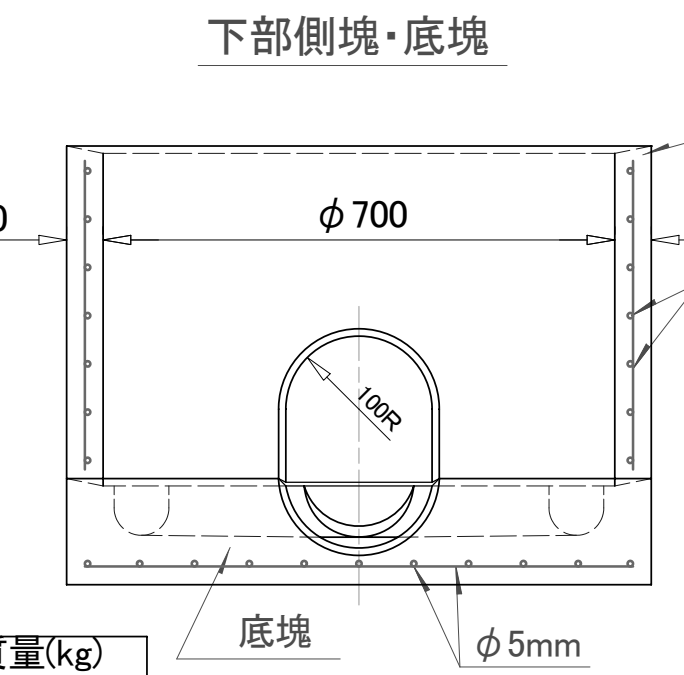
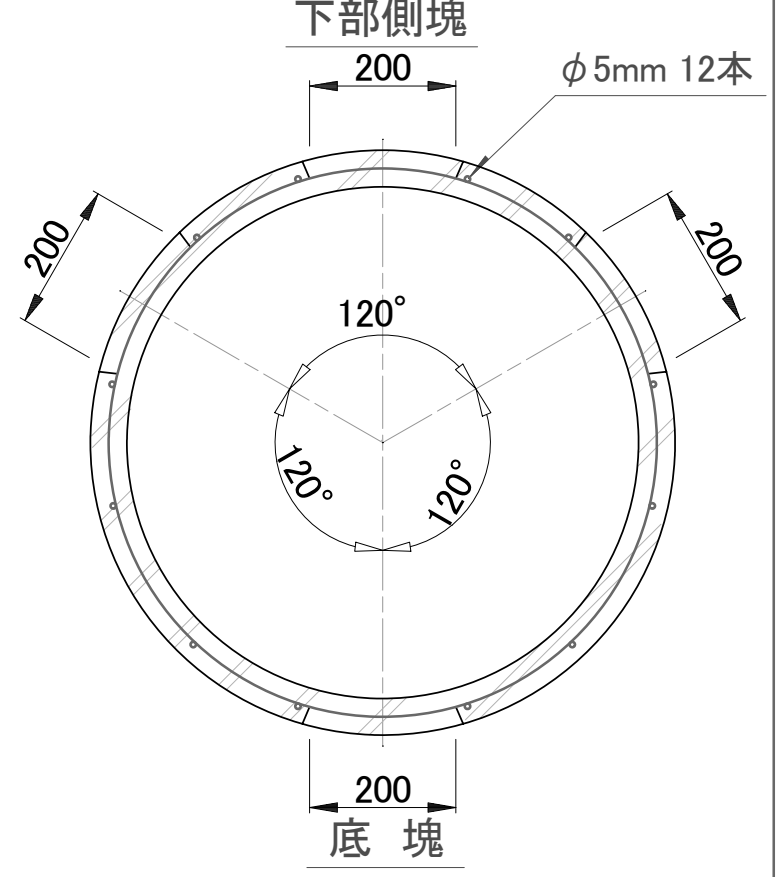
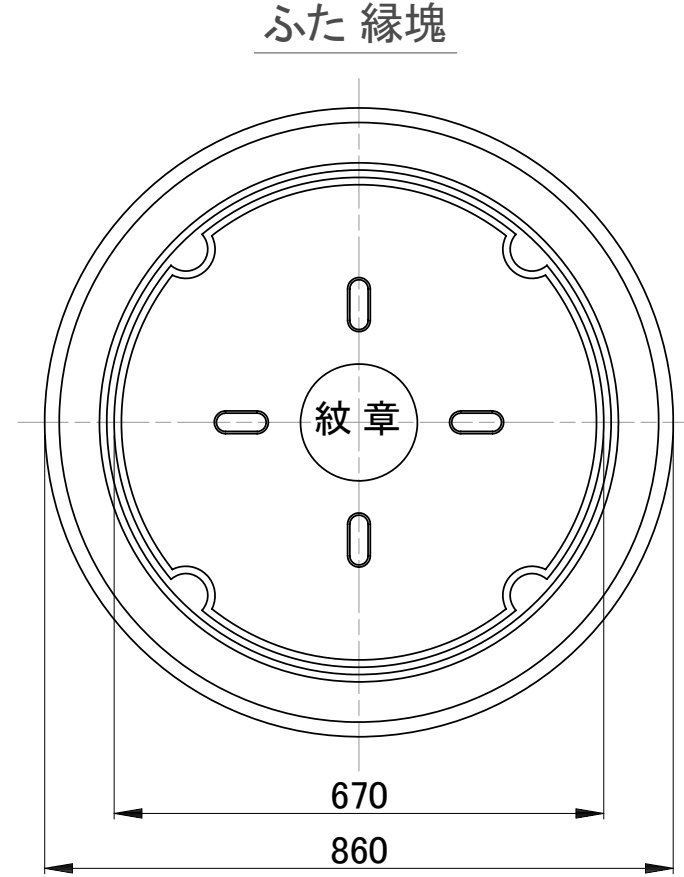
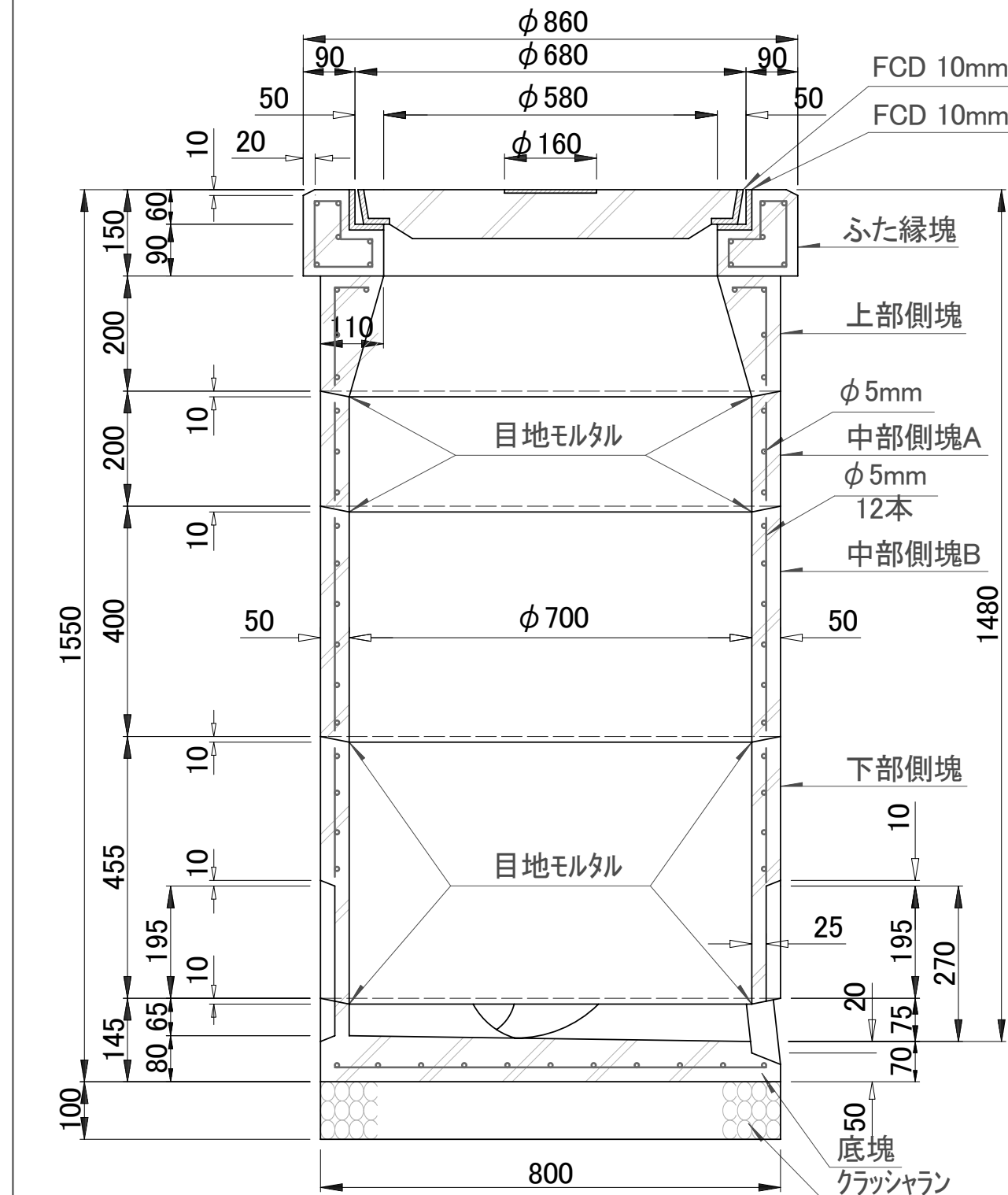
注) インバート高さは、下流管径の1/2とする。

タイプ1 接続汚水柵構造図
(φ450)(宅地外)



特記事項

タイプ2接続汚水柵構造図
(φ600)

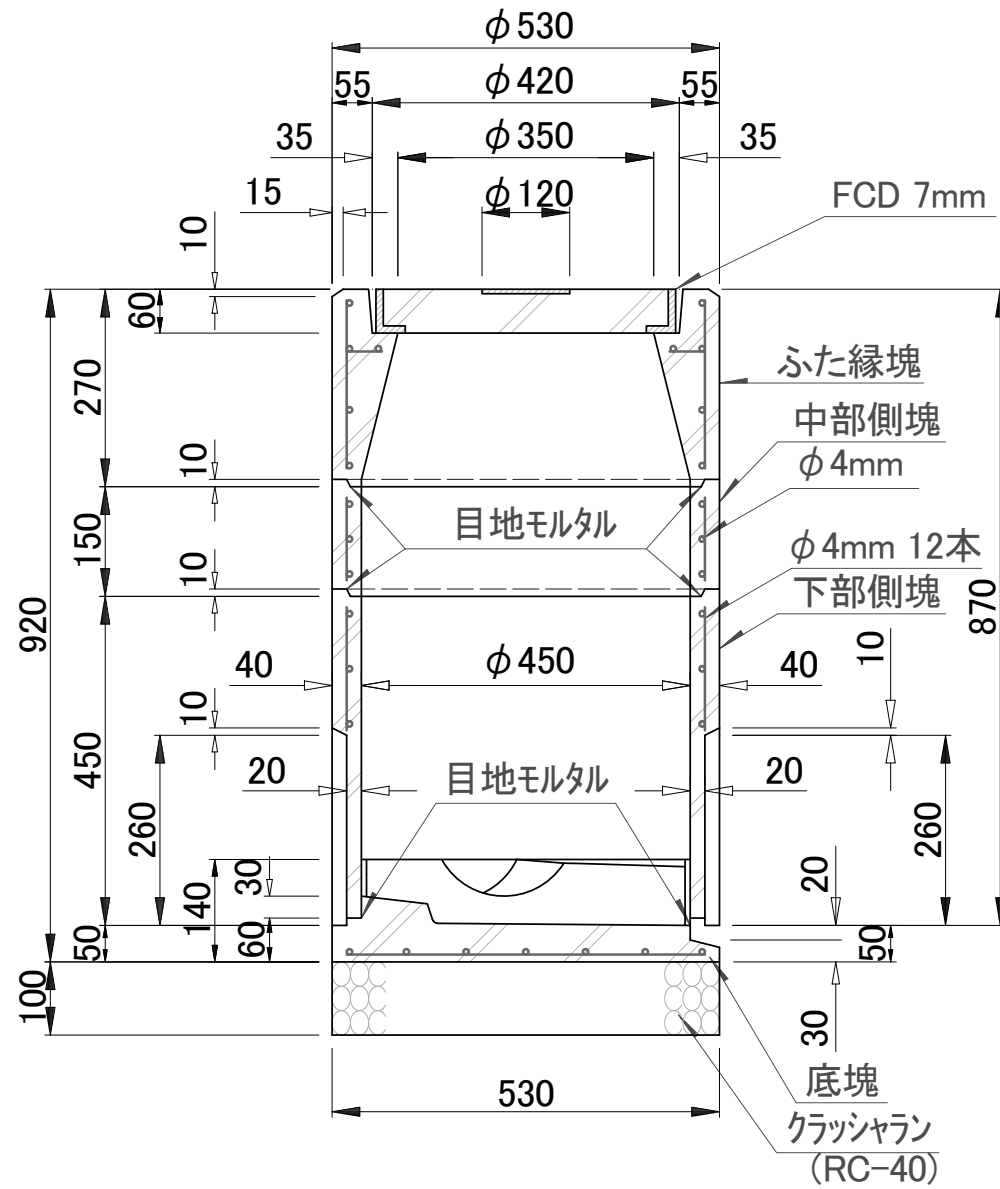


質量表(参考)

呼び名	質量(kg)	呼び名	質量(kg)	呼び名	質量(kg)
ふた縁塊	73	中部側塊A	59	底塊	123
上部側塊	90	中部側塊B	118		
		下部側塊	127		

特記事項

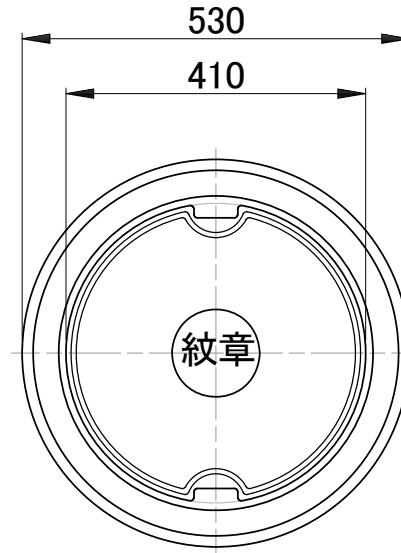
タイプ3接続汚水柵構造図 (φ700)



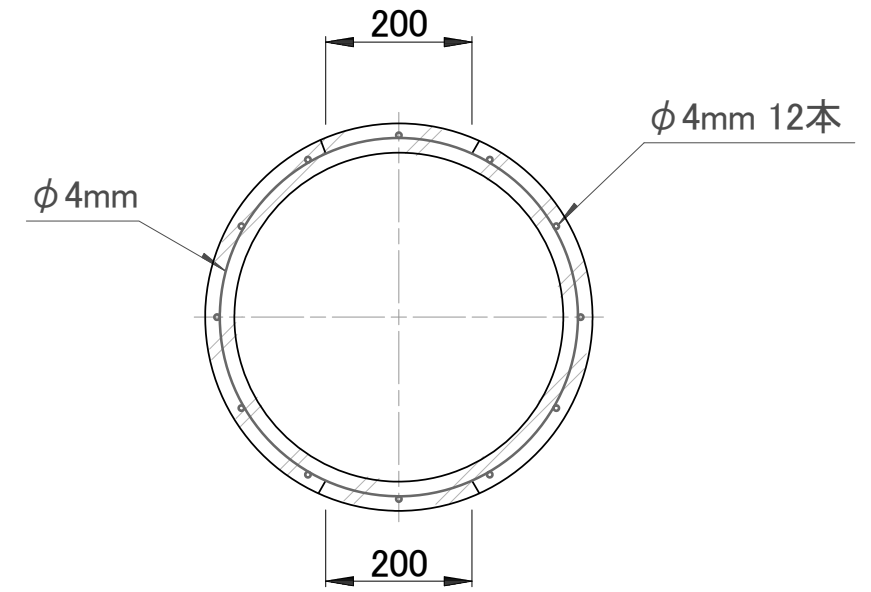
質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふ た	21
上部側塊	56
中部側塊	21
下部側塊	62
底 塊	44

ふた 縁塊

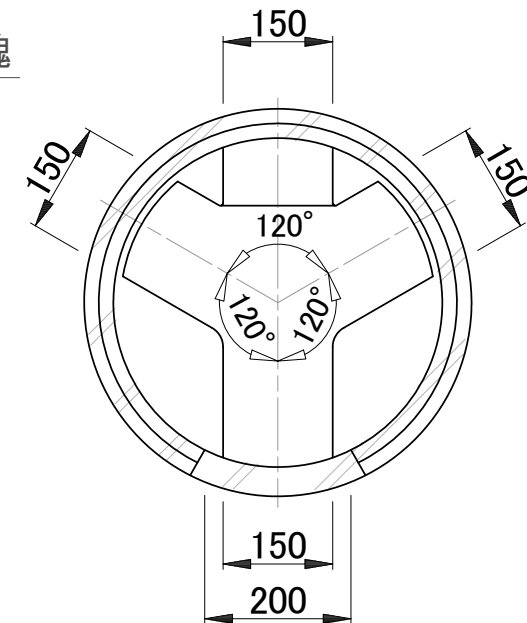
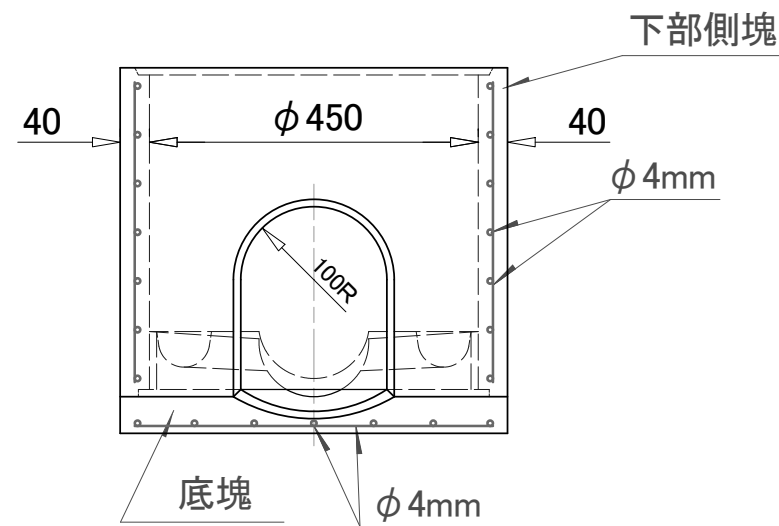


下部側塊



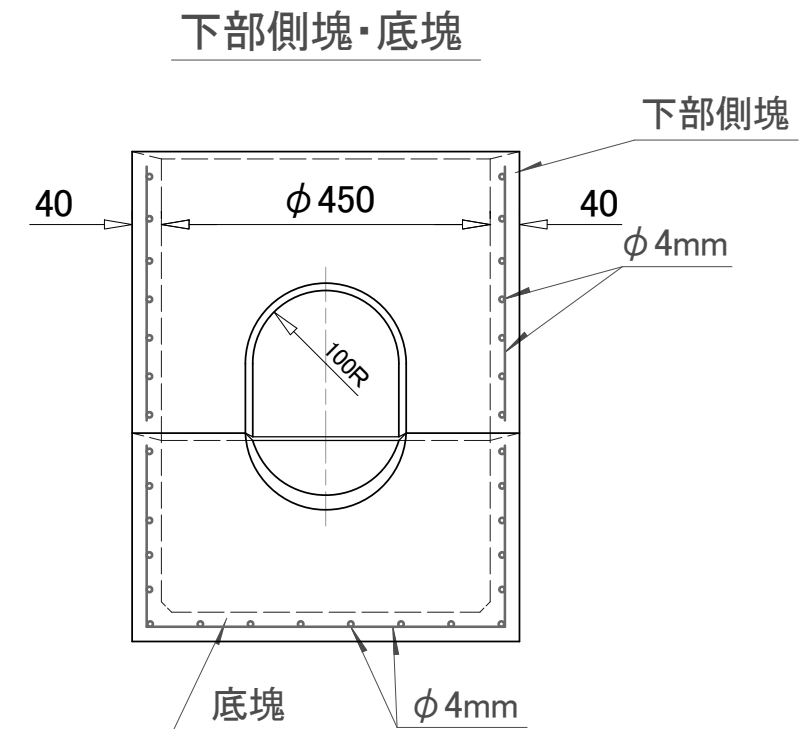
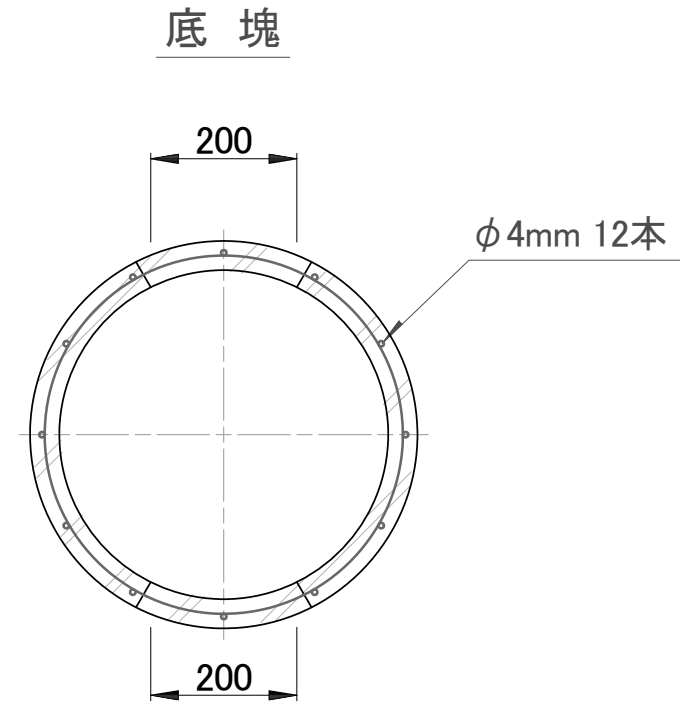
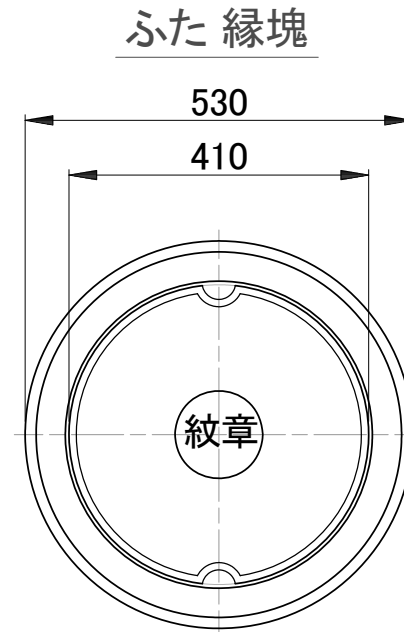
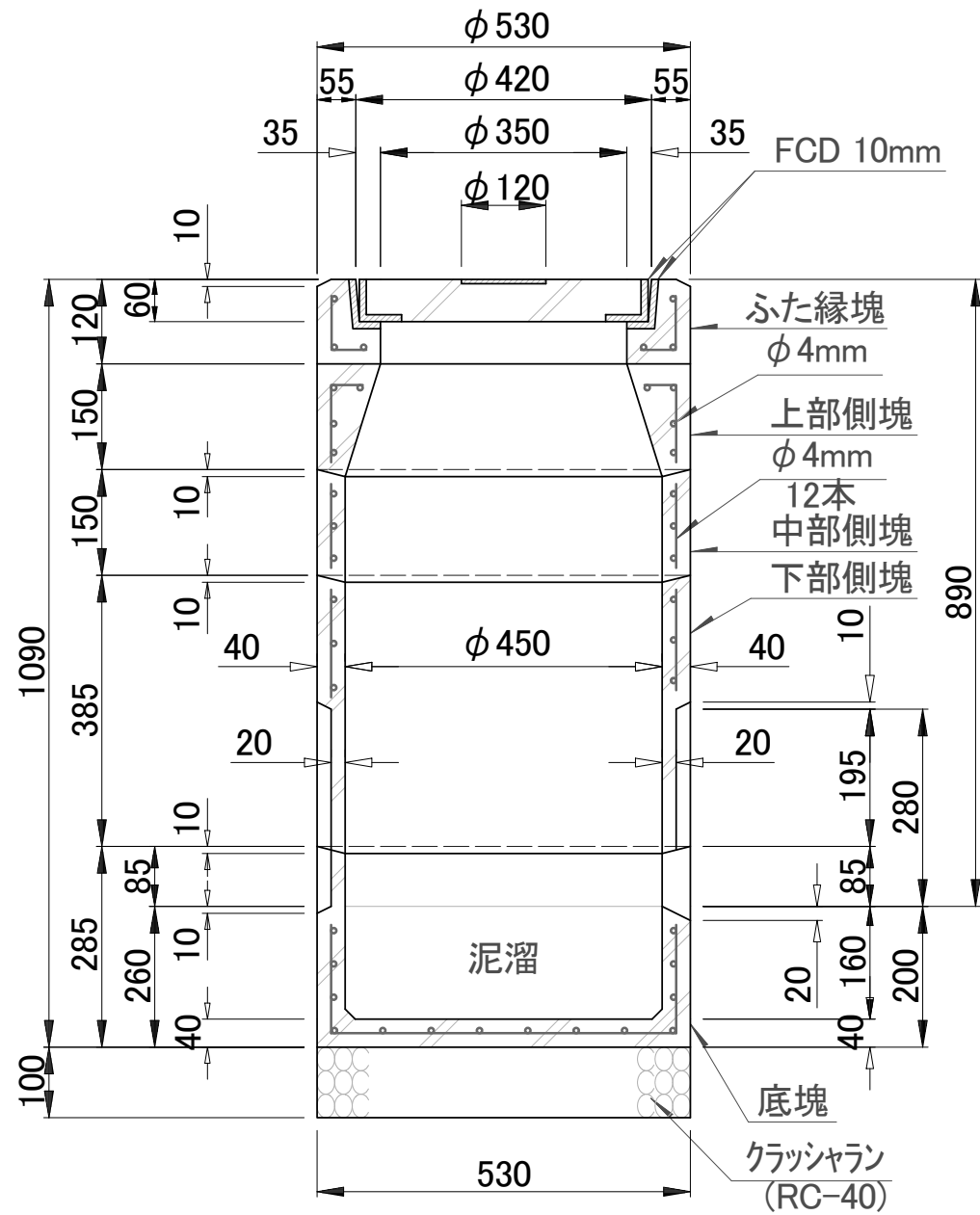
底 塊

下部側塊・底塊



特記事項

タイプ4接続汚水柵構造図
(φ450)

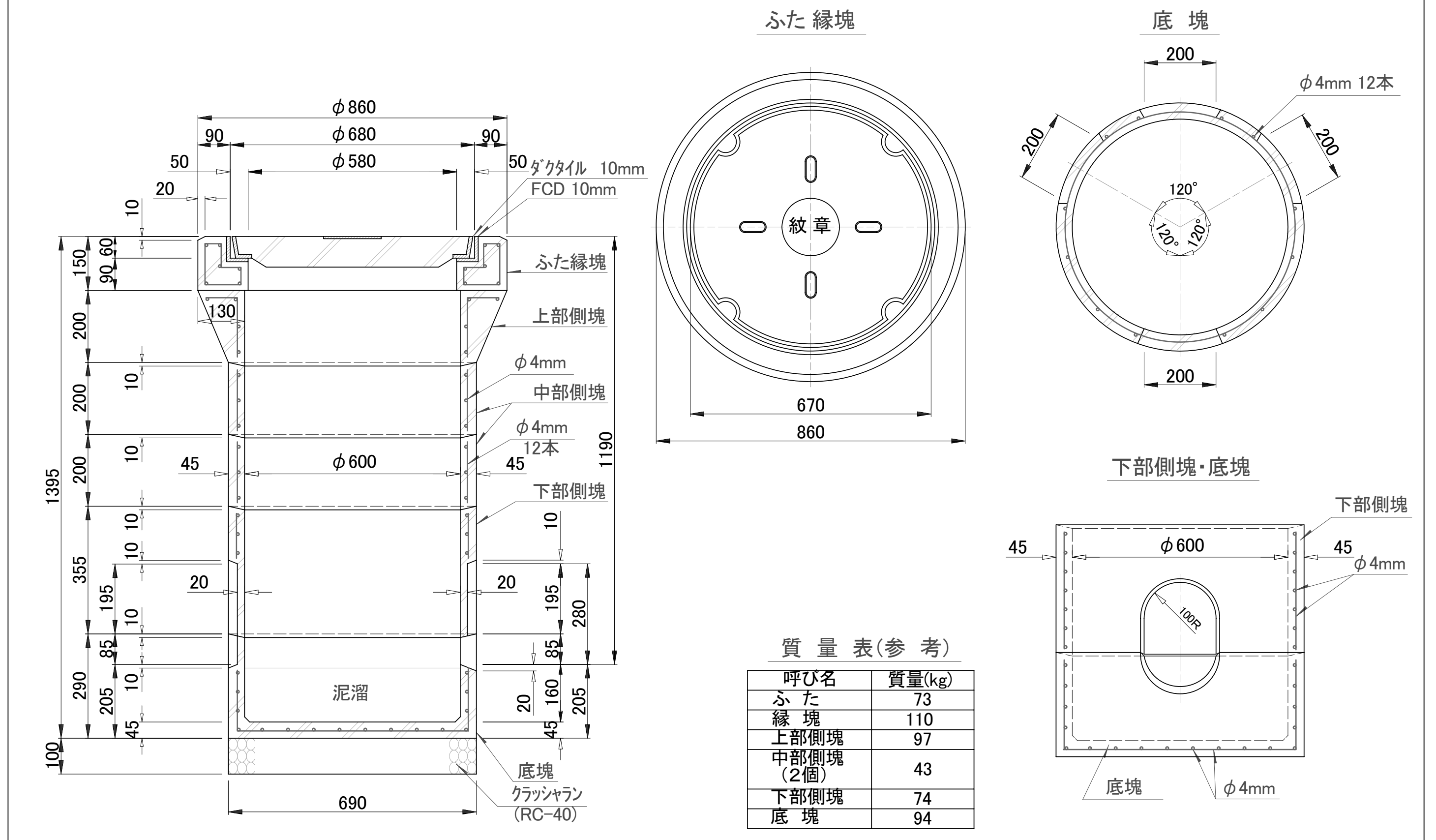


質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふた	24
縁塊	36
上部側塊	35
中部側塊	22
下部側塊	52
底塊	54

特記事項

タイプ7接続雨水柵構造図
(φ450)(宅地外)

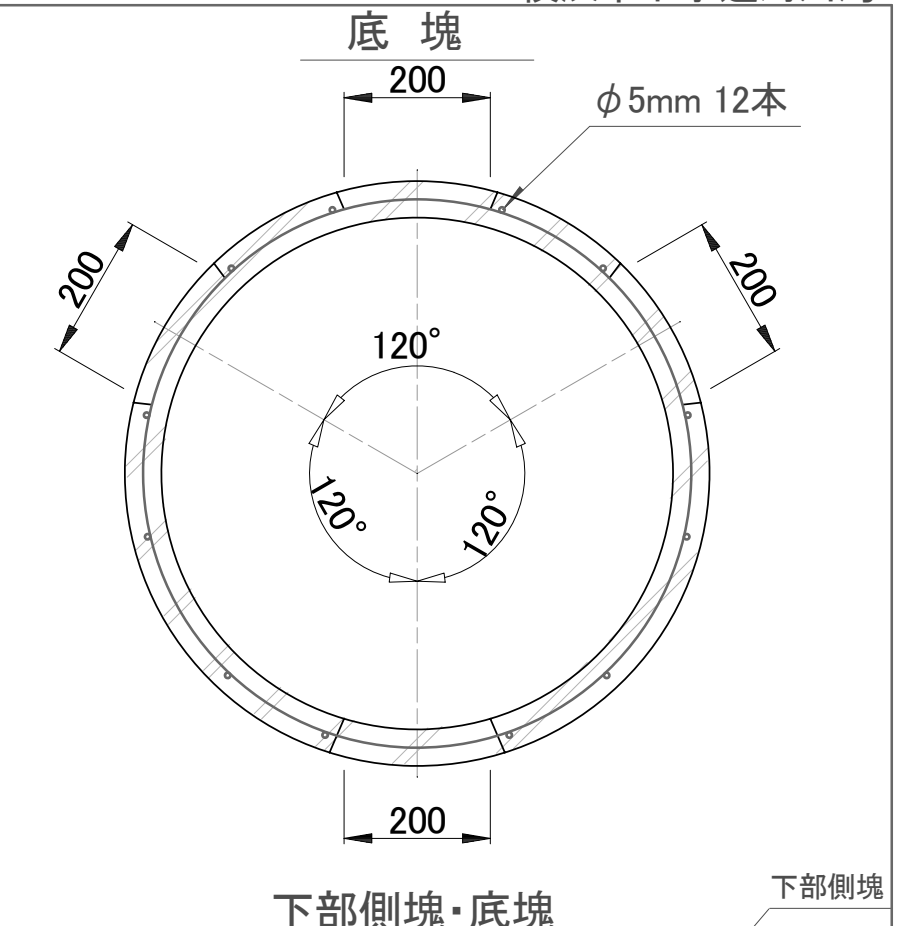
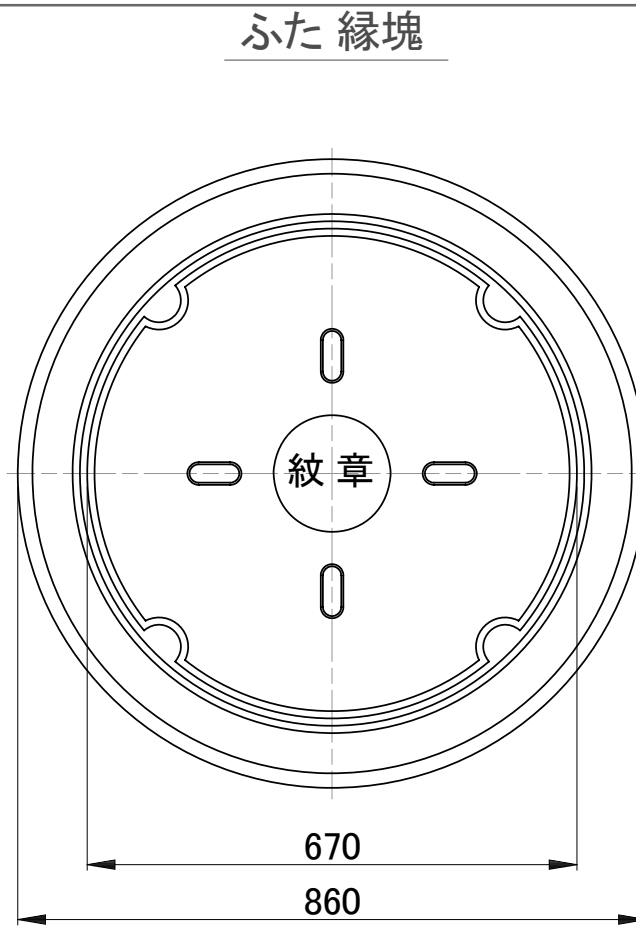
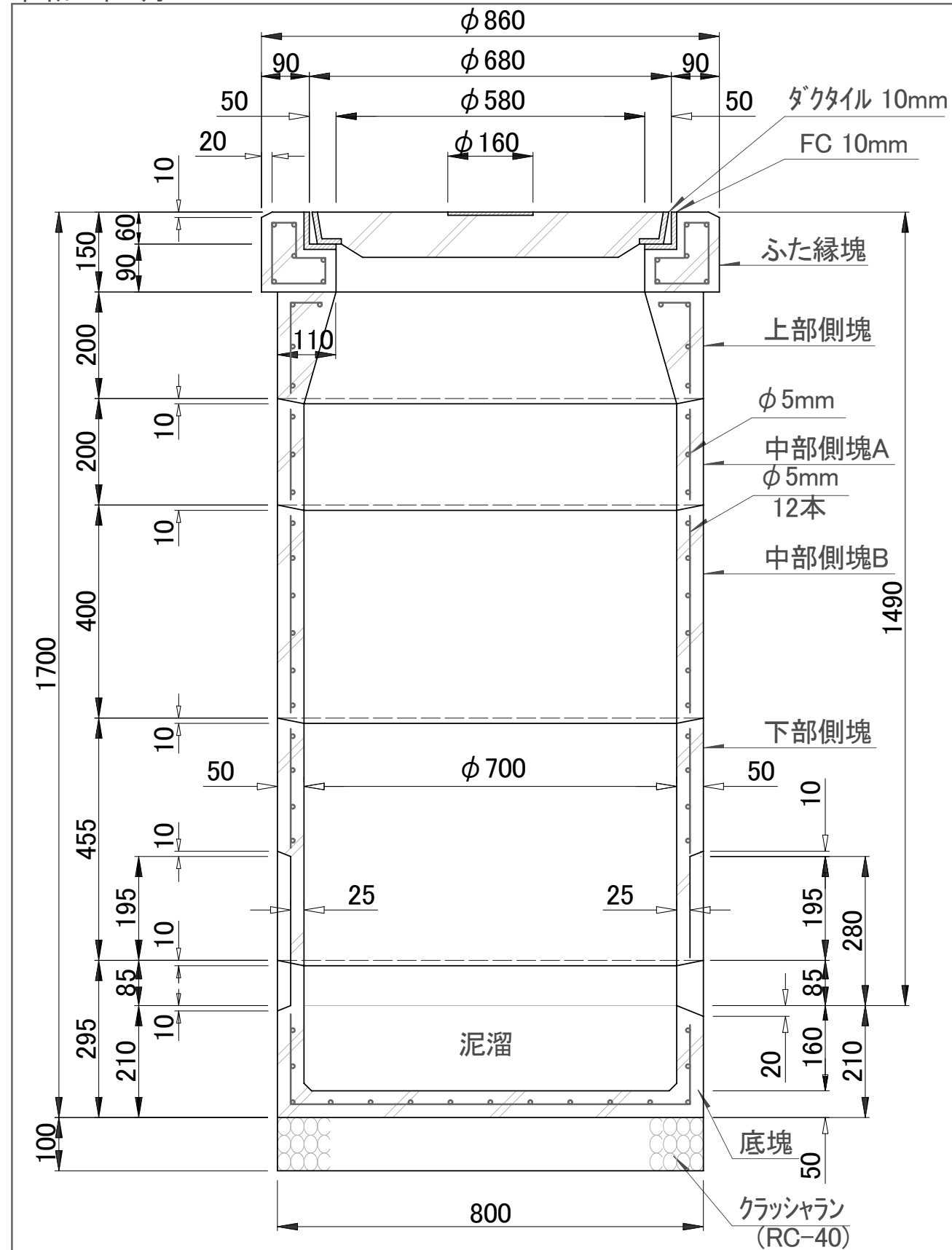


質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふた	73
縁塊	110
上部側塊	97
中部側塊 (2個)	43
下部側塊	74
底塊	94

特記事項

タイプ8接続雨水柵構造図
(φ600)

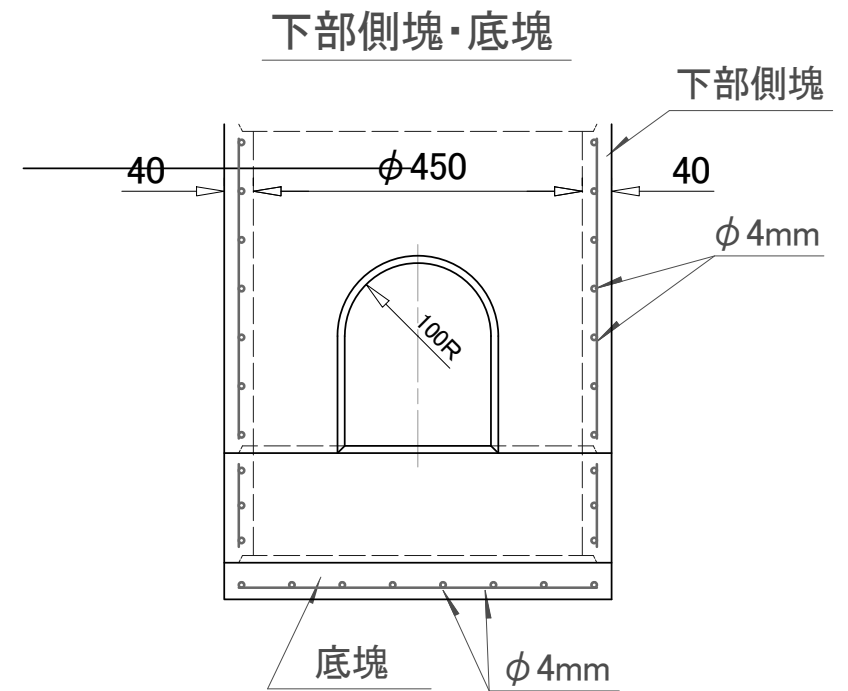
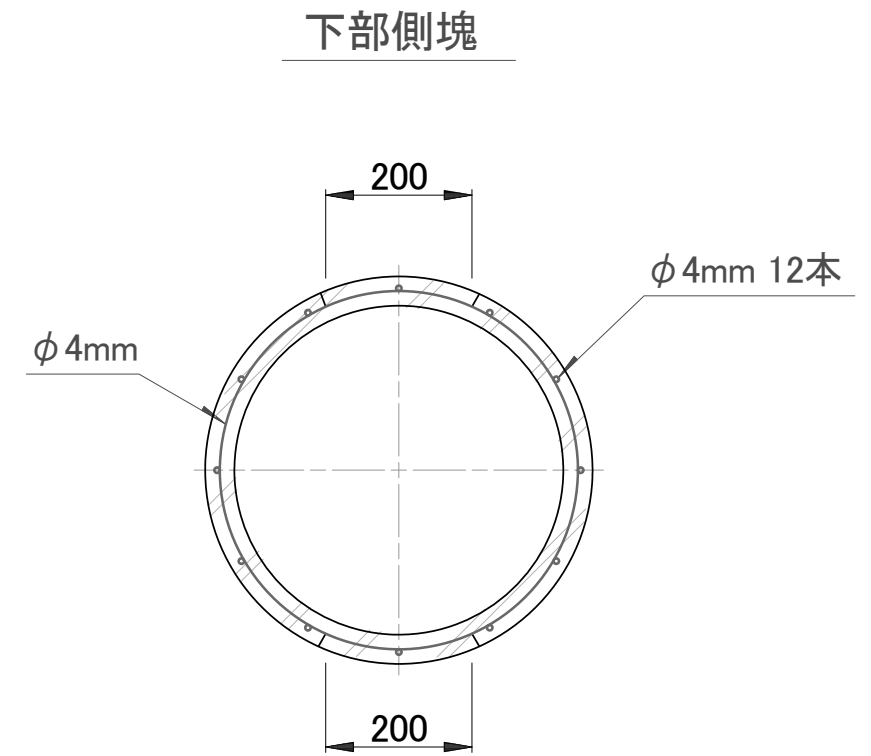
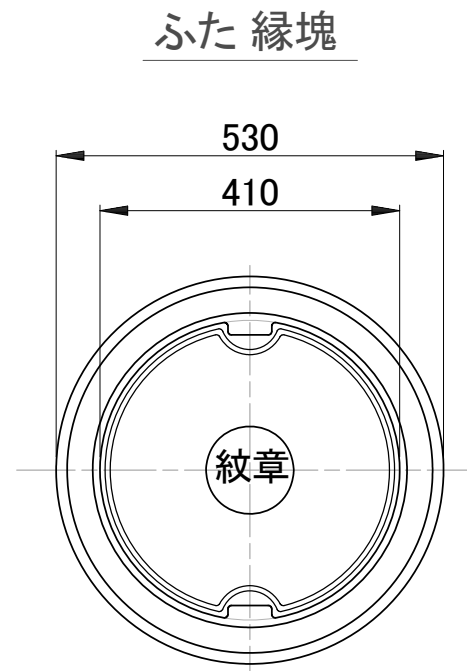
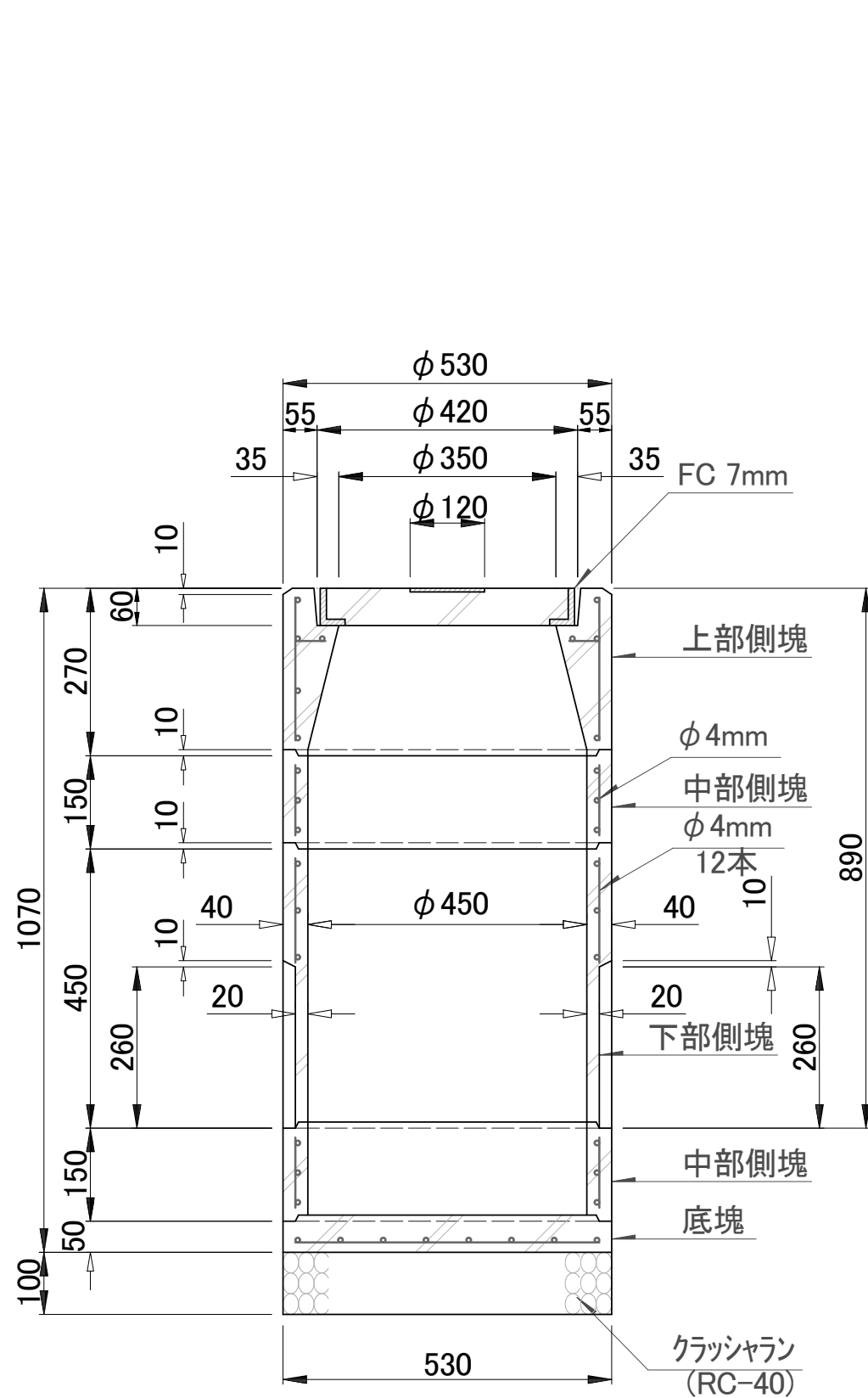


質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふた	73
縁塊	110
上部側塊	90
中部側塊A	59
中部側塊B	118
下部側塊	127
底塊	130

特記事項

タイプ9接続雨水柵構造図
(φ700)

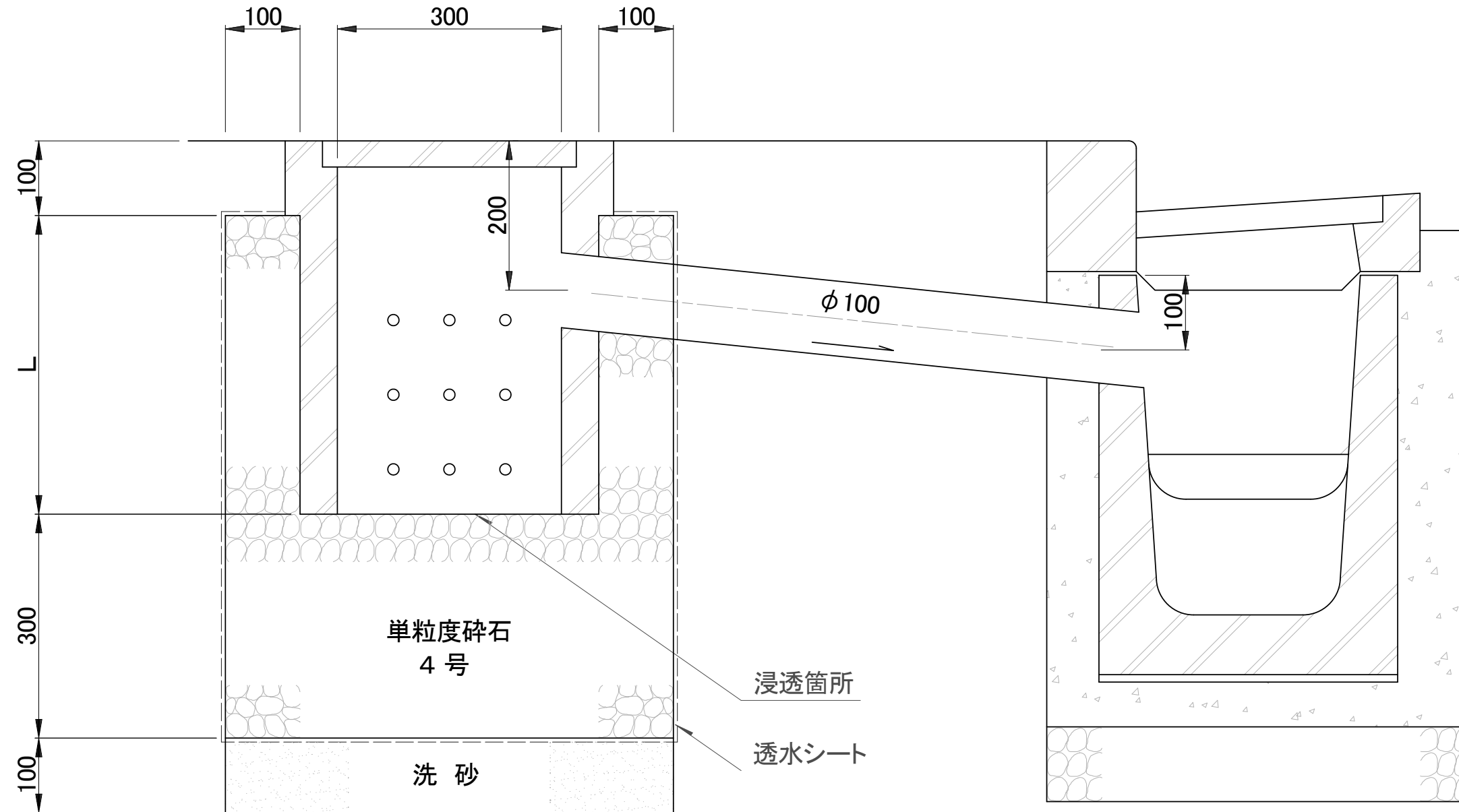


質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふた	21
上部側塊	56
中部側塊 (2個)	21
下部側塊	62
底塊	27

特記事項

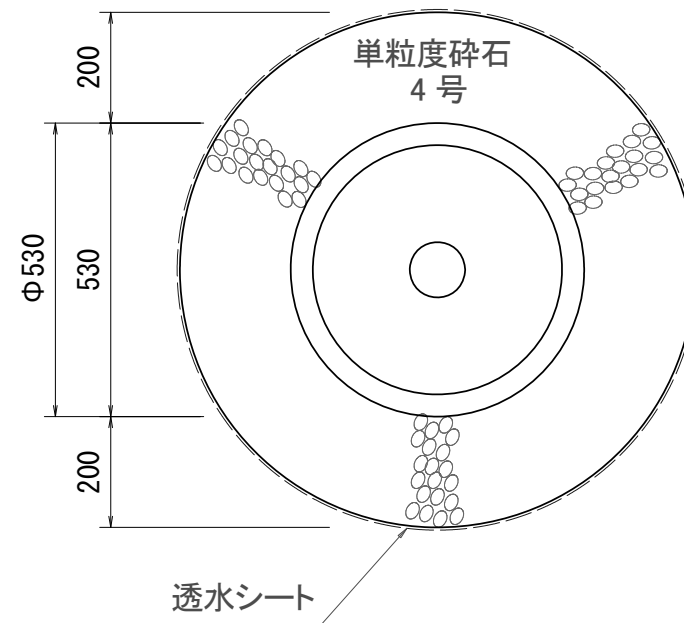
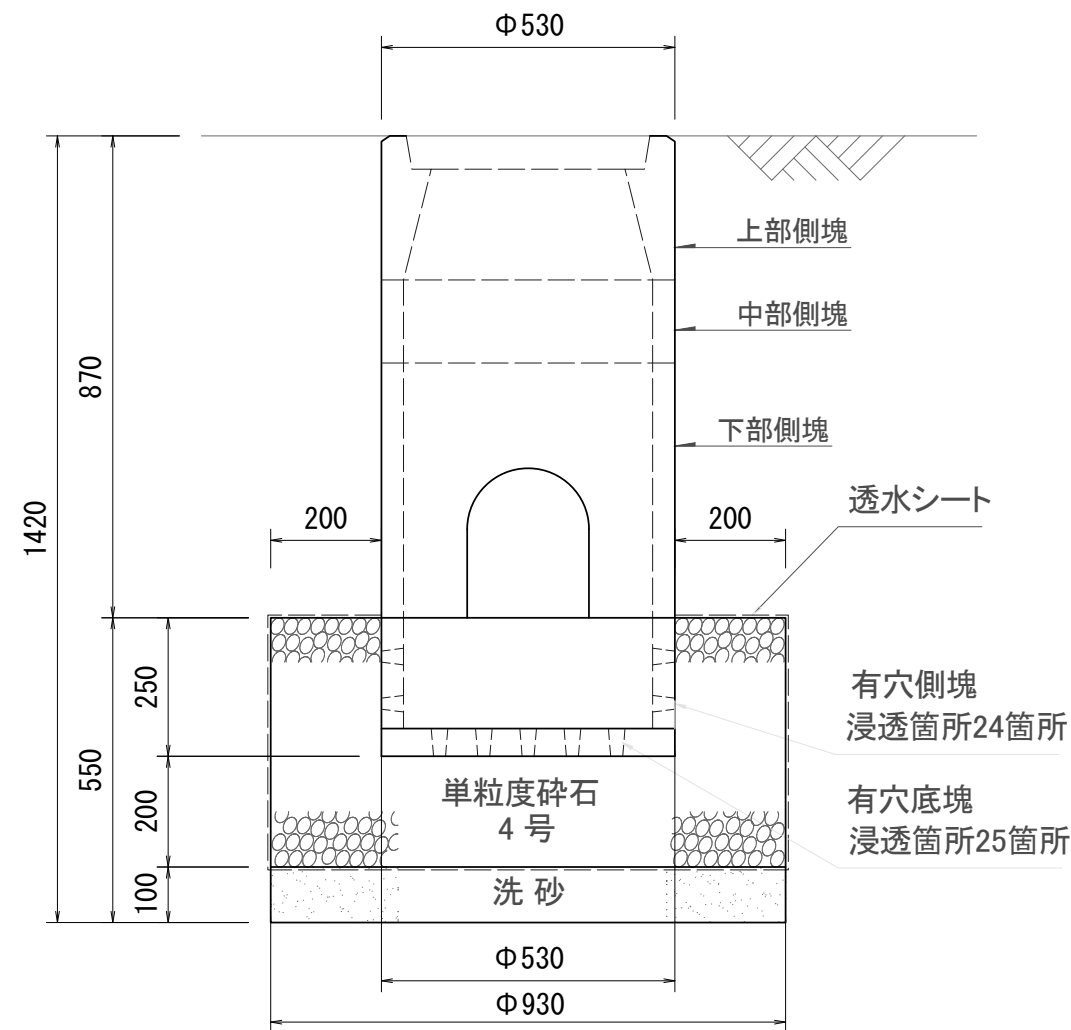
タイプ10接続雨水柵構造図
(φ450)



特
記
事
項

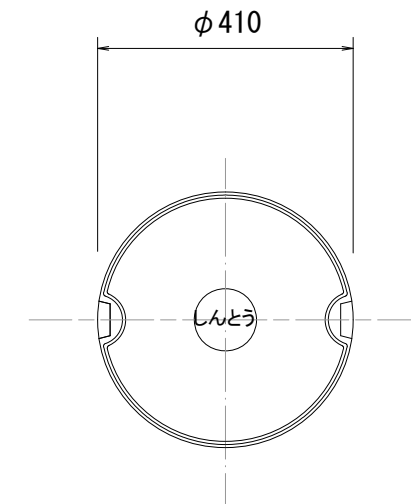
注) 1. 柵の材質については、既成コンクリート及び合成樹脂等の多孔浸透柵とする。
2. 蓋の載荷重強度はT-2とする。また、紋章については、「しんとう」「浸透」のマークを記入したものとする。

接続雨水浸透柵構造図
(宅地内用φ300)
(下流側がLU型側溝の場合)

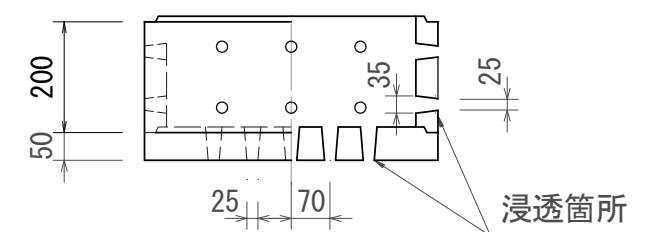


有穴部詳細

ふ た



有穴側塊



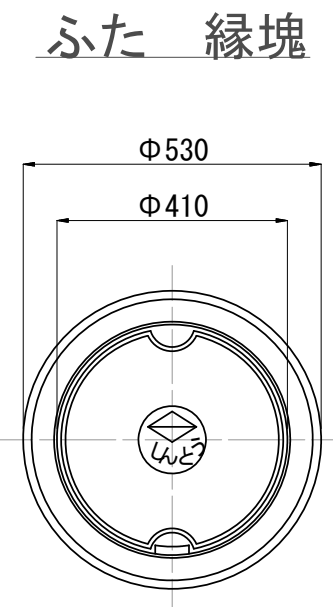
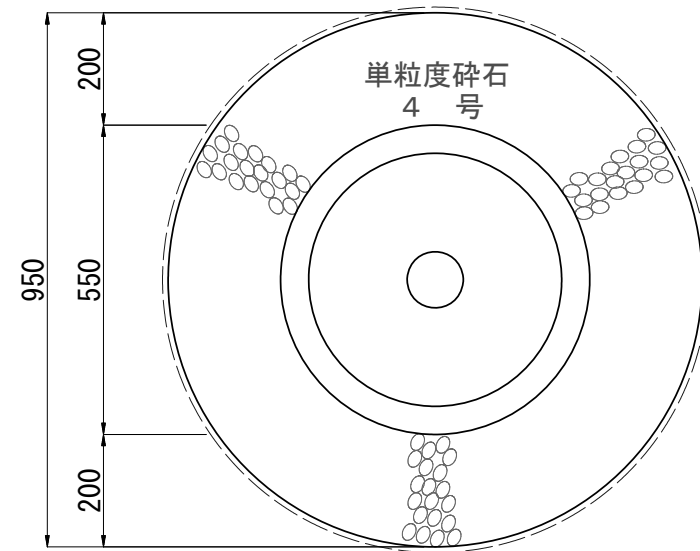
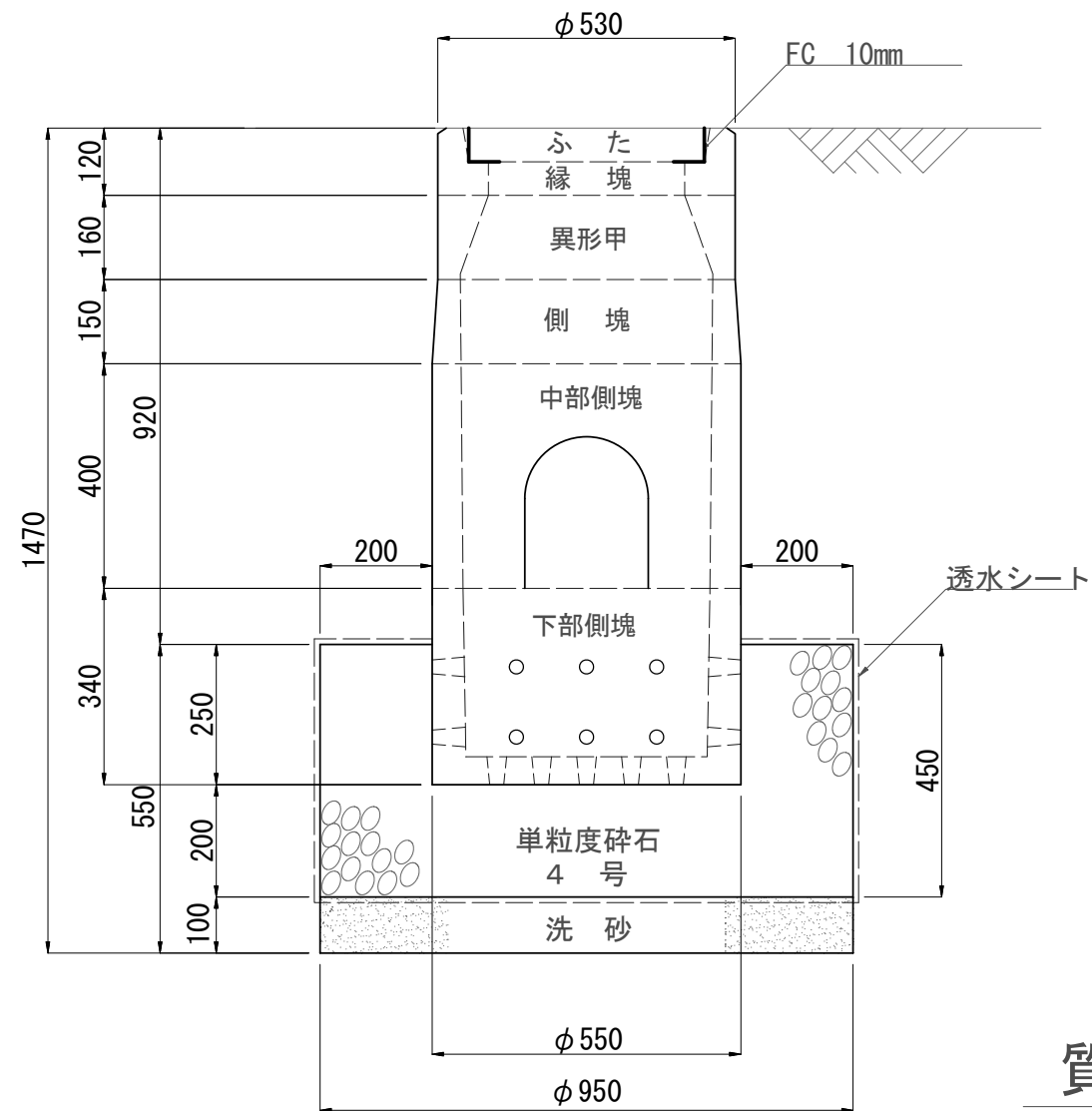
有穴底塊

質量表(参考)

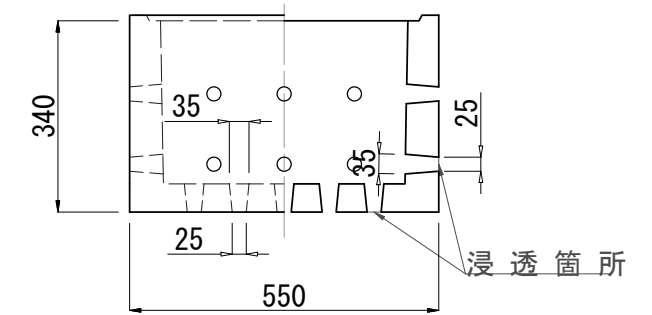
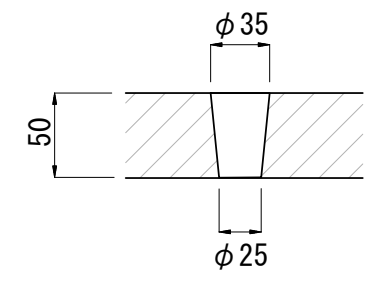
呼び名	質量(kg)
ふ た	21
上部側塊	56
中部側塊	21
下部側塊	62
有穴側塊	28
有穴底塊	25

特記事項

接続雨水浸透ます(タイプ1)
構造図



有孔底部ブロック孔詳細図 下部側塊



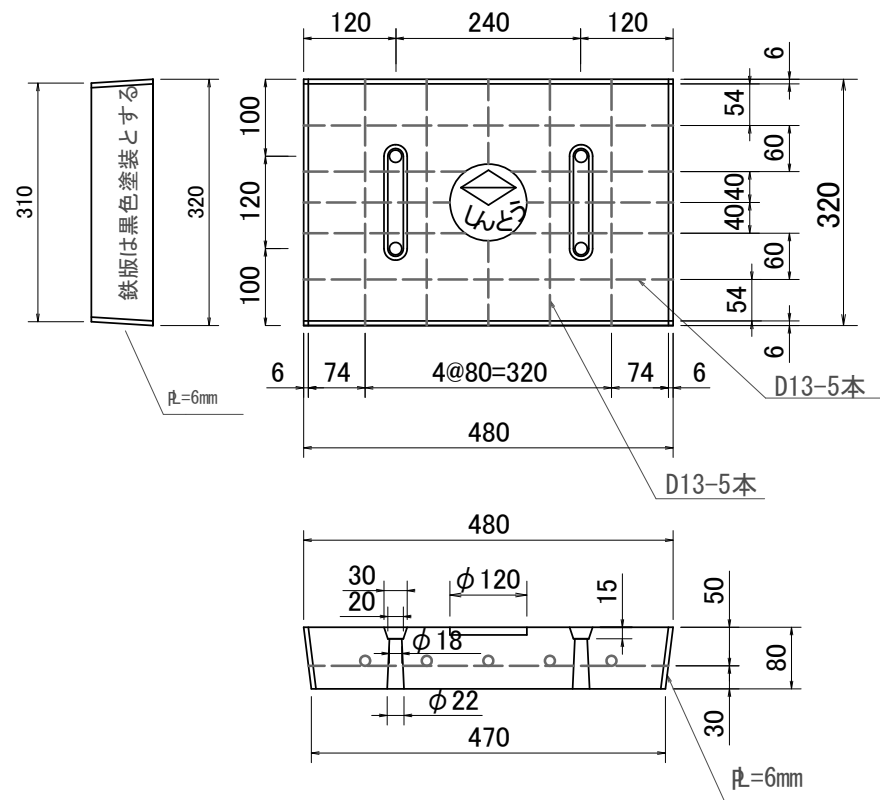
質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふ た	21
縁 塊	36
異 形 甲	35
側 塊	22
中部側塊	74
下部側塊	84

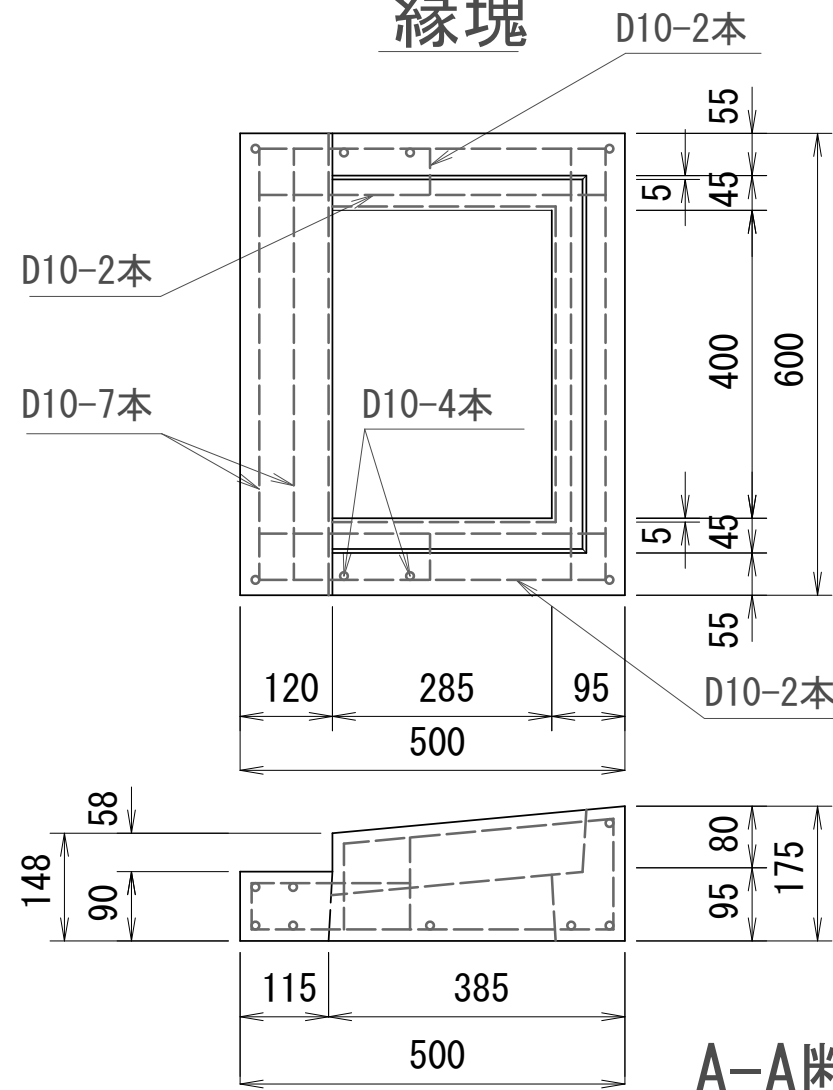
特記事項

接続雨水浸透ます(タイプ2)
構造図

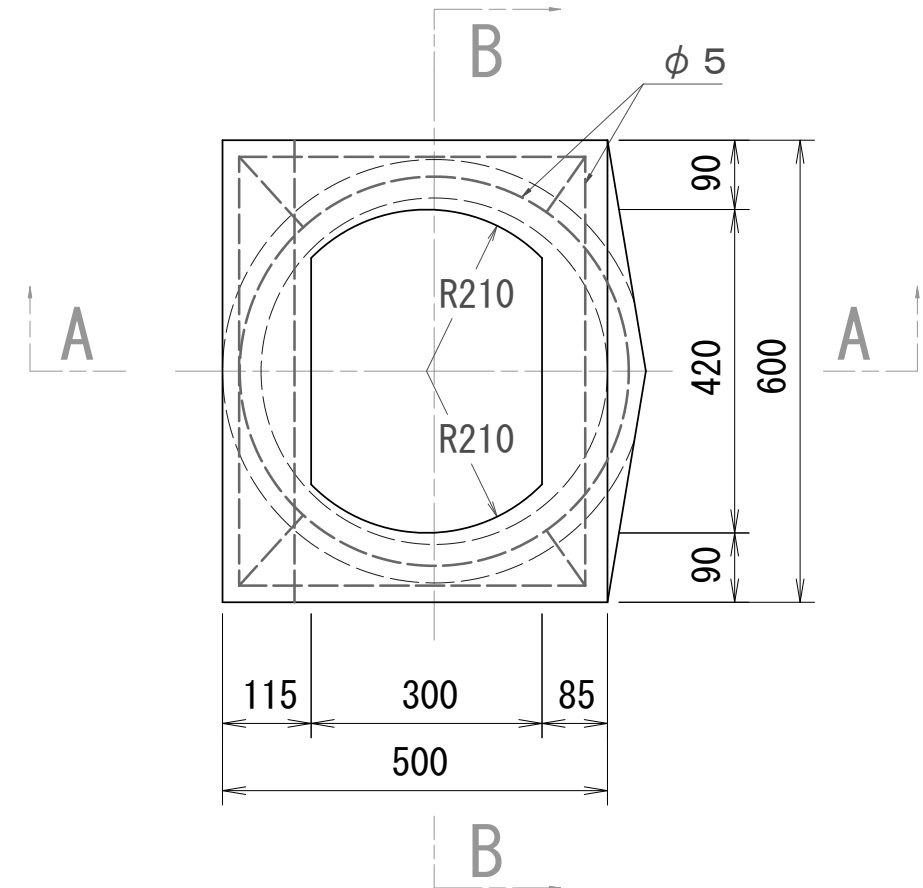
コンクリートふた



縁塊



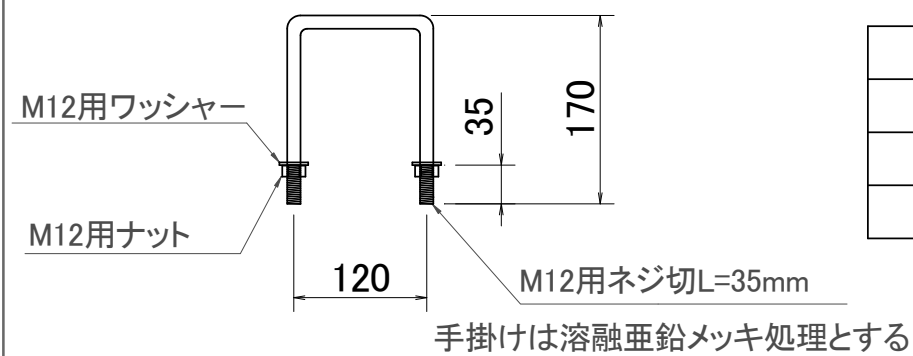
上部側塊



A-A断面図

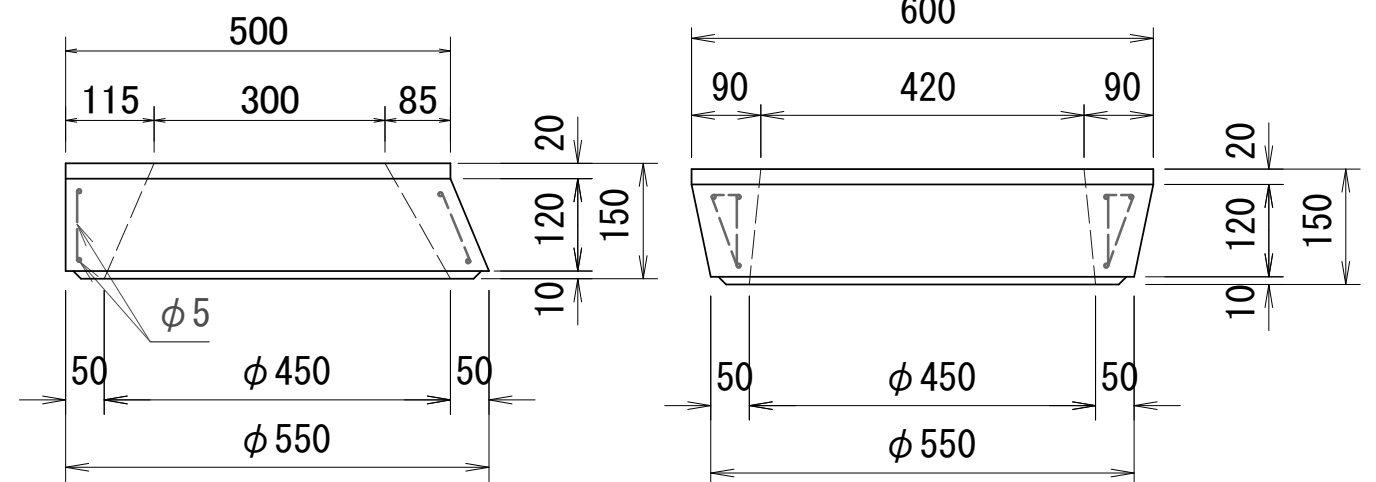
B-B断面図

コンクリートふた用手掛け



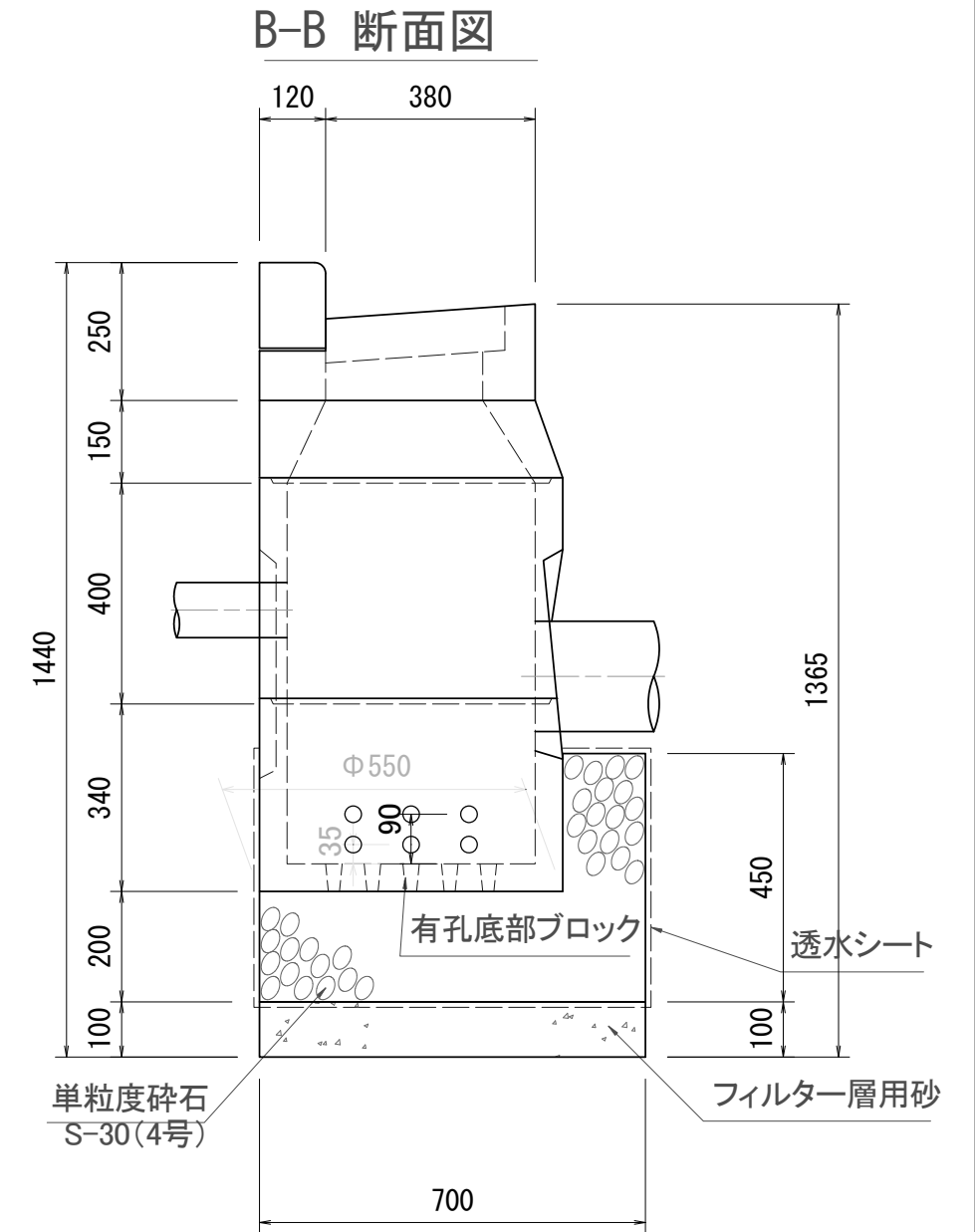
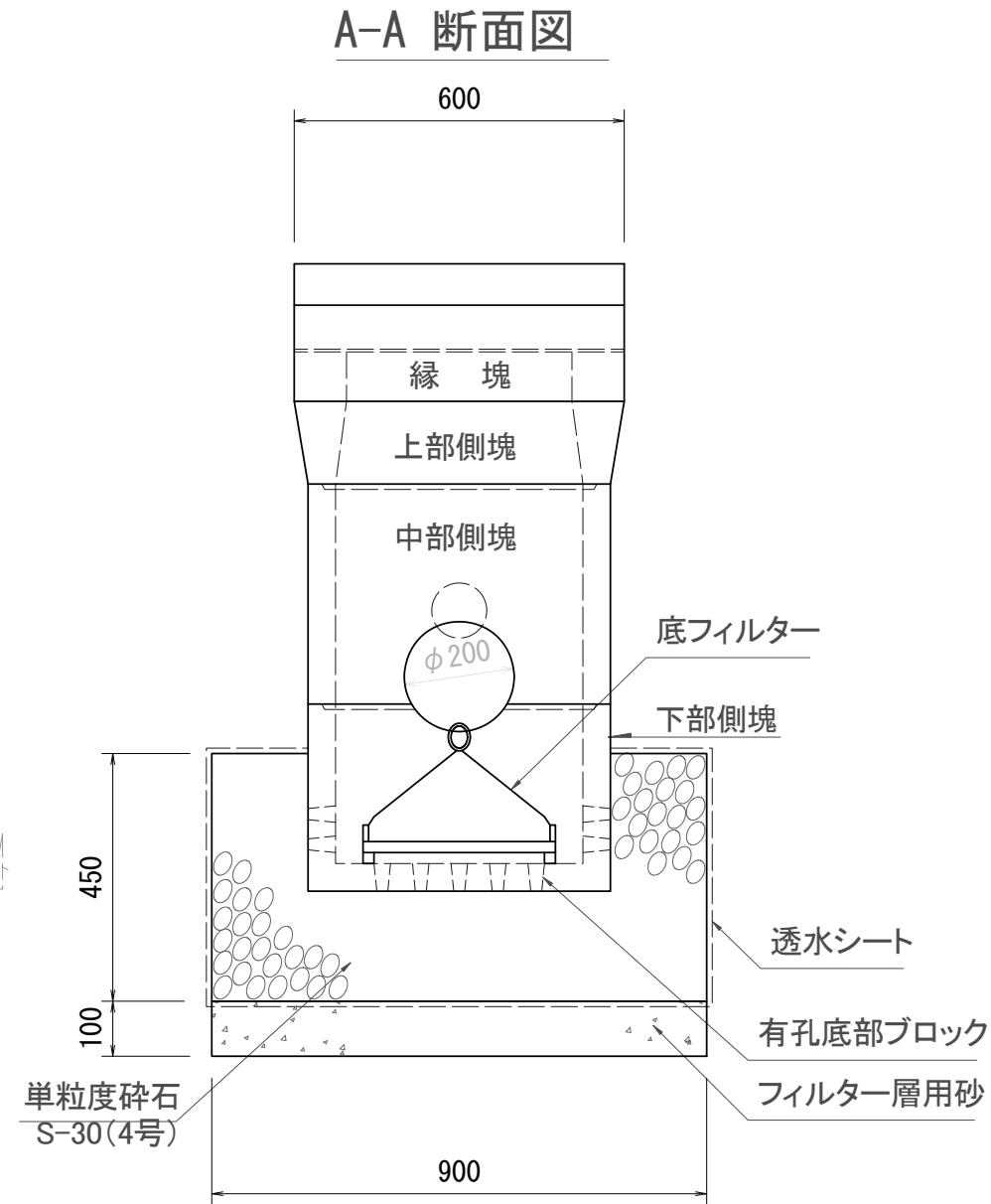
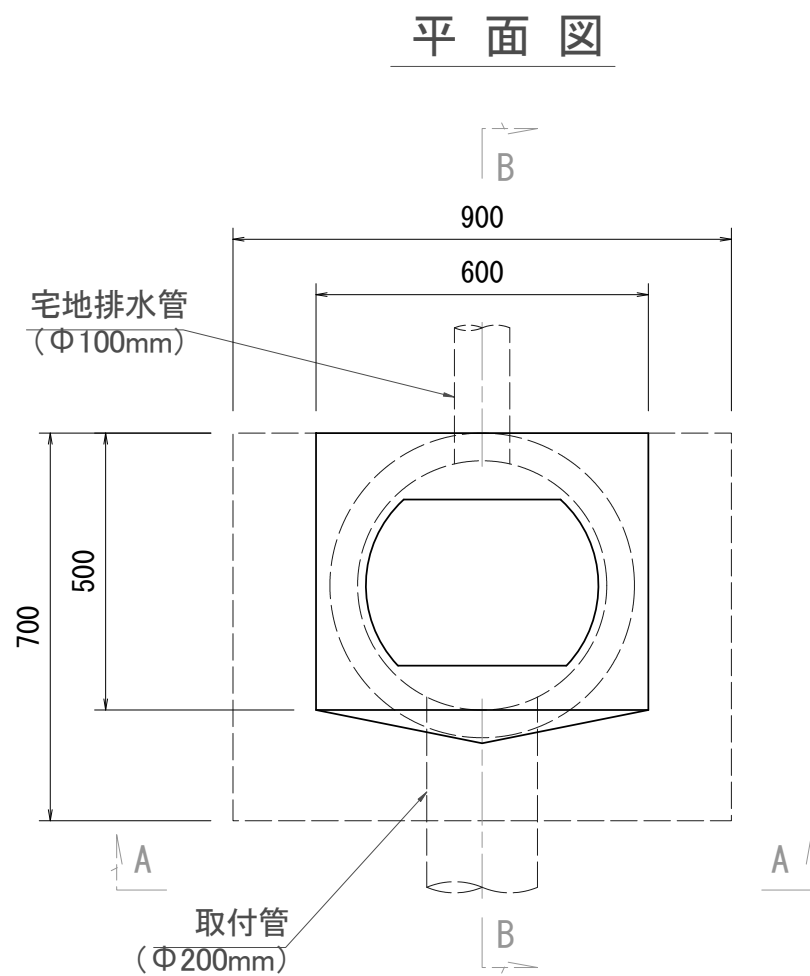
質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふた	30
縁塊	52
上部側塊	50



特記事項

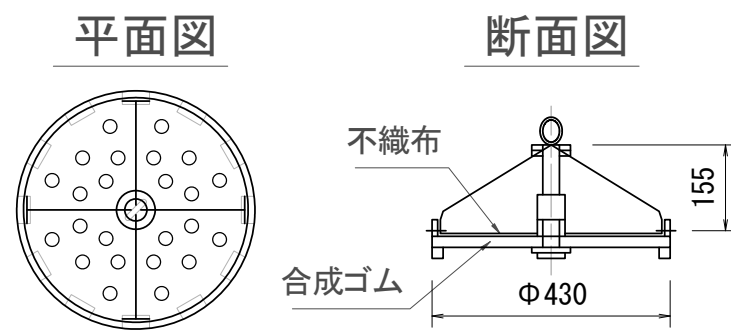
接続雨水浸透ます
(タイプ3・4)ふた等構造図



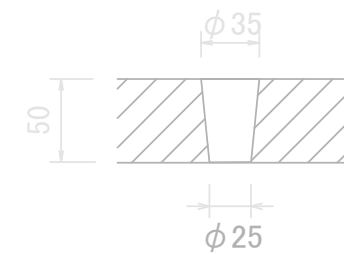
質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
縁塊	52
上部側塊	50
中部側塊	74
下部側塊	84

底フィルター図 (参考)



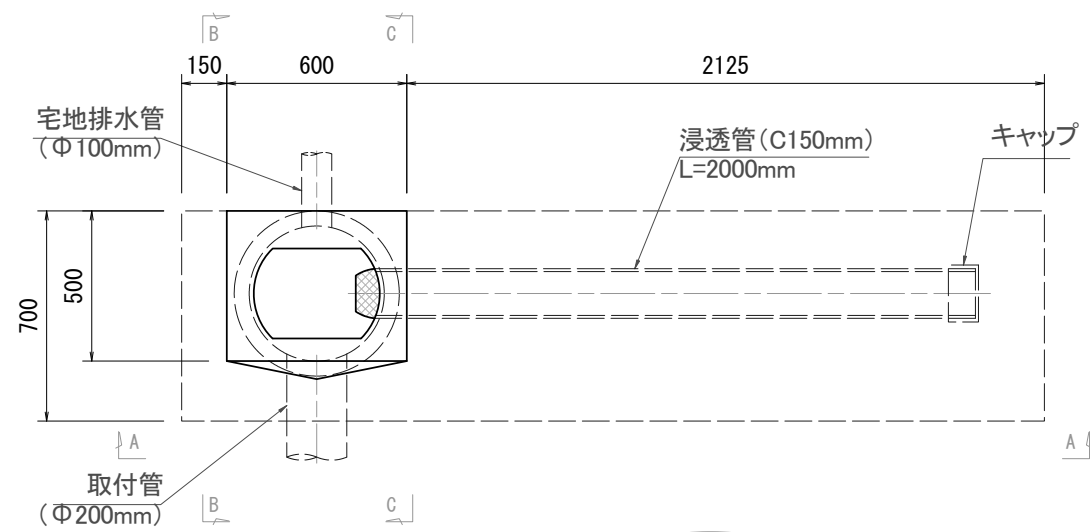
有孔底部ブロック孔詳細図



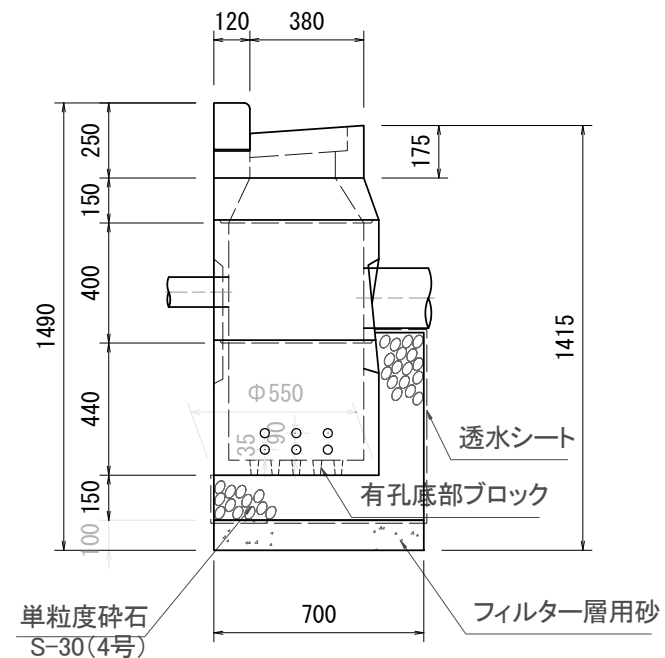
特記事項

接続雨水浸透ます(タイプ3)
構造図

平面図

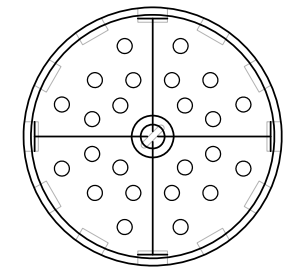


B-B 断面図

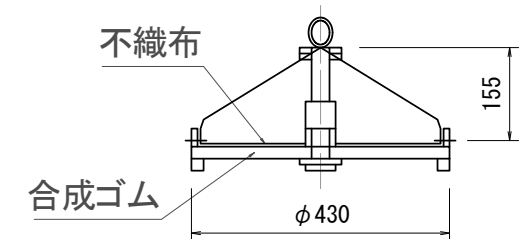


底フィルター図 (参考)

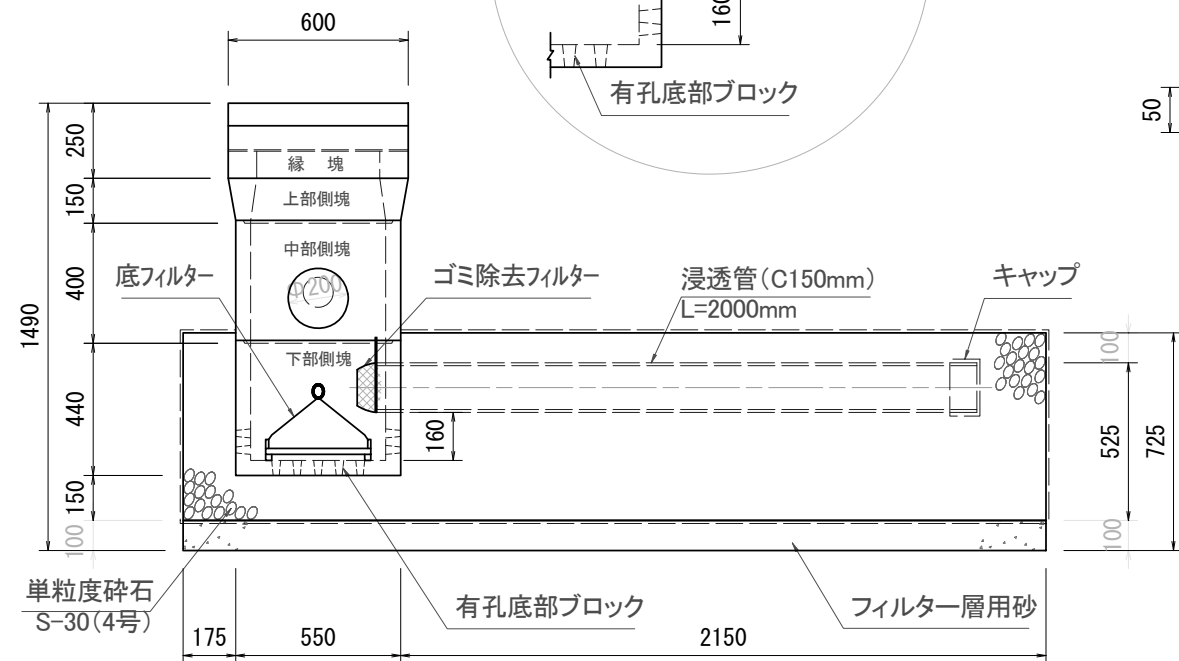
平面図



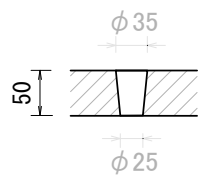
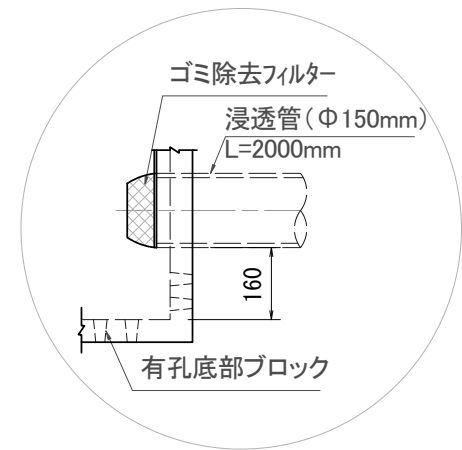
断面図



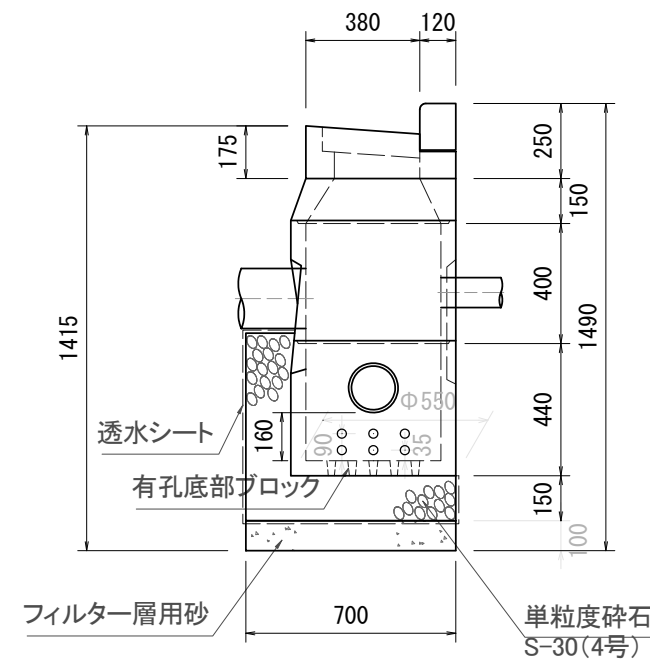
A-A 断面図



有孔底部ブロック孔詳細図



C-C 断面図



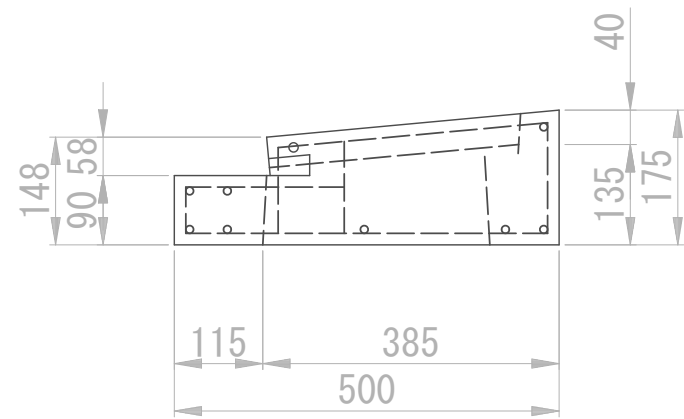
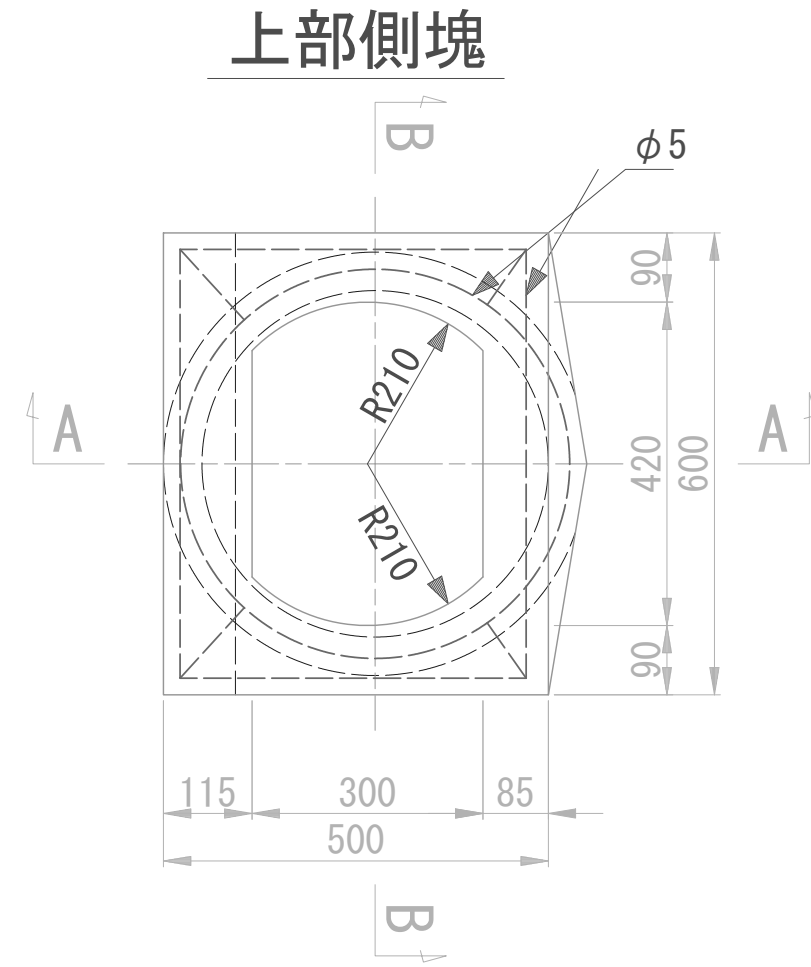
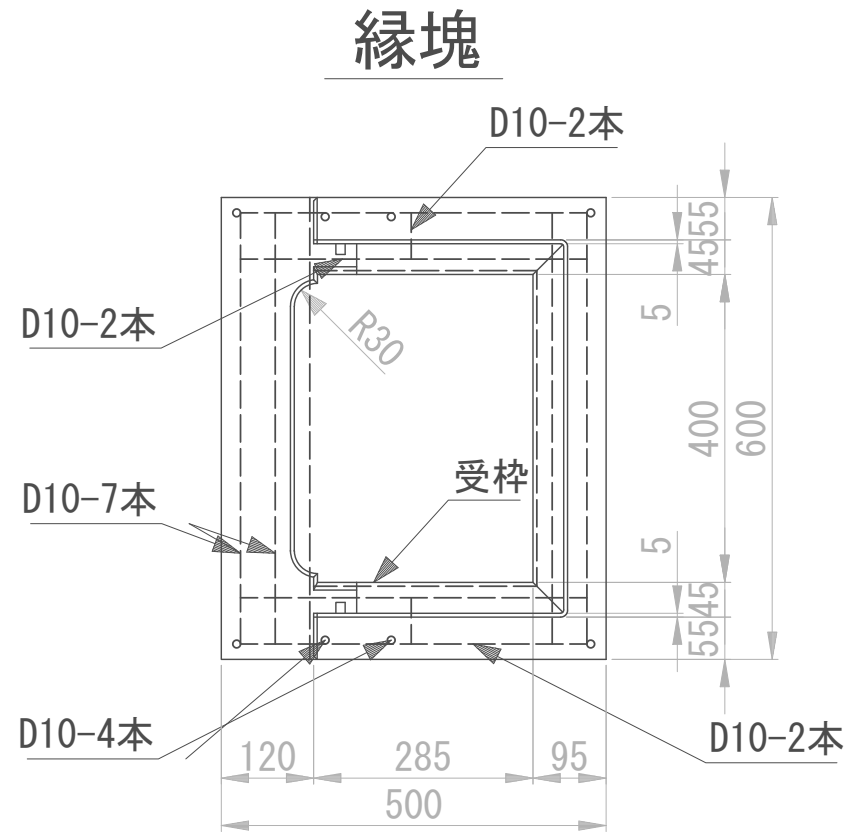
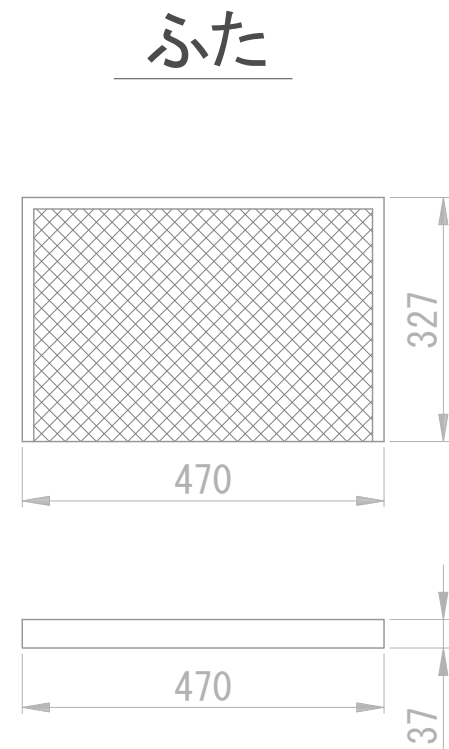
質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
縁 塊	52
上部側塊	50
中部側塊	74
下部側塊	109

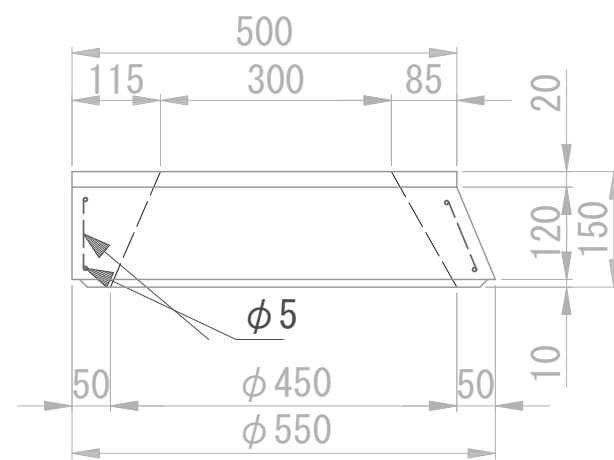
特記事項

調整側塊は高さに合わせて使用すること。

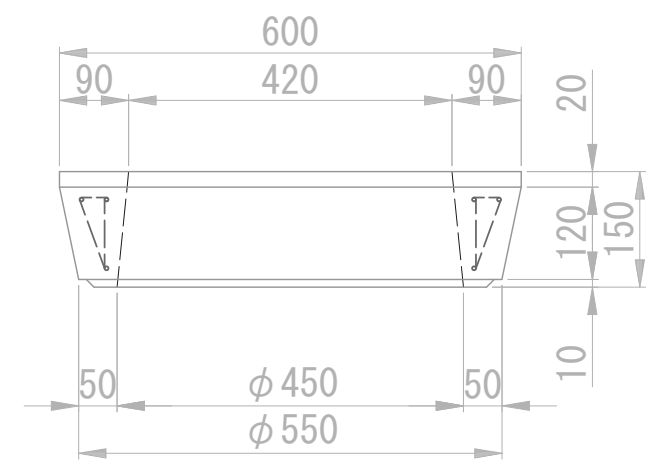
接続雨水浸透ます(タイプ4)
構造図



A-A断面図



B-B断面図



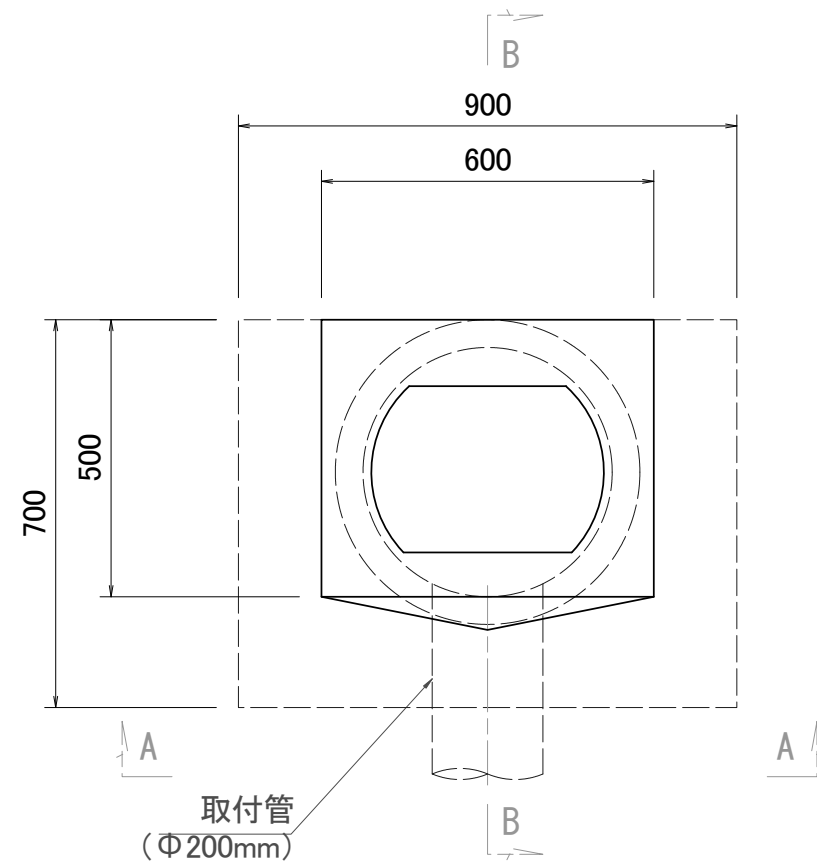
質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
ふ た	24
縁 塊	57
上部側塊	50

特記事項 注)ふたは、雨水柵蓋もしくは性能規定型雨水柵蓋を用いる。

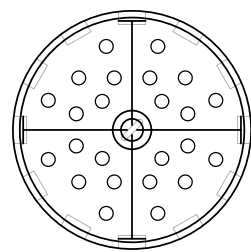
雨水浸透ます(タイプ1・2)
ふた等構造図

平面図

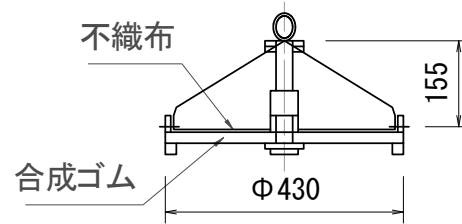


底フィルター図 (参考)

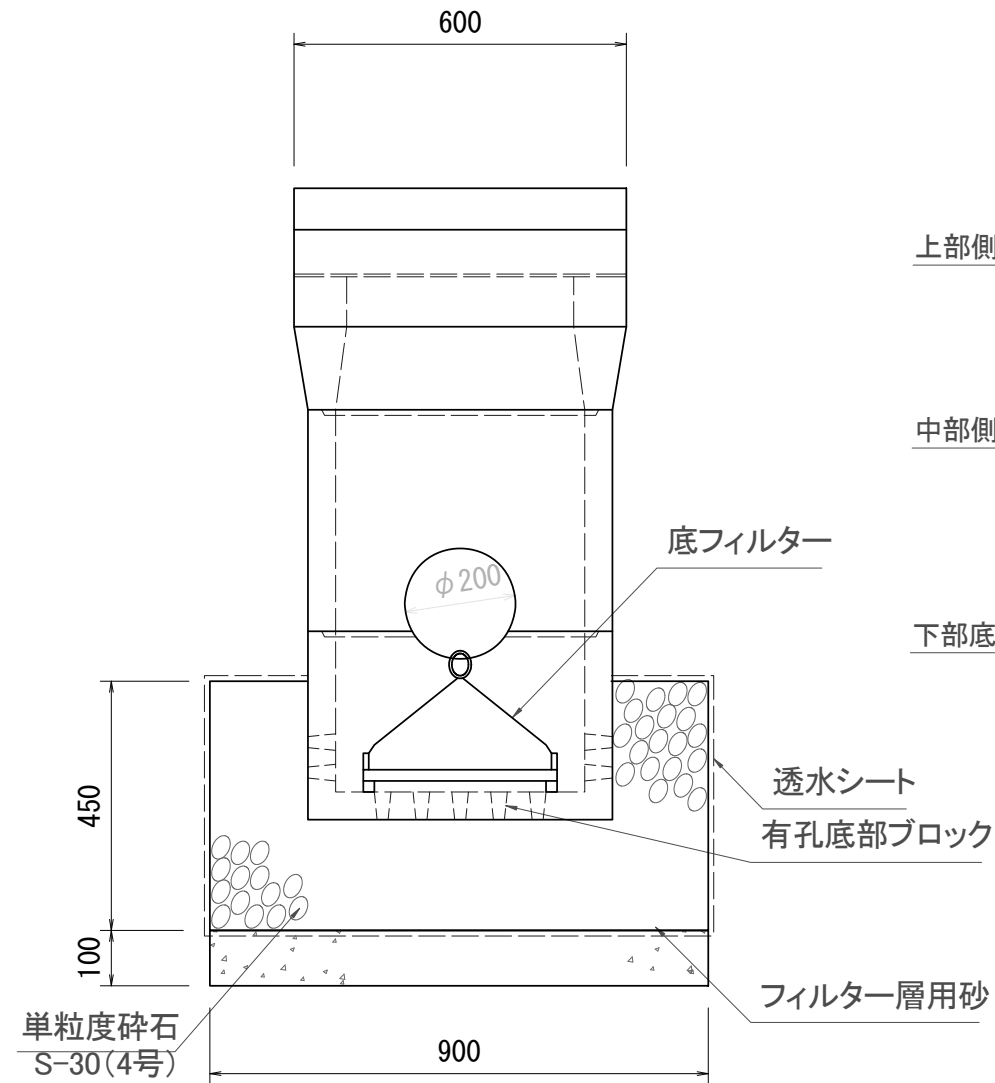
平面図



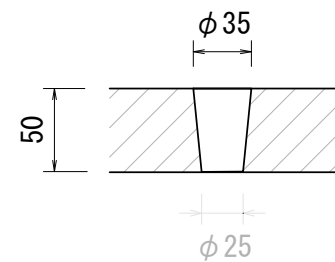
断面図



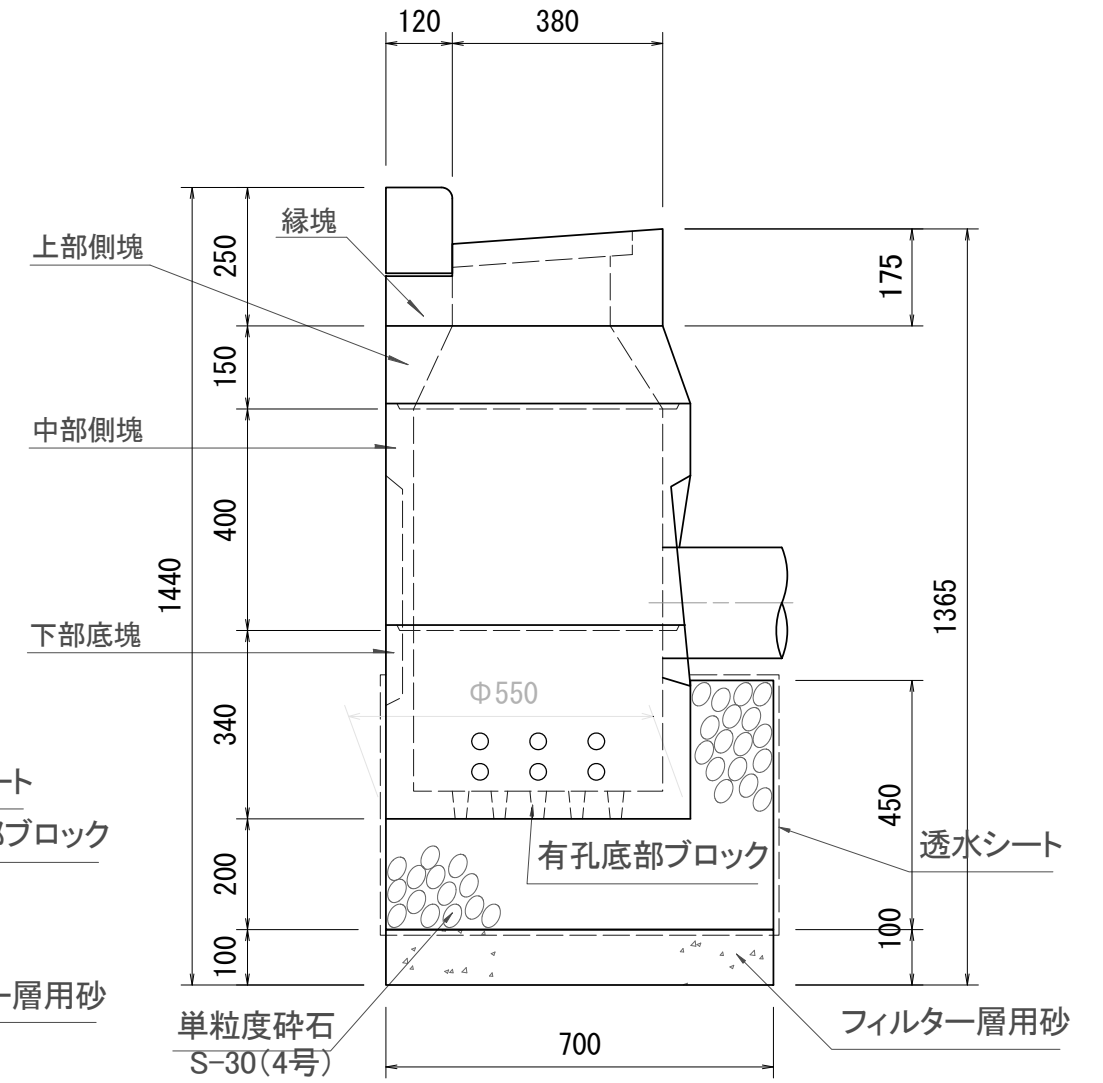
A-A 断面図



有孔底部ブロック孔詳細図



B-B 断面図



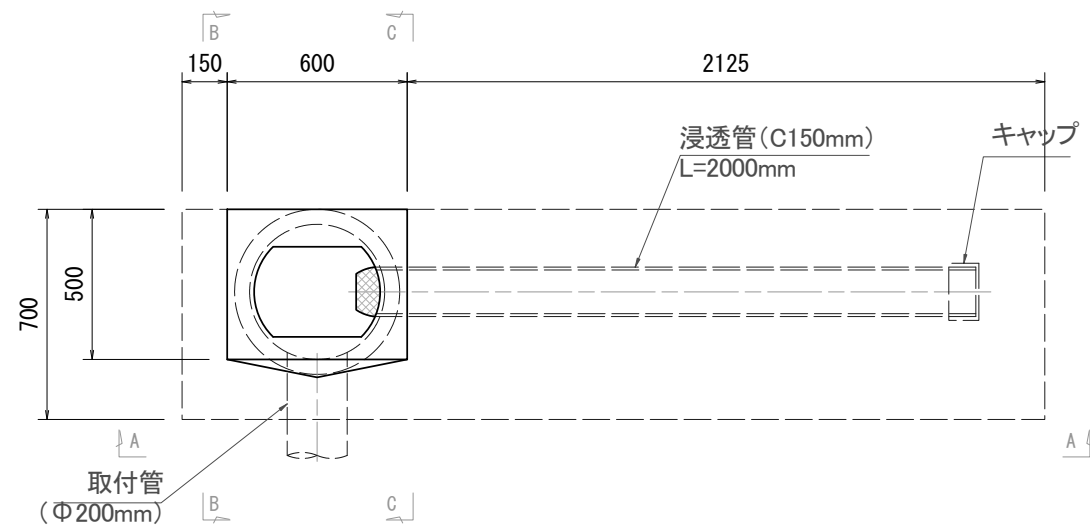
質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
上部側塊	50
中部側塊	74
下部底塊	84

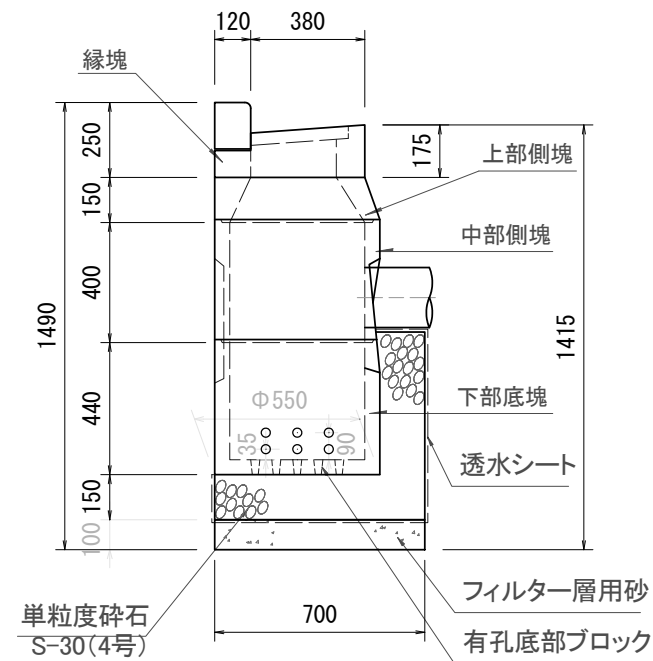
特記事項

雨水浸透ます(タイプ1)
構造図

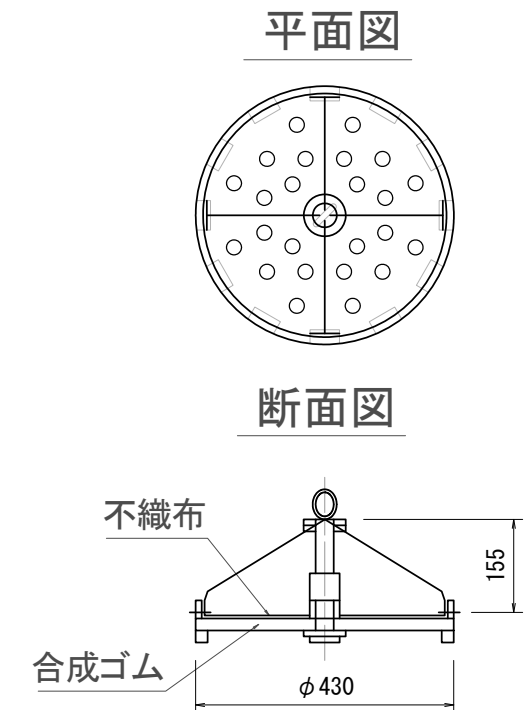
平面図



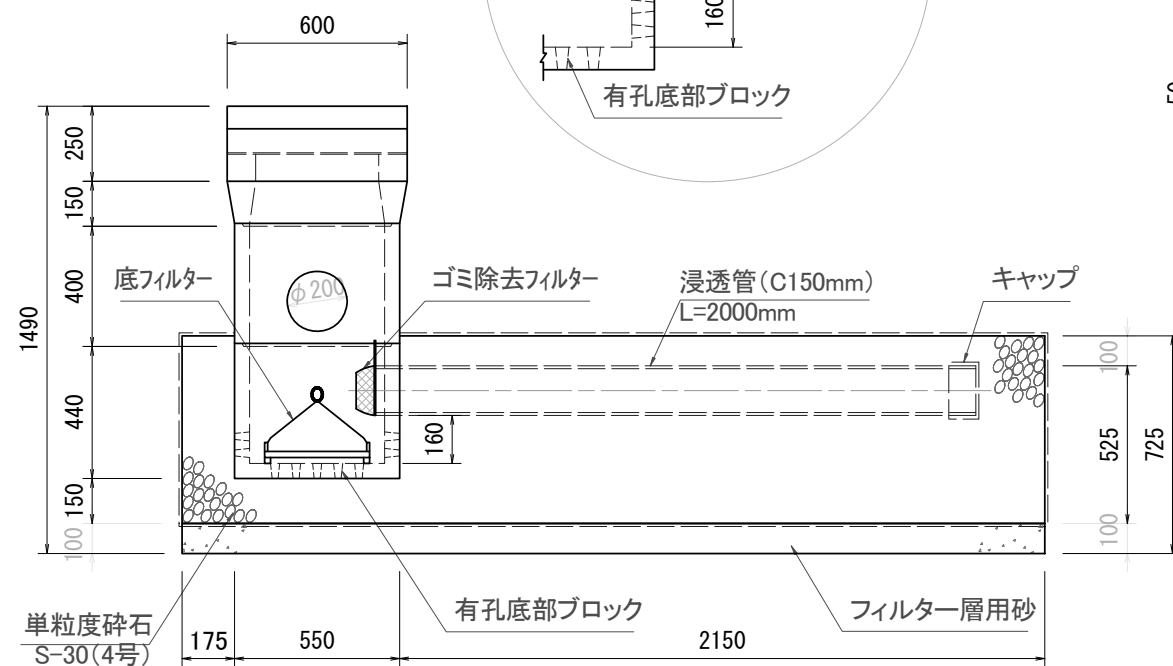
B-B 断面図



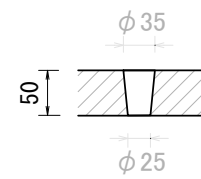
底フィルター図 (参考)



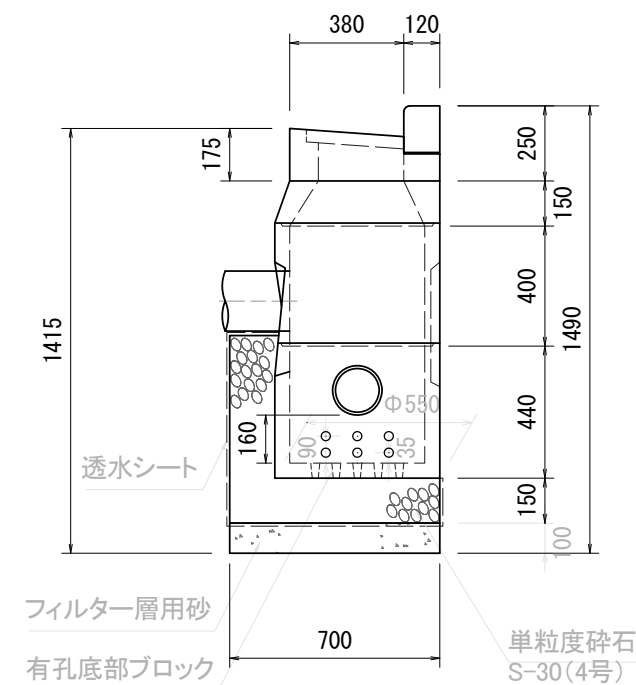
A-A 断面図



有孔底部ブロック孔詳細図



C-C 断面図

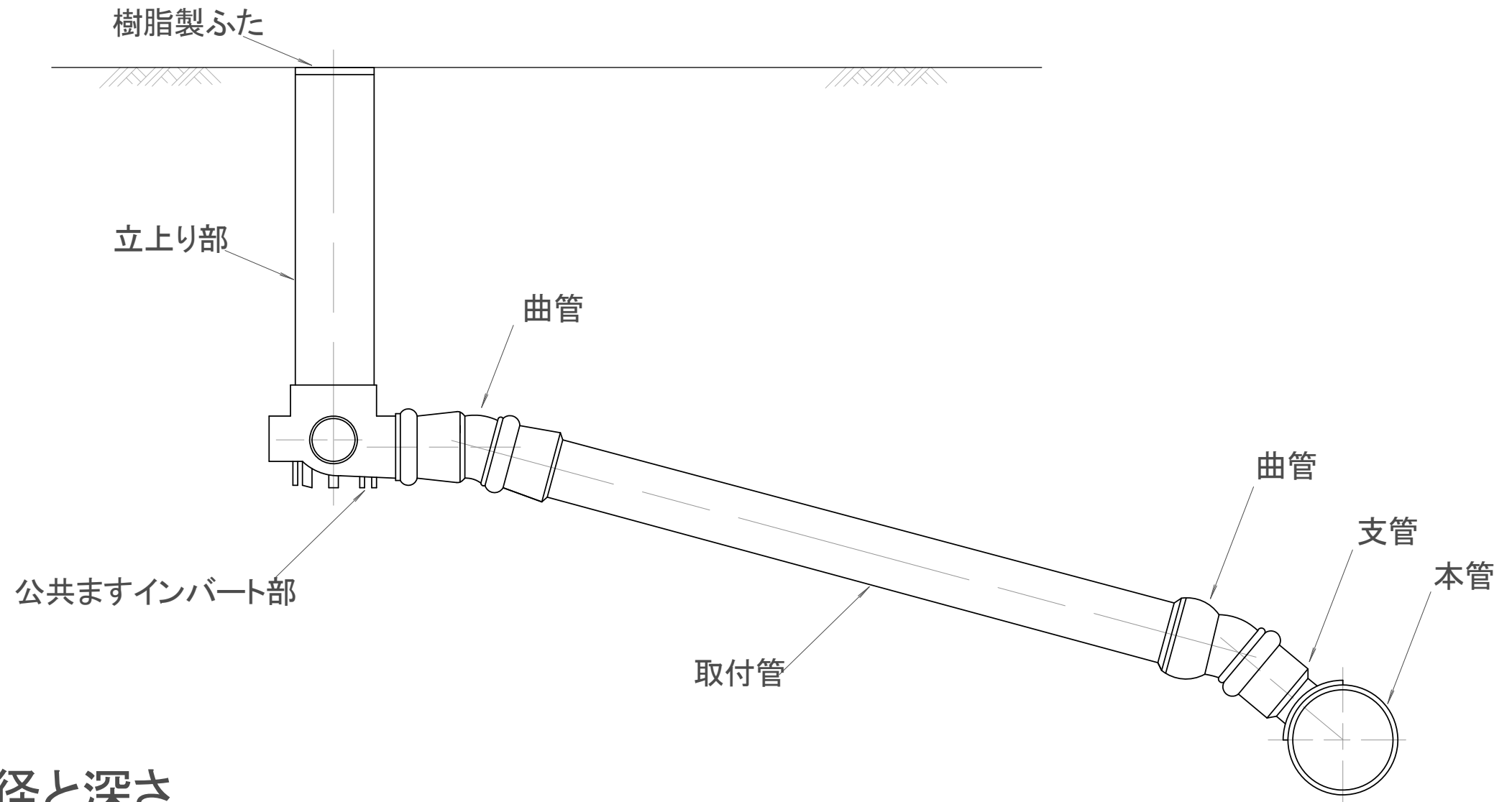


質量表(参考)

呼び名	質量(kg)
上部側塊	50
中部側塊	74
下部底塊	109

特記事項 調整側塊は高さに合わせて使用すること。

雨水浸透ます(タイプ2)
構造図



ます内径と深さ

ます内径	深 さ
200mm以上	1.0m以下
300mm以上	1.5m未満

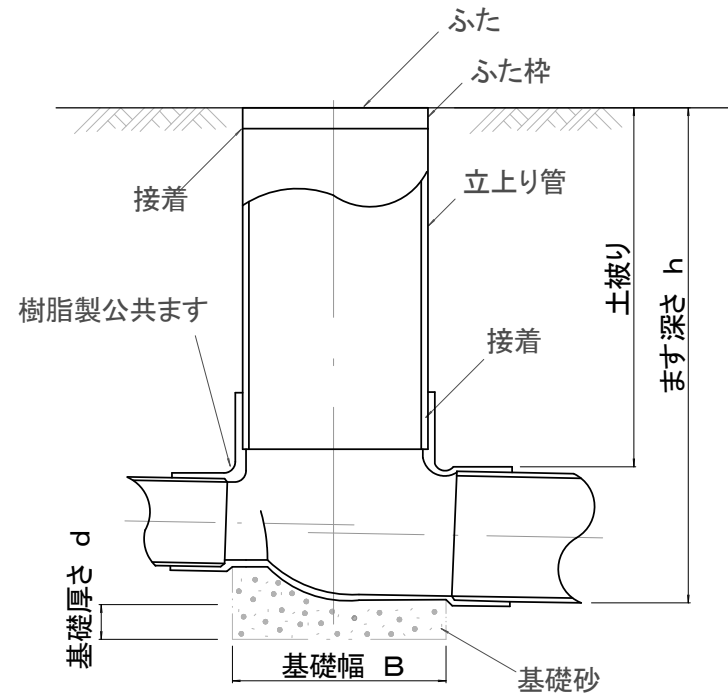
※雨水ますの場合は泥だめを含まない深さとする。

特
記
事
項

ます内径と深さの表は、取付管径150mmの場合であり、200mmの場合は深さ1.0m以下についても、ます内径300mm以上とする。
樹脂ますの設置は、宅地内を原則とし、取付管は硬質塩化ビニル管とする。

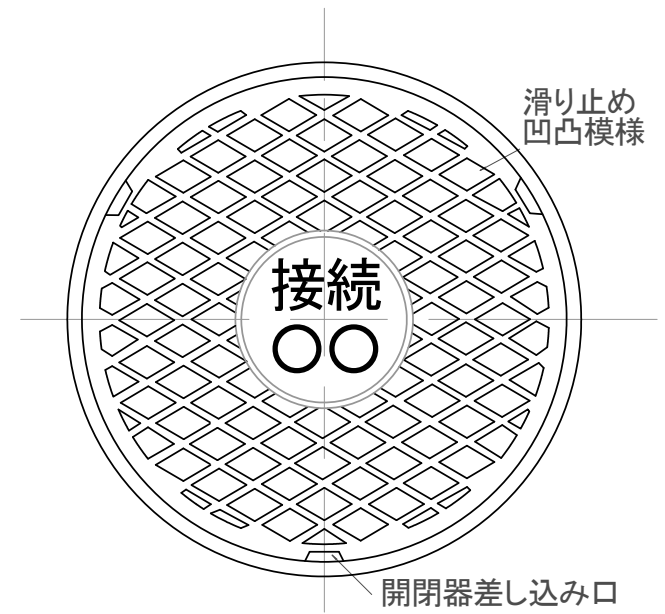
樹脂製接続ます施工標準図
(JSWAS K-7)

各寸法等の名称

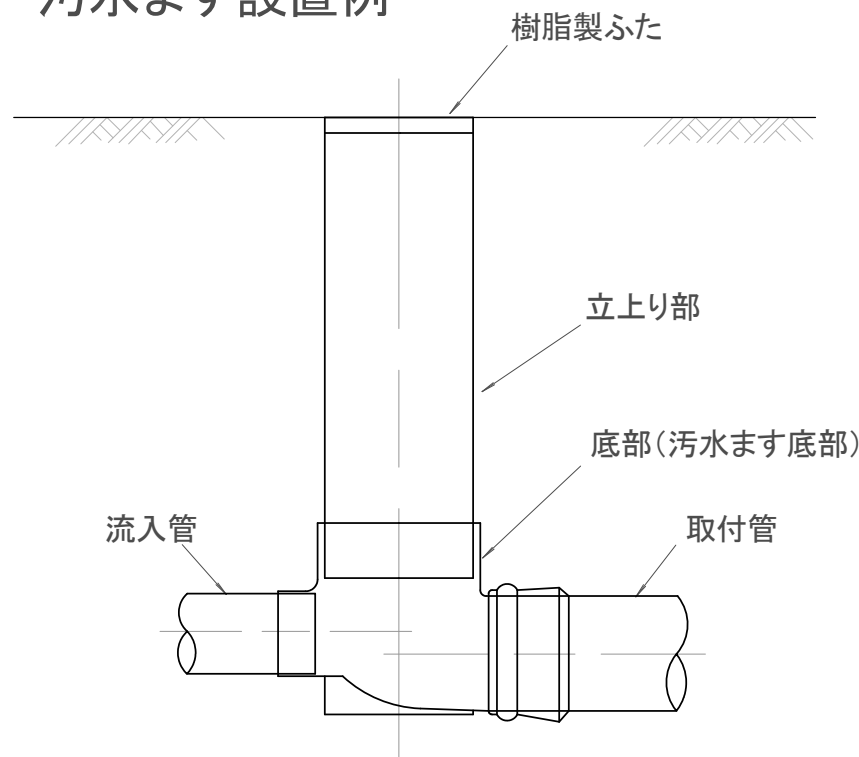


基礎厚さ d=50mm以上
基礎幅 B=内径+50mm以上

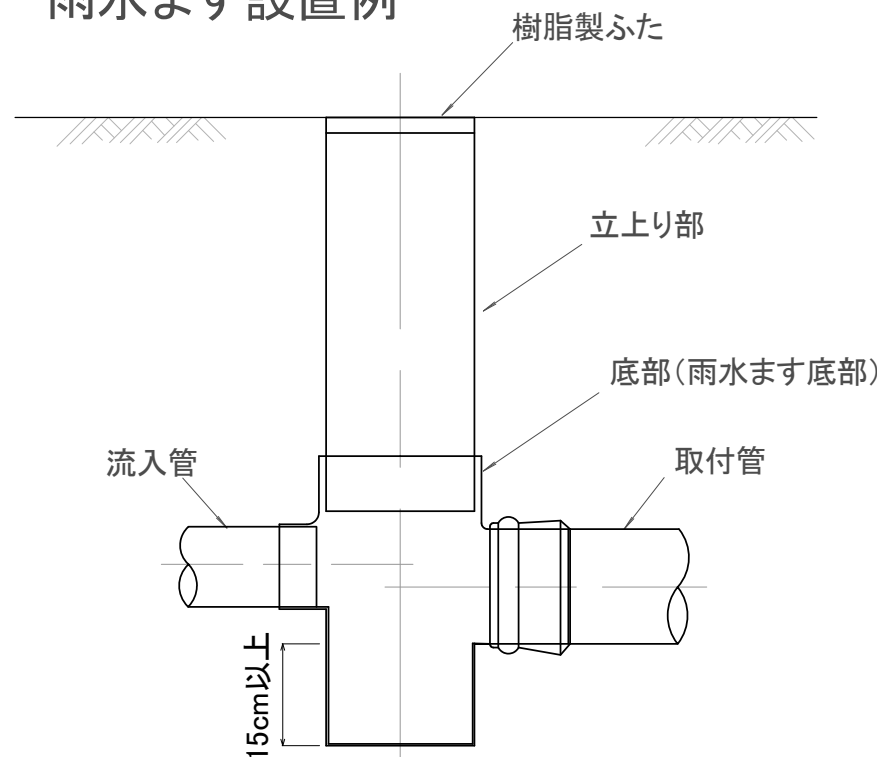
ふた構造図(例)



汚水ます設置例



雨水ます設置例



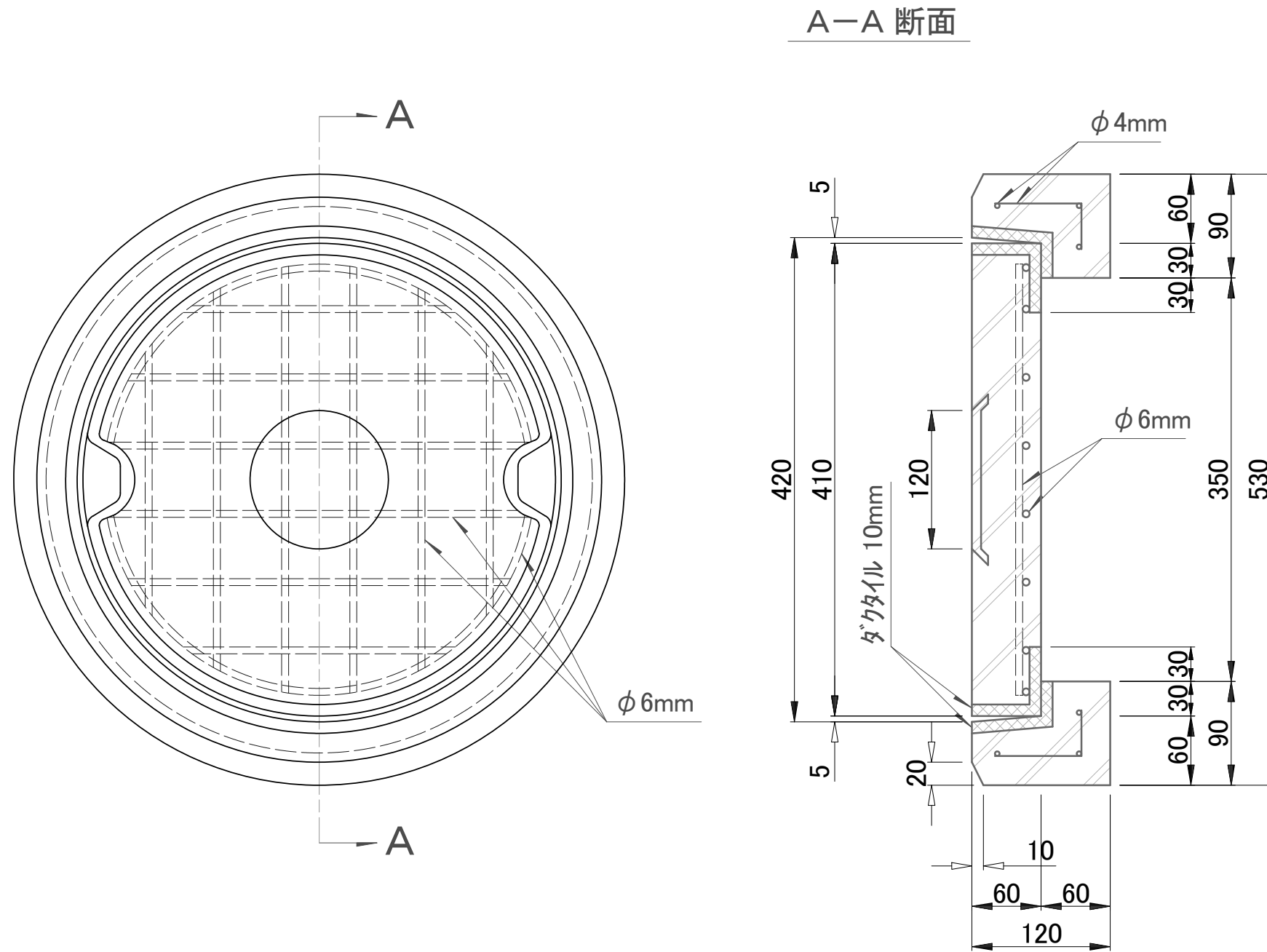
ふた名称表示

汚水	接続 おすい
雨水	接続 あめ
合流	接続 ます

特記事項

- 1 汚水ます(合流ます) 日本下水道協会規格 K-7、K-8の90WY及び90WY-RまたはS及びS-Rを標準とし、プラスチック・マスマンホール協会規格のPMMS-007についても使用することができる。
- 2 雨水ます 日本下水道協会規格 K-7規格のR-90WYまたはR-ST、K-8のRTを標準とし、RTに接続を行う場合は接続リングを使用すること。なお、硬質塩化ビニル製ますにおける、ます内径300mm以上については、JSWAS K-7規格「5. 品質」に準じた製品とすることができる。
- 3 樹脂製ふた 蓋の表面には、滑り止め防止の凹凸模様を設けるものとする。ただし、その模様は規定しない。

樹脂製接続ます設置例
及びふた構造図
(JSWAS K-7)



接続柵紋章種別表

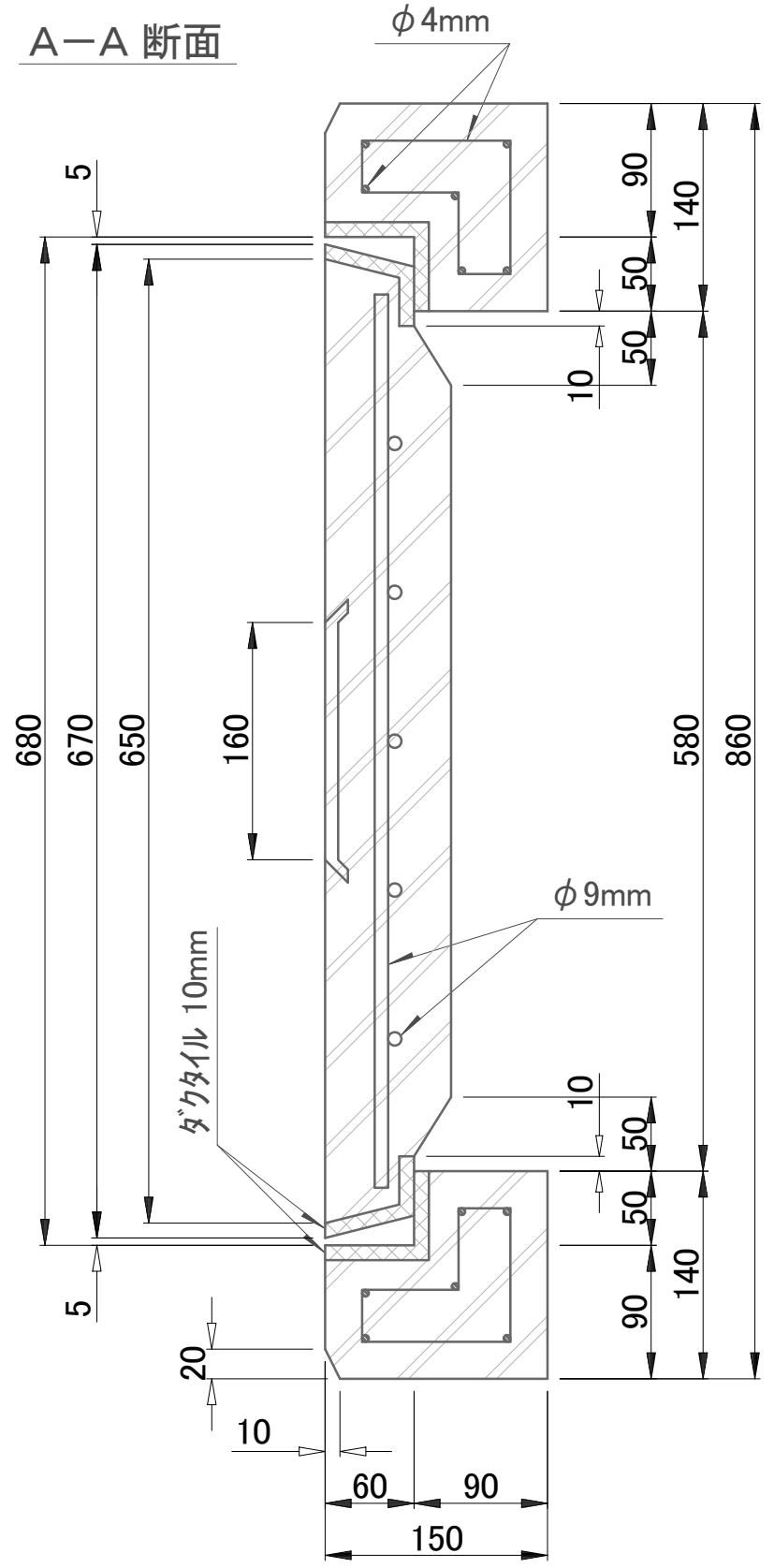
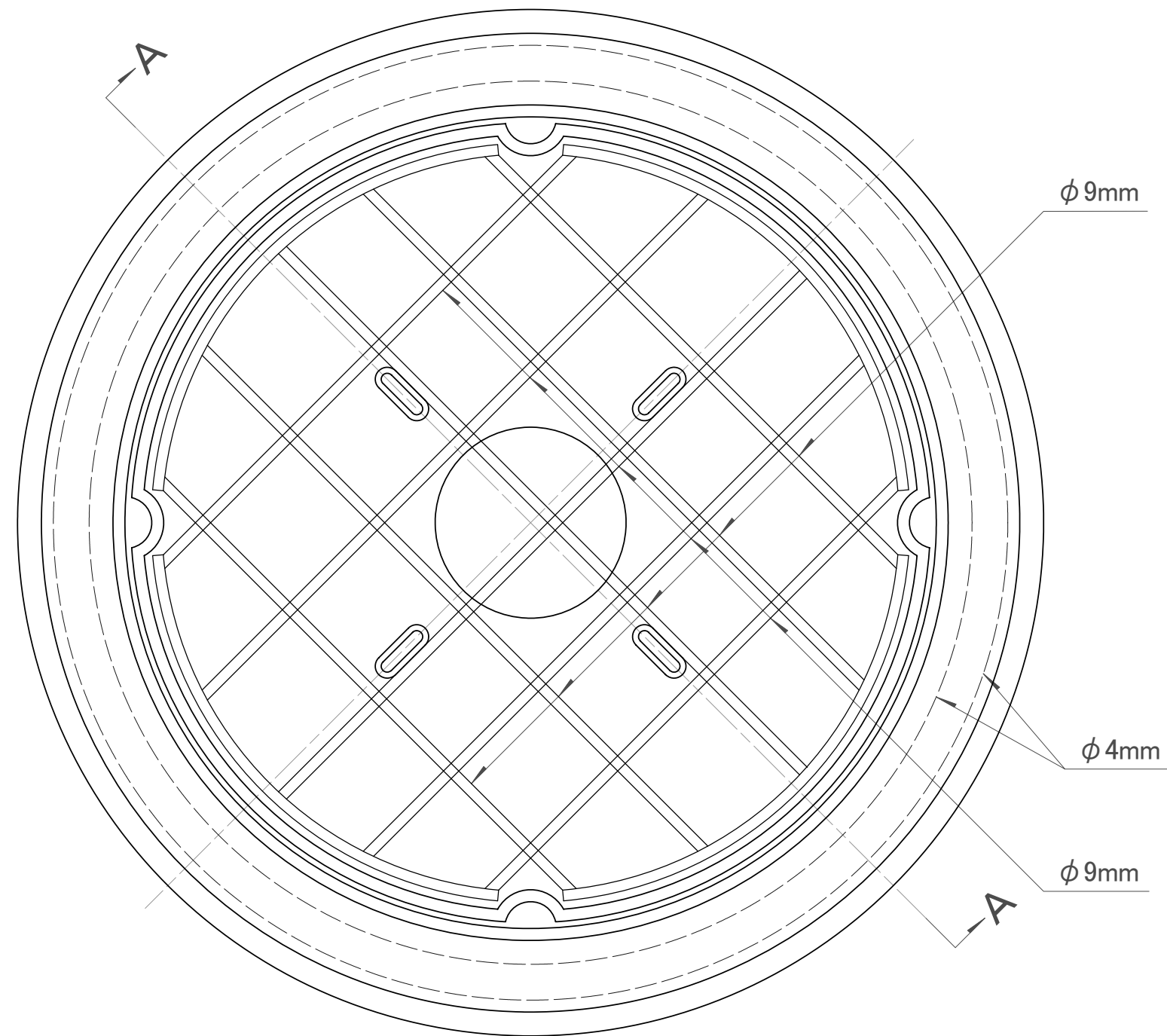
	合流式	分流式	
		汚水	雨水
宅地内			
宅地外			

(注) 紋章の材質 FC 200

特記事項

材質	コンクリート $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
載荷重	T-14 $i=0.3$

タイプ1, 7接続柵縁塊
及び蓋構造図(1)
(φ450用)

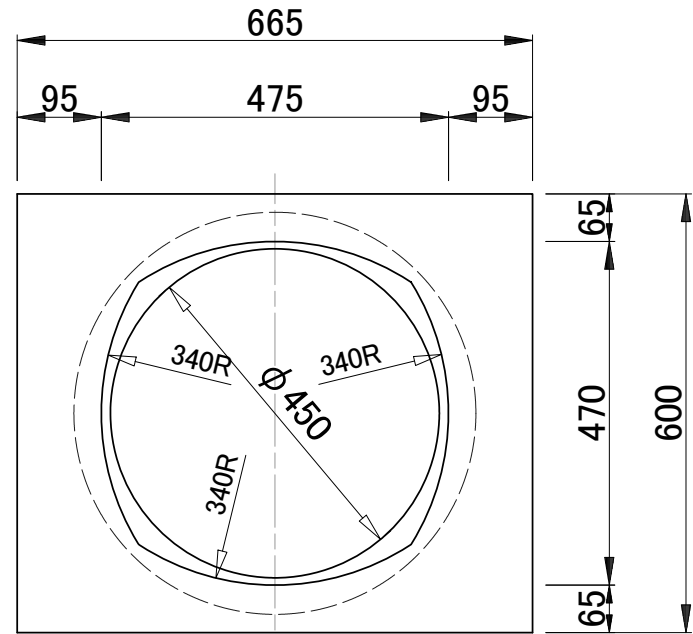


特記事項

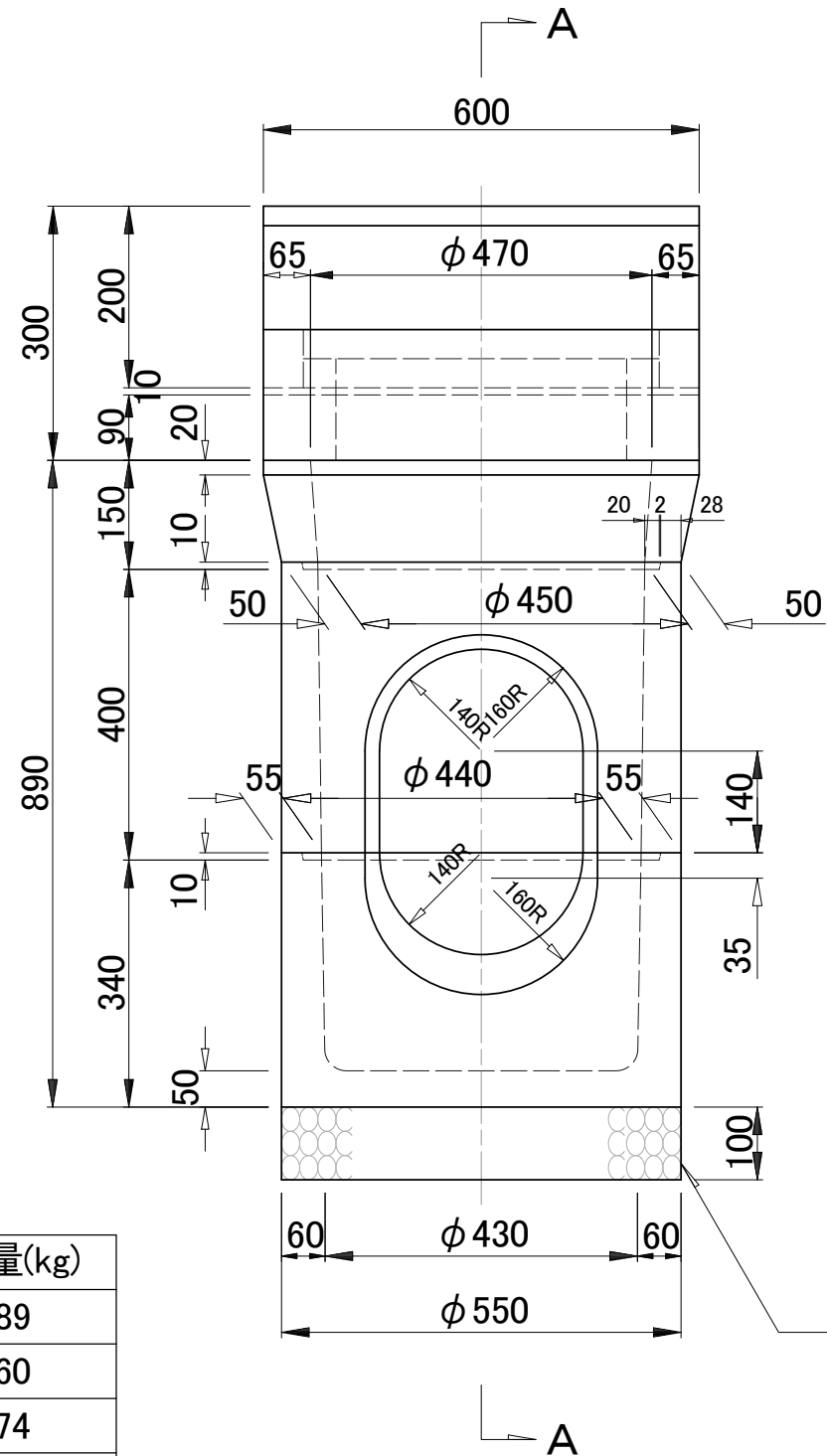
材質	コンクリート $\sigma_{ck}=30\text{N}/\text{mm}^2$
載荷重	T-14 $i=0.3$

タイプ2, 3, 8, 9 接続柵縁塊
 及び蓋構造図(2)
 ($\phi 600$, $\phi 700$ 用)

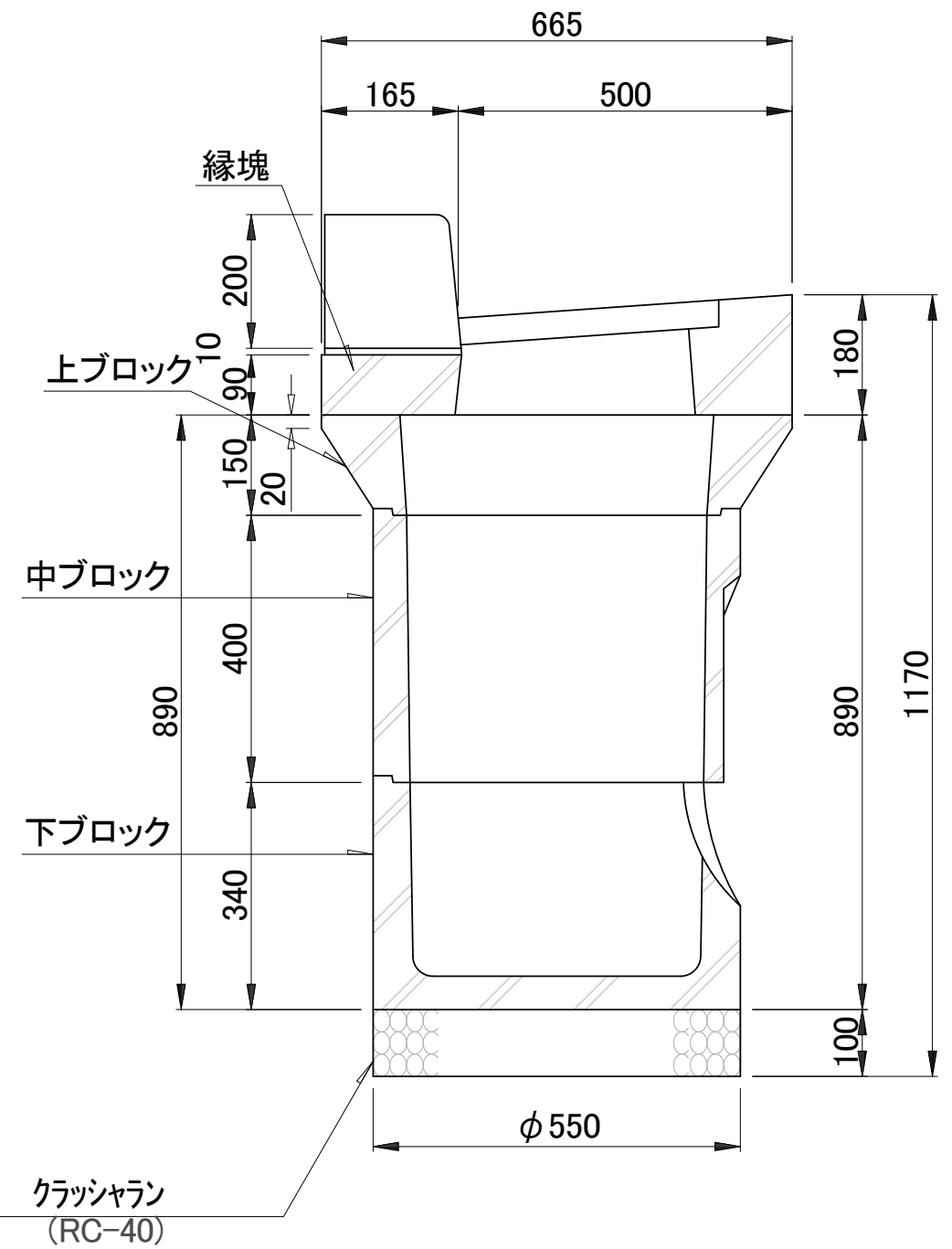
平面図



側面図



A-A断面図



材料表

種別	クラッシュラン (RC-40)
タイプ1	0.024m ³

質量表

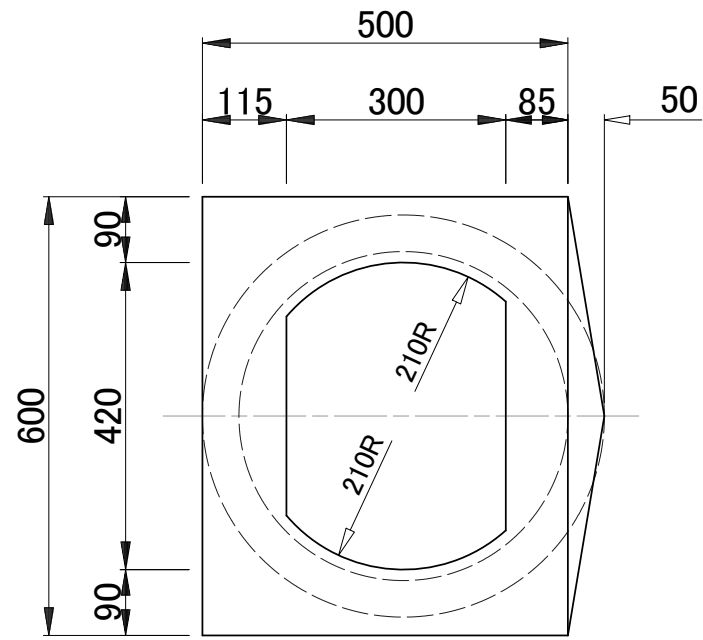
種別	質量(kg)
縁塊	89
上ブロック	60
中ブロック	74
下ブロック	88

特記事項

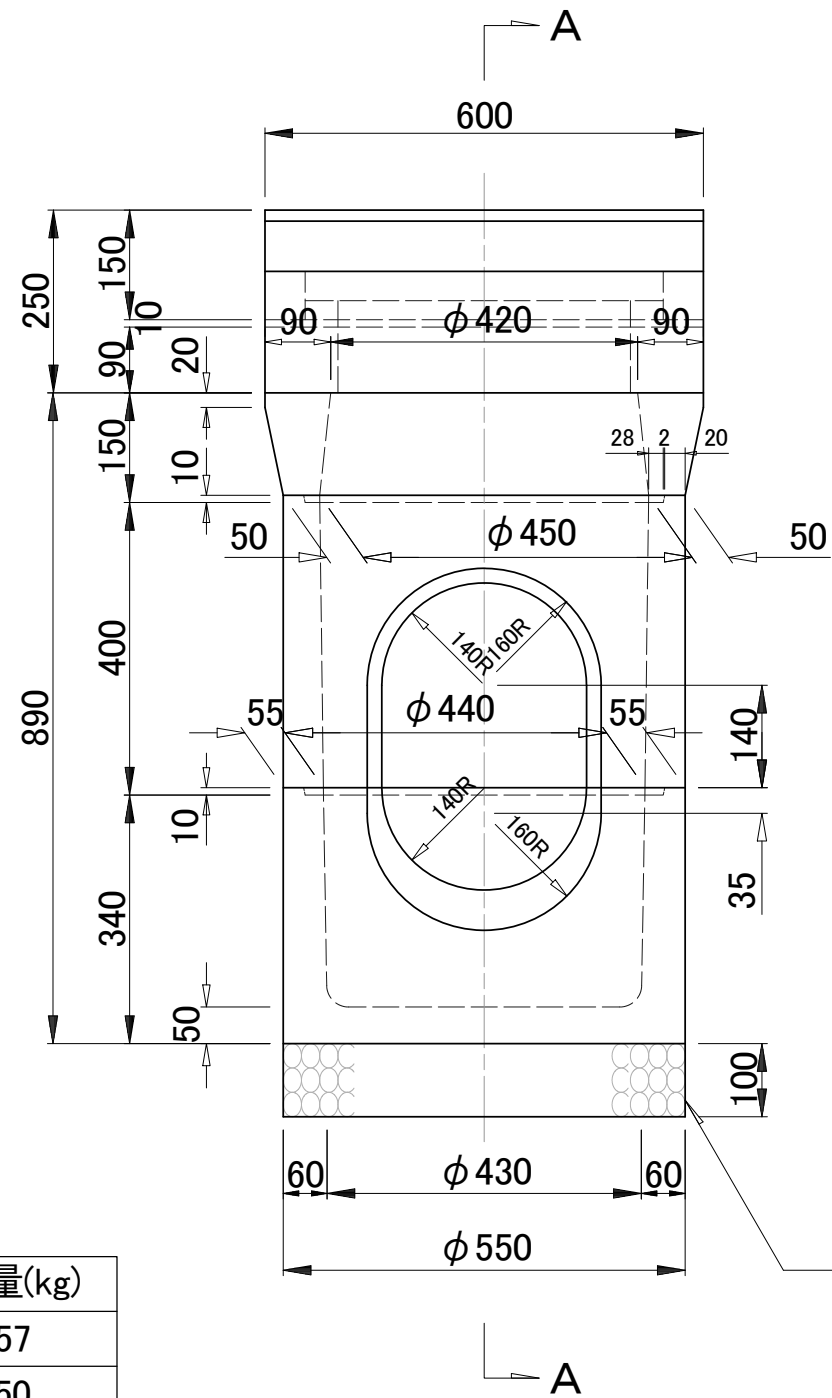
注) 1. 雨水柵(タイプ1)は、L型側溝タイプ1、2に適用する。
2. 取付管の最小土被りは0.60mとする。

タイプ1雨水柵布設図

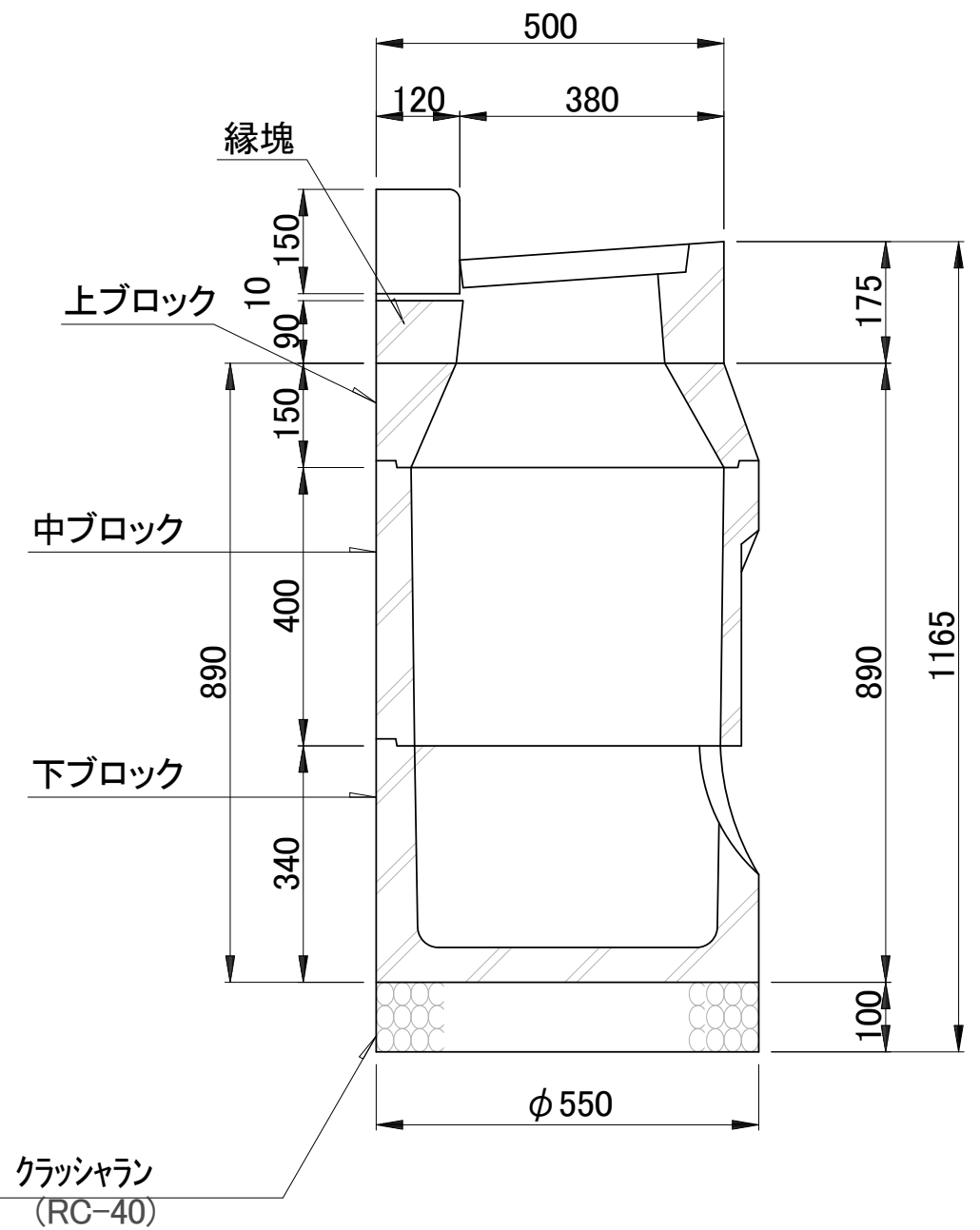
平面図



側面図



A-A断面図



材料表

種別	クラッシュラン (RC-40)
タイプ2	0.024m ³

質量表

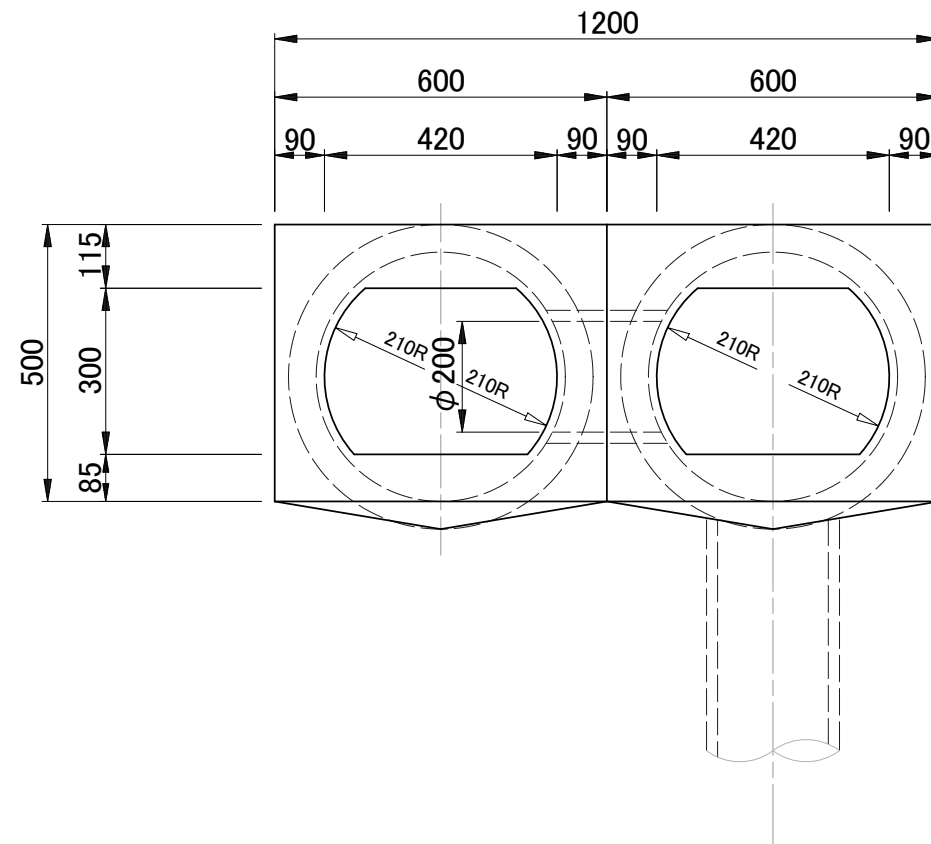
種別	質量(kg)
縁塊	57
上ブロック	50
中ブロック	74
下ブロック	88

特記事項

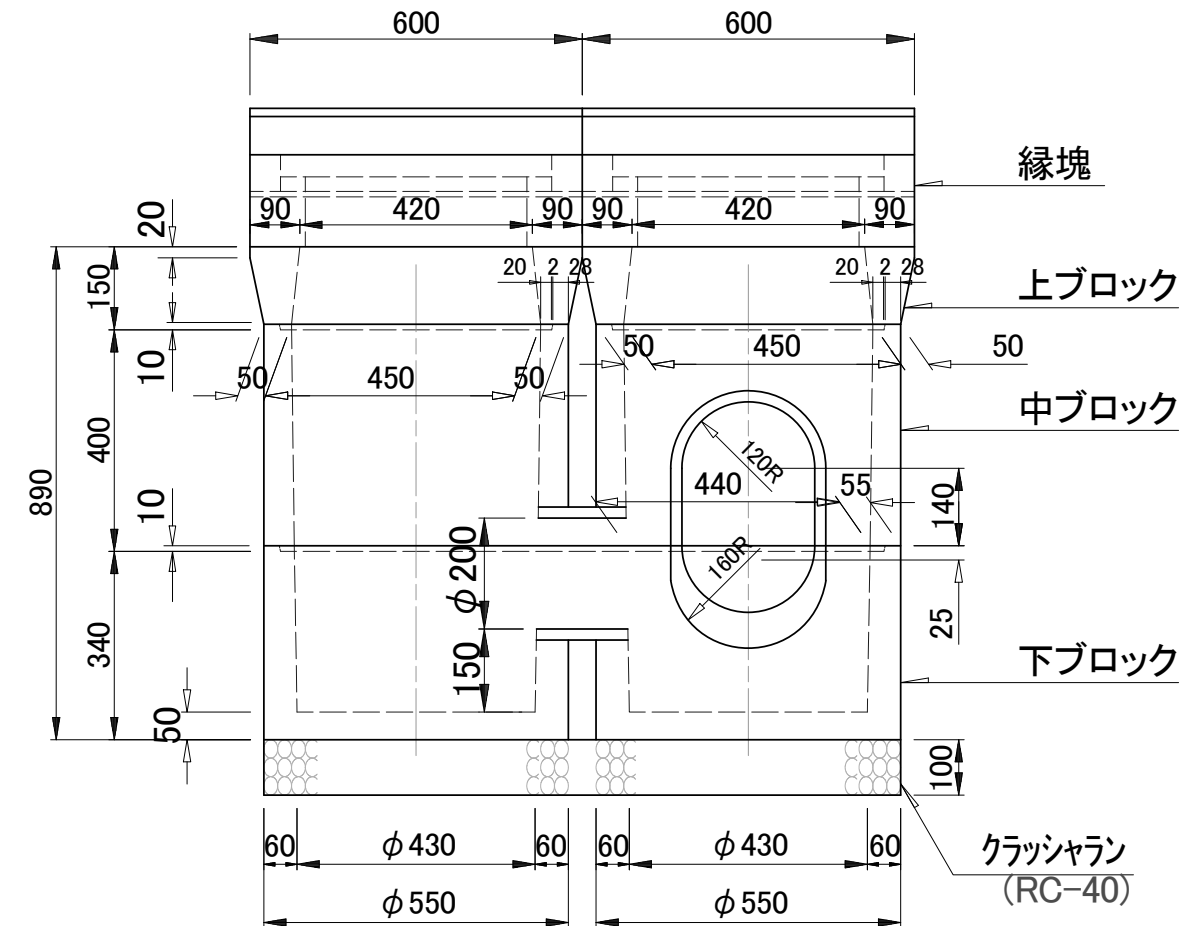
注) 1. 雨水柵(タイプ2)は、L型側溝タイプ3~6に適用する。
 2. L型側溝にタイプ3、4に雨水柵を設置する際は、雨水柵の前面にL型側溝のエプロンの幅及び厚さに併せて現場打ちコンクリートを施工し、エプロンのとおりを一致させる。
 注) 取付管の最小土被りは0.60mとする。

タイプ2雨水柵布設図

平面図



側面図



材料表

種別	クラッシュラン (RC-40)
タイプ3	0.048m ³

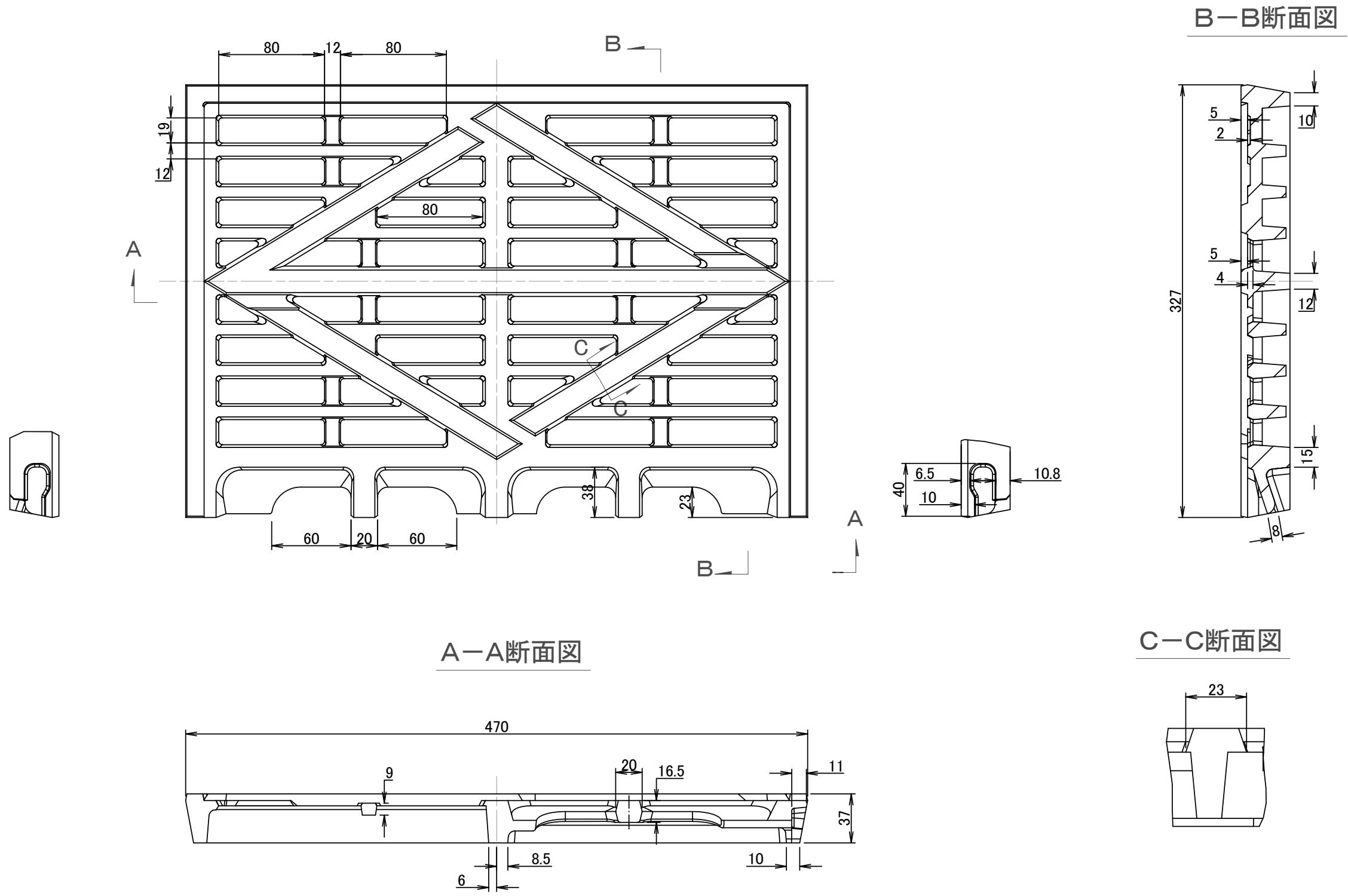
質量表

種別	質量(kg)
縁塊	114
上ブロック	100
中ブロック	148
下ブロック	176

特記事項

注) 1. 雨水柵(タイプ3)は、L型側溝タイプ3~6に適用する。
 2. L型側溝タイプ3、4に雨水柵を設置する際は、雨水柵の前面にL型側溝のエプロンの幅及び厚さに併せて現場打コンクリートを施工し、エプロンのとおりを一致させる。
 注) 取付管の最小土被りは0.60mとする。

タイプ3雨水柵布設図



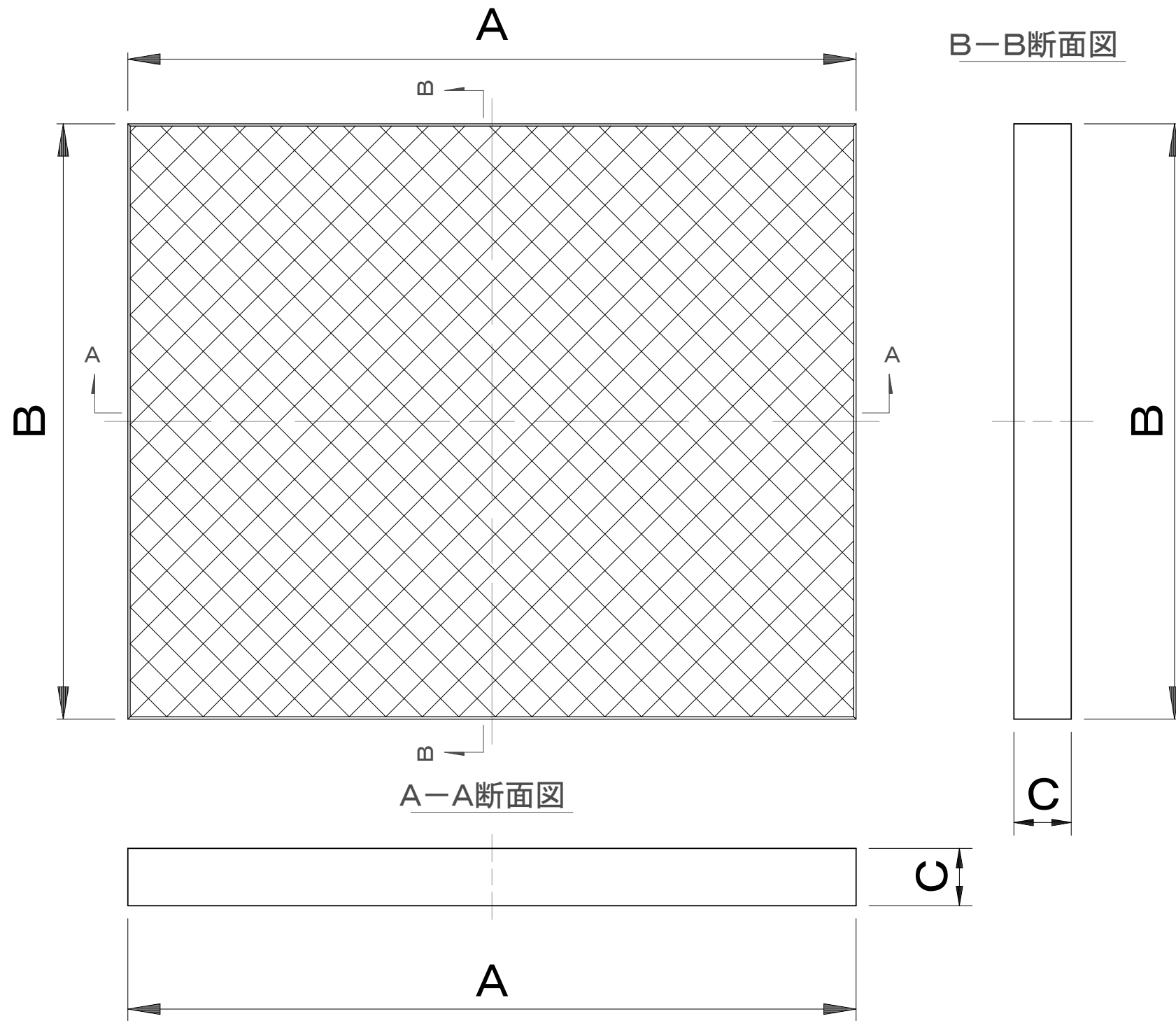
特記事項

注) 蓋裏にメーカー名、製造年、材質を記入する。

材質	FCD600
載荷重	T-25 i=0.4

・本市へ登録を完了している製造業者の登録製品を使用すること(横浜市下水道河川局 HP「下水道用鋳鉄ふた製造業者登録特記仕様書」を参照)

雨水柵蓋構造図



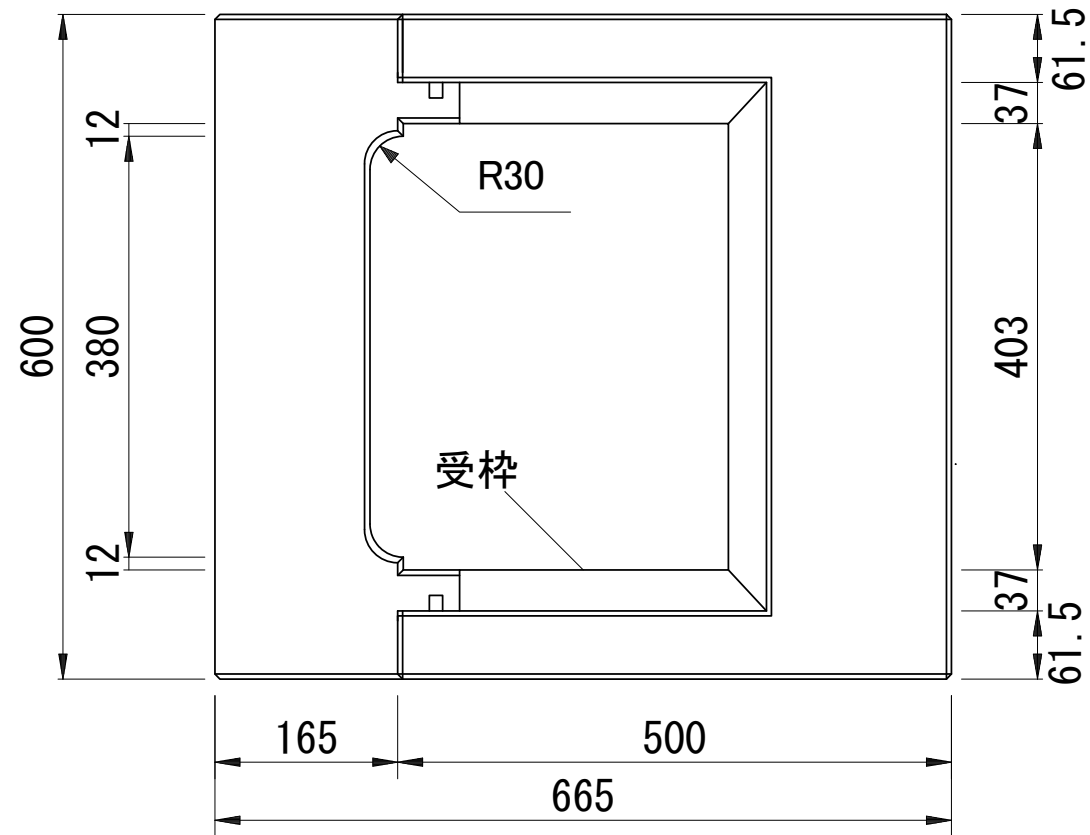
性能規定型雨水柵蓋			
測定箇所	A	B	C
寸法	470	327	37
許容差	±3.5	±3.1	±1.8

FCD600	材質
T-25	載荷重

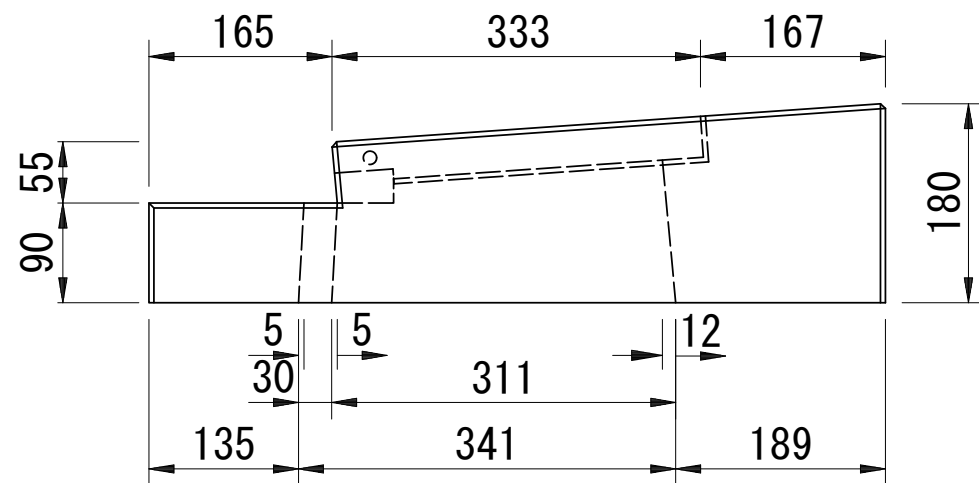
- 特記事項
1. 本図は寸法を示すものであり、形状を指定するものではない。
 2. 性能規定に関する詳細は、横浜市性能規定型雨水柵蓋仕様書を参照すること。
 3. 登録されている性能規定型雨水柵蓋の図面は、下水道河川局HPを参照すること。
 4. 本市へ登録を完了している製造業者の登録製品を使用すること(横浜市下水道河川局HP「[鋳鉄ふた製造業者登録特記仕様書](#)」を参照)

性能規定型雨水柵蓋構造図

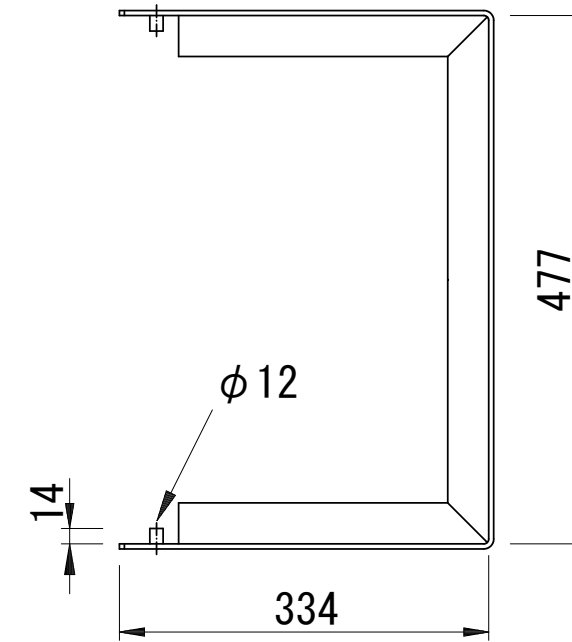
縁塊
平面図



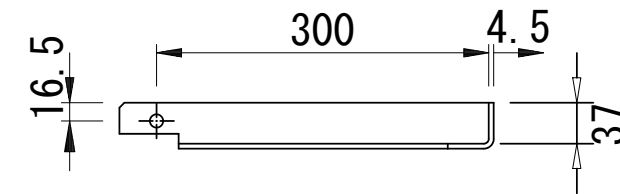
側面図



受枠
平面図



側面図



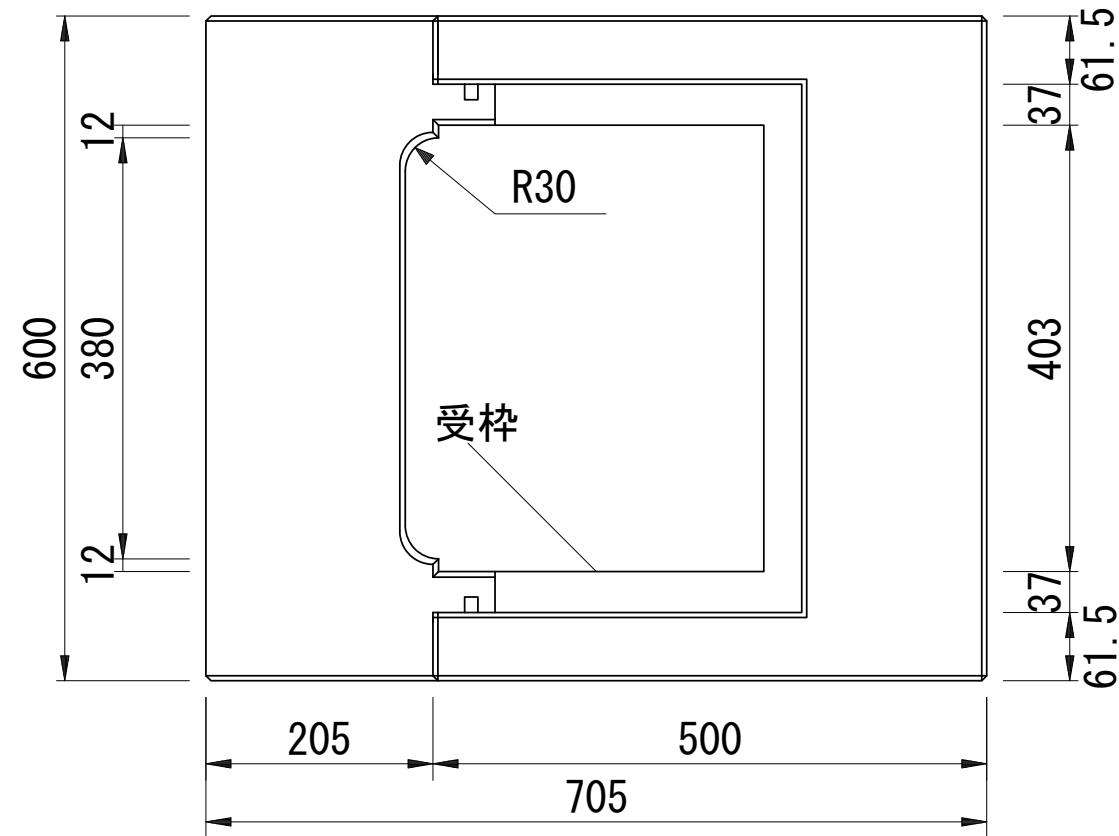
材質:SS400(溶融亜鉛メッキ)

特
記
事
項

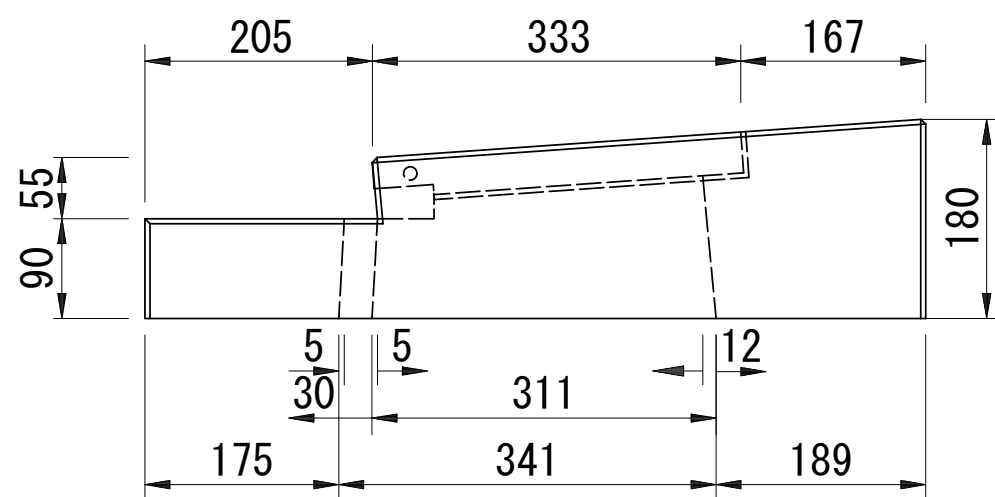
1. 雨水枴蓋を設置する場合は、縁石は境界ブロック(JIS A 5371)を使用する。
2. 性能規定型雨水枴蓋を設置する場合は、縁石は水抜縁石を使用する。

雨水枴用縁塊、受枠、構造図
(タイプ1-A)

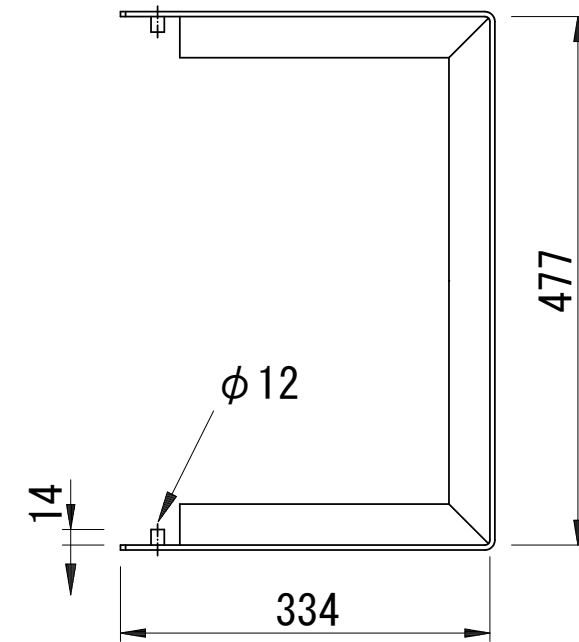
縁塊
平面図



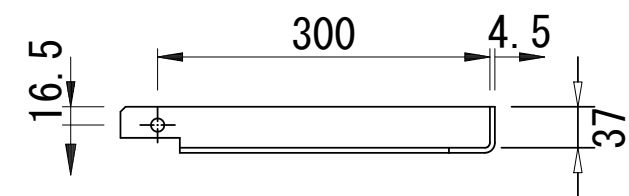
側面図



受枠
平面図



側面図



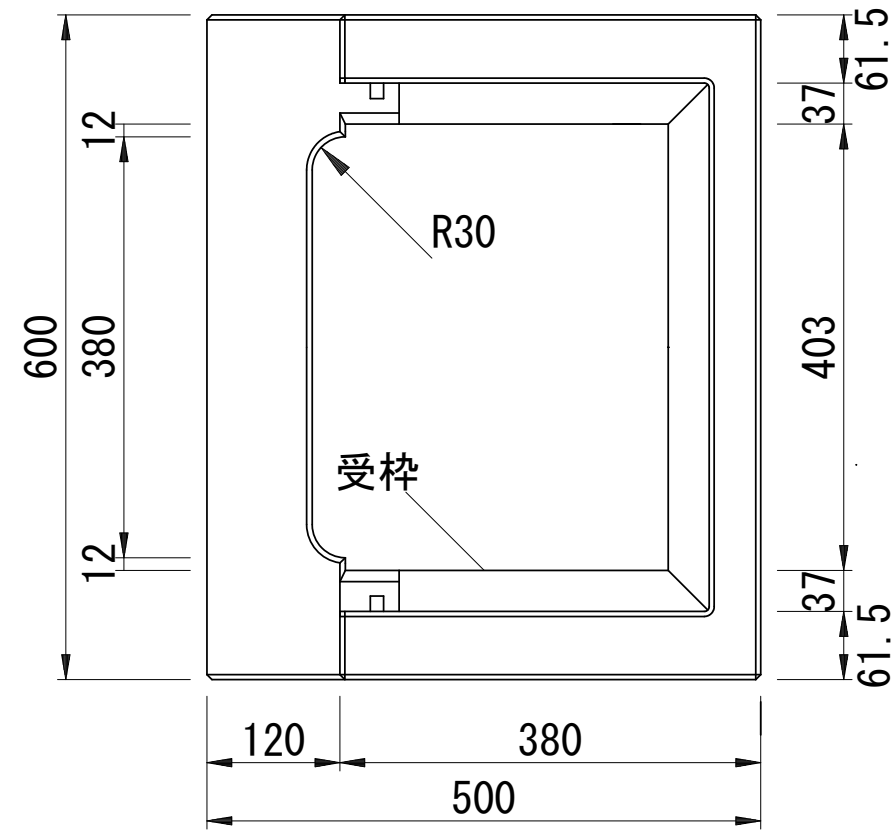
材質：SS400(溶融亜鉛メッキ)

特記事項

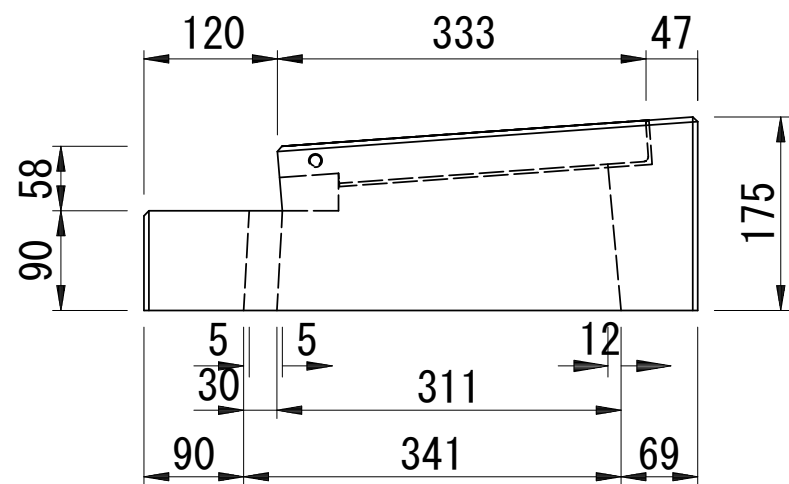
1. 雨水柵蓋を設置する場合は、縁石は境界ブロック(JIS A 5371)を使用する。
2. 性能規定型雨水柵蓋を設置する場合は、縁石は水抜縁石を使用する。

雨水柵用縁塊、受枠、構造図
(タイプ1-B)

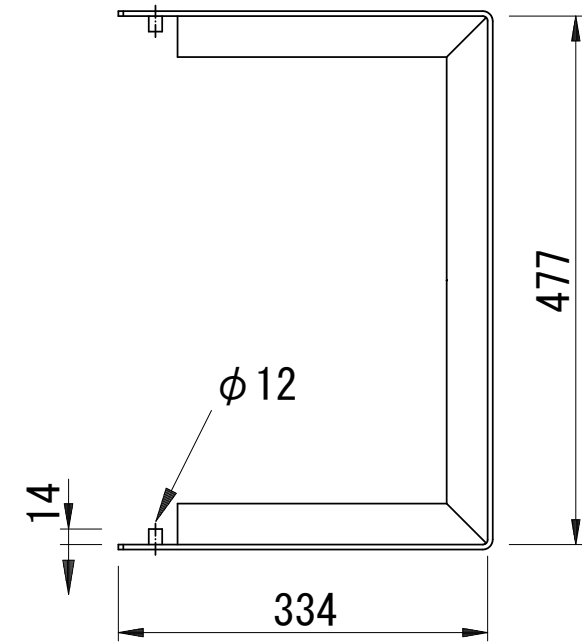
縁塊
平面図



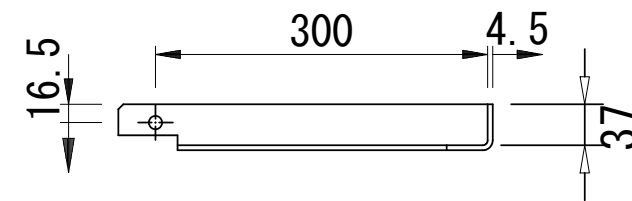
側面図



受枠
平面図



側面図



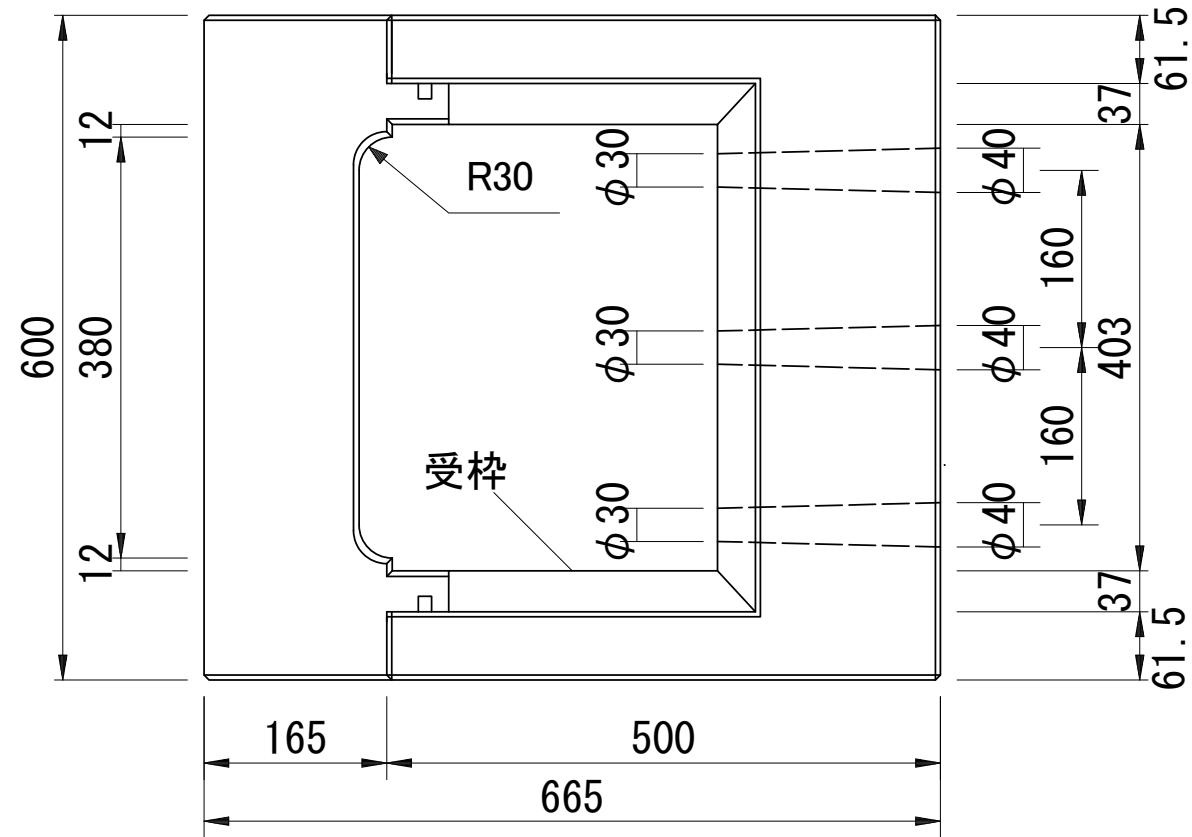
材質:SS400(溶融亜鉛メッキ)

特記事項

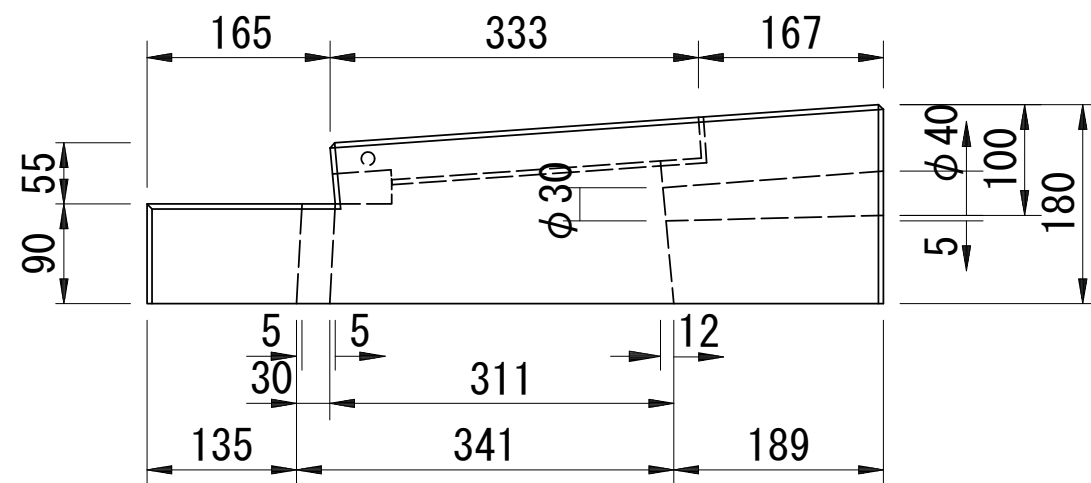
1. 雨水枴蓋を設置する場合は、縁石は境界ブロック(JIS A 5371)を使用する。
2. 性能規定型雨水枴蓋を設置する場合は、縁石は水抜縁石を使用する。

雨水枴用縁塊、受枠、構造図
(タイプ2)

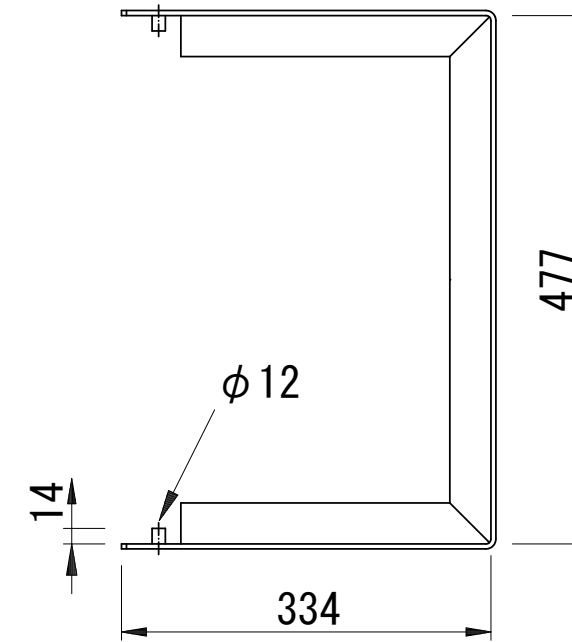
縁塊
平面図



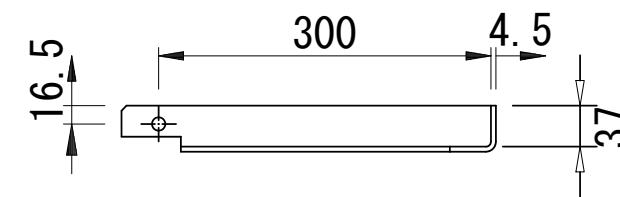
側面図



受枠
平面図



側面図



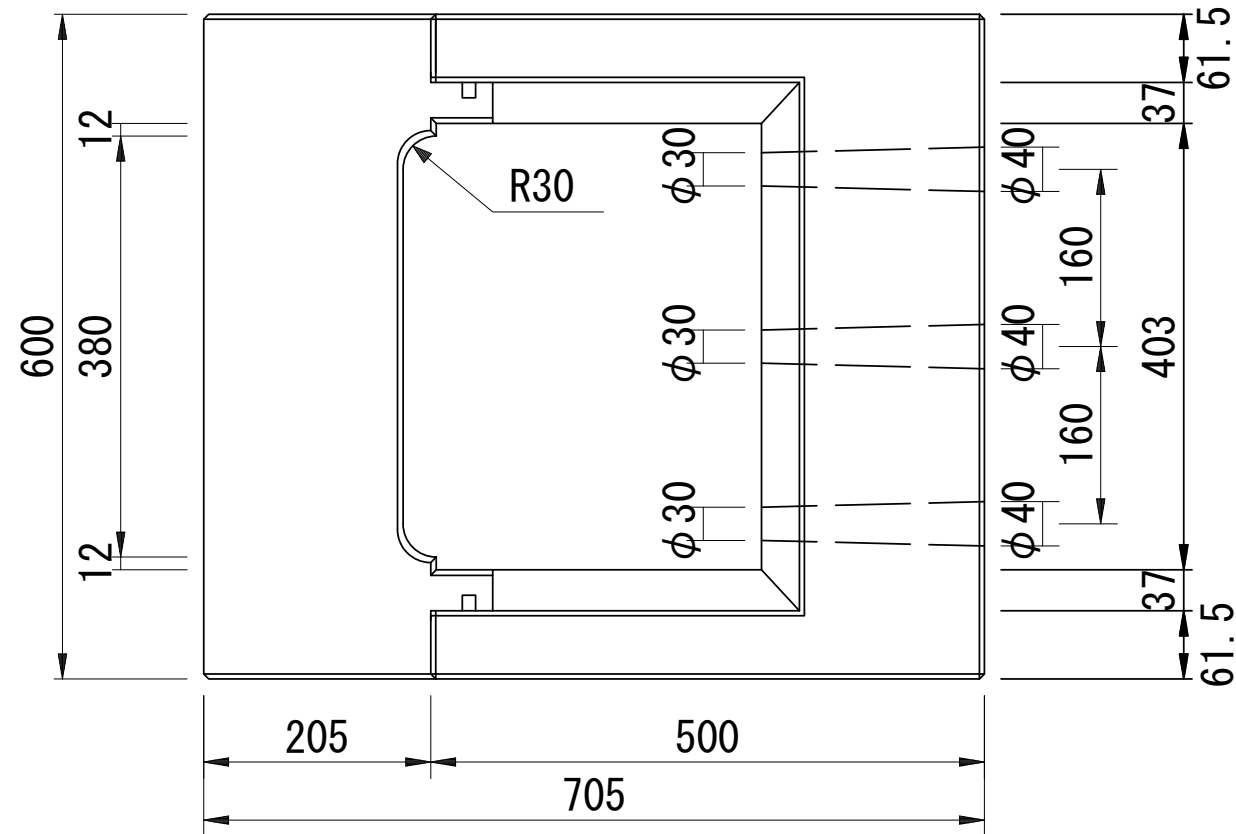
材質:SS400(溶融亜鉛メッキ)

特記事項

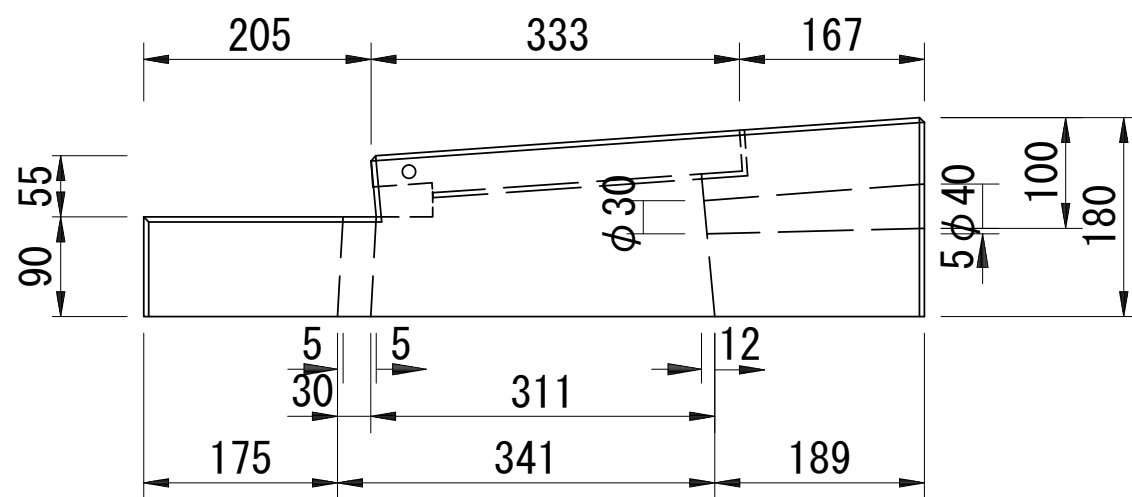
1. 雨水柵蓋を設置する場合は、縁石は境界ブロック(JIS A 5371)を使用する。
2. 性能規定型雨水柵蓋を設置する場合は、縁石は水抜縁石を使用する。

雨水柵用(排水性舗装)
縁塊、受枠、構造図
(タイプ1-A)

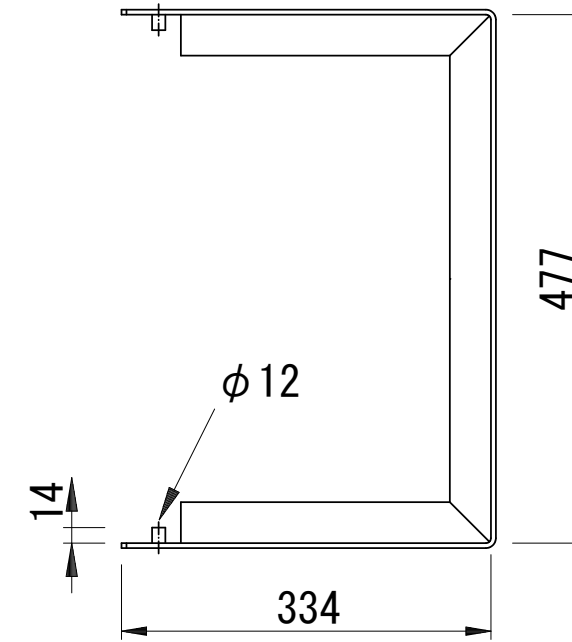
縁塊
平面図



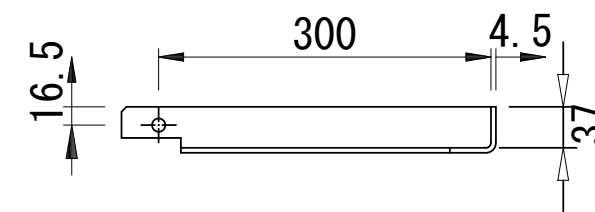
側面図



受枠
平面図



側面図

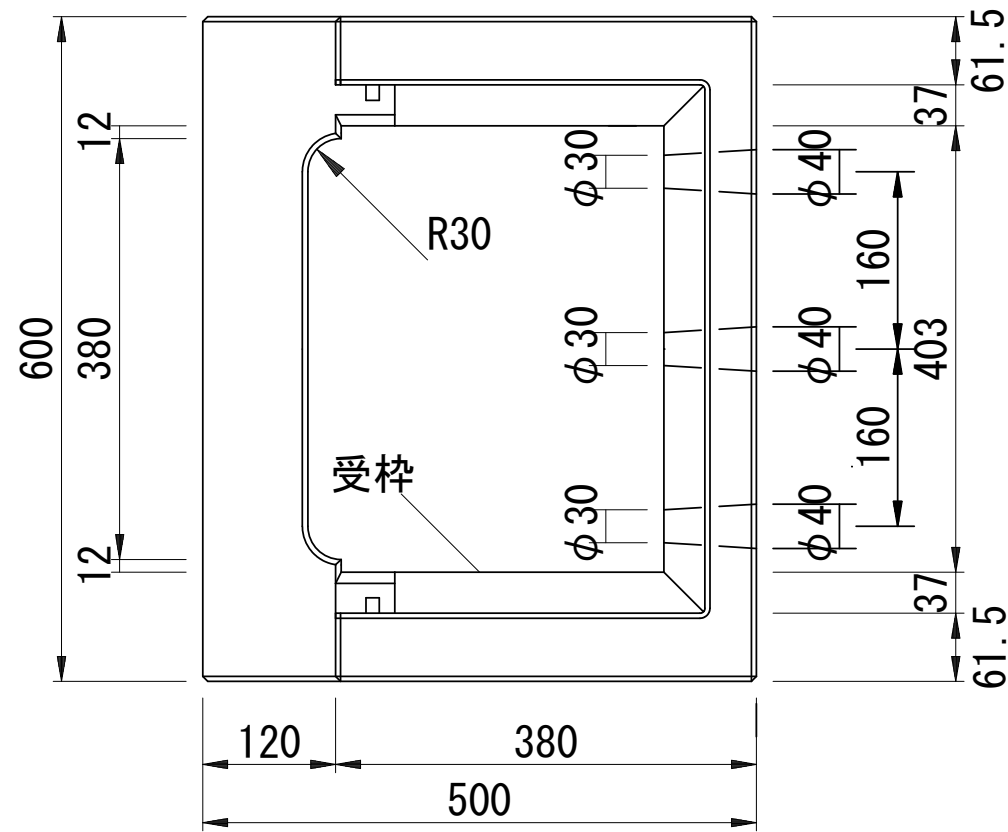


材質:SS400(溶融亜鉛メッキ)

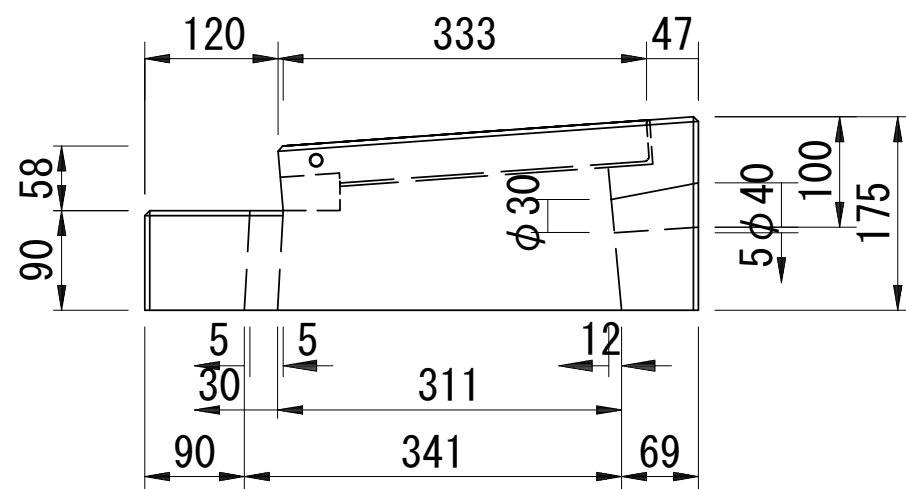
- 特記事項
1. 雨水柵蓋を設置する場合は、縁石は境界ブロック(JIS A 5371)を使用する。
 2. 性能規定型雨水柵蓋を設置する場合は、縁石は水抜縁石を使用する。

雨水柵用(排水性舗装)
縁塊、受枠、構造図
(タイプ1-B)

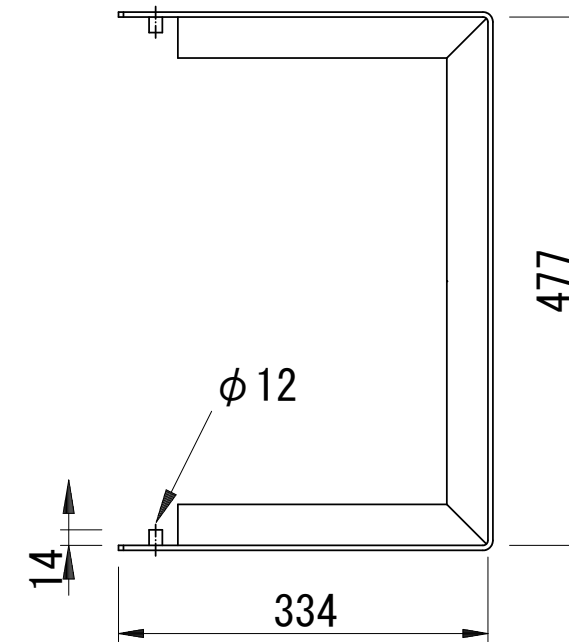
縁塊
平面図



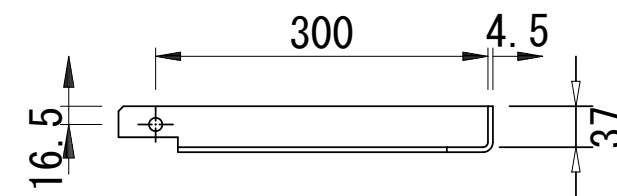
側面図



受枠
平面図



側面図

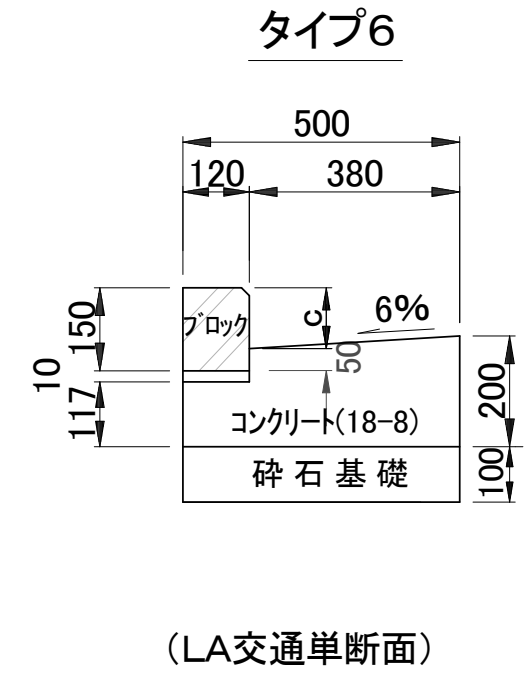
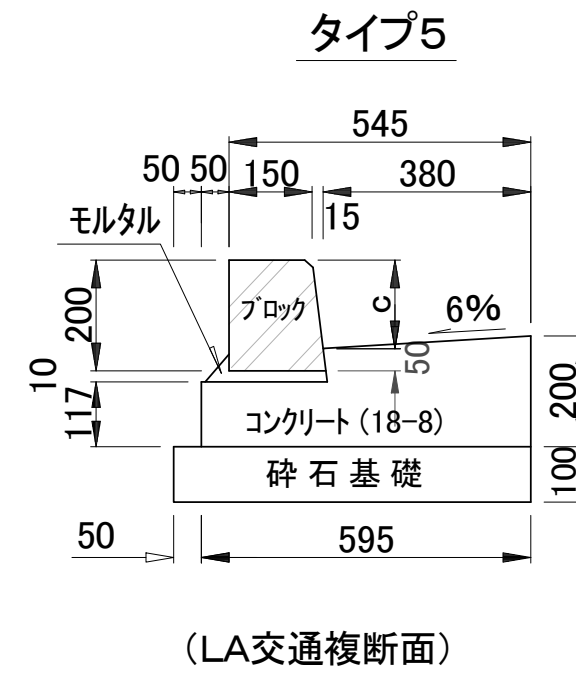
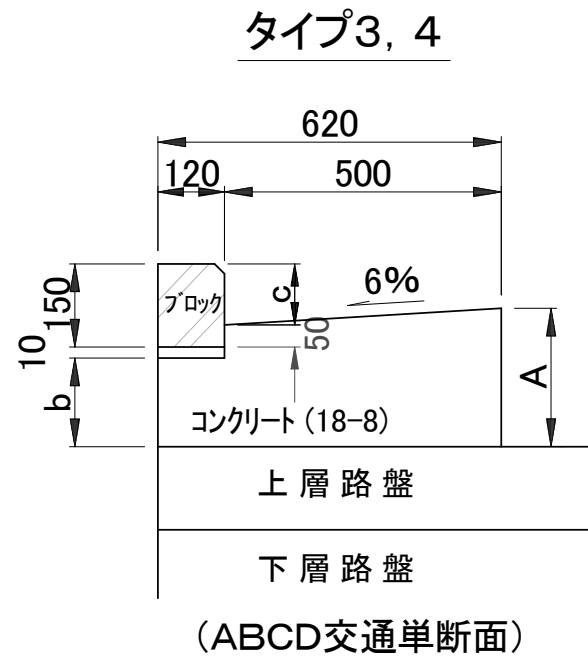
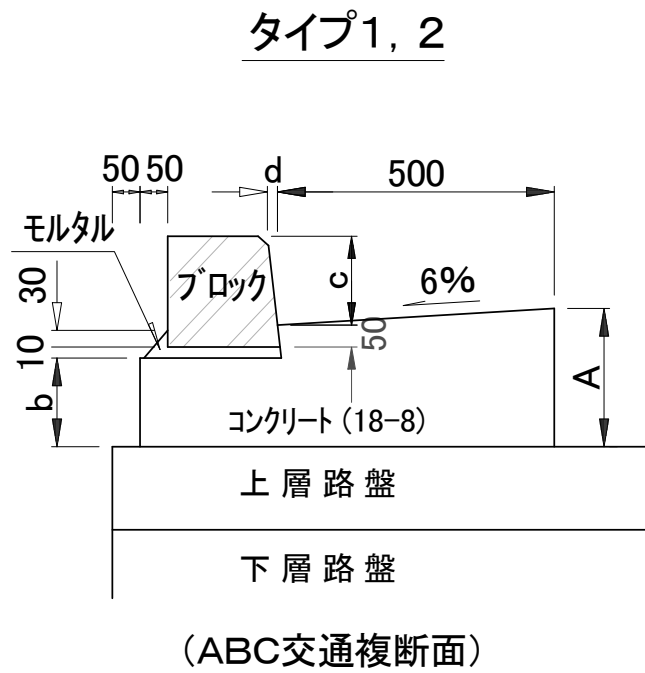


材質: SS400 (溶融亜鉛メッキ)

特記事項

1. 雨水枡蓋を設置する場合は、縁石は境界ブロック(JIS A 5371)を使用する。
2. 性能規定型雨水枡蓋を設置する場合は、縁石は水抜縁石を使用する。

雨水枡用(排水性舗装)
縁塊、受枠、構造図
(タイプ2)



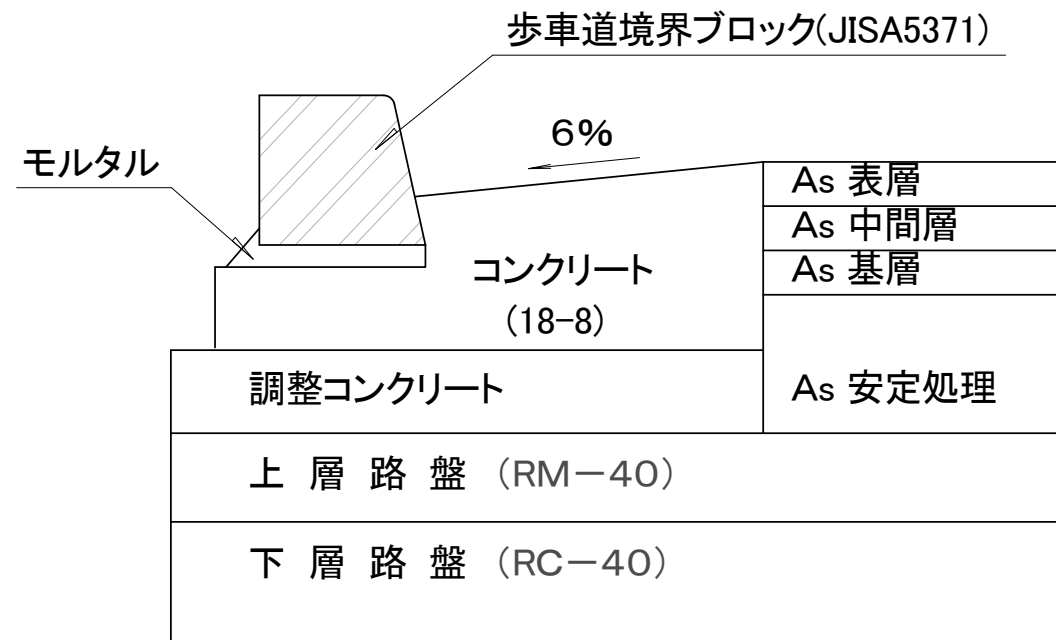
種別	寸法 (mm)				コンクリートブロック(JISA5371)		10m当り材料				
	A	b	c	d	形状	寸法 (mm)	コンクリート (18-8) (m³)	クラッシュラン (RC-40) (m³)	型枠 小型構造物 (m²)	モルタル (m³)	伸縮目地材 (m²)
タイプ1	200	110	150	15	歩車道Aブロック	150×170×200×600	1.158	---	3.100	0.030	0.046
タイプ2	250	160	150	15	歩車道Aブロック	150×170×200×600	1.517	---	4.100	0.030	0.058
タイプ3	200	110	100	--	地先 Bブロック	120×120×150×600	1.056	---	3.100	0.013	0.046
タイプ4	250	160	100	--	地先 Bブロック	120×120×150×600	1.366	---	4.100	0.013	0.059
タイプ5	200	117	150	--	歩車道Aブロック	150×170×200×600	0.965	0.645	3.170	0.030	0.035
タイプ6	200	117	100	--	地先 Bブロック	120×120×150×600	0.856	0.500	3.170	0.013	0.036

- 特記事項**
- タイプ5, 6に関しては現場状況によってはL型側溝の下に道路路盤工を必要としない場合、切込碎石を20cm見込むものとする。
 - 上記のコンクリート厚はアスファルト舗装の場合である。
 - ブロックの目地は5mmを標準とする。
 - 施工目地間隔は20mを標準とし、雨水柵間に設置する。(伸縮目地材は「樹脂発泡体(15倍発泡)」を標準仕様とする)
 - 歩道巻き込み部の段差切下げの場合、又は車道の幅員構成上エプロンを車道に含めて使用する必要がある場合は、2%とすることができる。

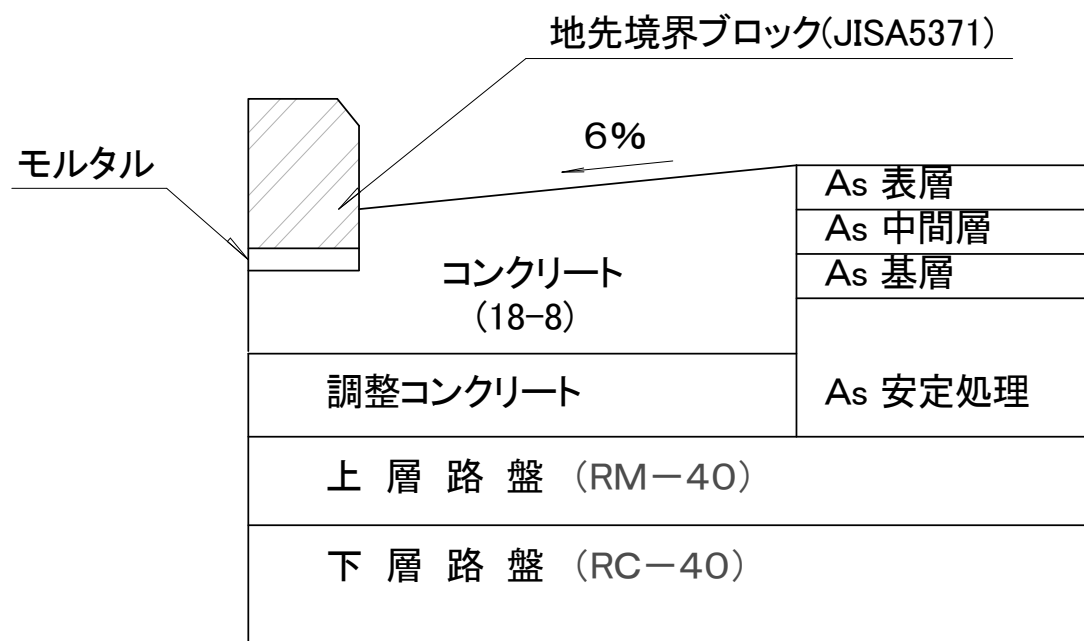
L型側溝布設図

(1) L型側溝が安定処理にくいこむ場合

〔複断面〕

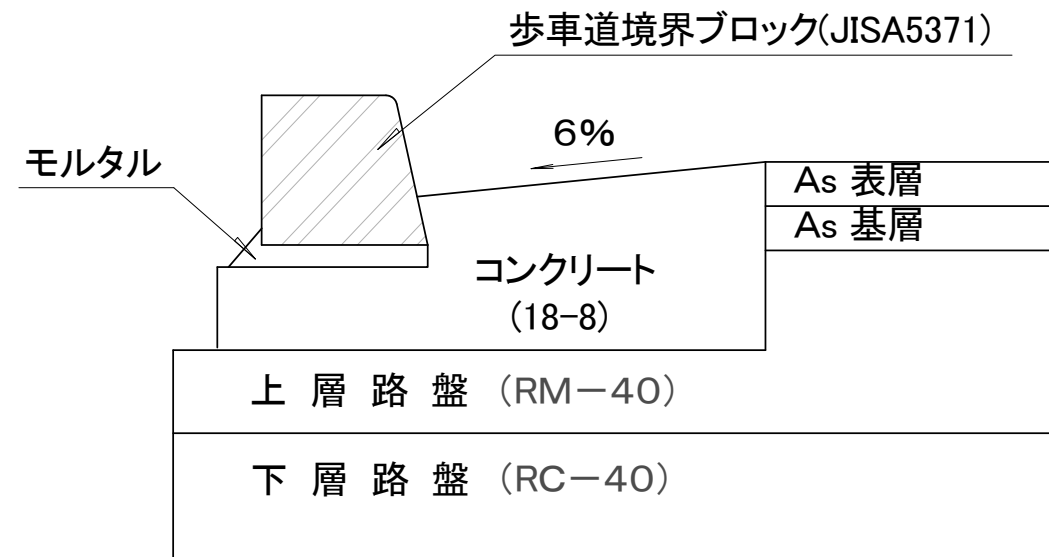


〔単断面〕

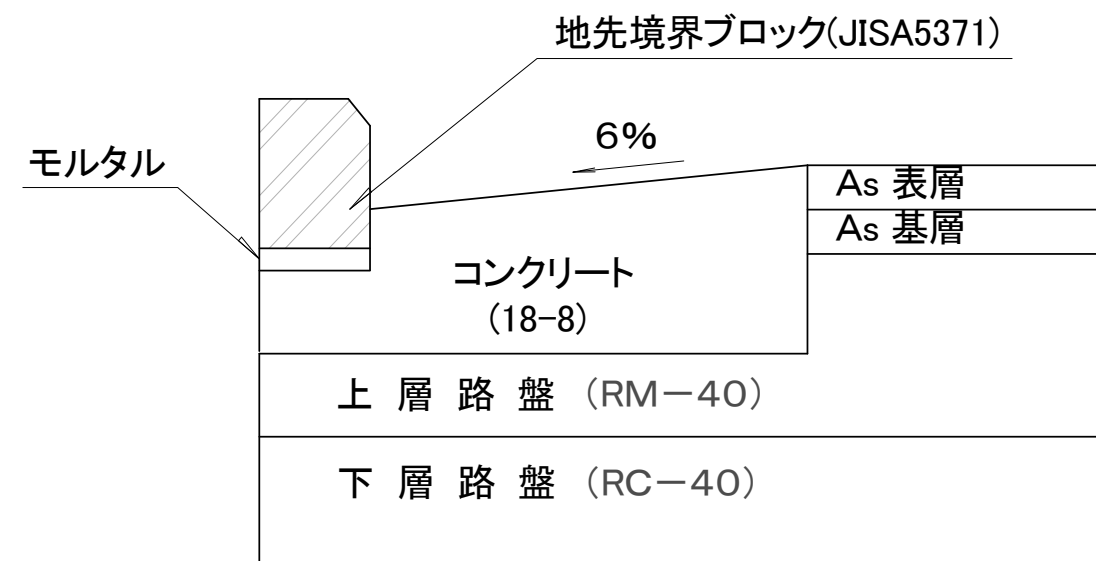


(2) L型側溝が上層路盤にくいこむ場合

〔複断面〕

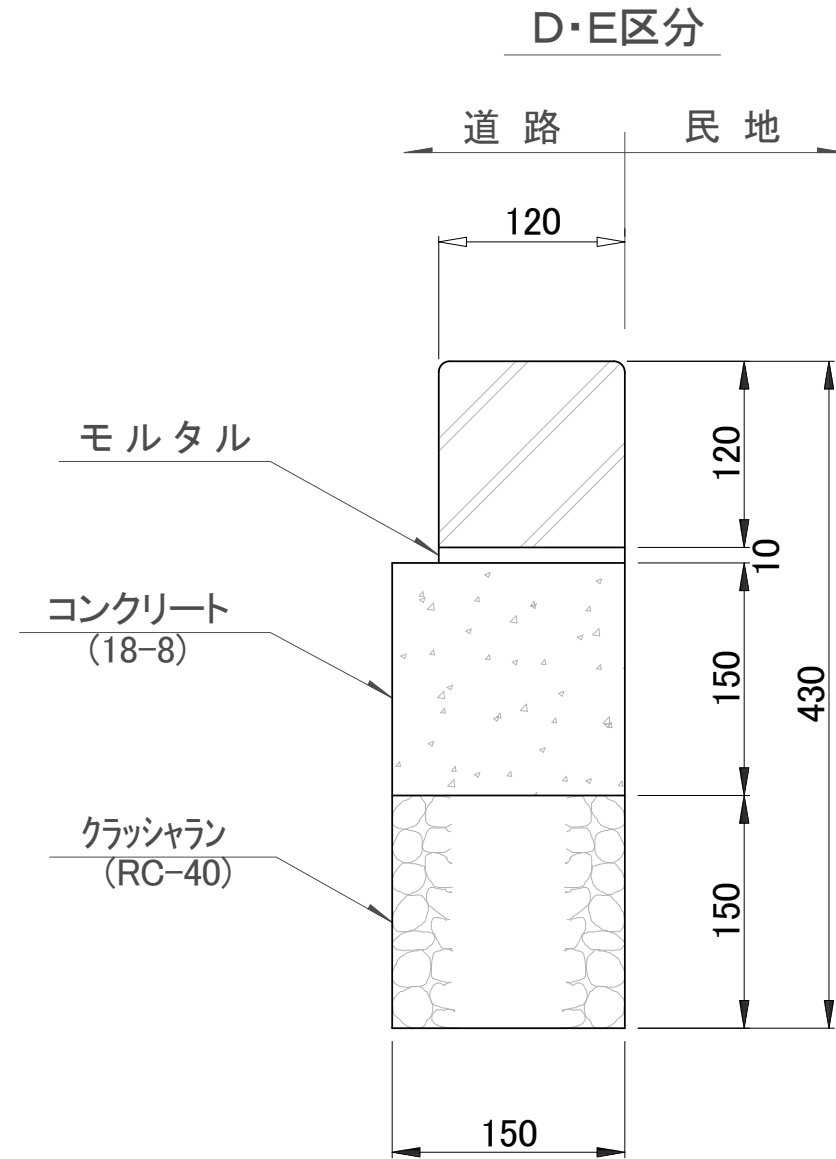
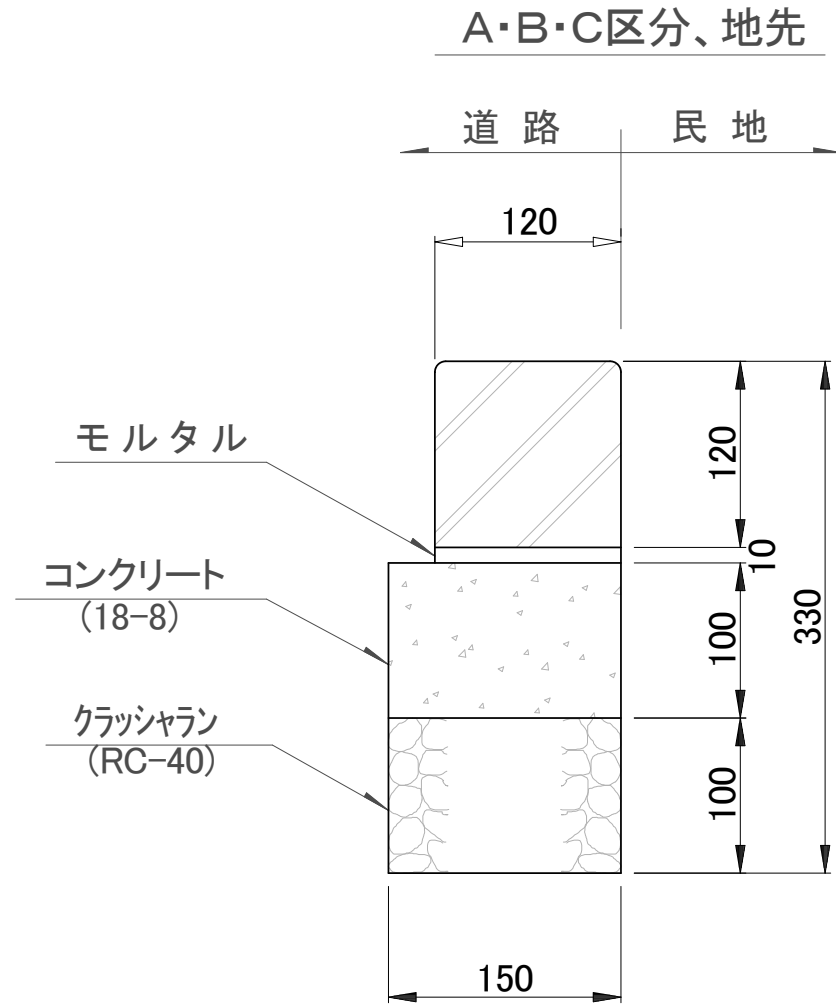


〔単断面〕



特記事項

L型側溝と上層路盤との調整方法



車両出入り部基準

区 分		車 種
記号	総重量区分	
A	2t未満	軽, 小型, 普通自動車
B	2t未満	軽, 小型, 普通自動車
C	2t以上4.5t未満	2t積トラック, 特殊車
D	4.5t以上8t未満	4t積トラック, 特殊車, 小型バス
E	8t以上20t迄	8t, 10t積トラック, 特殊車, 大型バス

数量表

(10m当り)

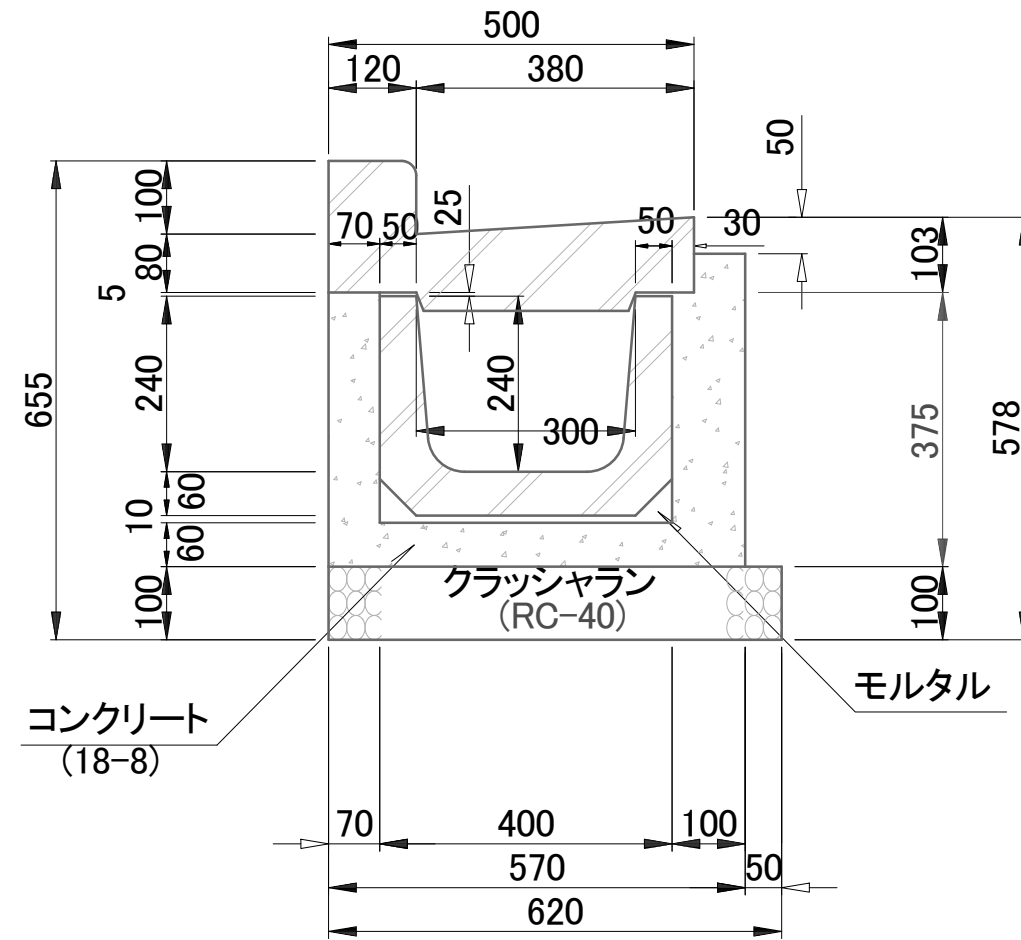
呼 び 名	コンクリートブロック (個)	コンクリート (m ³)	モルタル (m ³)		クラッシュラン (m ³)	型 枠 (m ²)
	120×120×600	(18-8)	敷均用	目地用	RC-40	均 し
A・B・C区分,地先	16.5	0.150	0.012	0.001	0.150	2.00
D・E区分	16.5	0.225	0.012	0.001	0.225	3.00

特
記
事
項

注) 区分Aは個人住宅用、区分Bは駐車場等に用いる。

地先境界ブロック構造図

タイプ1 (T-7用)



材 料 表

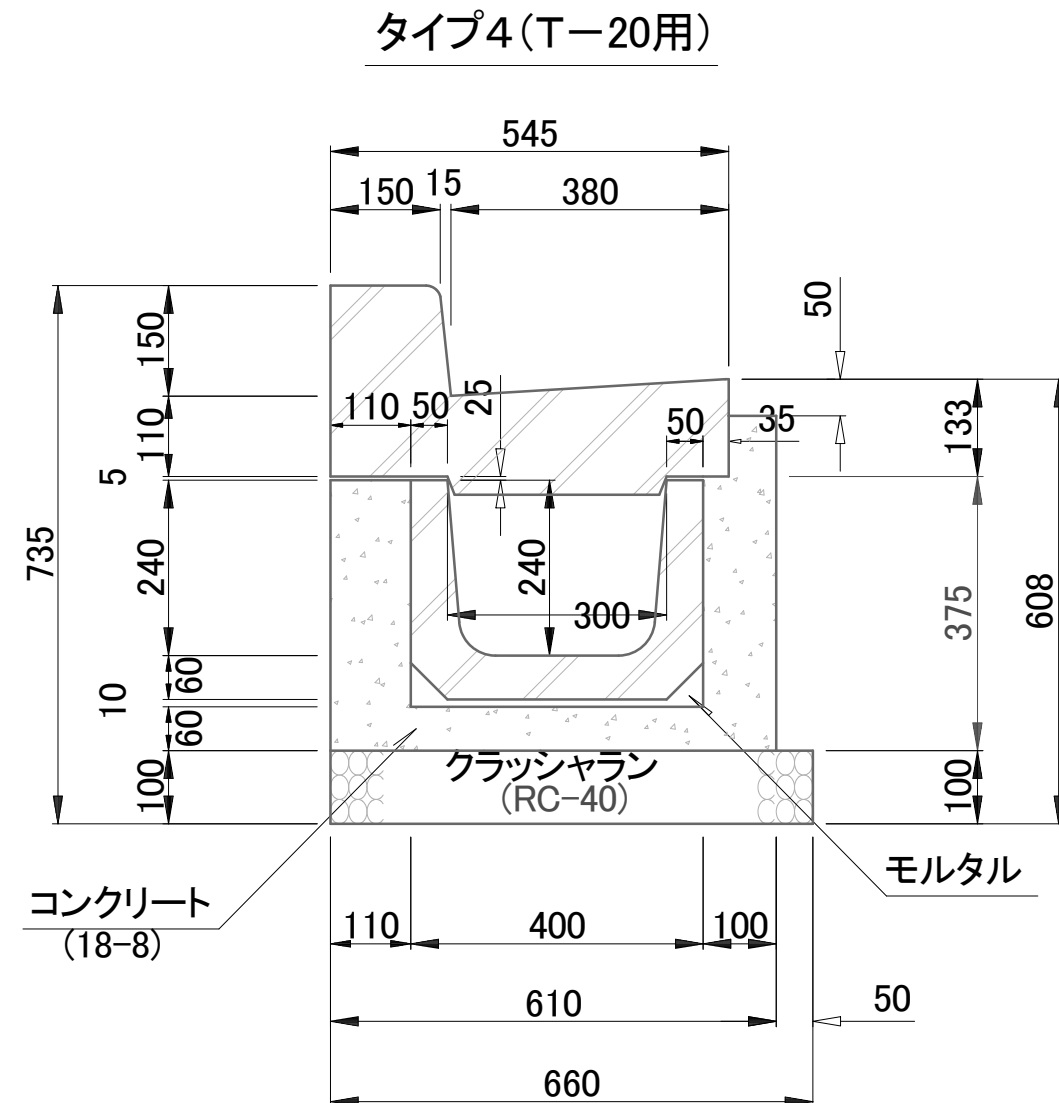
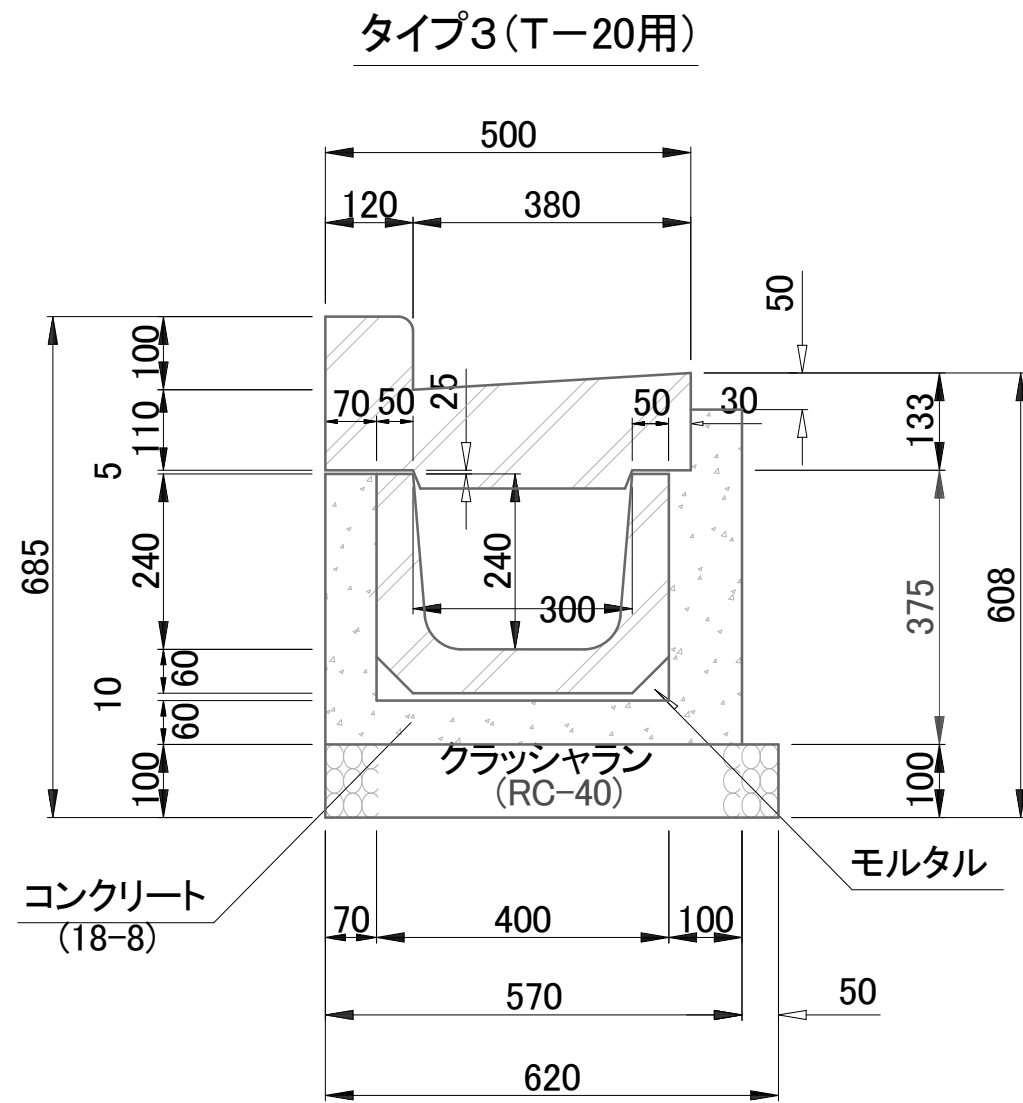
(10m当り)

種 別	L形ブロック (個)	U形ブロック (300A) (個)	モルタル (m ³)	目地モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ 1	16.5	16.5	0.065	0.009	0.915	0.620	8.560

特
記
事
項

・U形ブロック(300A)はJISA5372に準拠すること。

LU型側溝布設図(LU-240)(1)



材 料 表

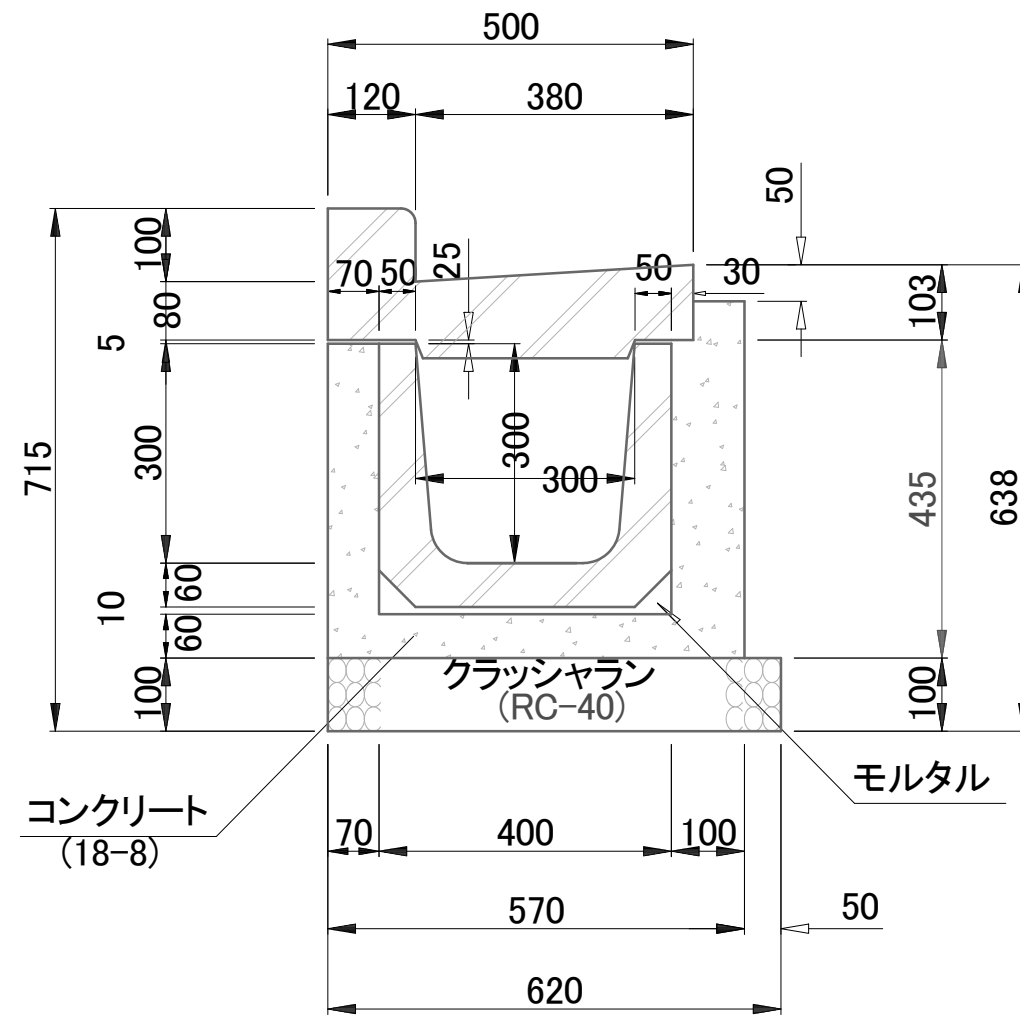
(10m当り)

種 別	L形ブロック (個)	U形ブロック (300A) (個)	モルタル (m ³)	目地モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ 3	16.5	16.5	0.065	0.009	0.936	0.620	9.160
タイプ 4	16.5	16.5	0.065	0.009	1.082	0.660	9.160

特記事項 ・U形ブロック(300A)はJISA5372に準拠すること。

LU型側溝布設図(LU-240)(2)

タイプ5(T-7用)



材 料 表

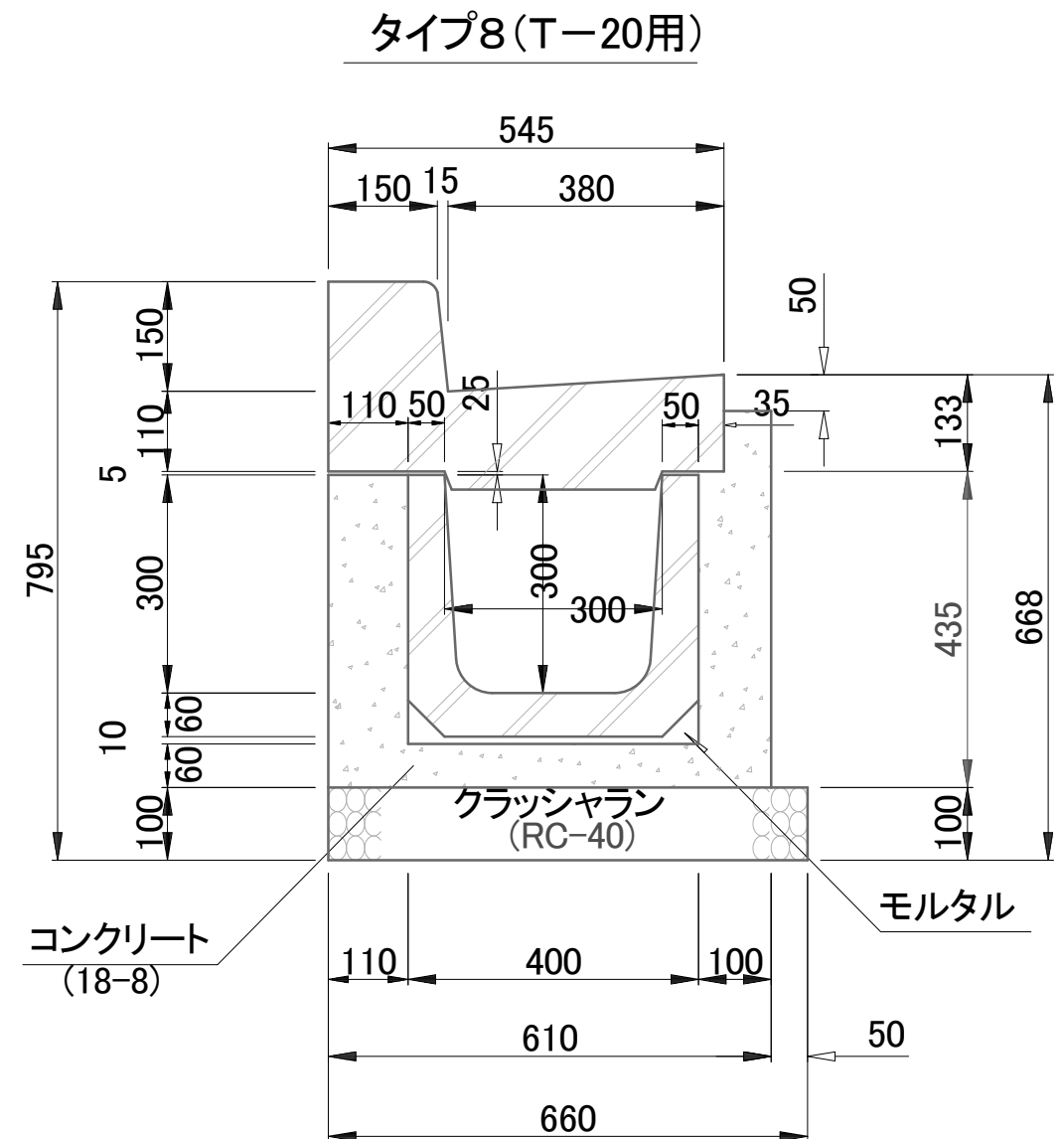
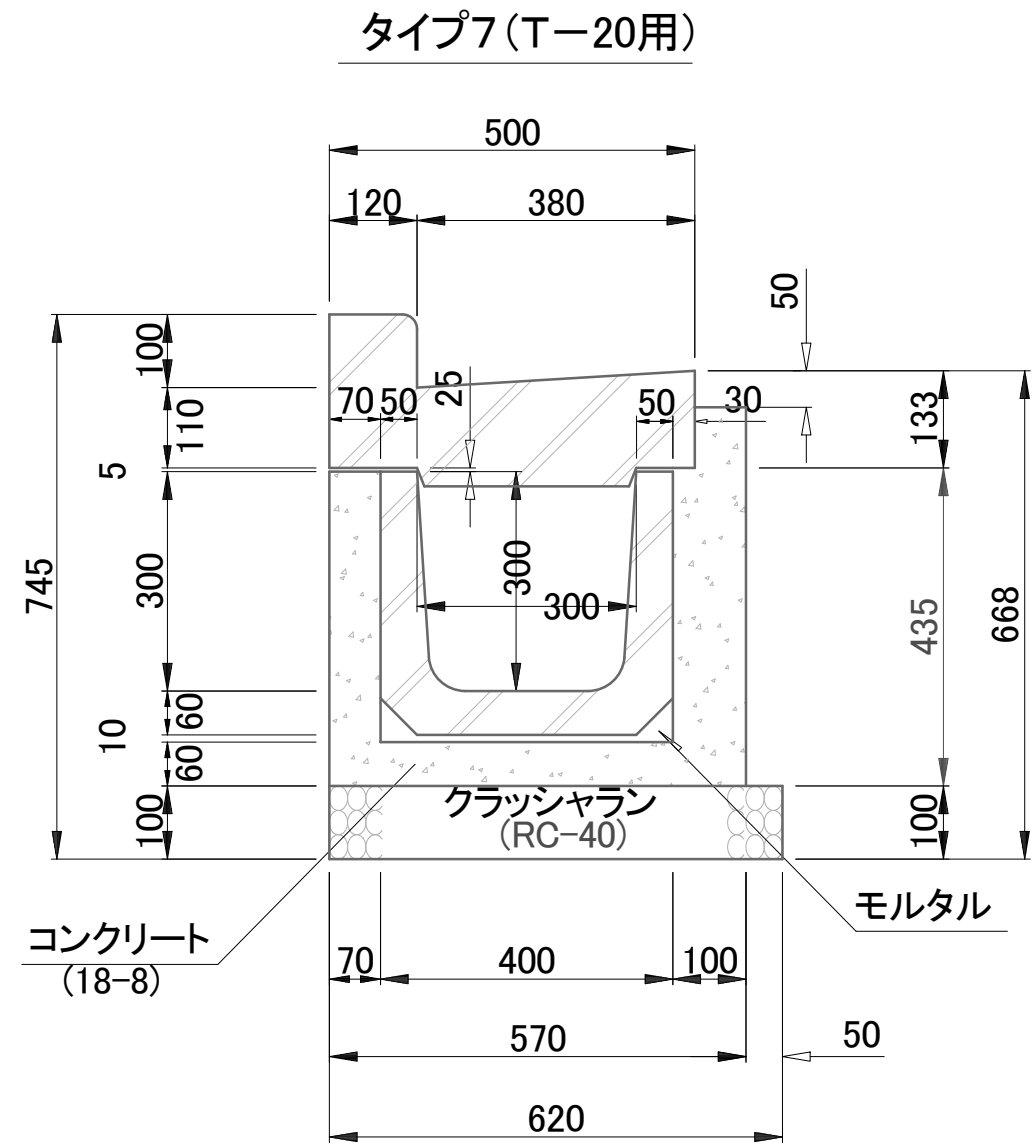
(10m当り)

種 別	L形ブロック (個)	U形ブロック (300B) (個)	モルタル (m ³)	目地モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ 5	16.5	16.5	0.065	0.010	1.017	0.620	9.760

特
記
事
項

・U形ブロック(300A)はJISA5372に準拠すること。

LU型側溝布設図(LU-300)(1)



材 料 表

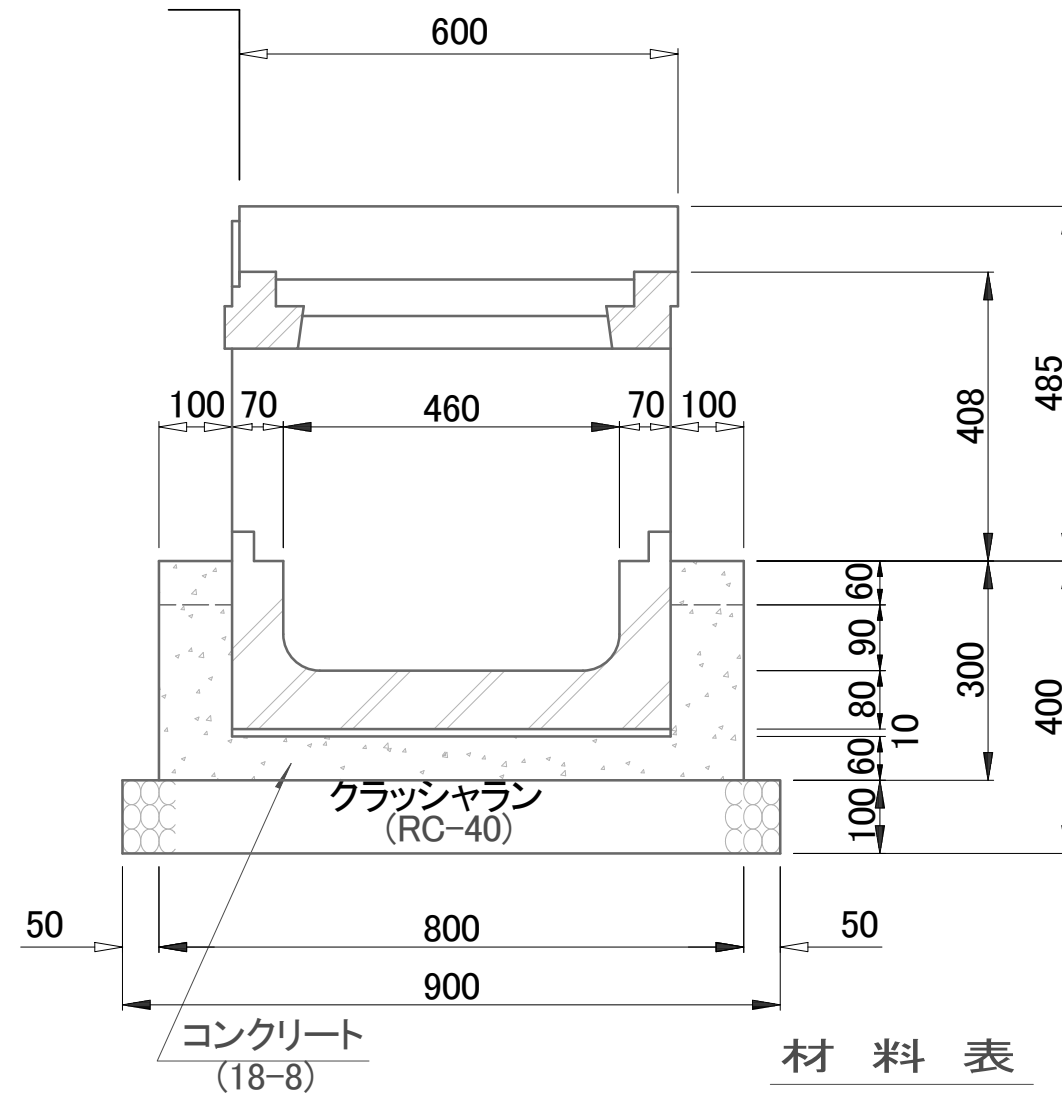
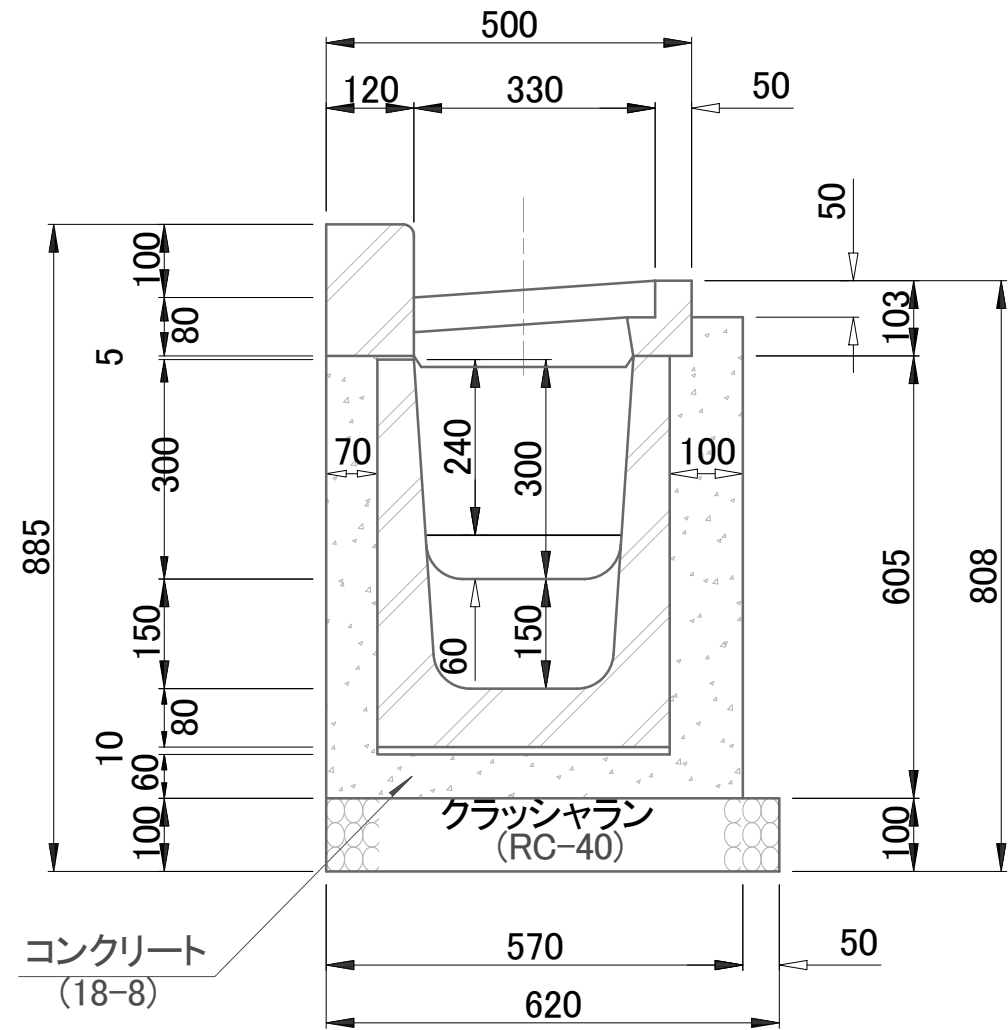
(10m当り)

種 別	L形ブロック (個)	U形ブロック (300B) (個)	モルタル (m ³)	目地モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ 7	16.5	16.5	0.065	0.010	1.038	0.620	10.360
タイプ 8	16.5	16.5	0.065	0.010	1.208	0.660	10.360

特記事項
・U形ブロック(300A)はJISA5372に準拠すること。

LU型側溝布設図(LU-300)(2)

側面図



材料表

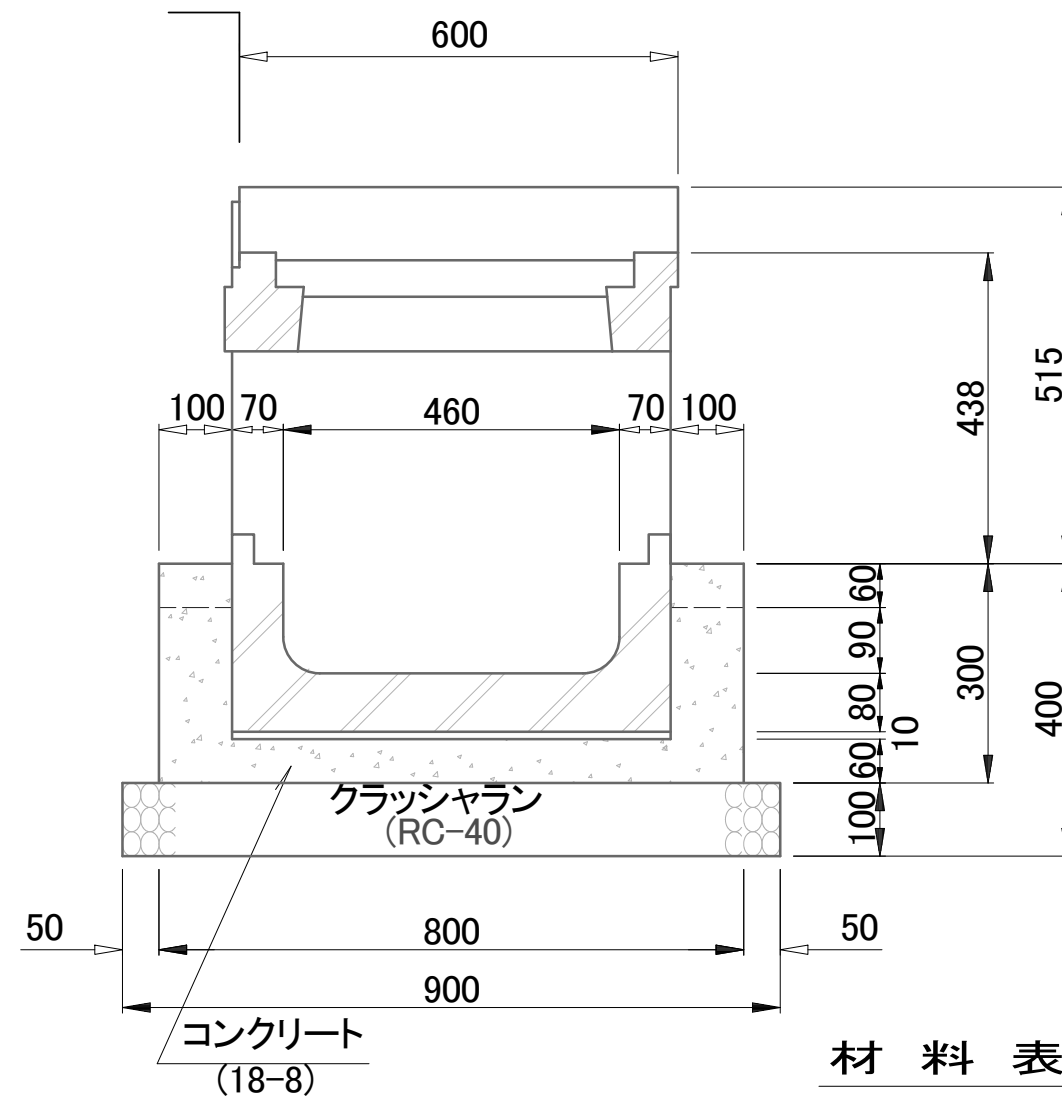
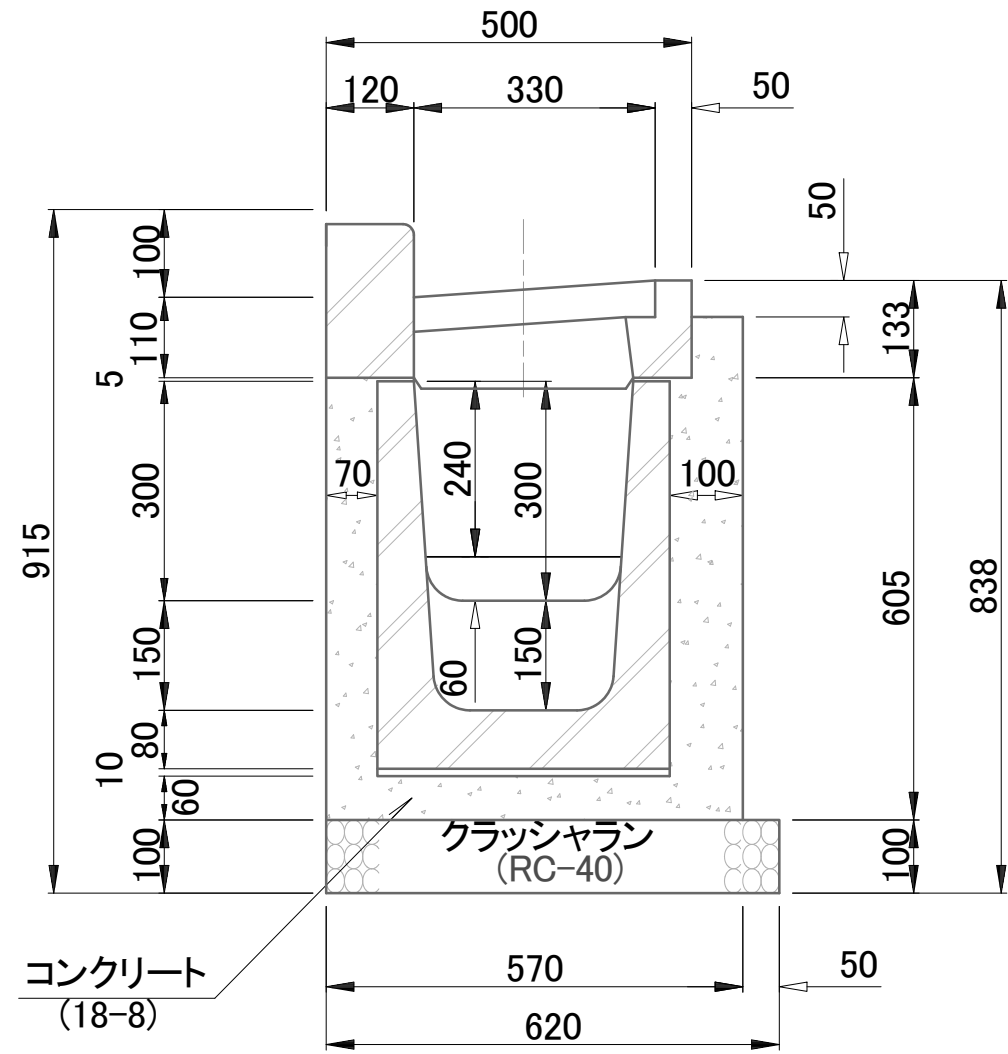
(1カ所当り)

種別	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ1	0.002	0.113	0.056	1.363
タイプ5	0.002	0.106	0.056	1.291

特記事項

LU型側溝用中間柵(1)
構造図(T-7)
(タイプ1, 5用)

側面図



材料表

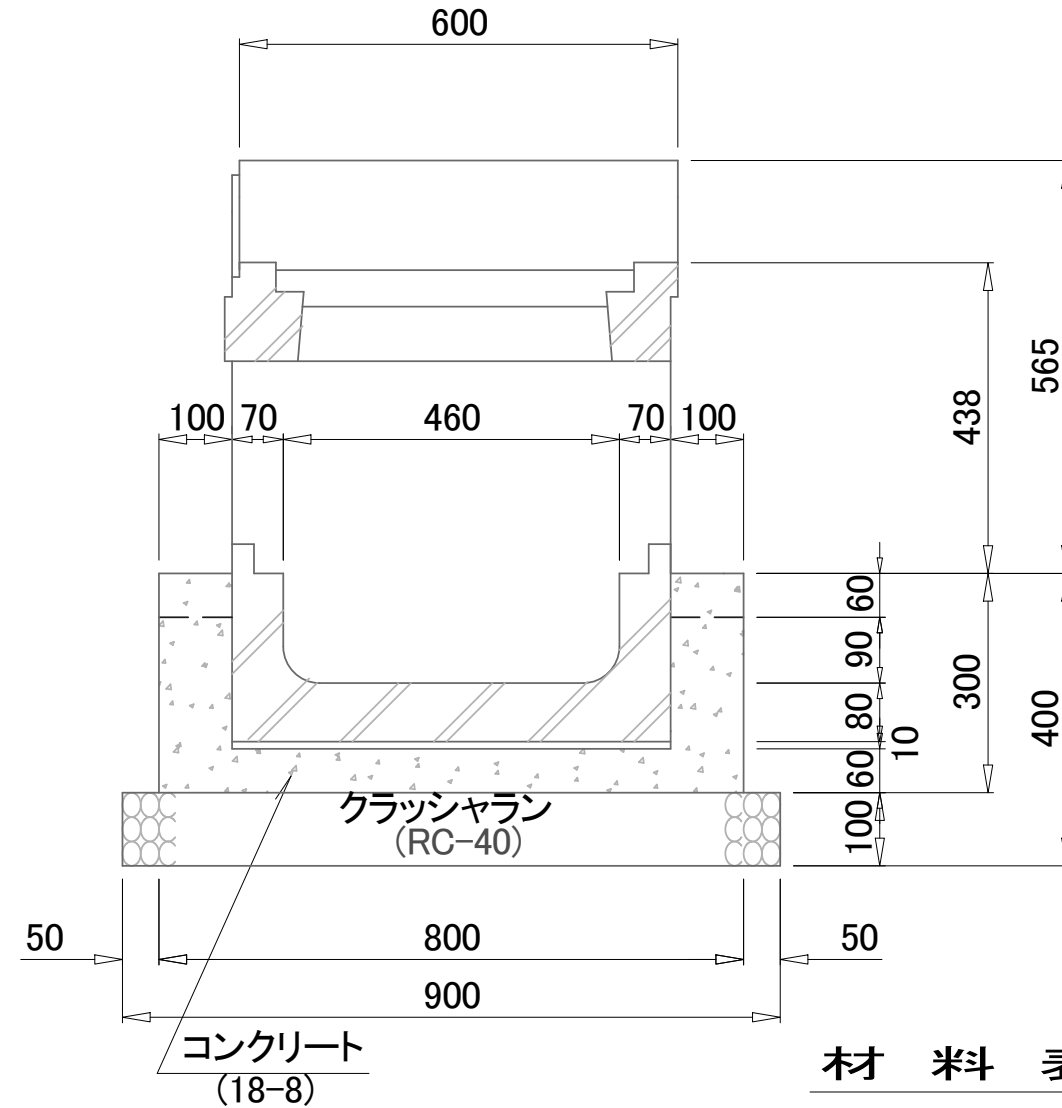
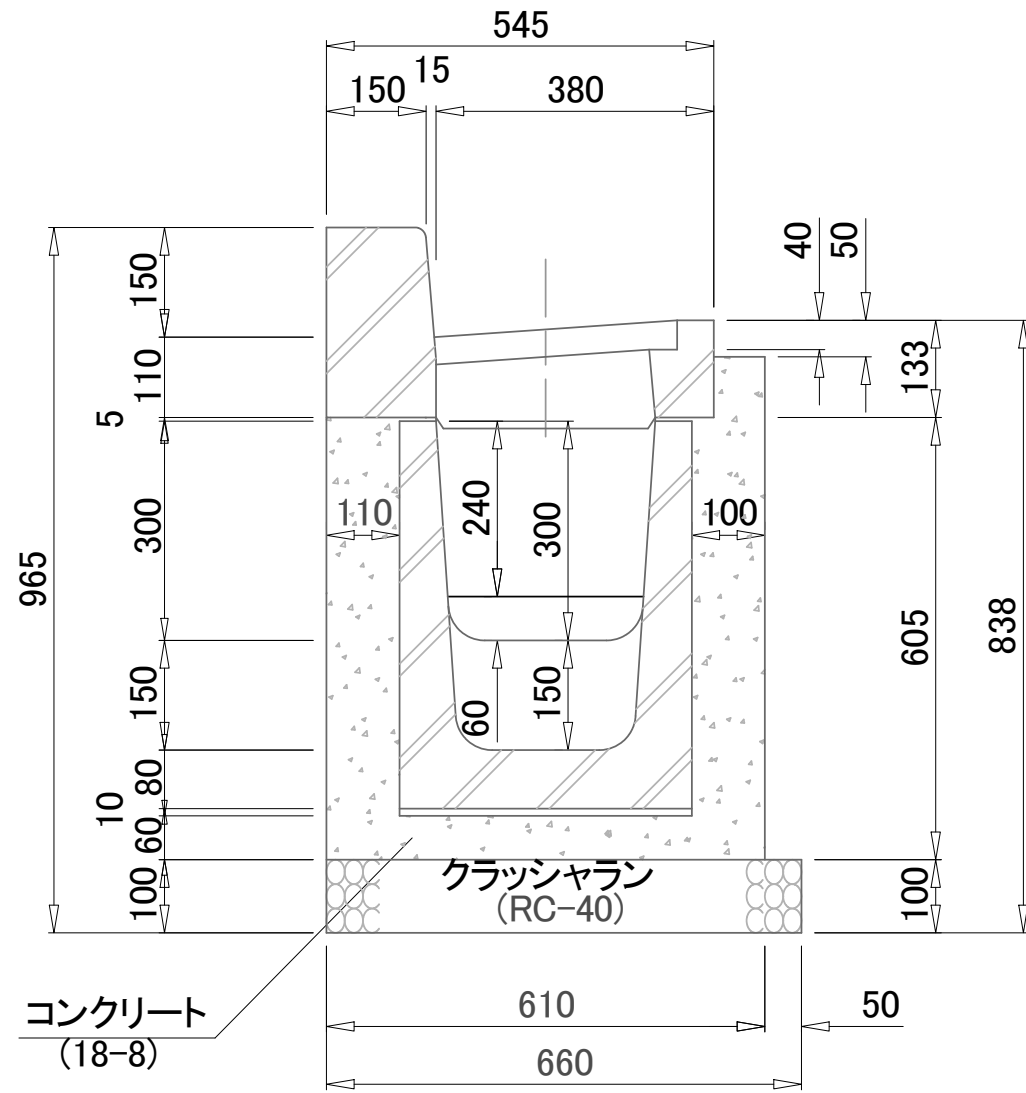
(1カ所当り)

種別	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ3	0.002	0.114	0.056	1.403
タイプ7	0.002	0.107	0.056	1.331

特記事項

LU型側溝用中間柵(2)
構造図(T-20用)
(タイプ3, 7用)

側面図



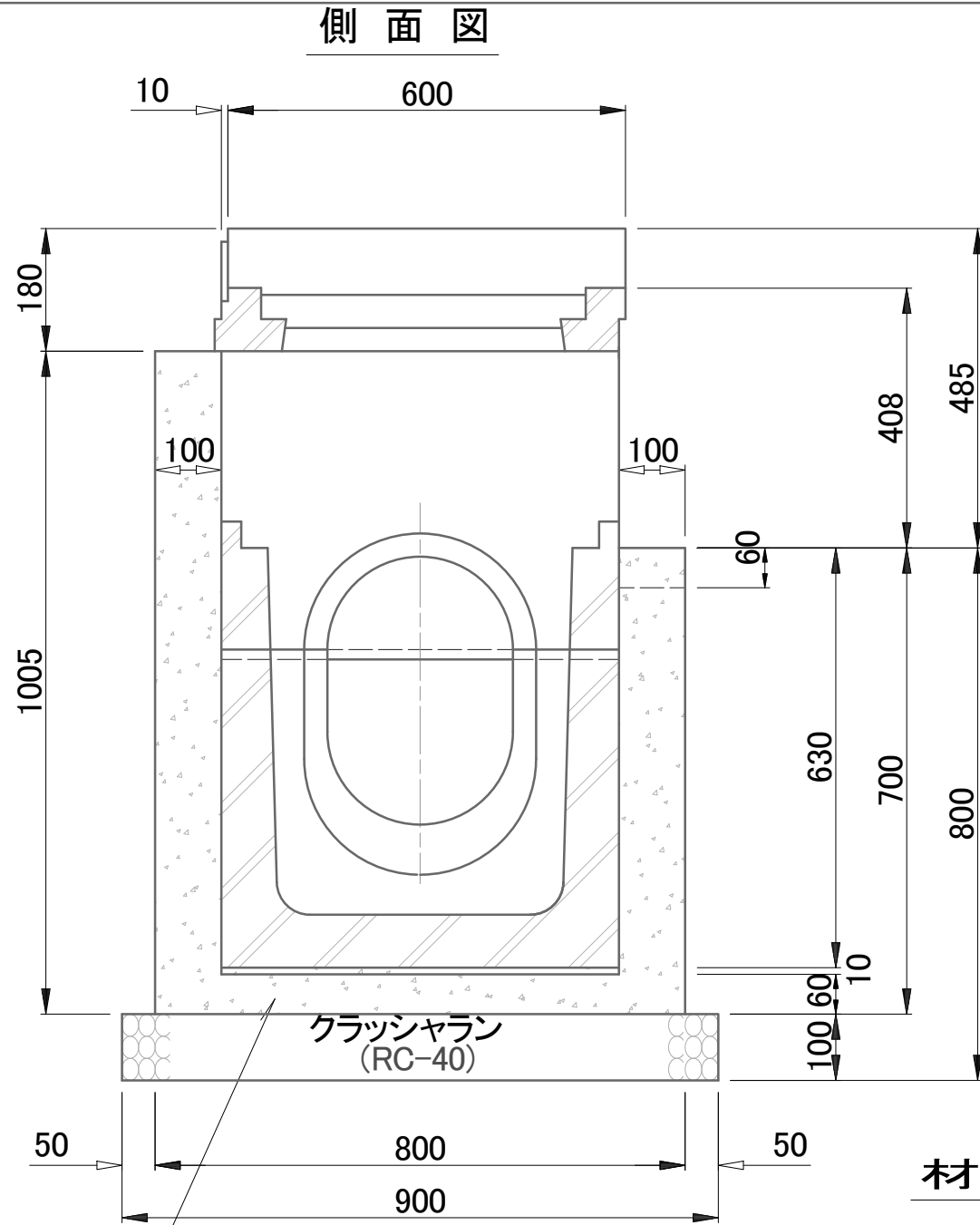
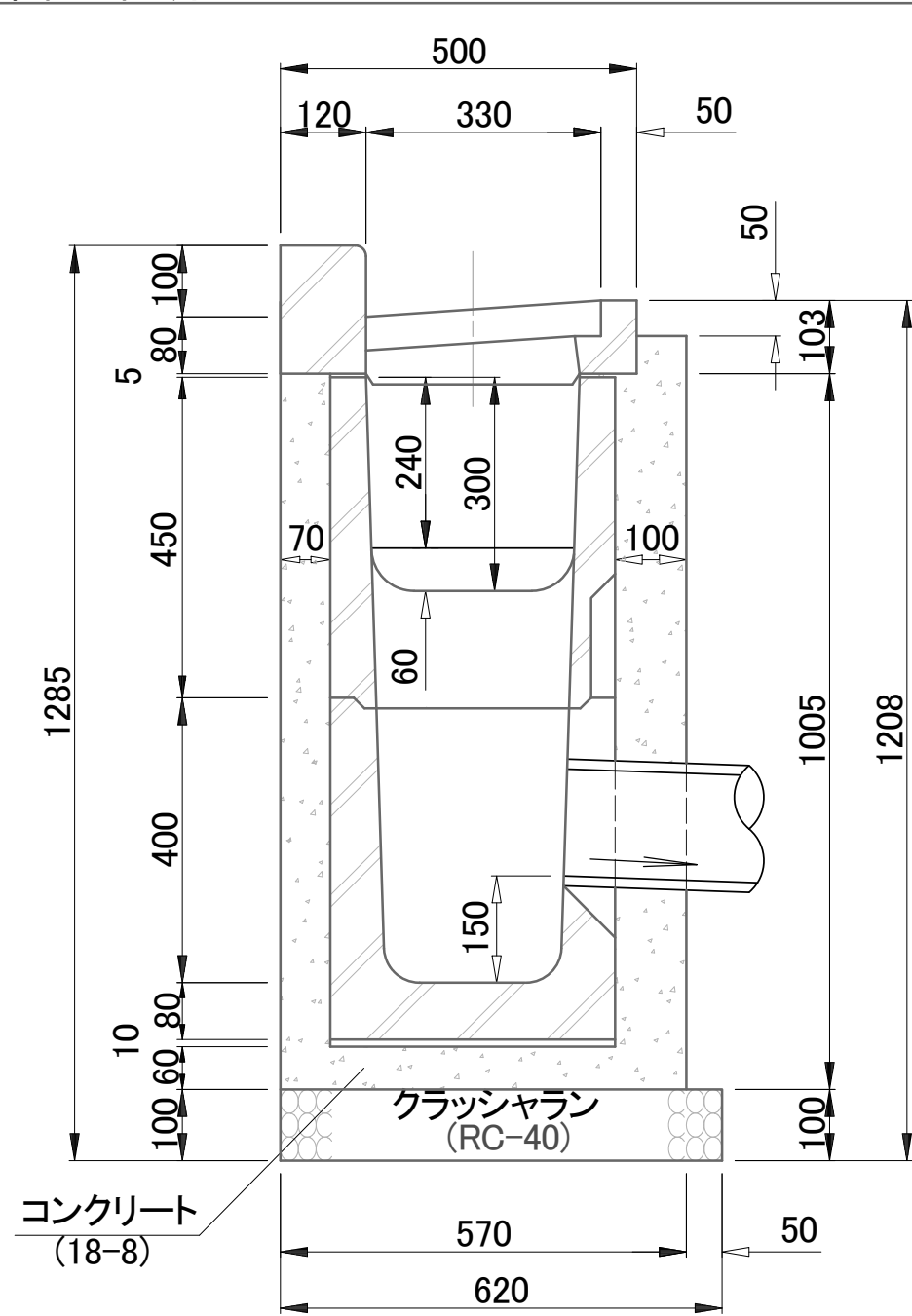
材料表

(1カ所当り)

種別	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ4	0.002	0.131	0.059	1.451
タイプ8	0.002	0.123	0.059	1.379

特記事項

LU型側溝用中間柵(3)
構造図(T-20用)
(タイプ4, 8用)



材 料 表

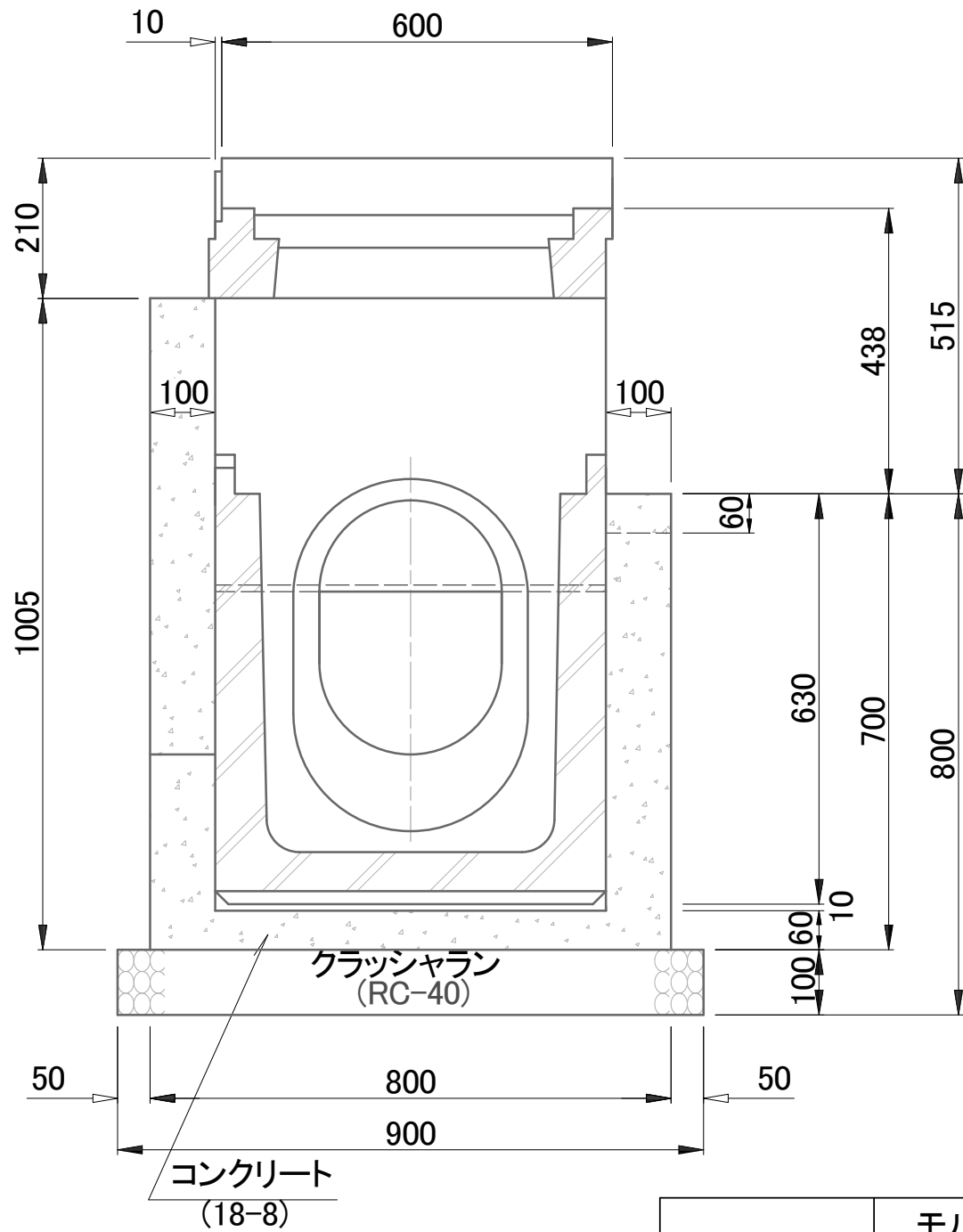
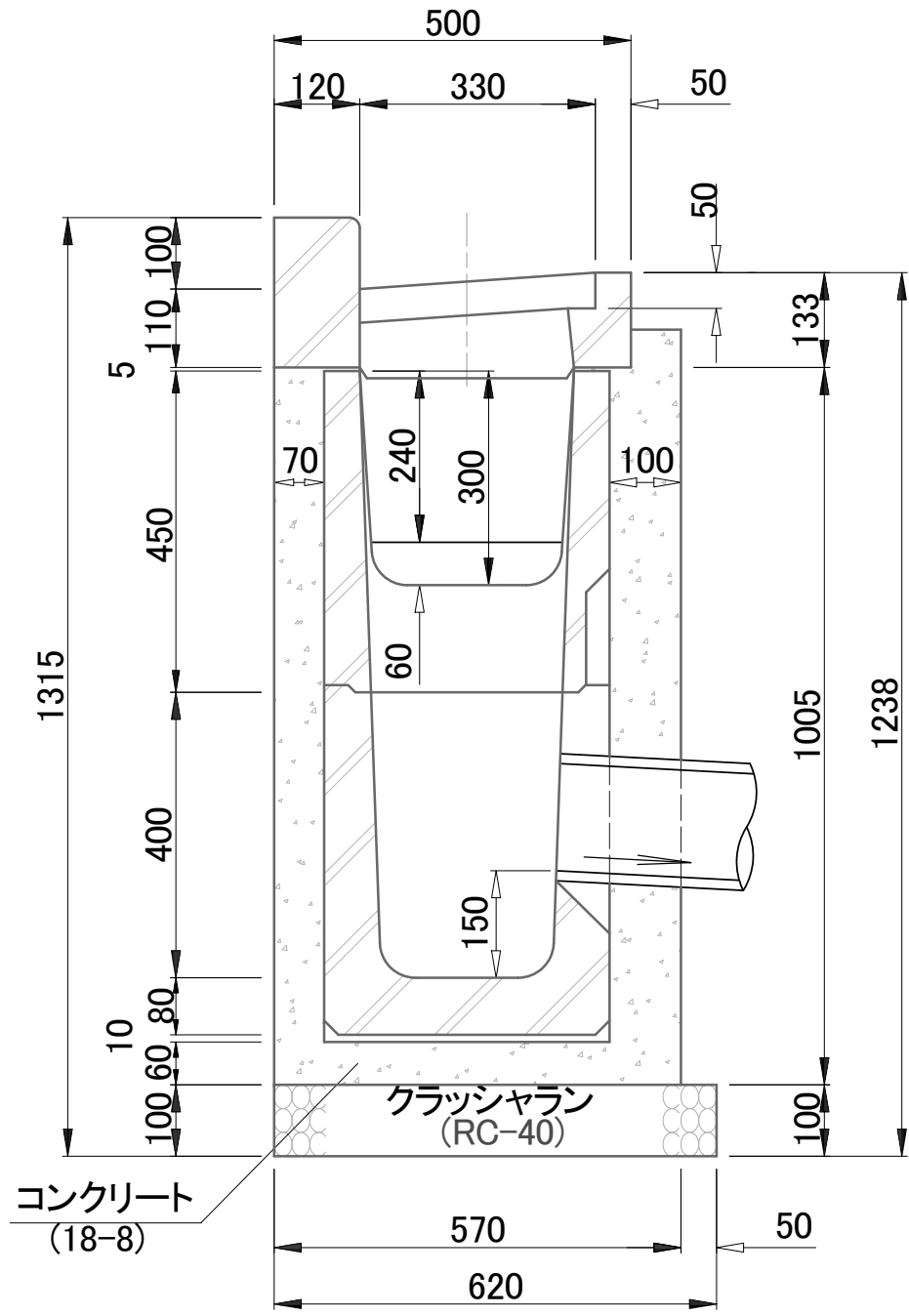
(1カ所当り)

種 別	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ1	0.002	0.213	0.056	2.651
タイプ5	0.002	0.209	0.056	2.629

特
記
事
項

LU型側溝用取付柵(1)
構造図(T-7用)
(タイプ1, 5用)

側面図



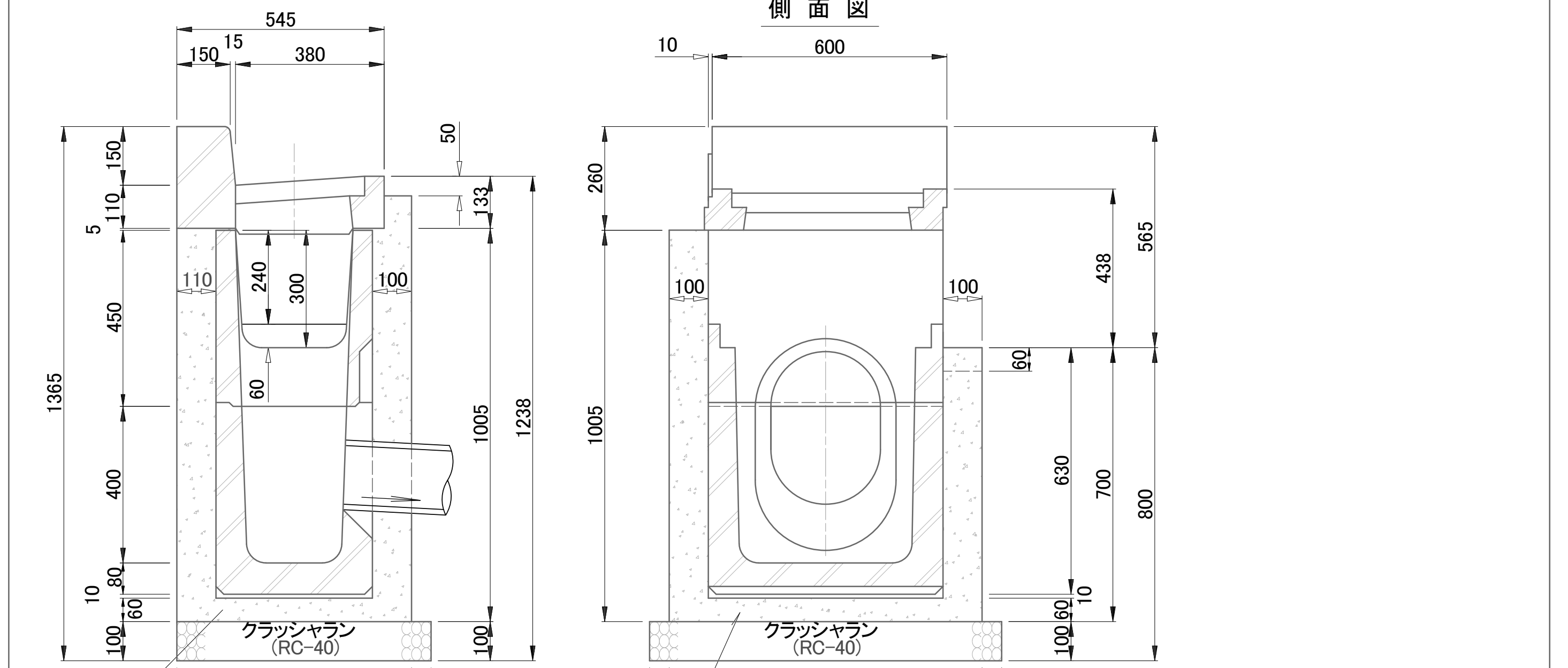
材 料 表

(1カ所当り)

種 別	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ3	0.002	0.214	0.056	2.692
タイプ7	0.002	0.211	0.056	2.669

特記事項

LU型側溝用取付柵(2)
構造図(T-20用)
(タイプ3, 7用)



側面図

材 料 表

(1カ所当り)

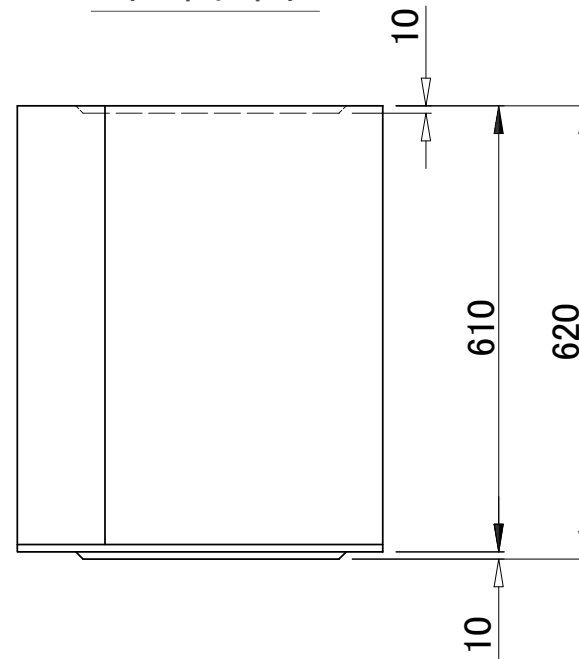
種 別	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)
タイプ4	0.002	0.245	0.059	2.759
タイプ8	0.002	0.241	0.059	2.734

特
記
事
項

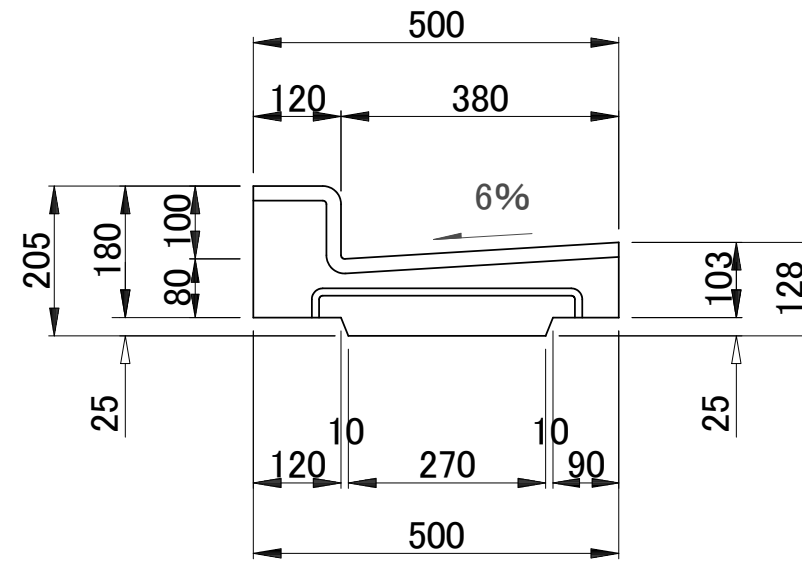
LU型側溝用取付柵(3)
構造図(T-20用)
(タイプ4, 8用)

LUタイプ1, 5用

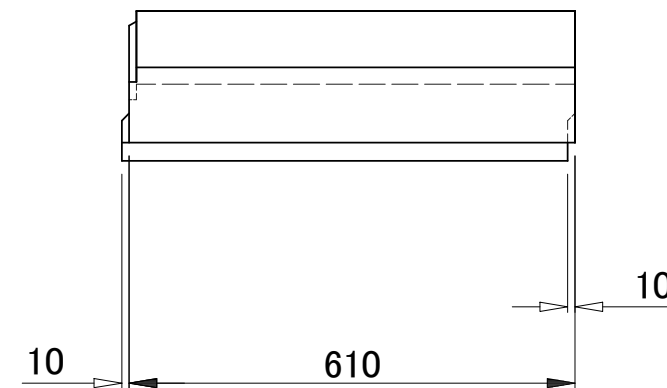
平面図



正面図



側面図

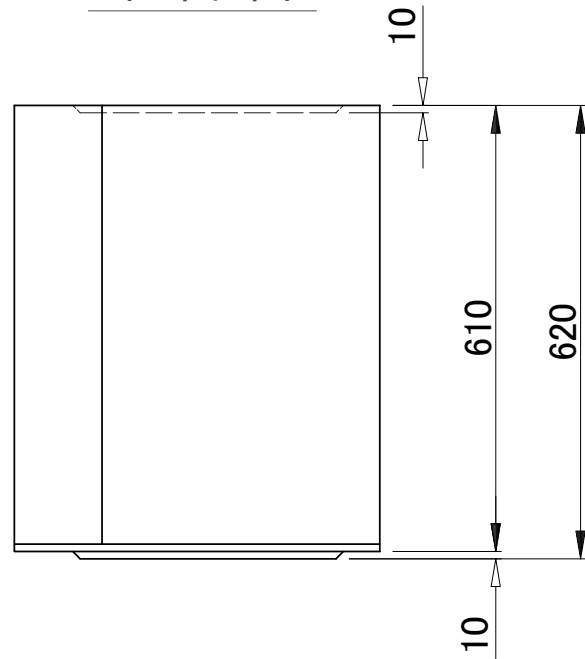


特記事項

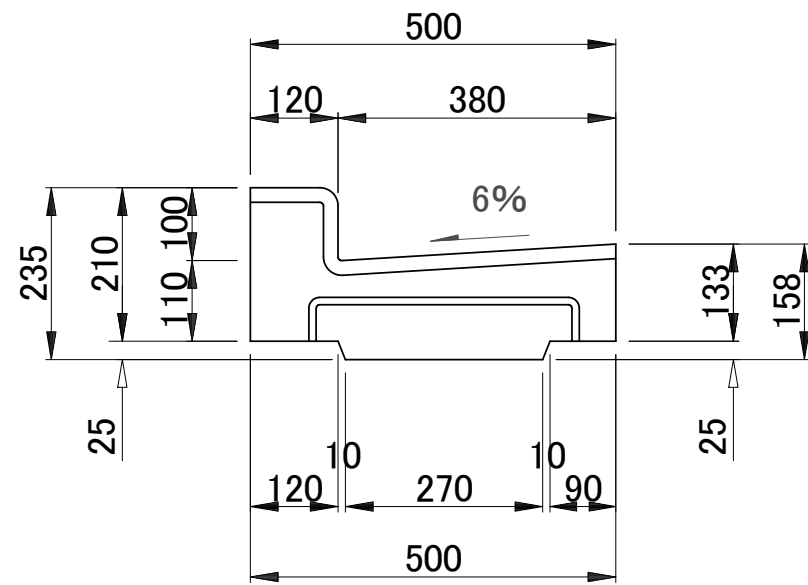
LU型側溝用L型ブロック
一般部構造図(T-7用)(タイプ1, 5用)

LUタイプ3, 7用

平面図

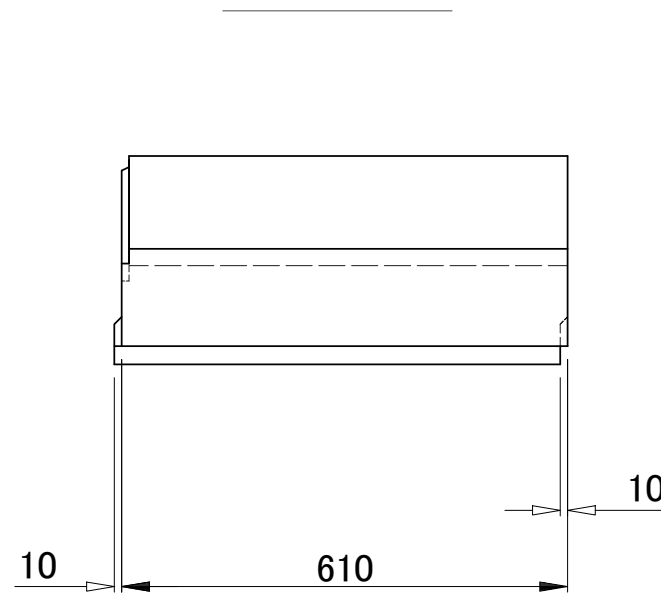


正面図

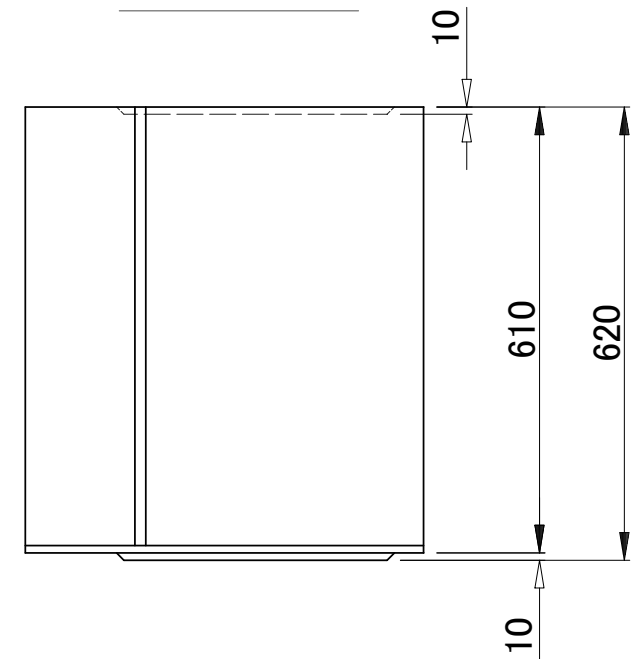


LUタイプ4, 8用

側面図

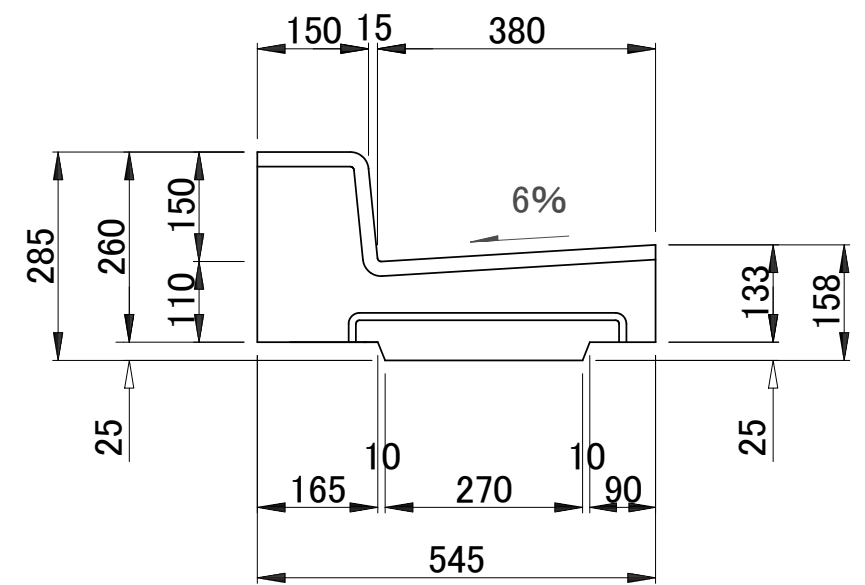
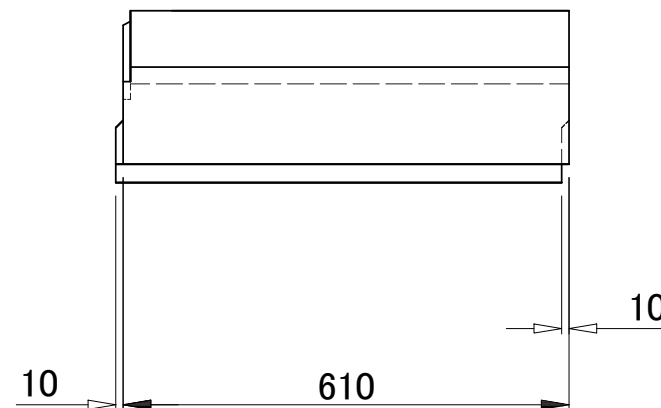


平面図



正面図

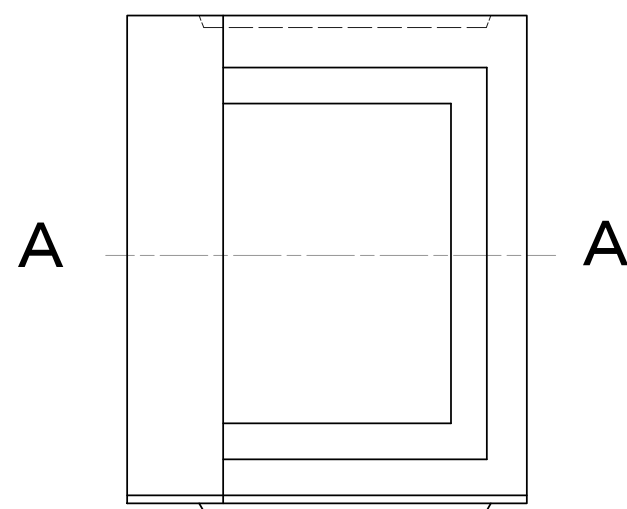
側面図



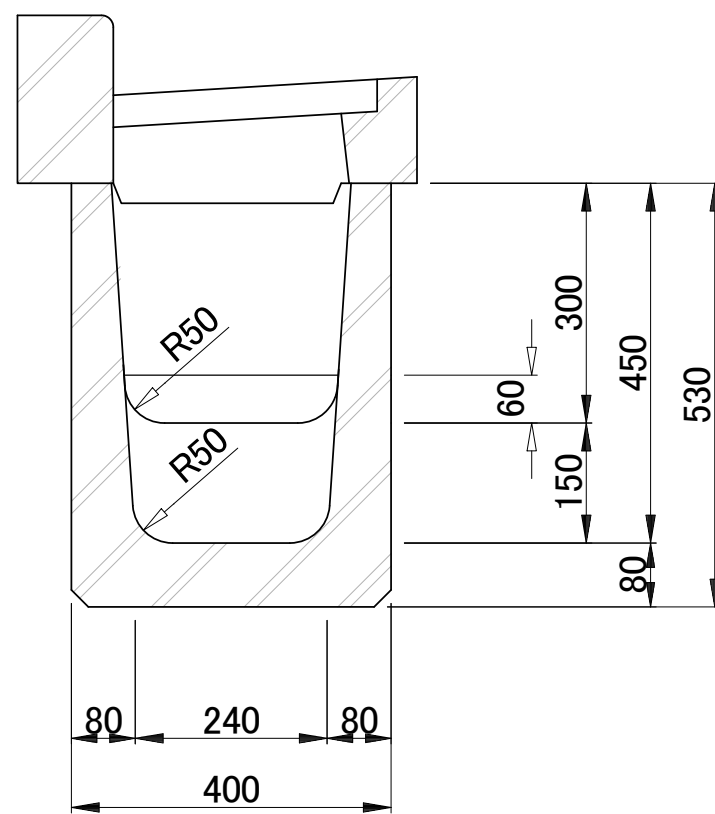
特記事項

LU型側溝用L型ブロック
一般部構造図(T-20用)

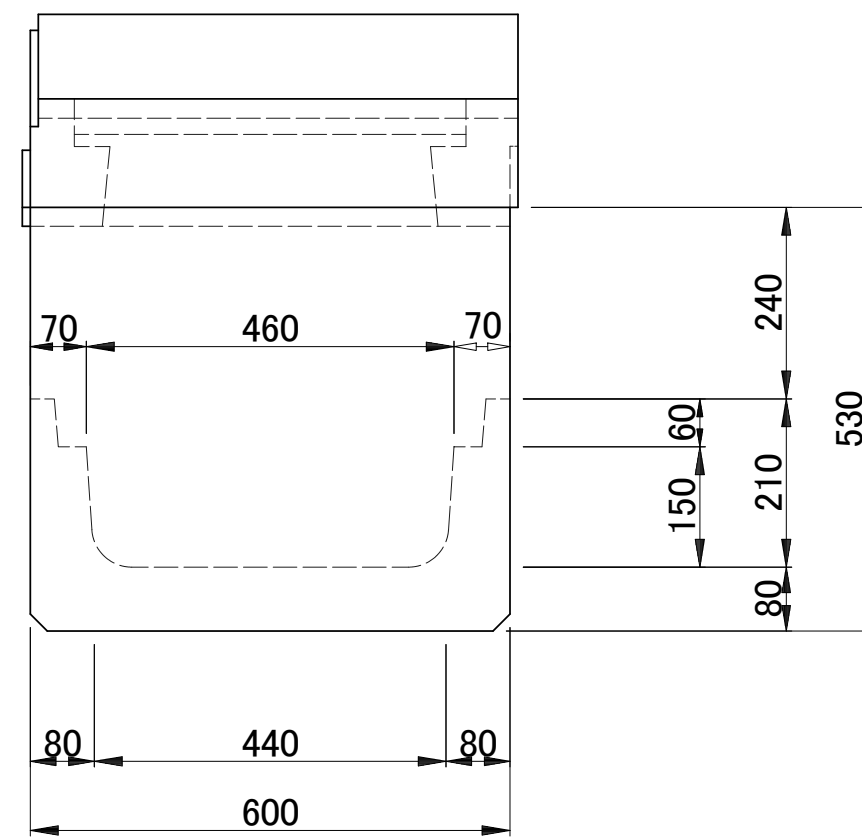
平面図



A-A断面図



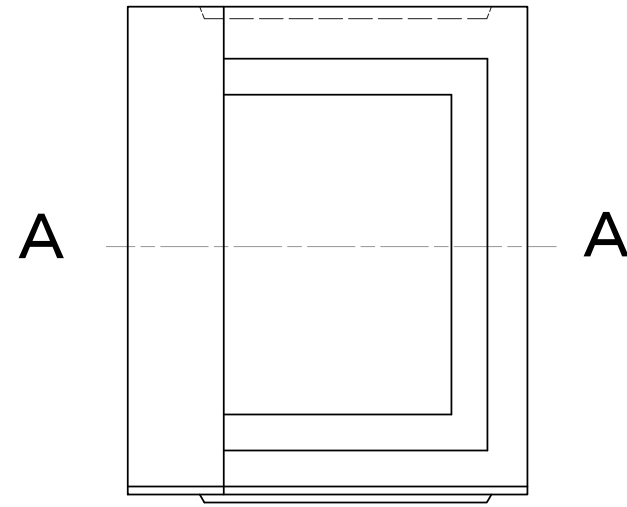
側面図



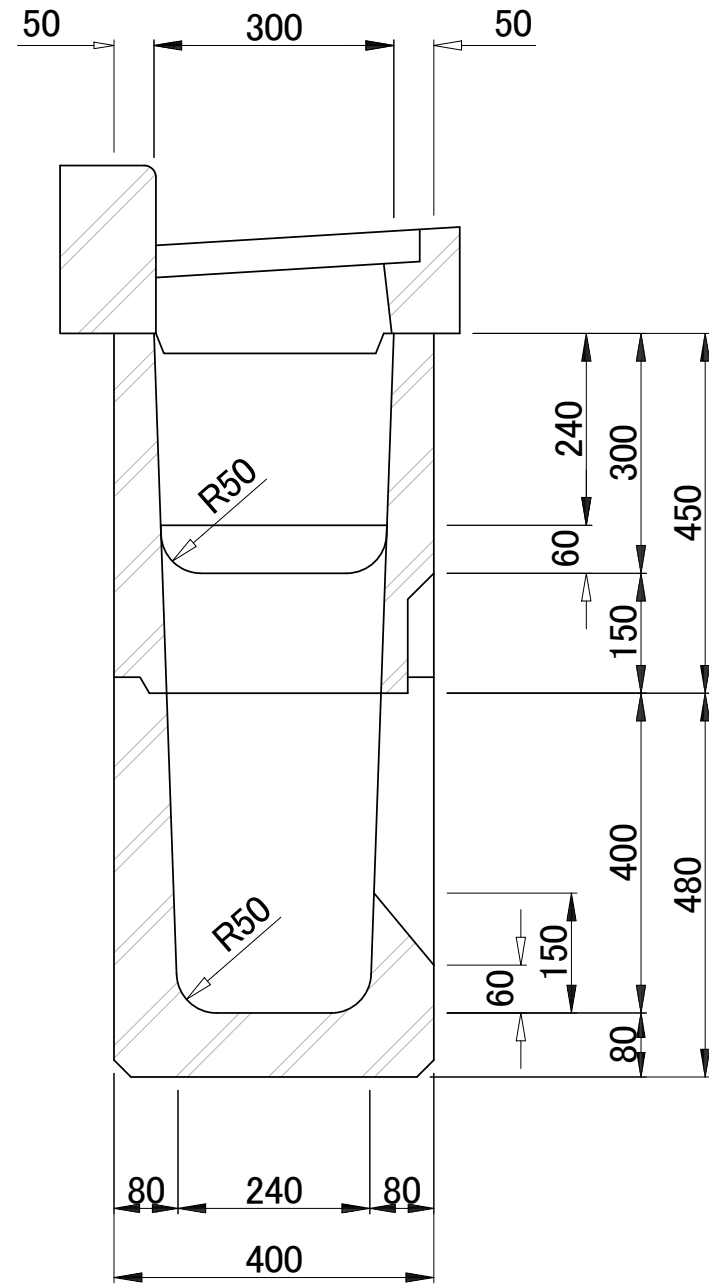
特記事項

LU型側溝用中間柵構造図

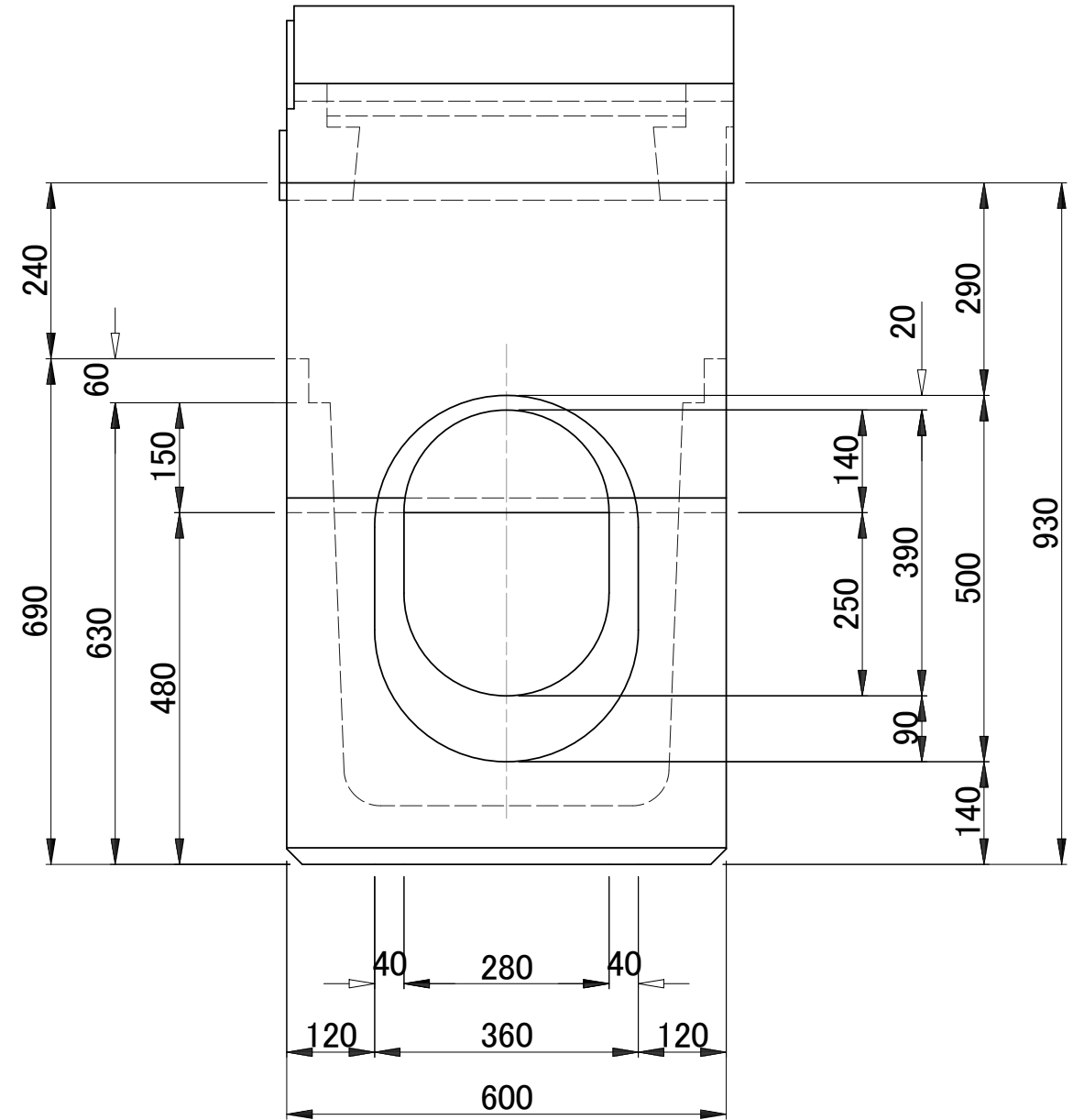
平面図



A-A断面図



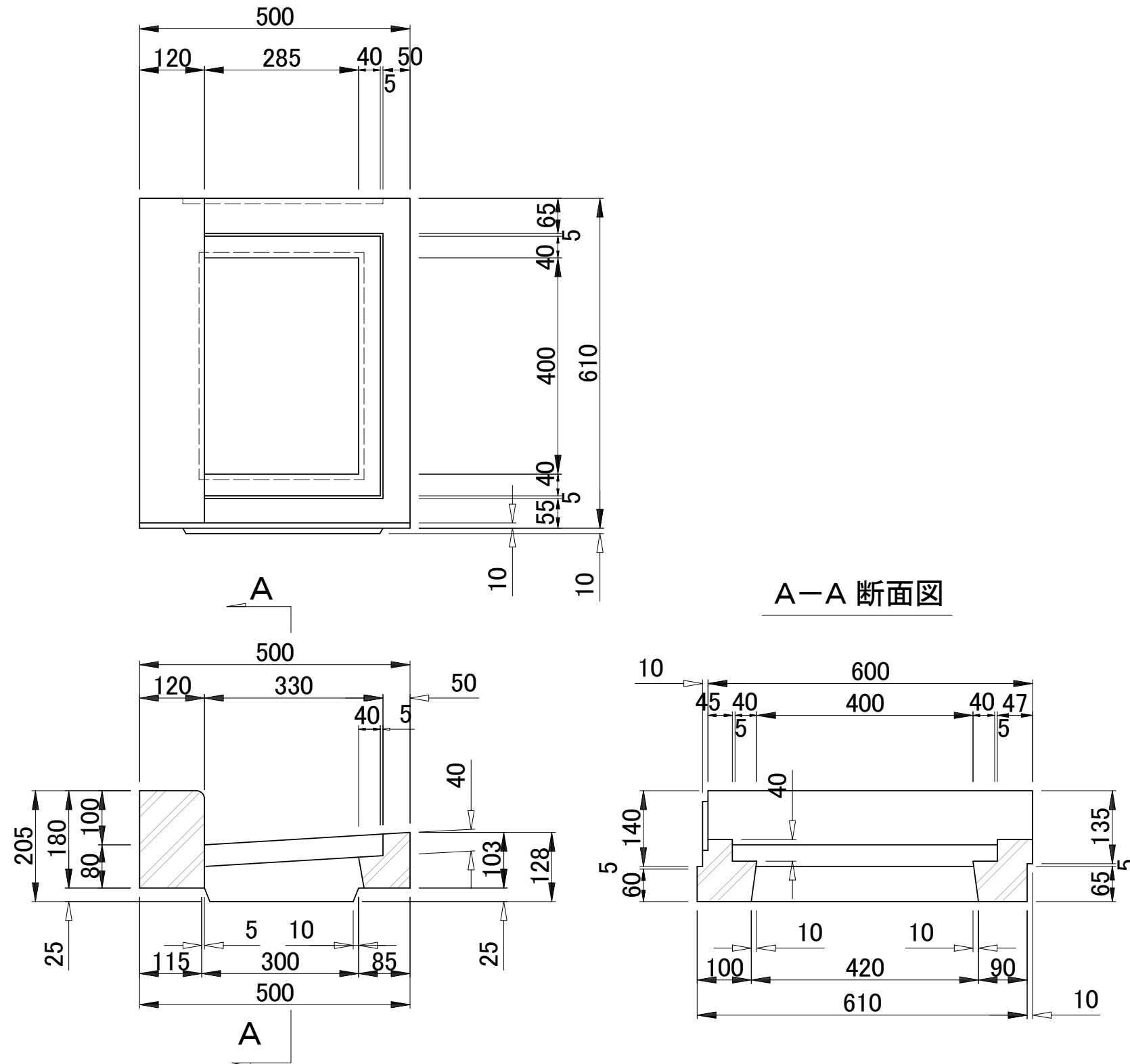
側面図



特記事項

LU型側溝用取付柵構造図

LUタイプ1, 5用

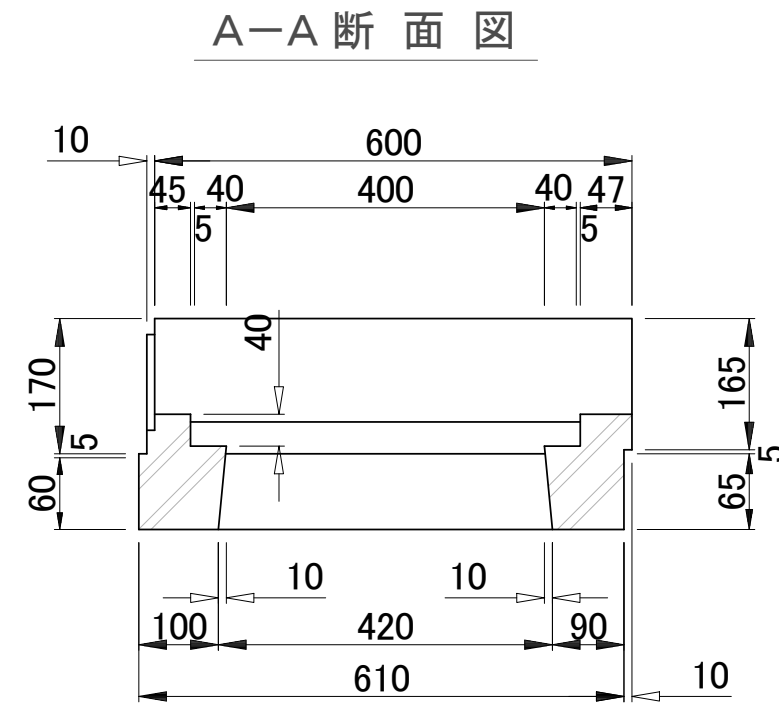
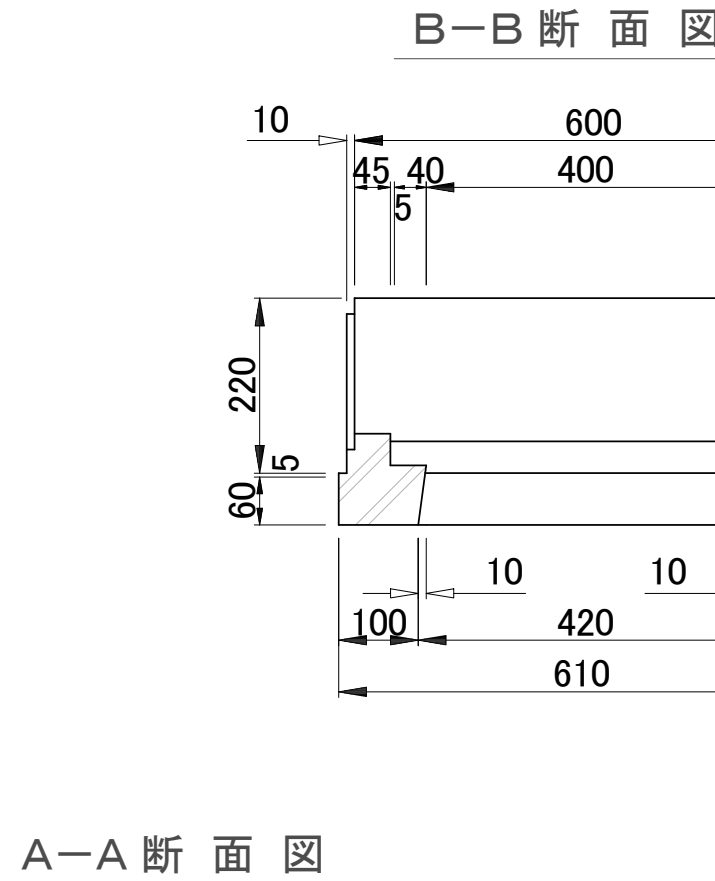
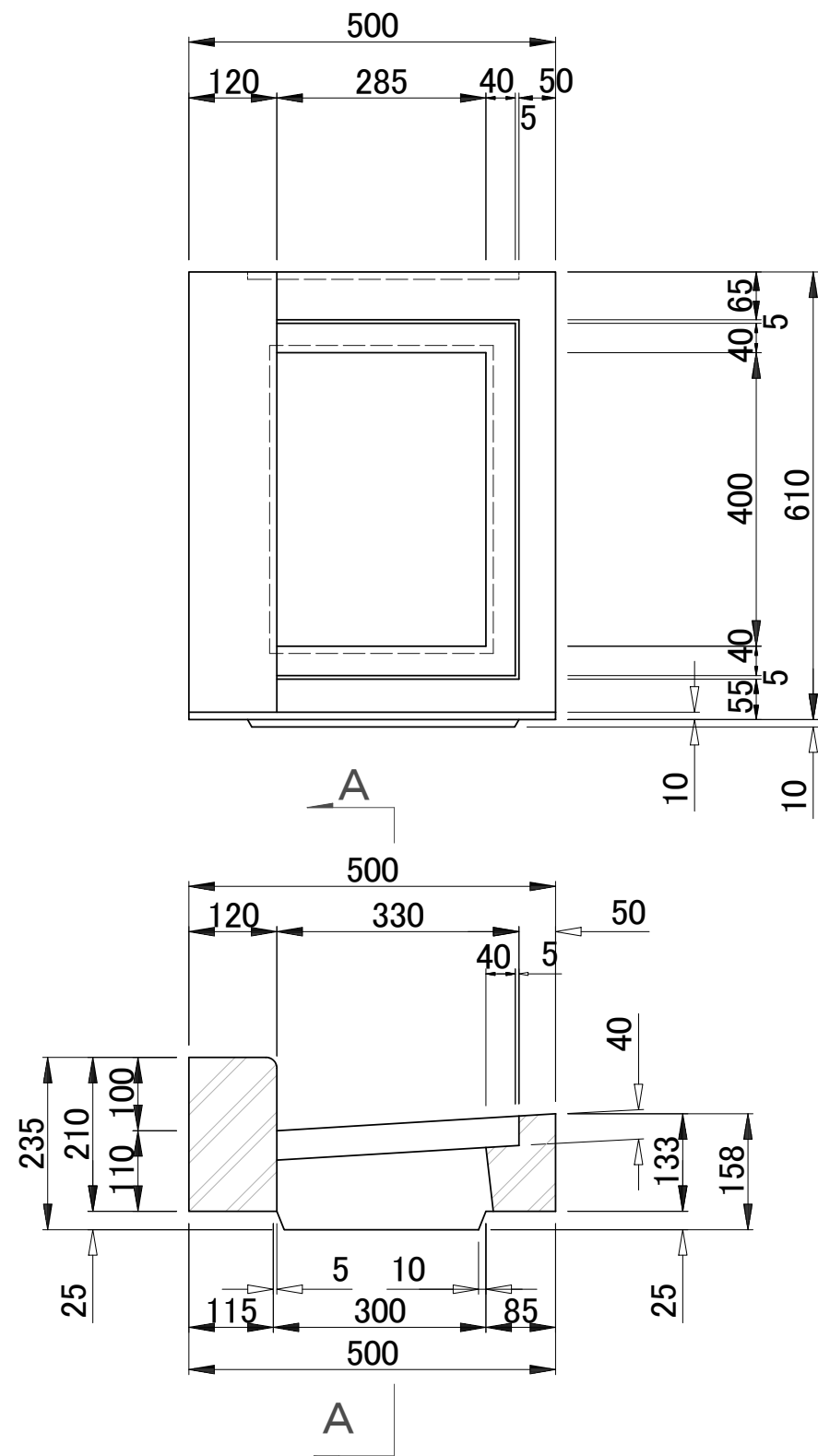


特記事項

LU型側溝用L型ブロック
雨水柵蓋取付部構造図(T-7)
(タイプ1, 5用)

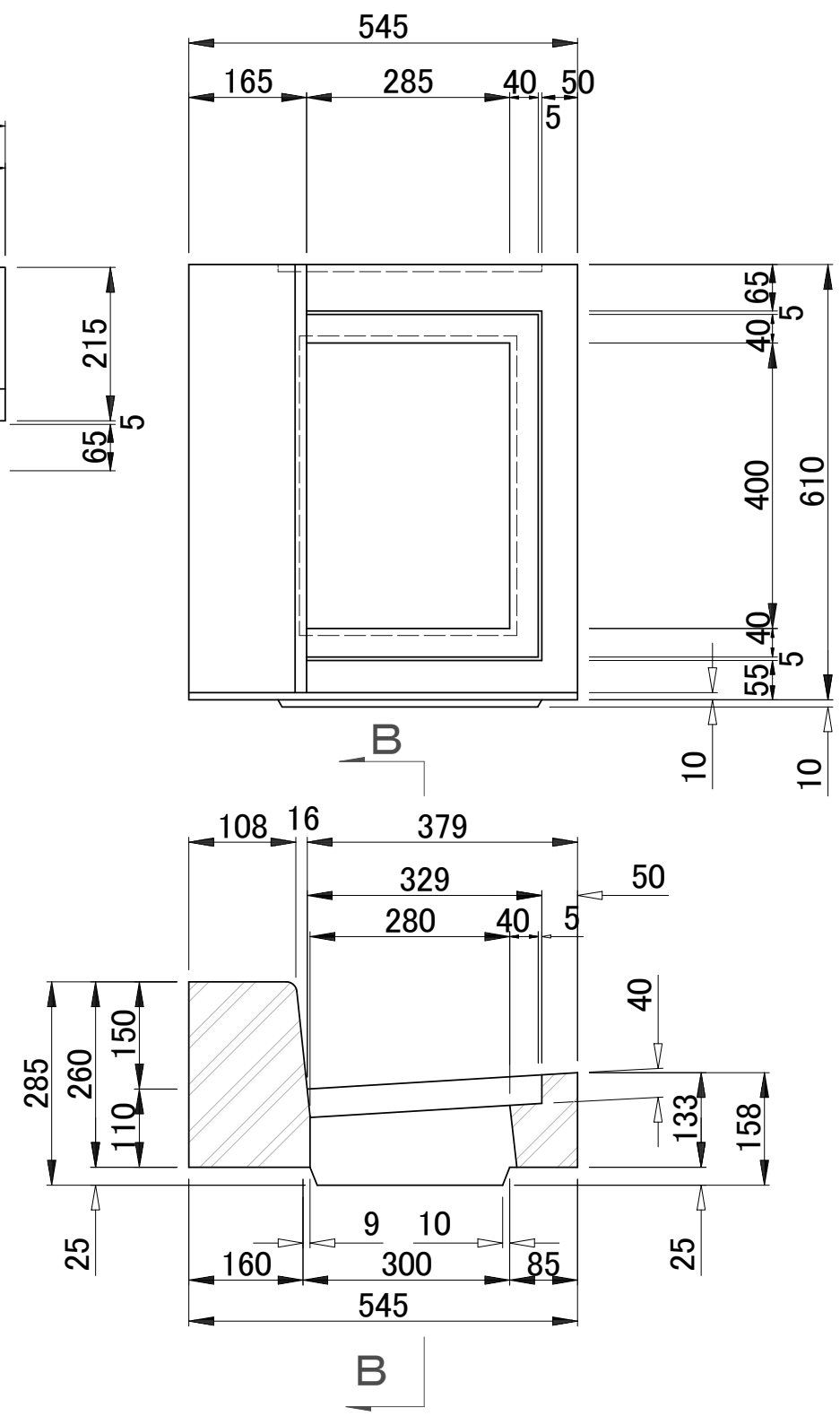
LUタイプ3, 7用

LUタイプ4, 8用



B-B断面図

A-A断面図

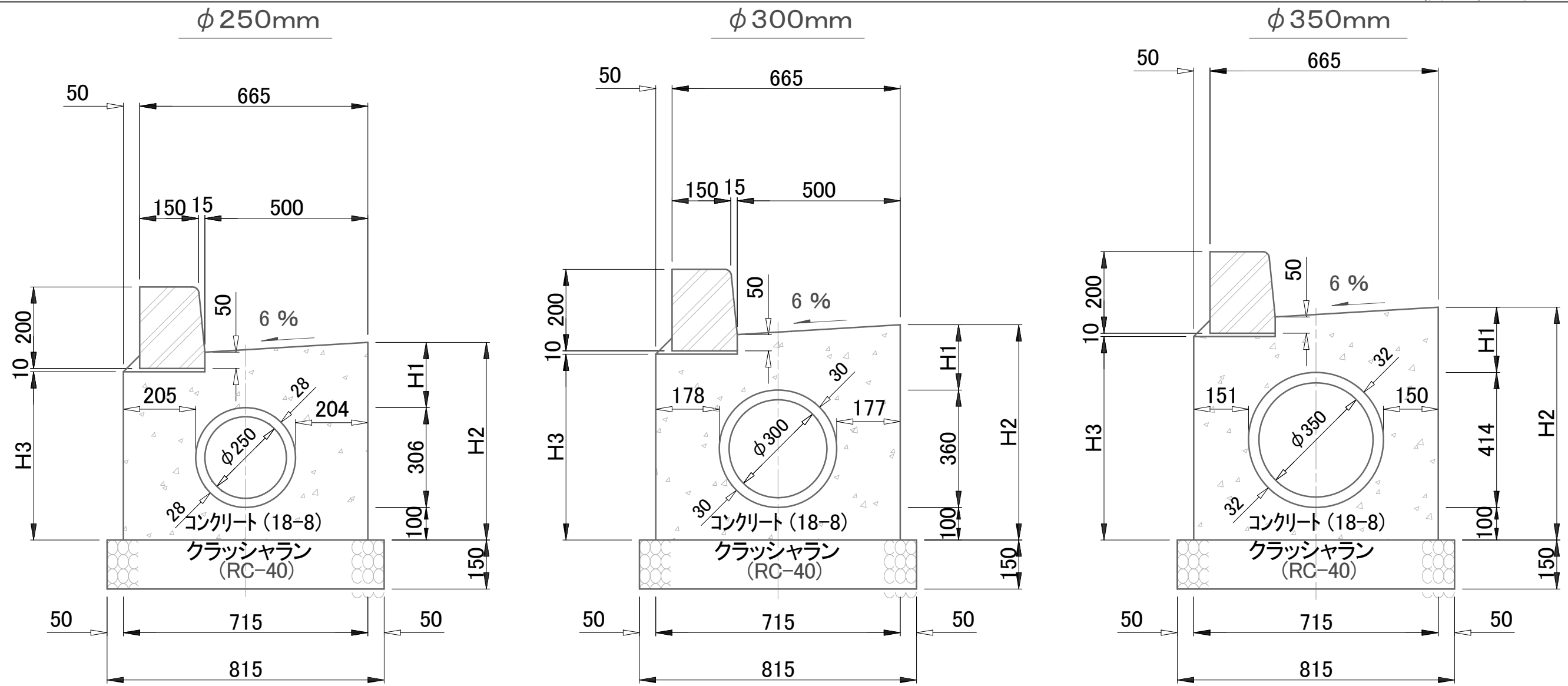


B

B

特記事項

LU型側溝用L型ブロック
雨水柵蓋取付部構造図(T-20)



材 料 表

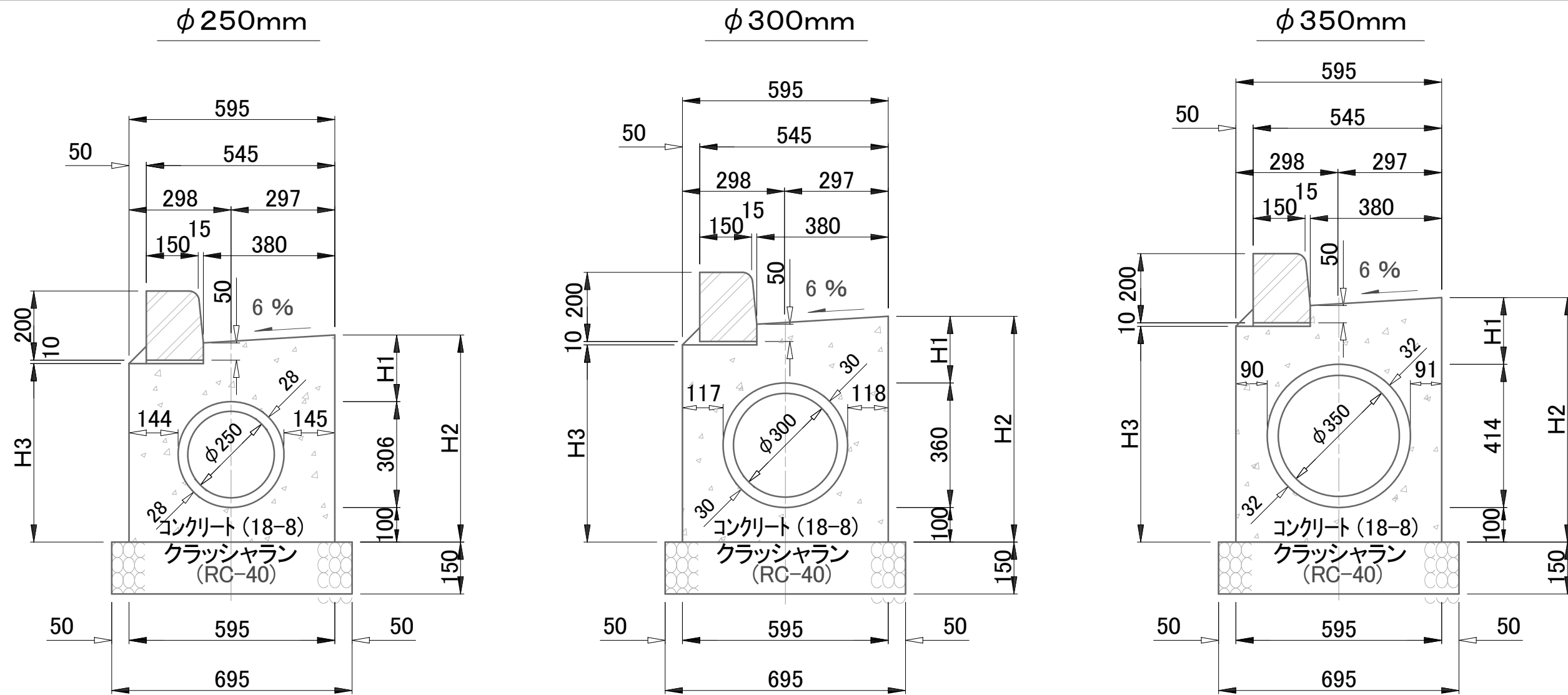
(10m当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		ヒューム管 1種
	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	コンクリート (18-8) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	
φ 250	0.030	3.326	1.223	11.220	0.715	2.000	
φ 300	0.030	3.429	1.223	12.300	0.715	2.000	
φ 350	0.030	3.487	1.223	13.380	0.715	2.000	

特
記
事
項

注)H1は、0.20m以上1.00m以下とする。

LO型側溝(タイプ1)布設図
(複断面BCD交通用)



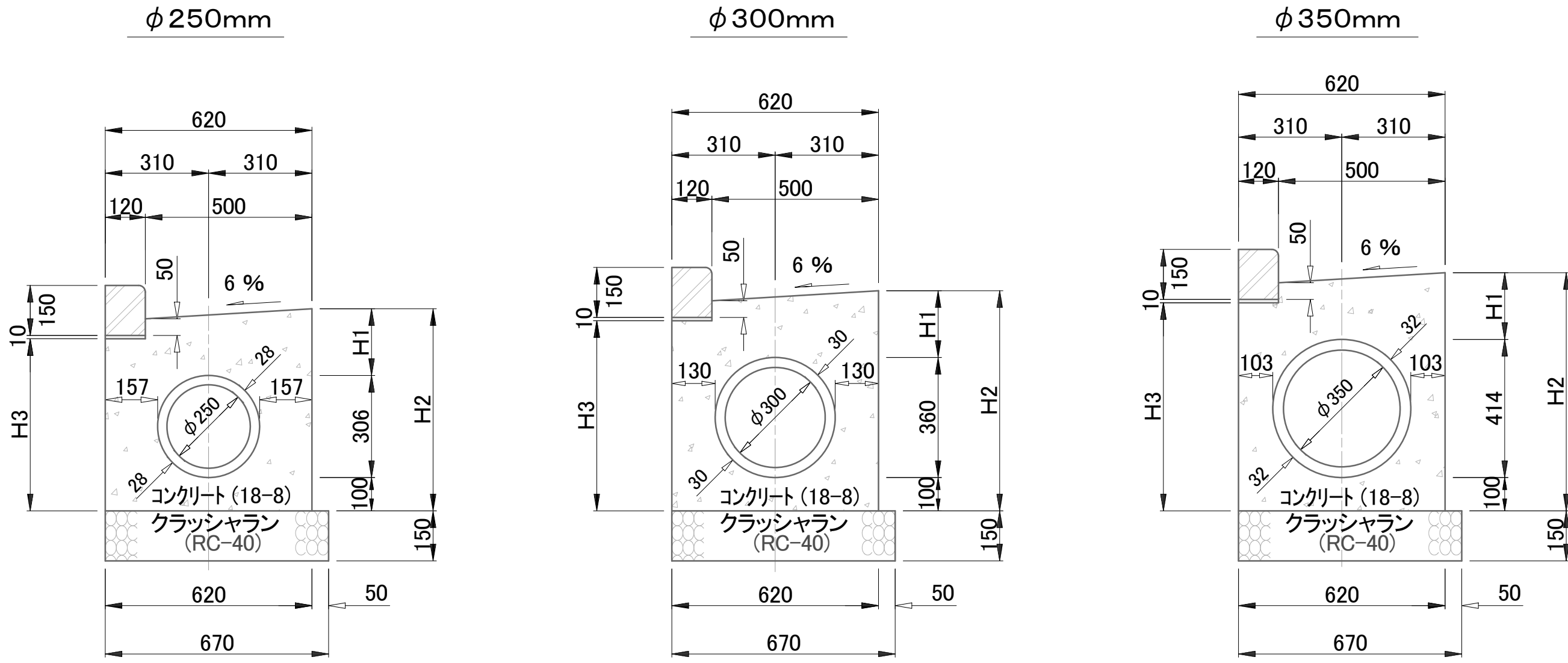
材 料 表

(10m当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		ヒューム管 1種
	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	コンクリート (18-8) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	
φ 250	0.030	2.645	1.043	11.290	0.595	2.000	
φ 300	0.030	2.684	1.043	12.370	0.595	2.000	
φ 350	0.030	2.677	1.043	13.450	0.595	2.000	

特記事項 注)H1は、0.20m以上1.00m以下とする。

LO型側溝(タイプ2)布設図
(複断面ALR交通用)



材 料 表

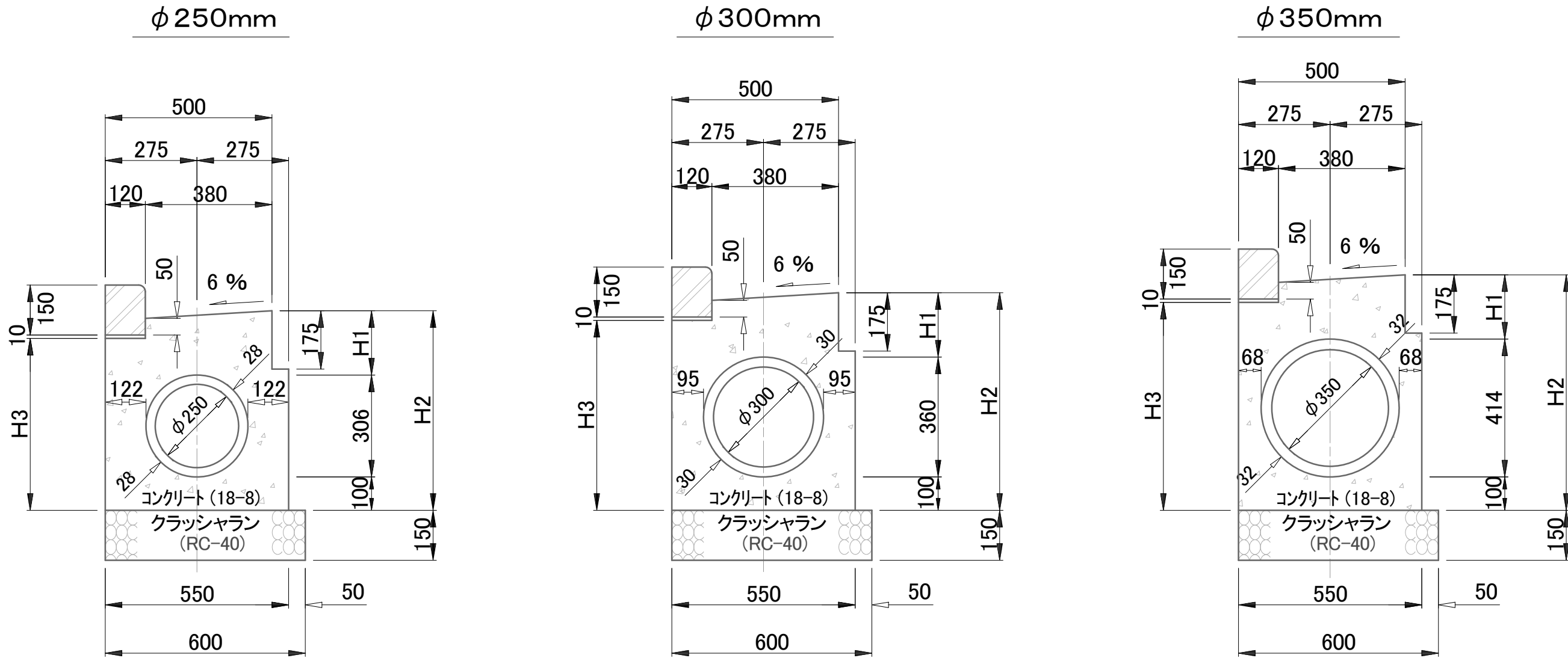
(10m当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		ヒューム管 1種
	モルタル (m^3)	コンクリート (18-8) (m^3)	クラッシュラン (RC-40) (m^3)	型 枠 (小型構造物) (m^2)	コンクリート (18-8) (m^3)	型 枠 (小型構造物) (m^2)	
$\phi 250$	0.013	2.838	1.005	11.220	0.620	2.000	
$\phi 300$	0.013	2.890	1.005	12.300	0.620	2.000	
$\phi 350$	0.013	2.897	1.005	13.380	0.620	2.000	

特
記
事
項

注)H1は、0.20m以上1.00m以下とする。

LO型側溝(タイプ3)布設図
(単断面ABC交通用)



材 料 表

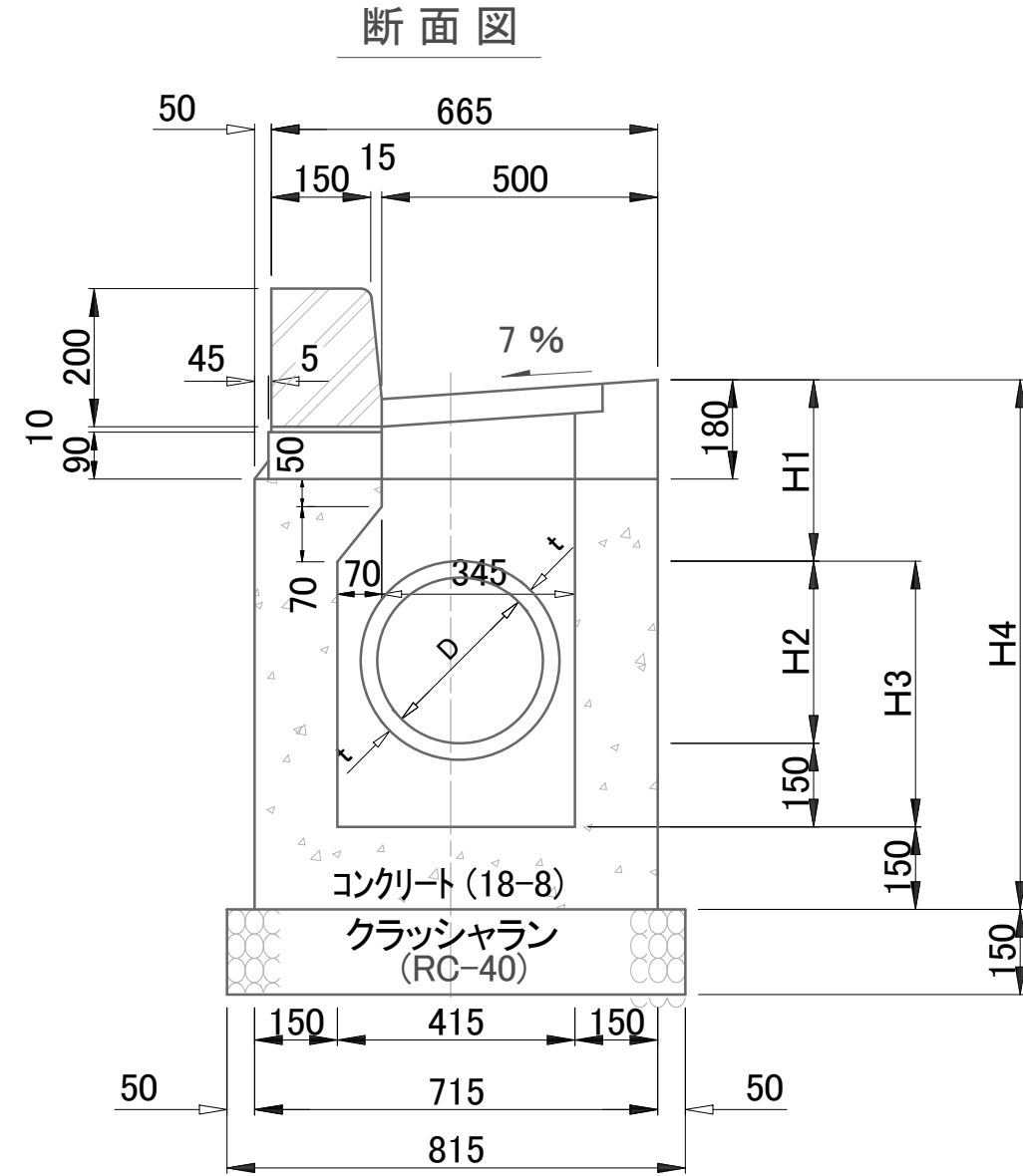
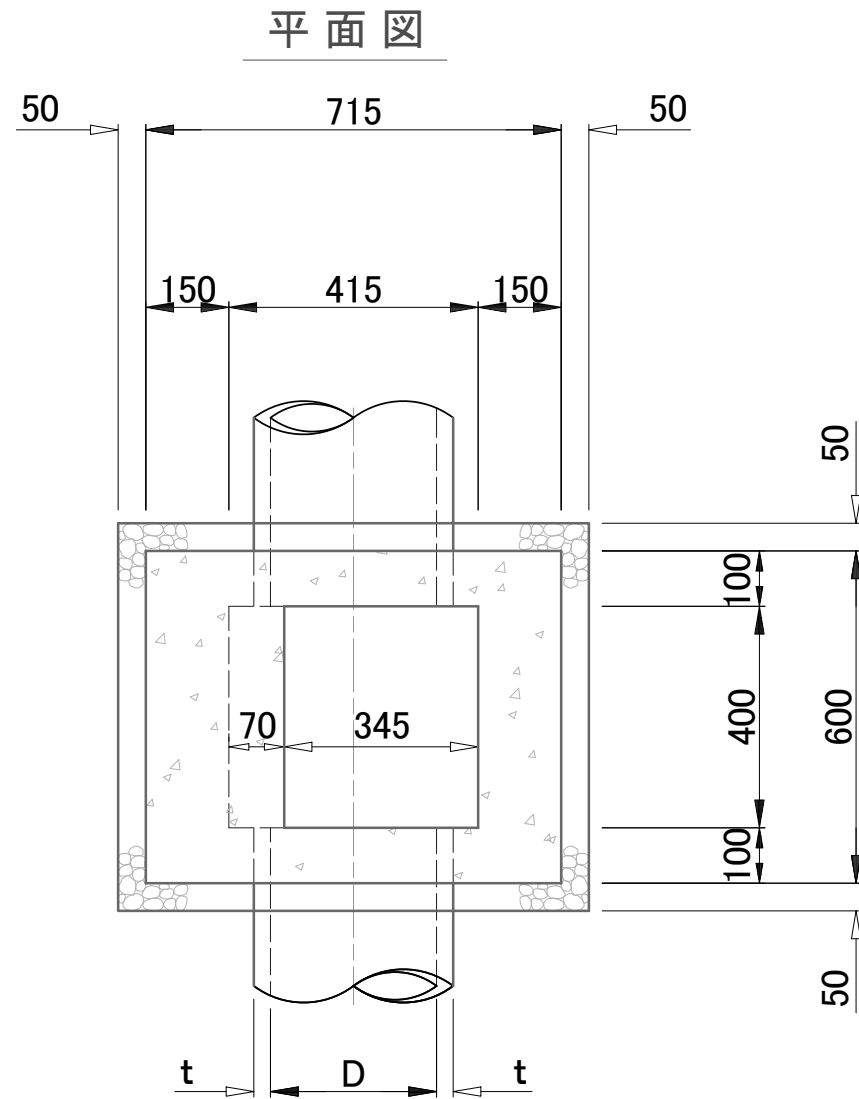
(10m当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		ヒューム管 1種
	モルタル (m^3)	コンクリート (18-8) (m^3)	クラッシュラン (RC-40) (m^3)	型 枠 (小型構造物) (m^2)	コンクリート (18-8) (m^3)	型 枠 (小型構造物) (m^2)	
$\phi 250$	0.013	2.354	0.900	11.290	0.550	2.000	
$\phi 300$	0.013	2.368	0.900	12.370	0.550	2.000	
$\phi 350$	0.013	2.337	0.900	13.450	0.550	2.000	

特
記
事
項

注)H1は、0.20m以上1.00m以下とする。

LO型側溝(タイプ4)布設図
(単断面ALR交通用)



材料表及び寸法表

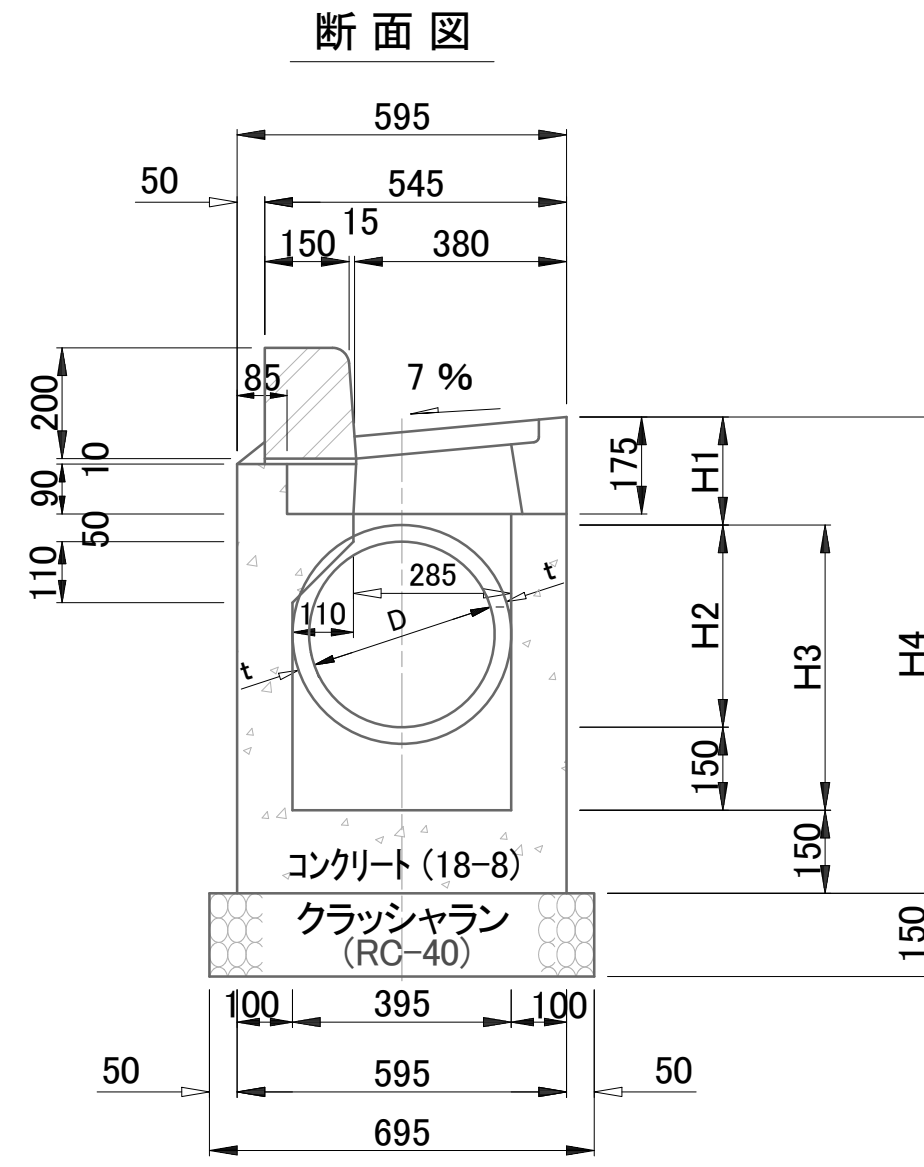
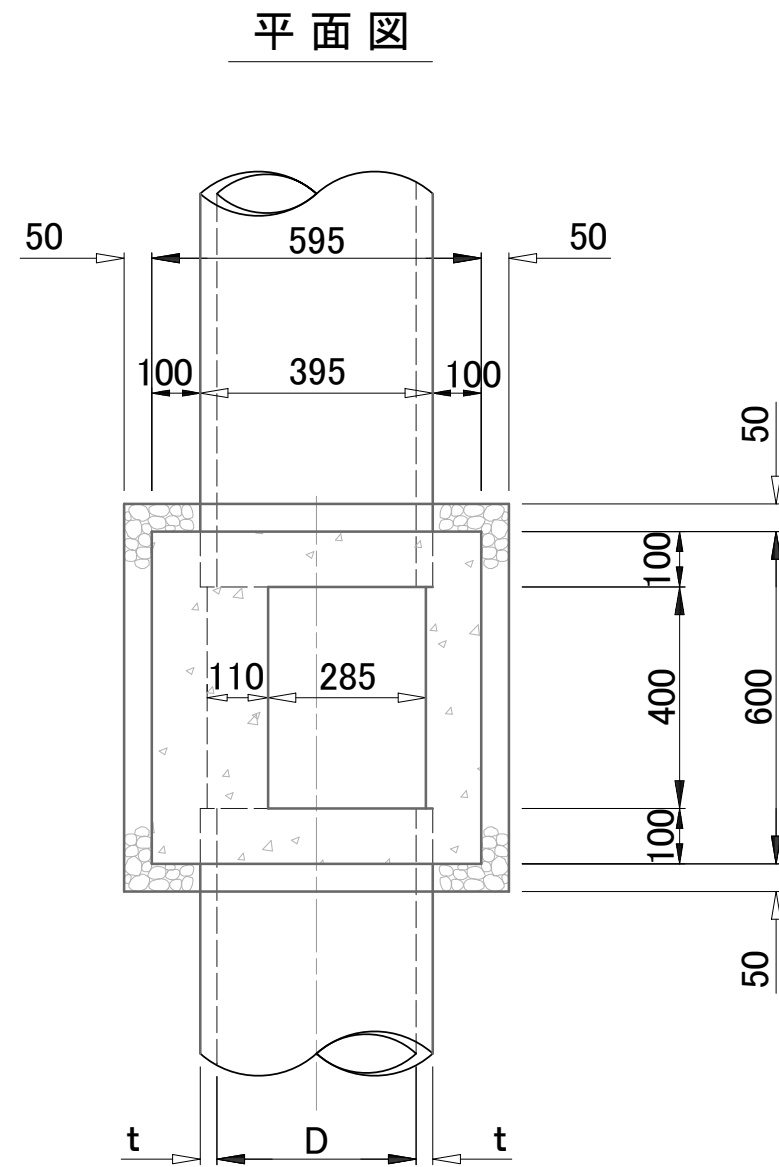
(1箇所当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		寸 法	
	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	コンクリート (18-8) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	H2 (D+t) (mm)	H3 (mm)
φ 250	0.002	0.167	0.086	2.051	0.026	0.426	278	428
φ 300	0.002	0.175	0.086	2.159	0.026	0.426	330	480
φ 350	0.002	0.182	0.086	2.249	0.026	0.426	382	532

特
記
事
項

注1) H1は、0.20m以上1.00m以下とする。
 注2) 固定部はH1=0.20mとした時の材料である。
 注3) H1が、0.20mを越えた場合、固定部の材料に可動部の材料を加えるものとする。

LO型側溝用柵(タイプ1)
 構造図
 (複断面BCD交通用)



材料表及び寸法表

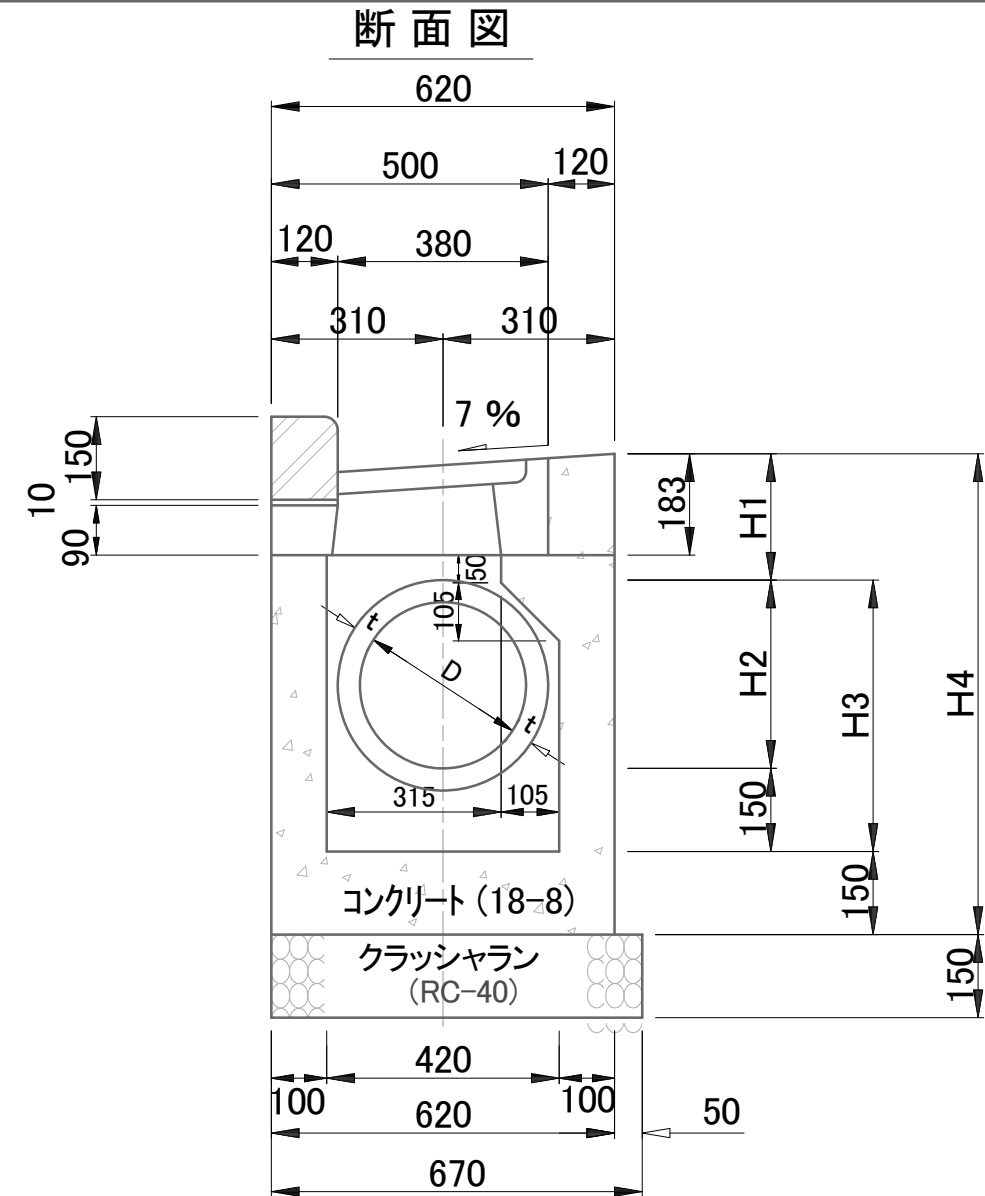
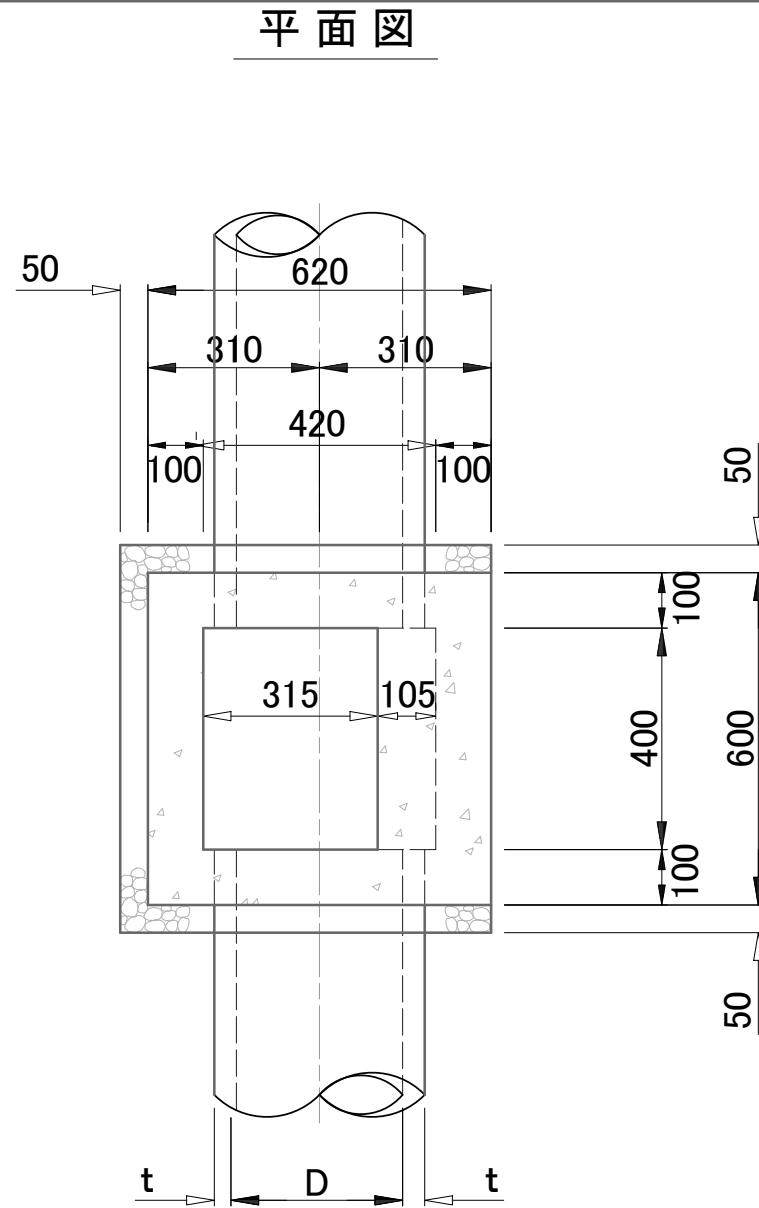
(1箇所当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		寸 法	
	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	コンクリート (18-8) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	H2 (D+t) (mm)	H3 (mm)
φ 250	0.002	0.137	0.073	1.940	0.020	0.398	278	428
φ 300	0.002	0.141	0.073	2.034	0.020	0.398	330	480
φ 350	0.002	0.145	0.073	2.109	0.020	0.398	382	532

特
記
事
項

注1) H1は、0.20m以上1.00m以下とする。
 注2) 固定部はH1=0.20mとした時の材料である。
 注3) H1が、0.20mを越えた場合、固定部の材料に可動部の材料を加えるものとする。

LO型側溝用柵(タイプ2)
 構造図
 (複断面ALR交通用)



材料表及び寸法表

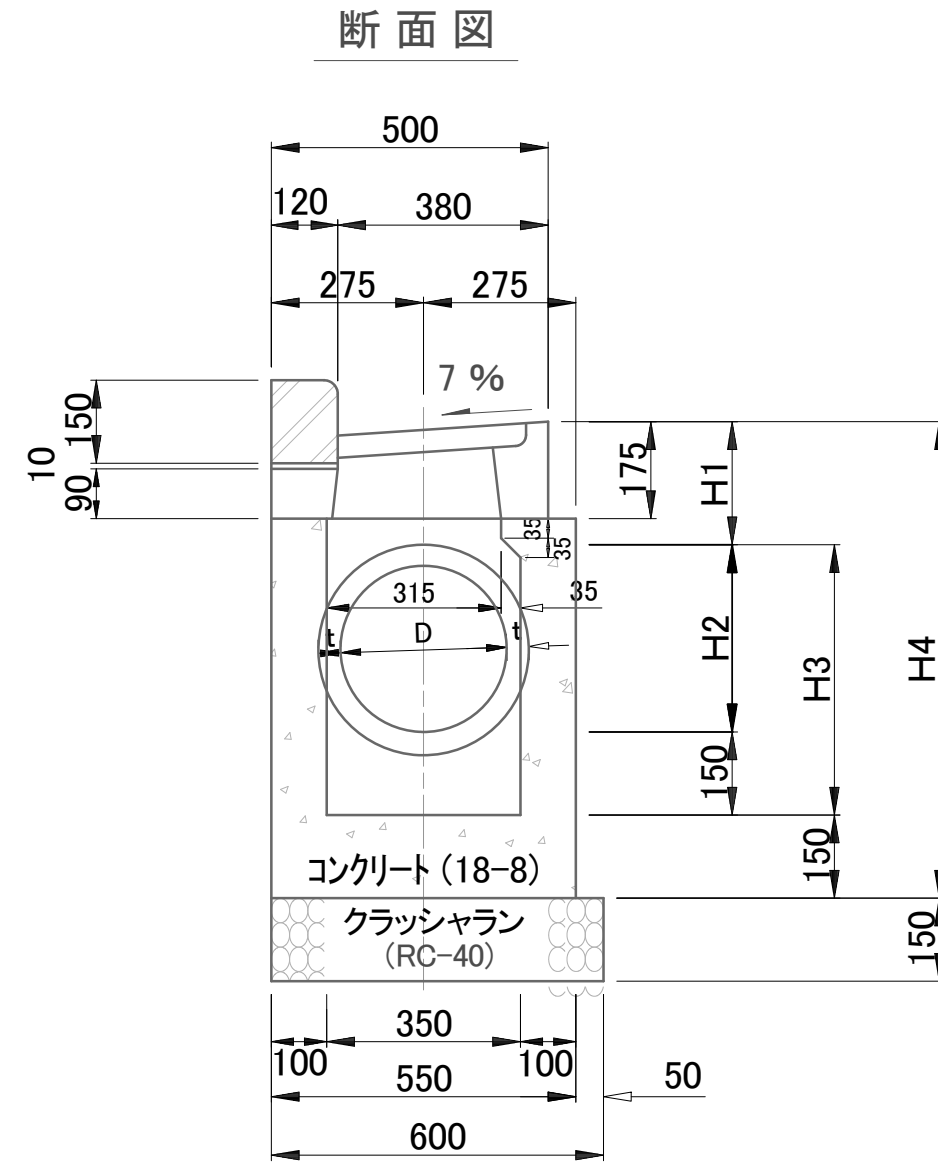
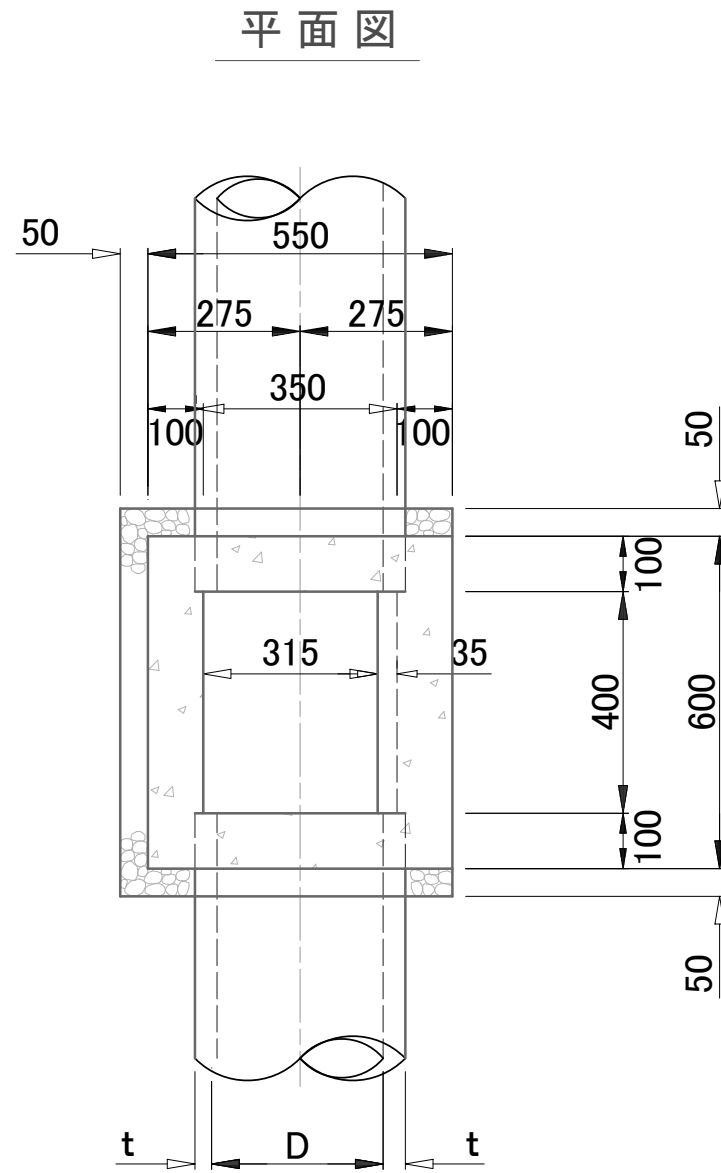
(1箇所当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		寸 法	
	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	コンクリート (18-8) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	H2 (D+t) (mm)	H3 (mm)
φ 250	0.002	0.136	0.070	1.905	0.020	0.408	278	428
φ 300	0.002	0.141	0.070	2.004	0.020	0.408	330	480
φ 350	0.002	0.145	0.070	2.085	0.020	0.408	382	532

特
記
事
項

注1) H1は、0.20m以上1.00m以下とする。
 注2) 固定部はH1=0.20mとした時の材料である。
 注3) H1が、0.20mを越えた場合、固定部の材料に可動部の材料を加えるものとする。

LO型側溝用柵(タイプ3)
 構造図
 (複断面ABC交通用)



材料表及び寸法表

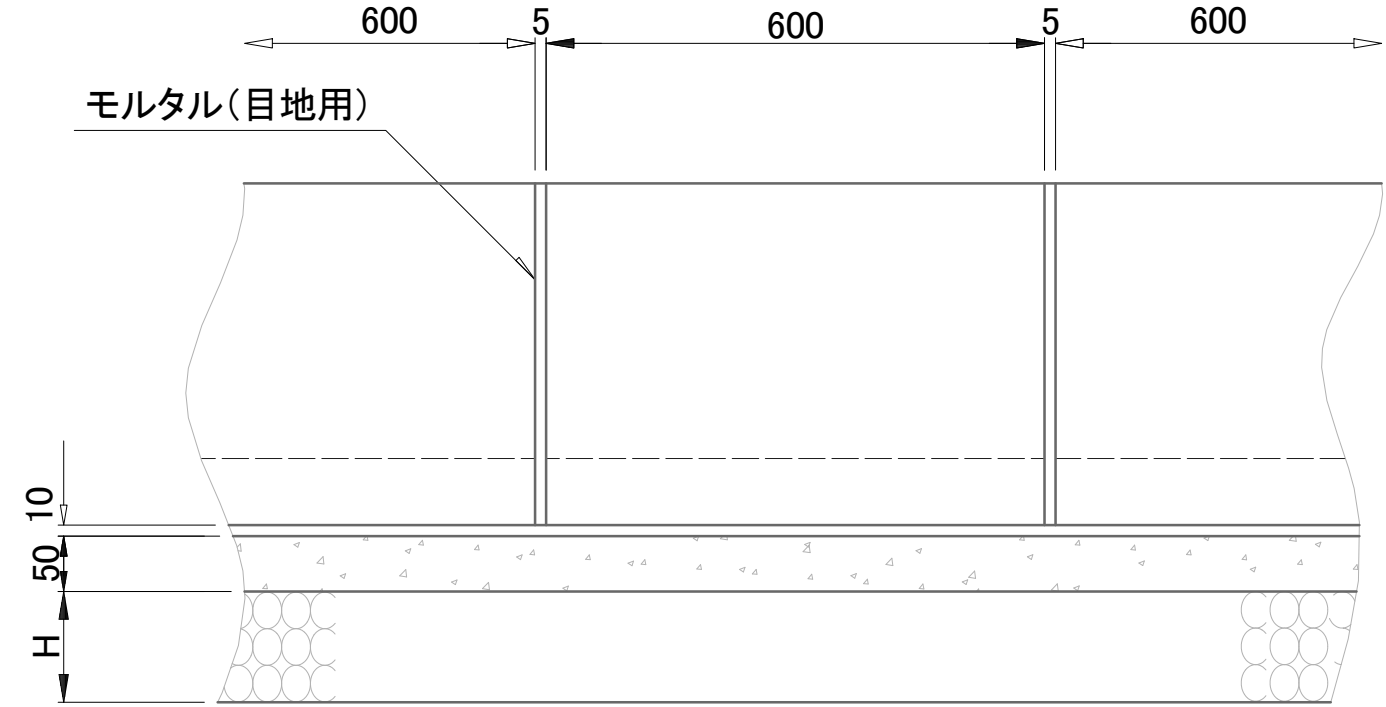
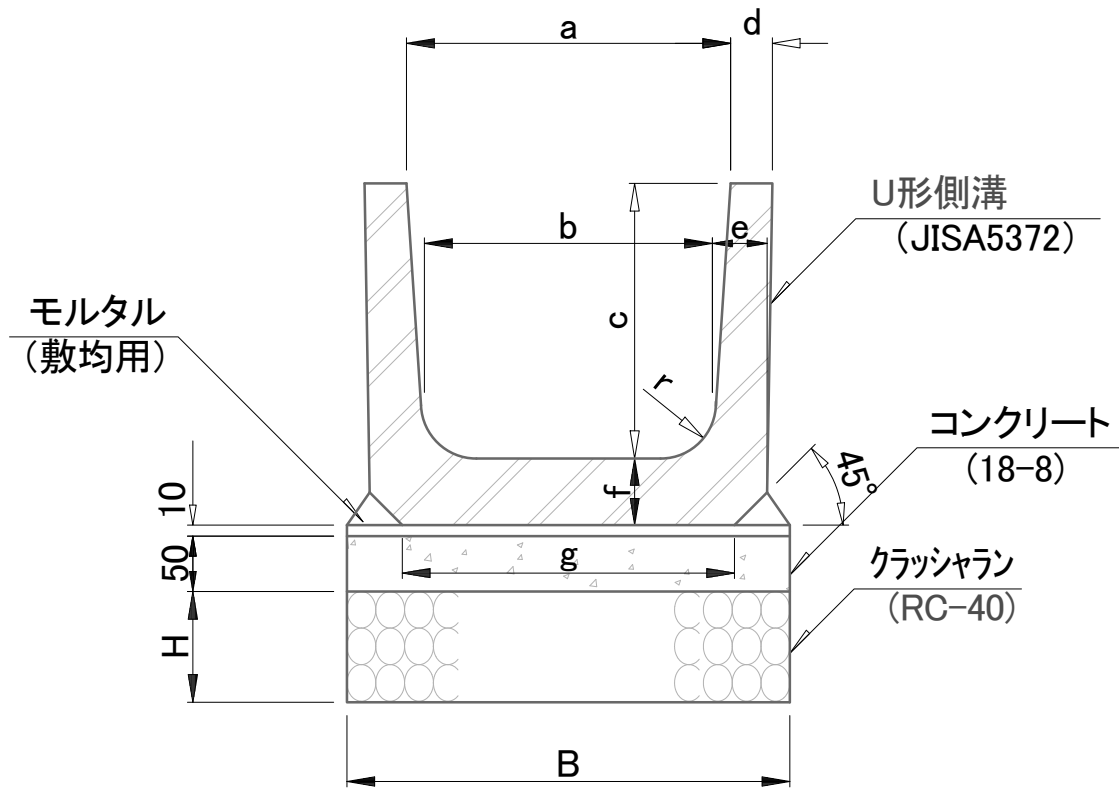
(1箇所当り)

管 径	固 定 部				可動部(10cm当り)		寸 法	
	モルタル (m ³)	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	コンクリート (18-8) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	H2 (D+t) (mm)	H3 (mm)
φ 250	0.002	0.122	0.063	1.778	0.019	0.373	278	428
φ 300	0.002	0.126	0.063	1.863	0.019	0.373	330	480
φ 350	0.002	0.129	0.063	1.929	0.019	0.373	382	532

特
記
事
項

注1) H1は、0.20m以上1.00m以下とする。
 注2) 固定部はH1=0.20mとした時の材料である。
 注3) H1が、0.20mを越えた場合、固定部の材料に可動部の材料を加えるものとする。

LO型側溝用柵(タイプ4)
 構造図
 (単断面ALR交通用)



寸法表

(単位:mm)

呼び	a	b	c	d	e	f	g	r	B	H	参考質量(kg)
180	180	170	180	35	40	40	190	50	250	100	33
240	240	220	240	45	50	50	240	50	330	100	53
300B	300	260	300	50	60	60	300	50	400	100	77
360B	360	310	360	50	65	65	360	50	460	100	97
450	450	400	450	55	70	70	430	70	560	100	130
600	600	540	600	70	80	80	600	70	740	100	204

材料表

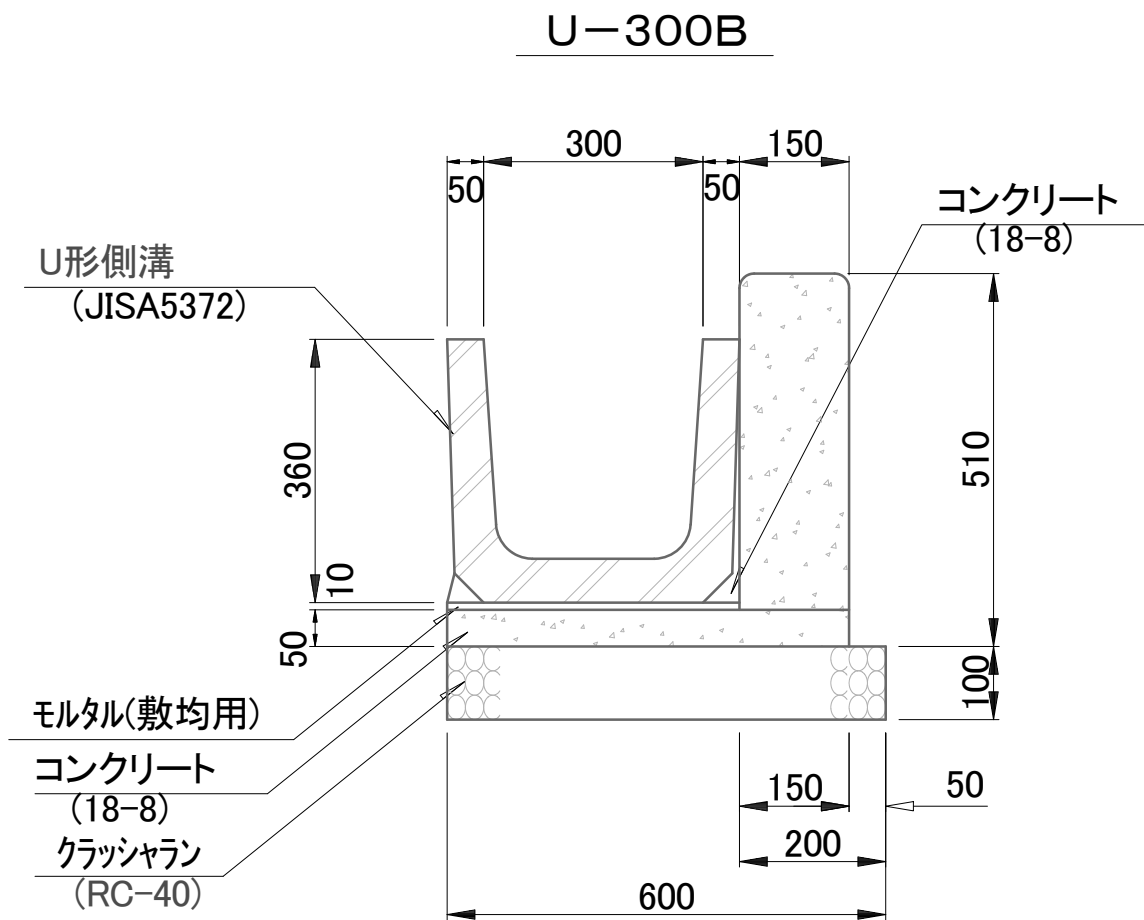
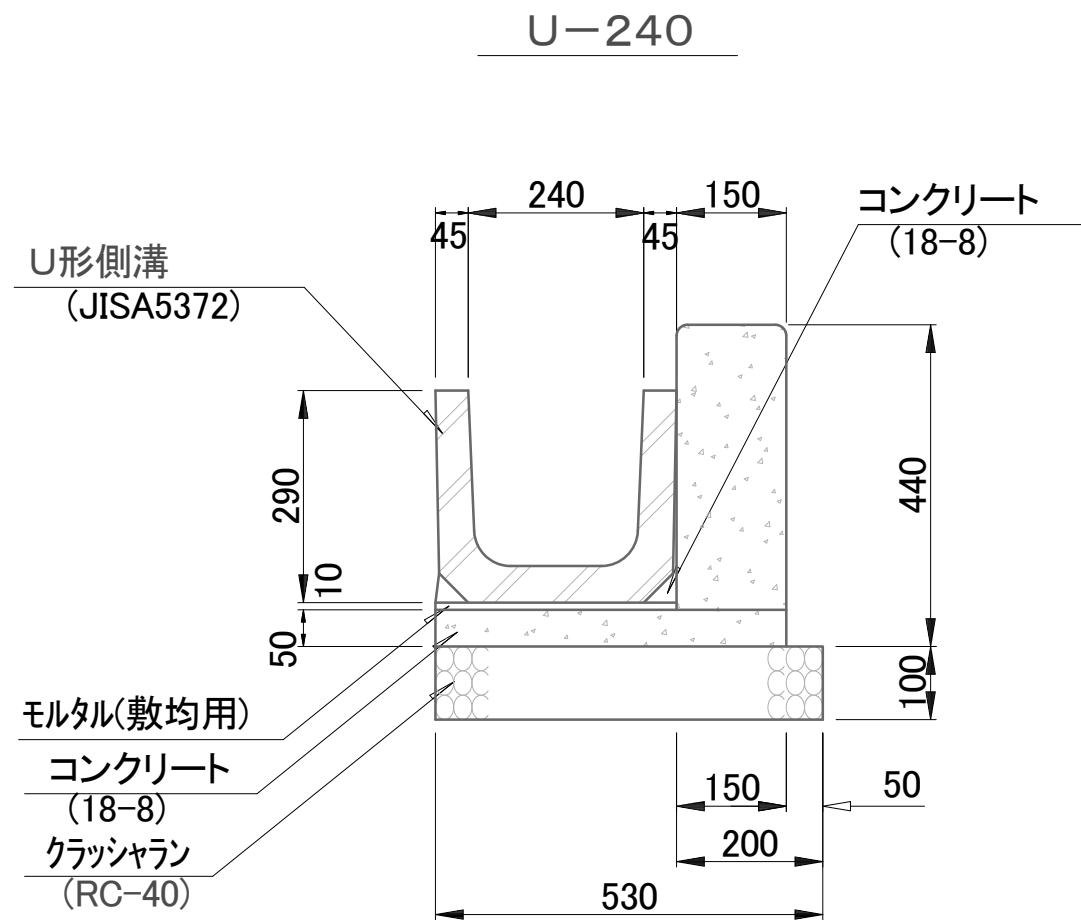
(10m当り)

呼び	U形本体	モルタル(m ³)		コンクリート (m ³)	クラッシュラン (m ³)	型枠 (m ²)
	JISA5372	敷均用	目地用	(18-8)	(RC-40)	(均し型枠)
180	16.5	0.034	0.002	0.125	0.250	1.000
240	16.5	0.051	0.003	0.165	0.330	1.000
300B	16.5	0.060	0.004	0.200	0.400	1.000
360B	16.5	0.066	0.006	0.230	0.460	1.000
450	16.5	0.092	0.007	0.280	0.560	1.000
600	16.5	0.108	0.012	0.370	0.740	1.000

特記事項

- ・製品はJISA5372に準拠すること。
- ・主として車道に並行して設置すること。

U形側溝布設図



数量表

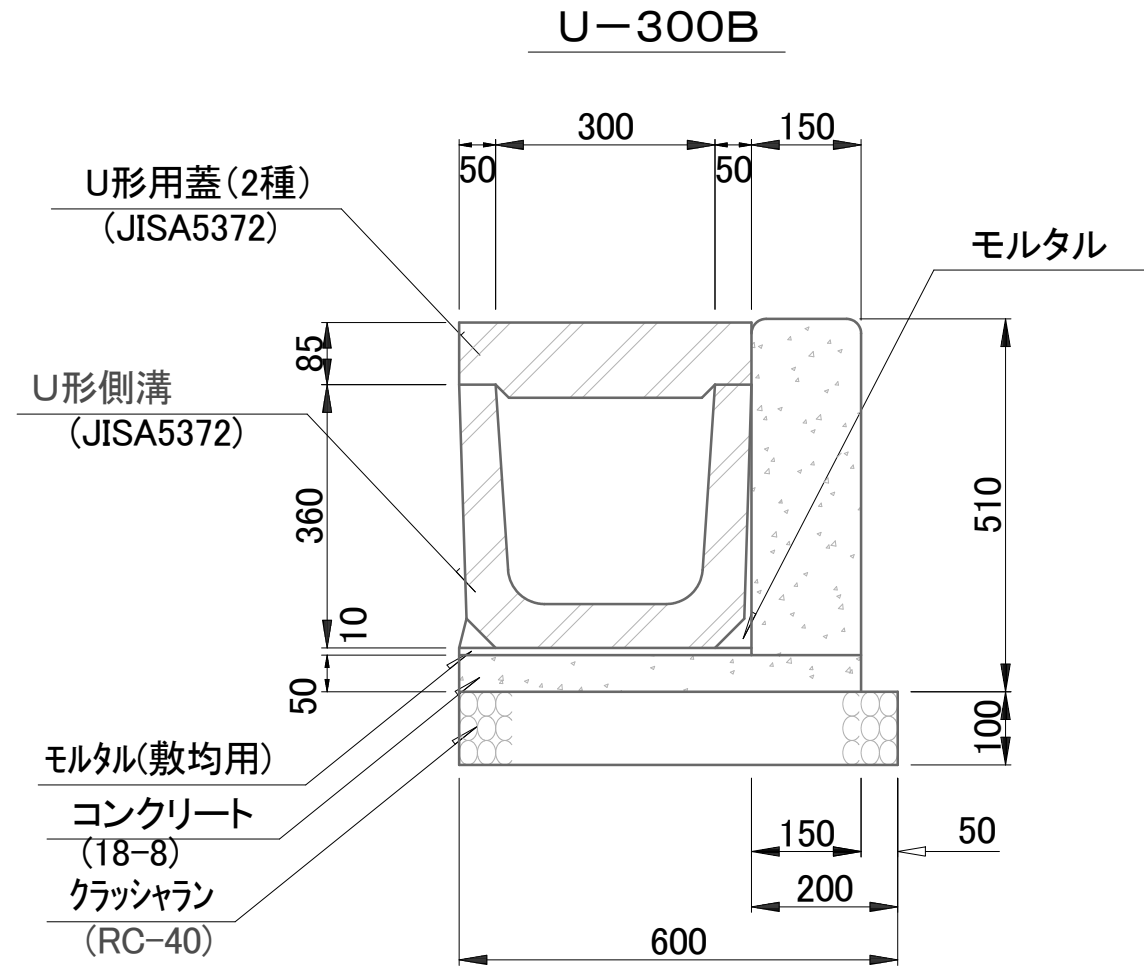
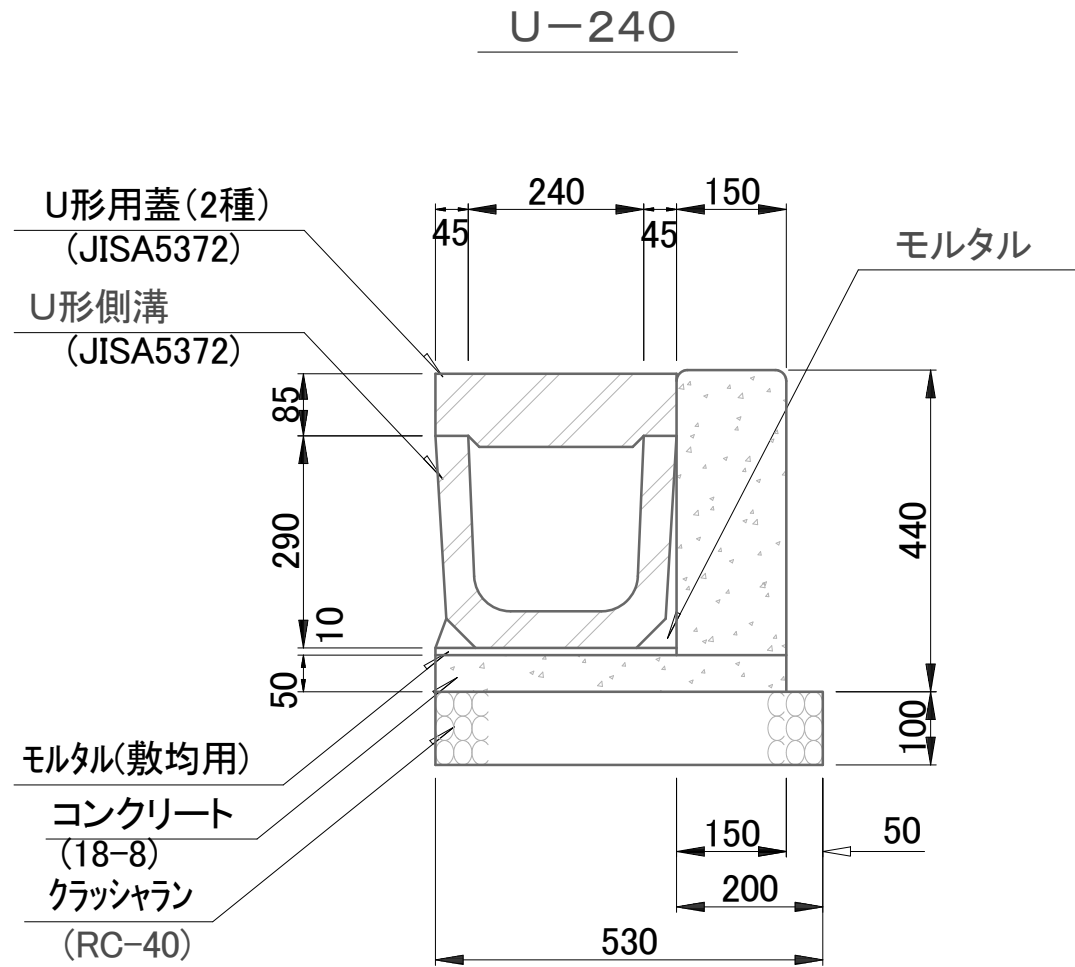
(10m当り)

呼び	U形本体	コンクリート	モルタル		クラッシュラン	型 枠		伸縮目地材
	(個)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)	
	JISA5372	18-8	敷均用	目地用	RC-40	小型構造物	均し型枠	(箇所/10m)
240	16.5	0.840	0.042	0.003	0.530	5.300	0.500	0.068
300B	16.5	0.993	0.050	0.004	0.600	6.000	0.500	0.079

特記事項

- ・製品はJISA5372に準拠すること。
- ・伸縮目地材は「樹脂発泡体(15倍発泡)」を標準仕様とする。

U形側溝(補強付)構造図



数量表

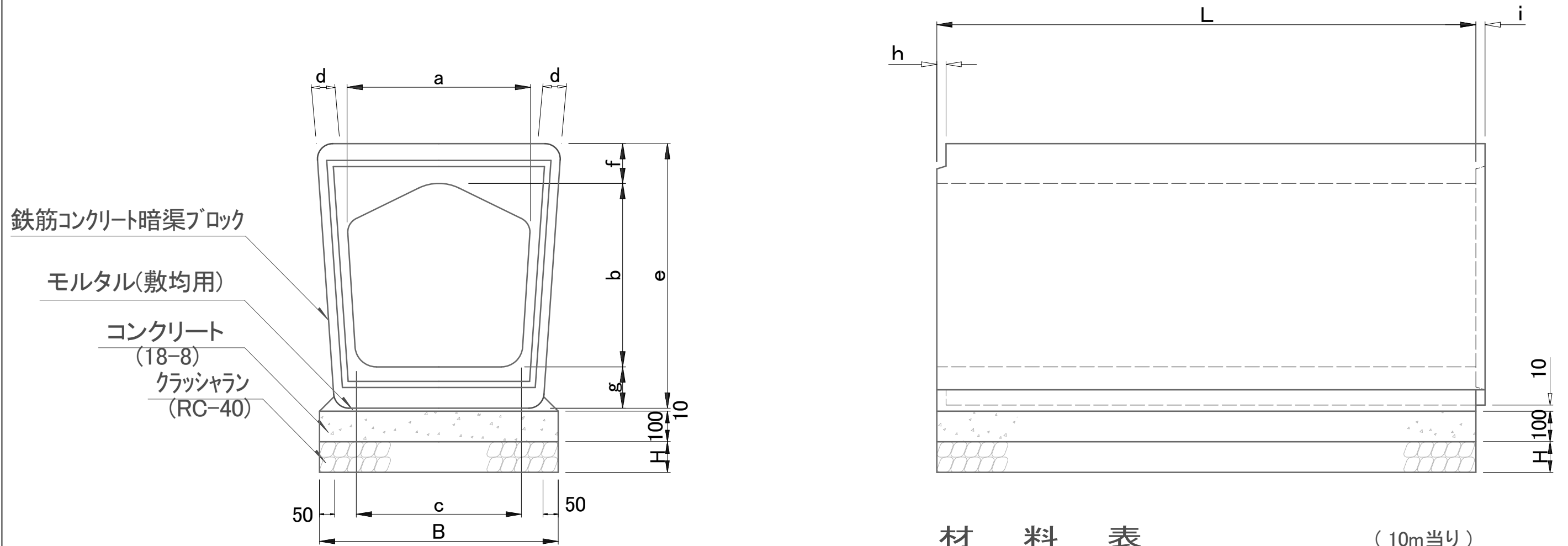
(10m当り)

呼び	U形本体 (個)	U形用蓋 (枚)	コンクリート (m ³)	モルタル (m ³)		クラッシュラン (m ³)	型 枠 (m ²)		伸縮目地材 (m ²)
	JISA5372	JISA5372	18-8	敷均用	目地用	(RC-40)	小型構造物	均し型枠	(箇所/10m)
240	16.5	16.7	0.840	0.042	0.003	0.530	5.300	0.500	0.068
300B	16.5	16.7	0.993	0.050	0.004	0.600	6.000	0.500	0.079

特記事項

- ・製品はJISA5372に準拠すること。
- ・伸縮目地材は「樹脂発泡体(15倍発泡)」を標準仕様とする。

U形側溝(補強付)構造図
(蓋付き)



材 料 表

(10m当り)

呼び名	暗渠ブロック(m)	モルタル (m ³) 敷均用	コンクリート(m ³) (18-8)	クラッシュラン(m ³) (RC-40)	型 枠 (m ²) 均し型枠
240	10.000	0.056	0.410	0.410	2.000
300	10.000	0.062	0.470	0.470	2.000
360	10.000	0.067	0.520	0.520	2.000
450	10.000	0.079	0.640	0.640	2.000
600	10.000	0.094	0.790	0.790	2.000

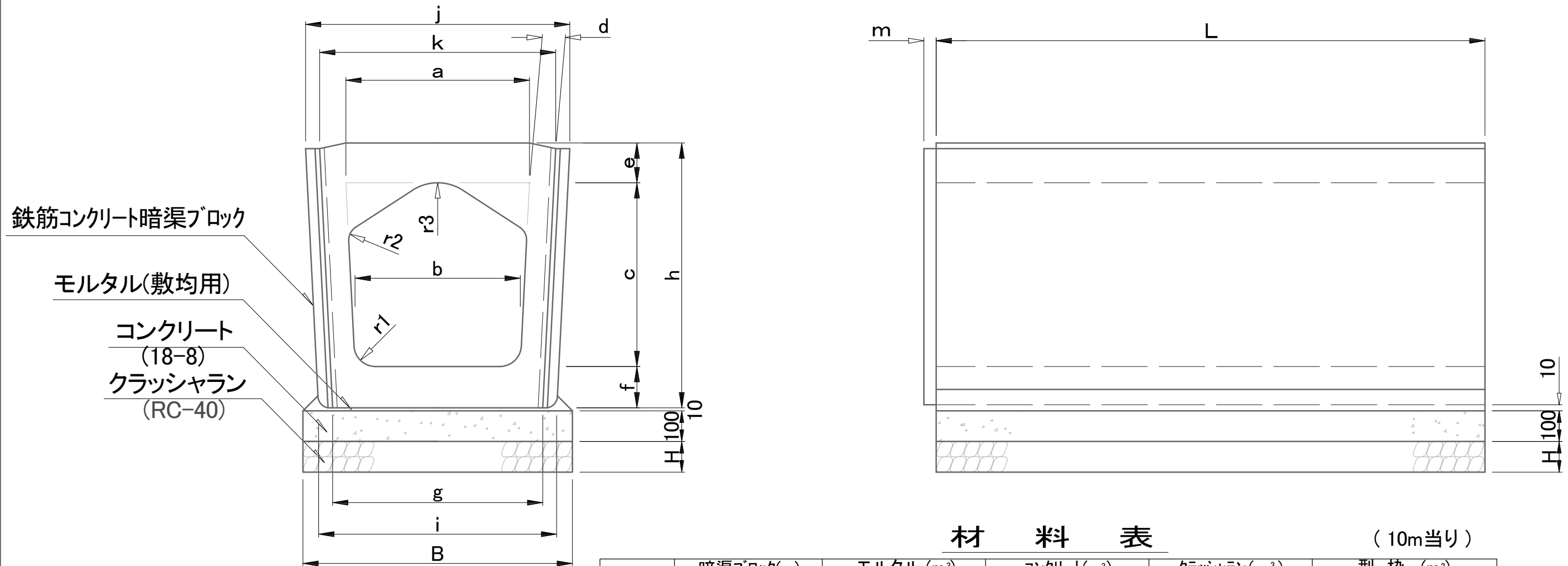
寸 法 表

(単位:mm)

呼び名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	L	B	H	参考質量(kg)
240	240	240	220	45	350	60	50	17	10	1000	410	100	155
300	300	300	260	60	420	60	60	27	18	1000	470	100	220
360	360	360	310	60	500	75	65	27	20	1000	520	100	297
450	450	450	400	75	625	85	90	27	20	1000	640	100	450
600	600	600	540	80	865	130	135	27	20	1000	790	100	775

特
記
事
項

横断暗渠布設図(1)T-25
(神奈川県コンクリート製品
共同組成型 TYPE I)



材 料 表

(10m当り)

呼び名	暗渠ブロック(m)	モルタル (m ³) 敷均用	コンクリート(m ³) (18-8)	クラッシュラン(m ³) (RC-40)	型 枠 (m ²) 均し型枠
240	10.000	0.065	0.500	0.500	2.000
300	10.000	0.070	0.550	0.550	2.000
360	10.000	0.077	0.620	0.620	2.000
450	10.000	0.087	0.720	0.720	2.000
600	10.000	0.103	0.880	0.880	2.000

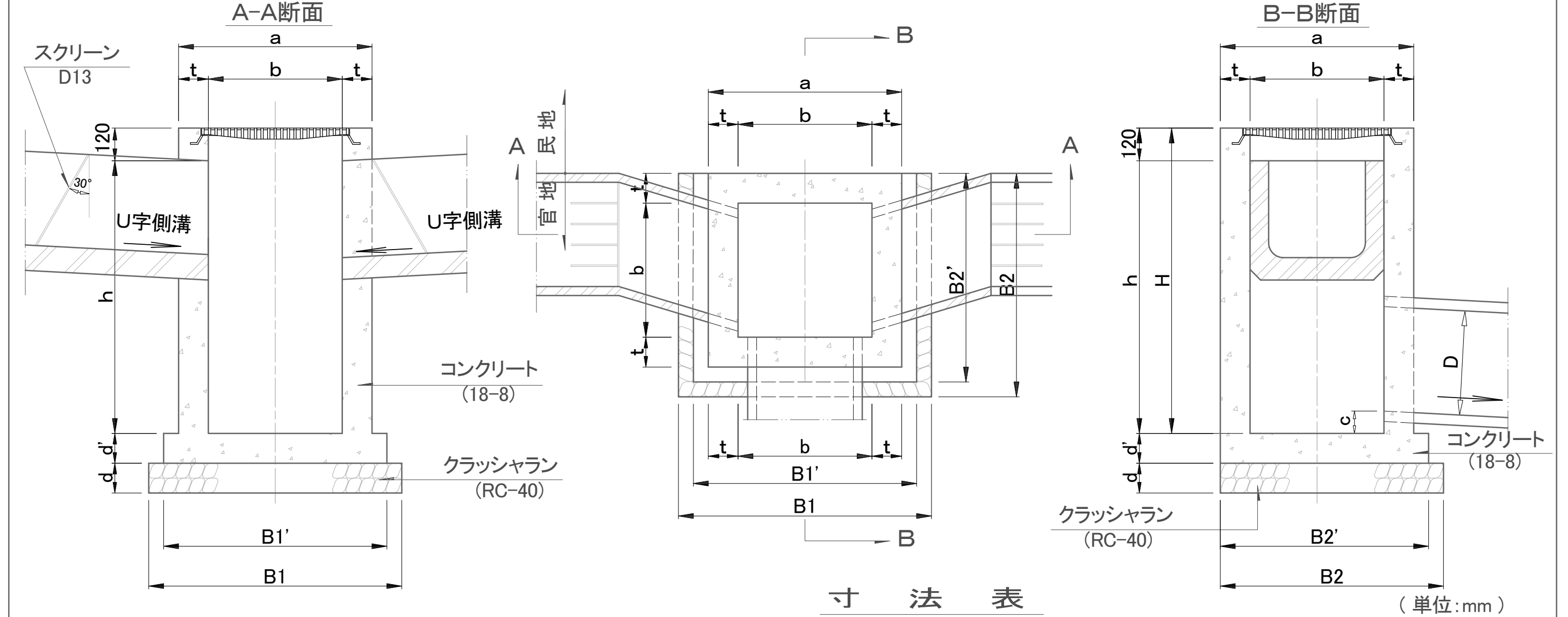
寸 法 表

(単位:mm)

呼び名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	L	m	r1	r2	r3	B	H	参考質量(kg)
240	240	220	240	50	60	50	320	350	395	420	345	1000	20	50	50	90	500	100	160
300	300	260	300	60	60	60	375	420	450	480	425	1000	20	50	50	110	550	100	197
360	360	310	360	70	75	65	430	500	517	585	495	1000	20	50	50	110	620	100	298
450	450	400	450	70	85	90	530	625	620	685	595	1000	20	70	50	130	720	100	461

特
記
事
項

横断暗渠布設図(2)T-14
(神奈川県コンクリート製品
共同組合型 TYPE II
・呼び名240~450)

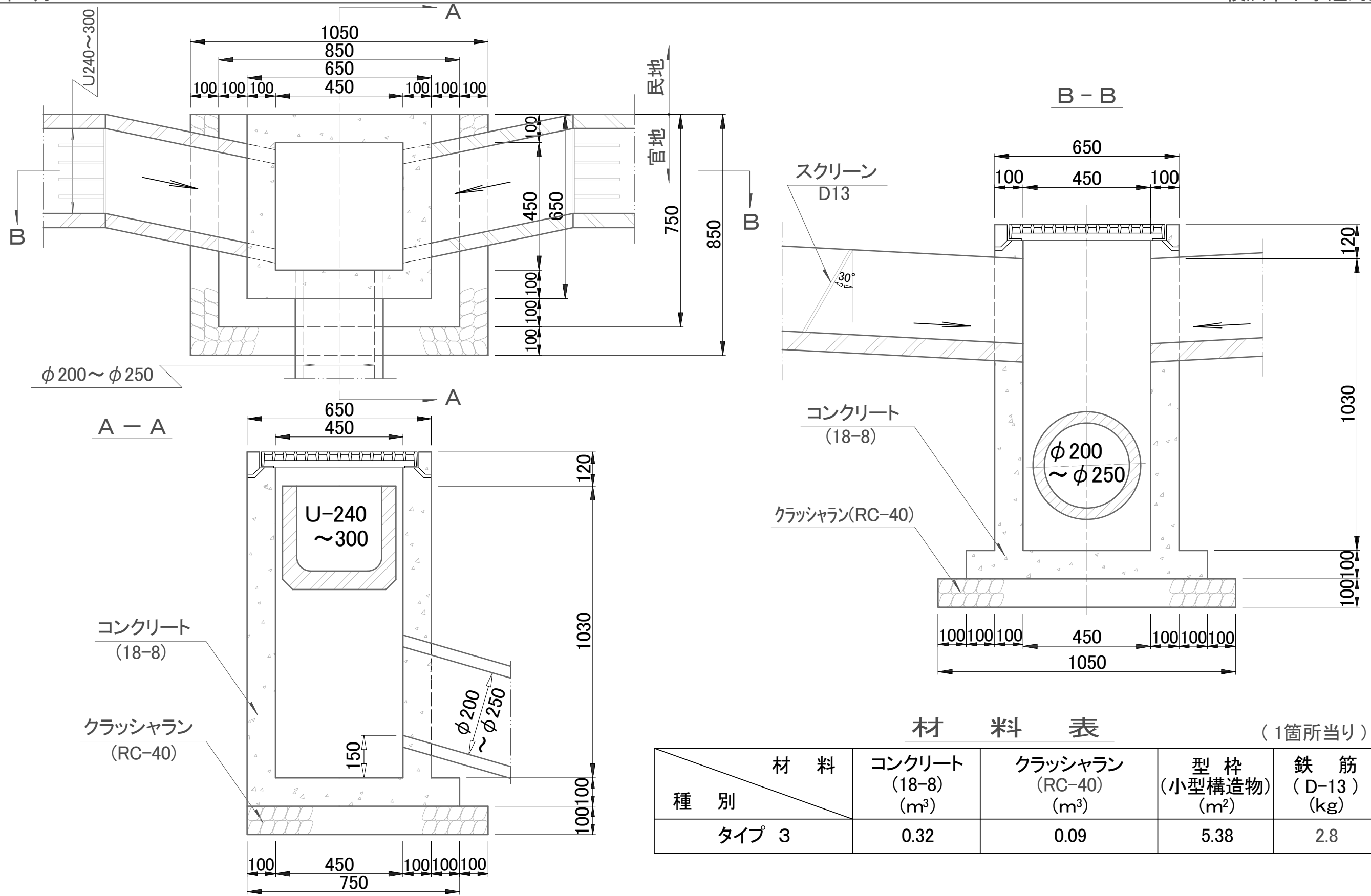


形状寸法	a	b	t	B1	B2	B1'	B2'	c	d	d'	h	H
タイプ 1	900	600	150	1300	1100	1100	1000	150	150	150	1730	1850
タイプ 2	1300	900	200	1700	1500	1500	1400	150	200	200	1930	2050

材 料 表 (1箇所当り)				
材 料	コンクリート (18-8) (m³)	クラッシュラン (RC-40) (m³)	型 枠 (小型構造物) (m²)	鉄 筋 (D-13) (kg)
タイプ 1	1.00	0.21	11.73	2.8
タイプ 2	2.22	0.51	19.20	3.5

特記事項 1. 直上を車両が通行する場所には設置することができない。

タイプ1及びタイプ2
集水柵構造図



材 料 表 (1箇所当り)

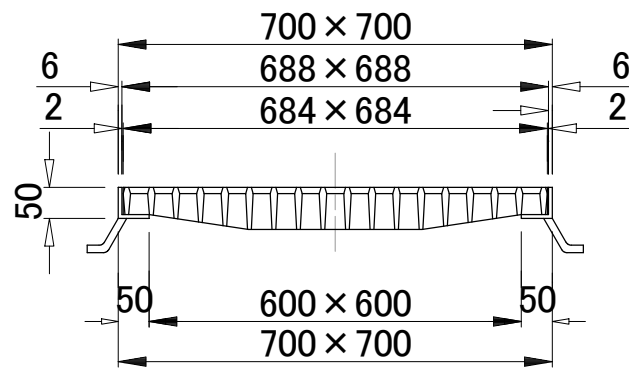
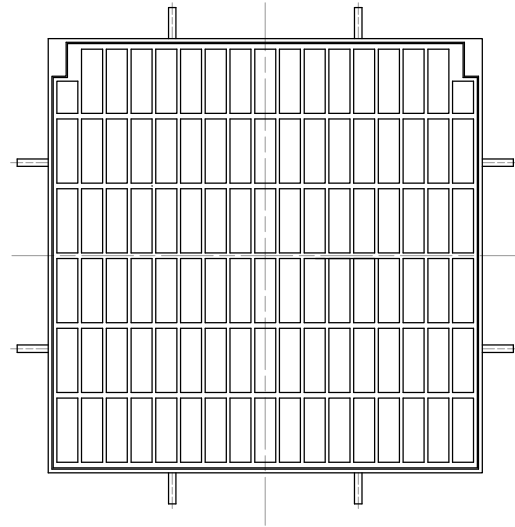
種 別	材 料	コンクリート (18-8) (m ³)	クラッシュラン (RC-40) (m ³)	型 枠 (小型構造物) (m ²)	鉄 筋 (D-13) (kg)
タイプ 3		0.32	0.09	5.38	2.8

特記事項

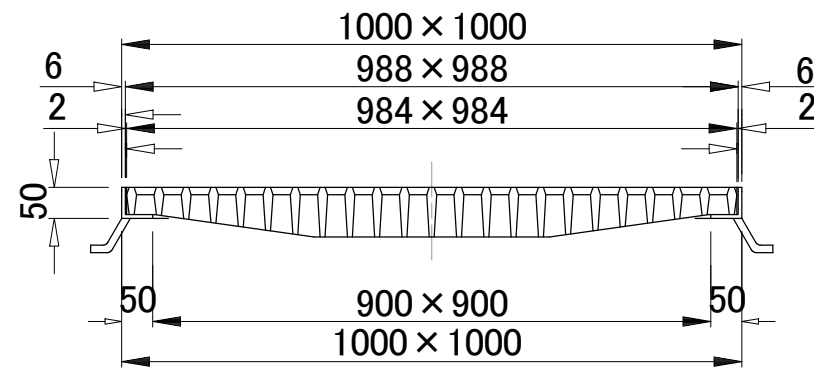
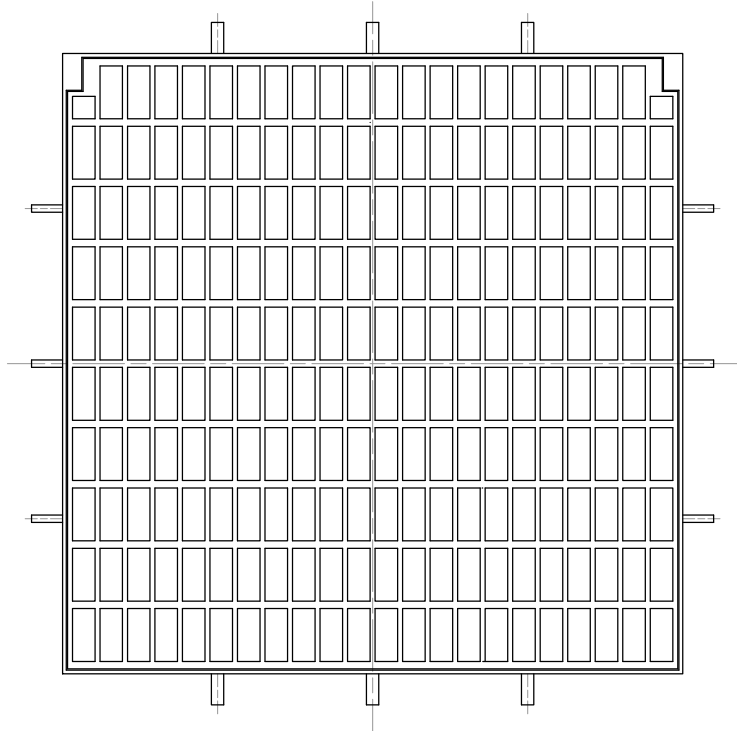
1. 直上を車両が通行する場所には設置することができない。

タイプ3集水柵構造図

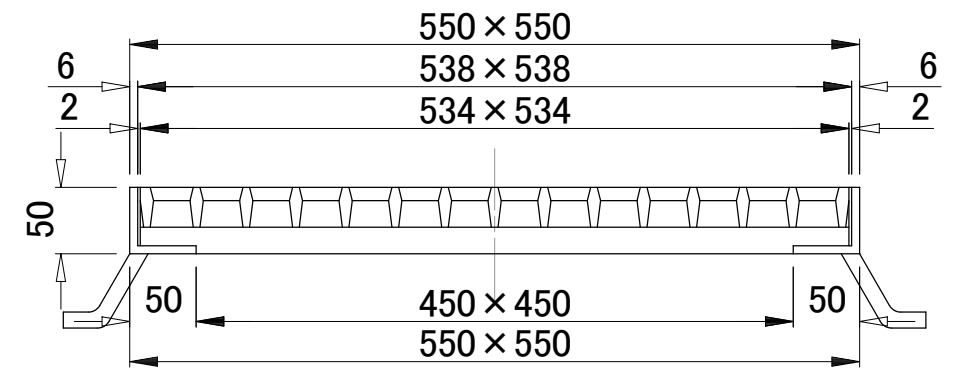
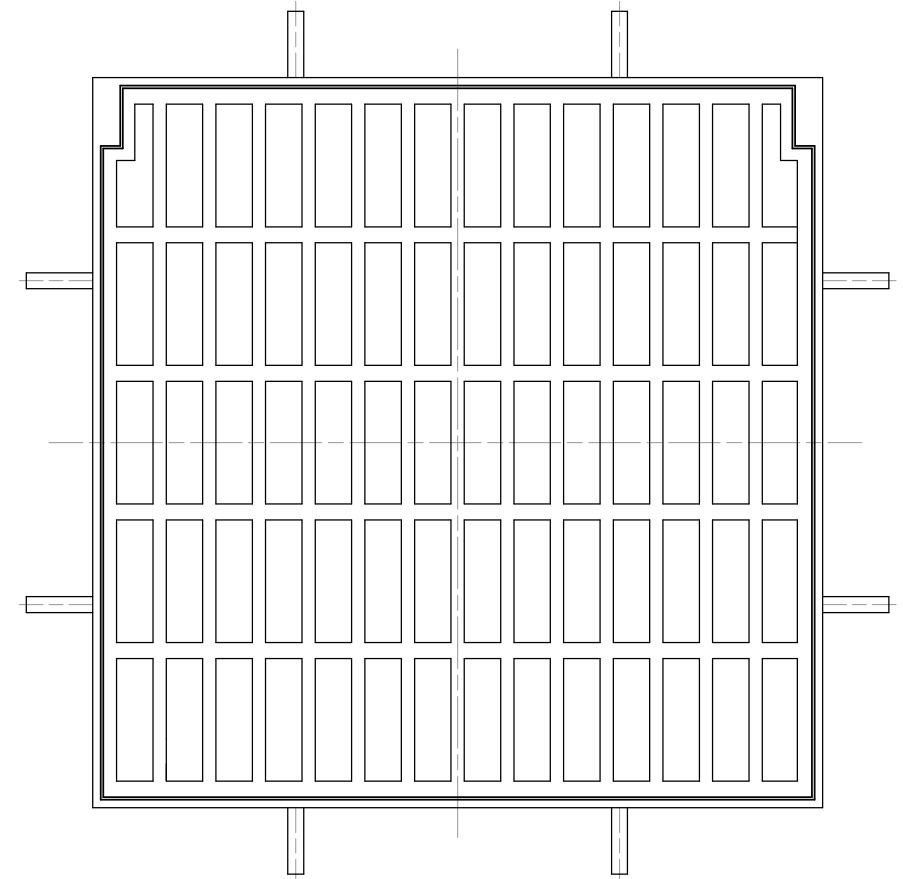
タイプ 1



タイプ 2



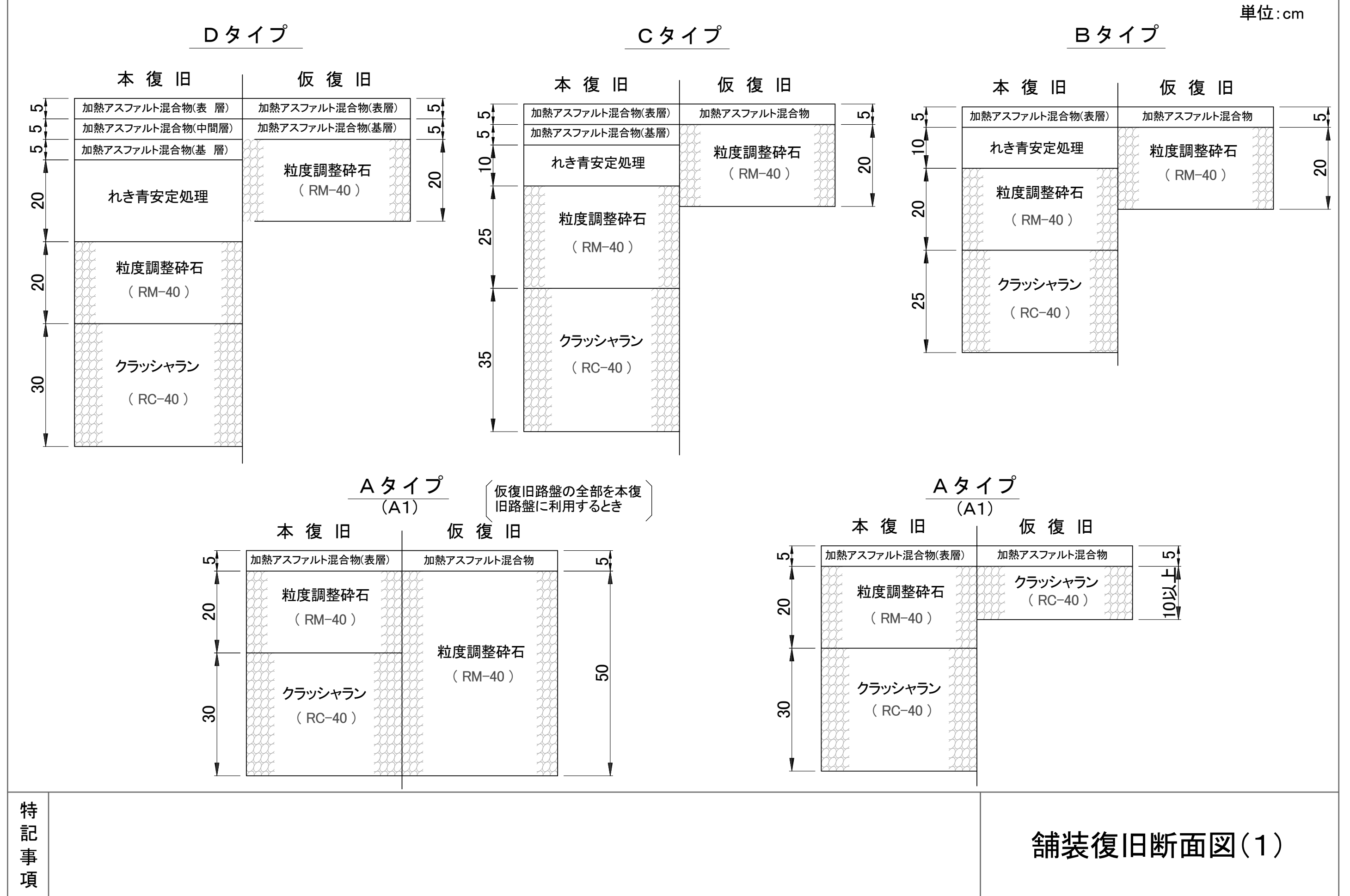
タイプ 3



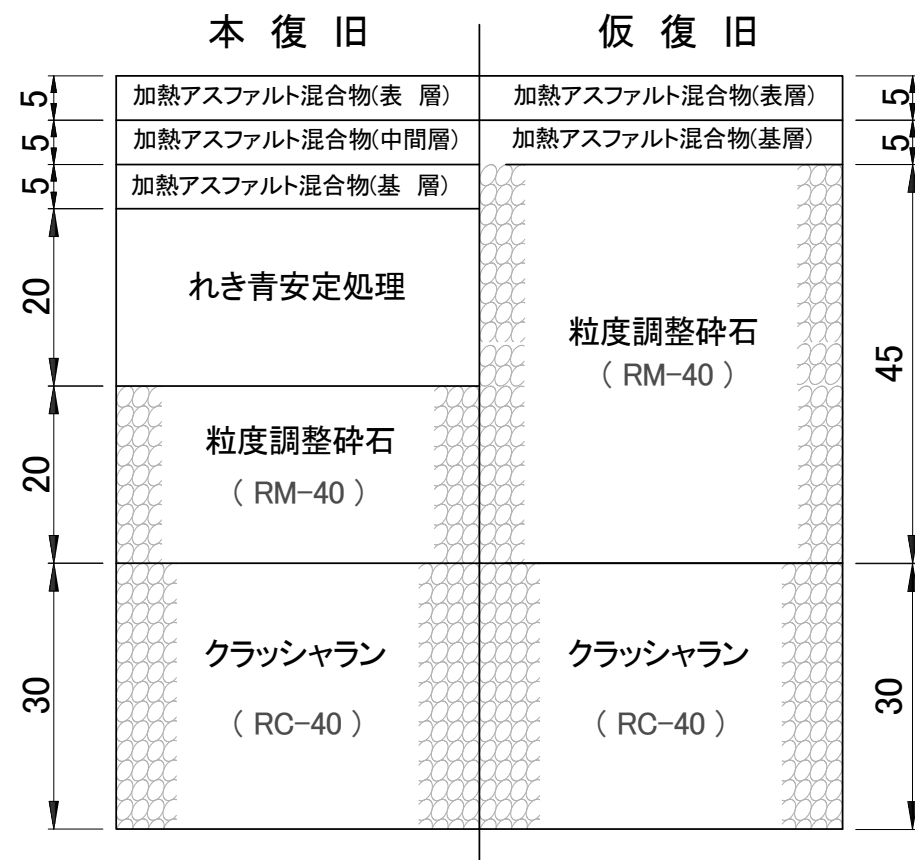
特記事項 注)設置時注意

材質	グレーチング蓋 FCD600 SS400
載荷重	T-14 i=0.4

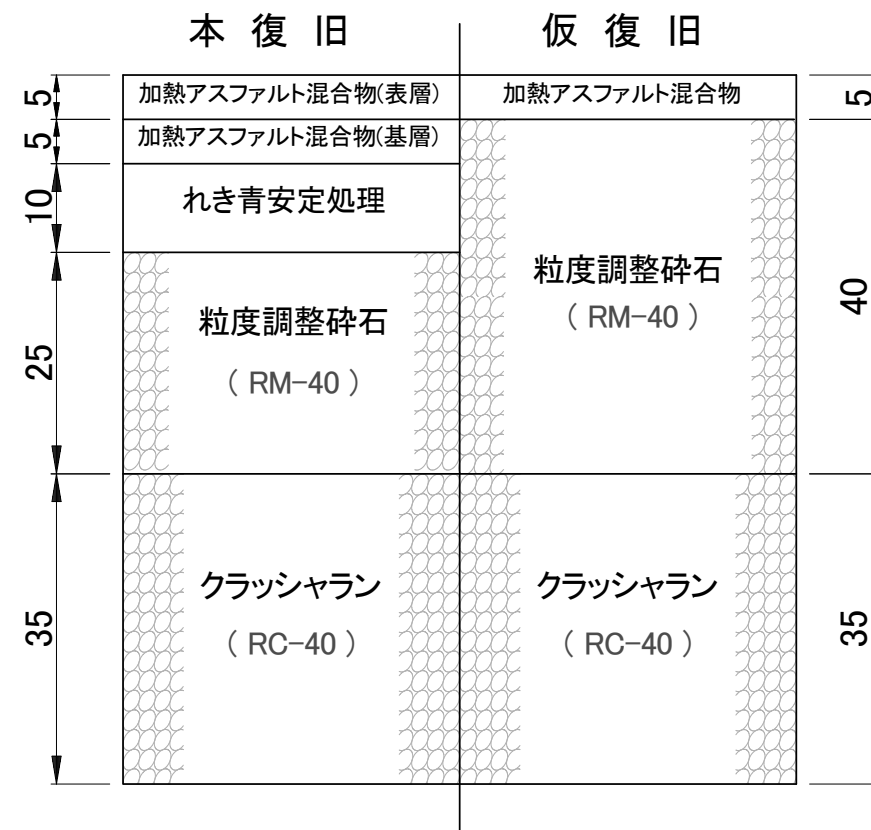
タイプ1～タイプ3
集水柵グレーチング構造図



Dタイプ (仮復旧路盤を本復旧路盤に利用するとき)



Cタイプ (仮復旧路盤を本復旧路盤に利用するとき)



Bタイプ (仮復旧路盤を本復旧路盤に利用するとき)



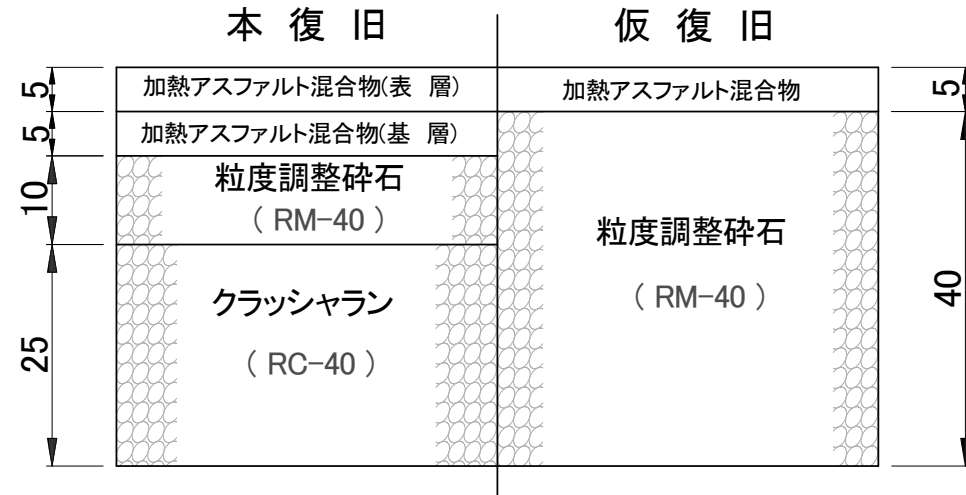
特記事項

舗装復旧断面図(2)

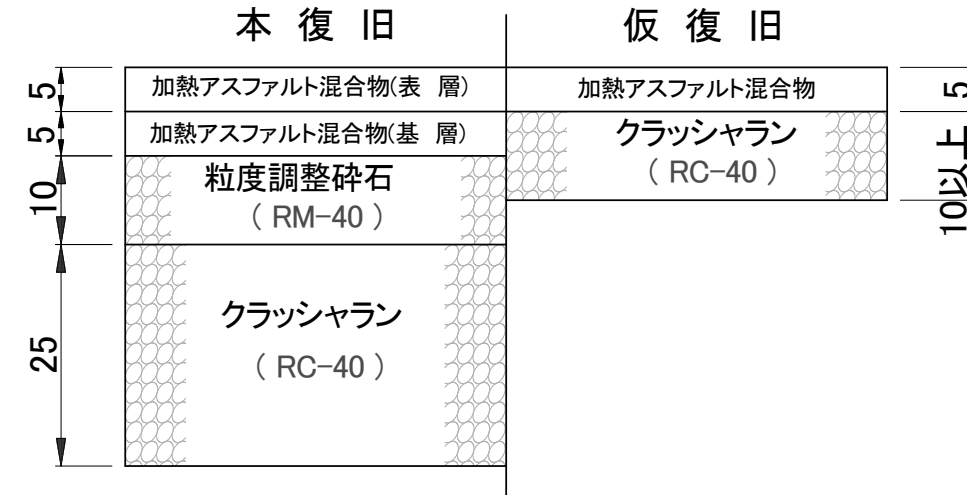
単位: cm

Aタイプ
(A2)

〔仮復旧路盤の全部を本復旧路盤に利用するとき〕

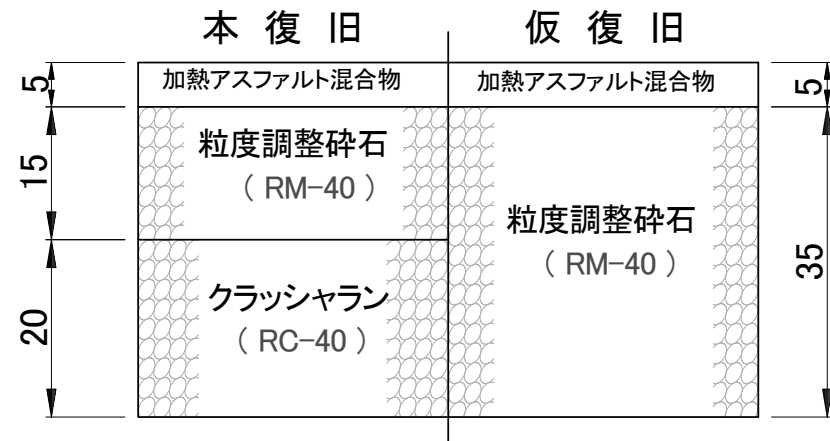


Aタイプ
(A2)

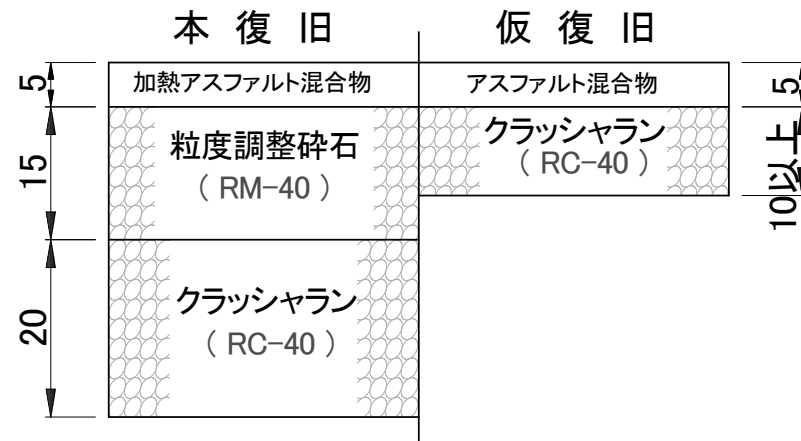


Lタイプ

〔仮復旧路盤の全部を本復旧路盤に利用するとき〕



Lタイプ



Rタイプ



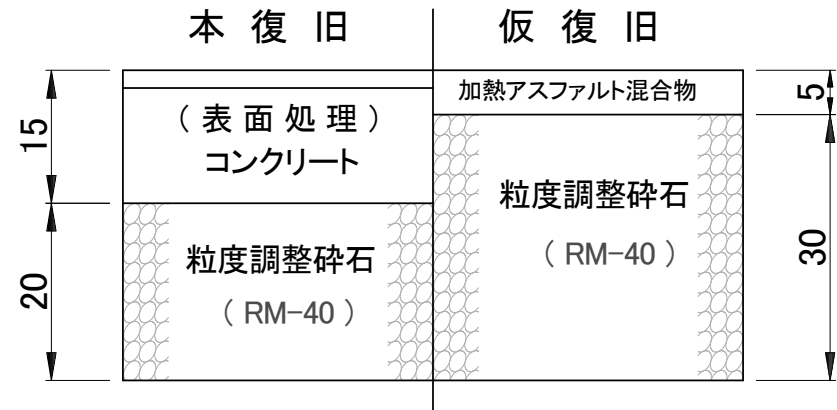
特記事項

舗装復旧断面図(3)

単位: cm

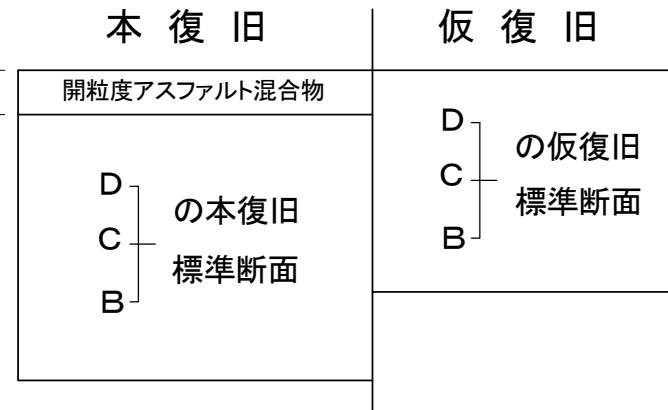
S(1)タイプ

〔縦断勾配が10%以上で
L交通以下るとき〕



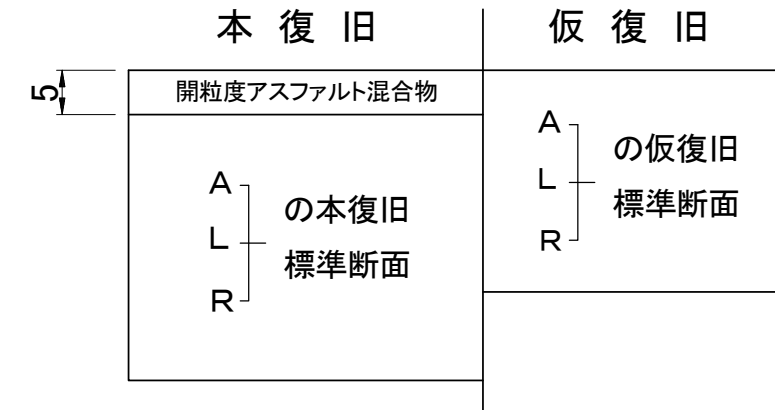
S(2)タイプ

〔縦断勾配が7%以上
10%未満で
B交通以上るとき〕



S(3)タイプ

〔縦断勾配が7%以上
10%未満で
A交通以下るとき〕



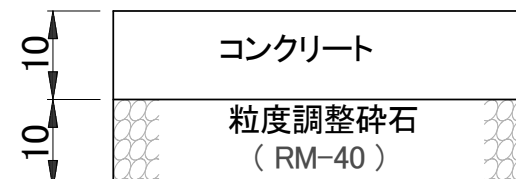
Xタイプ

本復旧



Yタイプ

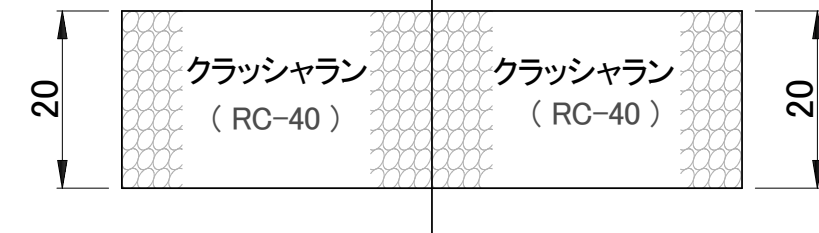
本復旧



Gタイプ

本復旧

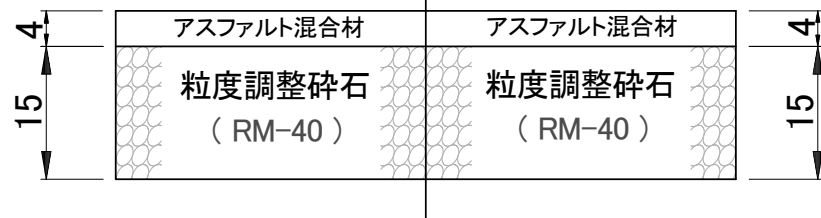
仮復旧



Wタイプ

本復旧

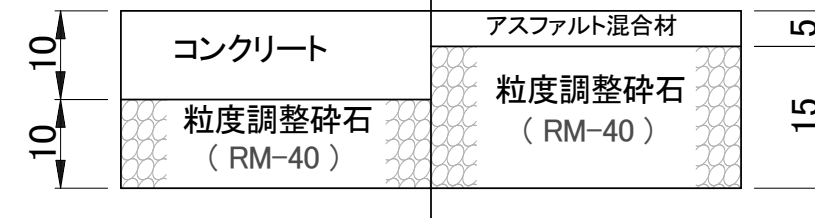
仮復旧



Zタイプ

本復旧

仮復旧



特記事項

舗装復旧断面図(4)

L 交通未満

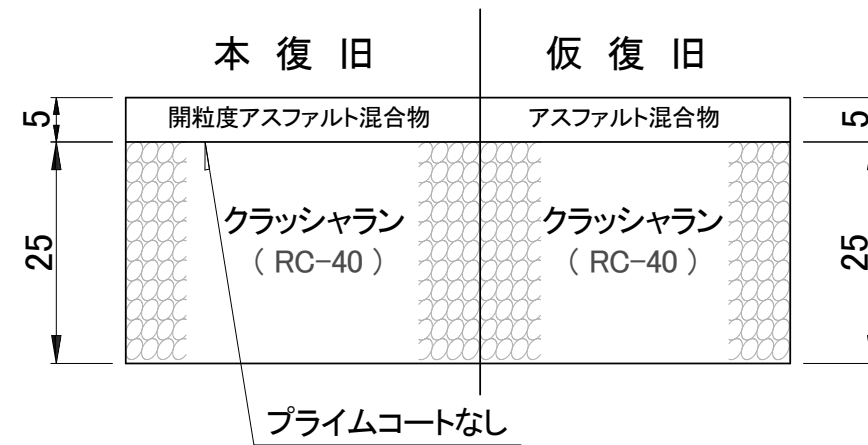
(一般部)

単位:cm



(透水性のある舗装)

単位:cm



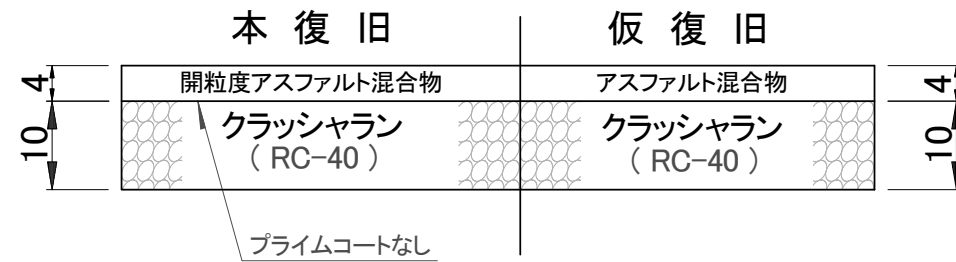
特記事項

舗装復旧断面図(5)

単位:cm

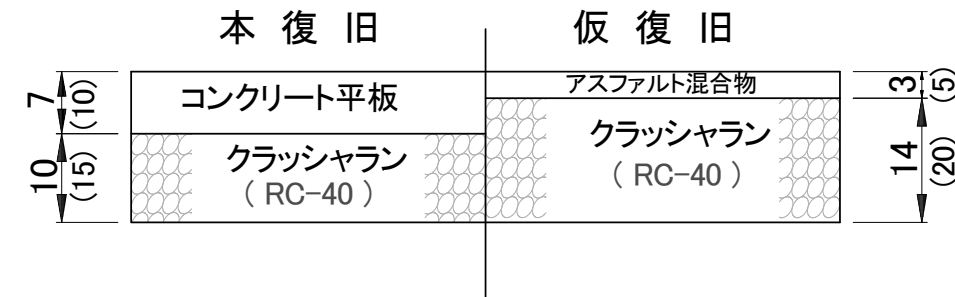
Qタイプ

歩道舗装(一般部)
(透水性のある舗装)



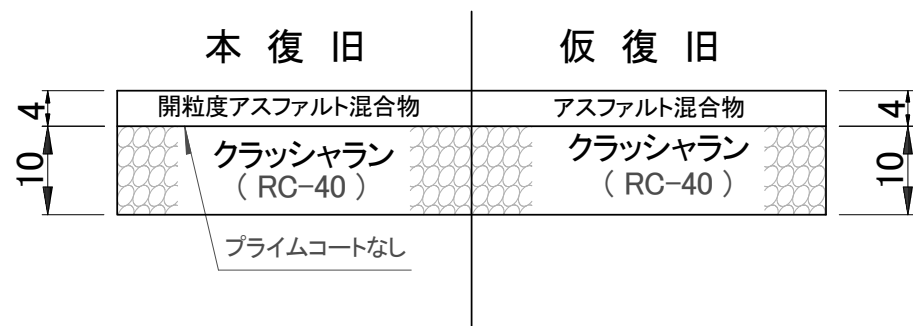
CQタイプ

歩道舗装(一般部)



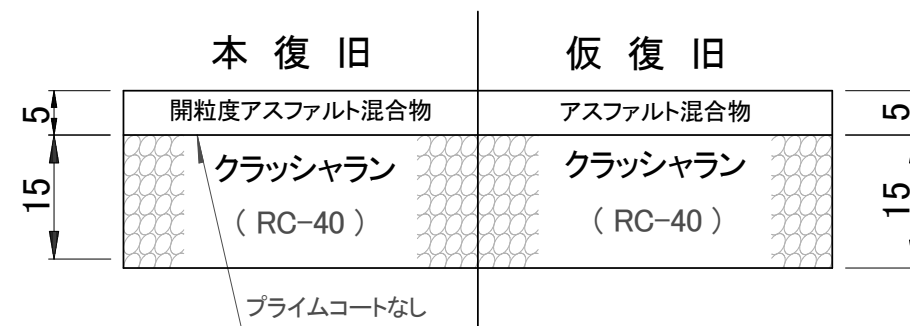
Qaタイプ

歩道舗装(自動車乗入れ部)
個人住宅用、2t未満



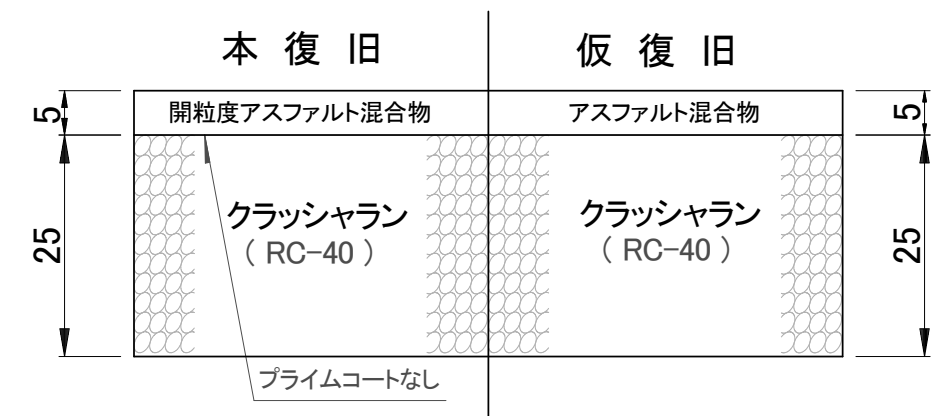
Qbタイプ

歩道舗装(自動車乗入れ部)
駐車場等、2t未満



Qcタイプ

歩道舗装(自動車乗入れ部)
2t積トラック等
2t以上4.5t未満



特記事項

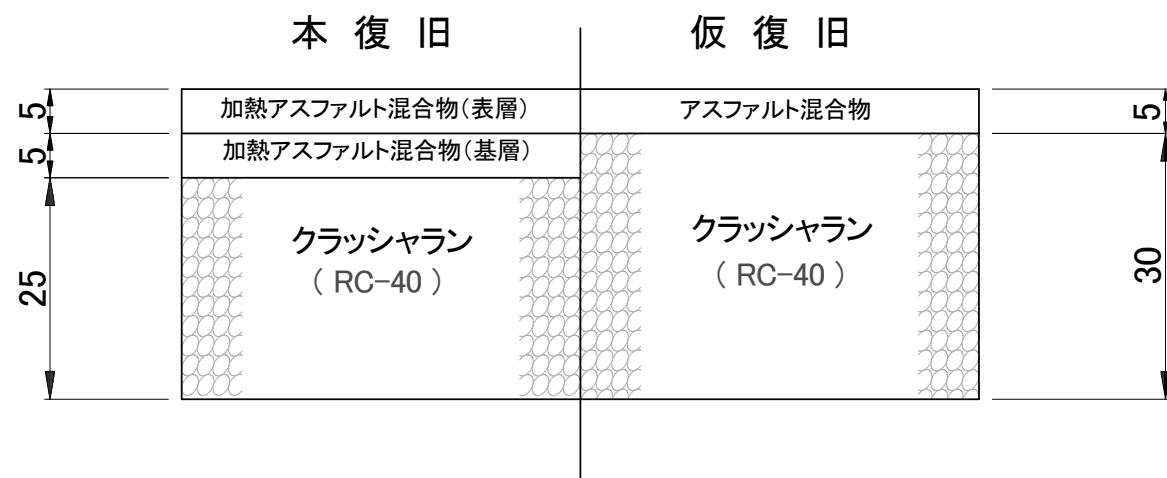
- 注) 1. 総重量:車両重量+最大積載量+乗車定員重量(1名55kgf)
2. 上記の舗装構成は、乗入れ幅員(切下げ部)の範囲とし、すり付部は歩道一般部と同一構成とする。
3. 特殊車は、その車両の総重量により、a~eの区分を行うこと。

舗装復旧断面図(6)

単位:cm

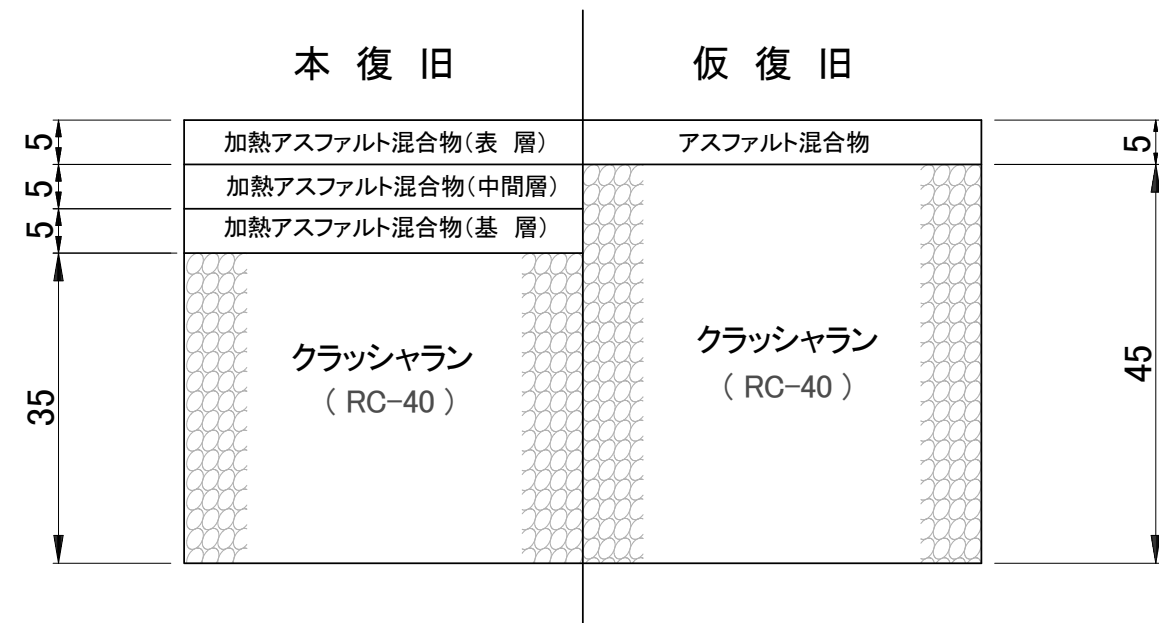
Qd タイプ

歩道舗装(自動車乗入れ部)
4t積トラック小型バス等
4.5t以上8t未満



Qe タイプ

歩道舗装(自動車乗入れ部)
8t積トラック大型バス等
8t以上20t未満

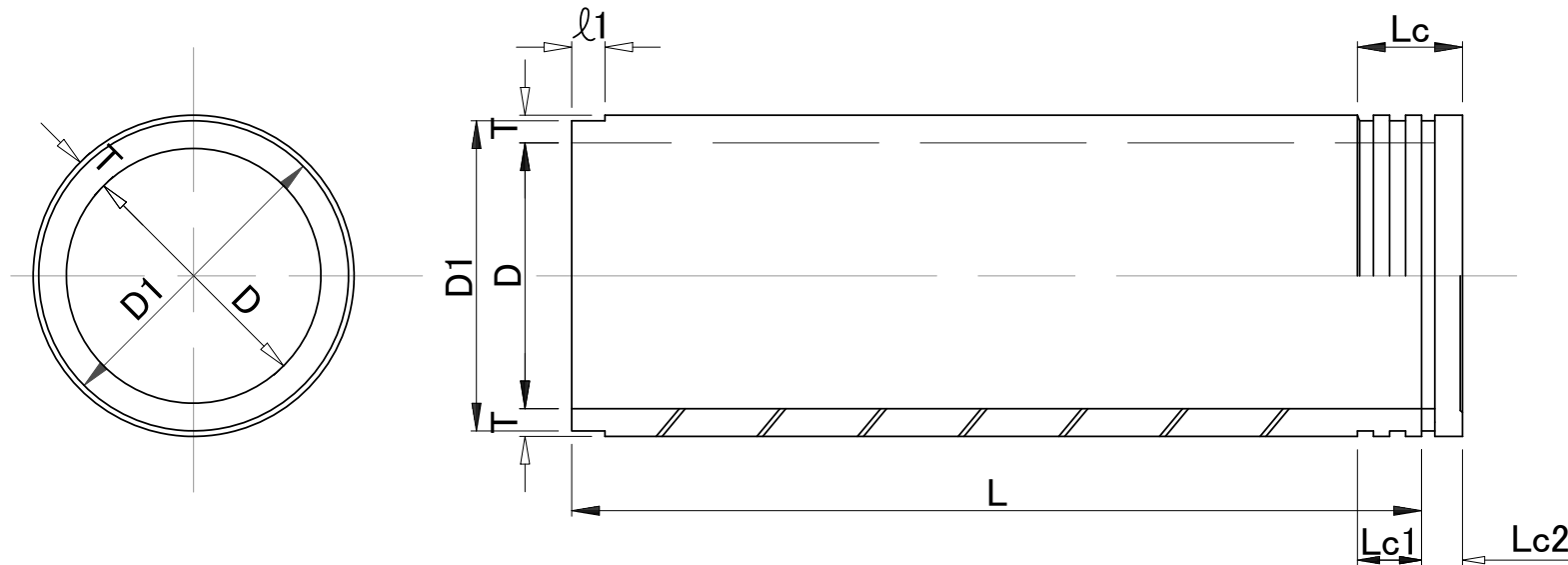


特記事項

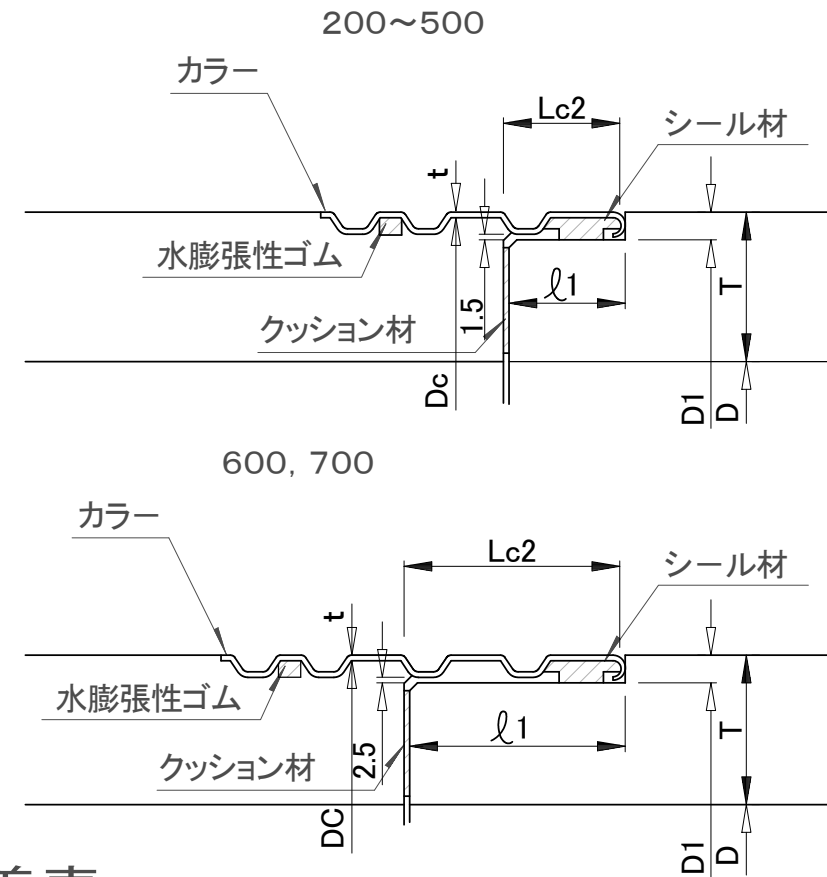
- 注) 1. 総重量: 車輻重量+最大積載量+乗車定員重量(1名55kgf)
2. 上記の舗装構成は、乗入れ幅員(切下げ部)の範囲とし、すり付部は歩道一般部と同一構成とする。
3. 特殊車は、その車輻の総重量により、a~eの区分を行うこと。

舗装復旧断面図(7)

標準管の形状



標準管の管端部詳細



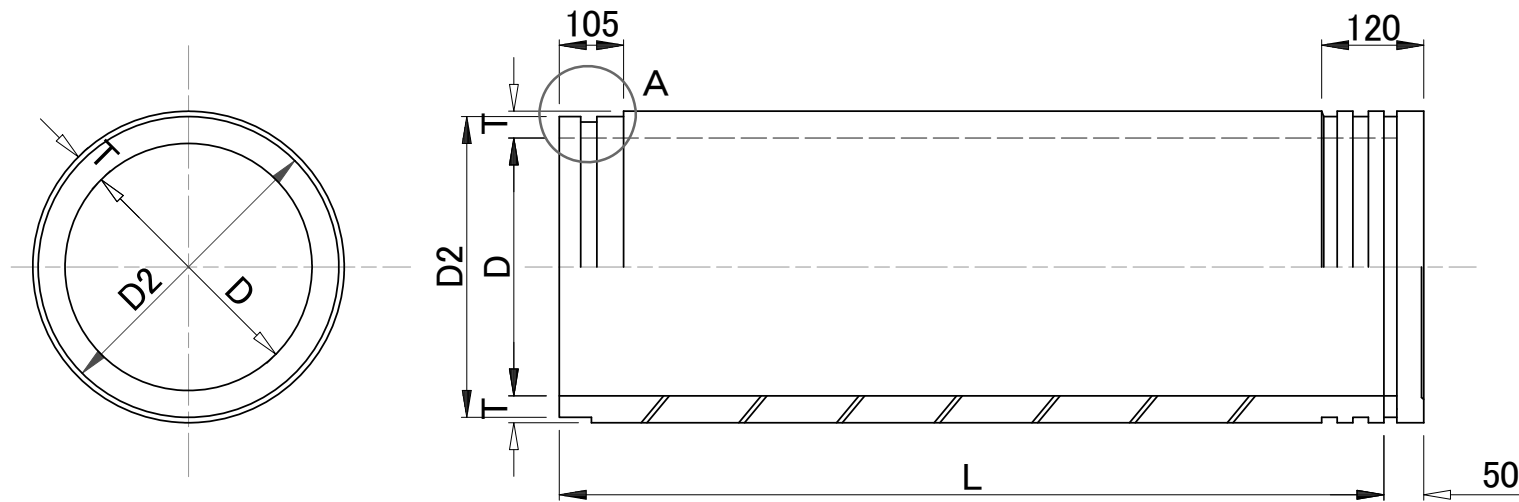
寸法表・外圧強さ及び寸法許容差表

呼び径	寸 法 表 (mm)												外圧強さ (kN/m(kgf/m))					
	内 径 D	D1	$\pi D1$	厚 さ T	有効長 L	l1	Lc	Lc1	Lc2	t	Dc	$\pi \cdot (Dc+2t)$	ひび割荷重		破 壊 荷 重			
													1 種	2 種	1 種	2 種		
200	200±3	298±2	936±3	59 +4,-2	2000 +10 -5	51 +3 -1	120 +5 -2	70	50±2	1.5	313	993±3	31.4(3,200)	62.8(6,400)	47.1(4,800)	94.2(9,600)		
250	250±3	340±2	55 +4,-2	355									1125±3	32.4(3,300)	64.8(6,600)	49.1(5,000)	97.1(9,900)	
300	300±4	394±2	57 +4,-2	409									1294±3	34.4(3,500)	68.7(7,000)	52.0(5,300)	103(10,500)	
350	350±4	450±2	1414±3	60 +4,-2	2430 +10 -5	81 +3 -1	170 +5 -2	90	80±2	2.0	754	2381±3	37.3(3,800)	74.6(7,600)	55.9(5,700)	112(11,400)		
400	400±4	506±2	1590±3	63 +4,-2									521	1646±3	39.3(4,000)	78.5(8,000)	58.9(6,000)	118(12,000)
450	450±4	564±2	1772±3	67 +4,-2									579	1828±3	42.2(4,300)	84.4(8,600)	63.8(6,500)	127(12,900)
500	500±4	620±2	1948±3	70 +4,-2									635	2004±3	44.2(4,500)	88.3(9,000)	66.7(6,800)	133(13,500)
600	600±4	736±2	2312±3	80 +4,-2	81 +3 -1	170 +5 -2	90	80±2	2.0	754	2381±3	46.1(4,700)	92.2(9,400)	69.7(7,100)	138(14,000)			
700	700±4	856+3,-2	2689±3	90 +4,-2								874	2758±3	48.1(4,900)	96.2(9,800)	72.6(7,400)	143(14,500)	

特記事項

小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(標準管)
規格図・寸法表・外圧強さ及び寸法許容差表
(JSWAS A-6)

先頭管の形状の一例

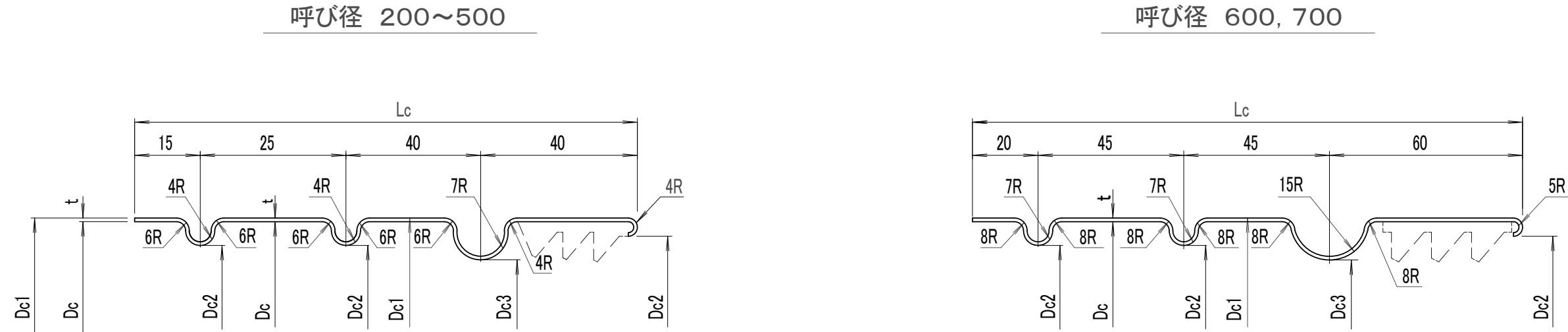


特記事項

- ・先頭管の差口は、先導体の後部と水密性を保ちながら接合できる形状に加工されており、その形状寸法及び寸法の許容差は製造者の規格によるが、有効長は標準管と同じか、やや短いのが一般的である。
- ・先頭管の管端部詳細図、寸法表等は日本下水道規格(JSWAS A-6) 参考資料を参照。

小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管
(先頭管)規格図
(JSWAS A-6)

小口径推進管用カラーの形状



カラー寸法及び許容差表

(単位:mm)

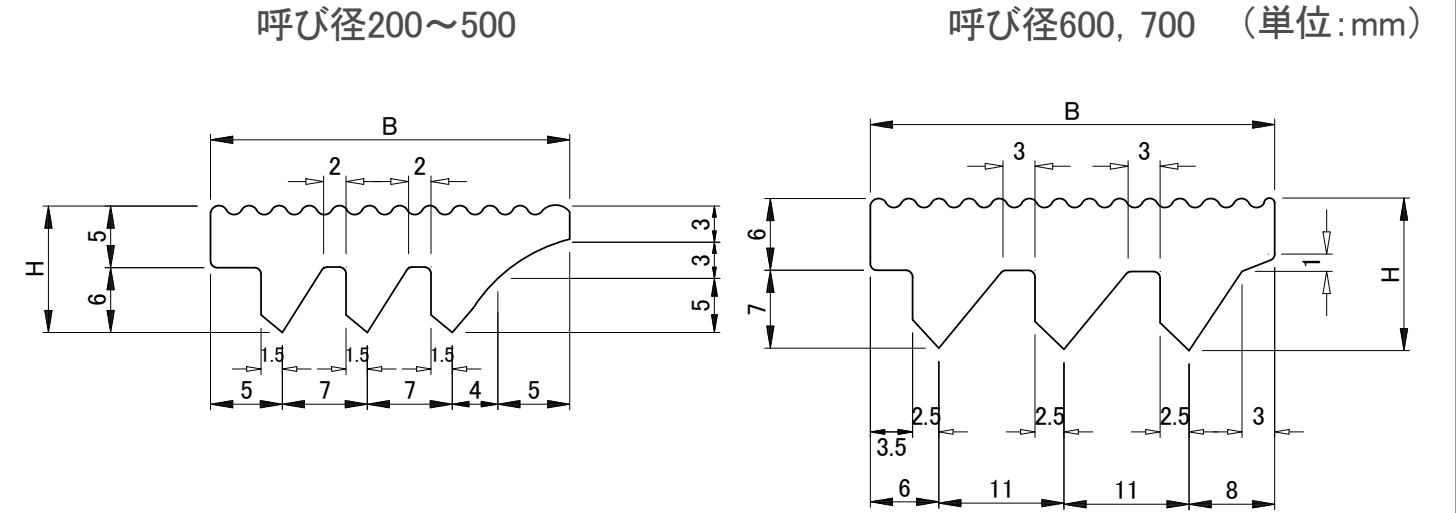
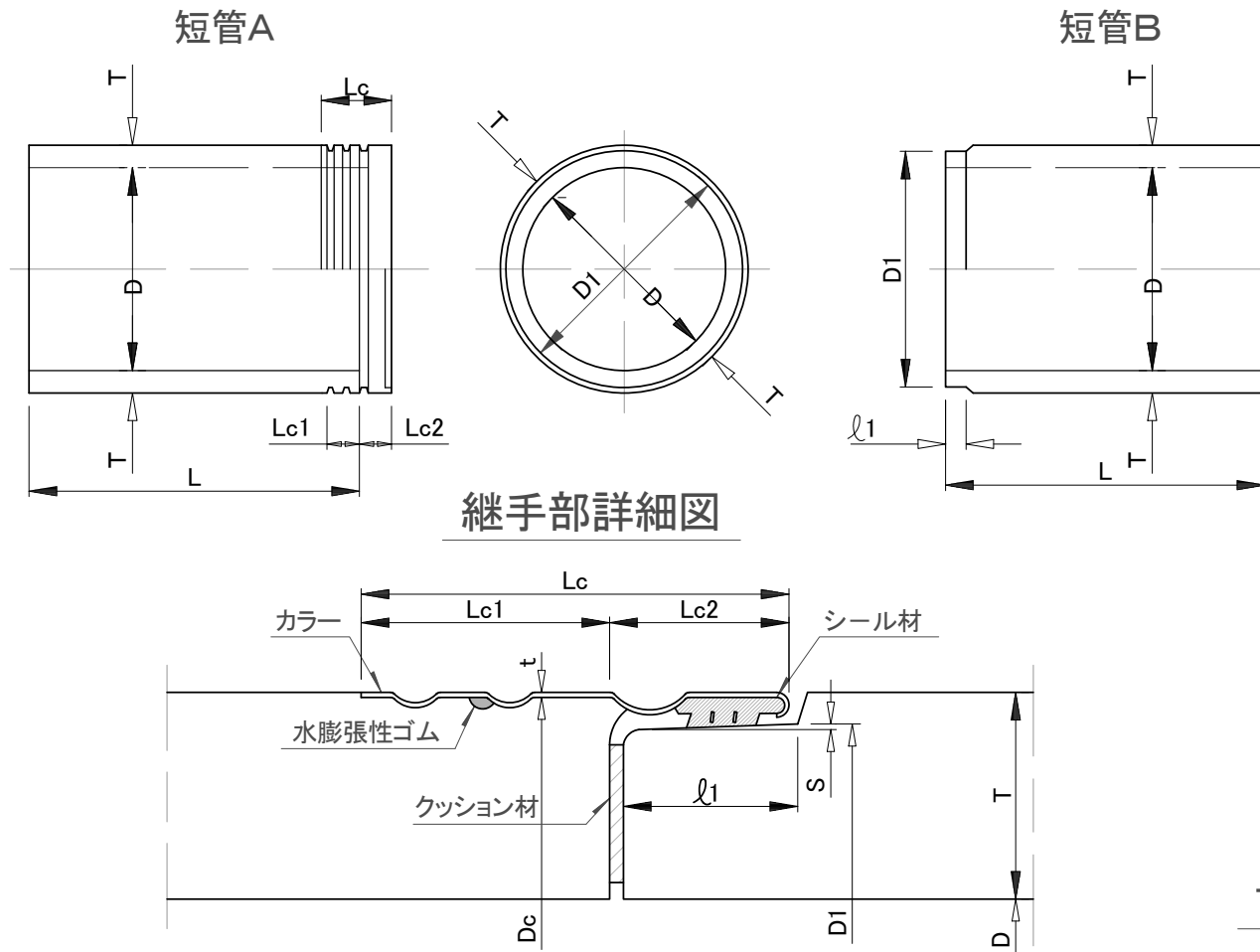
呼び径	Dc	Dc1	Dc2	Dc3	厚さ t	長さ Lc
200	313	316	300	297	1.5	120 +5 -2
250	355	358	342	339		
300	409	412	396	393		
350	465	468	452	449		
400	521	524	508	505		
450	579	582	566	563		
500	635	638	622	619	2.0	170 +5 -2
600	754	758	738	735		
700	874	878	858	855		

特記事項

小口径管推進工法用
鉄筋コンクリート管用カラー部規格図
(JSWAS A-6)

短管A及び短管Bの形状・寸法及び寸法の許容差

ゴム輪の形状、寸法及び寸法の許容差



呼び径	B	H	長さ(%)
200~500	28±1	11±0.5	ゴム輪装着部
600, 700	36±1	13±0.5	周長の102±1

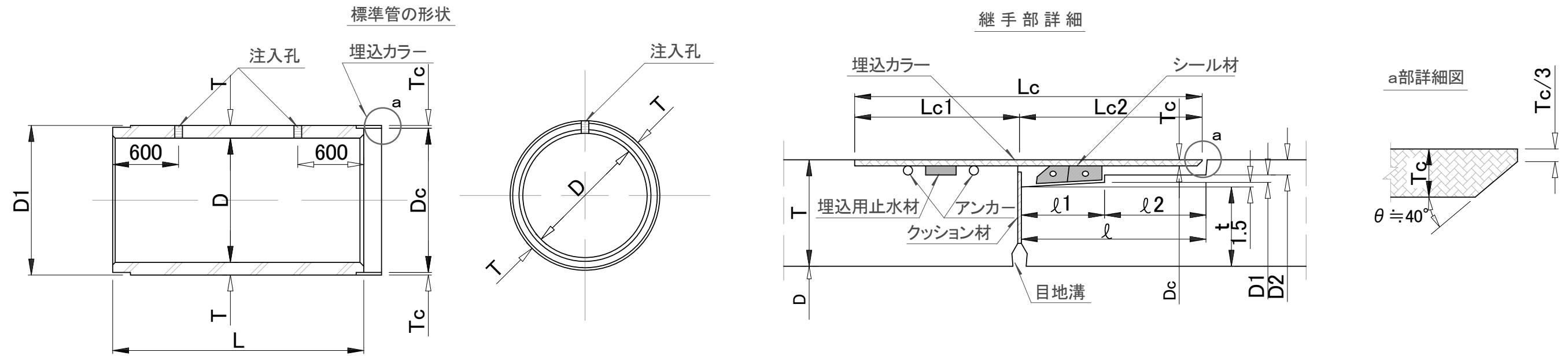
寸法表

(単位:mm)

呼び径	内径 D	D1	$\pi D1$	厚さ T	有効長 L	$l1$	S	Lc	Lc1	Lc2	t	Dc	$\pi \cdot (Dc+2t)$	Dc1	Dc2	Dc3
200	200±3	298±2	936±3	59 ⁺⁴ ₋₂	990 ⁺²⁰ ₋₁₀	51 ⁺³ ₋₁	1.5	120 ⁺⁵ ₋₂	70	50±2	1.5	313	993±3	316	300	297
250	250±3	340±2	1068±3	55 ⁺⁴ ₋₂								355	1125±3	358	342	339
300	300±4	394±2	1238±3	57 ⁺⁴ ₋₂								409	1294±3	412	396	393
350	350±4	450±2	1414±3	60 ⁺⁴ ₋₂	1200 ⁺²⁰ ₋₁₀	81 ⁺³ ₋₁	2.5	170 ⁺⁵ ₋₂	90	80±2	2.0	465	1470±3	468	452	449
400	400±4	506±2	1590±3	63 ⁺⁴ ₋₂								521	1646±3	524	508	505
450	450±4	564±2	1772±3	67 ⁺⁴ ₋₂								579	1828±3	582	566	563
500	500±4	620±2	1948±3	70 ⁺⁴ ₋₂								635	2004±3	638	622	619
600	600±4	736±2	2312±3	80 ⁺⁴ ₋₂	874	878	858	855				754	2381±3	758	738	735
700	700±4	856 ⁺³ ₋₂	2689±3	90 ⁺⁴ ₋₂												

特記事項

小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管(短管)
規格図
(JSWAS A-6)



寸法表 (単位:mm) 及び 外圧強さ表 (単位:kN/m(kgf/m))

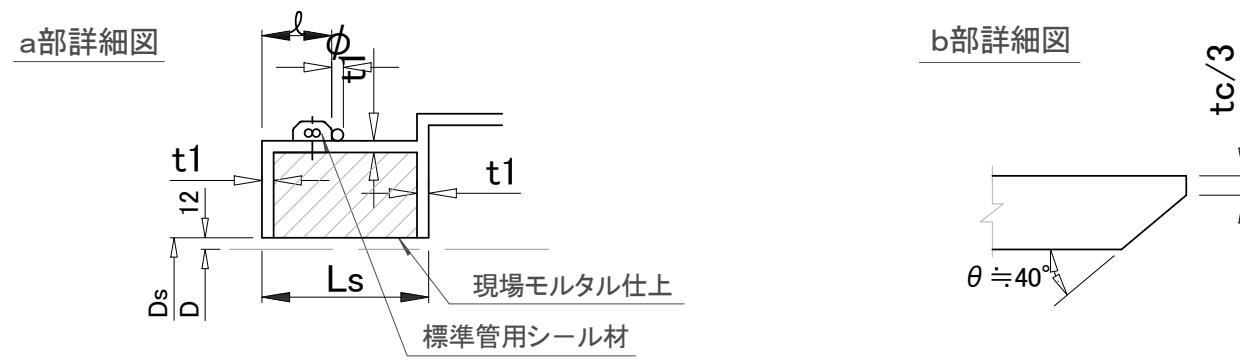
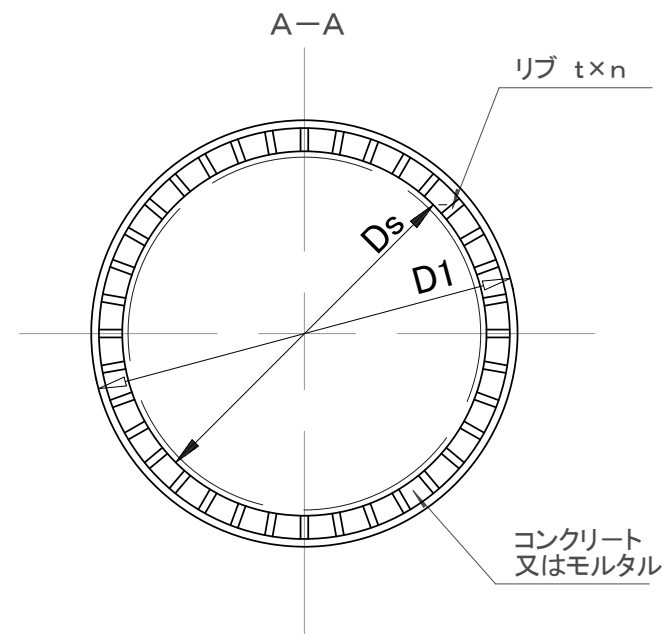
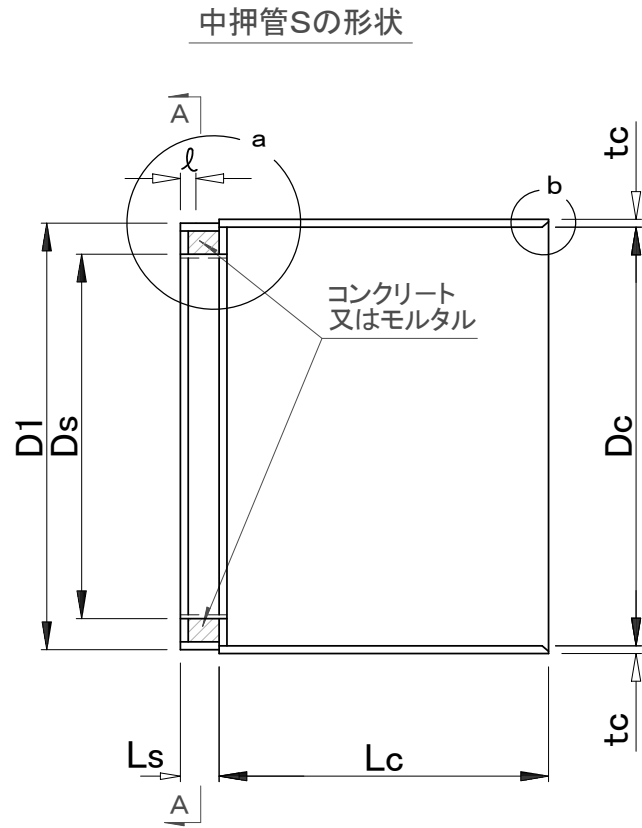
呼び径	内径 D	D1	$\pi D1$	D2	厚さ T	有効長 L	l	$l1$	$l2$	継手最小厚さ t	Lc1	Lc2	Lc	Tc	Dc	$\pi (Dc + 2Tc)$	ひび割れ荷重		破壊荷重	
																	1種	2種	1種	2種
800	800±4	933 ⁺³ ₋₂	2931±3	942	80 ⁺⁴ ₋₂	2430 ⁺¹⁰ ₋₅	132±2	60	72	65	120	130±2	250 ⁺⁵ ₋₂	4.5	951	3016 ± 3	35.4 (3600)	70.7 (7200)	57.9 (5900)	106 (10800)
900	900±6	1053 ⁺³ ₋₂	3308±3	1062	90 ⁺⁶ ₋₃					75					1071	3393 ± 3	38.3 (3900)	76.5 (7800)	64.8 (6600)	115 (11700)
1000	1000±6	1173 ⁺³ ₋₂	3685±3	1182	100 ⁺⁶ ₋₃					85					1191	3770 ± 3	41.2 (4200)	82.4 (8400)	71.6 (7300)	124 (12600)
1100	1100±6	1283 ⁺³ ₋₂	4031±3	1292	105 ⁺⁶ ₋₃					90					1301	4115 ± 3	42.7 (4350)	85.4 (8700)	78.5 (8000)	128 (13000)
1200	1200±6	1403 ⁺³ ₋₂	4408±3	1412	115 ⁺⁶ ₋₃					100					1421	4492 ± 3	44.2 (4500)	88.3 (9000)	86.3 (8800)	133 (13500)
1350	1350±8	1563 ⁺⁴ ₋₃	4910±6	1577	125 ⁺⁸ ₋₄					105					1588	5027 ± 5	47.1 (4800)	94.2 (9600)	98.1 (10000)	142 (14400)
1500	1500±8	1743 ⁺⁴ ₋₃	5476±6	1757	140 ⁺⁸ ₋₄					120					1768	5592 ± 5	50.1 (5100)	101 (10200)	110 (11200)	151 (15300)
1650	1650±8	1913 ⁺⁴ ₋₃	6010±6	1927	150 ⁺⁸ ₋₄					130					1938	6126 ± 5	53.0 (5400)	106 (10800)	122 (12400)	159 (16200)
1800	1800±10	2083 ⁺⁴ ₋₃	6544±6	2097	160 ⁺¹⁰ ₋₅					140					2108	6660 ± 5	55.9 (5700)	112 (11400)	134 (13600)	168 (17100)
2000	2000±10	2313 ⁺⁴ ₋₃	7267±6	2327	175 ⁺¹⁰ ₋₅					155					2338	7383 ± 5	58.9 (6000)	118 (12000)	142 (14400)	177 (18000)
2200	2200±10	2543 ⁺⁴ ₋₃	7989±6	2557	190 ⁺¹⁰ ₋₅					170					2568	8105 ± 5	61.8 (6300)	124 (12600)	149 (15100)	186 (18900)
2400	2400±12	2763 ⁺⁵ ₋₃	8680±9	2779	205 ⁺¹² ₋₆					152±2					70	82	180	150	150±2	300 ⁺⁵ ₋₂
2600	2600±12	2993 ⁺⁵ ₋₃	9403±9	3009	220 ⁺¹² ₋₆	195	3022	9550 ± 5	67.7 (6900)		136 (13800)	163 (16600)	203 (20700)							
2800	2800±12	3223 ⁺⁵ ₋₃	10125±9	3239	235 ⁺¹² ₋₆	210	3252	10273 ± 5	70.7 (7200)		142 (14400)	170 (17300)	212 (21600)							
3000	3000±12	3453 ⁺⁵ ₋₃	10848±9	3469	250 ⁺¹² ₋₆	225	3482	10996 ± 5	73.6 (7500)		148 (15000)	177 (18000)	221 (22500)							

特記事項

注) 1. 標準管の有効長は、1200⁺¹⁰₋₅ とすることができる。
 2. 標準管の形状は、カラーなしとすることができる。
 但し有効長は2430⁺¹⁰₋₂₀、1200⁺¹⁰₋₂₀ とする。
 3. 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。
 4. 呼び径1000以上の標準管には、緊結用埋込ナットをつけることができる。

5. 注入孔の数及び位置は、必要に応じて変えることができる。
 6. ひび割れ荷重とは、管に幅0.05mmのひび割れを生じたときの試験機が示す荷重を有効長(L)で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長(L)で除した値をいう。
 7. 中押管については、Tのみひび割れ荷重を適用する。

下水道推進工法用
鉄筋コンクリート標準管規格図
(JSWAS A-2)



寸法表

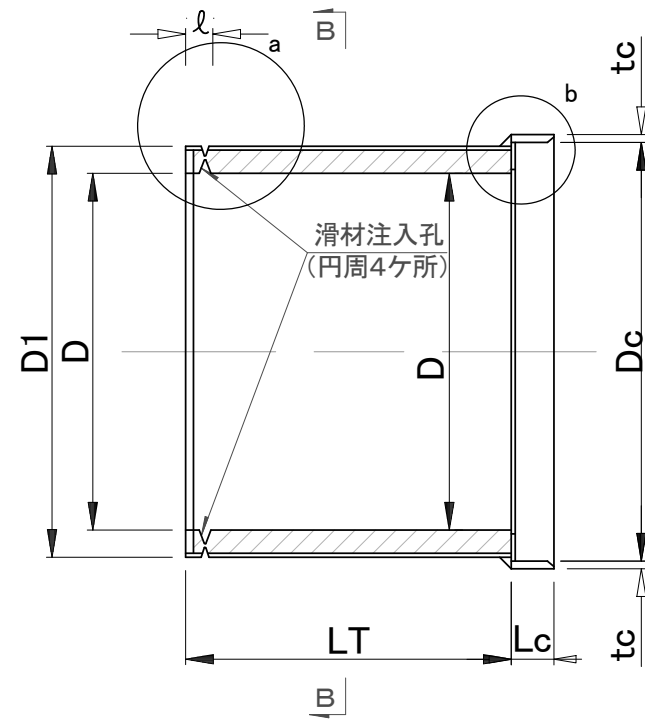
(単位:mm)

呼び径	内径 D	Ds	D1	$\pi D1$	Dc	$\pi (Dc+2tc)$	有効長 Ls	Lc	ℓ	tc	t1	φ	リブ n 枚	
1000	1000	1024	1173 +3 -2	3685 +3 -3	1182	3770 +3 -3	150 +2 -2	1100 +5 -3	60	9	16	6	28	
1100	1100	1124	1283 +3 -2	4031 +3 -3	1292	4115 +3 -3							32	
1200	1200	1224	1403 +3 -2	4408 +3 -3	1406	4492 +3 -3	36							
1350	1350	1374	1563 +4 -3	4910 +6 -6	1576	5027 +5 -5	155 +2 -2	12		19	22		9	40
1500	1500	1524	1743 +4 -3	5476 +6 -6	1756	5592 +5 -5								44
1650	1650	1674	1913 +4 -3	6010 +6 -6	1926	6126 +5 -5	160 +2 -2							70
1800	1800	1824	2083 +4 -3	6544 +6 -6	2096	6660 +5 -5		52						
2000	2000	2024	2313 +4 -3	7267 +6 -6	2326	7383 +5 -5	180 +2 -2	70	16	25	58			
2200	2200	2224	2543 +4 -3	7989 +6 -6	2556	8105 +5 -5					64			
2400	2400	2424	2763 +5 -3	8680 +9 -9	2778	8828 +5 -5	180 +2 -2				70	16	25	72
2600	2600	2624	2993 +5 -3	9403 +9 -9	3008	9550 +5 -5		78						
2800	2800	2824	3223 +5 -3	10125 +9 -9	3238	10273 +5 -5	180 +2 -2	70	16	25				84
3000	3000	3024	3453 +5 -3	10848 +9 -9	3468	10996 +5 -5					90			

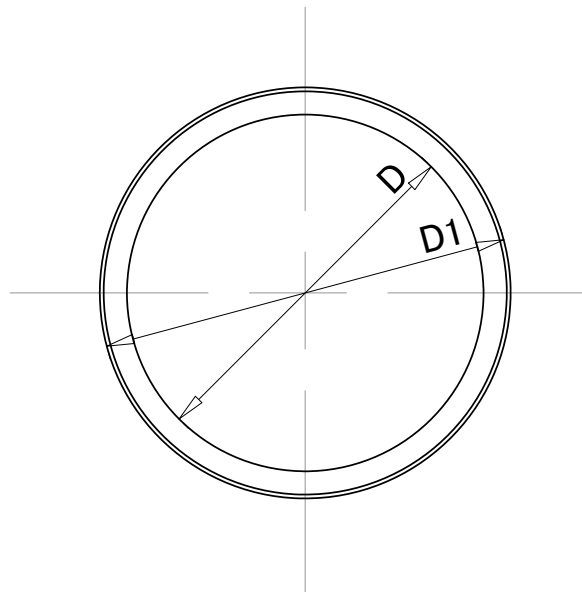
特記事項

下水道推進工法用
鉄筋コンクリート中押管S規格図
(JSWAS A-2)

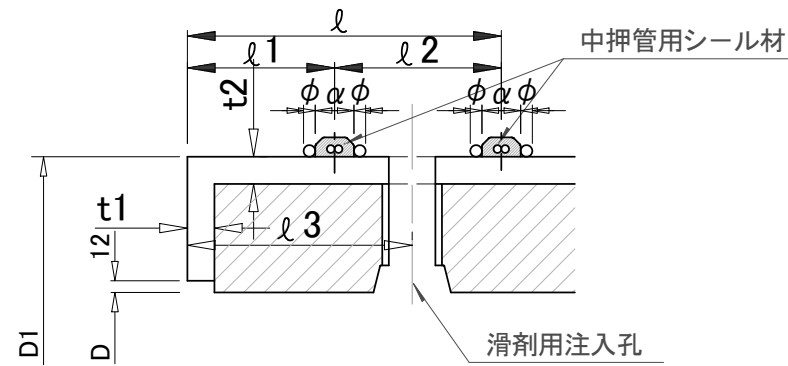
中押管Tの形状



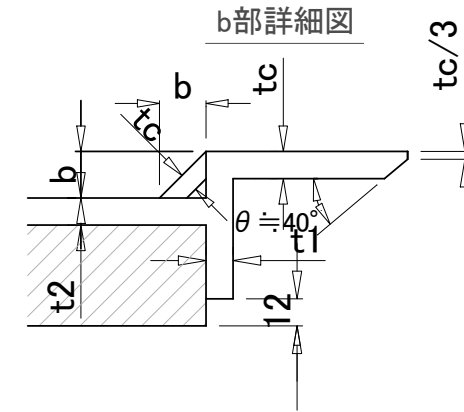
B-B断面



a部詳細図



b部詳細図



寸法表

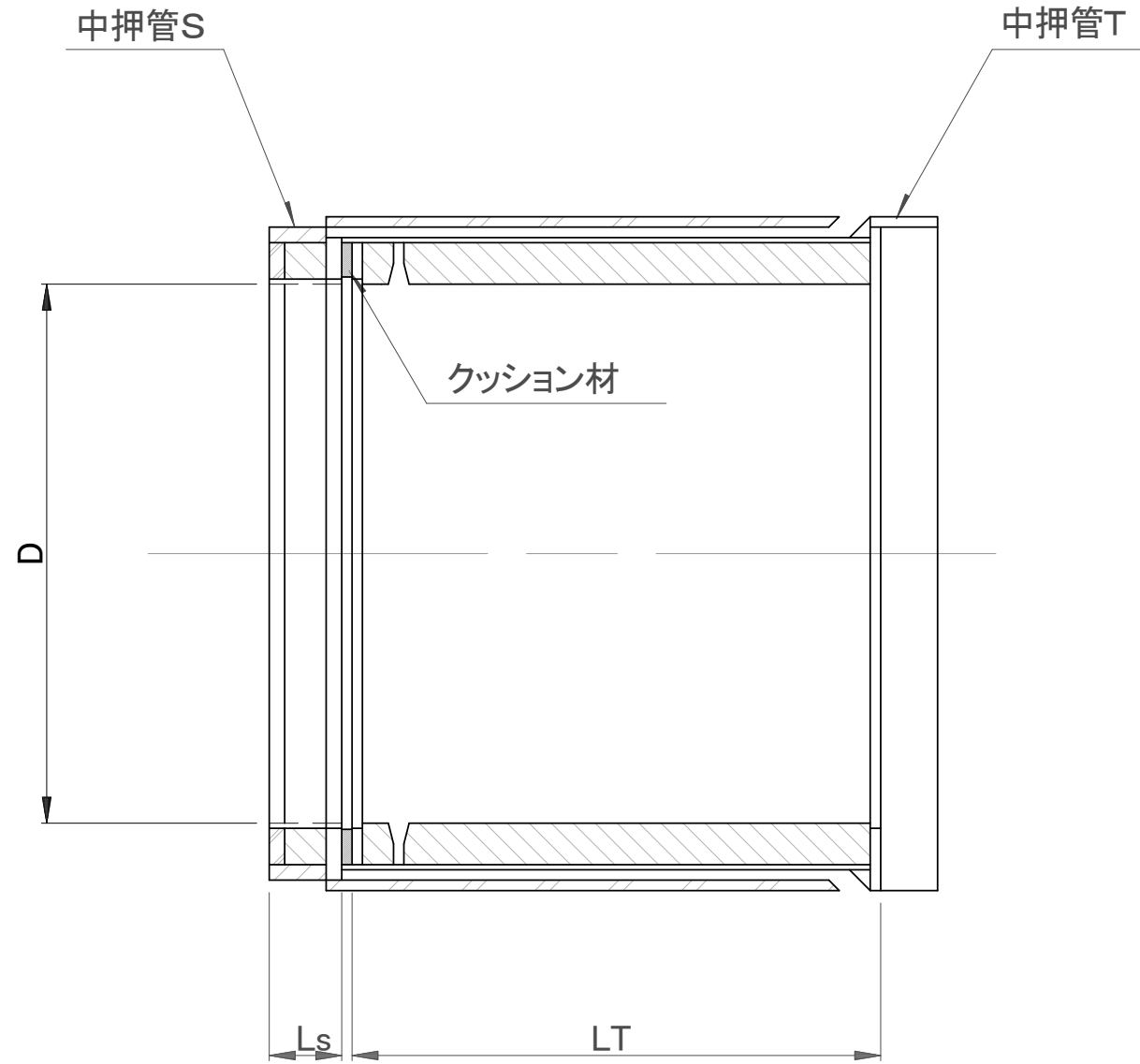
(単位:mm)

呼び径	内径 D	D1	$\pi D1$	Dc	$\pi (Dc + 2tc)$	有効長 LT	Lc	ℓ	ℓ1	ℓ2	ℓ3	a	b	tc	t1	t2	φ
1000	1000 ⁺⁶ ₋₆	1164 ⁺³ ₋₂	3657 ⁺³ ₋₃	1191	3770 ⁺³ ₋₃	1150 ⁺⁵ ₋₃	130 ⁺² ₋₂	125	60	65	92.5	26	18	4.5	9		6
1100	1100 ⁺⁶ ₋₆	1274 ⁺³ ₋₂	4002 ⁺³ ₋₃	1301	4115 ⁺³ ₋₃								21				
1200	1200 ⁺⁶ ₋₆	1388 ⁺³ ₋₂	4361 ⁺³ ₋₃	1421	4492 ⁺³ ₋₃												
1350	1350 ⁺⁸ ₋₈	1551 ⁺⁴ ₋₃	4873 ⁺⁶ ₋₆	1588	5027 ⁺⁵ ₋₅	1200 ⁺⁵ ₋₃	130 ⁺² ₋₂	140	65	75	102.5	30	24	6	6	9	
1500	1500 ⁺⁸ ₋₈	1731 ⁺⁴ ₋₃	5438 ⁺⁶ ₋₆	1768	5592 ⁺⁵ ₋₅												
1650	1650 ⁺⁸ ₋₈	1901 ⁺⁴ ₋₃	5972 ⁺⁶ ₋₆	1938	6126 ⁺⁵ ₋₅												
1800	1800 ⁺¹⁰ ₋₁₀	2071 ⁺⁴ ₋₃	6506 ⁺⁶ ₋₆	2108	6660 ⁺⁵ ₋₅	1250 ⁺⁵ ₋₃	150 ⁺² ₋₂	150	70	80	110	34	30	9	9	9	
2000	2000 ⁺¹⁰ ₋₁₀	2301 ⁺⁴ ₋₃	7229 ⁺⁶ ₋₆	2338	7383 ⁺⁵ ₋₅												
2200	2200 ⁺¹⁰ ₋₁₀	2531 ⁺⁴ ₋₃	7951 ⁺⁶ ₋₆	2568	8105 ⁺⁵ ₋₅												
2400	2400 ⁺¹² ₋₁₂	2749 ⁺⁵ ₋₃	8636 ⁺⁹ ₋₉	2792	8828 ⁺⁵ ₋₅	1250 ⁺⁵ ₋₃	150 ⁺² ₋₂	150	70	80	110	34	30	9	9	9	
2600	2600 ⁺¹² ₋₁₂	2979 ⁺⁵ ₋₃	9359 ⁺⁹ ₋₉	3022	9550 ⁺⁵ ₋₅												
2800	2800 ⁺¹² ₋₁₂	3209 ⁺⁵ ₋₃	10081 ⁺⁹ ₋₉	3252	10273 ⁺⁵ ₋₅												
3000	3000 ⁺¹² ₋₁₂	3439 ⁺⁵ ₋₃	10804 ⁺⁹ ₋₉	3482	10996 ⁺⁵ ₋₅												

特記事項

下水道推進工法用
鉄筋コンクリート中押管T規格図
(JSWAS A-2)

中押管S, Tの組合せ



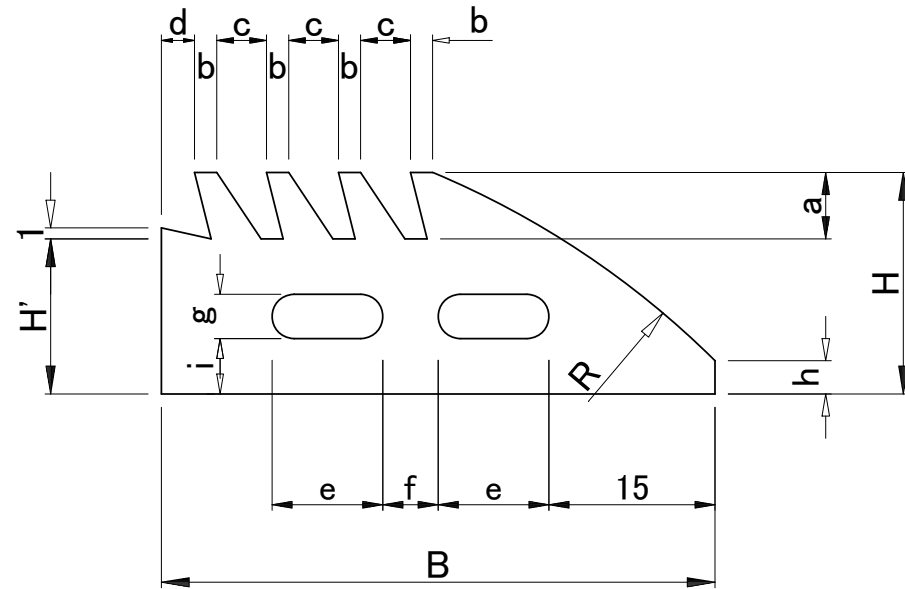
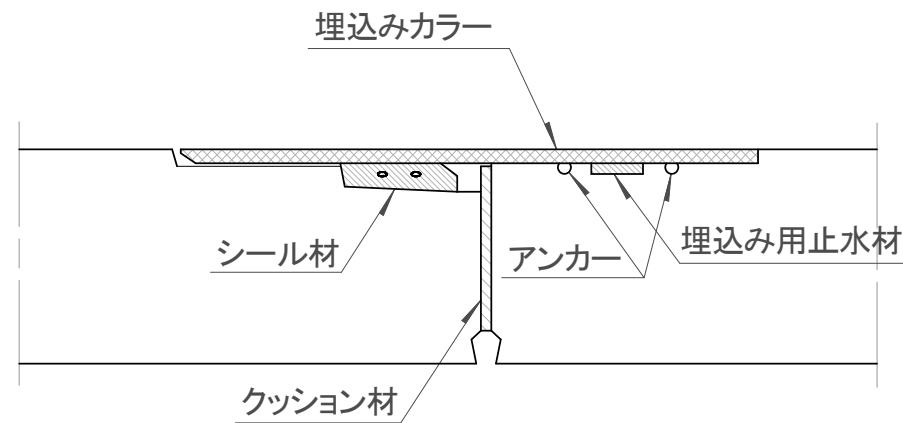
詳細図

呼び径	中押管Sの有効長Ls	中押管Tの有効長LT	中押管の組合せ長さ
1000	150	1150	1310
1100	150	1150	1310
1200	155	1150	1315
1350	155	1200	1365
1500	155	1200	1365
1650	160	1200	1370
1800	160	1200	1370
2000	160	1200	1370
2200	160	1200	1370
2400	180	1250	1440
2600	180	1250	1440
2800	180	1250	1440
3000	180	1250	1440

特記事項

下水道推進工法用
鉄筋コンクリート中押管S, T組合せ図
(JSWAS A-2)

標準形管用

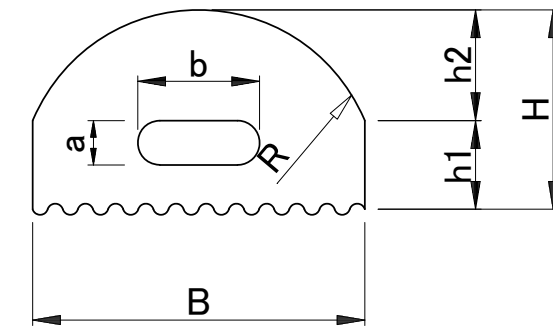
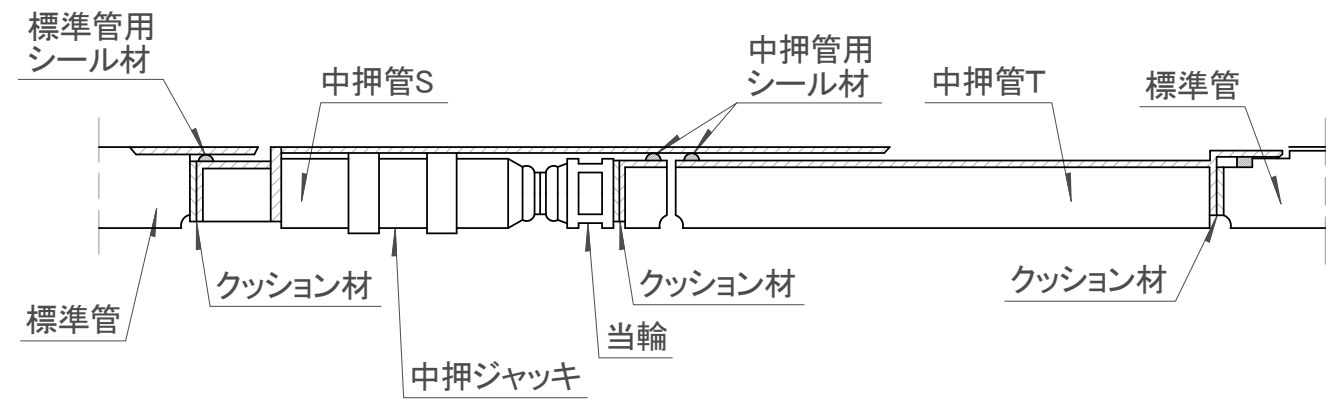


寸法表

(単位:mm)

呼び径	B	H	H'	h	a	b	c	d	e	f	g	i	R	長さ L (%)
800 ~ 1200	50±2	15±0.5	10	2	5	2	4	3	10	5	4	3	80	ゴム輪装着 部周長の 85±1
1350 ~ 2200		20±0.5	14	3	6		4.5							
2400 ~ 3000	60±2	23.5±0.5	16.5	5	7	2.5	5	3.5	12	8	5	100		

中押し形管用



寸法表

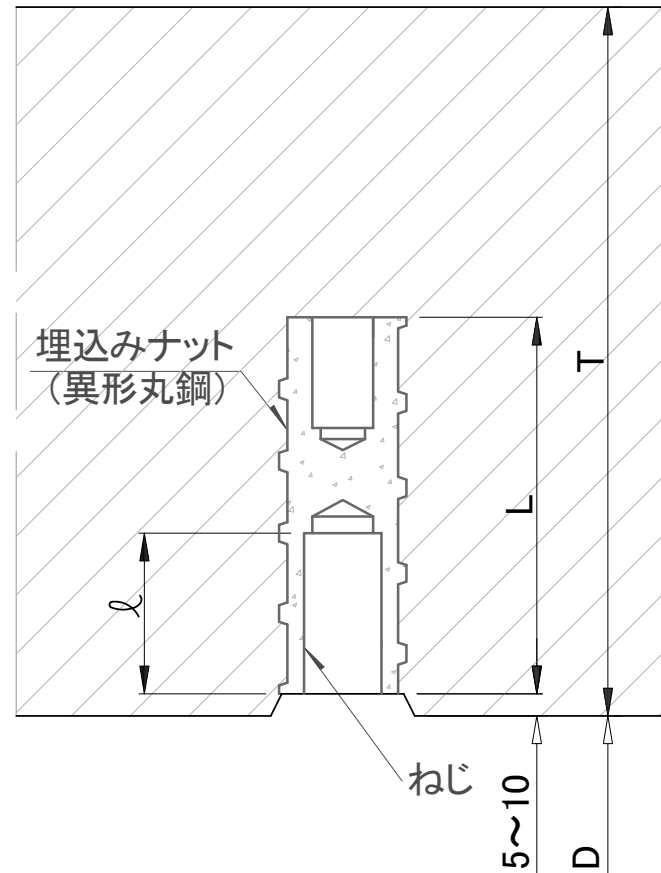
(単位:mm)

呼び径	B	H	h1	h2	a	b	R	長さ L (%)
1000 ~ 1200	26±2	13±1	6	7	3	9	15	ゴム輪装着 部周長の 90±1
1350 ~ 2200	30±2	19±1	9	10	4	11	16	
2400 ~ 3000	34±2	22.5±1	11.5	11	4.5	12	18	

特記事項

下水道推進工法用
鉄筋コンクリート管ゴム輪(シール材)
規格図(JSWAS A-2)

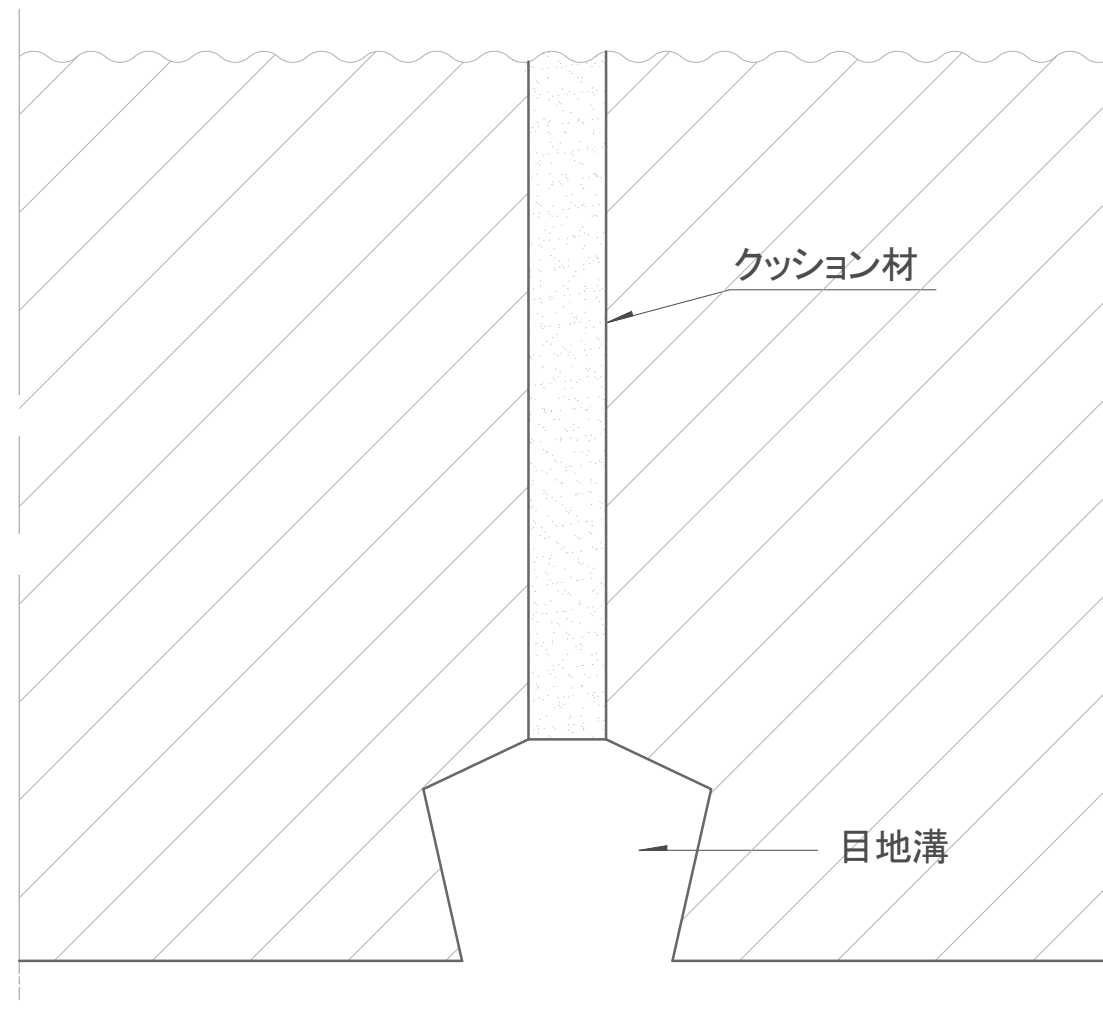
寸法表



呼び径	異形丸鋼の呼び名	ねじの呼び名	ねじの有効長さ ℓ (mm)	長さ L (mm)	厚さ T (mm)
1000	D22	M16	35	70	100
1100	D22	M16	35	70	105
1200	D22	M16	35	70	115
1350	D25	M18	40	90	125
1500	D25	M18	40	90	140
1650	D25	M18	40	90	150
1800	D25	M18	40	90	160
2000	D25	M18	40	90	175
2200	D25	M18	40	90	190
2400	D25	M18	40	90	205
2600	D25	M18	40	90	220
2800	D25	M18	40	90	235
3000	D25	M18	40	90	250

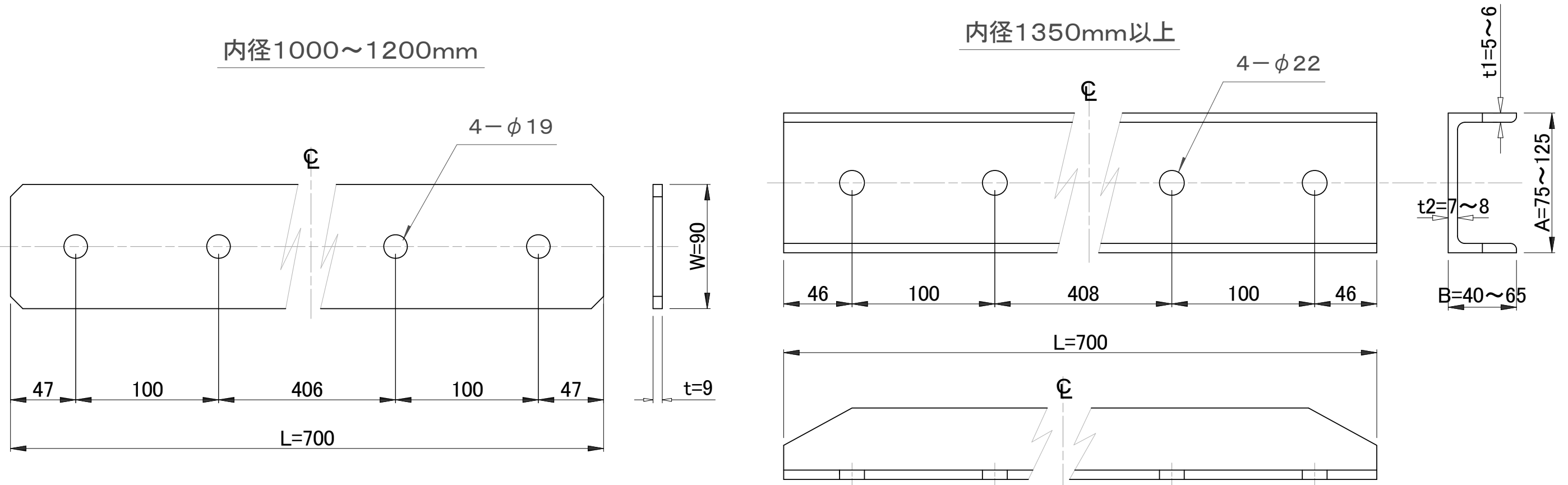
特記事項

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管
緊結用埋込みナット部規格図
(JSWAS A-2)



特
記
事
項

下水道推進工法用
鉄筋コンクリート管目地溝規格図
(JSWAS A-2)



寸法および材料表

分類 名称 内径 (mm)	損 料			消 耗 品 (全損)	
	接 続 部 材 (mm)	数 量 (本)	質 量 (kg)	ねじ込みボルト類 (ワッシャ共) (mm)	数 量 (組)
1000~1200	PL-t×W×ℓ 9×90×700	4	4.5 (18.0)	ねじ込みボルト類 首下長 M16. ℓ=50	16
1350~1650	[-A×B×t1×t2×ℓ 75×40×5×7×700	4	4.8 (19.2)	M18. ℓ=50	16
1800~2200	[-A×B×t1×t2×ℓ 100×50×5×7.5×700	4	6.6 (26.4)	M18. ℓ=50	16
2400~3000	[-A×B×t1×t2×ℓ 125×65×6×8×700	4	9.4 (37.0)	M18. ℓ=50	16

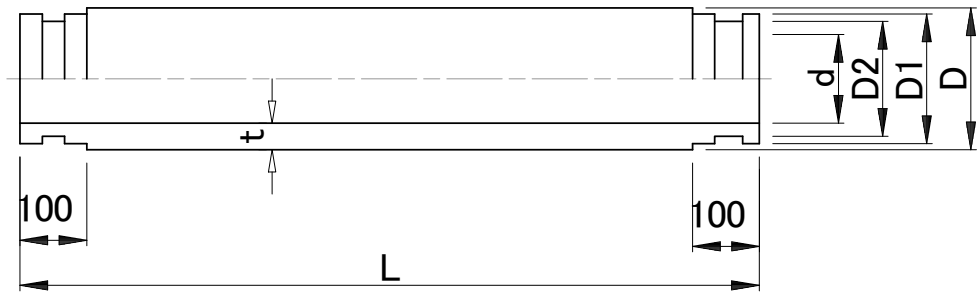
特記事項

- (注) 1. 重量欄中()内は4本の質量を示す。
 2. ボルトのℓは、首下寸法とし首下7mmを残し、ねじ切りとする。

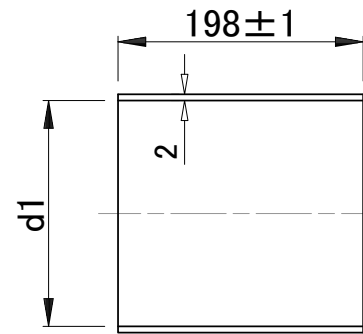
標準管緊結部材構造図

SUSカラー付直管(略号SUSR)

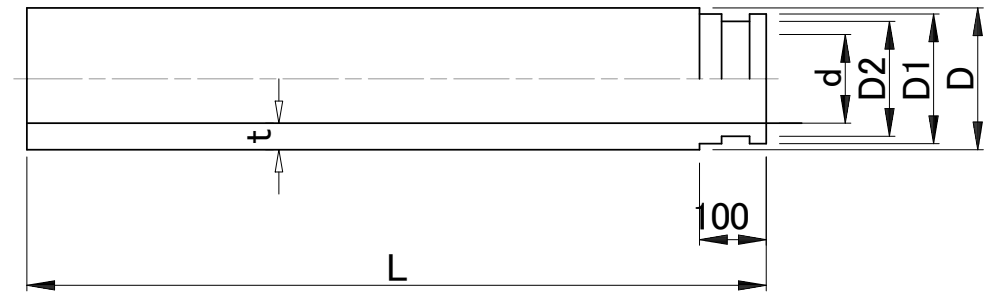
標準管



SUSカラー詳細図



先頭管及び最終管

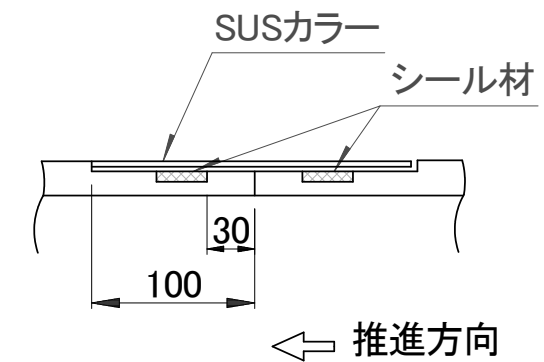


寸法表

(単位:mm)

呼び径	D	D1	D2	d (参考)	d1	t	L
150	165.0±0.5	160.0 ^{+0.6} _{-0.3}	154.0 ^{+0.6} _{-0.3}	146	161.3±0.5	8.9 ^{+1.4} ₀	1000±3
200	216.0±0.7	211.0 ^{+0.6} _{-0.3}	205.0 ^{+0.6} _{-0.3}	194	212.3±0.5	10.3 ^{+1.4} ₀	1000±3 2000±5
250	267.0±0.9	262.0 ^{+0.6} _{-0.3}	256.0 ^{+0.6} _{-0.3}	240	263.3±0.5	12.7 ^{+1.8} ₀	
300	318.0±1.0	313.0 ^{+0.6} _{-0.3}	307.0 ^{+0.6} _{-0.3}	286	314.3±0.5	15.1 ^{+2.2} ₀	
350	370.0±1.2	365.0 ^{+1.0} _{-0.5}	359.0 ^{+1.0} _{-0.5}	339	366.7±0.5	14.3 ^{+2.0} ₀	
400	420.0±1.3	415.0 ^{+1.0} _{-0.5}	409.0 ^{+1.0} _{-0.5}	385	416.7±0.5	16.2 ^{+2.2} ₀	
450	470.0±1.5	465.0 ^{+1.0} _{-0.5}	459.0 ^{+1.0} _{-0.5}	431	466.7±0.5	18.1 ^{+2.6} ₀	

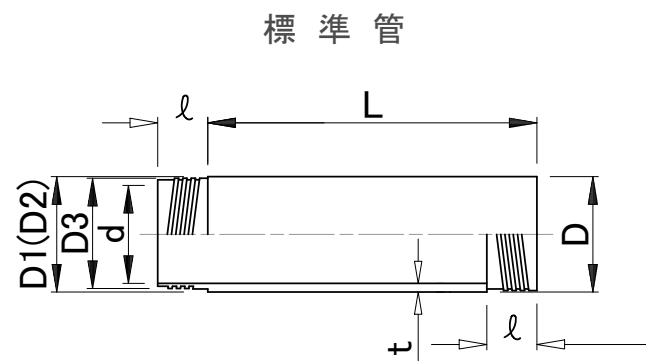
接続部参考図



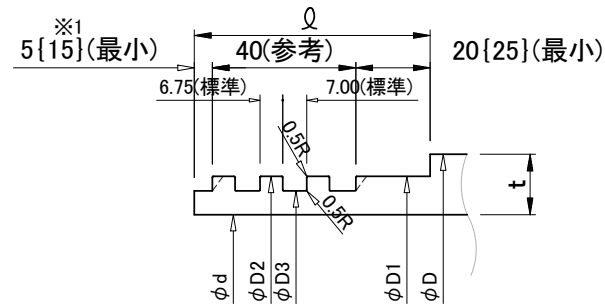
特記事項
 注) 1. D, D1及びD2は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
 2. 先頭管とは先導体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とはその間の推進時に使用する管をいう。
 3. 差し口先端部は、糸面取りとする。

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管
 規格図及び寸法表(1)
 (JSWAS K-6)

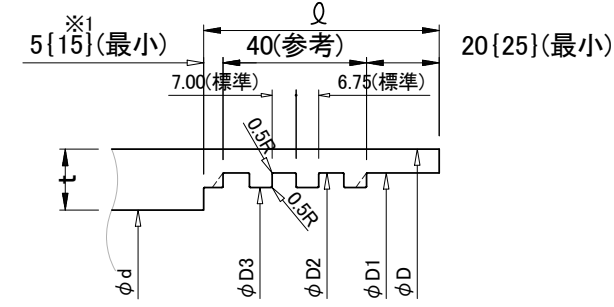
スパイラル継手付直管(略号SSPS)



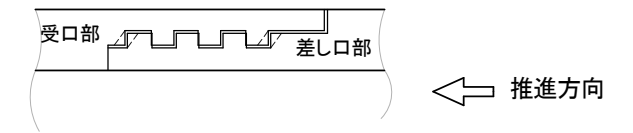
継手差し口部詳細図



継手受口部詳細図



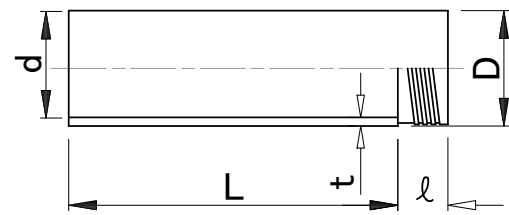
接続部参考図



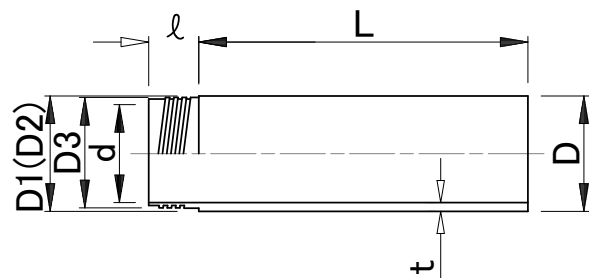
{ }は呼び径350~450の寸法を示す。

※1は差し口先端部が受口最奥部に当たる寸法にて加工すること。

先頭管



最終管



寸法表

(単位:mm)

呼び径	D	D1	D2	D3	d (参考)	ℓ	t	L
150	受口部	158.4±0.3	158.4±0.3	154.2±0.3	146	64±1	8.9 ^{+1.4} ₀	800±3
	差し口部	165.0±0.5	157.8±0.3	157.4±0.3		65 ⁺¹ ₀		1000±3
200	受口部	208.2±0.3	208.2±0.3	203.2±0.3	194	64±1	10.3 ^{+1.4} ₀	2000±5
	差し口部	216.0±0.7	207.6±0.3	207.2±0.3		65 ⁺¹ ₀		
250	受口部	258.6±0.4	258.6±0.4	251.4±0.4	240	64±1	12.7 ^{+1.8} ₀	
	差し口部	267.0±0.9	257.8±0.4	257.4±0.4		65 ⁺¹ ₀		
300	受口部	307.8±0.4	307.8±0.4	299.4±0.4	286	64±1	15.1 ^{+2.2} ₀	800±3
	差し口部	318.0±1.0	307.0±0.4	306.6±0.4		65 ⁺¹ ₀		1000±3
350	受口部	362.5±0.5	362.4±0.5	353.8±0.5	339	79±1	14.3 ^{+2.0} ₀	
	差し口部	370.0±1.2	361.5±0.5	361.0±0.5		80 ⁺¹ ₀		
400	受口部	411.6±0.5	411.5±0.5	401.9±0.5	385	79±1	16.2 ^{+2.2} ₀	
	差し口部	420.0±1.3	410.6±0.5	410.1±0.5		80 ⁺¹ ₀		
450	受口部	460.5±0.5	460.4±0.5	449.8±0.5	431	79±1	18.1 ^{+2.6} ₀	2000±5
	差し口部	470.0±1.5	459.5±0.5	459.0±0.5		80 ⁺¹ ₀		

特記事項
 注) 1. D, D1, D2及びD3は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
 2. 先頭管とは先導体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とはその間の推進時に使用する管をいう。
 3. 差し口先端部は、糸面取りとする。

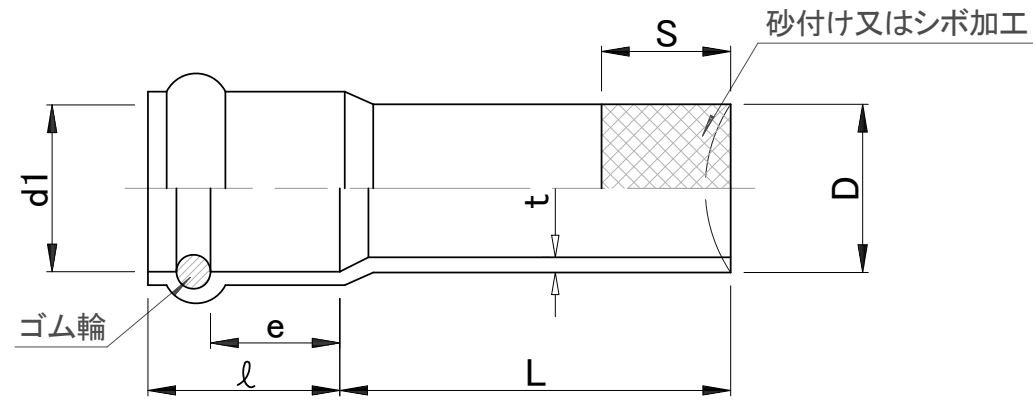
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管
 規格図(2)
 (JSWAS K-6)

上流用マンホール継手(略号MR-VP, MR-VM)

上流用マンホール継手(略号MR-VP, MR-VM)

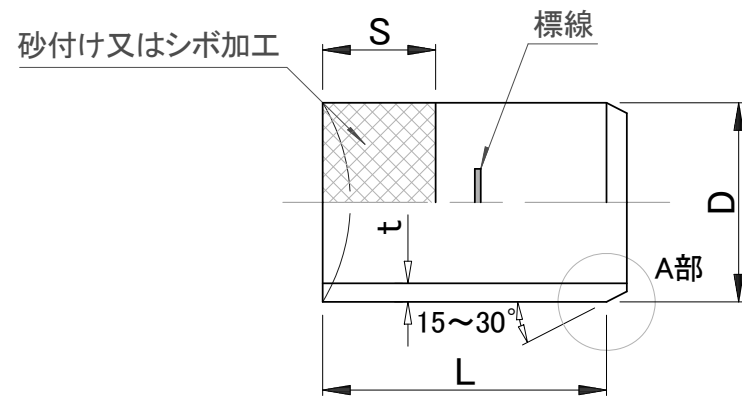
寸法表

(単位:mm)

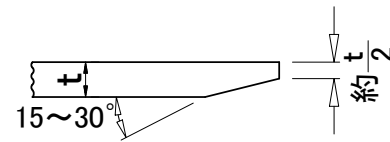


呼び径	受口部			直管部				略号
	d1(最小)	e(最小)	ℓ(最大)	D	t	L	S(参考)	
150	165.7	53	165	165.0±0.5	8.9 ^{+1.4} ₀	500±15	200	MR-VP
200	216.9	54	185	216.0±0.7	10.3 ^{+1.4} ₀		250	
250	268.1	59	205	267.0±0.9	12.7 ^{+1.8} ₀			
300	319.3	62	225	318.0±1.0	15.1 ^{+2.2} ₀	300	MR-VM	
350	371.5	67	240	370.0±1.2	14.3 ^{+2.0} ₀			
400	421.7	72	260	420.0±1.3	16.2 ^{+2.2} ₀			
450	471.9	77	285	470.0±1.5	18.1 ^{+2.6} ₀			

下流用マンホール継手(略号MSA-VP, MSA-VM)



A部詳細図



接着受口カラー(略号WTA)

寸法表

(単位:mm)

呼び径	受口部			L	t(参考)
	d1	d2	ℓ		
150	166.1±0.5	163.9±0.5	80±5	160±10	5.1
200	217.4±0.6	214.6±0.6	115±10	230±20	6.5
250	268.6±0.6	265.4±0.6	140±10	280±20	7.8
300	319.8±0.7	316.2±0.7	165±10	330±20	9.2
350	372.2±0.7	368.7±0.7	200±10	400±20	10.5
400	422.3±0.8	418.4±0.8	220±10	440±20	11.8
450	472.6±0.9	468.1±0.9	250±10	500±20	13.2

注) 1. d1及びd2は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。

下流用マンホール継手(略号MSA-VP, MSA-VM)

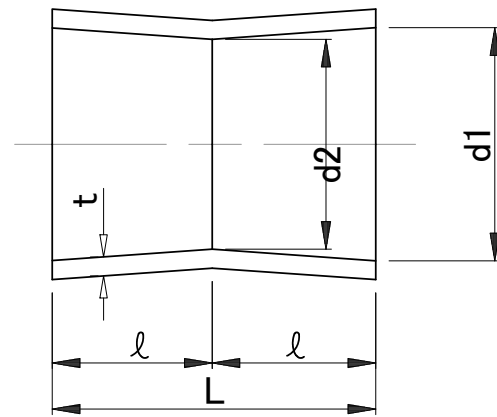
寸法表

(単位:mm)

呼び径	差し口部		直管部		略号
	D	t	L	S(参考)	
150	165.0±0.5	8.9 ^{+1.4} ₀	500±15	200	MSA-VP
200	216.0±0.7	10.3 ^{+1.4} ₀		250	
250	267.0±0.9	12.7 ^{+1.8} ₀			
300	318.0±1.0	15.1 ^{+2.2} ₀	750±15	300	MSA-VM
350	370.0±1.2	14.3 ^{+2.0} ₀			
400	420.0±1.3	16.2 ^{+2.2} ₀			
450	470.0±1.5	18.1 ^{+2.6} ₀	1000±15		

注) 1. マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。
2. Dは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値をいう。

接着受口カラー(略号WTA)



特記事項

・シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凹凸を付ける加工をいう。

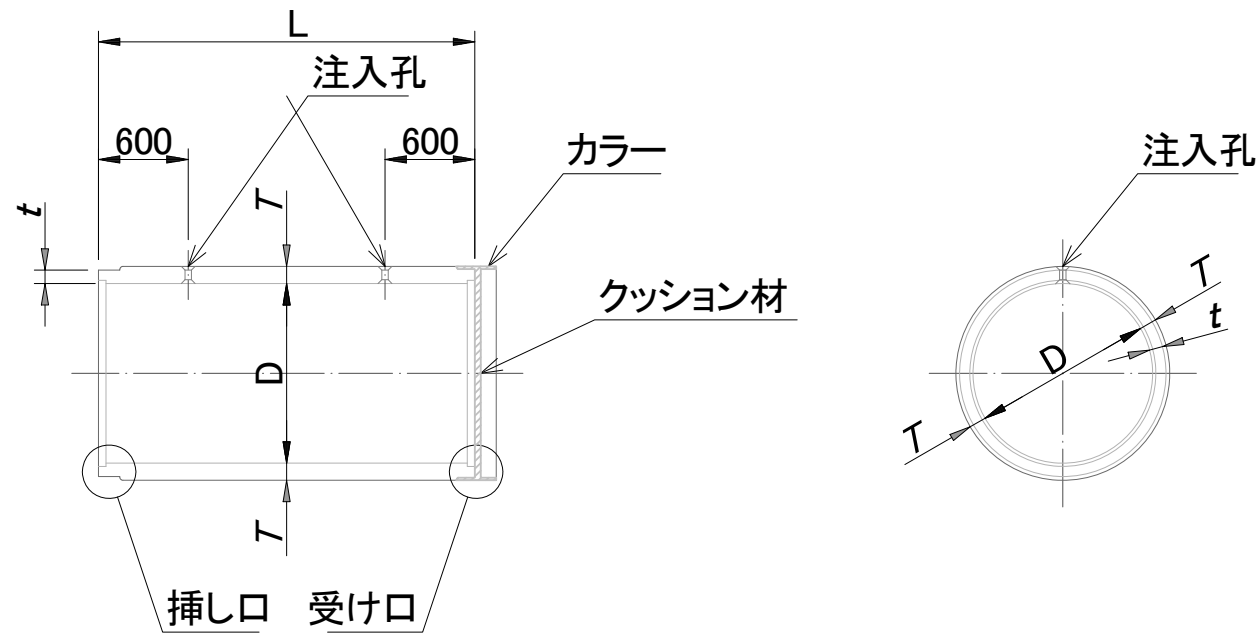
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管
規格図及び寸法表(3)
(JSWAS K-6)

寸法表

(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L	継手最小厚さ t
800	800 ±4	80 +4 -2	2430 +10 -5	65
900	900 ±6	90 +6 -3		75
1000	1000 ±6	100 +6 -3		85
1100	1100 ±6	105 +6 -3		90
1200	1200 ±6	115 +6 -3		100
1350	1350 ±8	125 +8 -4		105
1500	1500 ±8	140 +8 -4		120
1650	1650 ±8	150 +8 -4		130
1800	1800 ±10	160 +10 -5		140
2000	2000 ±10	175 +10 -5		155
2200	2200 ±10	190 +10 -5		170
2400	2400 ±12	205 +12 -6		180
2600	2600 ±12	220 +12 -6		195
2800	2800 ±12	235 +12 -6		210
3000	3000 ±12	250 +12 -6		225

標準管の形状



- 注1. 有効長(L)は1200⁺⁵ mmとすることができる。
- 2. 管の形状は、受け口なしとすることができる。
ただし、有効長は2430⁺¹⁰₋₂₀ mmとする。
- 3. 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。
- 4. 呼び径1000以上の管には、緊結用埋込ナットを付けることができる。
- 5. 注入孔の数および位置は、必要に応じて変更することができる。
- 6. 継手最小厚さとは、継手部最小厚さの標準をいう。

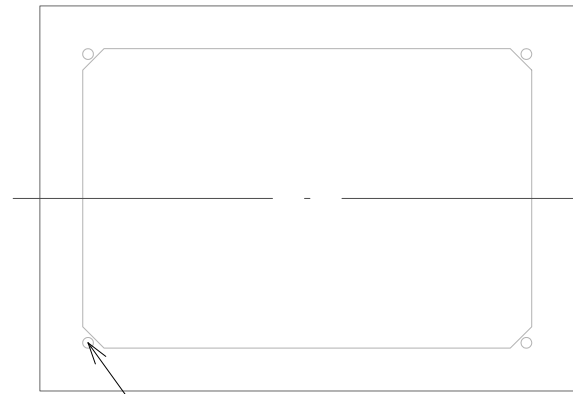
特記事項

中押管の形状及び寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS A-8)による。

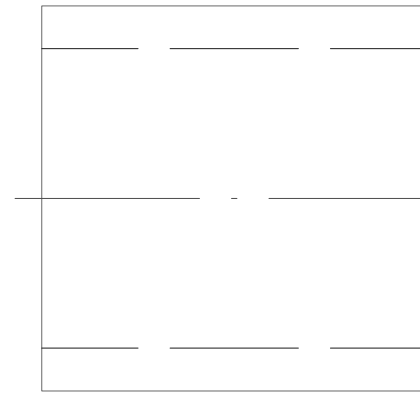
下水道推進工法用ガラス
繊維鉄筋コンクリート管
(JSWAS A-8)

H型形状

断面図

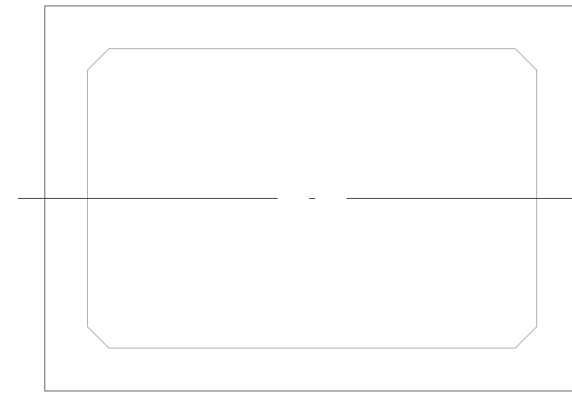


側面図

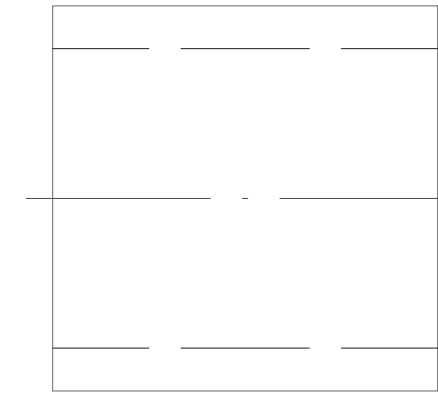


F型形状

断面図



側面図



縦連結用孔

(呼び600×600、700×700、900×600
については2ヶ所とすることができる)

寸法表

(単位:mm)

呼び	600×600～3500×2500
----	-------------------

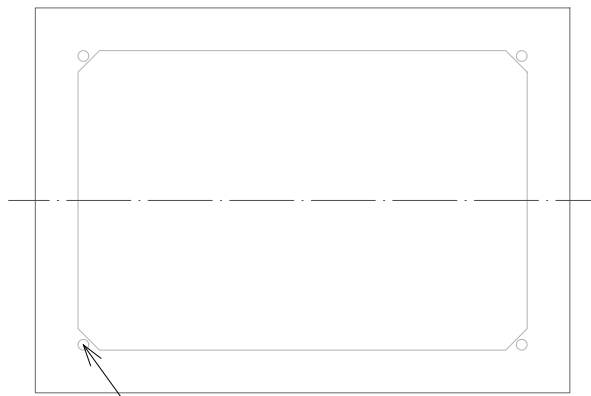
特記事項

寸法及び寸法の許容差、接合方法等については日本下水道協会規格(JSWAS A-12)による。

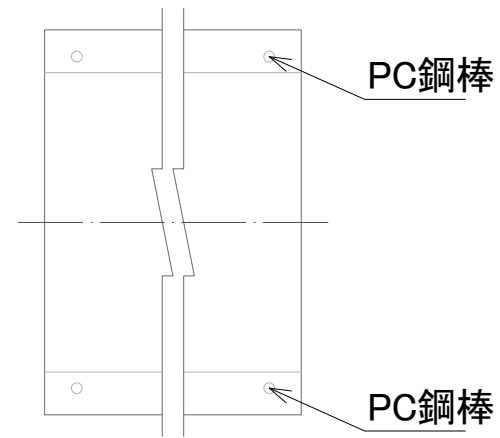
下水道用鉄筋コンクリート製
ボックスカルバート規格図
(JSWAS A-12)

H型形状

断面図

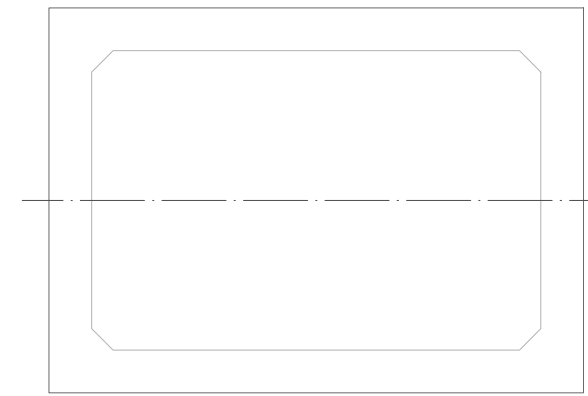


側面図

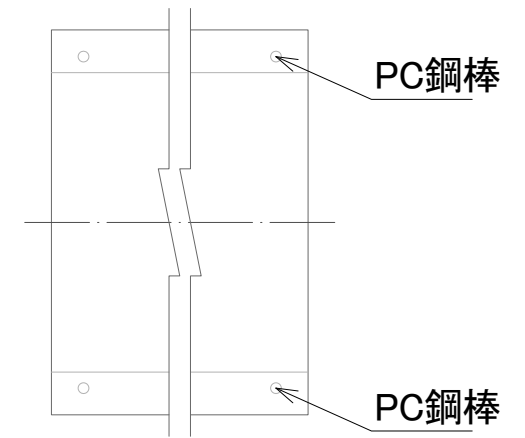


F型形状

断面図



側面図



縦連結用孔

(呼び600×600、700×700、900×600
については2ヶ所とすることができる)

寸法表

(単位:mm)

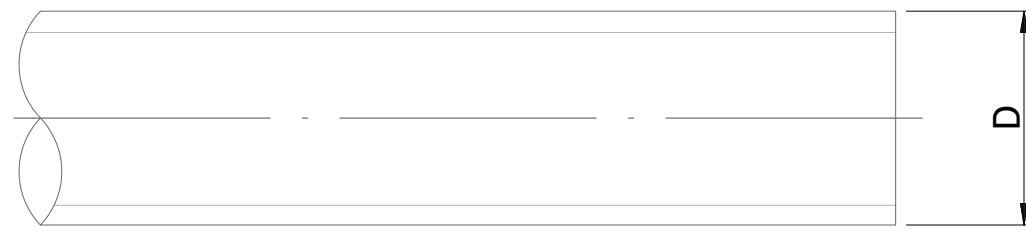
呼び	600×600～5000×2500
----	-------------------

特記事項

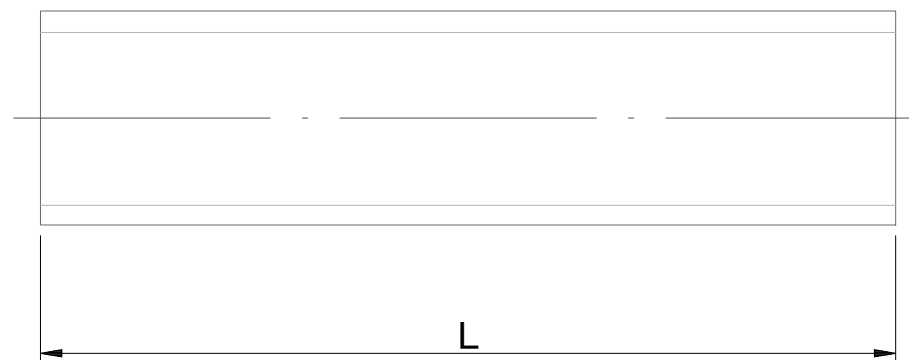
寸法及び寸法の許容差、接合方法等については日本下水道協会規格(JSWAS A-13)による。

下水道用プレストレストコンクリート製
ボックスカルバート規格図
(JSWAS A-13)

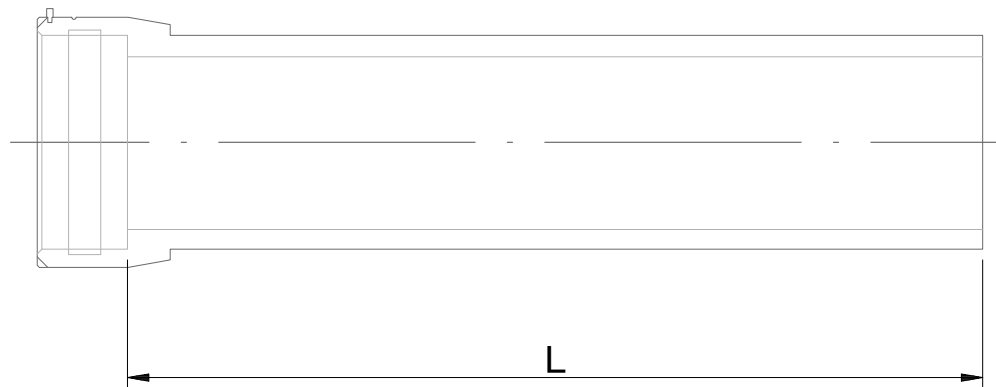
直管部共通寸法



プレーンエンド直管



片受け直管



直管部共通寸法表

(単位:mm)

呼び径	外径		長さ	
	D	許容差	L	許容差
150	180.0	+1.2 0	5000	+100 0
200	250.0	+1.5 0		
250	315.0	+1.8 0		
300	355.0	+2.2 0		

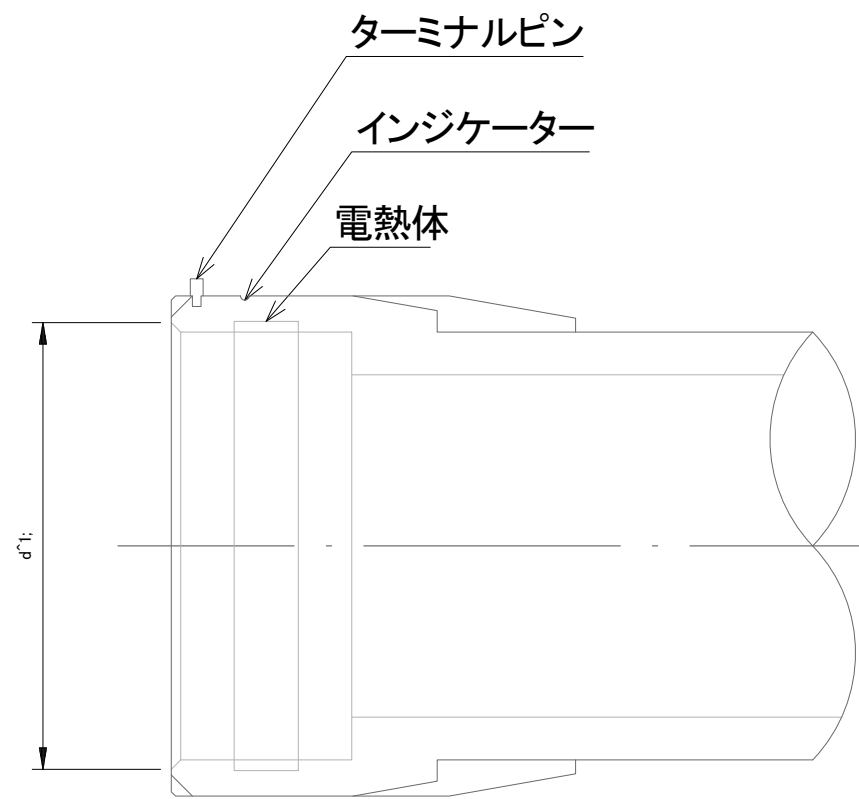
- 注1. 外径Dとは、外径相当長さ以上離れた任意箇所での、相互に等間隔な2方向以上の外径測定の平均値、又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。
 注2. 管の長さは、受渡当時者間の合意によって、任意に変更することが可能である。
 但し、長さの許容差は、長さに対して+2%、0%とすること。

特記事項

寸法及び寸法の許容差等については日本下水道協会規格(JSWAS K-14)による。

下水道用ポリエチレン管
規格図(1)《直管》
(JSWAS K-14)

EF受口共通寸法



EF受口共通寸法表

(単位: mm)

呼び径	受口内径 (電熱体部)
	d_1
150	181.4
200	251.7
250	316.8

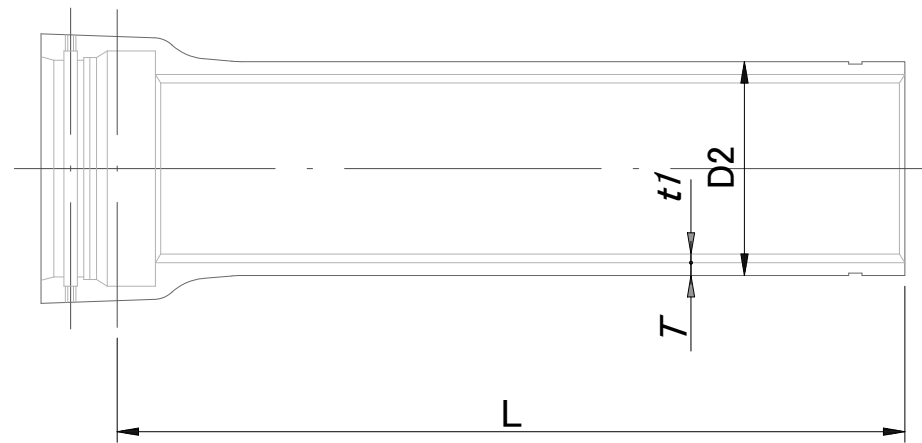
- 注1. 受口内径 d_1 は、直角2方向以上の内径(電熱体部)測定の平均値とする。
- 注2. 継手形状は参考であって、破線の受口形状とすることもできる。
但し、内面に段差を生じないようにすること。

特記事項

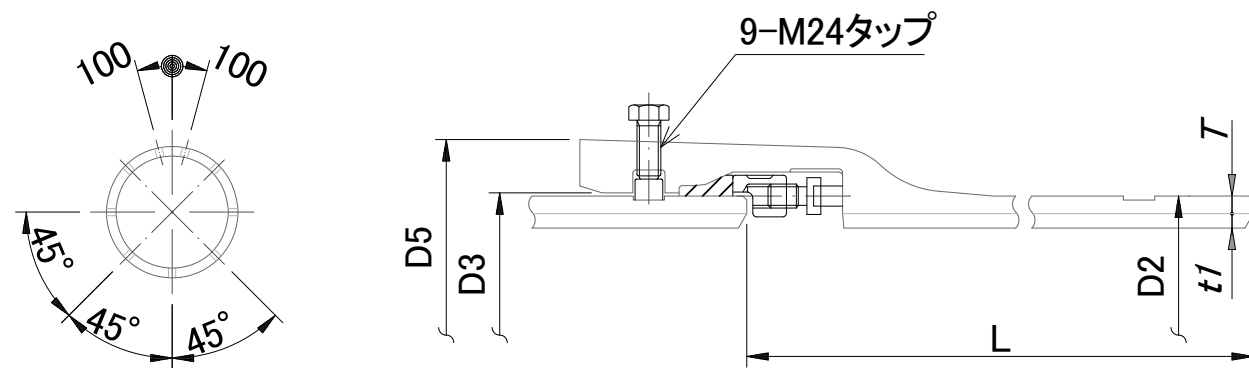
寸法及び寸法の許容差等については日本下水道協会規格(JSWAS K-14)による。

下水道用ポリエチレン管
規格図(2)《受口》
(JSWAS K-14)

形状



接合部詳細



寸法表

(単位: mm)

呼び径 D	管厚 T PF種管 (DPF)	ライニング厚 t_1	外径 D_2	各部寸法			有効長 L
				D_3	D_5		
800	15.0	8	836	841	938	6000	
900	16.0		939	944	1043		
1000	18.0	10	1041	1047	1151		
1100	19.0		1144	1150	1258		
1200	20.0		1246	1252	1362		
1350	21.5	12	1400	1406	1521		
1500	24.0		1554	1560	1679		
1600	25.0	15	1650	1656	1786	4000	
1650	25.5		1701	1707	1839		
1800	28.0		1848	1854	1990		
2000	30.5		2061	2067	2209	5000	
2100	31.5		2164	2170	2314		
2200	32.5		2280	2286	2433		
2400	34.5	2458	2464	2617	4000		
2600	36.5	2684	2690	2865			

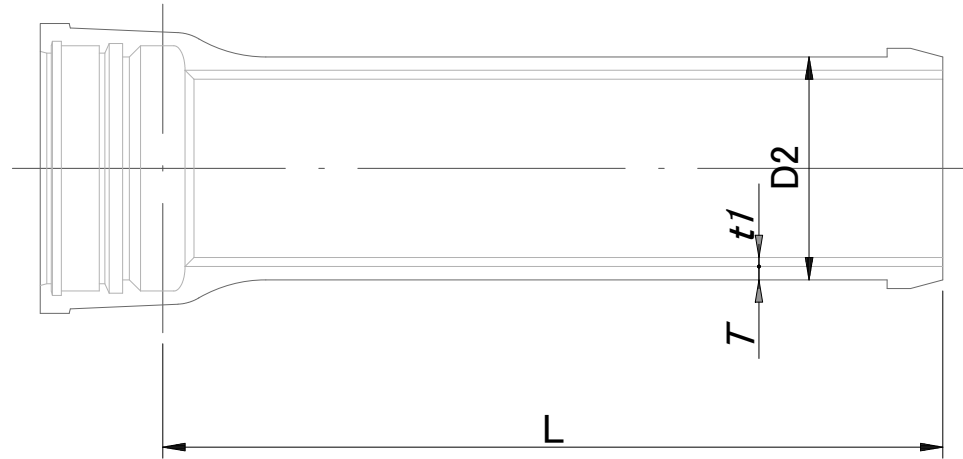
注1. 受口突部、挿し口凹部及び直部1mの参考質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの参考質量とは必ずしも一致しない。
 注2. 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。

特記事項

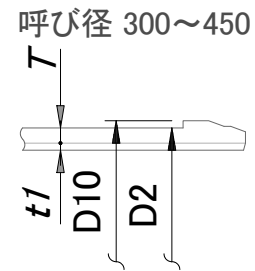
接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

下水道用ダクタイトル鉄管
 規格図(1)《直管(UF形)》
 (JSWAS G-1)

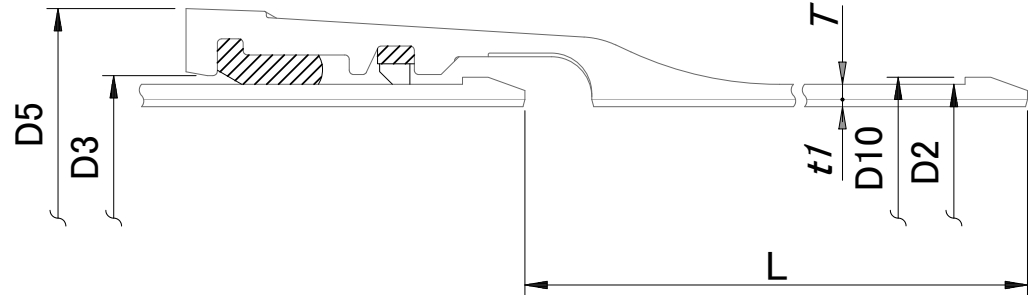
形状



接合部詳細



呼び径 150~250



寸法表

(単位:mm)

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>		ライニング厚 <i>t1</i>	外径 <i>D2</i>	各部寸法			有効長 <i>L</i>
	1種管 (<i>D1</i>)	3種管 (<i>D3</i>)			<i>D3</i>	<i>D5</i>	<i>D10</i>	
150	7.5	6.0	4	169.0	177.8	242	175.0	5000
200				220.0	229.0	294	226.0	
250				271.6	280.6	346	277.6	
300	8.5	7.0	6	322.8	331.8	408	328.8	6000
350				374.0	383.6	465	380.0	
400				425.6	435.2	521	431.6	
450				476.8	486.4	572	482.8	

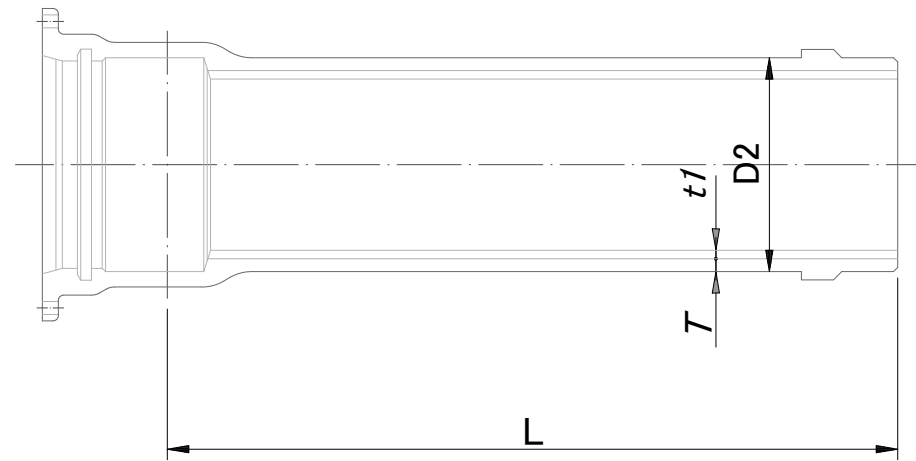
- 注1. 受口突部、挿し口突部及び直部1mの参考質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの参考質量とは必ずしも一致しない。
 2. 受口外面の形状は、破線の形状でもよい。
 3. 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
 4. 挿し口突部の形成は、溶接、鑄出し等適切な方法で行わなければならない。この場合、離脱防止力は、3DkN(Dは、呼び径mm)以上であること。

特記事項

接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

下水道用ダクトイル鑄鉄管
 規格図(2)《直管(NS形)》
 (内径150mm~450mm)(JSWAS G-1)

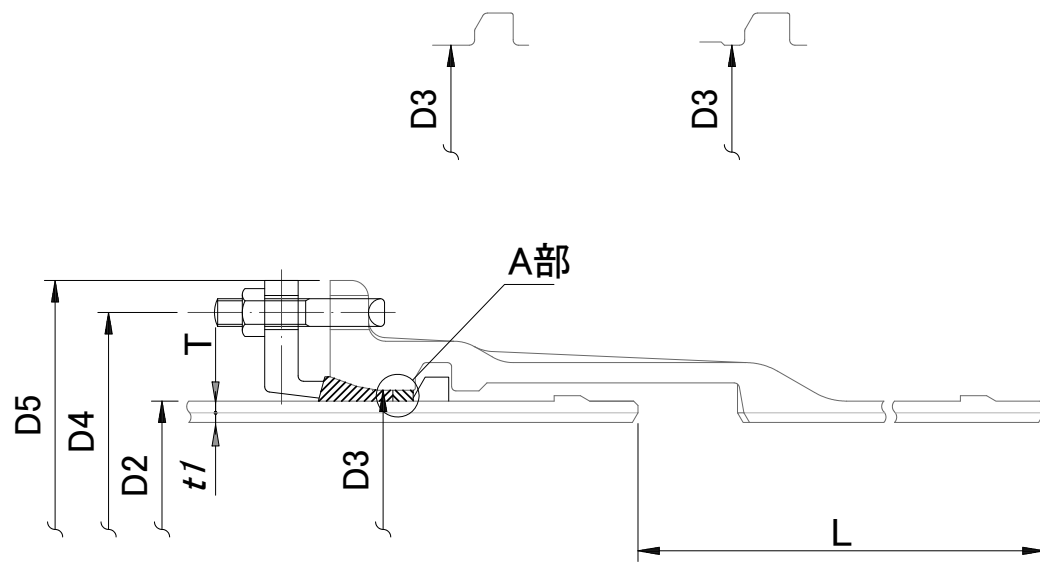
形状



接合部詳細

A部詳細図

呼び径 500~700 呼び径 800~1000



寸法表

(単位: mm)

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>	ライニング厚 <i>t1</i>	外径 <i>D2</i>	各部寸法			有効長 <i>L</i>
	S種管 (DS)			<i>D3</i>	<i>D4</i>	<i>D5</i>	
500	8.5	6	528.0	544.0	654	700	6000
600	10.0		630.8	646.8	758	804	
700	11.0	8	733.0	753.0	876	930	
800	12.0		836.0	856.0	985	1039	
900	13.0		939.0	959.0	1098	1164	
1000	14.5	10	1041.0	1061.0	1207	1273	

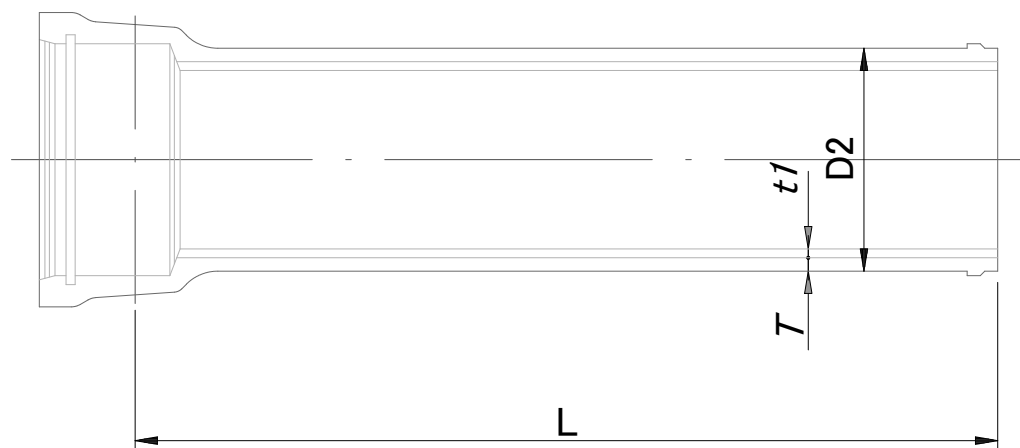
- 注1. 受口突部、挿し口突部及び直部1mの参考質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの参考質量とは必ずしも一致しない。
 2. 受口外面の形状は、破線の形状でもよい。
 3. 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
 4. 挿し口突部の形成は、溶接、鋳出し等適切な方法で行わなければならない。この場合、離脱防止力は、3DkN(Dは、呼び径mm)以上であること。

特記事項

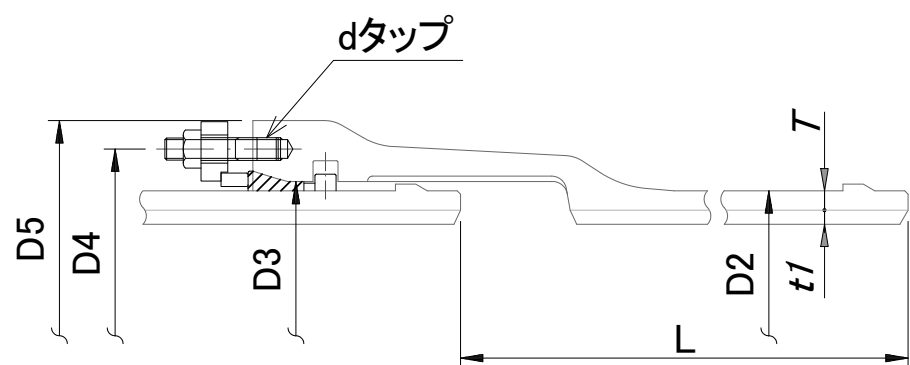
接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

下水道用ダクタイトル鉄管
規格図(3)《直管(NS形)》
(内径500mm~1000mm)(JSWAS G-1)

形状



接合部詳細



寸法表

(単位: mm)

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>			ライニング厚 <i>t1</i>	外径 <i>D2</i>	各部寸法			有効長 <i>L</i>
	1種管 (<i>D1</i>)	2種管 (<i>D2</i>)	3種管 (<i>D3</i>)			<i>D3</i>	<i>D4</i>	<i>D5</i>	
1100	18.0	15.5	14.0	10	1144.0	1164.0	1246	1318	6000
1200	19.5	17.0	15.0		1246.0	1266.0	1348	1420	
1350	21.5	18.5	16.5		12	1400.0	1420.0	1502	
1500	23.5	20.5	18.0	1554.0		1574.0	1656	1728	
1600	25.0	22.0	19.0	15	1650.0	1674.0	1758	1830	4000
1650	25.5	22.5	19.5		1701.0	1725.0	1809	1881	
1800	28.0	24.0	21.0		1848.0	1872.0	1956	2028	
2000	30.5	26.5	23.5		2061.0	2085.0	2169	2241	5000
2100	32.0	28.0	24.5		2164.0	2188.0	2272	2344	
2200	33.5	29.0	25.5		2280.0	2304.0	2388	2460	
2400	36.5	31.5	27.5	2458.0	2482.0	2566	2638	4000	
2600	39.5	34.0	29.5	2684.0	2712.0	2802	2874		

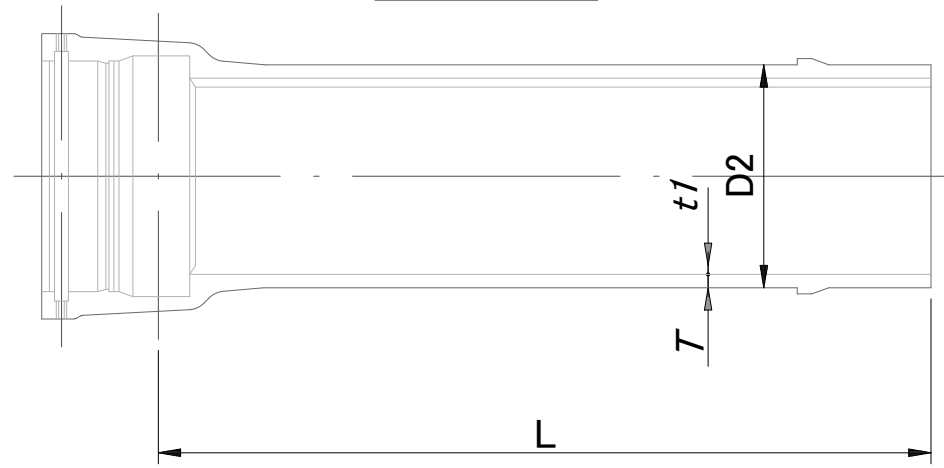
注1. 受口突部、挿し口突部及び直部1mの参考質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの参考質量とは必ずしも一致しない。
 注2. 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
 注3. 挿し口突部の形成は、溶接、鋳出し等適切な方法で行わなければならない。この場合、離脱防止力は、3DkN(Dは、呼び径mm)以上であること。

特記事項

接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

下水道用ダクトイル鋳鉄管
規格図(4)《直管(S形)》
(JSWAS G-1)

形状



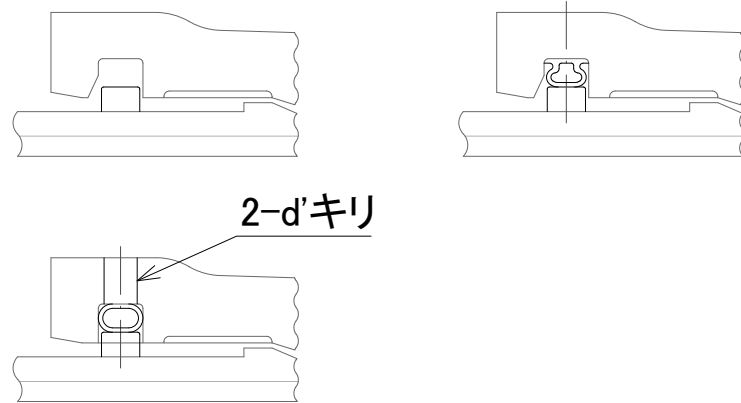
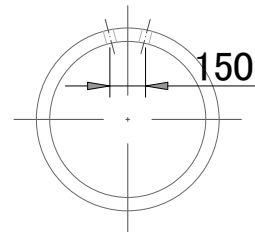
接合部詳細

LS方式

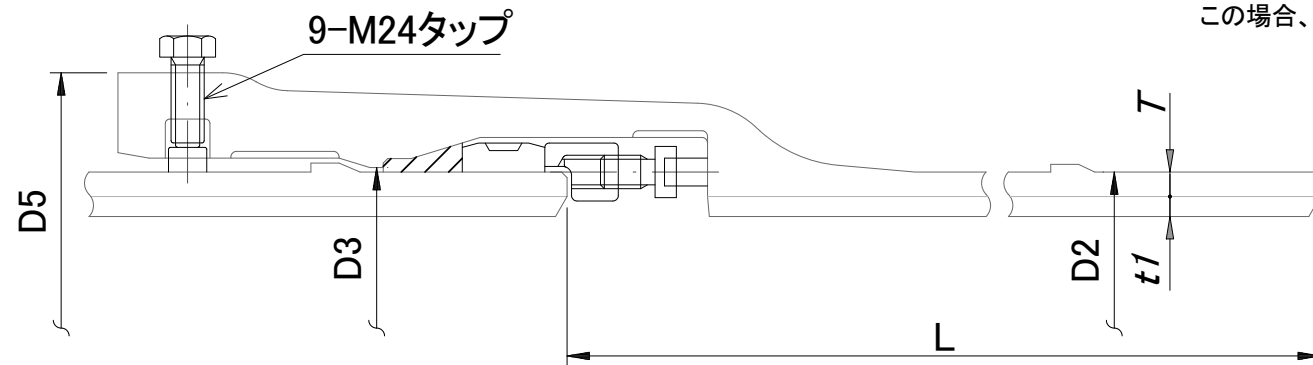
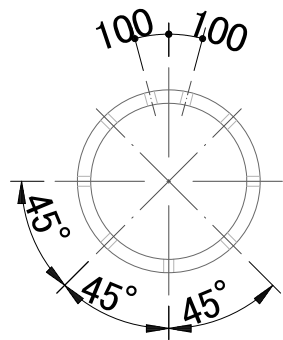
呼び径 800~1000

呼び径 1100~2600

VT方式



SB方式



寸法表

(単位:mm)

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>				ライニング厚 <i>t1</i>	外径 <i>D2</i>	各部寸法		有効長 <i>L</i>
	1種管 (<i>D1</i>)	2種管 (<i>D2</i>)	3種管 (<i>D3</i>)	4種管 (<i>D4</i>)			<i>D3</i>	<i>D5</i>	
800	13.5	12.0	11.0	10.0	8	836	841	973	4000 6000
900	15.0	13.0	12.0	11.0		939	944	1077	
1000	16.5	14.5	13.0	12.0	10	1041	1047	1183	
1100	18.0	15.5	14.0	13.0		1144	1150	1288	
1200	19.5	17.0	15.0	13.5	12	1246	1252	1390	
1350	21.5	18.5	16.5	15.0		1400	1406	1546	
1500	23.5	20.5	18.0	16.5	15	1554	1560	1705	
1600	25.0	22.0	19.0	17.5		1650	1656	1805	
1650	25.5	22.5	19.5	18.0		1701	1707	1856	
1800	28.0	24.0	21.0	19.5		1848	1854	2003	
2000	30.5	26.5	23.5	21.0		2061	2067	2220	
2100	32.0	28.0	24.5	22.0		2164	2170	2326	
2200	33.5	29.0	25.5	23.0	2280	2286	2445	4000	
2400	36.5	31.5	27.5	25.0	2458	2464	2630		
2600	39.5	34.0	29.5	27.0	2684	2690	2874		

- 注1. 受口突部、挿し口突部及び直部1mの参考質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの参考質量とは必ずしも一致しない。
- 注2. 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
- 注3. 挿し口突部の形成は、溶接、鋳出し等適切な方法で行わなければならない。この場合、離脱防止力は、3DkN(Dは、呼び径mm)以上であること。

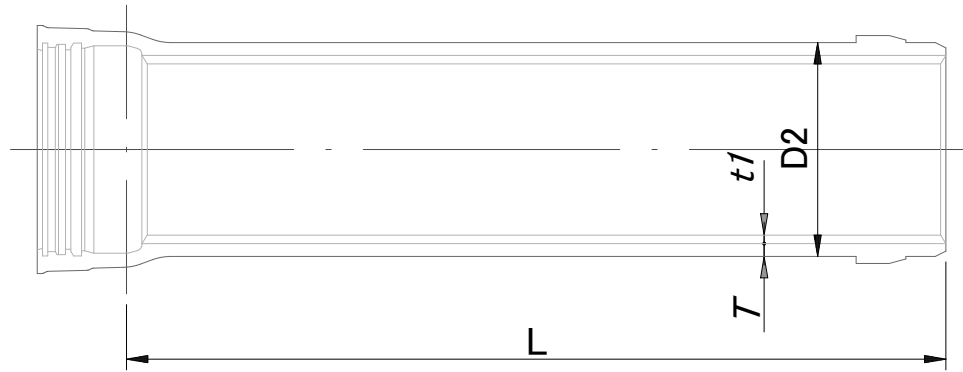
特記事項

接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

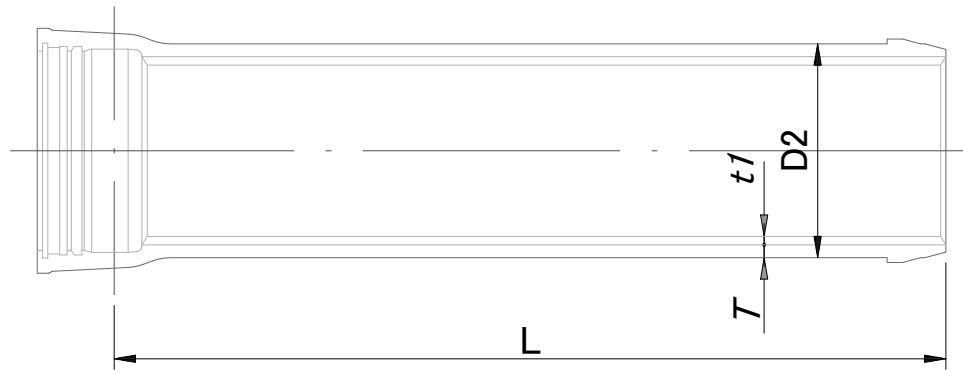
下水道用ダクトイル鋳鉄管
規格図(5)《直管(US形)》
(JSWAS G-1)

形状

呼び径 150~250

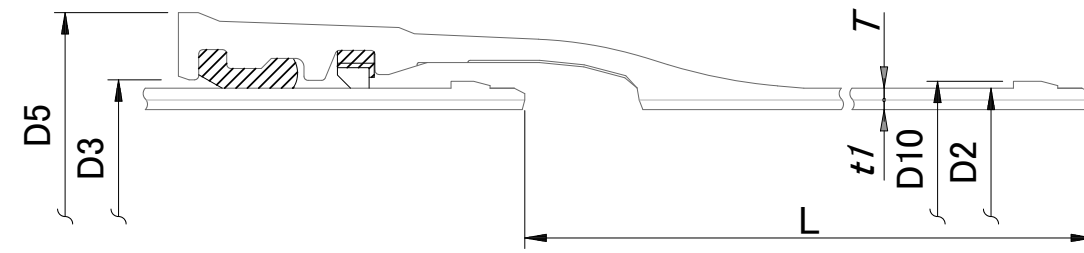


呼び径 300・400

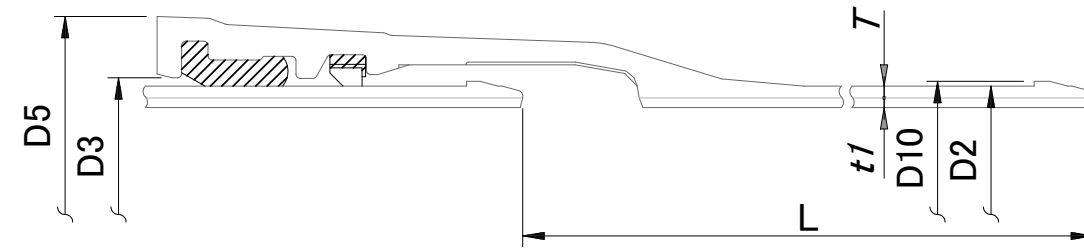


接合部詳細

呼び径 150~250



呼び径 300・400



寸法表

(単位: mm)

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>		ライニング厚 <i>t1</i>	外径 <i>D2</i>	各部寸法			有効長 <i>L</i>
	1種管 (D1)	S種管 (DS)			<i>D3</i>	<i>D5</i>	<i>D10</i>	
150	7.5	6.5	4	169.0	177.8	242	175.0	5000
200				220.0	229.0	294	226.0	
250				271.6	280.6	346	277.6	
300	8.5	7.0	6	322.8	331.8	408	328.8	6000
400				425.6	435.2	521	431.6	

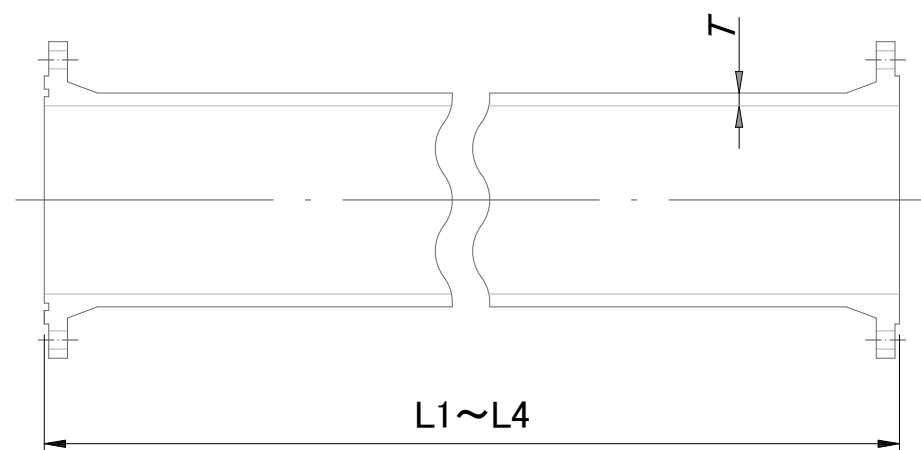
- 注1. 受口突部、挿し口突部及び直部1mの参考質量は、有効数字に丸めたので、その総和である1本当たりの参考質量とは必ずしも一致しない。
- 注2. 受口内面の形状は、破線の形状でもよい。
- 注3. 挿し口突部の形成は、溶接、鑄出し等適切な方法で行わなければならない。この場合、離脱防止力は、3DkN(Dは、呼び径mm)以上であること。

特記事項

接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

下水道用ダクタイトル鉄管
規格図(6)《直管(GX形)》
(JSWAS G-1)

形状



寸法表

(単位:mm)

呼び径 <i>D</i>	管厚 <i>T</i>	有効長			
		<i>L1</i>	<i>L2</i>	<i>L3</i>	<i>L4</i>
150	9.0	1000	2000	3000	4000
200	11.0				
250	12.0				
300	12.5				
350	13.0				
400	14.0				
450	14.5				
500	15.0				
600	16.0				
700	17.0				
800	18.0				
900	19.0				
1000	20.0				
1100	21.0				
1200	22.0				
1350	24.0				
1500	26.0				

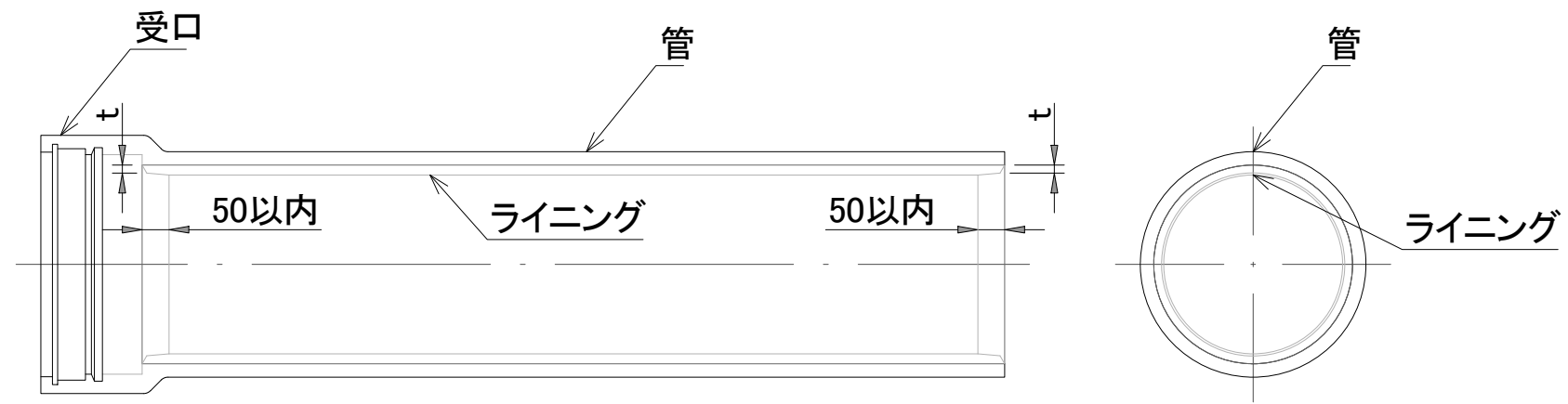
- 注1. 有効長がL1~L3はフランジ短管、有効長がL4はフランジ長管を示す。
- 2. 図は、形式2を示す。

特記事項

接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

下水道用ダクタイトル鑄鉄管
規格図(7)《フランジ短管及びフランジ長管》
(JSWAS G-1)

ライニングの厚さ



内面塗装の種類

種類	塗装	備考
内面塗装1	エポキシ樹脂粉体塗装 塗膜の厚さ 0.3mm以上	管及びP-Linkに適應する。
内面塗装2	液状エポキシ樹脂塗装 塗膜の厚さ 0.3mm以上	異形管に適應する。

寸法表

(単位:mm)

管の呼び径	ライニングの厚さ(t)	許容差
75~250	4	+規定せず -1
300~600	6	
700~900	8	+規定せず -2
1000~1200	10	+規定せず -3
1350・1500	12	+規定せず -4
1600~2600	15	

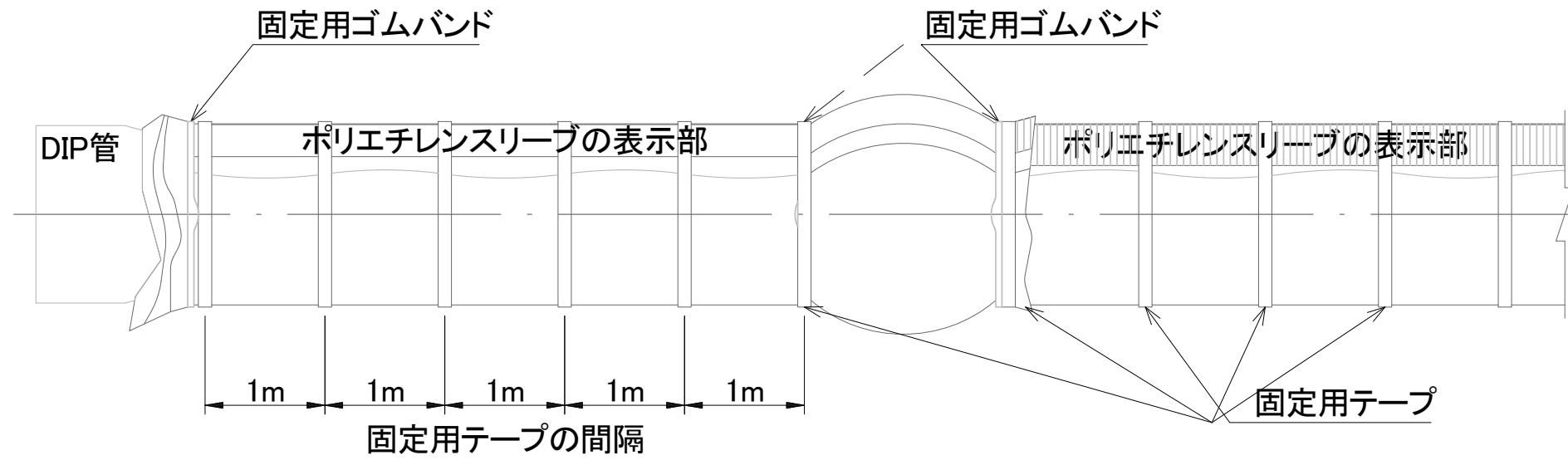
注 管端部におけるライニング厚さは、50mm以内は、テープがついてもよい。

特記事項

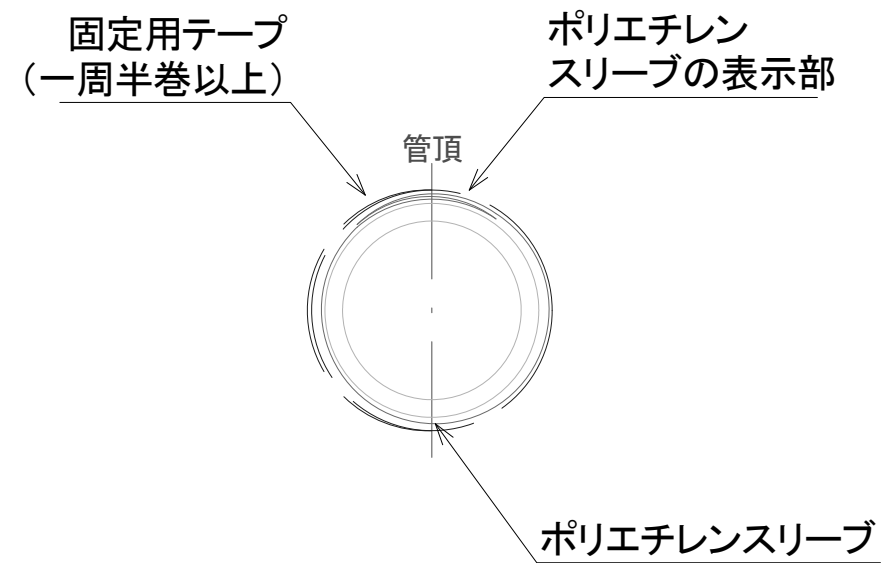
接合部の各部寸法等については日本下水道協会規格(JSWAS G-1)による。

下水道用ダクタイトル鋳鉄管
規格図(8)《内面塗装及びモルタルライニング》
(JSWAS G-1)

形状



断面図



特記事項

下水道用ダクタイトル鋳鉄管
《ポリエチレンスリーブ》